

令和7年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
報告書

令和8年2月

大田区

目次

I	調査の概要	2
1	調査の目的	3
2	調査の内容	3
3	調査設計	4
4	報告書の見方について	5
5	標本誤差について	6
II	区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査①	7
1	回答者の属性について	9
2	公共交通について	15
	(1) 公共交通網の満足度	15
	(2) 公共交通機関の利用しやすさ	17
	(3) 早期実現を望む大田区内の公共交通対策	19
	(4) 空港臨海部の埋立島部への訪れやすさ	21
3	自転車について	23
	(1) 自転車の利用状況	23
	(2) 自転車ナビマーク・ナビラインの認知度	25
	(3) 自転車走行環境を充実してほしい道路	27
	(4) 交通ルールやマナーを学ぶ機会	29
	(5) 自身が守れていない交通ルール	31
	(6) サイクリングやサイクリスポーツの実施状況	33
	(7) 自転車駐輪場の充足	35
	(8) 自転車駐輪場が不足していると感じる駅	37
	(9) 自転車の駐輪や放置自転車に関する困りごとや不満	38
	(10) 自転車走行時に危険を感じた経験の有無	40
	(11) 新たなサイクリング拠点におけるイベント参加意向	42
	(12) 大田区コミュニティサイクルの認知度	44
4	共生社会について	46
	(1) 「障害者差別解消法」の認知度	46
	(2) 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の認知度	48
	(3) 「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」の認知度	51
	(4) 「ヘルプカード（たすけてねカード）」の認知度	53
	(5) 「新しい認知症観」の認知度	55
	(6) 認知症になった人のイメージ	57
	(7) 「認知症サポーター養成講座」の受講有無	59
	(8) 「認知症サポーター養成講座」受講後に参加した取組	61
	(9) 「成年後見制度」の認知度	63

(10) 介護人材不足の認知度	65
(11) 介護の専門職でないボランティアへの依頼作業.....	67
(12) ボランティア活動の対価	69
(13) 高齢者の生活を支援するためのボランティア活動.....	71
5 消費者生活センターについて	73
(1) 大田区立消費者生活センターの認知度.....	73
Ⅲ 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査②.....	75
1 回答者の属性について	77
2 地域活動について	83
(1) 自治会・町会への加入	83
(2) 自治会・町会に加入していない理由.....	85
3 地域のつながり・見守りについて	87
(1) 地域活動の参加状況	87
(2) 地域活動の今後の参加意向	89
(3) お住まいの地域でのこども・子育て家庭の見守り.....	91
(4) 地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）.....	93
(5) 「孤立感や孤独感」への有無.....	95
(6) 「大田区DV相談ダイヤル」の認知度.....	97
(7) 人権が尊重されている社会	99
4 健康・医療について	101
(1) 現在の健康状態	101
(2) かかりつけの医療機関	103
5 スポーツについて	105
(1) スポーツや運動を実施した頻度.....	105
(2) 区のスポーツ環境の満足度	107
(3) 満足しているスポーツ施策	109
(4) 期待するスポーツ施策	111
(5) スポーツにおける地域活性化への貢献度.....	113
6 文化芸術について	115
(1) 区の文化芸術に親しむ環境への満足度.....	115
(2) 満足している文化芸術施策	117
(3) 期待する区の文化芸術施策	119
(4) 区の文化や歴史に触れる機会の有無.....	121
7 生涯学習について	123
(1) 最近1年間の生涯学習の有無	123
(2) オンラインによる生涯学習の有無.....	125
(3) 生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を生かしていること.....	127
(4) 生涯学習の充実度	129

(5) 学ぶことへの関心の有無	135
(6) 図書館等の利用頻度	137
(7) 図書館を利用しない理由	139
(8) 図書館に期待する機能・サービス.....	141
8 居住環境について	143
(1) 新しい住まいを探すことになった場合に最も重視するもの.....	143
(2) 住宅を選ぶ際に一番重視するもの.....	145
(3) 新しい住まいを探す際に重視する情報源.....	147
(4) 大田区に住む理由	149
IV 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査③.....	151
1 回答者の属性について	153
2 SDGsについて	159
(1) SDGs の認知度	159
(2) SDGs に関する意識と行動	161
(3) SDGs に関する行動をしていない理由.....	163
(4) プラスチックの分別	165
(5) 「食品ロス」を減らすための取り組み.....	167
(6) 「食品ロス」発生への意識	169
3 ふるさと納税について	171
(1) 他の自治体へふるさと納税を行うことによる大田区への影響の認知度.....	171
4 情報取得・デジタル化について	173
(1) おおた区報で区政に関する情報を取得する際に、最も利用する媒体.....	173
(2) 区民サービスのデジタル化に関して、最も希望するもの.....	175
5 防災・防犯について	177
(1) 災害から身を守るための取組	177
(2) 「大田区防災アプリ」の認知度.....	179
(3) 「緊急医療救護所」の認知度.....	181
(4) 「自動通話録音機」の認知度.....	183
6 商店街について	185
(1) 商店街を訪れる機会	185
7 公園・緑・景観について	187
(1) 公園の満足度	187
(2) 身近な場所での水や緑への親しみ.....	191
(3) 地域の景観	193
(4) 多彩で魅力的な景観のあるまちにするため、重視すべきこと.....	195
(5) まちづくりの進捗に関する実感.....	197
8 鉄道駅周辺のまちづくりについて	202
(1) 駅周辺の整備の進捗度	202

9	国際交流・多文化共生について	204
	(1) おおた国際交流センター (Minto Ota)の認知度	204
	(2) 日本人と外国人の共生	206
10	羽田空港跡地・羽田イノベーションシティについて	208
	(1) 羽田イノベーションシティの認知度	208
	(2) 羽田イノベーションシティへの期待感や満足感	210
	(3) 羽田イノベーションシティの取組みのうち、期待するもの	212
	(4) 遊ぶ場所、働く場所としての空港臨海部の魅力	214
	(5) 羽田空港跡地まちづくりを知る手段	216
	(6) 羽田空港跡地第1ゾーンに望む機能	218
	(7) HANEDA GLOBAL WINGS エリアの利用したことがある施設	220
	(8) 「ソラムナード羽田緑地」でいたいこと	222
V	区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査④	225
1	回答者の属性について	227
2	心の相談・居場所について	229
	(1) 悩みや心配事を相談できるところの有無	229
	(2) 自分らしく過ごせたり、居心地がよいと感じる居場所の有無	231
	(3) 自分らしく過ごせたり、居心地がよいと感じる居場所	233
3	教育環境について	235
	(1) 英語でのコミュニケーション	235
	(2) 平等な学びに対する実感	237
4	公園について	239
	(1) 公園の満足度	239
5	環境問題について	243
	(1) 環境問題に関する情報の収集方法	243
	(2) 環境問題に関する普段の生活での実践	245
	(3) 参加したい環境に関するイベント	247
6	景色（景観）について	249
	(1) 住んでいるまちの景色（風景）	249
	(2) 景色（風景）を良くするために大切なもの	251
7	闇バイトについて	253
	(1) 「闇バイト」の危険性の理解度	253
VI	区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査⑤	255
1	回答者の属性について	257
2	居住年数・定住意向について	263
	(1) 居住年数	263
	(2) 今後の居住意向	265
	(3) 大田区に住み続けたい理由	267

(4) 大田区に住み続けたい期間	269
(5) 大田区外へ移りたい理由	271
3 子育て環境について	273
(1) 子育ての孤独感・孤立感	273
(2) 子育てで相談できる人や場所の有無.....	275
(3) 地域に見守られてこどもが成長していると感じるか.....	277
(4) こどもが将来への希望をもって、学び、成長することができるか。.....	279
VII 資料編～使用した調査票～	281

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な施策立案に向けた区民意識の把握を目的とし、区内在住の区民を対象とした意識調査を実施する。

2 調査の内容

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査①（18歳以上の方が対象）	
（1）回答者の属性	（4）共生社会について
（2）公共交通について	（5）消費者センターについて
（3）自転車について	
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査②（18歳以上の方が対象）	
（1）回答者の属性	（5）スポーツについて
（2）地域活動について	（6）文化芸術について
（3）地域のつながり・見守りについて	（7）生涯学習について
（4）健康・医療について	（8）居住環境について
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査③（18歳以上の方が対象）	
（1）回答者の属性	（6）商店街について
（2）SDGsについて	（7）公園・緑・景観について
（3）ふるさと納税について	（8）鉄道駅周辺のまちづくりについて
（4）情報取得・デジタル化について	（9）国際交流・多文化共生について
（5）防災・防犯について	（10）羽田空港跡地・羽田イノベーションシティについて
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査④（小・中・高校生が対象）	
（1）回答者の属性	（5）環境問題について
（2）心の相談・居場所について	（6）景色（景観）について
（3）教育環境について	（7）闇バイトについて
（4）公園について	
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査⑤（未就学児と小学生の保護者が対象）	
（1）回答者の属性	（3）子育て環境について
（2）居住年数・定住意向について	

3 調査設計

調査地域	大田区全域
調査対象	[区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査①～③] 区内に居住する満18歳以上の男女個人（外国人含む） [区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査④] 区内に居住する小学4年生から高校3年生及び高校生世代の男女個人（外国人含む） [区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査⑤] 区内に居住する未就学児と小学生の保護者の男女個人（外国人含む）
標本数	12,000人 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査①～③：各3,000人 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査④：1,500人 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査⑤：1,500人
抽出方法	層化無作為抽出法
調査方法	配付は郵送方式、回答収集は郵送又は電子申請方式
調査期間	令和7年11月10日から12月2日
有効回収数	区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査① 1,121件（郵送 673件＋電子申請 448件） 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査② 1,024件（郵送 676件＋電子申請 348件） 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査③ 1,005件（郵送 632件＋電子申請 373件） 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査④ 567件（郵送 341件＋電子申請 226件） 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査⑤ 689件（郵送 309件＋電子申請 380件）
有効回収率	区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査① 37.4% 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査② 34.1% 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査③ 33.5% 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査④ 37.8% 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査⑤ 45.9%

4 報告書の見方について

- (1) 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- (2) 調査の結果の比率は、その設問の回答者を母数として、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記してある。このため、その合計値が100%にならない場合がある。
- (3) 複数の選択肢をまとめたグループ「《 》」の数値は、各選択肢に表示されている比率同士の加算ではなく、該当する回答者数を合算した上で、上記(2)に基づき改めて算出した比率を用いている。このため、各選択肢の表示値を単純に足し合わせた数値と、グループの合計値が一致しない場合があるが、本文中の記述はすべてこのルールに基づく数値を採用している。
- (4) 複数回答の設問は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- (5) 属性別クロス集計等は、無回答を除いているため、回答者の合計が全体と一致しない場合がある。
- (6) 年代別は、男女ともに「18～19歳」は回答者が少数であるため、「10・20代」とまとめて集計及び掲載している。
- (7) 回答者数(n)が30人未満は、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。
- (8) 図表及び本文中では、選択肢を一部省略した表現としている場合がある。

5 標本誤差について

今回のような調査対象（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全数調査（全ての人を調査）と比べ、調査結果に差が生じることがある。その誤差を標本誤差という。

標本誤差は、95%の信頼度で以下の式から得られる数値であり、真の値（全数調査をした場合に得られる数値）は標本調査で得られた結果に、この標本誤差を引いた値と加えた値の範囲内にあることとなる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N : 母集団の大きさ
n : 回答者数
p : 回答の比率 (%)

【各調査回答率における標本誤差早見表（信頼度 95%で算出している）】

回答の比率 (P) 回答者数 (n)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
1,000	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
1,121	±1.8%	±2.4%	±2.7%	±2.9%	±3.0%
1,024	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.1%
1,005	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
567	±2.5%	±3.3%	±3.8%	±4.1%	±4.2%
689	±2.3%	±3.0%	±3.5%	±3.7%	±3.8%

早見表の見方

たとえば、今回の区民意識調査①の回答者数（1,121人）を100%とする比率で、ある質問の回答が50%であった場合、大田区民（区内在住の18歳以上の方）のこの質問に対する回答は、47.0%～53.0%の間にあると考えられる。

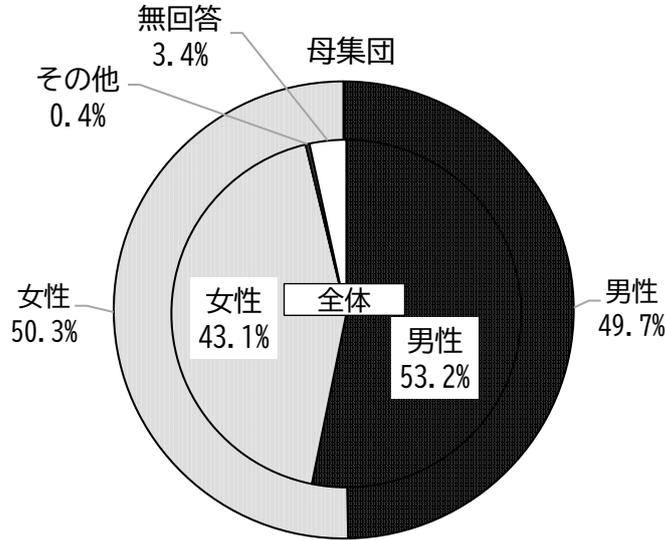
Ⅱ 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査①

1 回答者の属性について

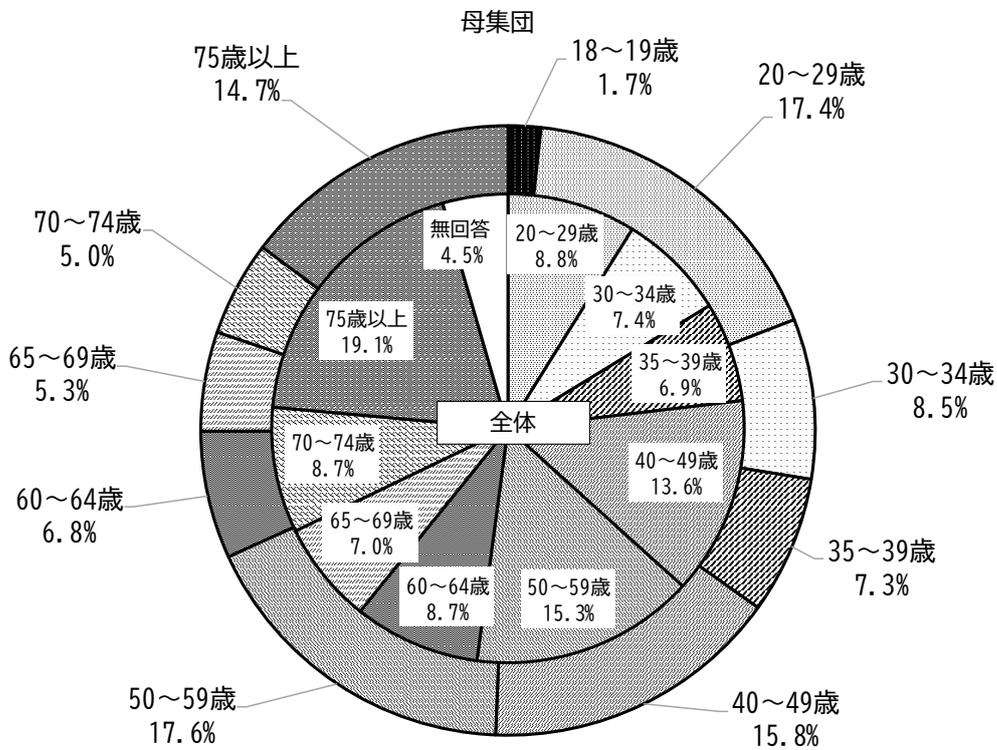
(1) 性別

全体：大田区の18歳以上の人口（n=655,759）※令和8年1月1日

回答者：有効回収数（n=1,121）



(2) 年齢

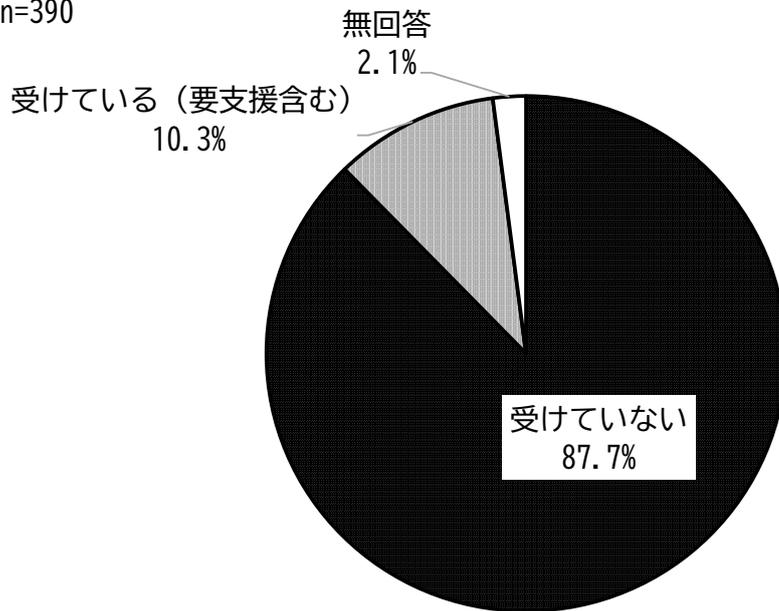


【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和8年1月1日現在版

(3) 要介護認定の状況

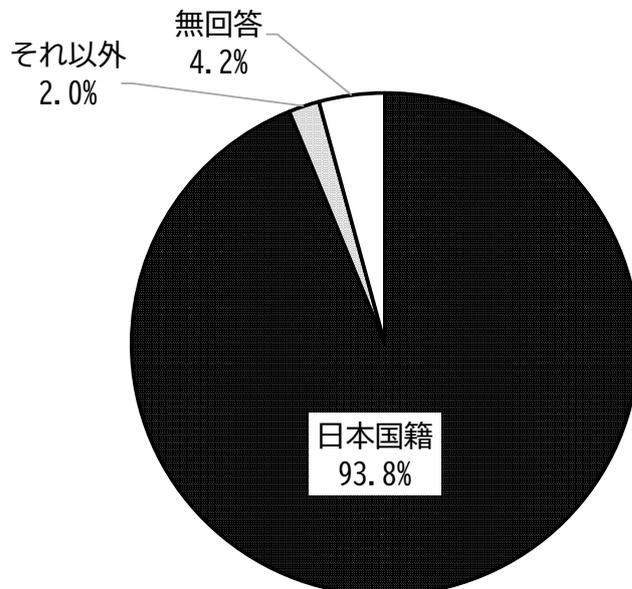
【65歳以上の方】

全体 n=390



(4) 国籍

全体 n=1121

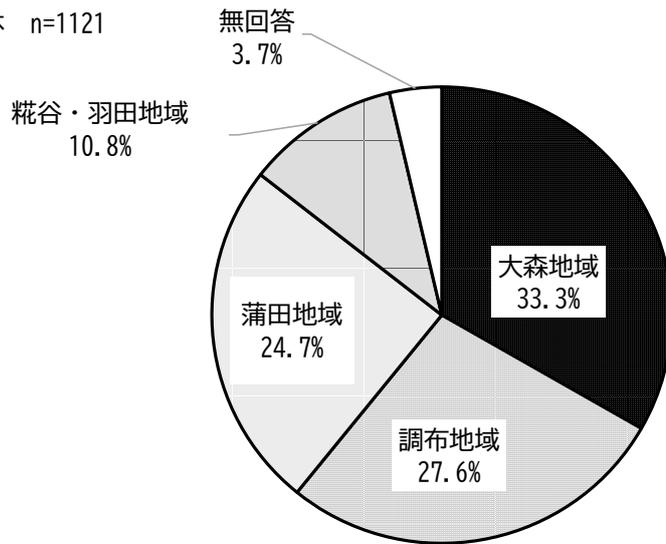


■日本国籍以外

国名	中国	フィリピン	台湾	ベトナム	タイ	ミャンマー	ネパール	パキスタン	スペイン	ベネズエラ	無回答
人数	7	2	1	1	1	1	1	1	1	1	5

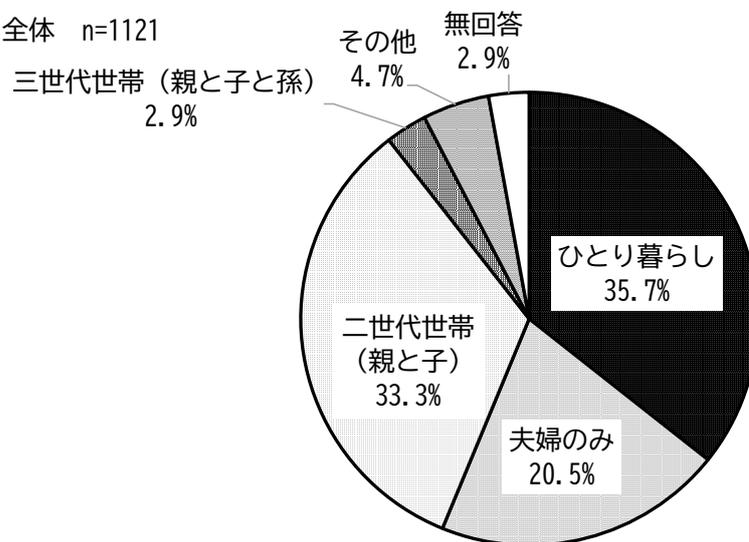
(5) 居住地域

全体 n=1121



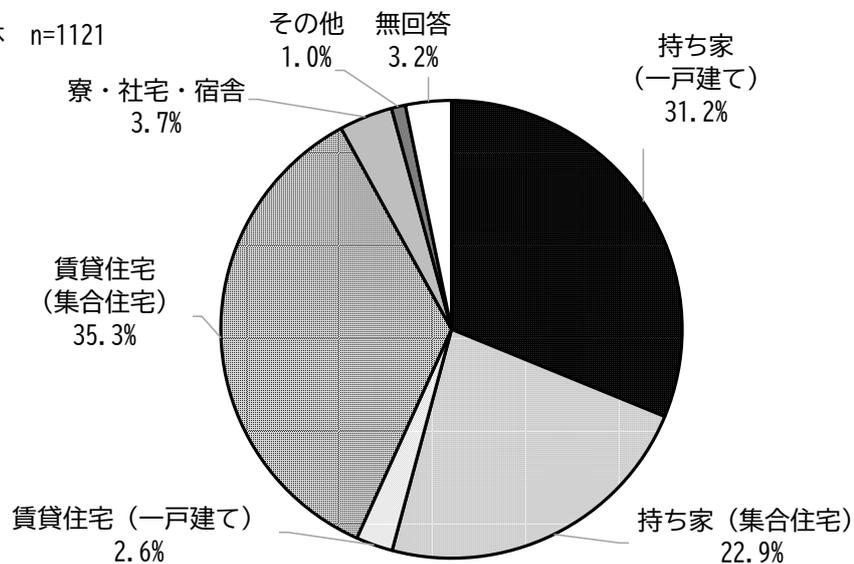
(6) 家族構成

全体 n=1121

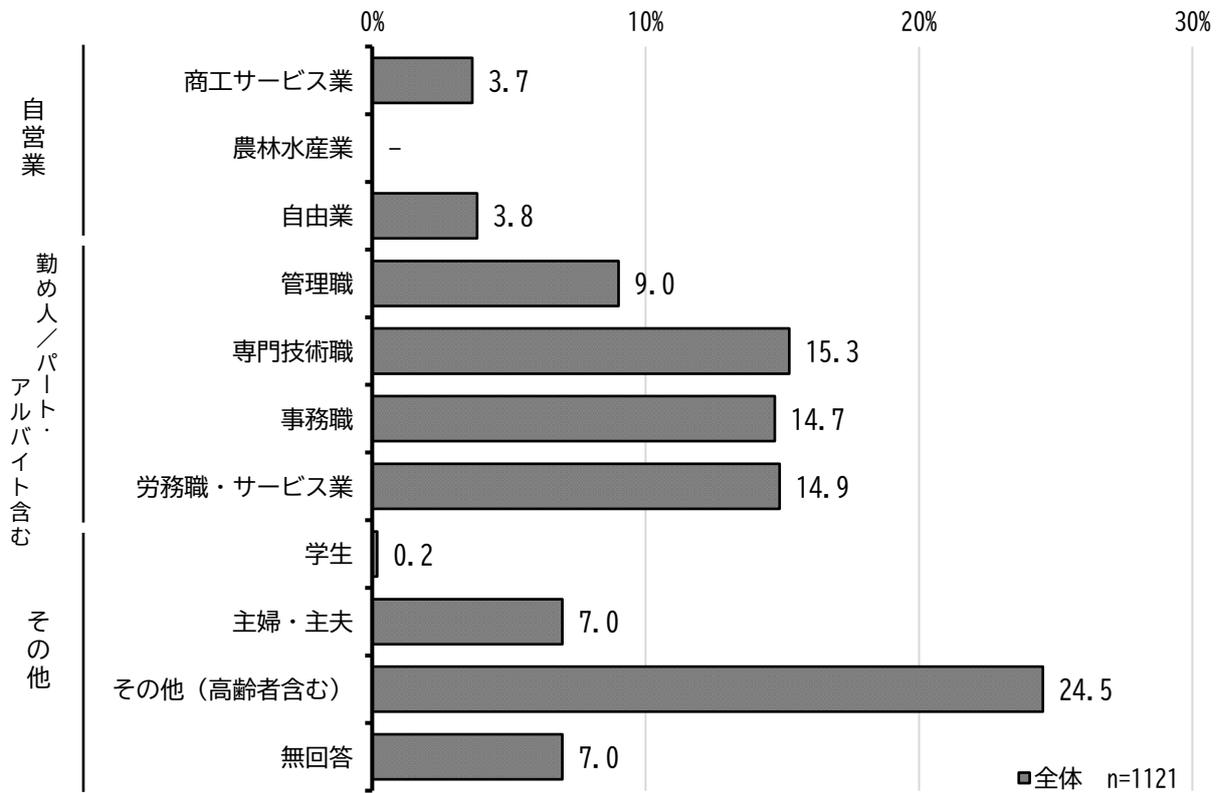


(7) 住まいの種類

全体 n=1121

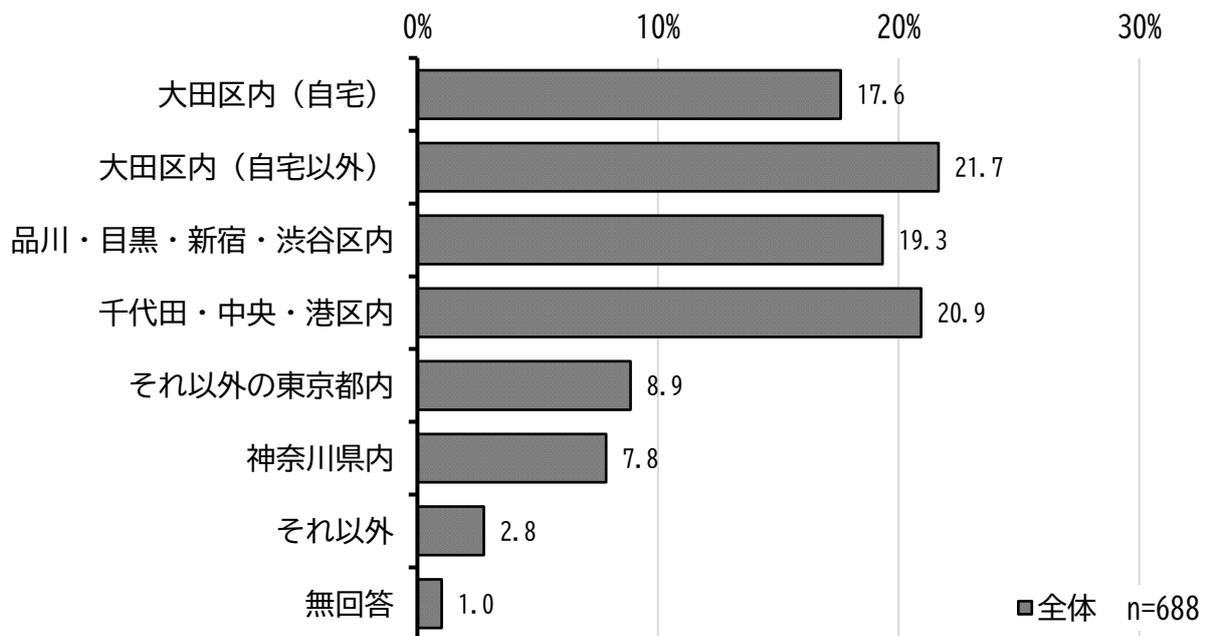


(8) 職業

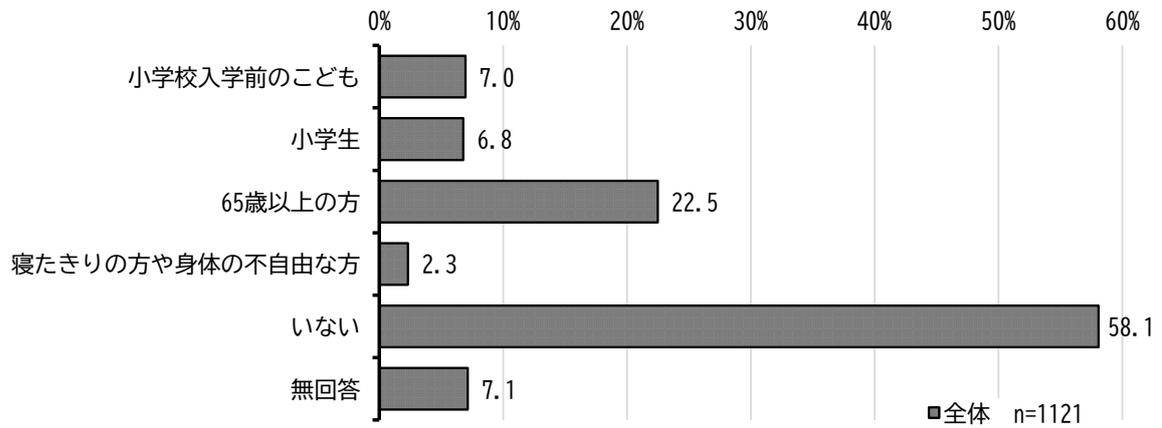


(9) 主な通勤・通学先

【(8) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】



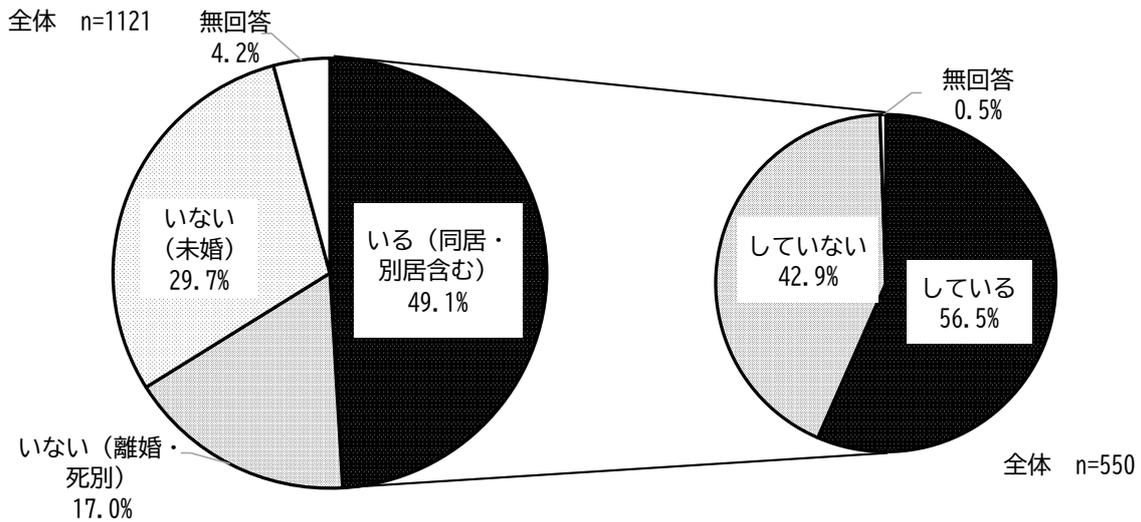
(10) 同居家族



(11) 配偶者の有無

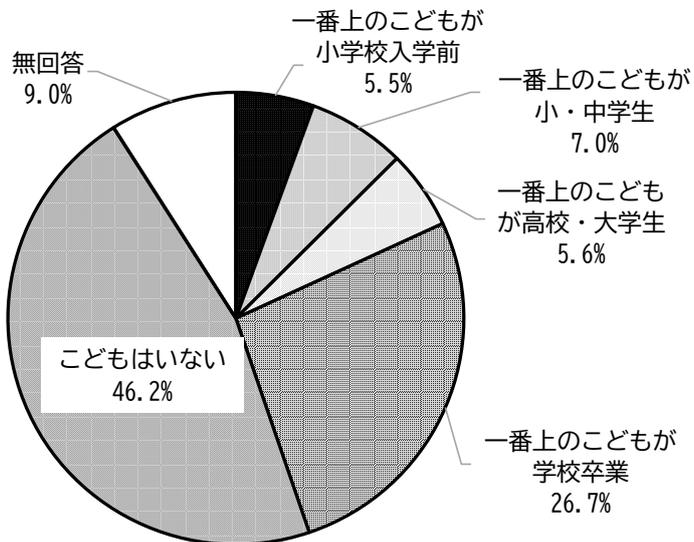
(12) 共働きについて

【(11) 配偶者の有無で「いる（同居・別居含む）」と回答した方】

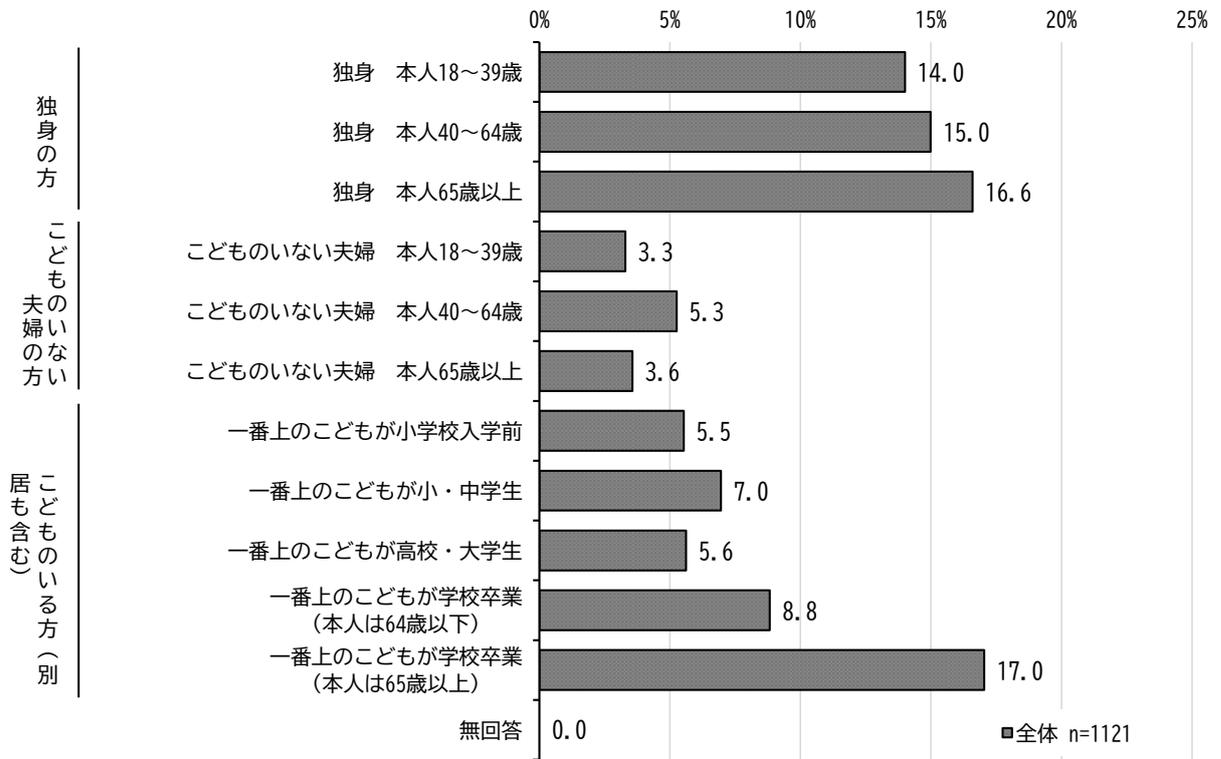


(13) こどもの有無

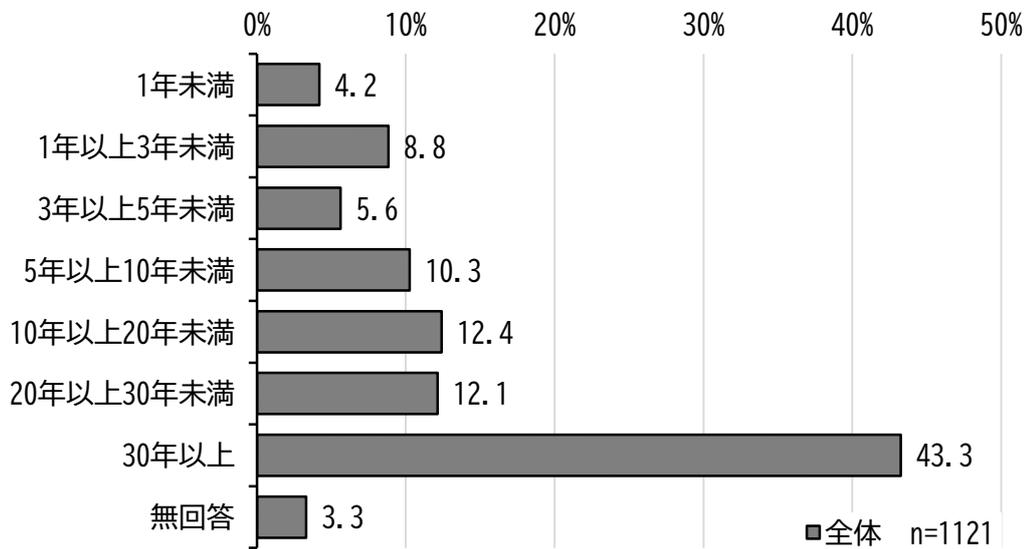
全体 n=1121



(14) ご自身のステージ



(15) 居住年数



2 公共交通について

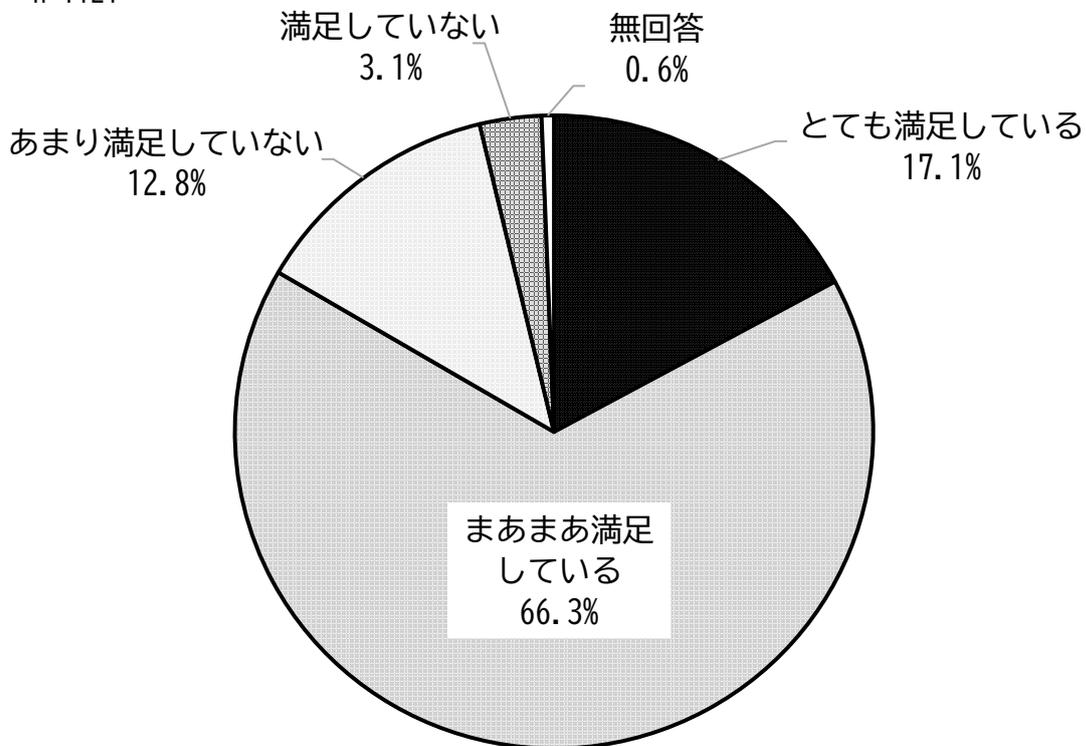
(1) 公共交通網の満足度

◇《満足している》(「とても満足している」「まあまあ満足している」の合計値)は8割半ばとなっている

問1 大田区内の公共交通網に満足していますか。(1つのみ)

公共交通網の満足度については、「とても満足している」、「まあまあ満足している」の合計値《満足している》が83.4%、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》が15.9%となっており、《満足している》が67.5ポイント上回っている。

全体 n=1121

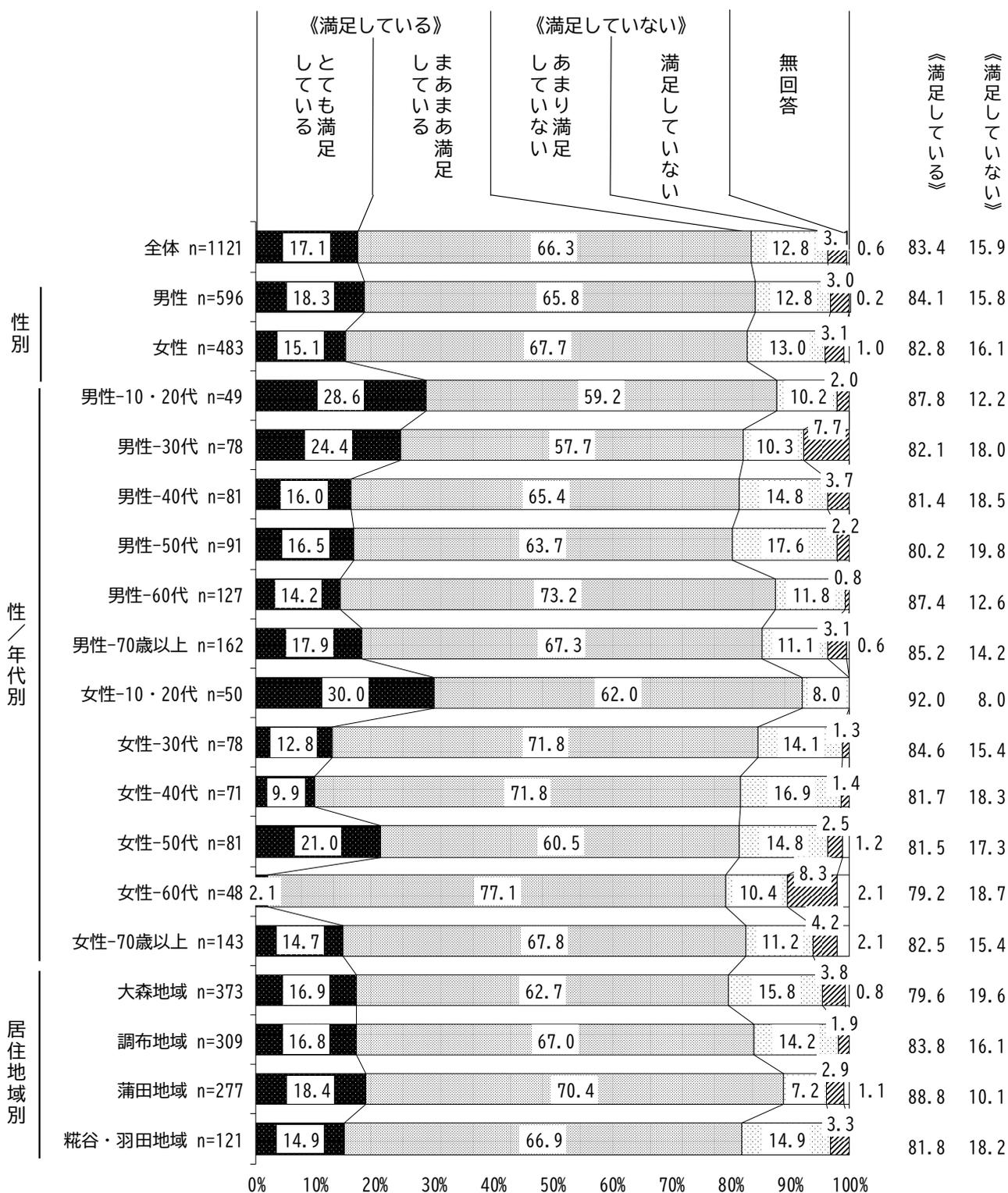


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、《満足している》は男性が84.1%、女性が82.8%と、男性が1.3ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《満足している》は女性10・20代が9割前半と最も高くなっている。次いで、男性10・20代が8割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、《満足している》は蒲田地区が88.8%と高くなっている。

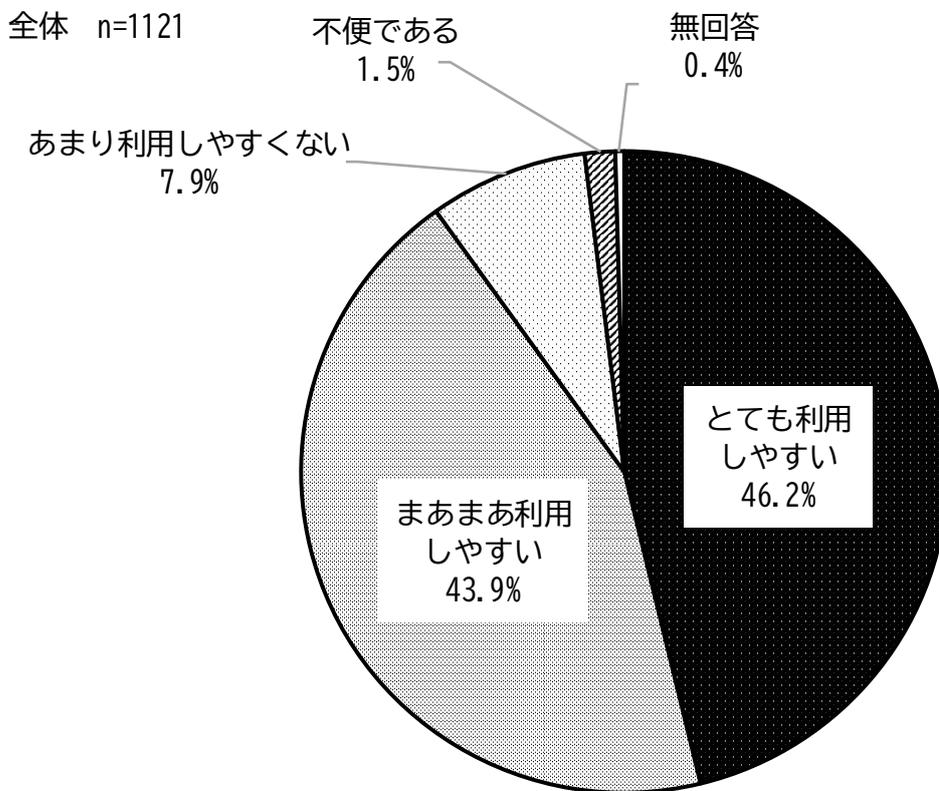


(2) 公共交通機関の利用しやすさ

◇《利用しやすい》(「とても利用しやすい」「まあまあ利用しやすい」の合計値)は約9割となっている

問2 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(1つのみ)

公共交通の利用しやすさについては、「とても利用しやすい」、「まあまあ利用しやすい」の合計値《利用しやすい》が90.1%、「あまり利用しやすくない」、「不便である」の合計値《利用しやすくない》が9.5%となっており、《利用しやすい》が80.6ポイント上回っている。

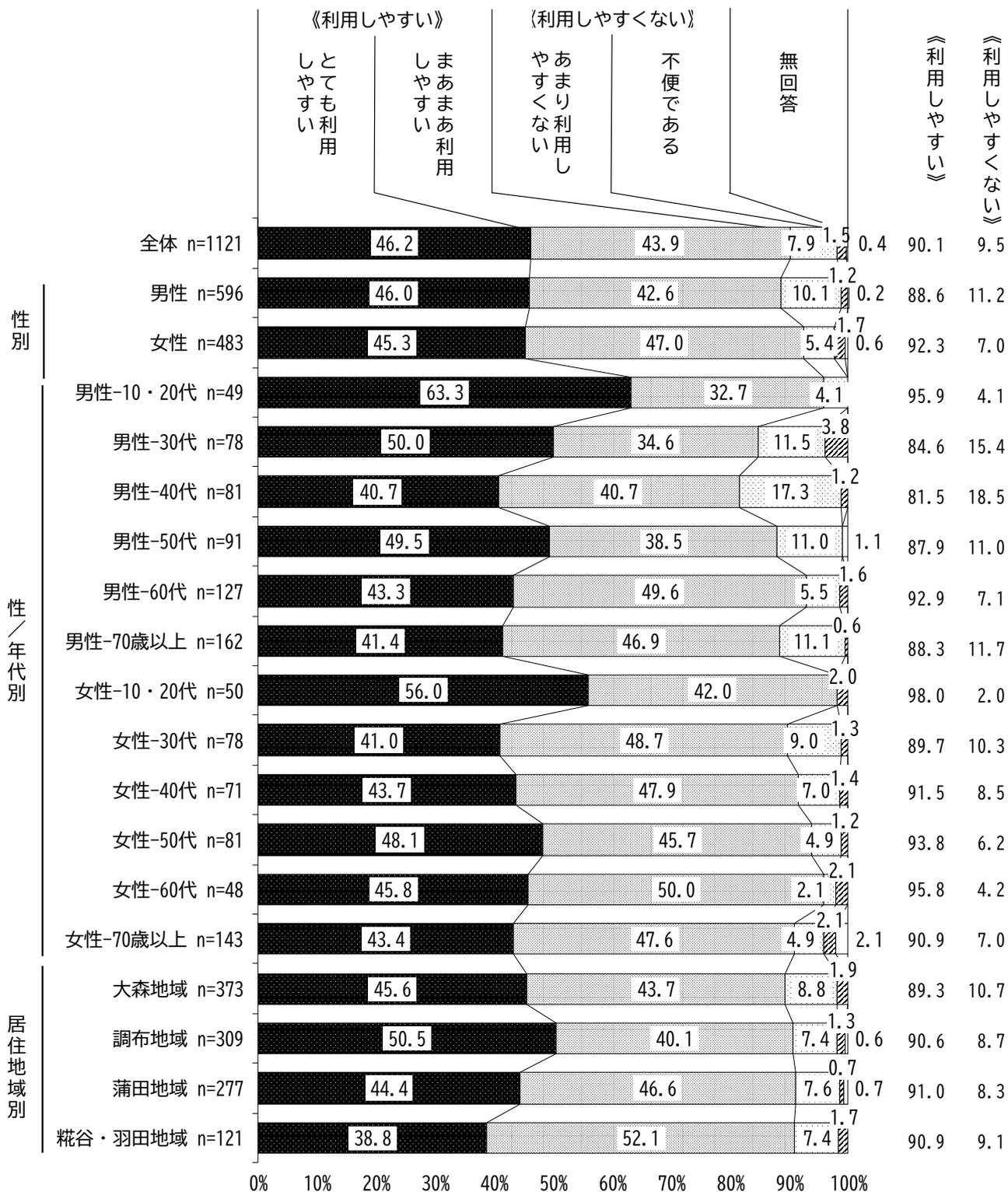


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、《利用しやすい》は男性 88.6%、女性 92.3%となっており、女性が 3.7 ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《利用しやすい》は女性 10・20 代で 9 割後半と最も高くなっている。次いで、男性 10・20 代、女性 50 代、60 代で 9 割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、《利用しやすくない》は大森地域で 10.7%と高くなっている。



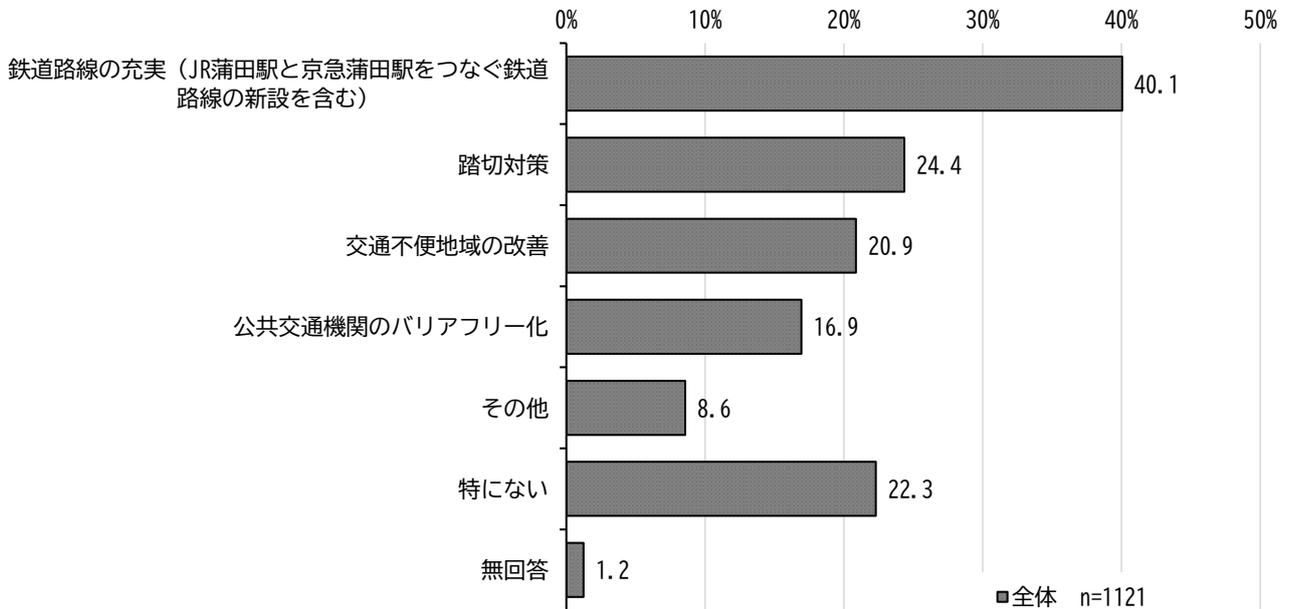
(3) 早期実現を望む大田区内の公共交通対策

◇「鉄道路線の充実（JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の 신설を含む）」が約4割で最も高くなっている

問3 大田区内の公共交通対策の中で、早期に実現してほしいものはありますか。（複数選択可）

早期実現を望む大田区内の公共交通対策については、「鉄道路線の充実（JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の 신설を含む）」が40.1%で最も高く、次いで「踏切対策」が24.4%、「交通不便地域の改善」が20.9%、「公共交通機関のバリアフリー化」が16.9%となっている。

なお、「特にない」は22.3%となっている。

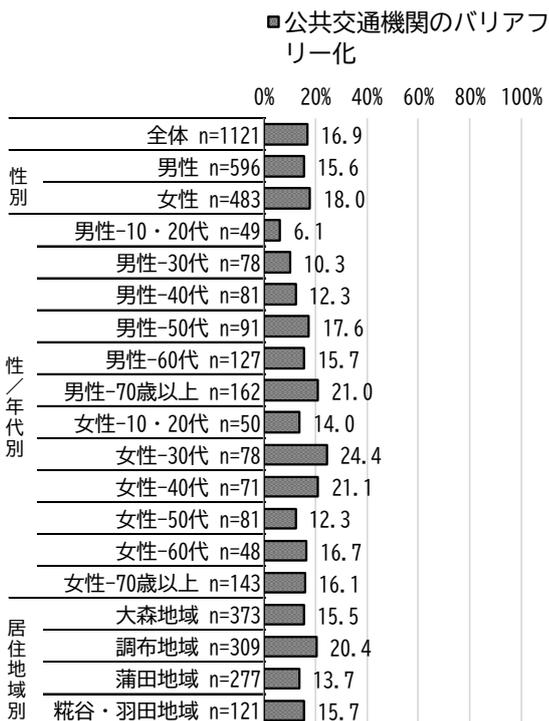
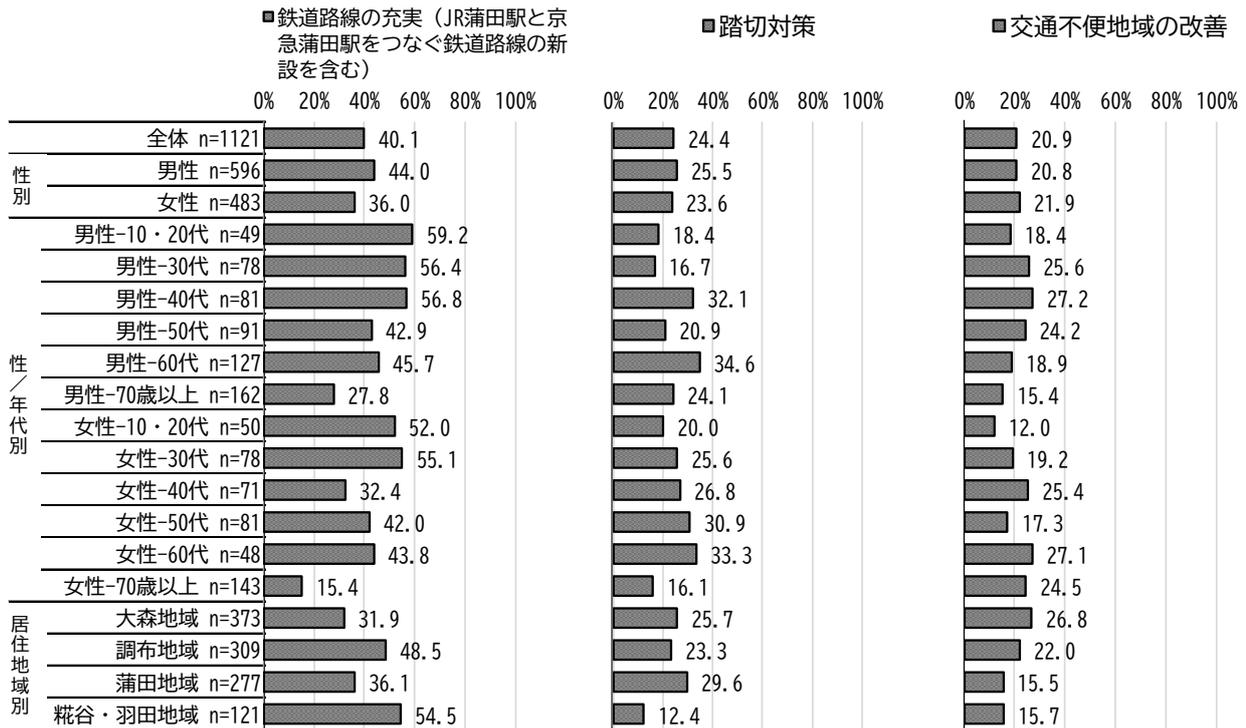


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「鉄道路線の充実（JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」は男性が 44.0%、女性が 36.0%となっており、男性が 8.0 ポイント上回っている。「公共交通機関のバリアフリー化」は男性が 15.6%、女性が 18.0%となっており、女性が 2.4 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「鉄道路線の充実（JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」は男性 40 代以下及び女性 30 代以下で 5 割台と高くなっている。

居住地域別でみると、「鉄道路線の充実（JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」は糞谷・羽田地域で 54.5%と高くなっている。



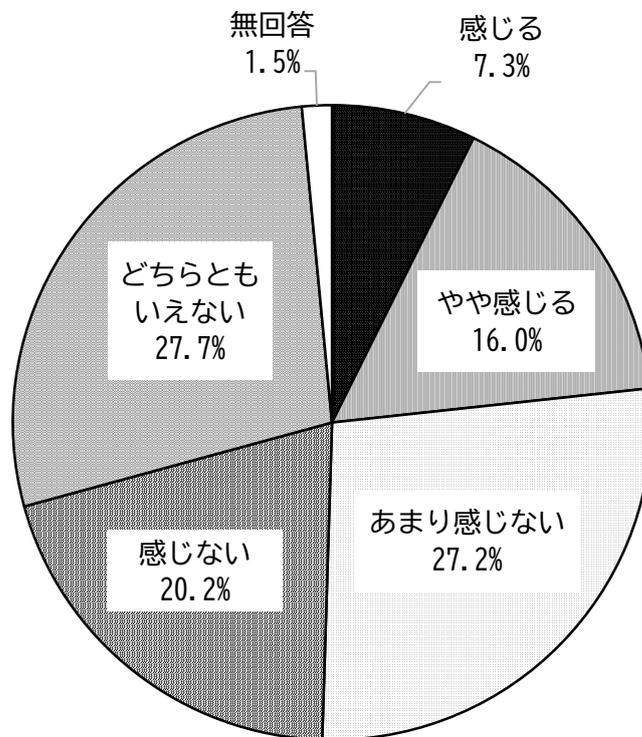
(4) 空港臨海部の埋立島部への訪れやすさ

◇《感じる》(「感じる」「やや感じる」の合計値)は2割前半となっている

問4 バス、車、自転車等で空港臨海部の埋立島部(平和島、昭和島、京浜島、東海、城南島、令和島)へ訪れやすくなったと感じますか。該当するものを選択してください。(1つのみ)

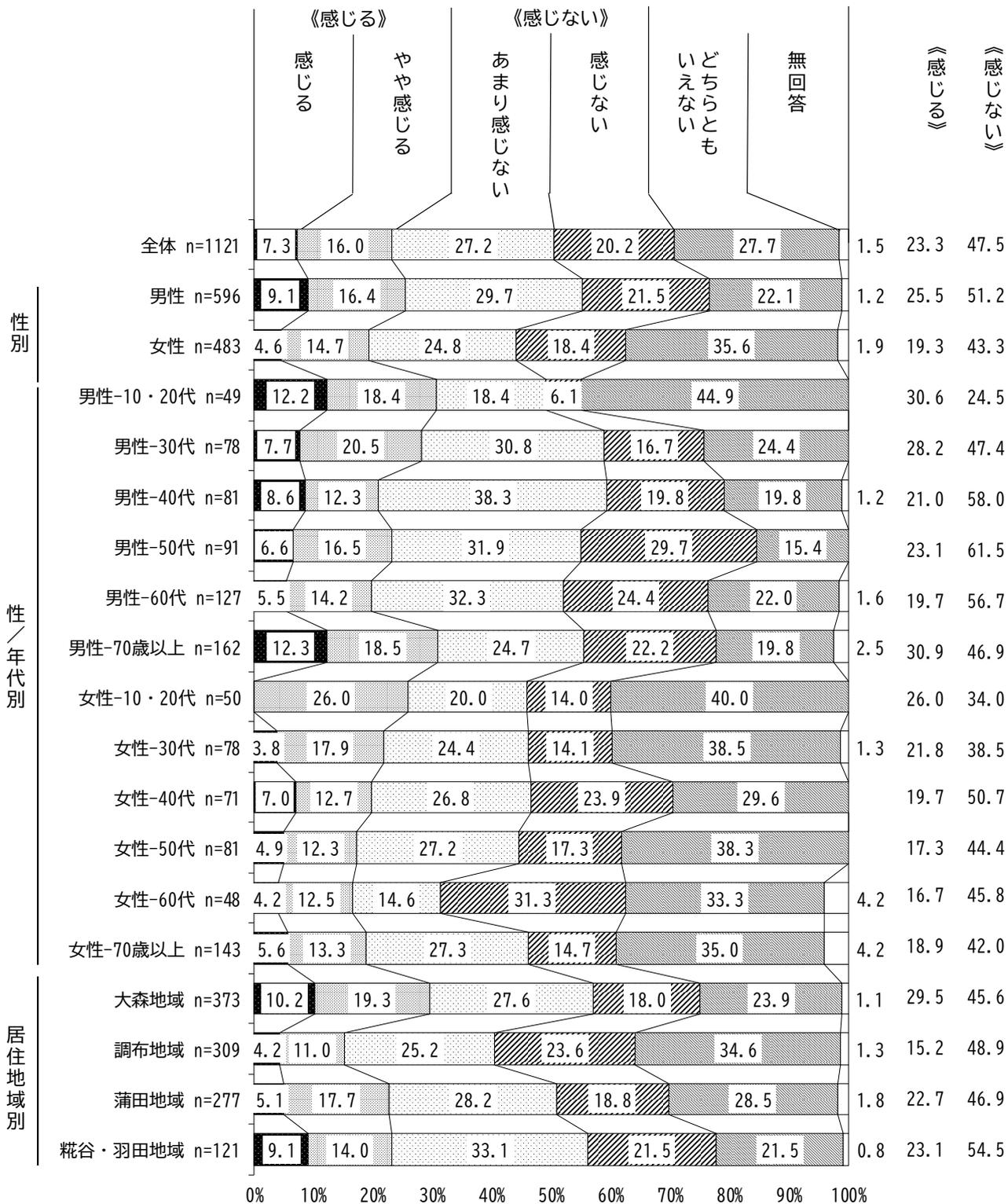
空港臨海部の埋立島部への訪れやすさについては、《感じる》(「感じる」「やや感じる」の合計値)が23.3%、《感じない》(「あまり感じない」「感じない」の合計値)が47.5%となっており、《感じる》が24.2ポイント上回っている。

全体 n=1121



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は男性が25.5%、女性が19.3%と、男性が6.2ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、《感じる》は男性10・20代、男性70歳以上で約3割と高くなっている。
 居住地域別でみると、《感じる》は大森地域で29.5%と高くなっている。



3 自転車について

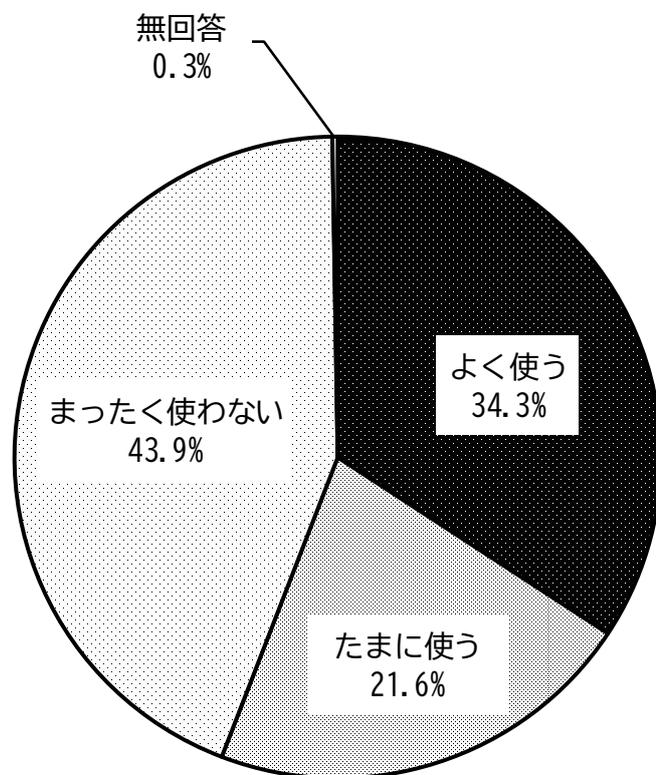
(1) 自転車の利用状況

◇「よく使う」は3割半ばとなっている

問5 普段から自転車を使いますか。(1つのみ)

自転車の利用状況は、「まったく使わない」が43.9%で最も高く、次いで「よく使う」が34.3%、「たまに使う」が21.6%となっている。

全体 n=1121

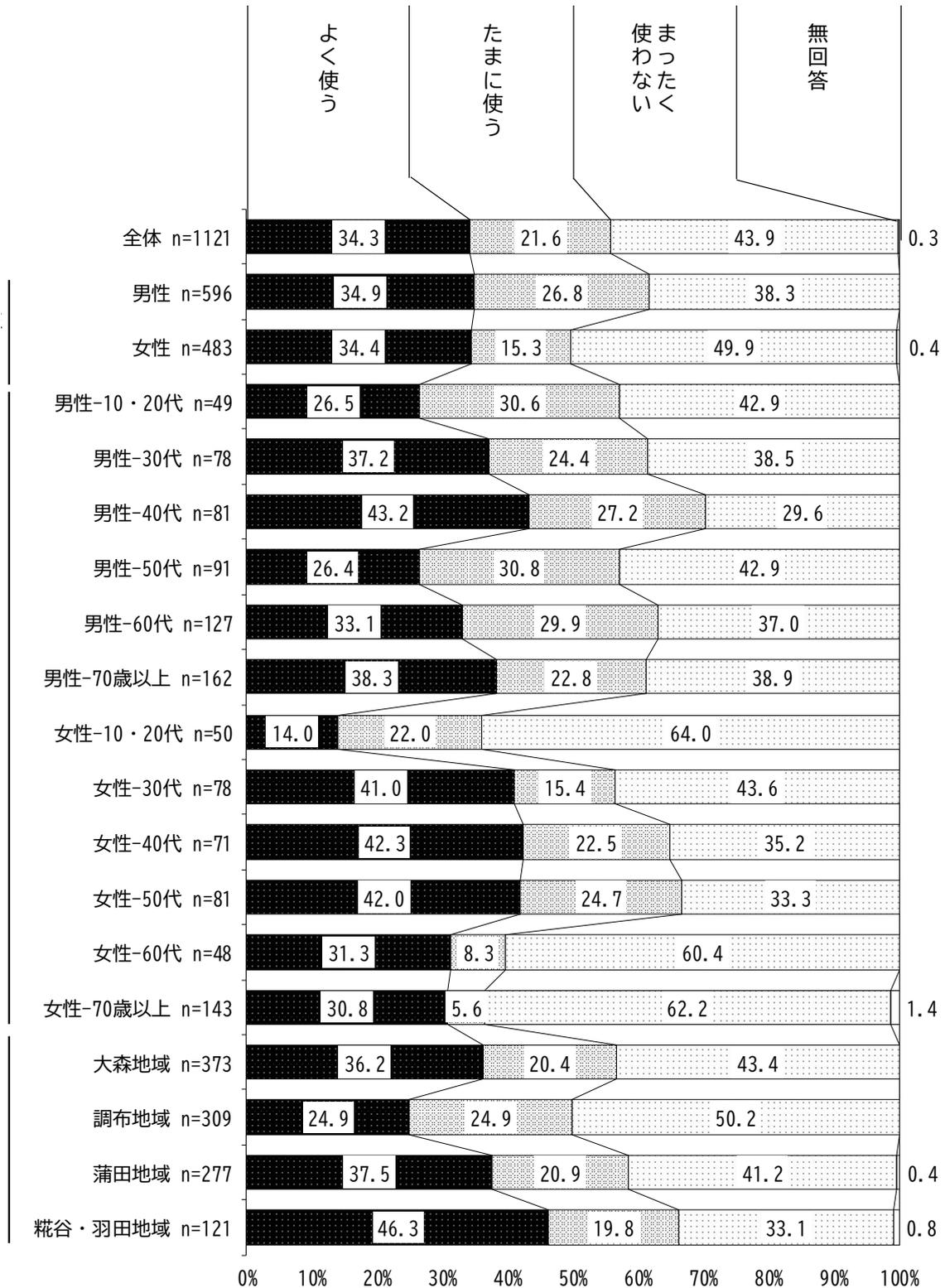


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「全く使わない」は男性が38.3%、女性が49.9%と、女性が11.6ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「よく使う」は男性40代、女性30代、40代、50代で4割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「よく使う」は糞谷・羽田地域で46.3%と高くなっている。



(2) 自転車ナビマーク・ナビラインの認知度

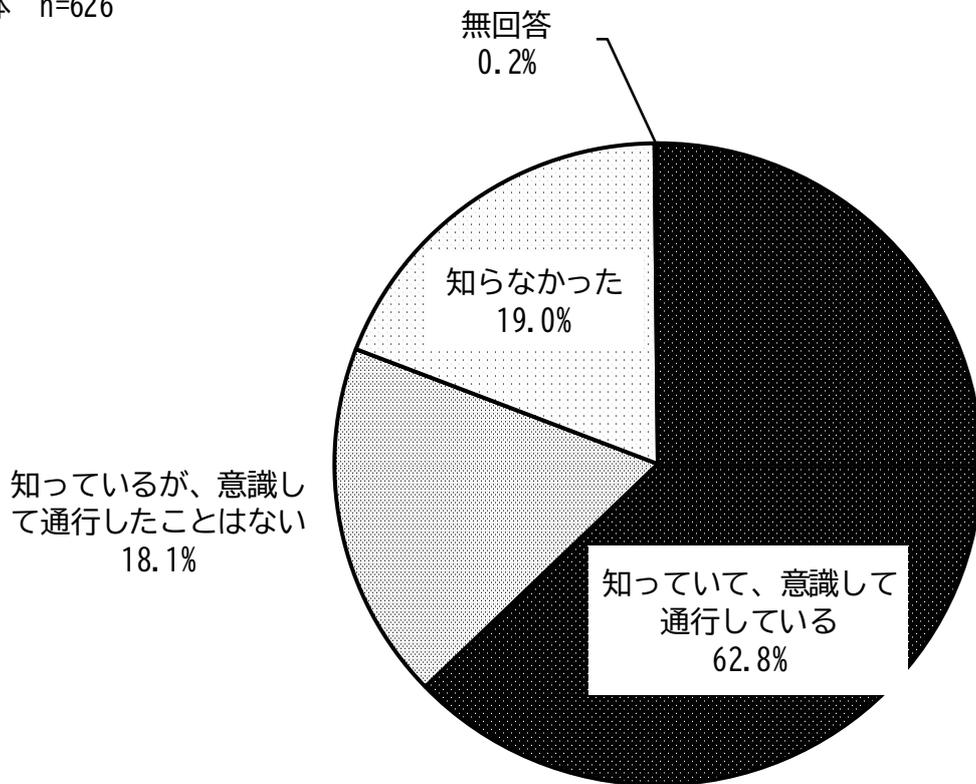
◇「知っていて、意識して通行している」が6割前半で最も高くなっている

【問5で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-1 自転車の通行場所や進行方向を示す「自転車ナビマーク・ナビライン¹」を知っていますか。(1つのみ)

自転車ナビマーク・ナビラインの認知度については、「知っていて、意識して通行している」が62.8%で最も高く、次いで「知っているが、意識して通行したことはない」が18.1、「知らなかった」が19.0%となっている。

全体 n=626



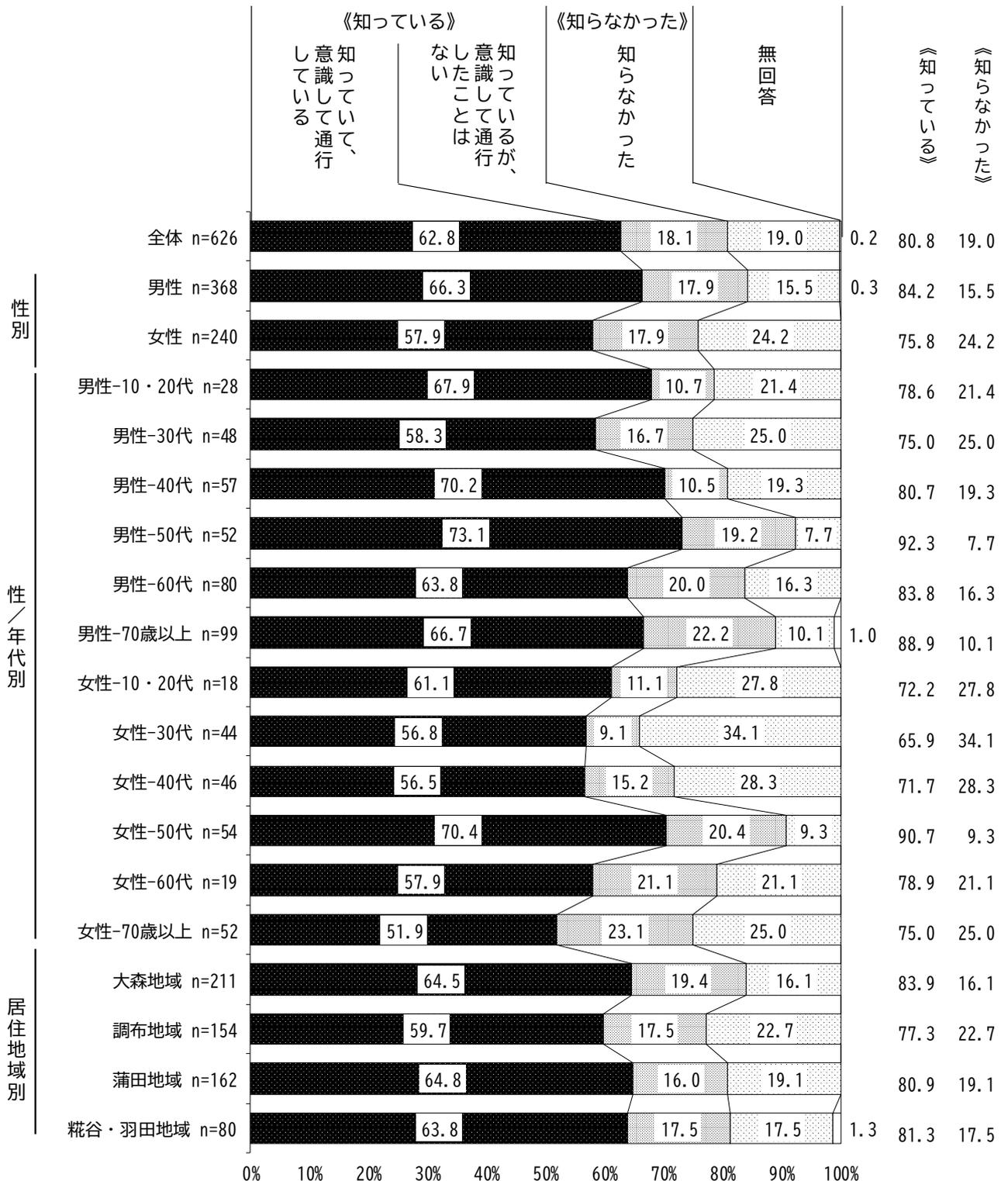
¹ 道路上に設置された白い自転車のマークや青い矢羽根型路面標示

■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「知っていて、意識して通行している」は男性が66.3%、女性が57.9%と、男性が8.4ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「知っていて、意識して通行している」は男性50代で7割前半と最も高くなっている。次いで、男性40代、女性50代で約7割と高くなっている。

居住地域別では、「知っていて、意識して通行している」は調布地域で59.7%と低くなっている。



(3) 自転車走行環境を充実してほしい道路

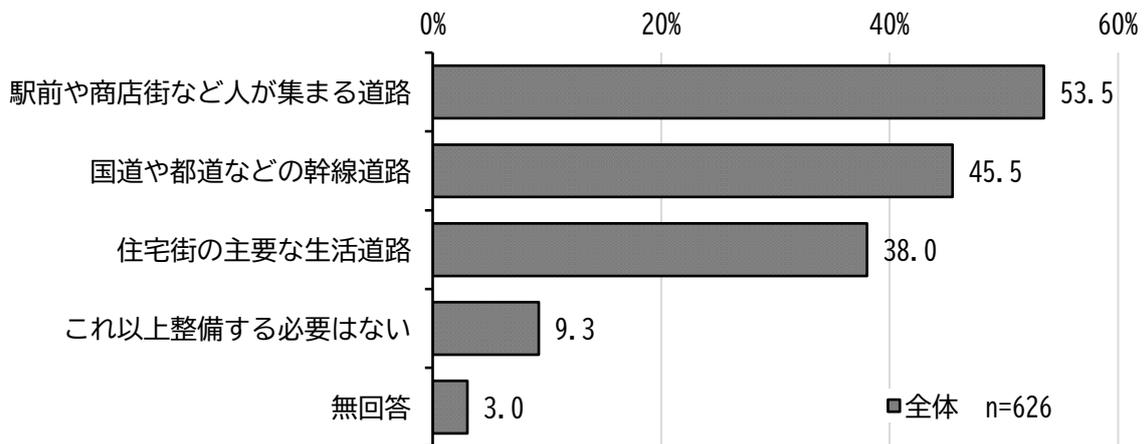
◇「駅前や商店街など人が集まる道路」が5割半ばで最も高くなっている

【問5で「1よく使う」「2たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-2 今後自転車レーンや自転車ナビマーク・ナビラインなどの自転車走行環境をさらに充実してほしい道路はどのような道路ですか。(複数選択可)

自転車走行環境の充実希望道路については、「駅前や商店街など人が集まる道路」が53.5%で最も高く、次いで「国道や都道などの幹線道路」が45.5%、「住宅街の主要な生活道路」が38.0%となっている。

なお、「これ以上整備する必要はない」は9.3%となっている。

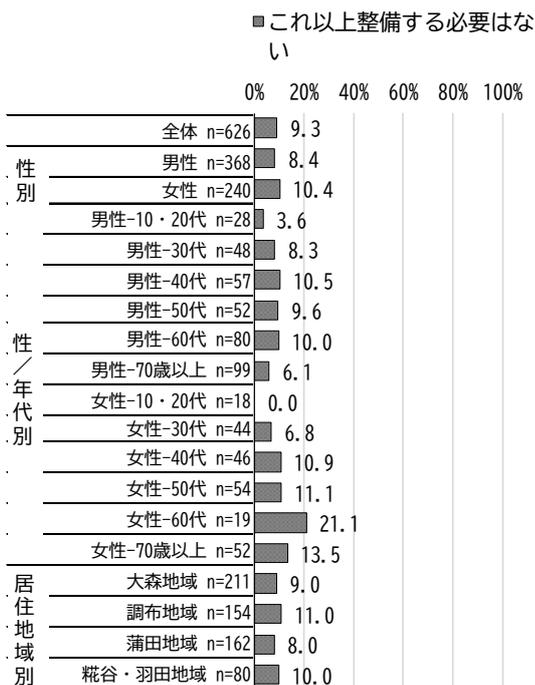
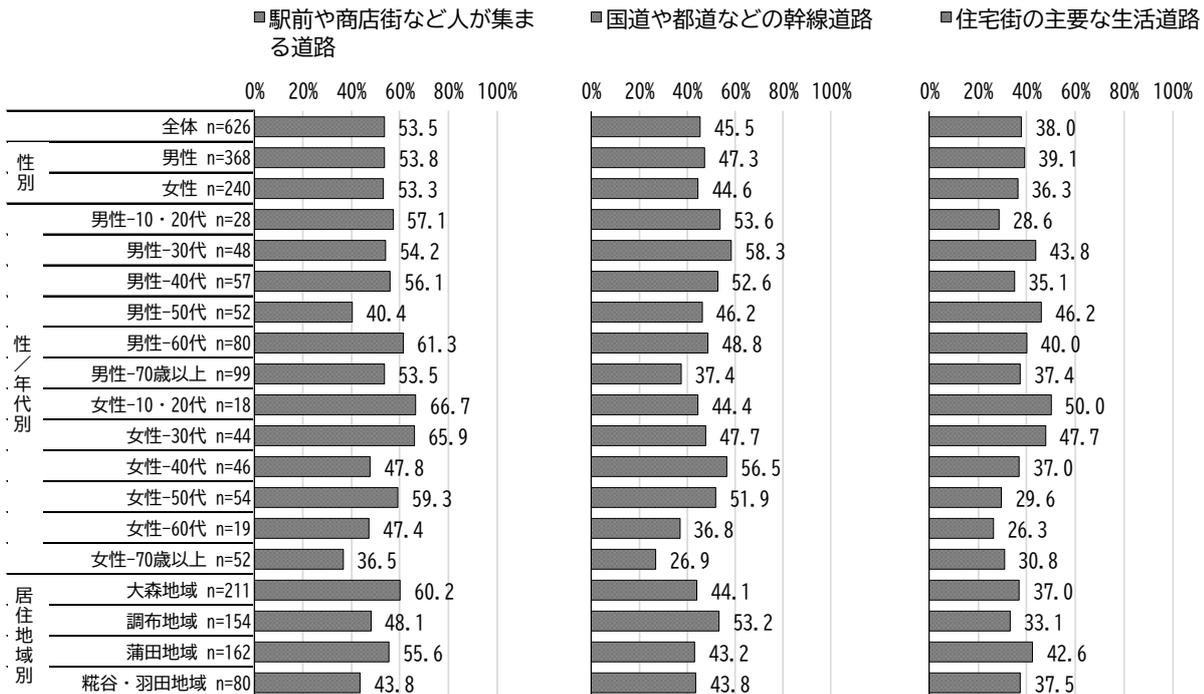


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「国道や都道などの幹線道路」、「住宅街の主要な生活道路」は女性の割合が低くなっている。

性／年代別で見ると、「駅前や商店街など人が集まる道路」は男性 60 代、女性 10・20 代、30 代で 6 割台と高くなっている。「国道や都道などの幹線道路」は男性 10・20 代、30 代、40 代、女性 40 代、50 代で 5 割台と高くなっている。

居住地域別で見ると、「駅前や商店街など人が集まる道路」は、大森地域が 60.2%で高くなっている。



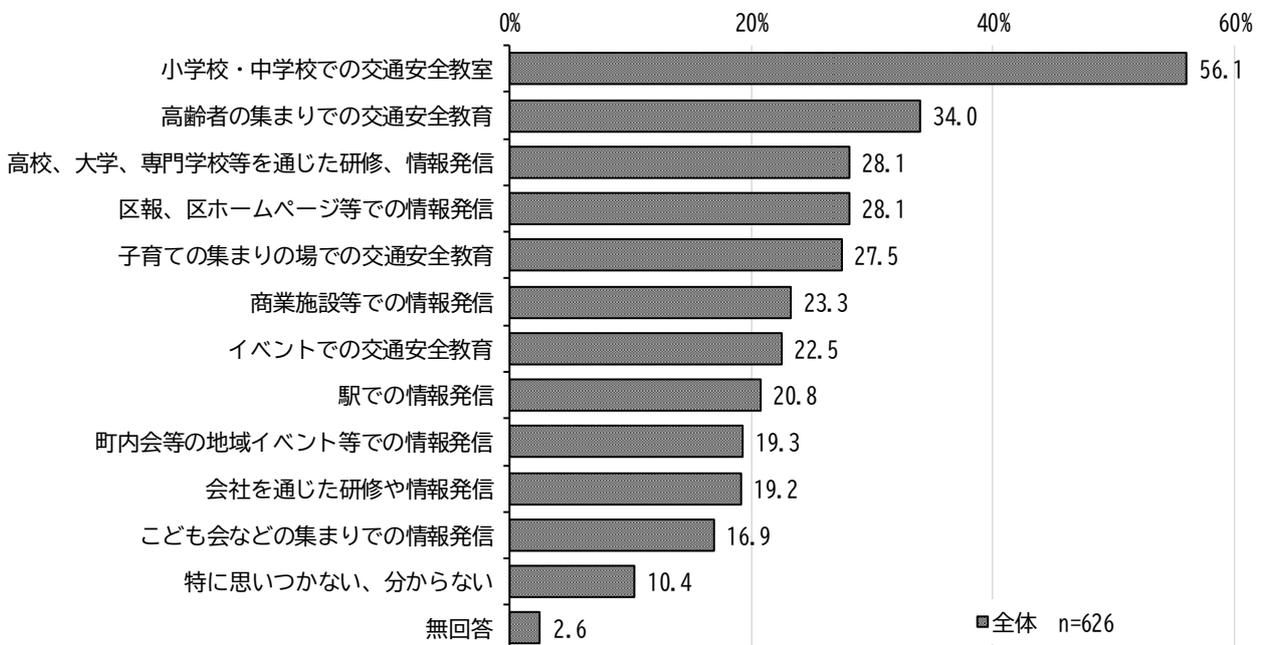
(4) 交通ルールやマナーを学ぶ機会

◇「小学校・中学校での交通安全教室」が5割半ばで最も高くなっている

【問5で「1よく使う」「2たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-3 ご自身や周囲の方が自転車の交通ルールやマナーを学ぶにあたって、どのような機会があると良いと思いますか。(複数選択可)

交通ルールやマナーを学ぶ機会については、「小学校・中学校での交通安全教室」が56.1%で最も高く、次いで「高齢者の集まりでの交通安全教育」が34.0%、「高校、大学、専門学校等を通じた研修、情報発信」、「区報、区ホームページ等での情報発信」が28.1%となっている。

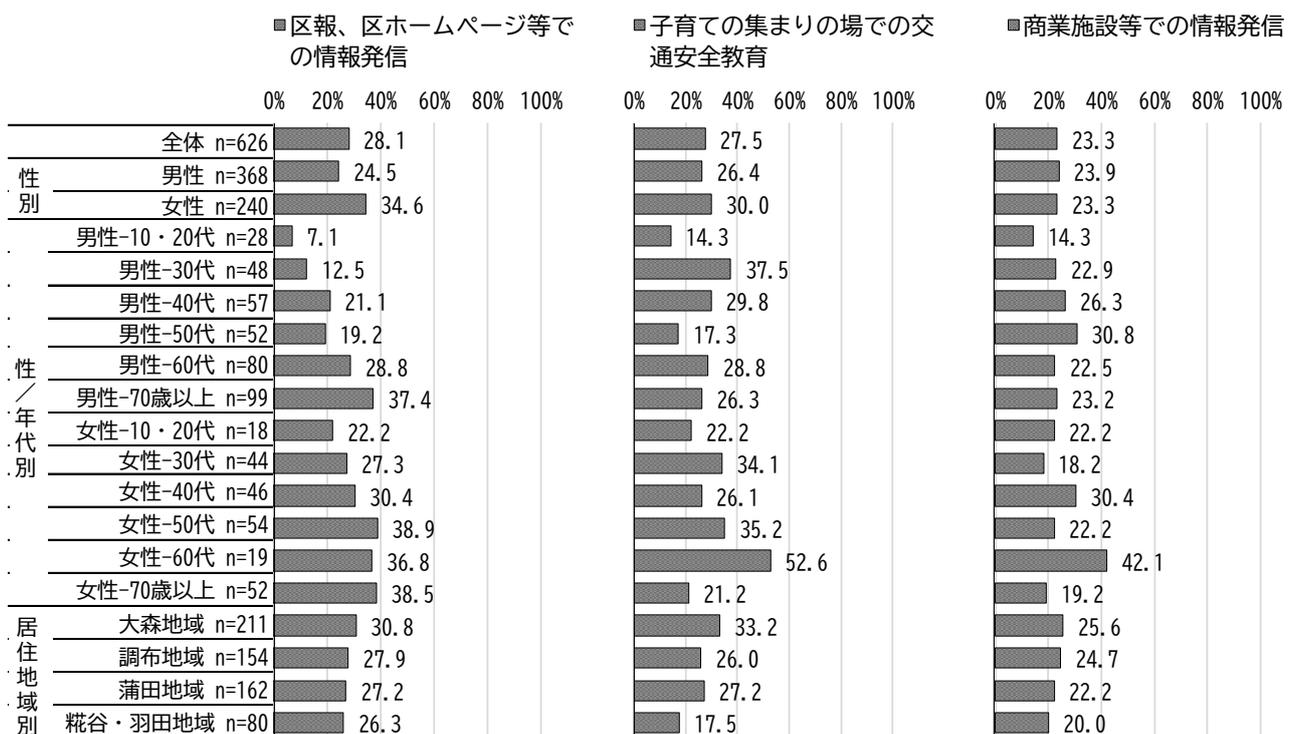
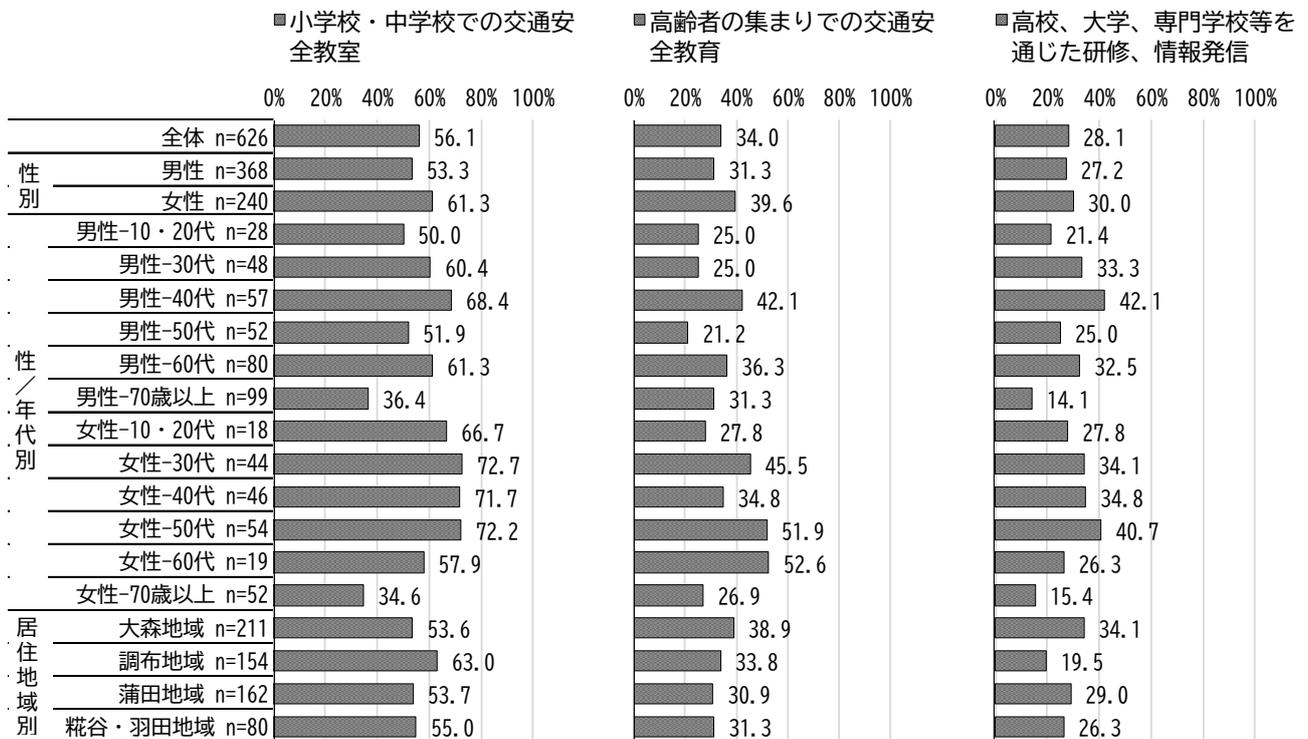


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、「小学校・中学校での交通安全教室」は男性が 53.3%、女性が 61.3%と、女性が 8.0ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「小学校・中学校での交通安全教室」は女性 30代、40代、50代で7割前半と高くなっている。「高齢者の集まりでの交通安全教育」は女性 50代、60代で5割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「小学校・中学校での交通安全教室」は調布地域で 63.0%と高くなっている。



(5) 自身が守れていない交通ルール

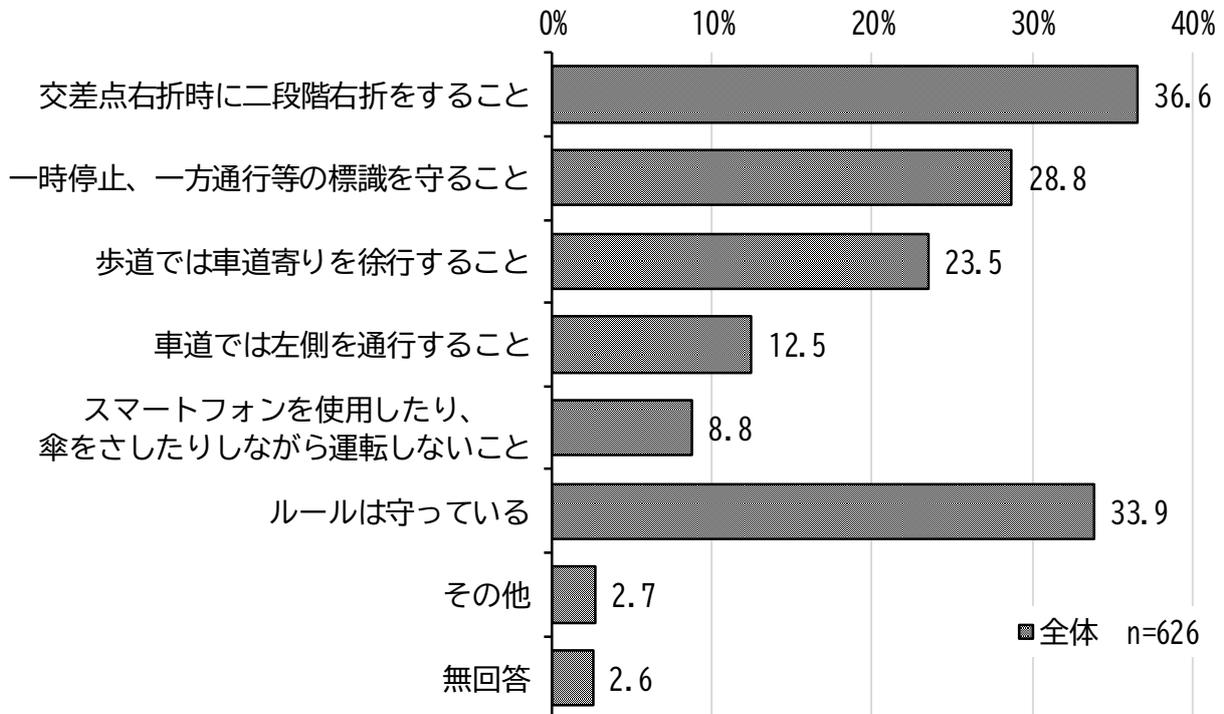
◇「交差点右折時に二段階右折をすること」が3割半ばで最も高くなっている

【問5で「1よく使う」「2たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-4 自転車に乗るときにご自身が守れていないと思う交通ルールはありますか。
(複数選択可)

自身が守れていない交通ルールは、「交差点右折時に二段階右折をすること」が36.6%で最も高く、次いで「一時停止、一方通行等の標識を守ること」が28.8%、「歩道では車道寄りを徐行すること」が23.5%となっている。

「ルールは守っている」は33.9%となっている。

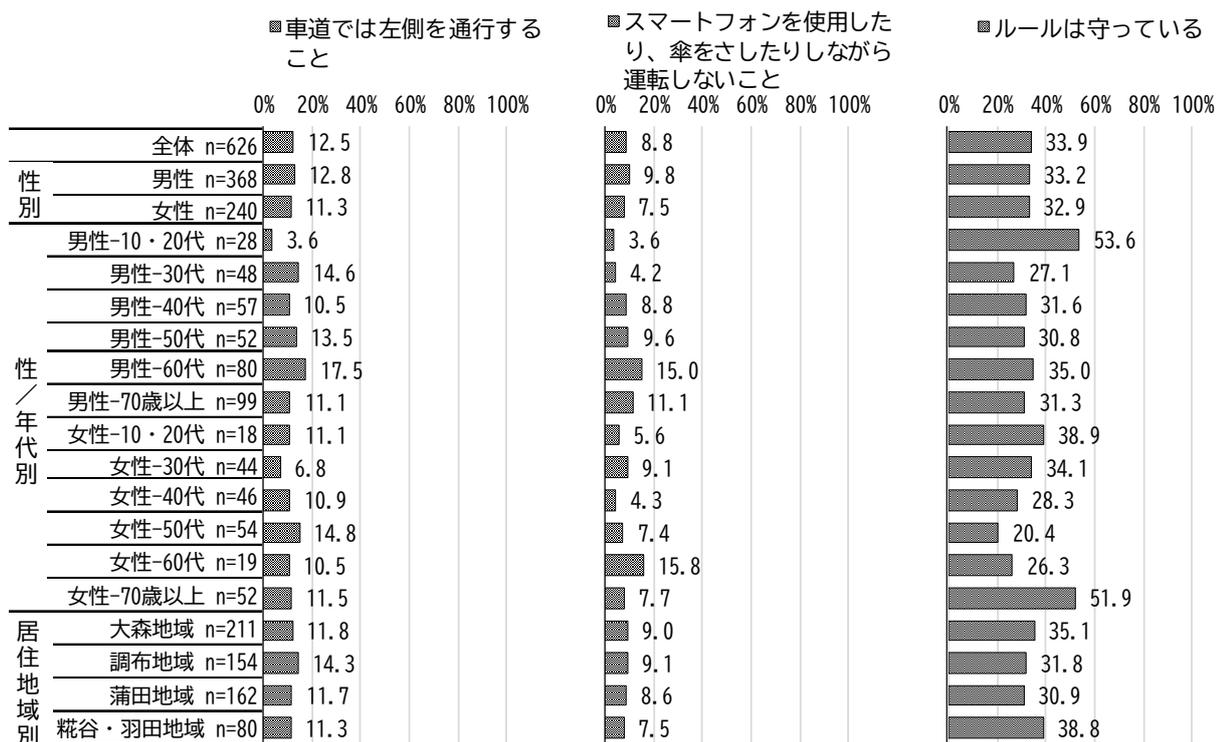
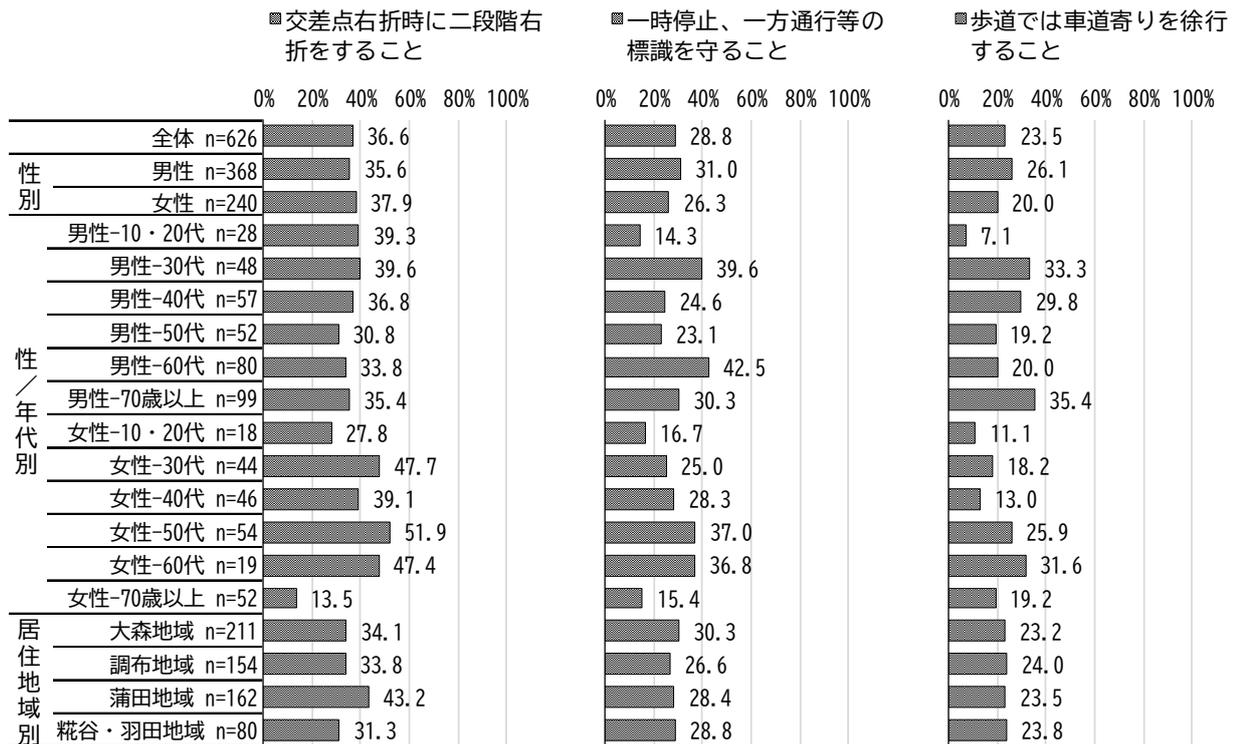


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「交差点右折時に二段階右折をすること」は男性が35.6%、女性が37.9%と女性が2.3ポイント上回っている。一方で、「一時停止、一方通行等の標識を守ること」は4.7ポイント、「歩道では車道寄りを徐行すること」は6.1ポイント女性が低くなっている。

性／年代別でみると、「ルールは守っている」が男性30代で27.1%、女性50代で20.4%、60代で26.3%と低くなっている。

居住地域別でみると、「交差点右折時に二段階右折をすること」は蒲田地域で4割前半と高くなっている。



(6) サイクリングやサイクルスポーツの実施状況

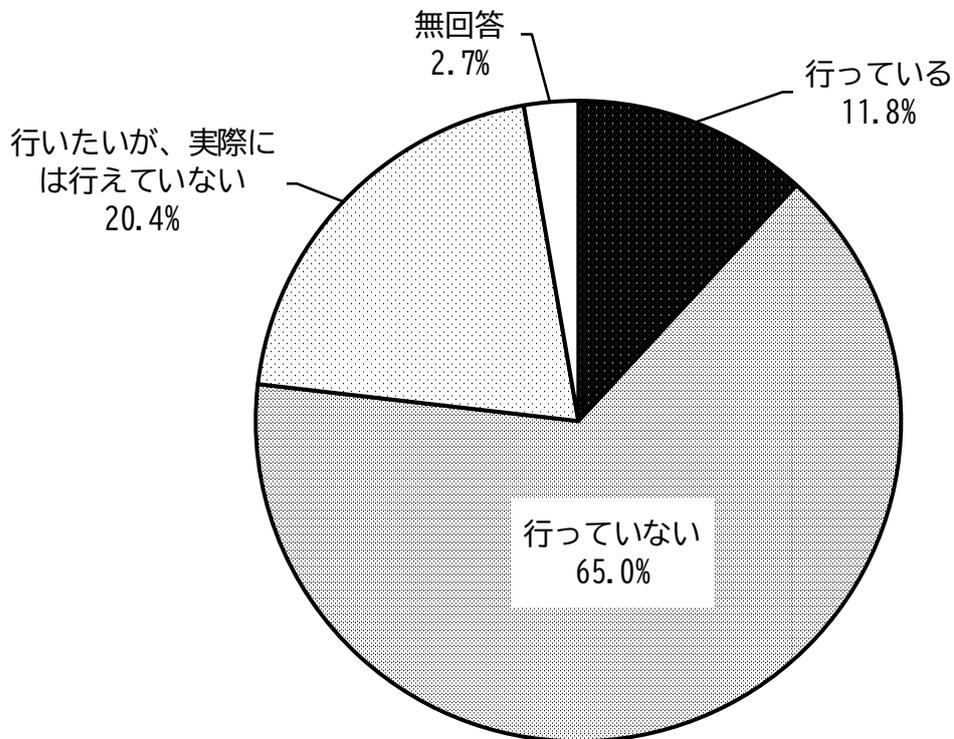
◇「行っている」は11.8%となっている

【問5で「1よく使う」「2たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-5 休日などの余暇時間があるときにサイクリングやサイクルスポーツを行っていますか。
(1つのみ)

サイクリングやサイクルスポーツの実施状況については、「行っていない」が65.0%で最も高く、次いで「行いたいですが、実際に行えていない」が20.4%、「行っている」が11.8%となっている。

全体 n=626

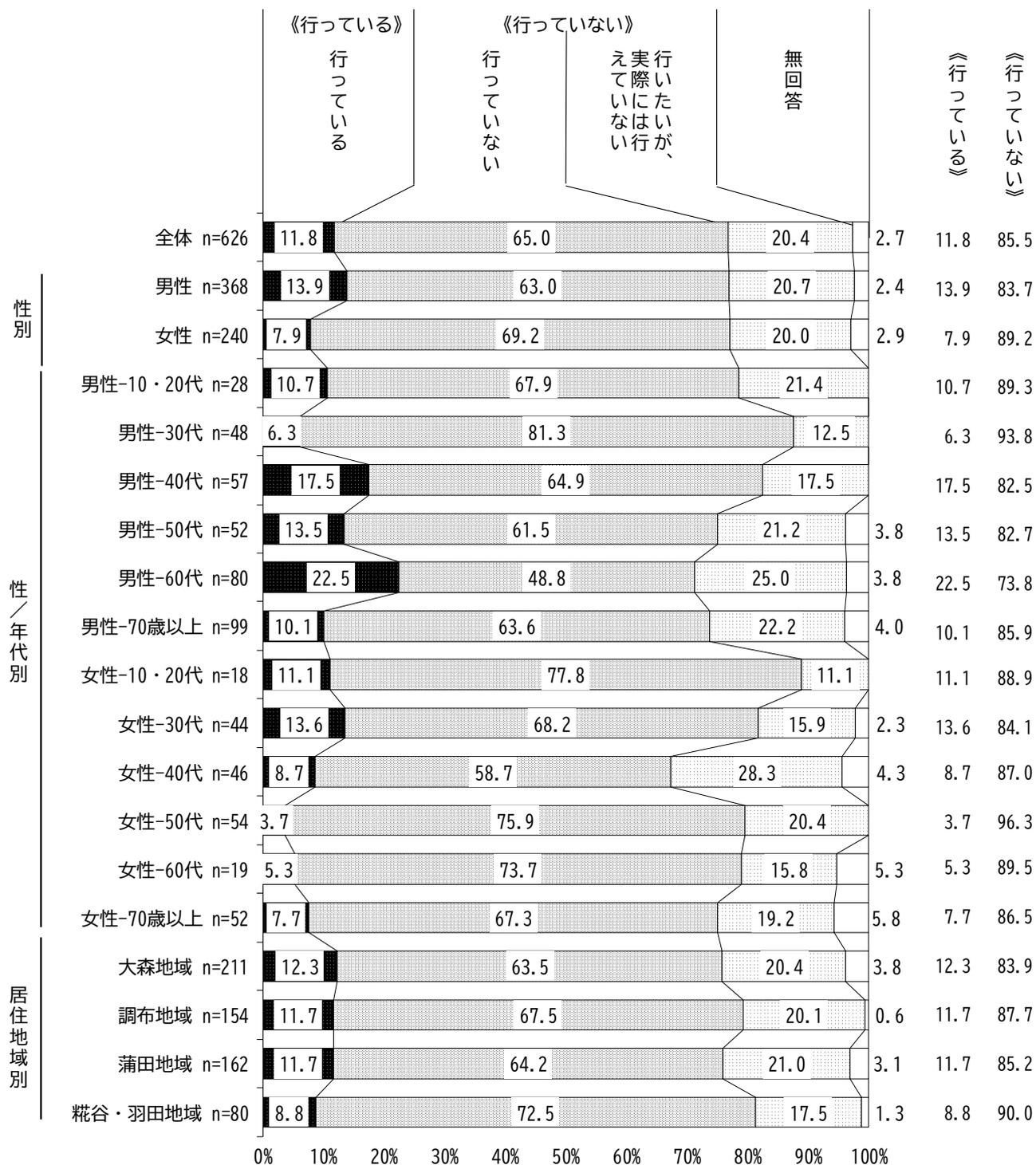


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「行っている」は男性が13.9%、女性が7.9%と、男性が6.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「行っている」は男性60代で2割前半と最も高くなっている。次いで、男性40代で1割後半、男性50代、女性30代で1割半ばとなっている。

居住地域別でみると、「行っている」は糞谷・羽田地域で8.8%と低くなっている。



(7) 自転車駐輪場の充足

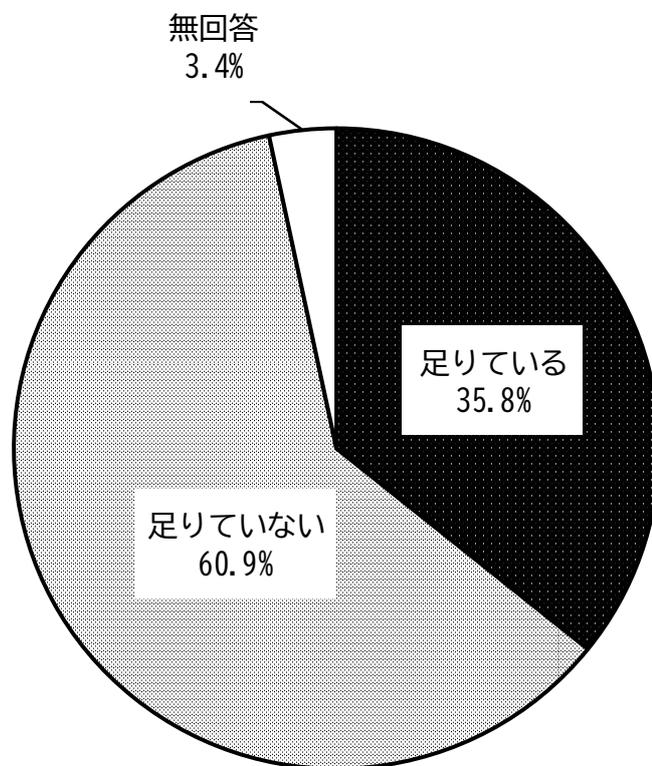
◇「足りている」は3割半ばとなっている

【問5で「1よく使う」「2たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-6 大田区内の駅周辺に設置されている自転車駐輪場の数は足りていると感じますか。
(1つのみ)

駐輪場不足の有無は、「足りていない」が60.9%で、「足りている」が35.8%となっている。

全体 n=626

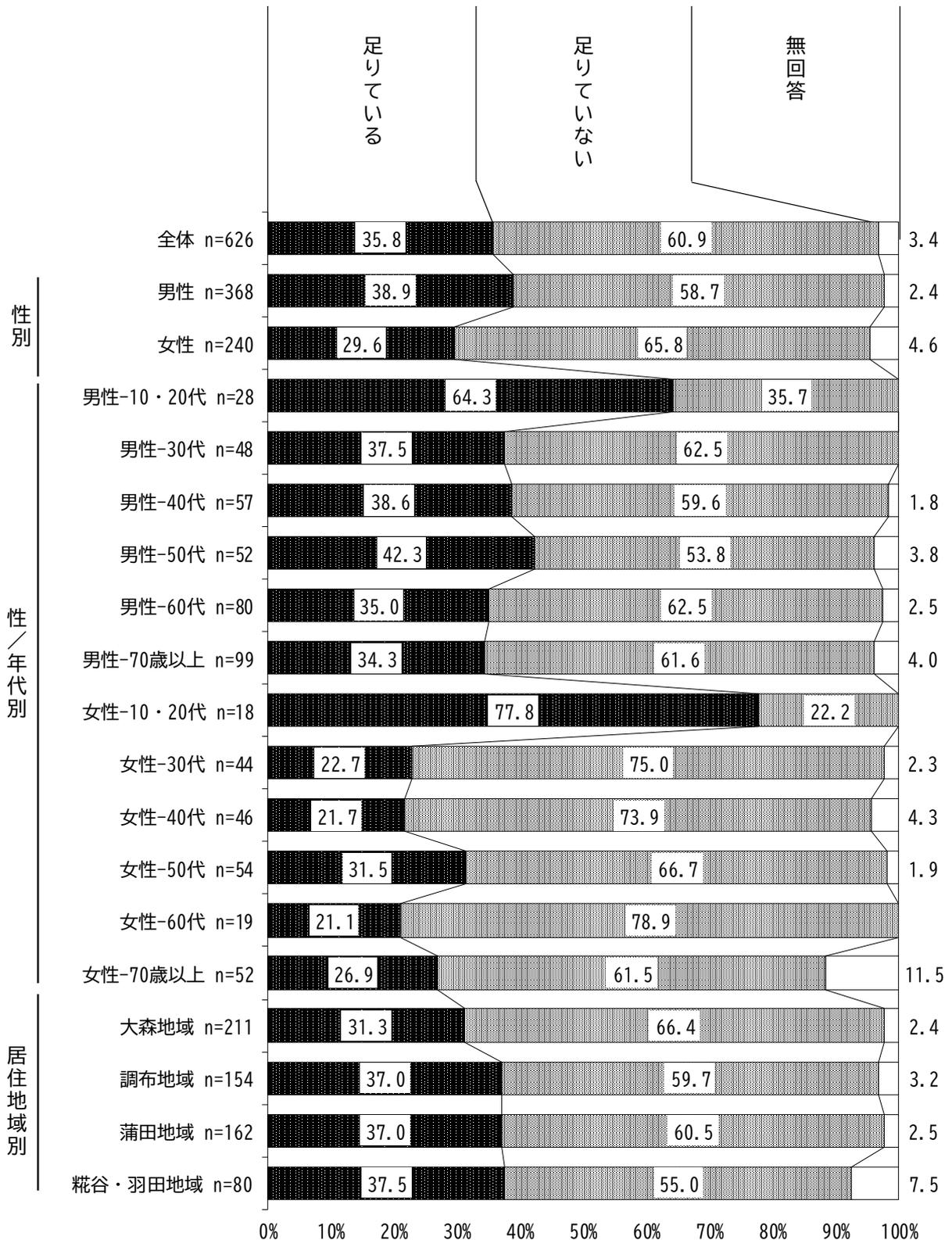


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「足りていない」は男性が58.7%、女性が65.8%と、女性が7.1ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「足りていない」は女性30代、40代、60代で7割台となっている。

居住地域別で見ると、「足りていない」は大森地域で6割半ばと高くなっている。



(8) 自転車駐輪場が不足していると感じる駅

◇「JR線 蒲田駅」が5割半ばと最も高くなっている

【問5-6で「2足りていない」と回答した方に伺います。】

問5-7 どの駅周辺で不足していると感じますか。(最大3つまで記入してください)

駐輪場が不足している駅は、「JR線 蒲田駅」が55.1%で最も高く、次いで「JR線 大森駅」が22.0%、「京急線 京急蒲田駅」が10.2%となっている。

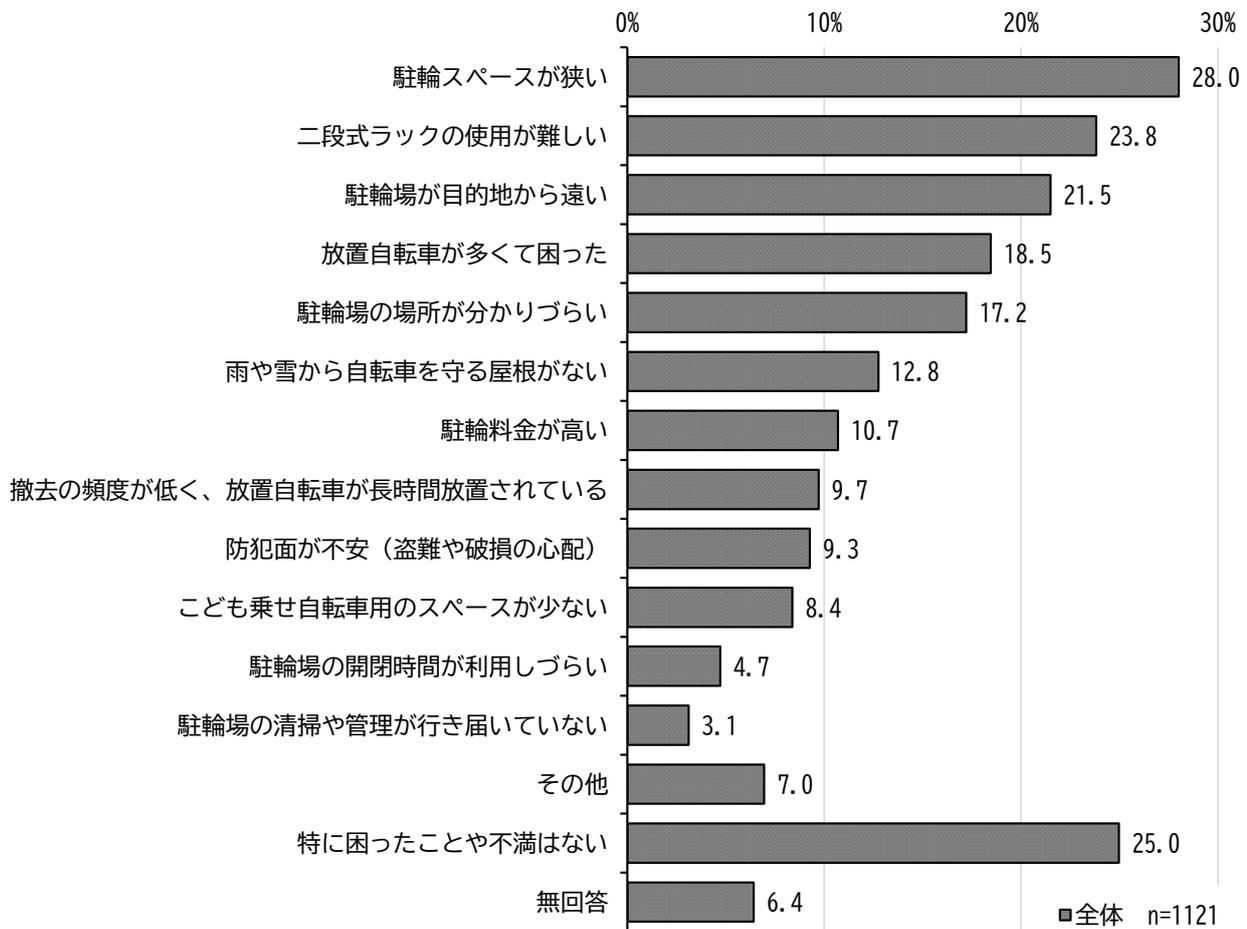


(9) 自転車の駐輪や放置自転車に関する困りごとや不満

◇「駐輪スペースが狭い」が約2割後半で最も高くなっている

問6 自転車の駐輪や放置自転車に関して、あなたが経験した困りごとや不満に思うことはありますか。(複数選択可)

駐輪や放置自転車に関する困りごとや不満については、「駐輪スペースが狭い」が28.0%で最も高く、次いで「二段式ラックの使用が難しい」が23.8%、「駐輪場が目的地から遠い」が21.5%となっている。

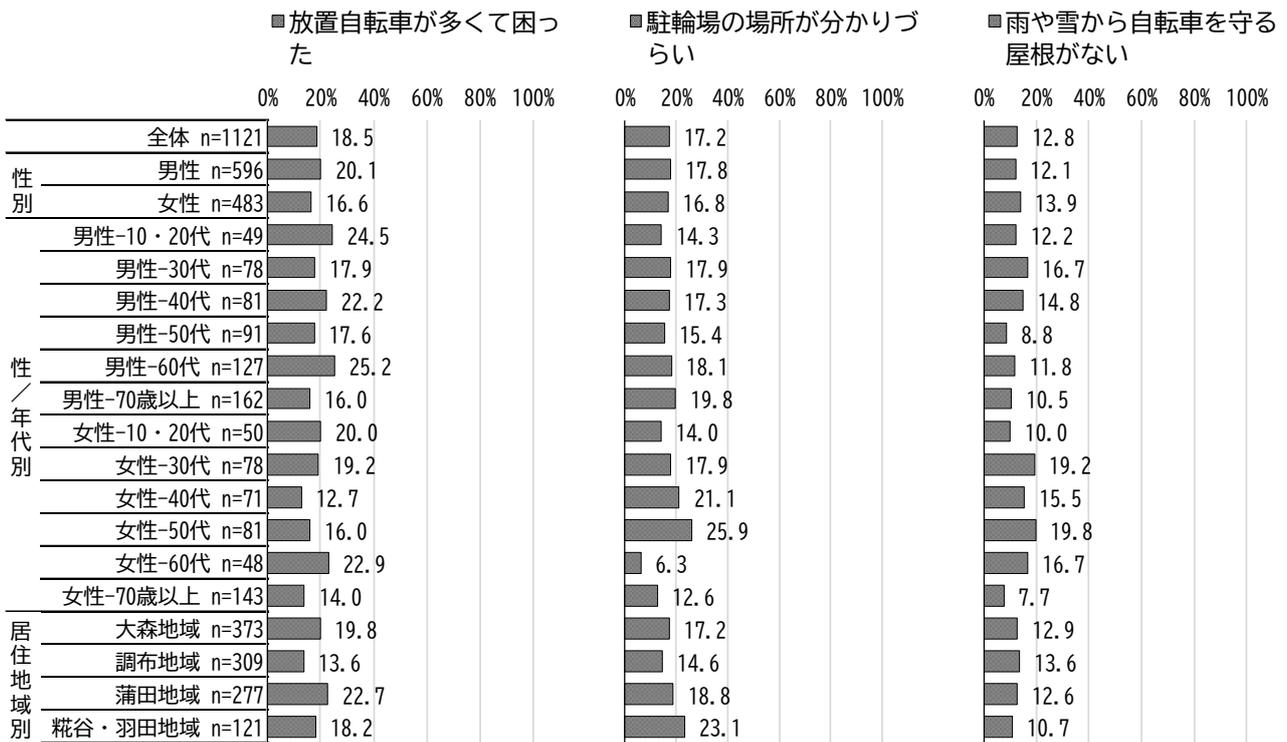
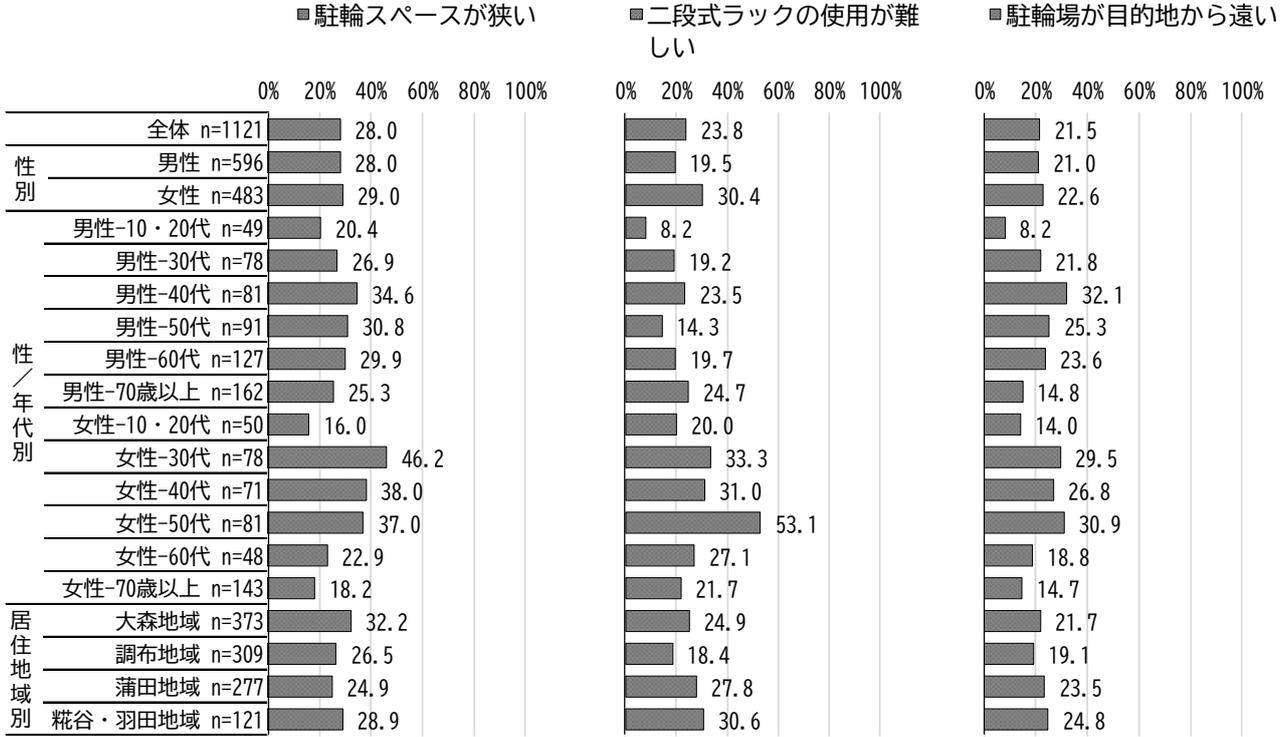


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、「二段式ラックの使用が難しい」は男性が19.5%、女性が30.4%と、女性が10.9ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「駐輪スペースが狭い」は女性30代で4割半ばと最も高くなっている。「二段式ラックの使用が難しい」は女性50代で5割前半と高くなっている。

居住地域別では、「駐輪スペースが狭い」は大森地域で3割前半と高くなっている。



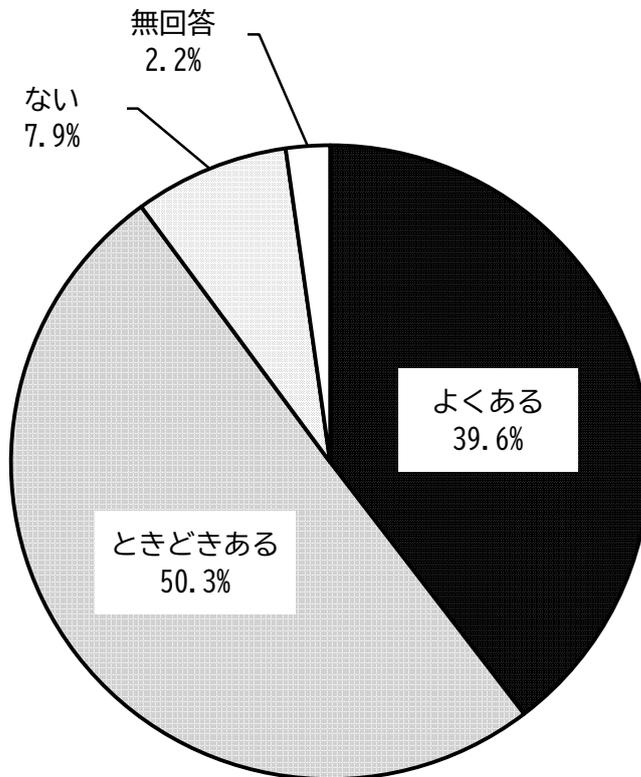
(10) 自転車走行時に危険を感じた経験の有無

◇《ある》(「よくある」「ときどきある」の合計値)は約9割となっている

問7 他の人が乗る自転車に対して「怖い」と思ったことや、「ヒヤリ」とした経験はありますか。
自分が車に乗車中または歩きの場合も含めてご回答ください。(1つのみ)

自転車走行時に危険を感じた経験の有無については、「よくある」、「ときどきある」の合計値《ある》が89.9%で、《ない》が7.9%と、《ある》が82.0ポイント上回っている。

全体 n=1121

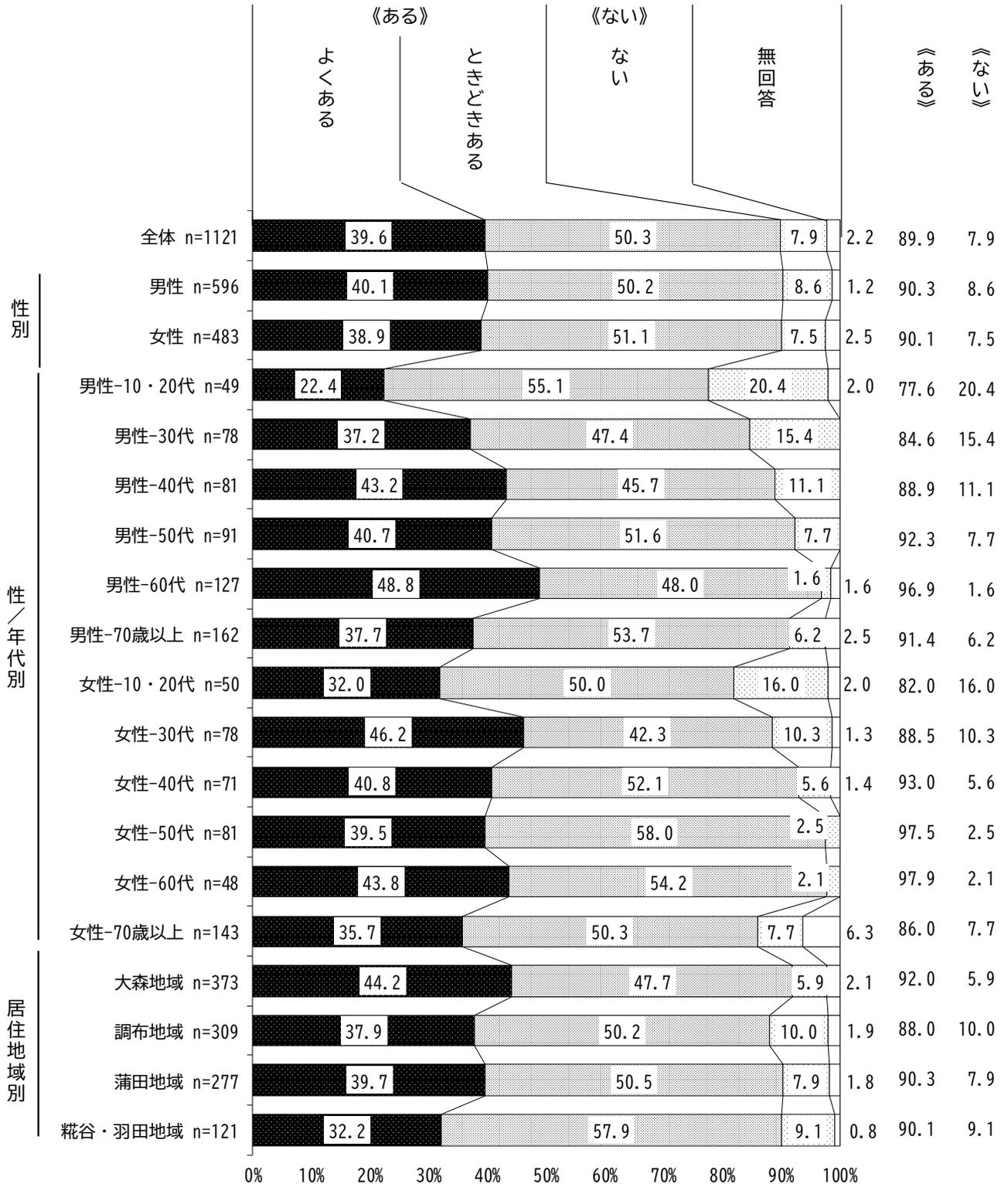


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《ある》に大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《ある》が男性60代、女性50代、60代で9割後半と高くなっている。

居住地域別では、「よくある」が大森地域で44.2%と高くなっている。

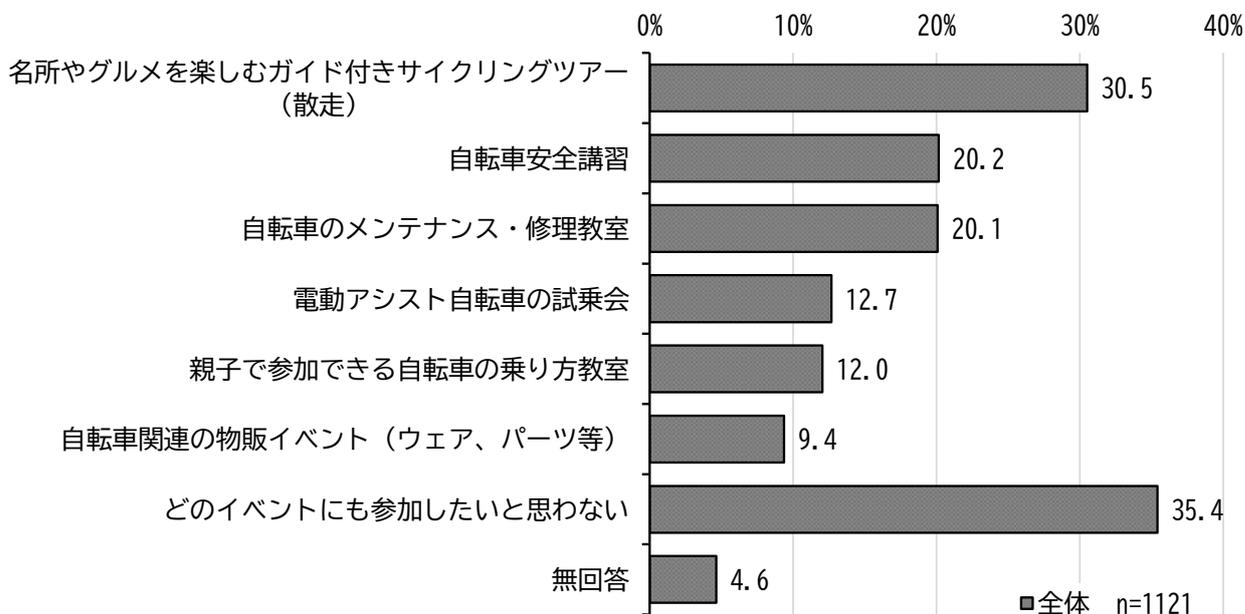


(11) 新たなサイクリング拠点におけるイベント参加意向

◇具体的なイベントの種類の中では「名所やグルメを楽しむガイド付きサイクリングツアー（散走²）」が約3割で最も高くなっている

問8 大田区では、令和10年度に羽田にサイクリング拠点³の設置を目指しています。この拠点で開催されるとしたら、どのようなイベントに参加したいと思いますか。（複数選択可）

新たなサイクリング拠点のイベント参加意向については、「どのイベントにも参加したいと思わない」が35.4%で最も高くなっている。一方、具体的なイベントの種類別では、「名所やグルメを楽しむガイド付きサイクリングツアー（散走）」が30.5%で最も高く、次いで「自転車安全講習」が20.2%となっている。



² 自転車で散歩するようにゆったりと走り、まちの歴史、文化、自然、食などを楽しむこと

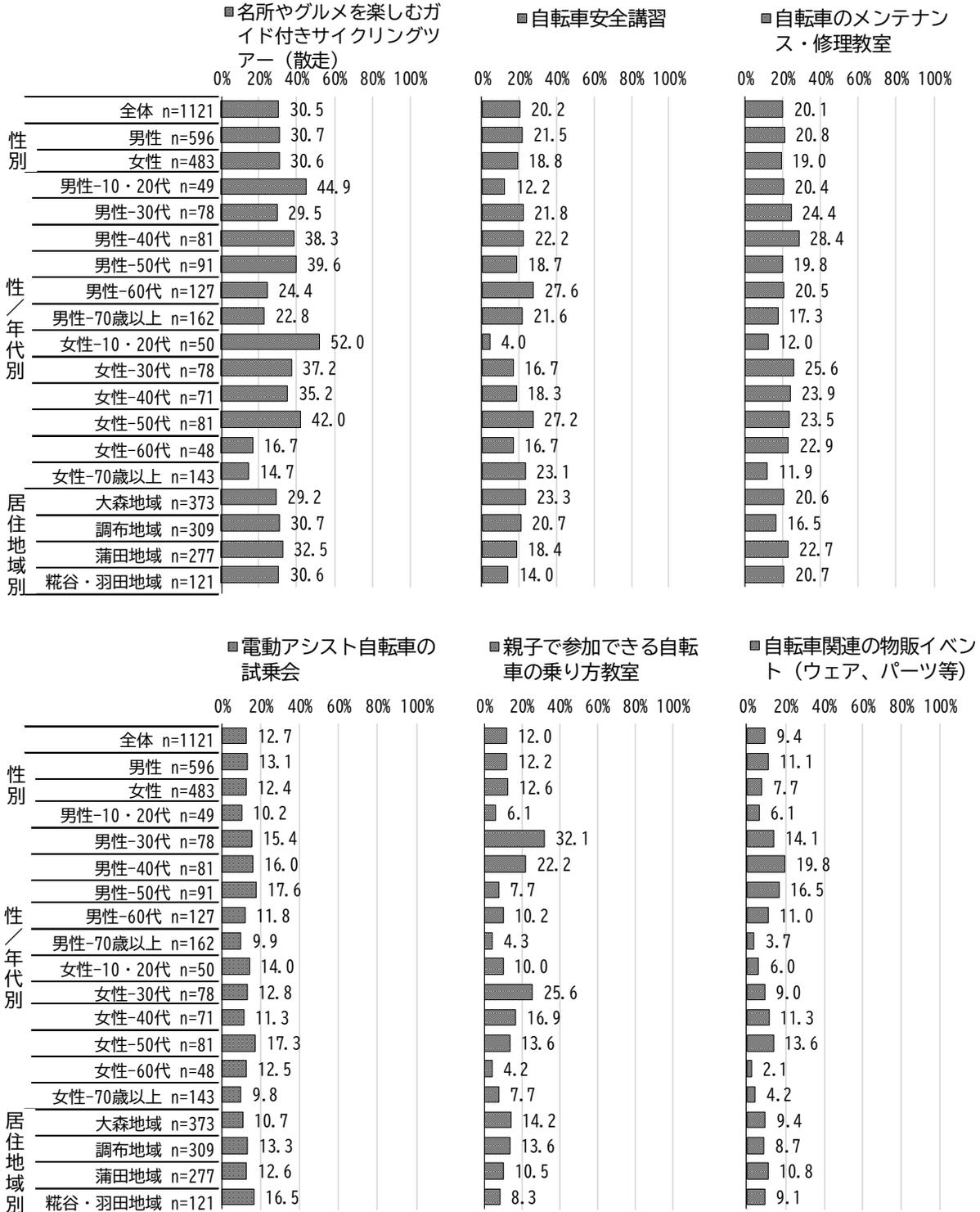
³ 令和10年に開園予定の羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園に整備を予定しているサイクルステーション。国内外のサイクリストの受け入れや、自転車イベントの実施、魅力的な情報発信など自転車活用の拠点となる施設

■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、「自転車安全講習」では男性が21.5%、女性が18.8%と男性が2.7ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「名所やグルメを楽しむガイド付きサイクリングツアー（散走）」は女性10・20代で5割前半と高くなっているほか、「親子で参加できる自転車の乗り方教室」は男性30代で3割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「名所やグルメを楽しむガイド付きサイクリングツアー（散走）」は大森地域が29.2%と低くなっている。



(12) 大田区コミュニティサイクルの認知度

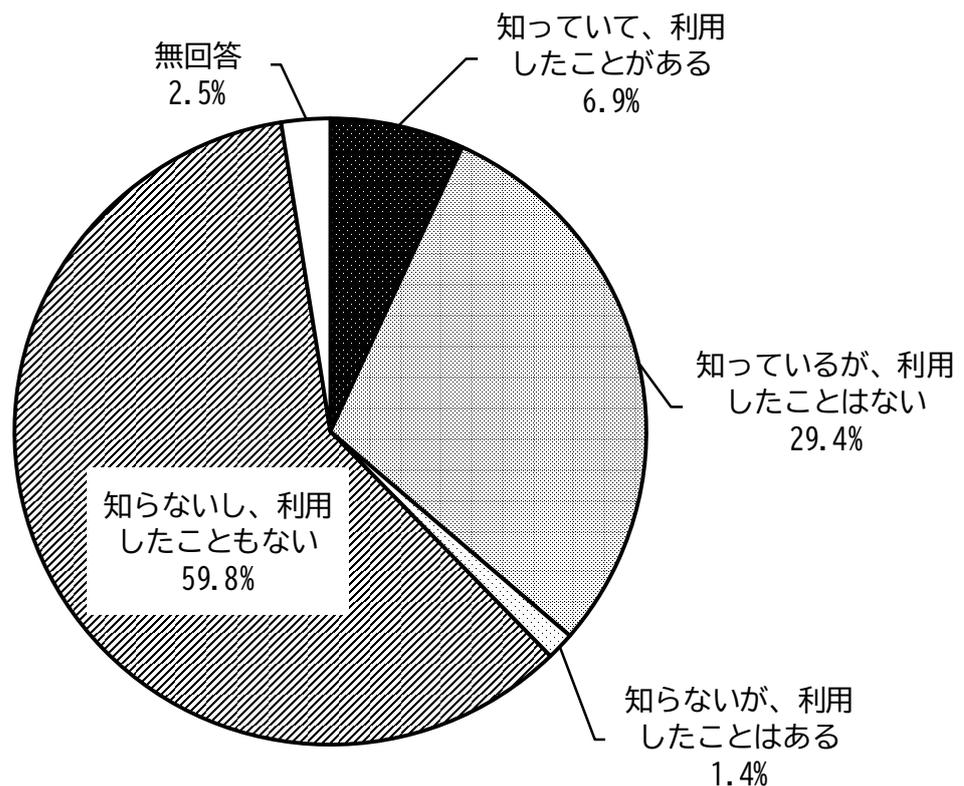
◇《知っている》(「知っていて、利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」の合計値)は3割半ばとなっている

問9 大田区ではシェアサイクルを「大田区コミュニティサイクル⁴」として展開していることを知っていますか。また利用したことはありますか。(1つのみ)

大田区コミュニティサイクルの認知度については、「知っていて、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》が36.3%となっている。一方、「知らないが、利用したことはある」、「知らないし、利用したこともない」の合計値《知らない》が61.2%と、《知らない》が24.9ポイント上回っている。

なお、認知にかかわらず《利用したことがある》(「知っていて、利用したことがある」、「知らないが、利用したことはある」の合計値)は8.3%となっている。

全体 n=1121



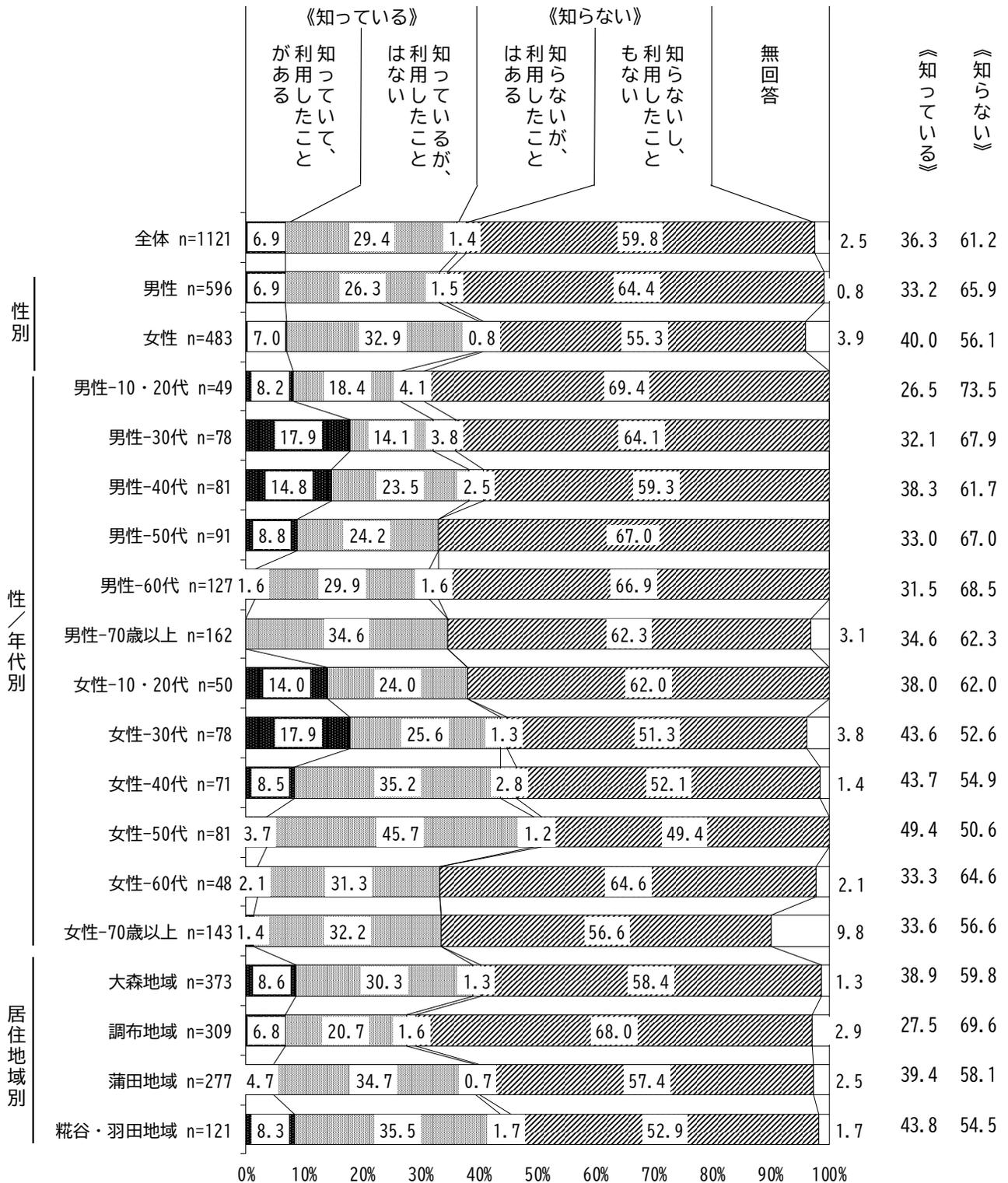
⁴ 大田区の事業として、株式会社ドコモ・バイクシェアが運営する赤色のシェアサイクル

■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、《知っている》は女性が4割と高くなっている。

性／年代別で見ると、《知っている》は女性50代で約5割と高くなっている。

居住地域別で見ると、《知らない》は調布地域で約7割と高くなっている。



4 共生社会について

(1) 「障害者差別解消法」の認知度

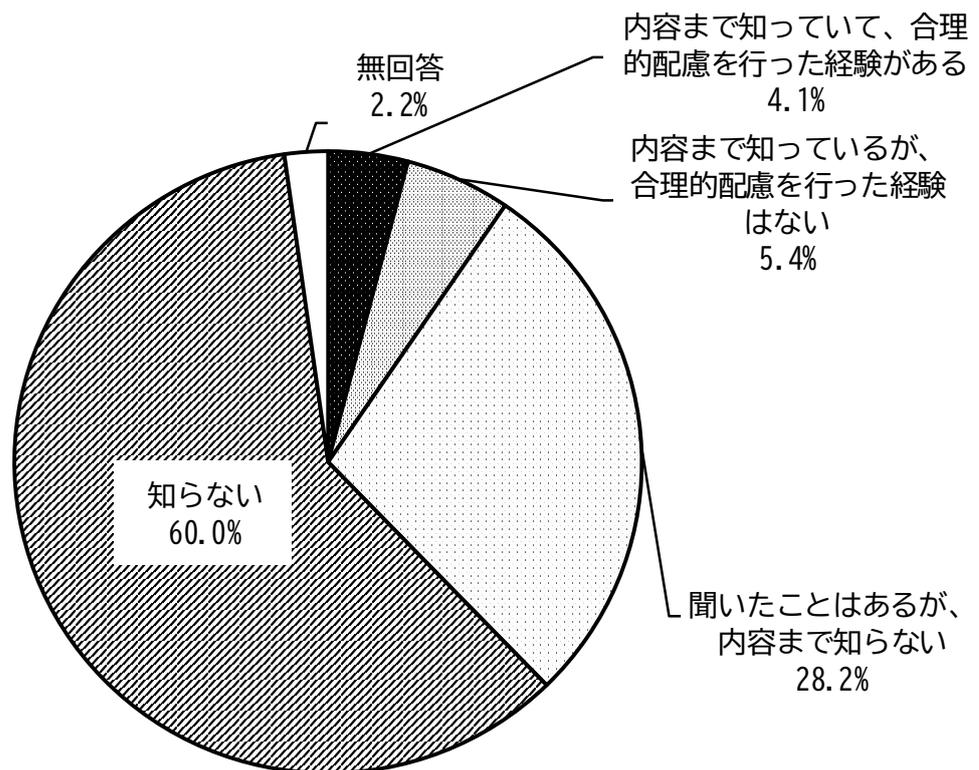
◇「内容まで知っていて、合理的配慮を行った経験がある」は1割未満となっている

問10 障がいのある人もない人も、お互いにその人らしさを認めあいながら、ともに生きる社会づくりをめざして、平成28年4月に、いわゆる「障害者差別解消法」が施行され、令和6年4月には、改正法が施行されました。この法律を知っていますか。(1つのみ)

「障害者差別解消法」の認知度については、「知らない」が60.0%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容まで知らない」が28.2%、「内容まで知っているが、合理的配慮を行った経験はない」が5.4%となっている。

なお、「内容まで知っていて、合理的配慮を行った経験がある」は4.1%となっている。

全体 n=1121

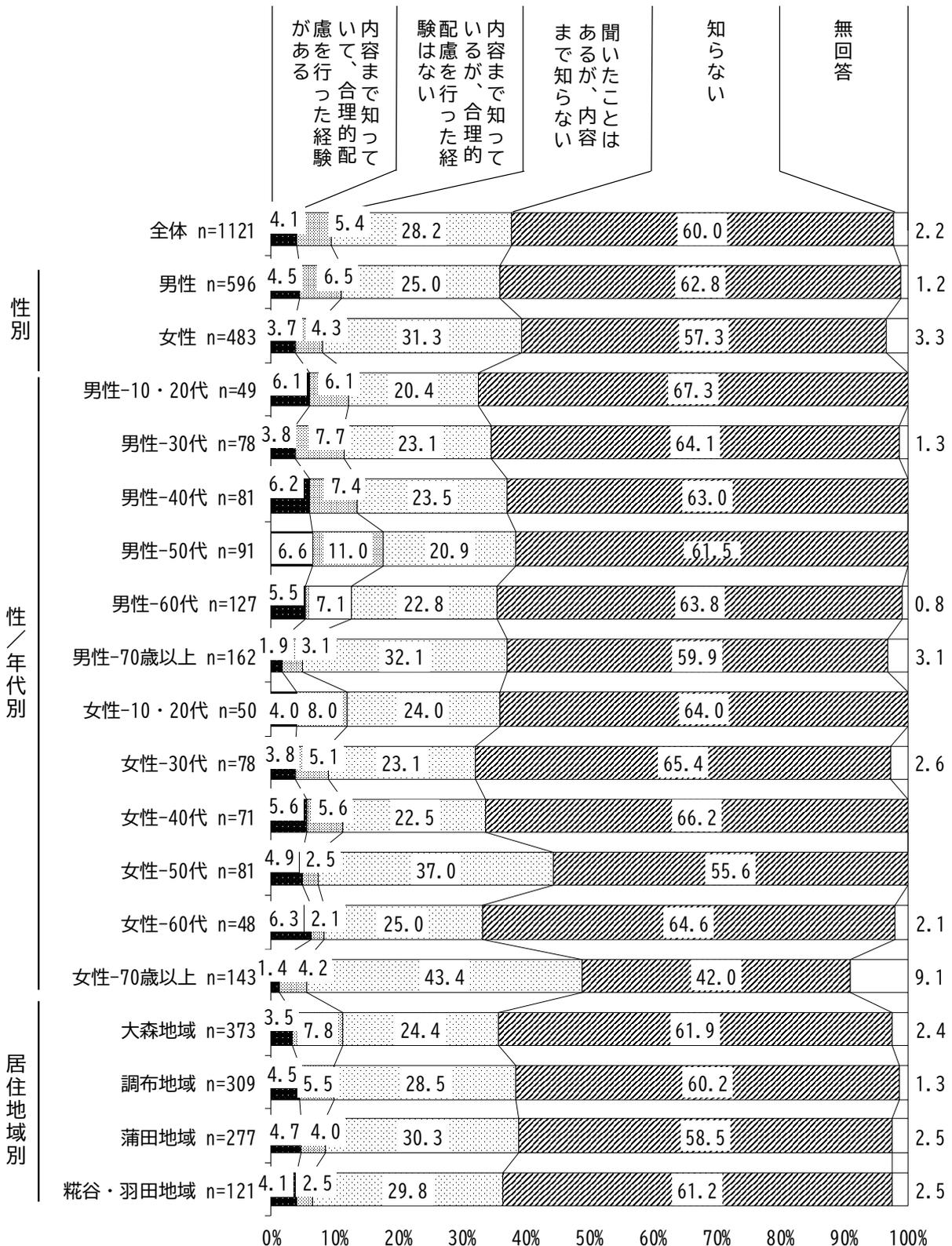


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「知らない」は男性で 62.8%となっており、女性と比較して 5.5 ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「内容まで知っていて、合理的配慮を行った経験がある」は男性 50 代 6.6%、女性 60 代 6.3%と高くなっている。

居住地域別で見ると、「内容まで知っていて、合理的配慮を行った経験がある」は大森地域で 3.5%と低くなっている。



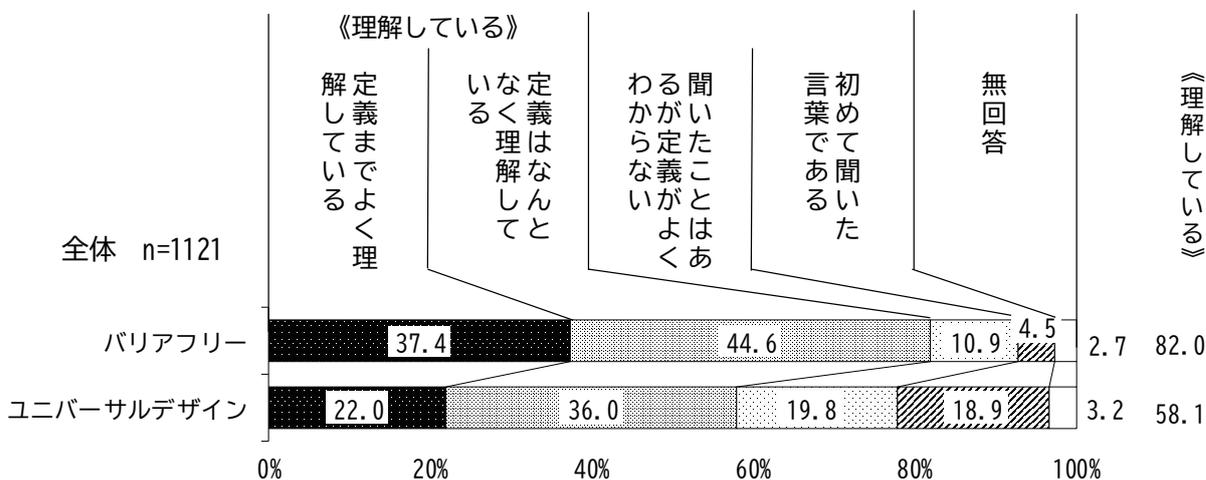
(2) 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の認知度

◇《理解している》(「定義までよく理解している」「定義はなんとなく理解している」の合計値)は「バリアフリー⁵」で8割前半、「ユニバーサルデザイン⁶」で5割後半となっている

問11 「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。
(それぞれ1つのみ)

「バリアフリー」の認知度は、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》が82.0%で、そのうち「定義までよく理解している」は37.4%となっている。

「ユニバーサルデザイン」の認知度は、《理解している》が58.1%で、そのうち「定義までよく理解している」は22.0%となっている。

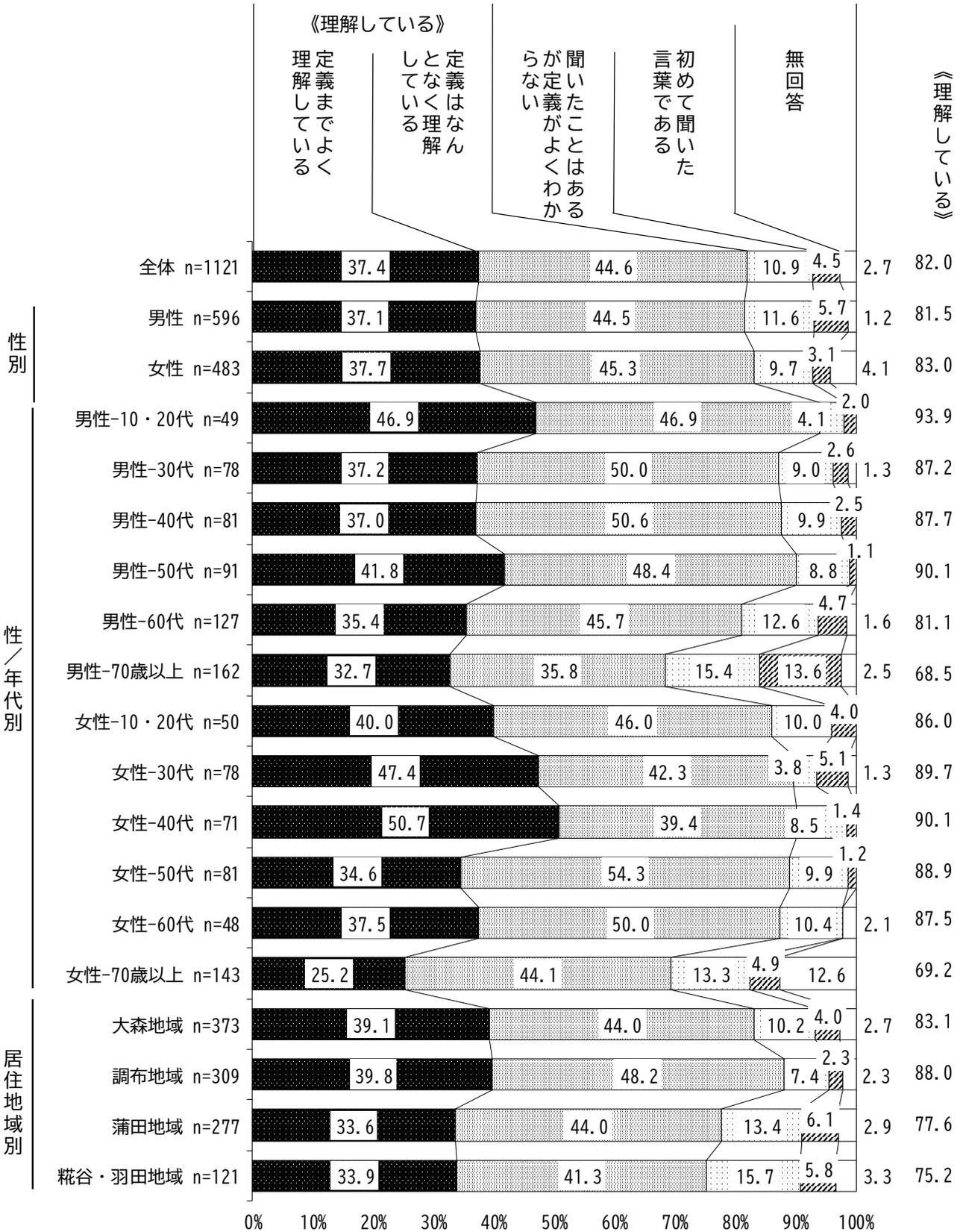


⁵ 高齢者や障がい者の生活の障壁（バリア）を取り除く考え方

⁶ 年齢・性別・国籍・能力に関係なく多くの人が利用しやすい生活環境を構築する考え方

■性別・性／年代別・居住地域別 ①バリアフリー

性別で見ると、《理解している》は男性が81.5%、女性が83.0%と女性が1.5ポイント上回っている。
 性／年代別で見ると、《理解している》は、男性10・20代で9割半ば、男性50代、女性30代、40代で約9割と高くなっている。「定義までよく理解している」は女性40代で約5割と高くなっている。
 居住地域別で見ると、《理解している》は調布地域で88.0%と高くなっている。

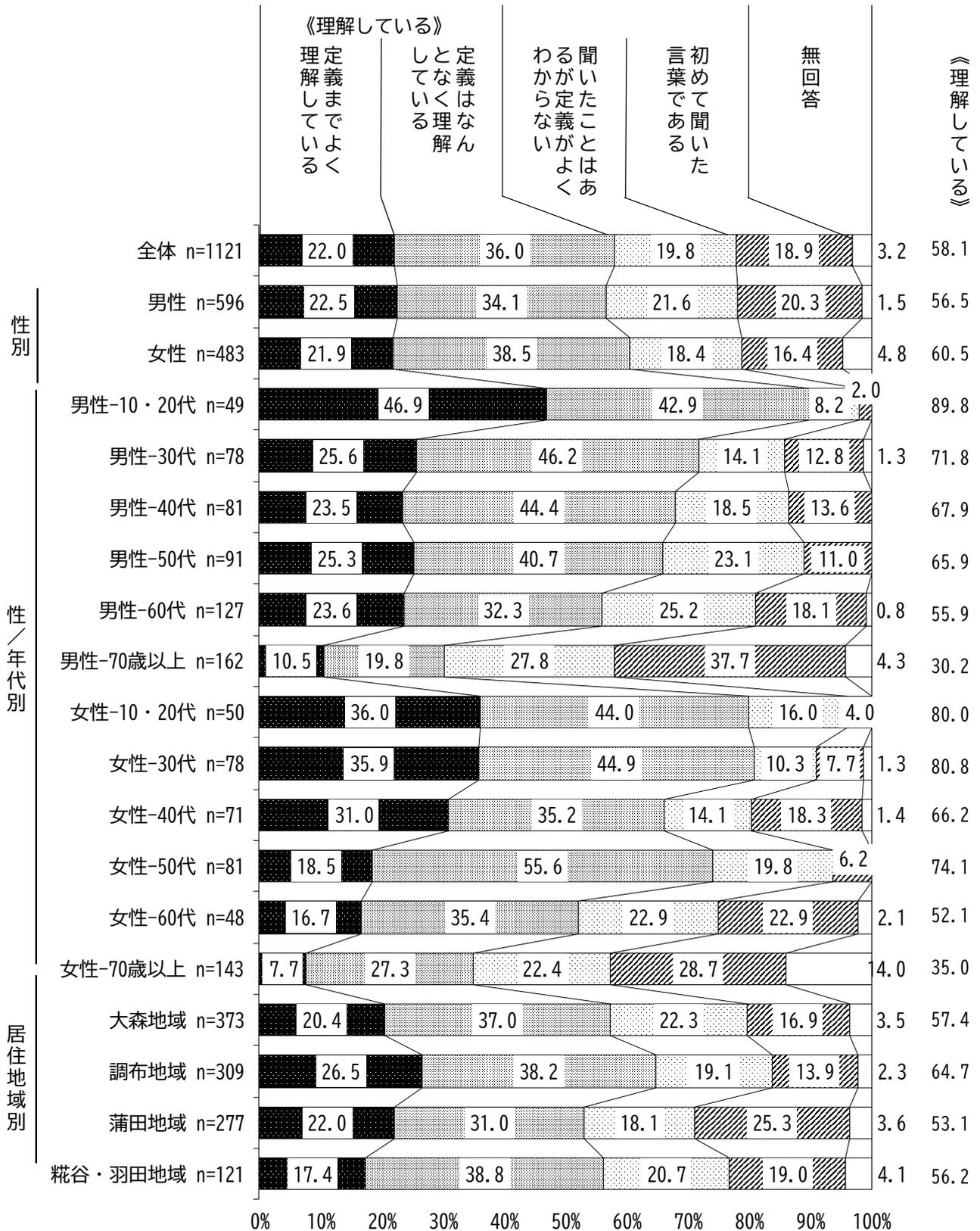


■性別・性／年代別・居住地域別 ②ユニバーサルデザイン

性別でみると、《理解している》は男性が56.5%、女性が60.5%と、女性が4.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《理解している》は男性10・20代で約9割、女性10・20代で8割、30代で約8割と高くなっている。

居住地域別でみると、《理解している》は調布地域で6割半ばと高くなっている。



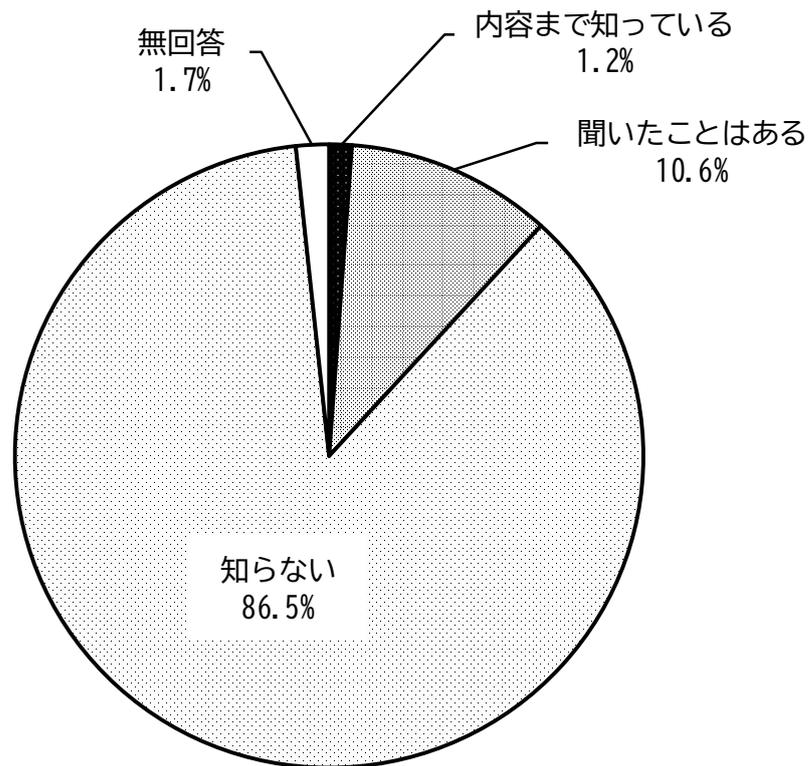
(3) 「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」の認知度

◇「内容まで知っている」は1割未満となっている

問 12 「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例⁷」を知っていますか。(1つのみ)

「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」の認知度については、「知らない」が 86.5%で最も高く、次いで「聞いたことはある」が 10.6%、「内容まで知っている」が 1.2%となっている。

全体 n=1121



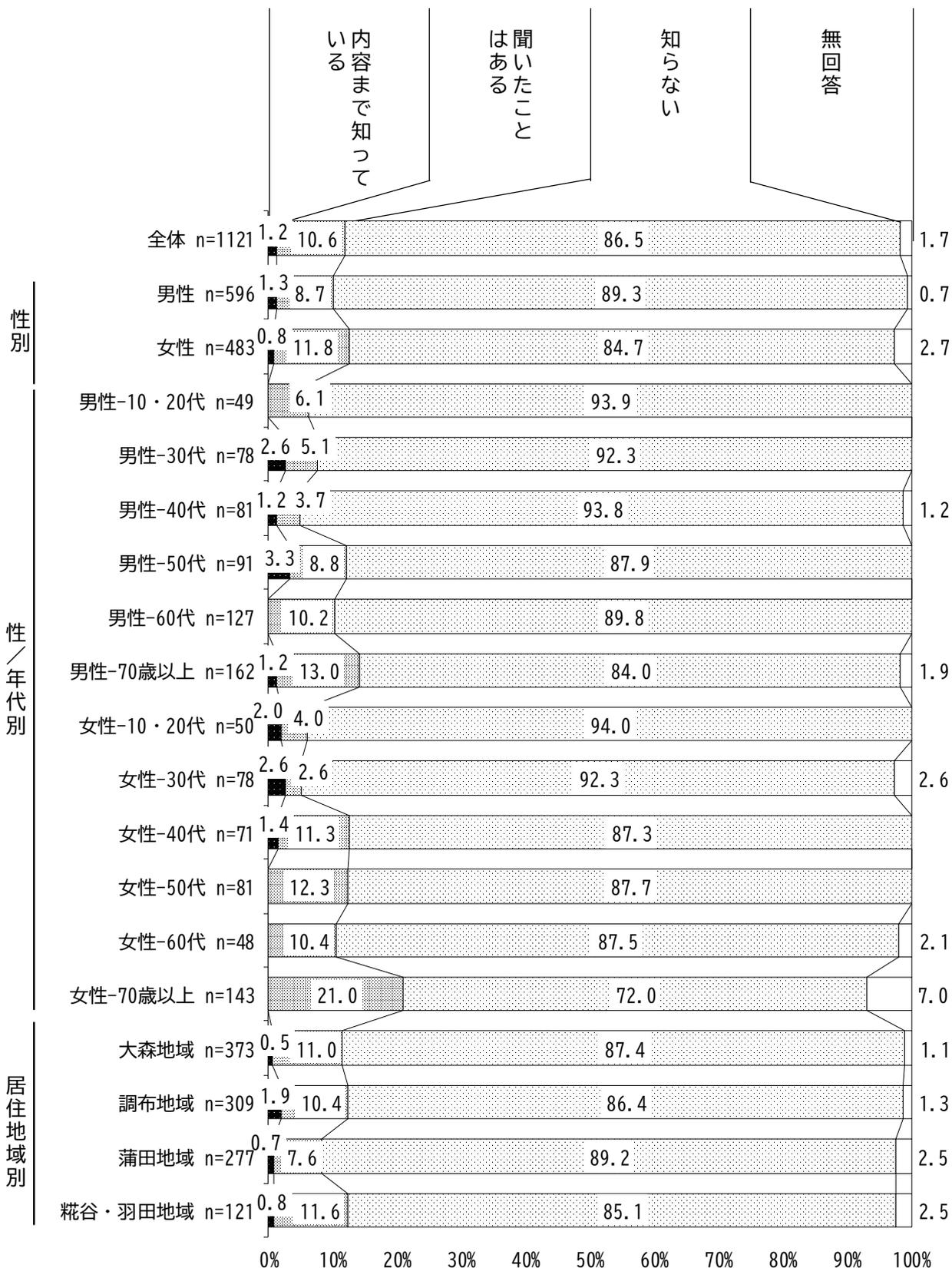
⁷ 手話が言語であることの理解を促進するとともに、それぞれの障がい特性に応じた意思疎通手段の利用を促進することにより、障がいの有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する地域社会の実現をめざして制定した条例

■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「聞いたことはある」は男性が8.7%、女性が11.8%と女性が3.1ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「聞いたことはある」は女性70歳以上で2割前半と高くなっている。「知らない」は男性10・20代、40代、女性10・20代で9割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、「聞いたことはある」は糀谷・羽田地域で11.6%と高くなっている。



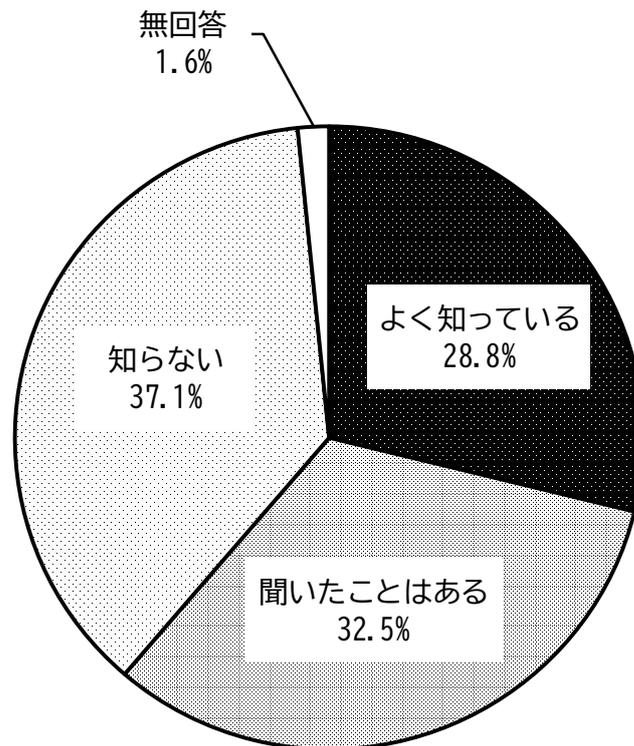
(4)「ヘルプカード(たすけてねカード)」の認知度

◇「よく知っている」は2割後半となっている

問13 「ヘルプカード(たすけてねカード)⁸」を知っていますか。(1つのみ)

「ヘルプカード(たすけてねカード)」の認知度については、「知らない」が37.1%で最も高く、次いで「聞いたことはある」が32.5%、「よく知っている」が28.8%となっている。

全体 n=1121



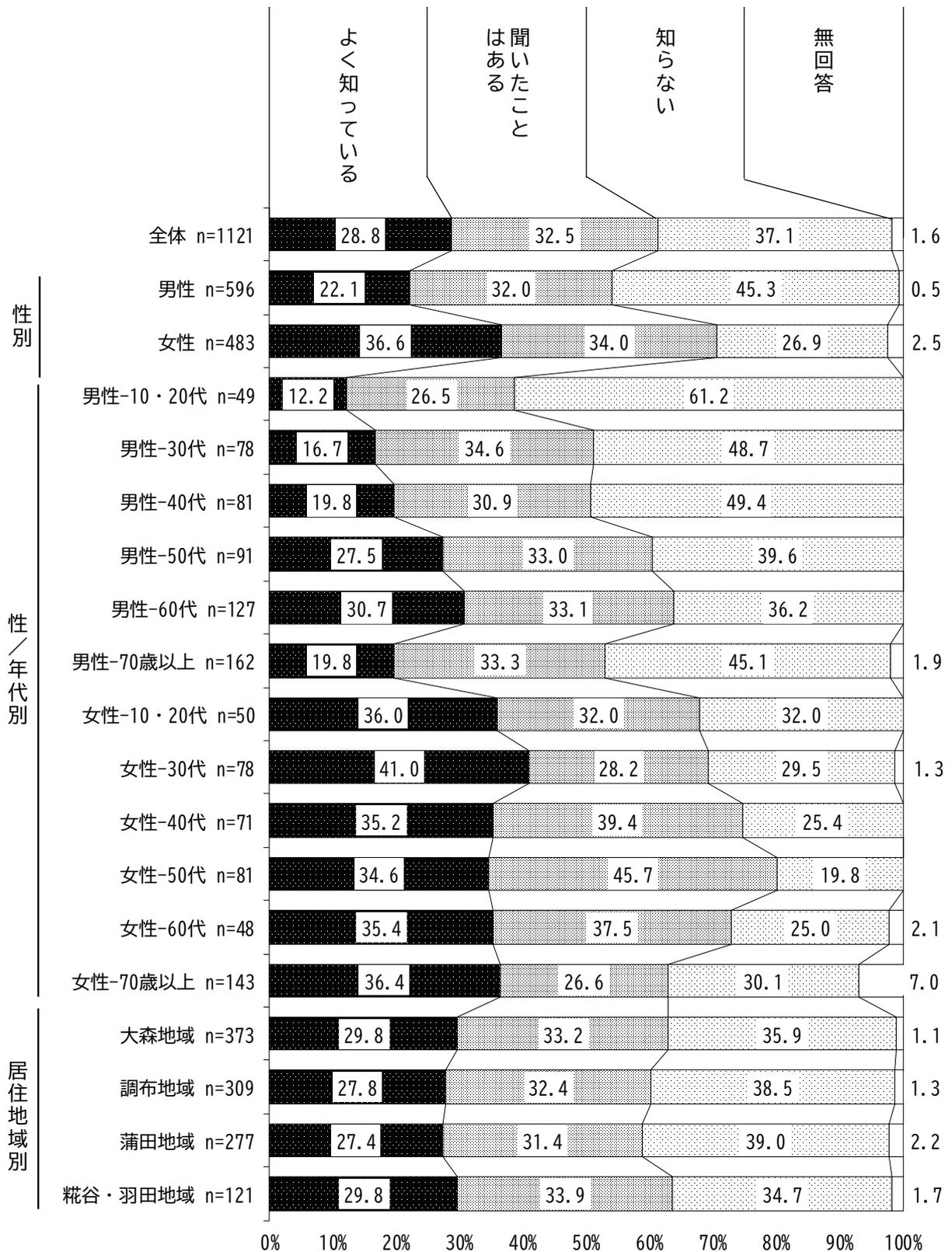
⁸ 障がいのある方などが緊急時に手助けを求めるためのカード(大田区作成)

■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「よく知っている」は男性が22.1%、女性が36.6%と、女性が14.5ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「知らない」は男性10・20代で6割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「よく知っている」は大森地域、糎谷・羽田地域で29.8%と高くなっている。



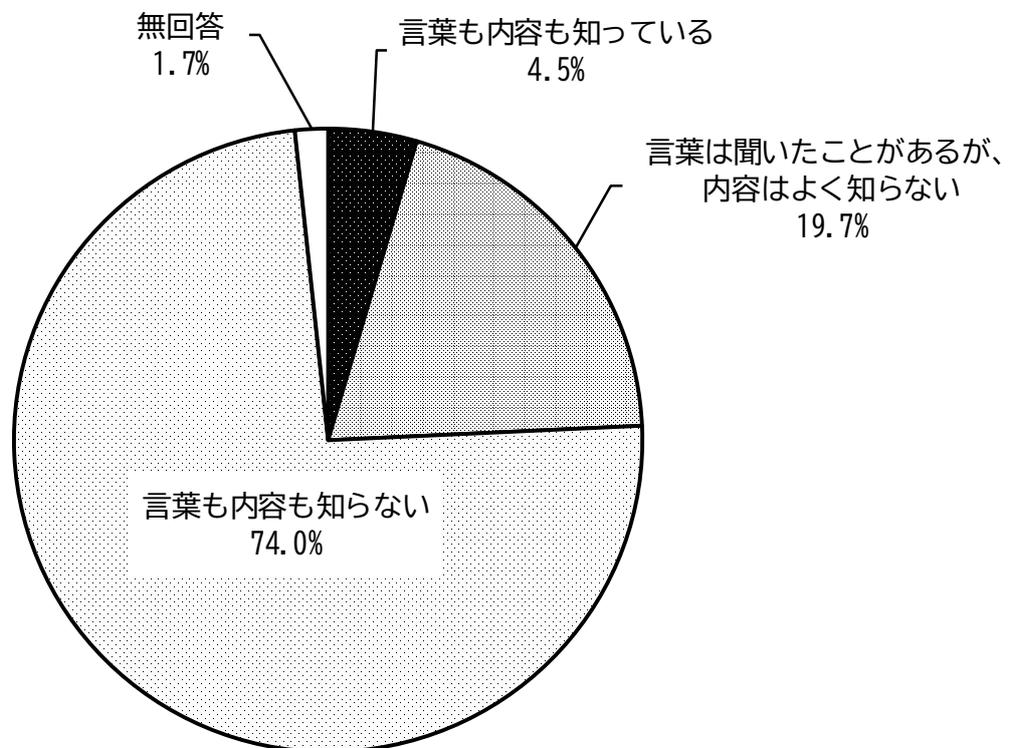
(5) 「新しい認知症観」の認知度

◇「言葉も内容も知っている」は1割未満となっている

問 14 「新しい認知症観⁹」という言葉聞いたことはありますか。また、その内容について知っていますか。(1つのみ)

「新しい認知症観」の認知度については、「言葉も内容も知らない」が74.0%で最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が19.7%、「言葉も内容も知っている」が4.5%となっている。

全体 n=1121



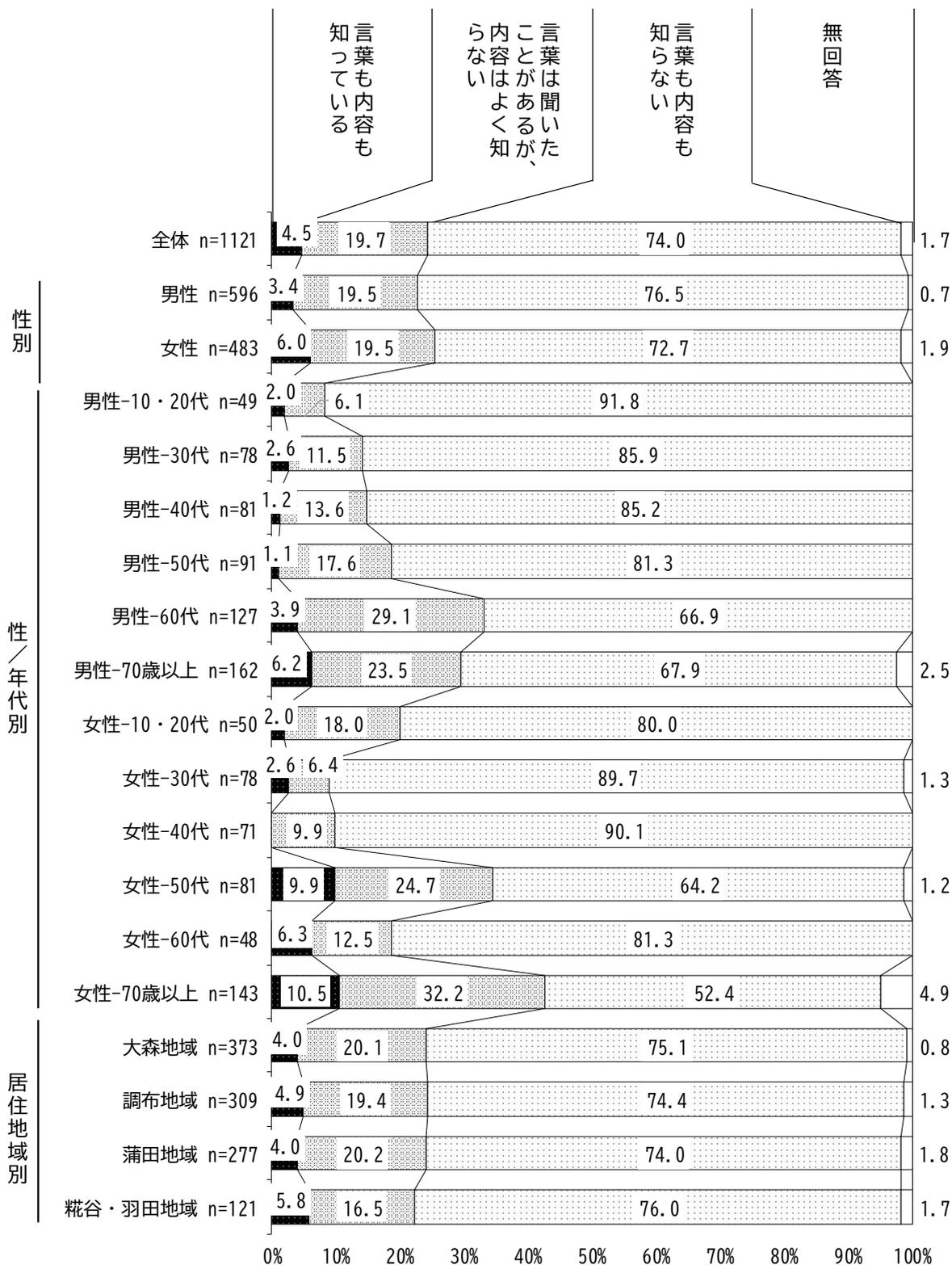
⁹ 『認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる』という考え方

■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「言葉も内容も知っている」は男性が3.4%、女性が6.0%と、女性が2.6ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「言葉も内容も知らない」は男性10・20代で9割前半、女性30代、40代で約9割と高くなっている。

居住地域別で見ると、「言葉も内容も知っている」は糞谷・羽田地域で5.8%と高くなっている。



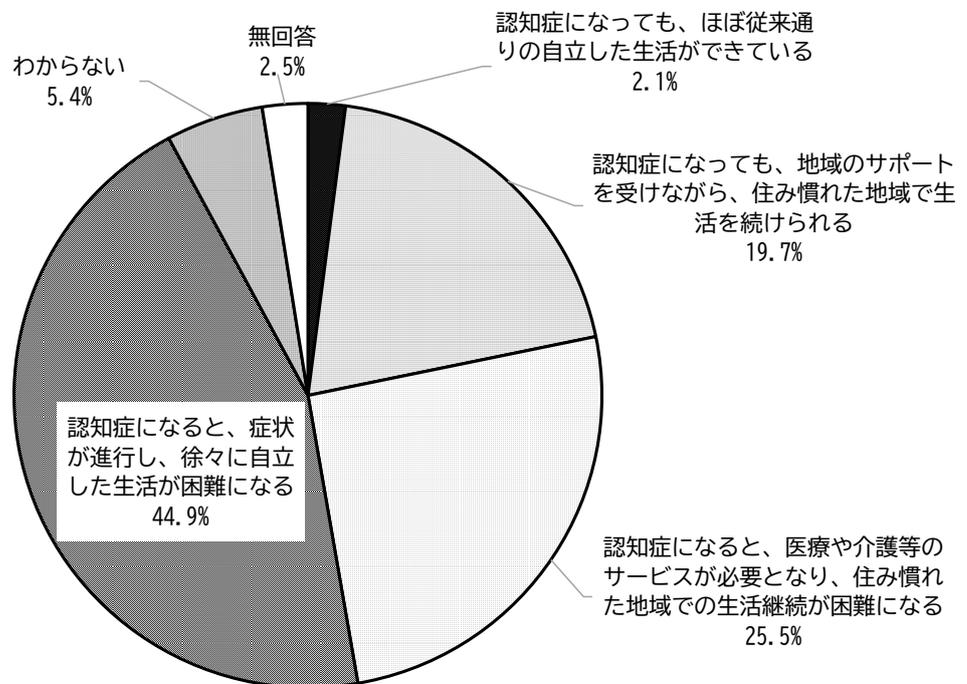
(6) 認知症になった人のイメージ

◇「認知症になると、症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる」が4割半ばと最も高くなっている

問 15 認知症になった人について、あなたが最も近いと感じるイメージをご回答ください。
(1つのみ)

認知症になった人のイメージは、「認知症になると、症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる」が44.9%で最も高く、次いで「認知症になると、医療や介護等のサービスが必要となり、住み慣れた地域での生活継続が困難になる」が25.5%、「認知症になっても、地域のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けられる」が19.7%となっている。

全体 n=1121

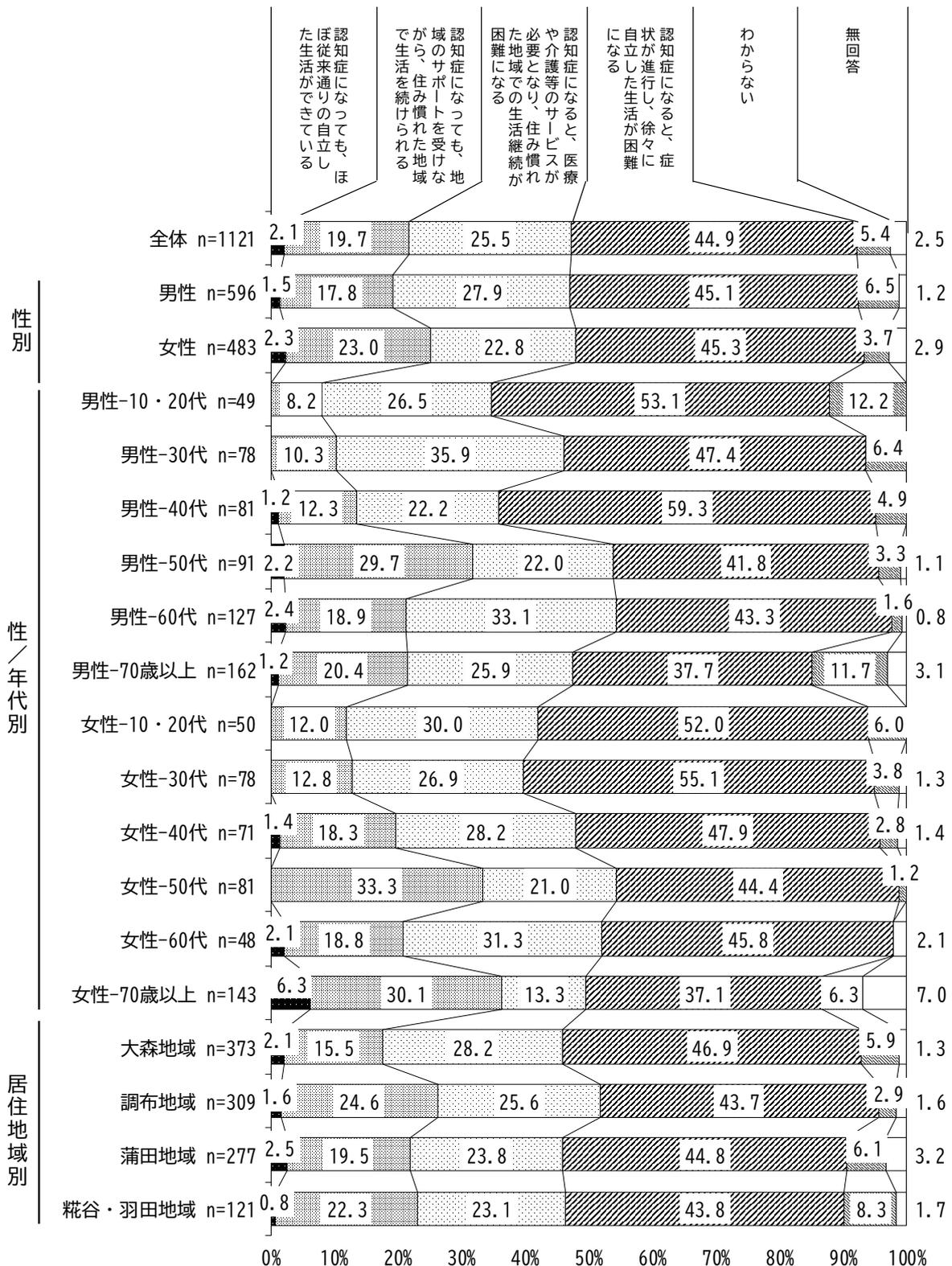


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「認知症になると、医療や介護等のサービスが必要となり、住み慣れた地域での生活継続が困難になる」は男性が27.9%、女性が22.8%と、男性が5.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「認知症になると、症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる」は男性10・20代、40代、女性10・20代、30代で5割台と高くなっている。

居住地域別でみると、「認知症になると、症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる」は、いずれの地域も4割台となっている。



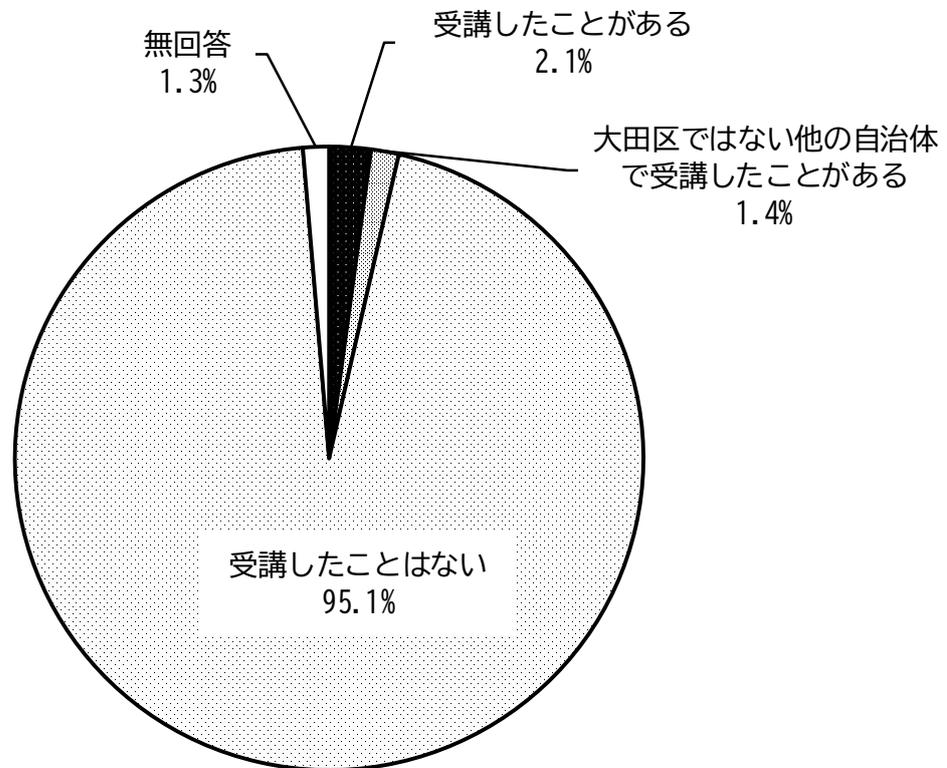
(7) 「認知症サポーター養成講座」の受講有無

◇《受講したことがある》(「受講したことがある」「大田区ではない他の自治体で受講したことがある」の合計値)は1割未満となっている

問 16 区で実施している「認知症サポーター養成講座」を受講したことはありますか。(1つのみ)

「認知症サポーター養成講座」の受講有無については、「受講したことはない」が95.1%で最も高く、次いで「受講したことがある」が2.1%、「大田区ではない他の自治体で受講したことがある」が1.4%となっている。

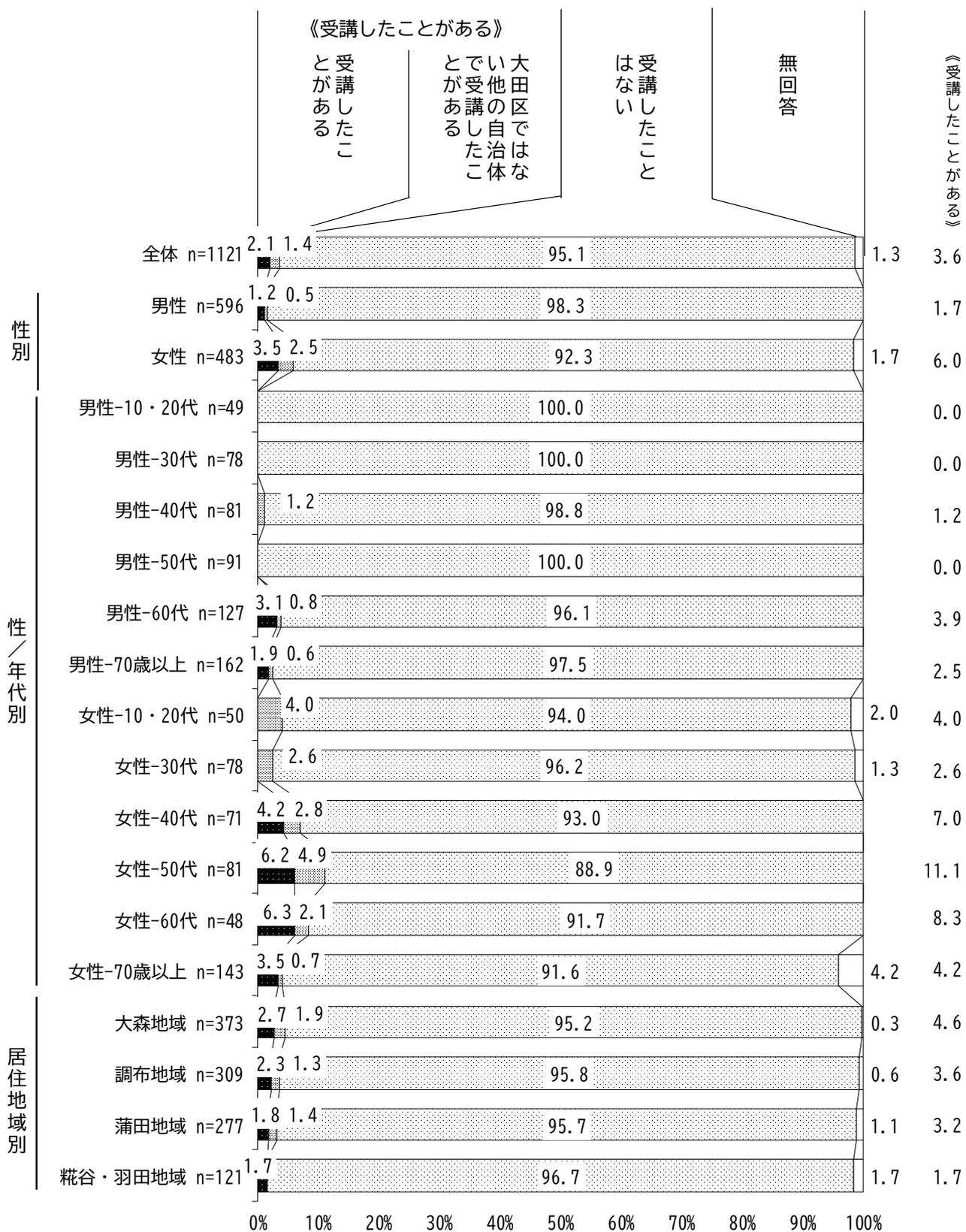
全体 n=1121



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「受講したことがある」は男性が1.7%、女性が6.0%と、女性が4.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「受講したことはない」は男性10・20代、30代、50代で100%となっている。
居住地域別でみると、「受講したことはない」は糀谷・羽田地域で96.7%と高くなっている。



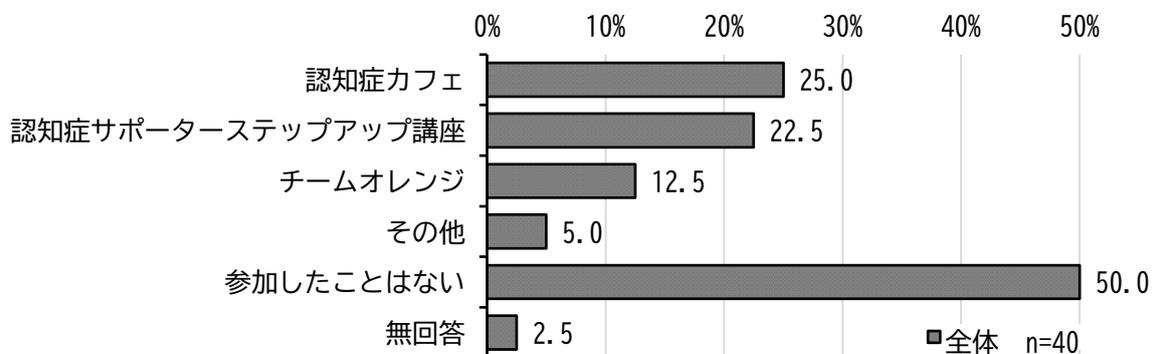
(8) 「認知症サポーター養成講座」受講後に参加した取組

◇「参加したことはない」が5割となっている

【問 16 で「1 受講したことがある」「2 大田区ではない他の自治体で受講したことがある」と回答した方に伺います。】

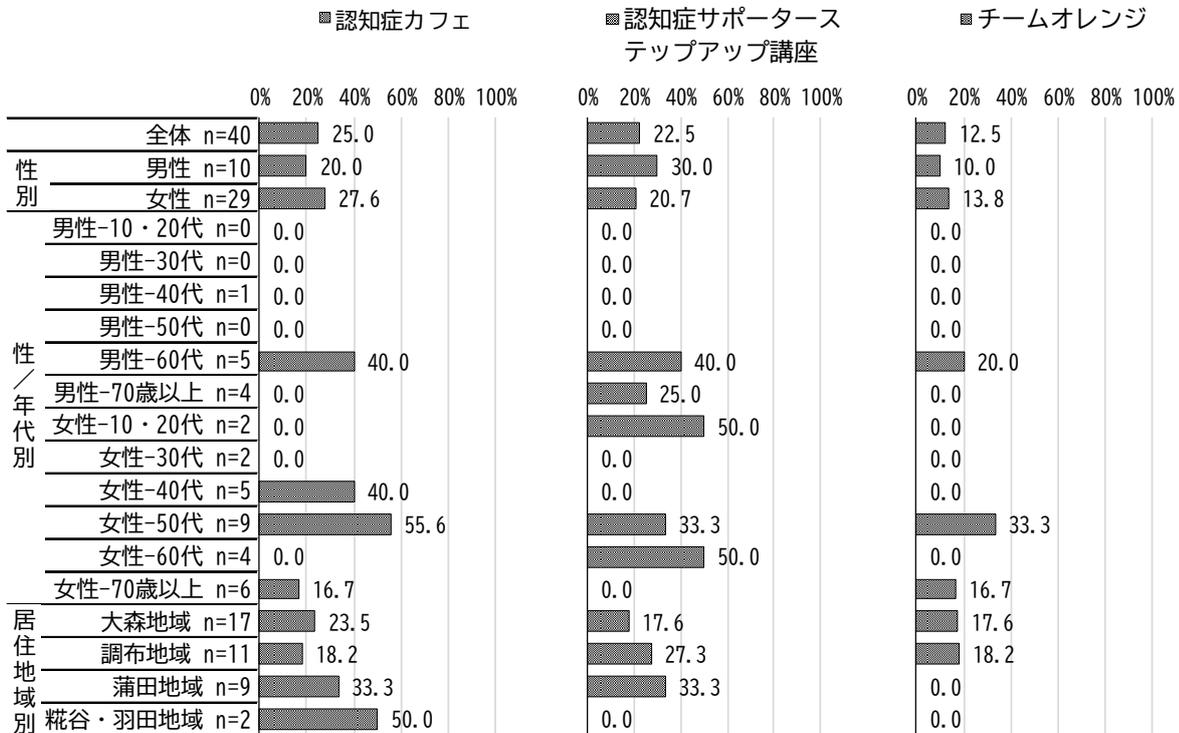
問 16-1 認知症サポーター養成講座を受講後、区の認知症施策に関する取組として、以下のどれに参加したことがありますか。(複数選択可)

「認知症サポーター養成講座」受講後に参加した取組は、「認知症カフェ」が 25.0%、次いで「認知症サポーターステップアップ講座」が 22.5%、「チームオレンジ」が 12.5%となっている。

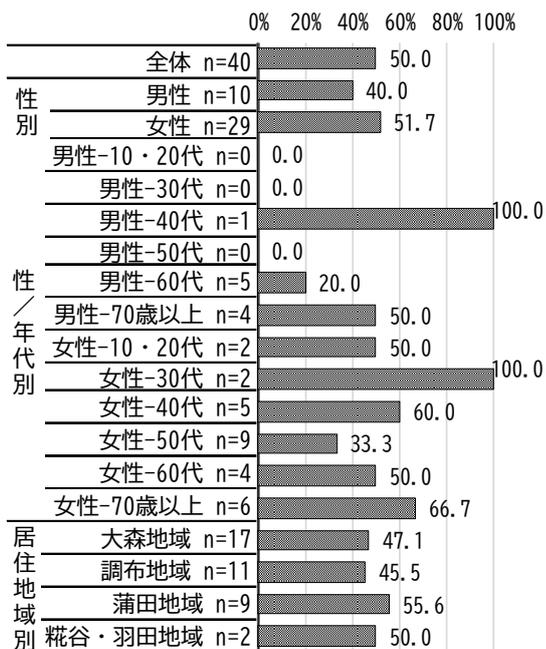


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「認知症カフェ」は男性が20.0%、女性が27.6%と、女性が7.6ポイント上回っている。一方「認知症サポーターステップアップ講座」は男性が30.0%、女性が20.7%と、男性が9.3ポイント上回っている。



■参加したことはない



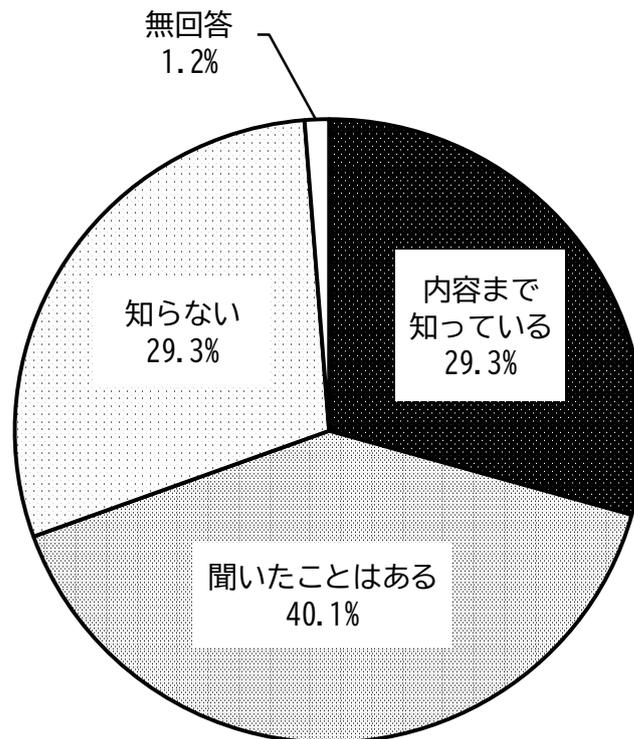
(9) 「成年後見制度」の認知度

◇ 「内容まで知っている」は約3割となっている

問 17 「成年後見制度¹⁰」を知っていますか。(1つのみ)

「成年後見制度」の認知度については、「聞いたことはある」が40.1%で最も高く、次いで「内容まで知っている」が29.3%、「知らない」が29.3%となっている。

全体 n=1121



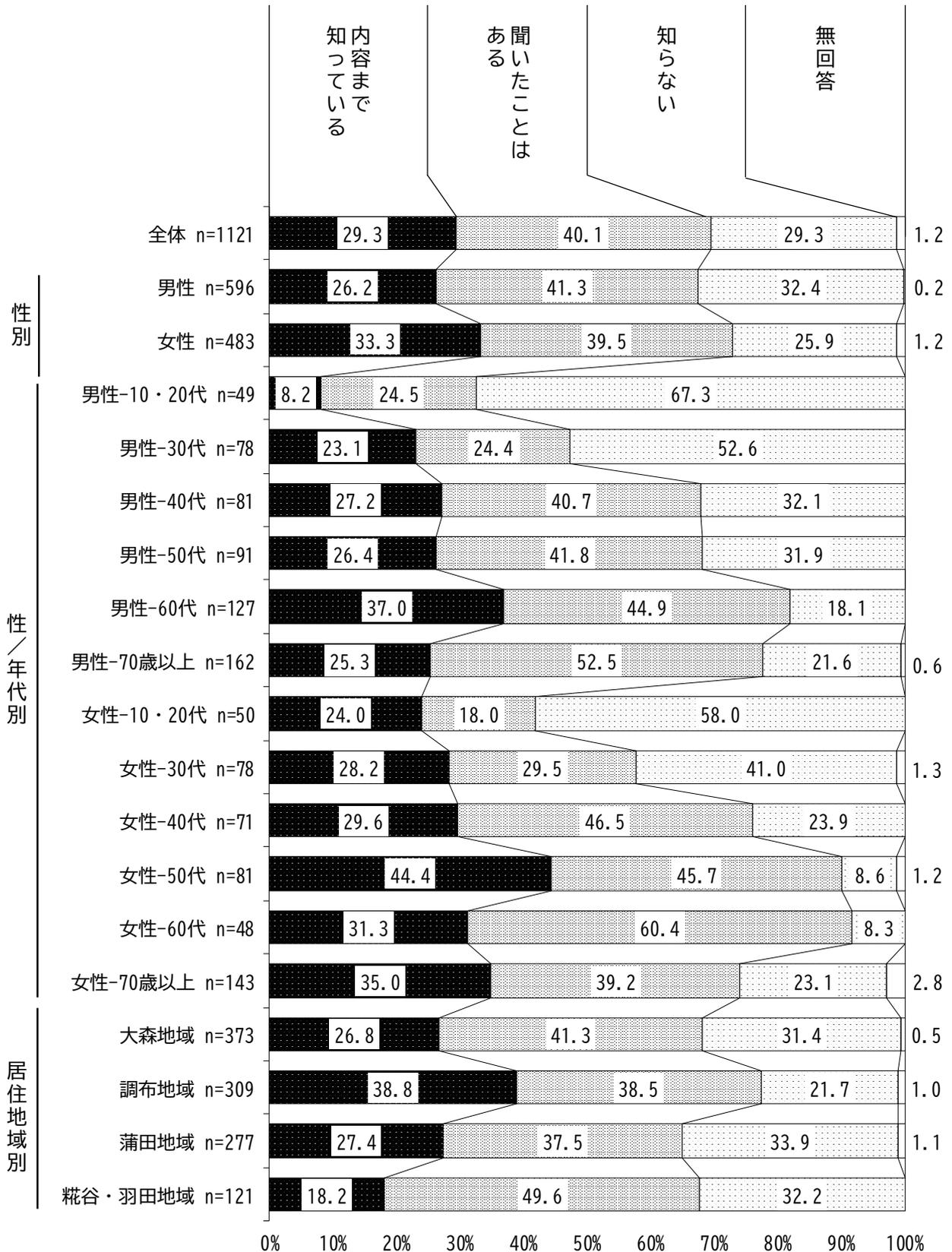
¹⁰ 認知症・知的障害・精神障害などによって判断能力が不十分な方の支援者を選び、法的に支援する制度

■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「内容まで知っている」は男性が26.2%、女性が33.3%と、女性が7.1ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「内容まで知っている」は女性50代で4割半ばと高くなっている。一方、「知らない」は男性10・20代で6割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「内容まで知っている」は調布地域で3割後半と高くなっている。



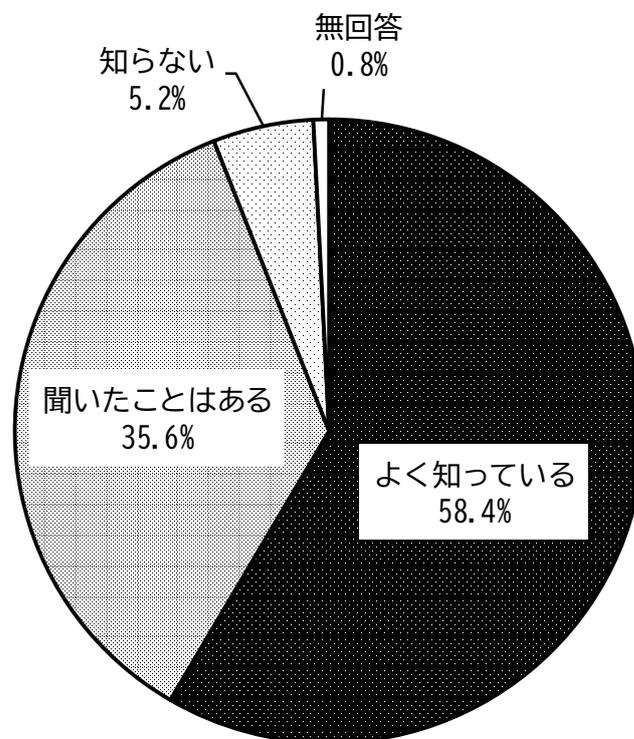
(10) 介護人材不足の認知度

◇「よく知っている」は5割後半となっている

問 18 介護を必要とする高齢者の増加に対して、介護人材が不足していることを知っていますか。
(1つのみ)

介護人材不足の認知度については、「よく知っている」が58.4%で最も高く、次いで「聞いたことはある」が35.6%、「知らない」が5.2%となっている。

全体 n=1121

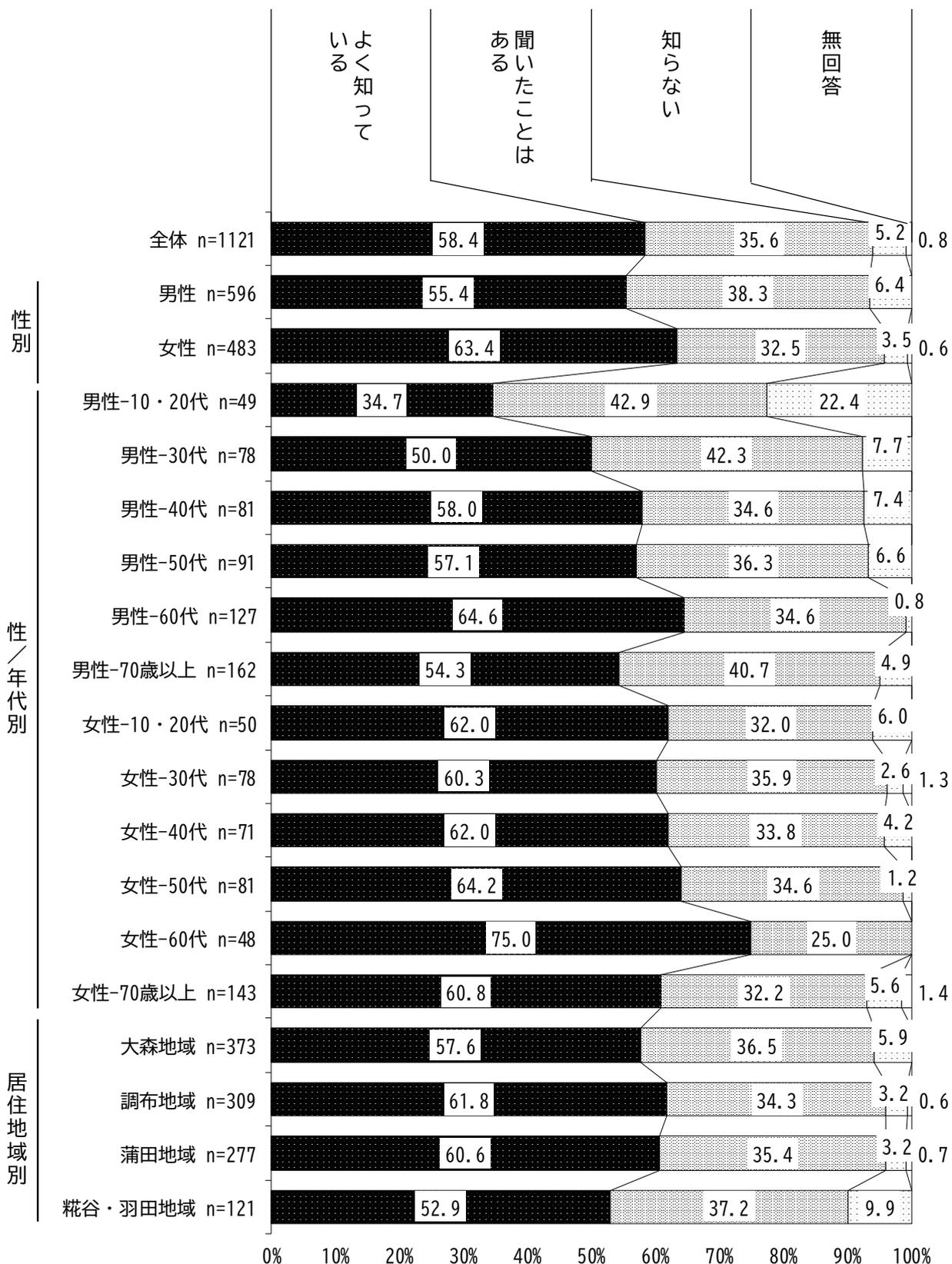


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「よく知っている」は男性 55.4%、女性 63.4%と女性が 8.0 ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「よく知っている」は女性 60 代で 7 割半ばと高くなっている。一方、「知らない」は男性 10・20 代で 2 割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「よく知っている」は調布地域で 6 割前半、蒲田地域で約 6 割と高くなっている。

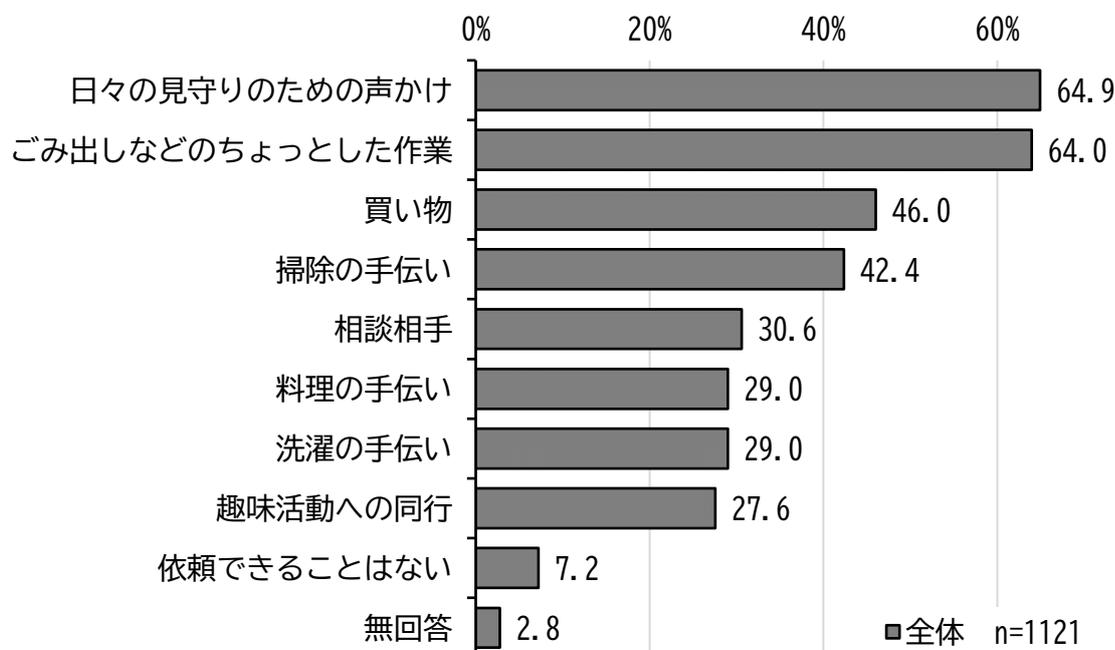


(11) 介護の専門職でないボランティアへの依頼作業

◇「日々の見守りのための声かけ」「ごみ出しなどのちょっとした作業」が6割半ばで最も高くなっている

問 19 急速な少子高齢化による現役世代の減少で労働力不足が進んでいます。これにより、今後、ホームヘルパー等介護人材の確保が一層困難になると想定されていますが、あなたやご家族が要支援・要介護認定を受け、介護サービスを利用する場合、介護の専門職でないボランティアに依頼しても良いと思うことは何ですか。(複数選択可)

介護の専門職でないボランティアへの依頼作業については、「日々の見守りのための声かけ」が64.9%で最も高く、次いで「ごみ出しなどのちょっとした作業」が64.0%、「買い物」が46.0%となっている。なお、「依頼できることはない」は7.2%となっている。

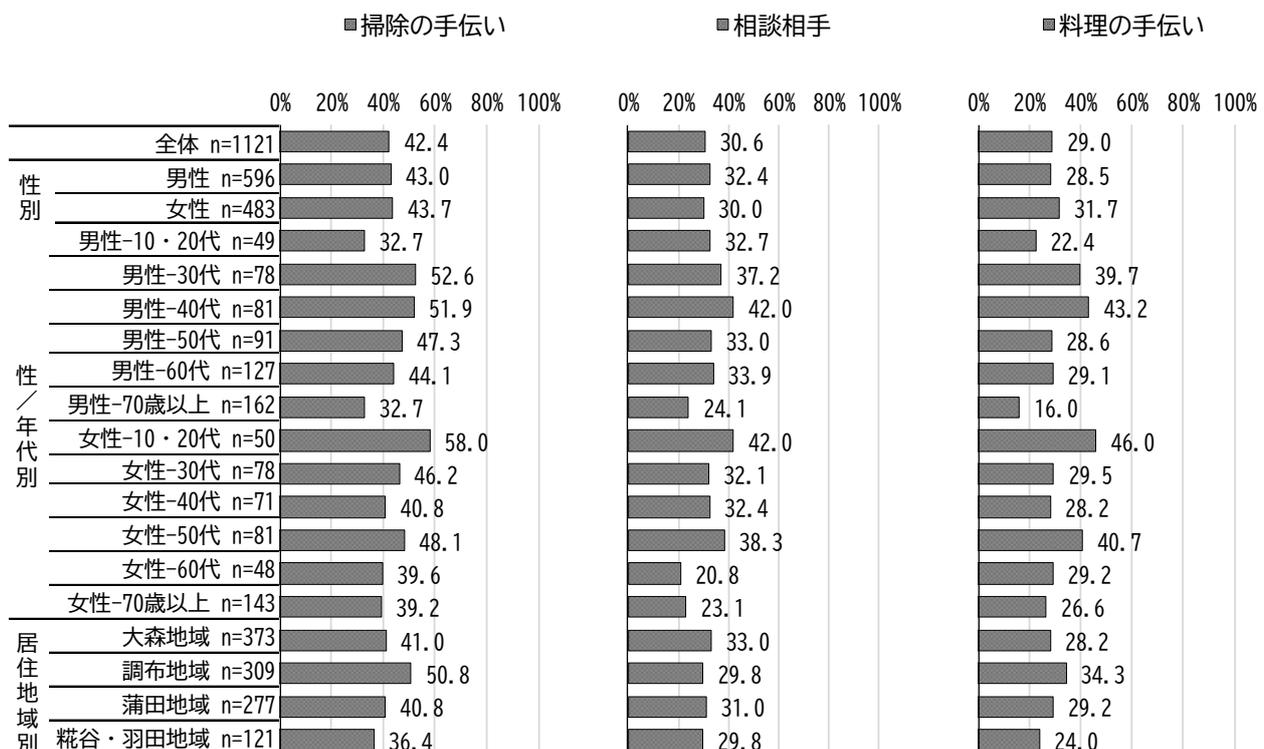
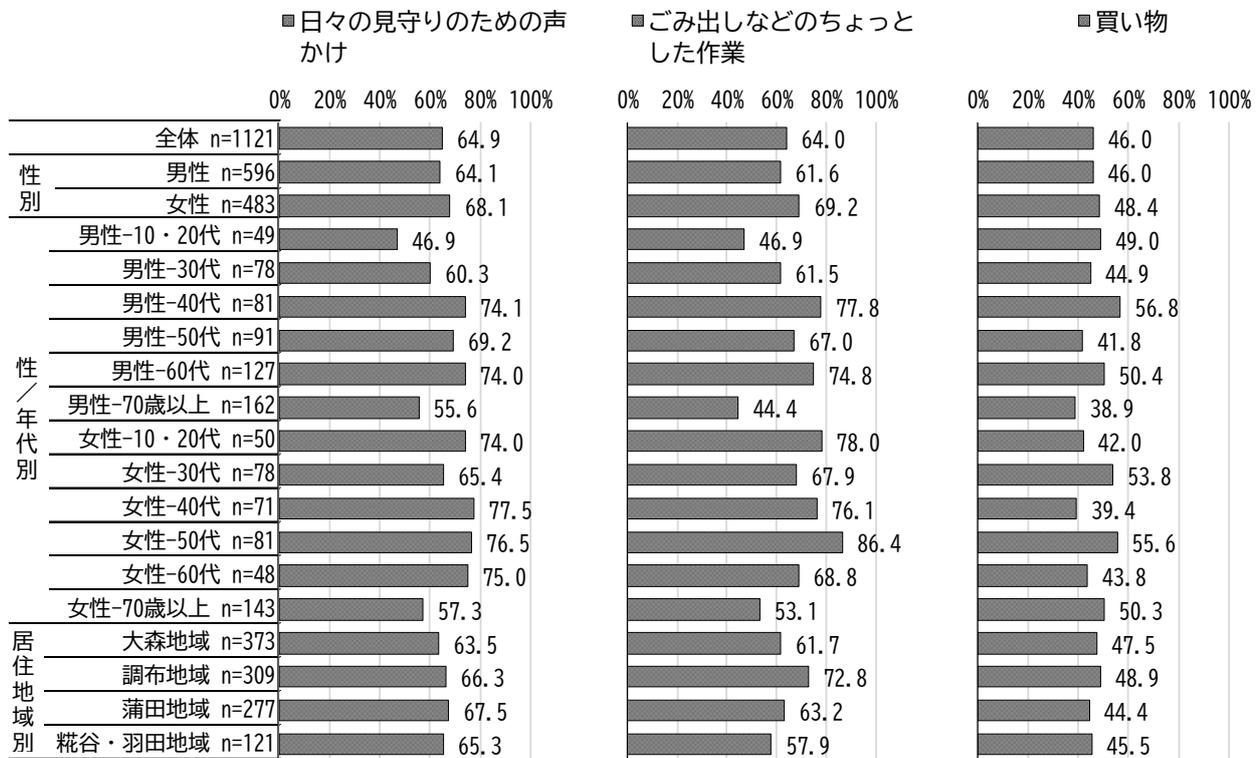


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、「日々の見守りのための声かけ」は男性が64.1%、女性が68.1%と、女性が4.0ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「ごみ出しなどのちょっとした作業」は女性50代で8割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、「ごみ出しなどのちょっとした作業」は調布地域で7割前半と高くなっている。



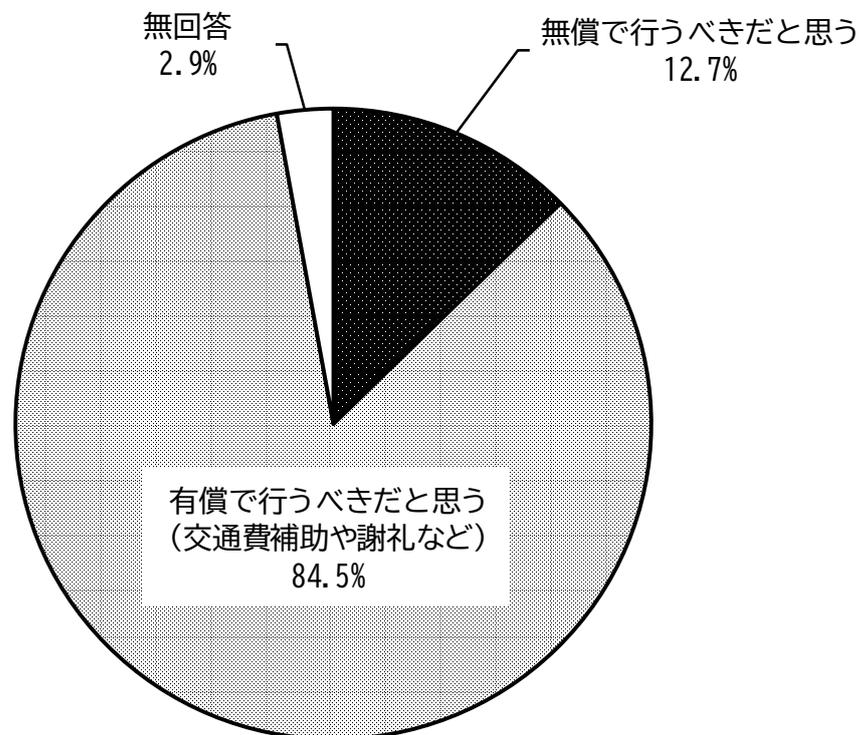
(12) ボランティア活動の対価

◇「有償で行うべきだと思う（交通費補助や謝礼など）」が8割半ばで最も高くなっている

問 20 高齢者の生活支援を目的としたボランティア活動について、対価がある場合とない場合のどちらが望ましいと思いますか。(1つのみ)

ボランティア活動の対価の有無については、「有償で行うべきだと思う（交通費補助や謝礼など）」が84.5%で最も高く、次いで「無償で行うべきだと思う」が12.7%となっている。

全体 n=1121

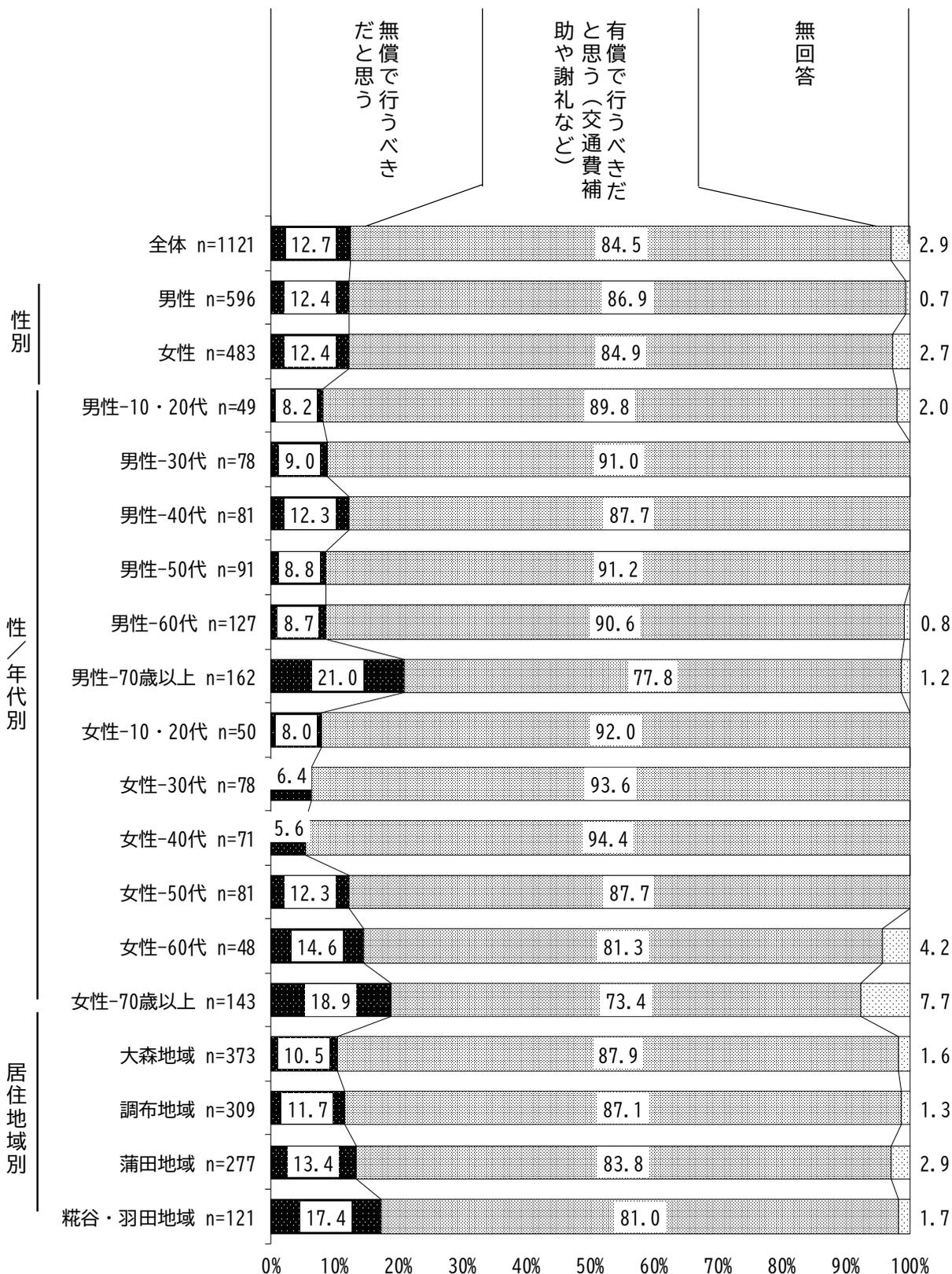


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「有償で行うべきだと思う（交通費補助や謝礼など）」は男性が86.9%、女性が84.9%となっており男性が2.0ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「無償で行うべきだと思う」は男性70歳以上で21.0%、女性70歳以上で18.9%と高くなっている。

居住地域別で見ると、「無償で行うべきだと思う」は糞谷・羽田地域で17.4%と高くなっている。



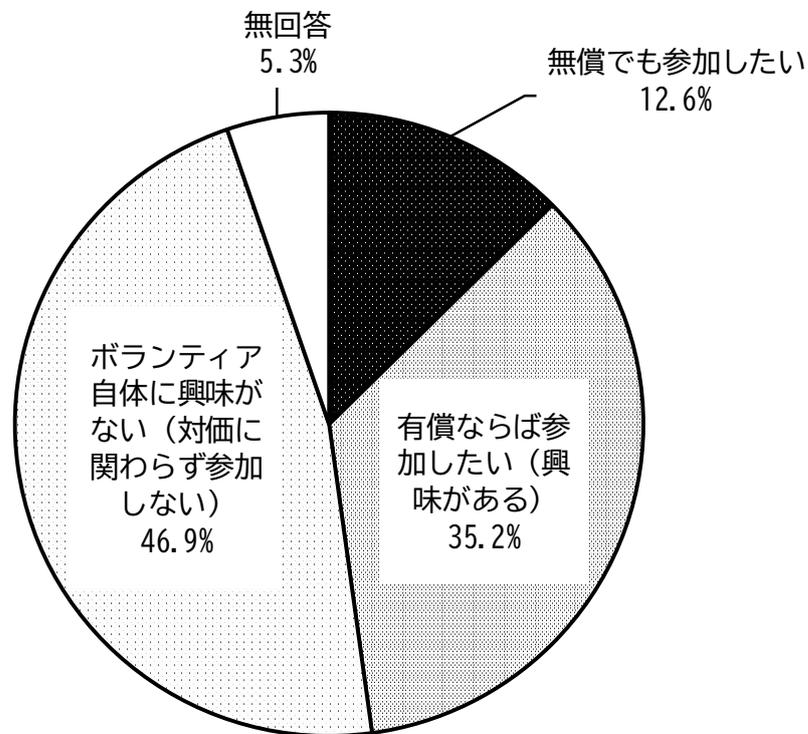
(13) 高齢者の生活を支援するためのボランティア活動

◇「ボランティア自体に興味がない(対価に関わらず参加しない)」が4割後半で最も高くなっている

問 21 高齢者の生活を支援するためのボランティア活動に関して、あなたの考えに最も近いものをお選びください。(1つのみ)

ボランティア活動の参加の有無については、「ボランティア自体に興味がない(対価に関わらず参加しない)」が46.9%で最も高く、次いで「有償ならば参加したい(興味がある)」が35.2%、「無償でも参加したい」が12.6%となっている。

全体
n=1121

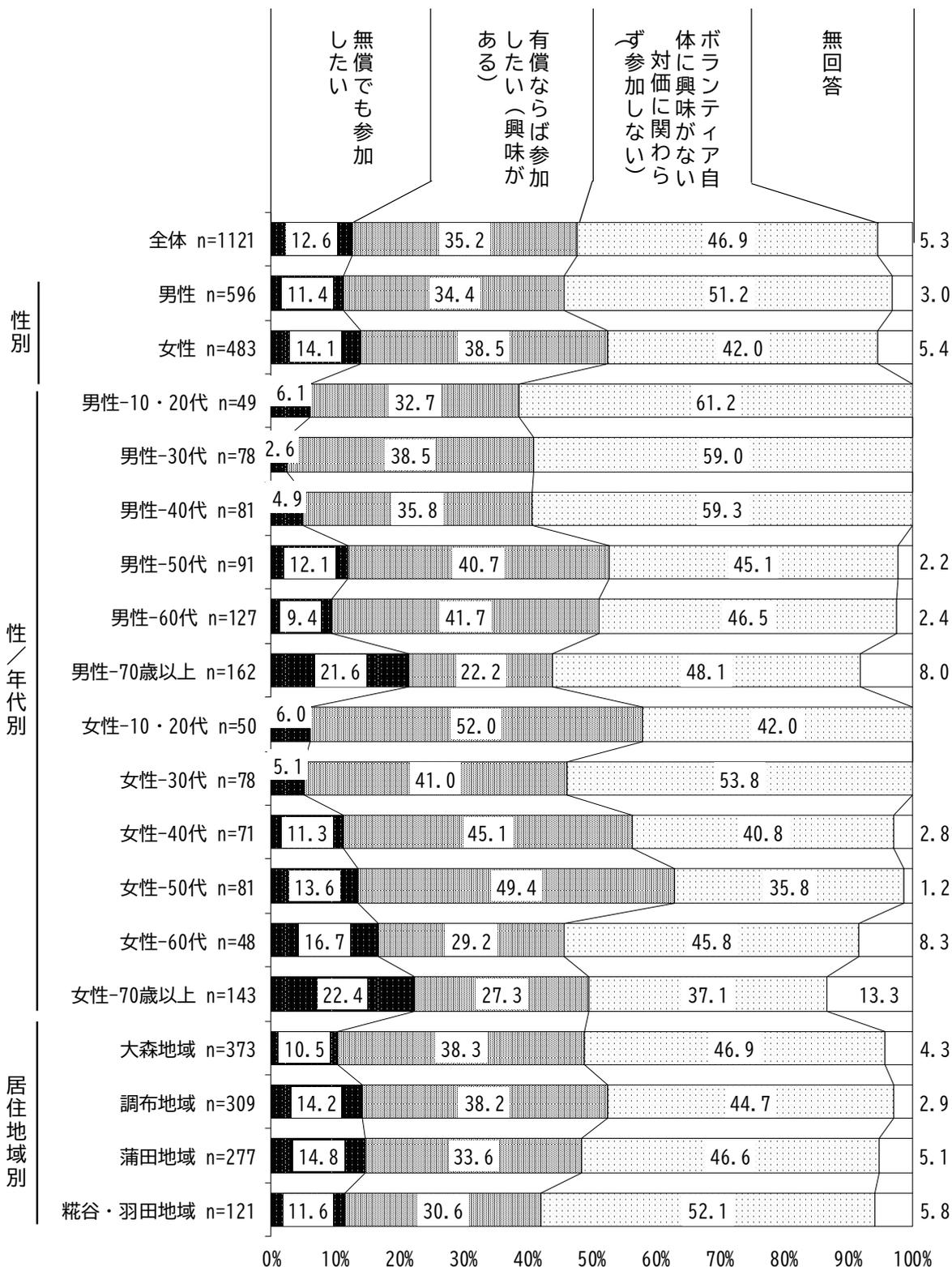


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「ボランティア自体に興味がない（対価に関わらず参加しない）」は男性が51.2%、女性が42.0%と、男性が9.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「無償でも参加したい（興味がある）」は男性70歳以上、女性70歳以上で2割前半と高くなっている。「有償ならば参加したい（興味がある）」は女性10・20代で5割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「ボランティア自体に興味がない（対価に関わらず参加しない）」は糀谷・羽田地域で5割前半と高くなっている。



5 消費者生活センターについて

(1) 大田区立消費者生活センターの認知度

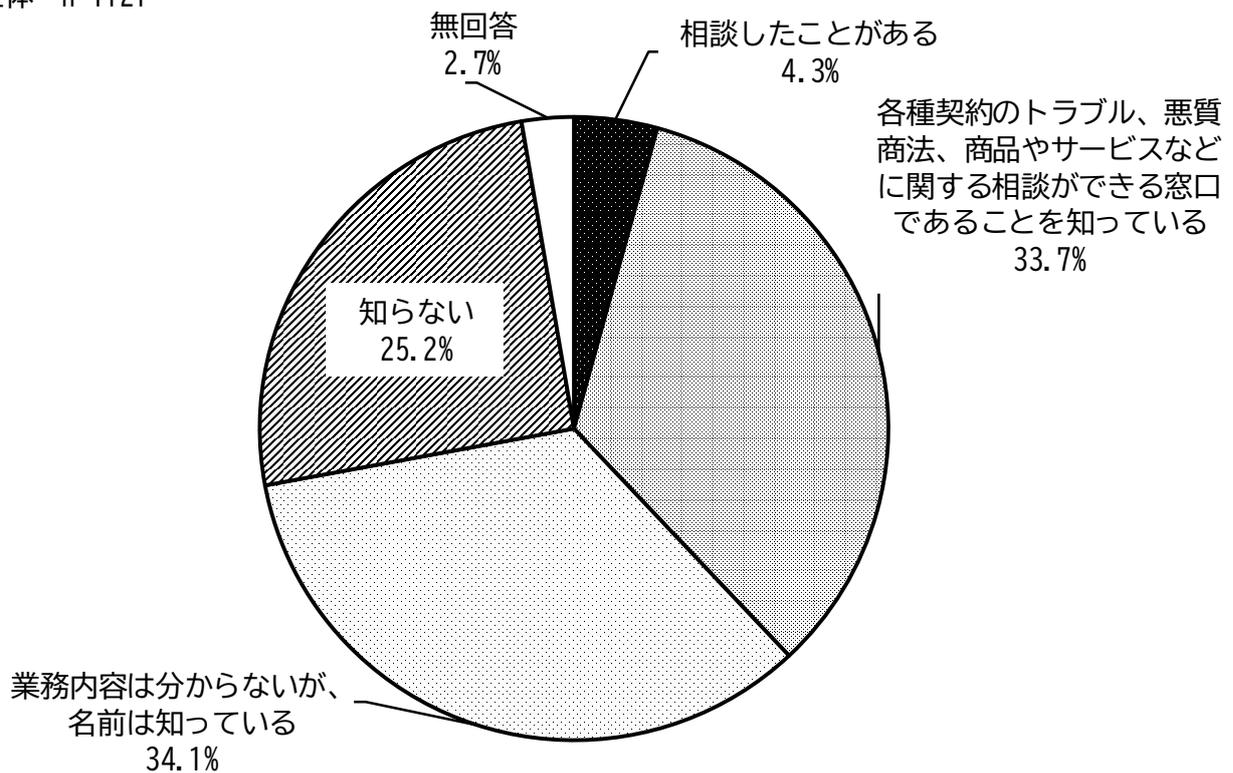
◇「相談したことがある」は1割未満となっている

問 22 大田区立消費者生活センターを知っていますか。(1つのみ)

大田区立消費者生活センターの認知度については、「業務内容はわからないが、名前は知っている」が34.1%で最も高く、次いで「各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている」が33.7%、「知らない」が25.2%となっている。

なお、「相談したことがある」は4.3%となっている。

全体 n=1121

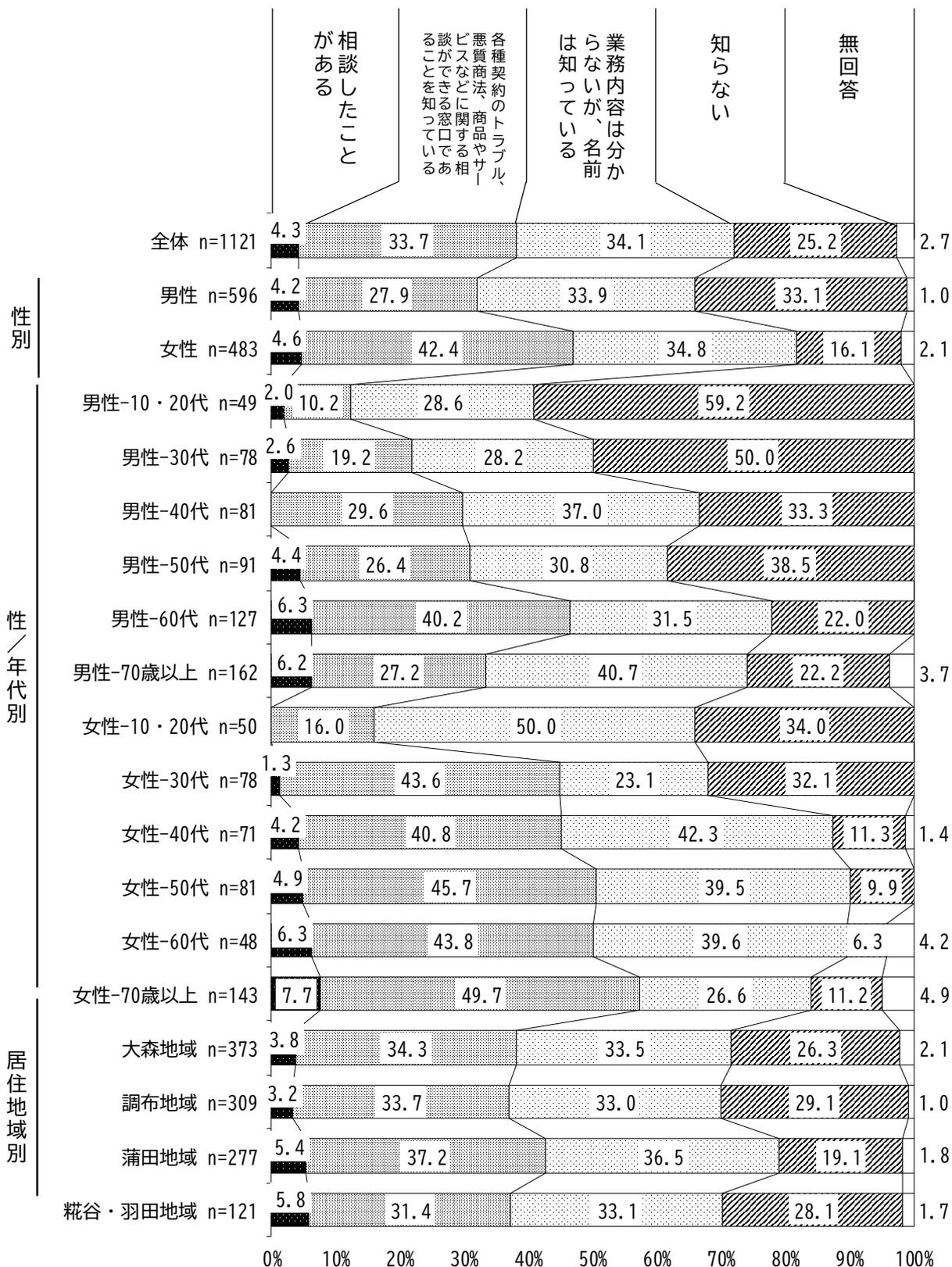


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている」は男性が27.9%、女性が42.4%と、女性が14.5ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「相談したことがある」は女性70歳以上で7.7%と高くなっている。一方で、「知らない」は男性10・20代、30代で5割台と高くなっている。

居住地域別で見ると、「相談したことがある」は糀谷・羽田地域で5.8%と高くなっている。



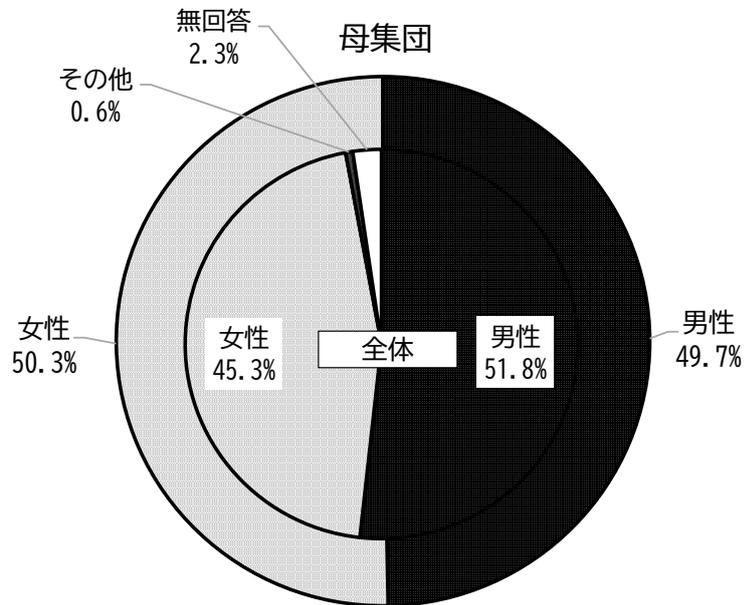
Ⅲ 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査②

1 回答者の属性について

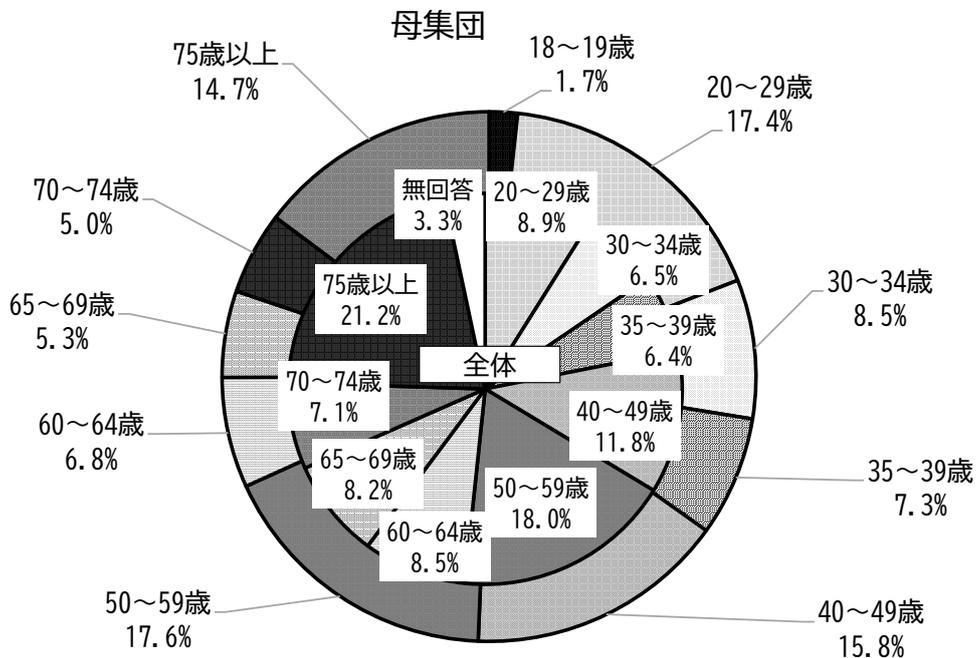
(1) 性別

全体：大田区の18歳以上の人口（n=655,759）※令和8年1月1日

回答者：有効回収数（n=1024）



(2) 年齢

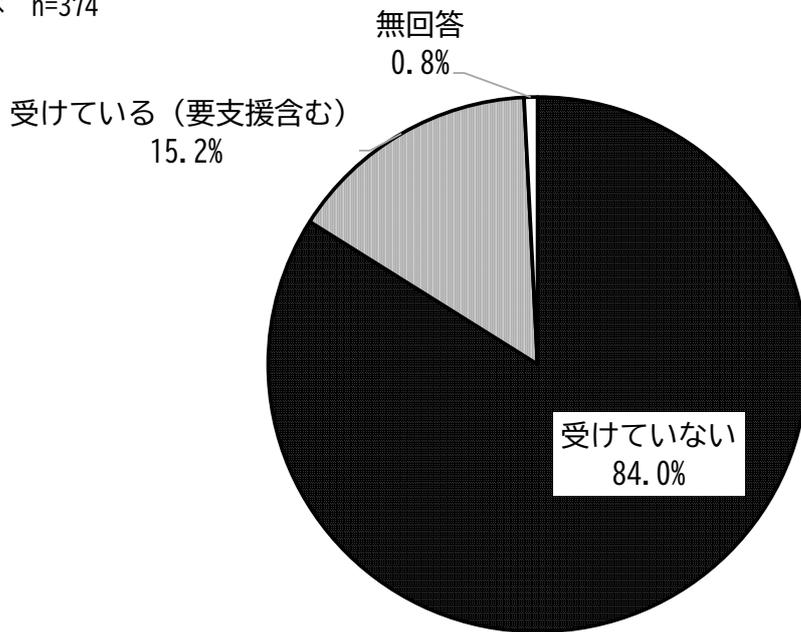


【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和8年1月1日現在版

(3) 要介護認定の状況

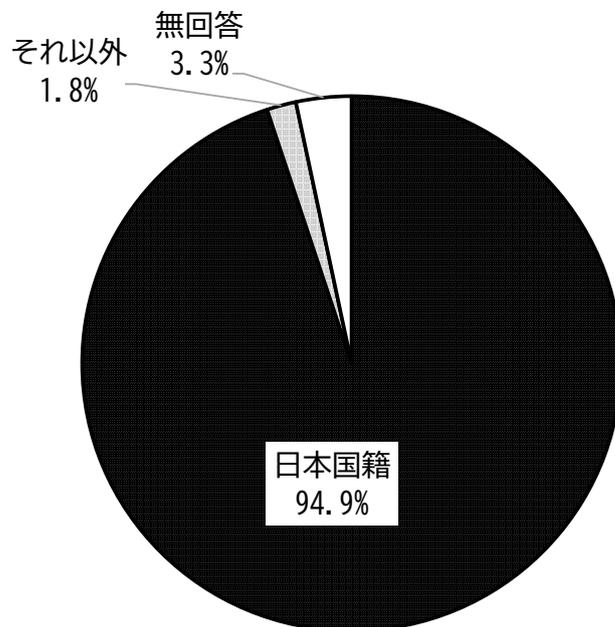
【(65歳以上の方)】

全体 n=374



(4) 国籍

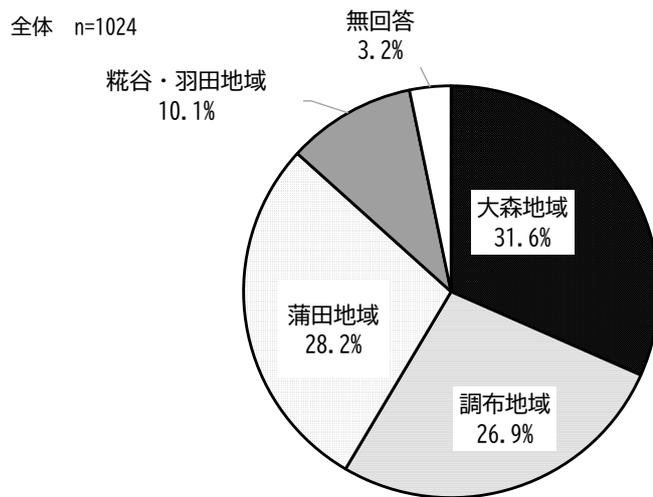
全体 n=1024



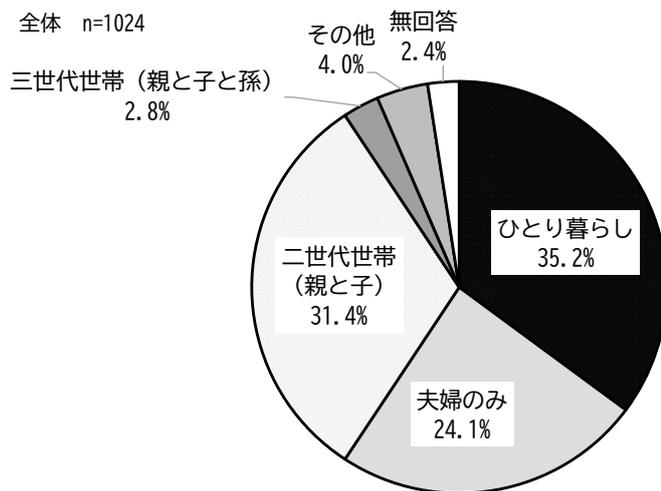
■日本国籍以外

国名	中国	韓国	フィリピン	ネパール	ウクライナ	ドイツ	カナダ	無回答
人数	5	1	1	2	1	1	1	6

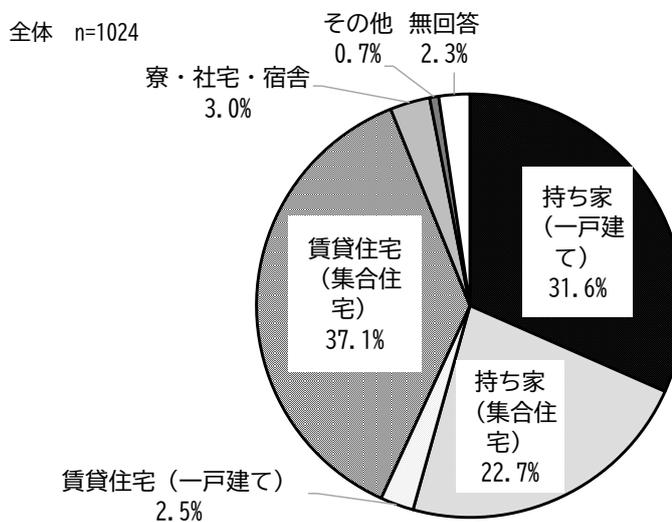
(5) 居住地域



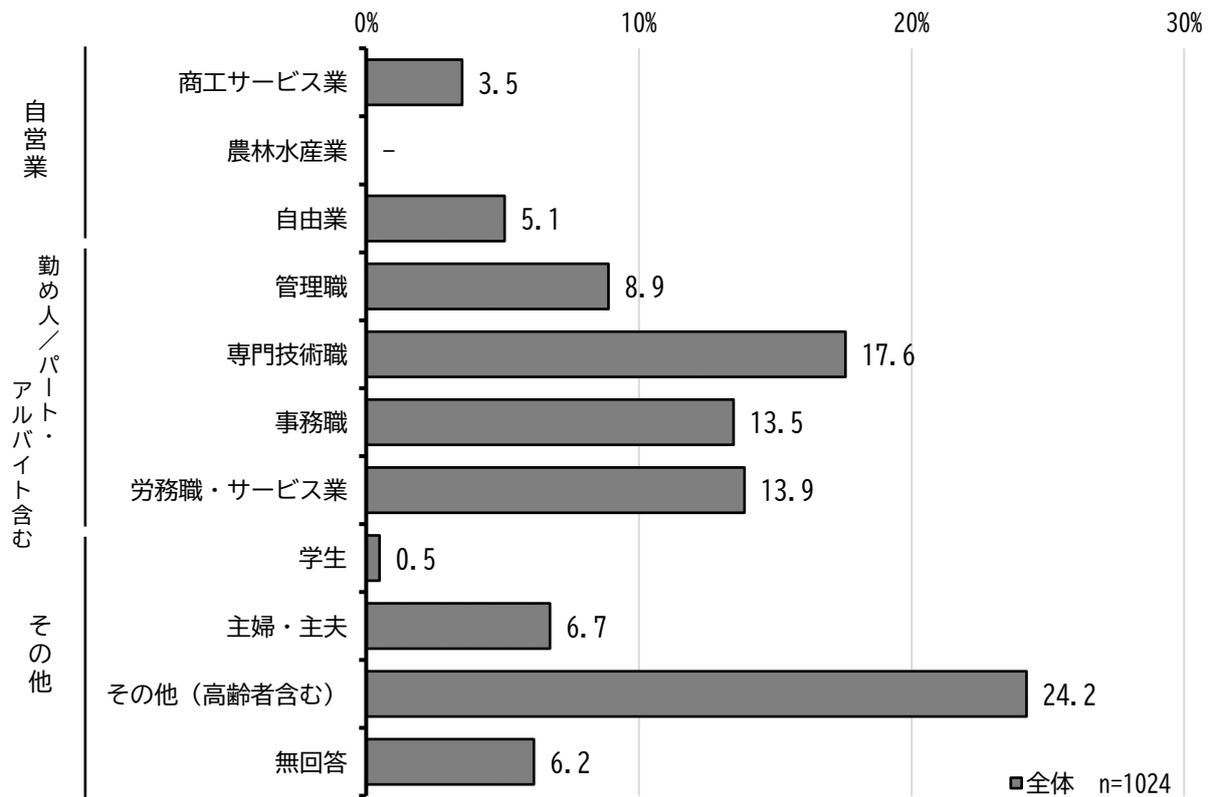
(6) 家族構成



(7) 住まいの種類

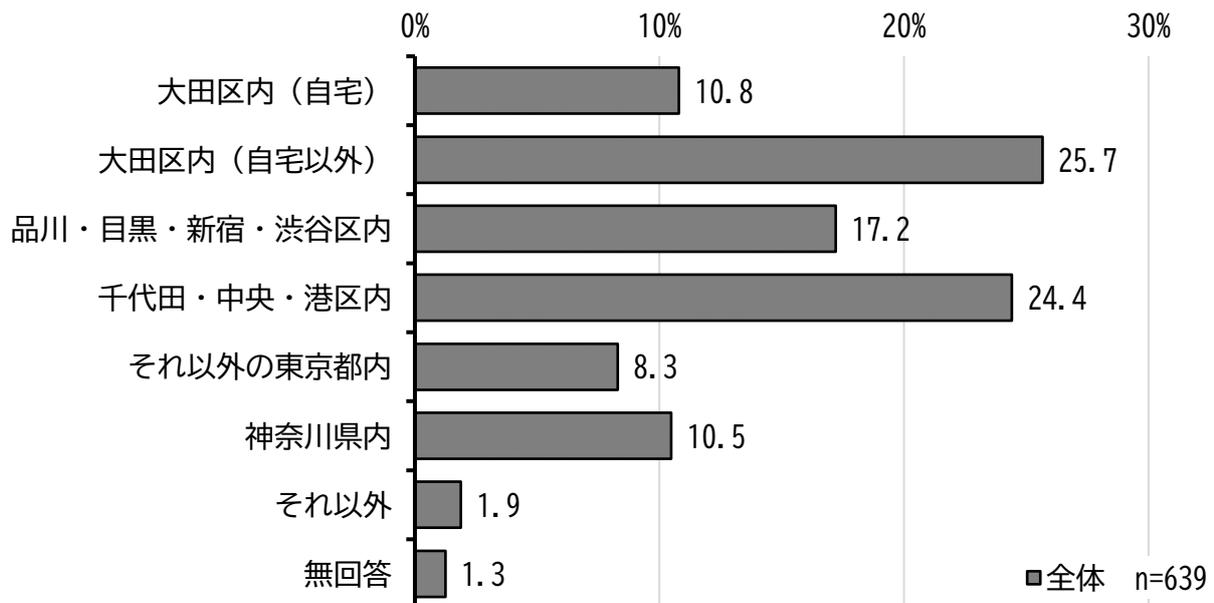


(8) 職業

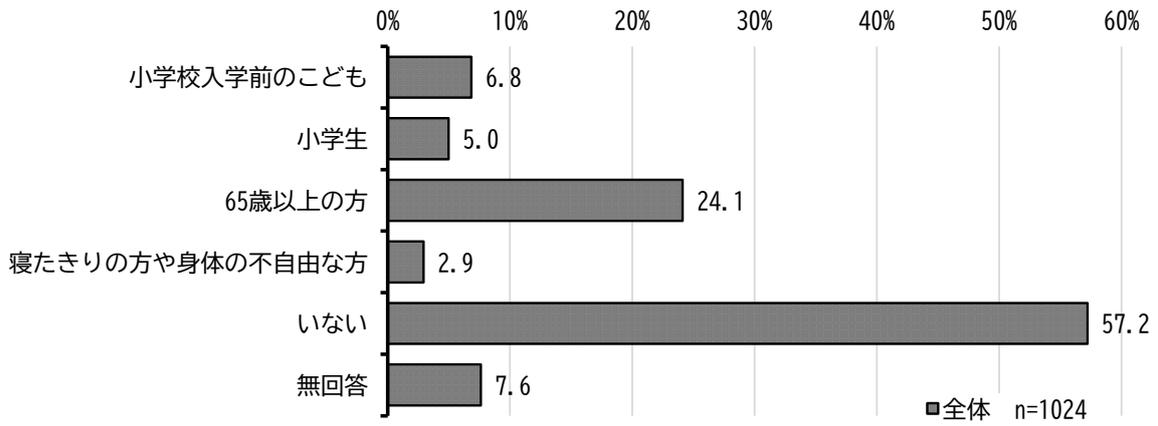


(9) 主な通勤・通学先

【(8) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】



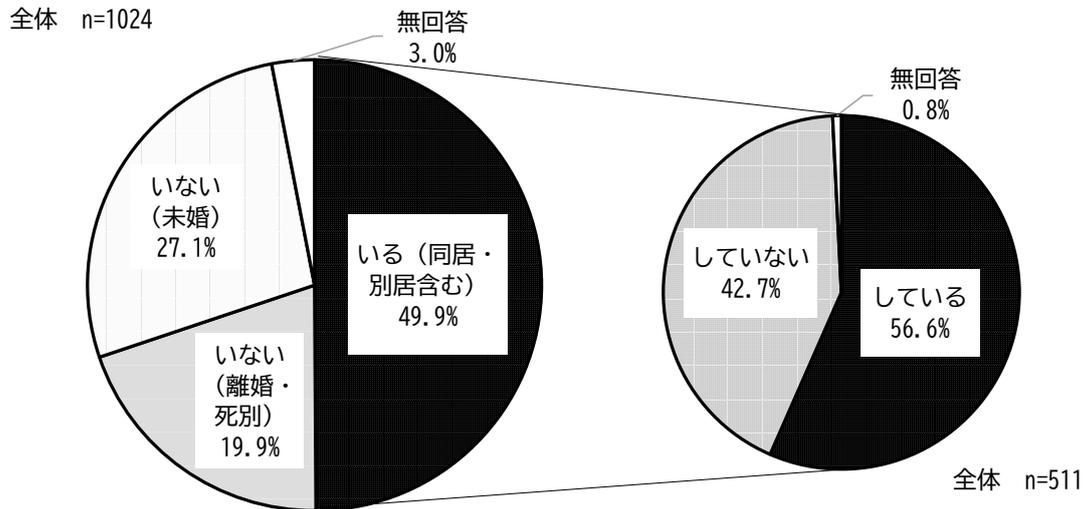
(10) 同居家族



(11) 配偶者の有無

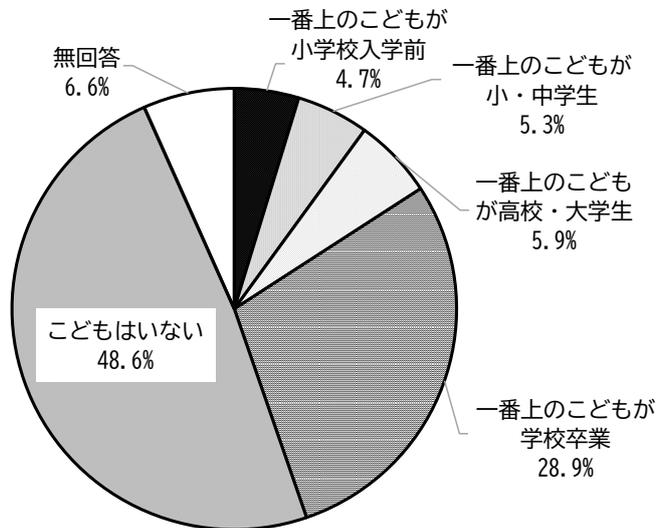
(12) 共働きの状況

【(11) 配偶者の有無で「いる（同居・別居含む）」と回答した方】

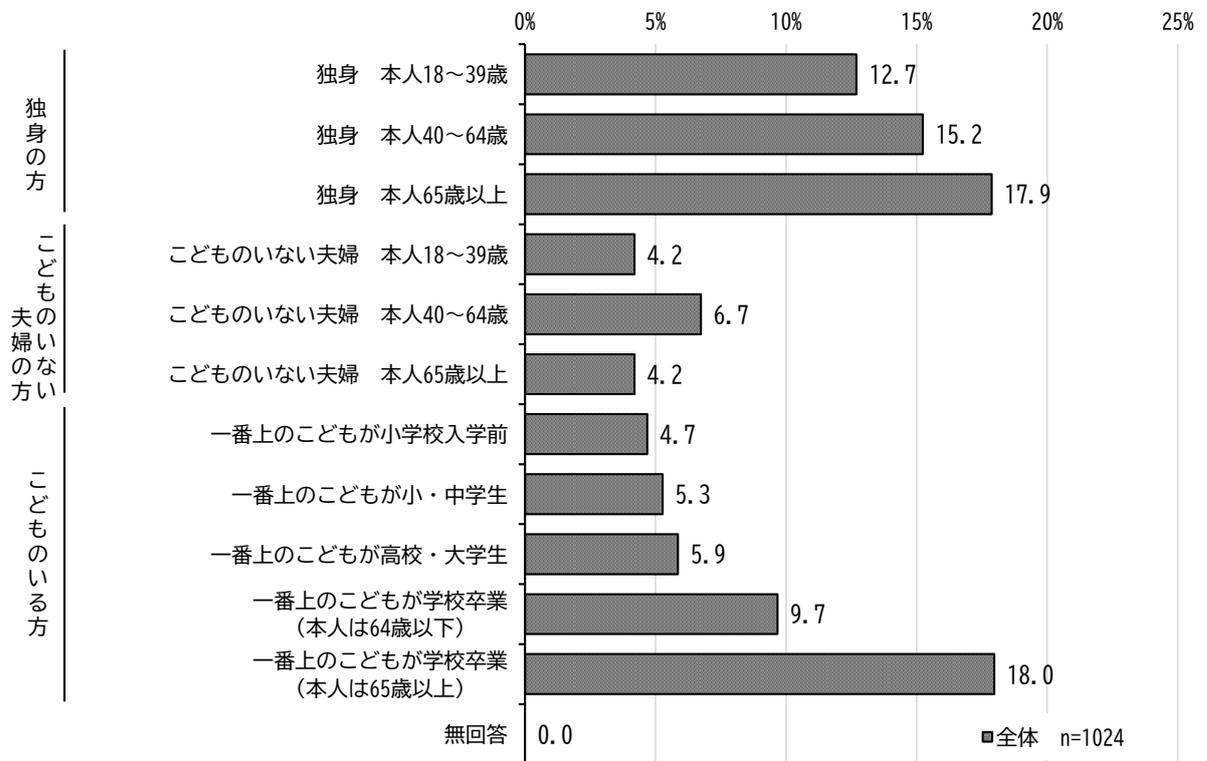


(13) こどもの有無

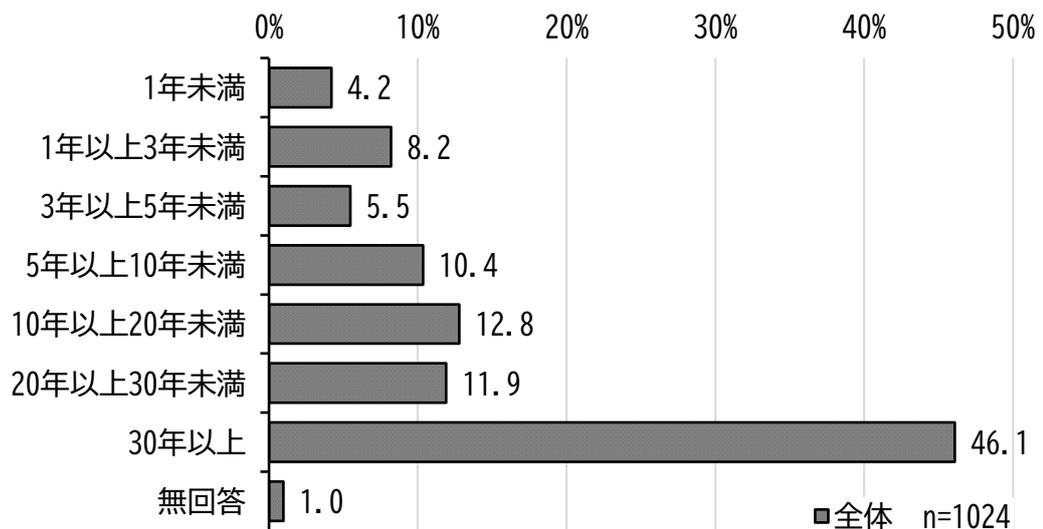
全体 n=1024



(14) ご自身のステージ



(15) 居住年数



2 地域活動について

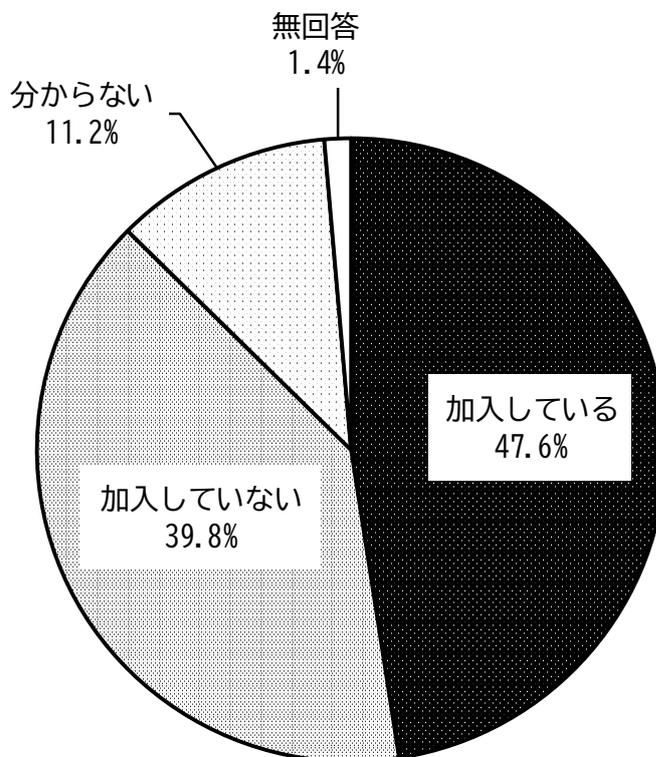
(1) 自治会・町会への加入

◇「加入している」は4割後半となっている

問1 自治会・町会に加入していますか。(1つのみ)

自治会・町会への加入については、「加入している」が47.6%、「加入していない」が39.8%と、「加入している」が7.8ポイント上回っている。

全体
n=1024

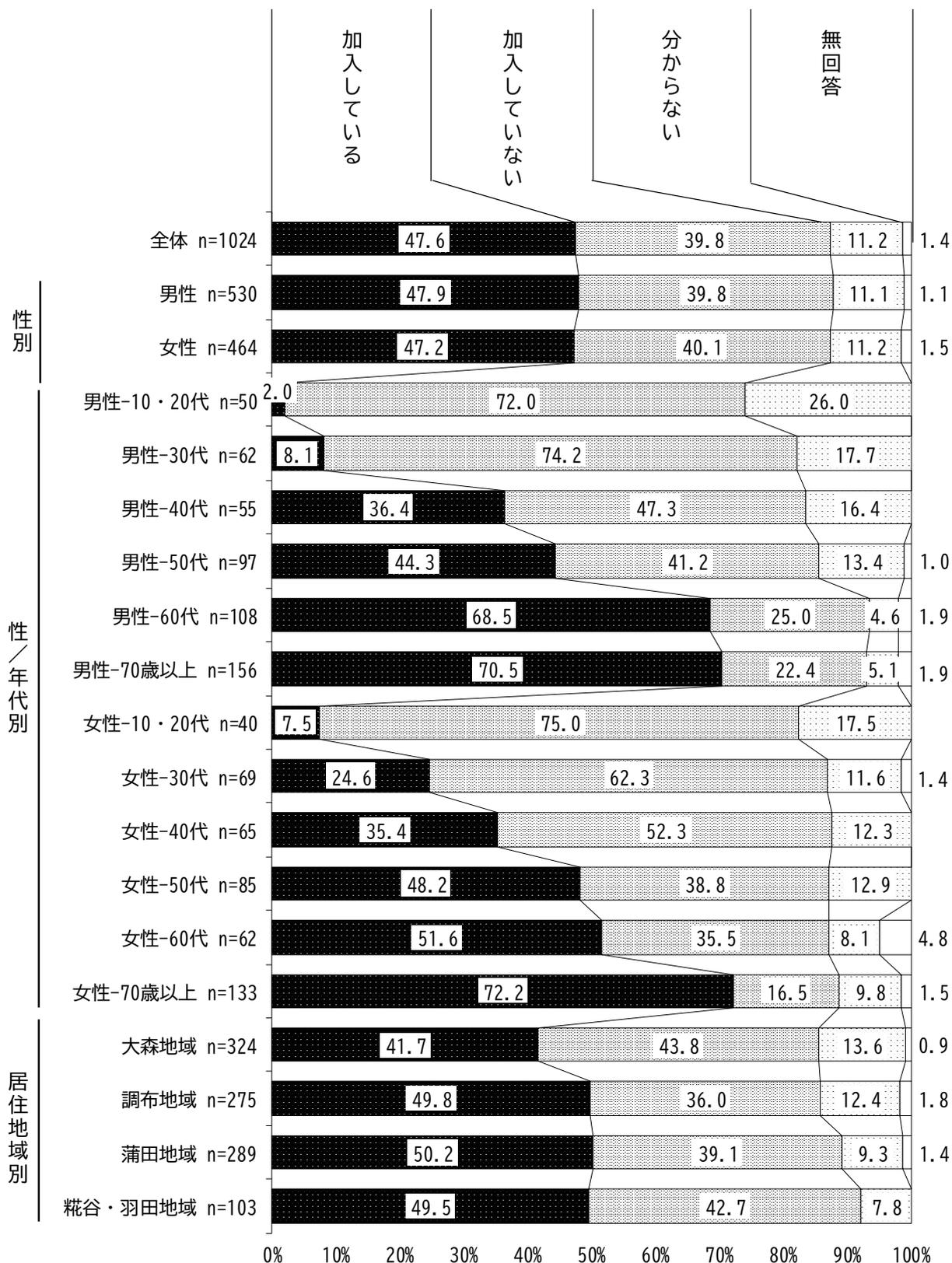


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「加入している」は男性、女性ともに年代が上がるにつれて高くなっており、男性70歳以上で約7割、女性70歳以上で7割前半となっている。

居住地域別でみると、「加入している」は大森地域で41.7%と低くなっている。



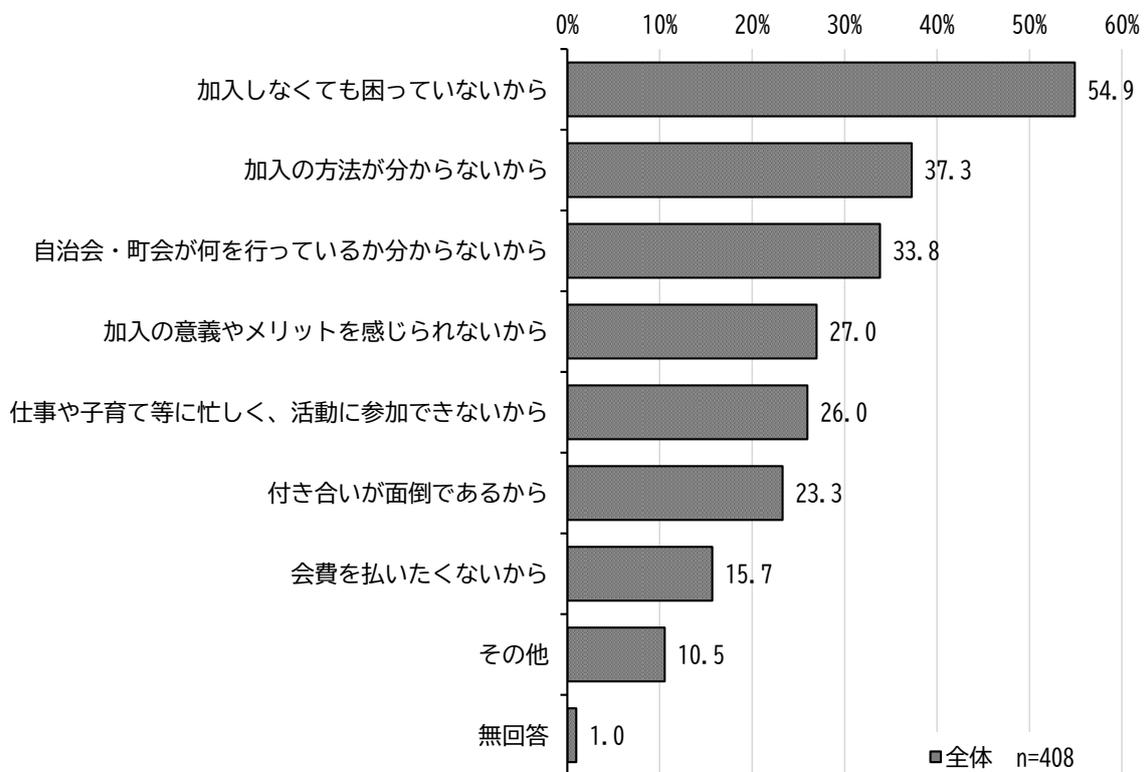
(2) 自治会・町会に加入していない理由

◇「加入しなくても困っていないから」が5割半ばで最も高くなっている

【問1 で「2 加入していない」を回答した方に伺います。】

問1-1 自治会・町会に加入していない理由は何ですか。(複数選択可)

自治会・町会に加入していない理由については、「加入しなくても困っていないから」が54.9%で最も高く、次いで「加入の方法がわからないから」が37.3%、「自治会・町会が何を行っているかわからないから」が33.8%となっている。

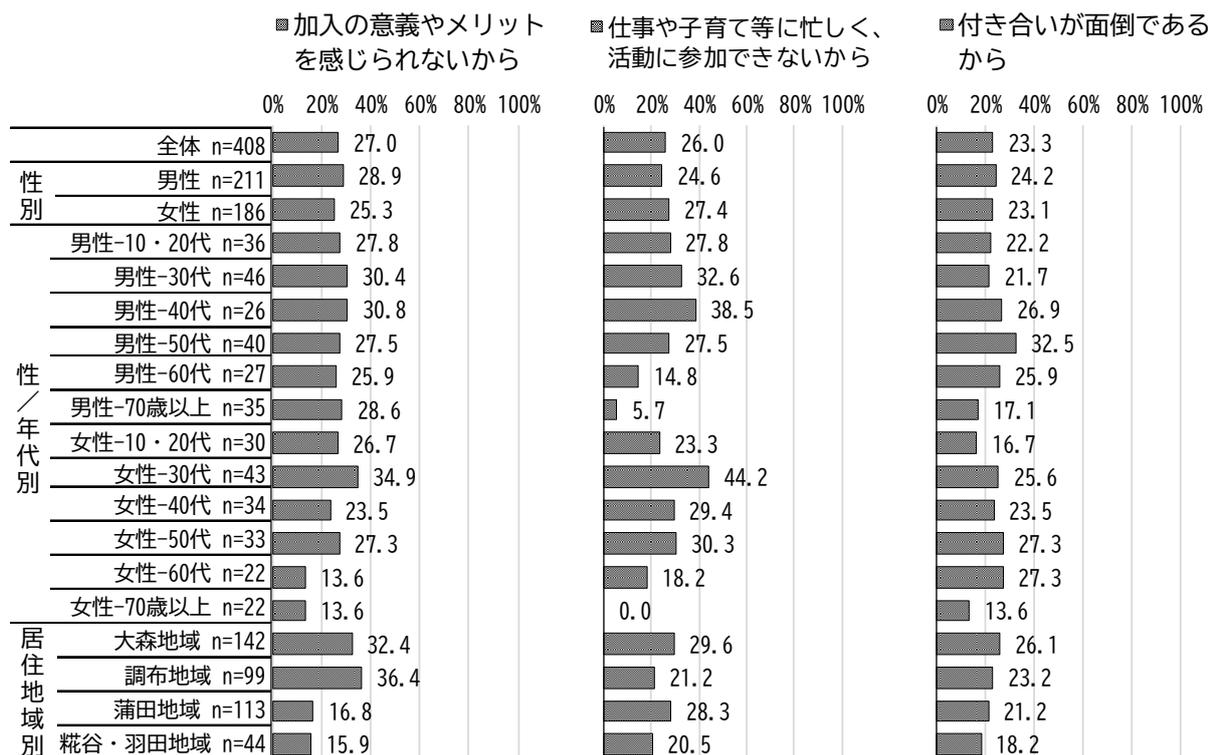
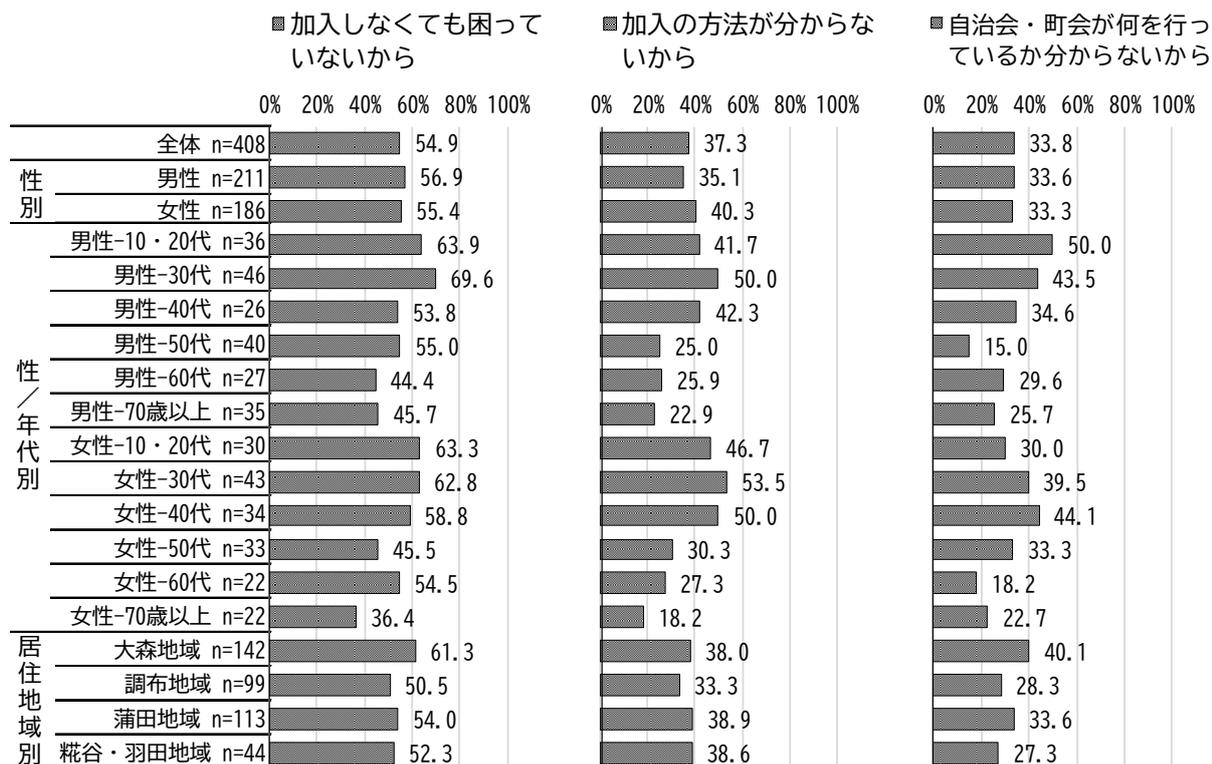


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「加入しなくても困っていないから」は男性が 56.9%、女性が 55.4%と、男性が 1.5 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「加入しなくても困っていないから」は男性、女性ともに 10・20 代、30 代で 6 割台と高くなっている。

居住地域別でみると、「加入しなくても困っていないから」は大森地域で 61.3%と高くなっている。



3 地域のつながり・見守りについて

(1) 地域活動の参加状況

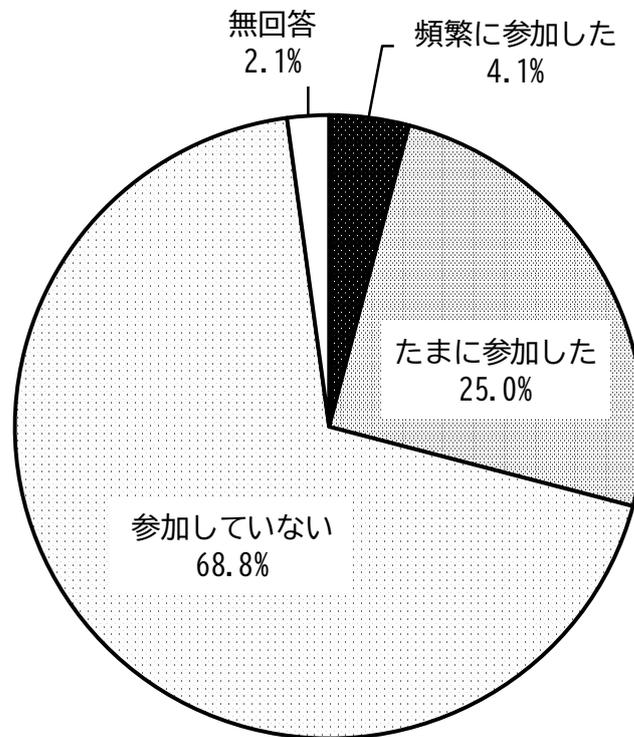
◇「参加していない」が6割後半で最も高くなっている

問2 この1年間の地域活動（地域のイベントやお祭り、自治会・町会の活動等）への参加状況と今後の参加意向についてご回答ください。（それぞれ1つ）

問2-1 この1年間の参加状況

地域活動のこの1年間の参加状況については、「参加していない」が68.8%で最も高く、次いで「たまに参加した」が25.0%、「頻繁に参加した」が4.1%となっている。

全体 n=1024

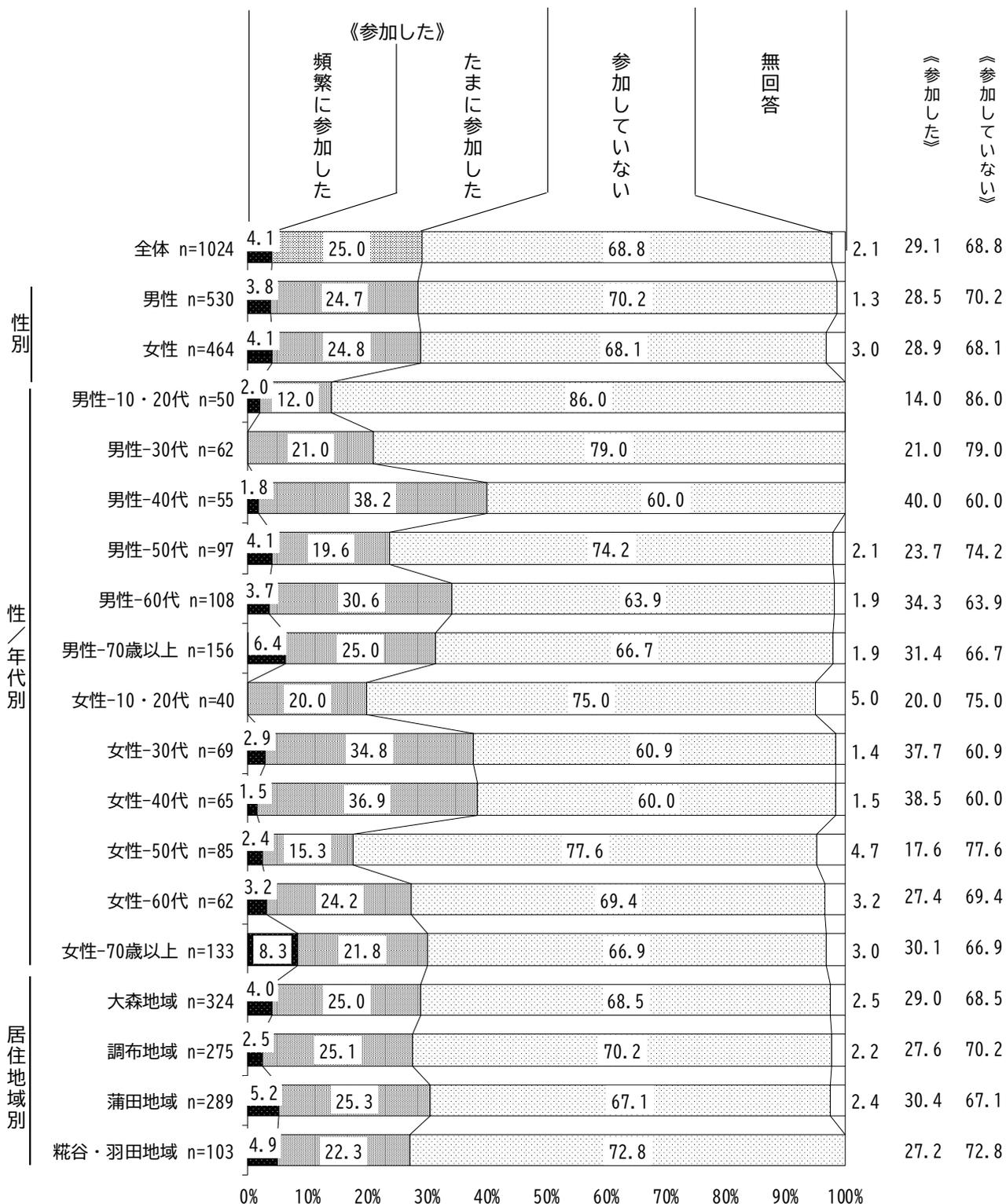


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「参加していない」は男性が70.2%、女性が68.1%と男性が2.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「参加した」は男性40代で4割と最も高くなっている。次いで、女性30代、40代で3割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「参加した」は蒲田地域で30.4%と高くなっている。



(2) 地域活動の今後の参加意向

◇《参加したい》(「ぜひ参加したい」「きっかけや条件が整えば参加してみたい」の合計値)は4割半ばとなっている

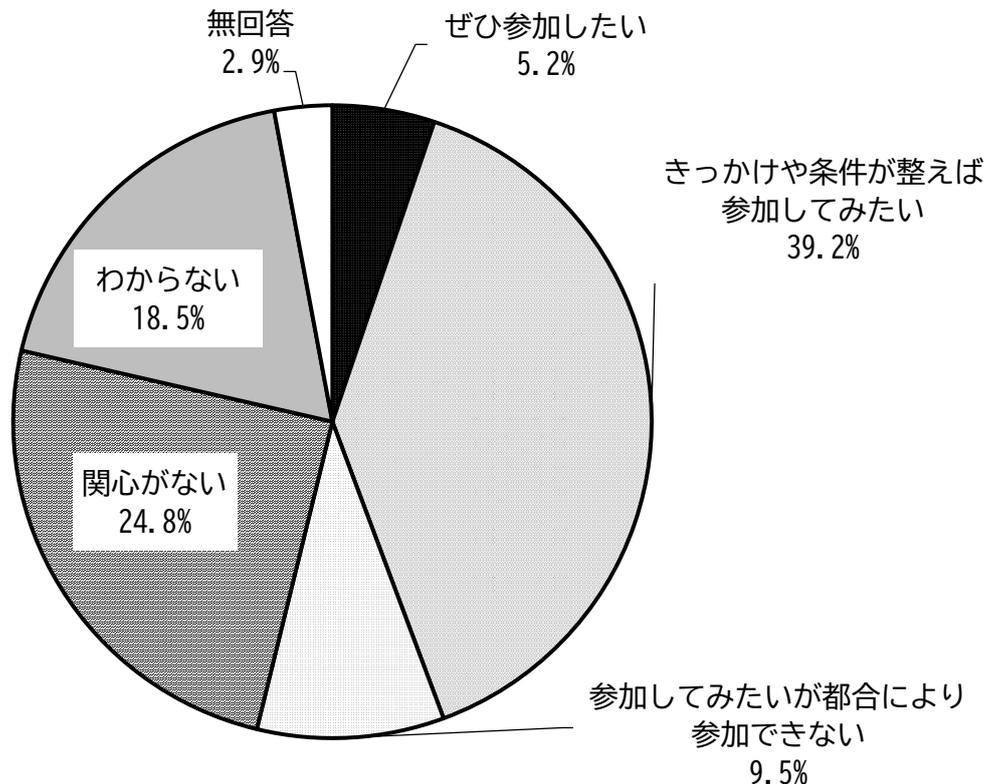
問2 この1年間の地域活動(地域のイベントやお祭り、自治会・町会の活動等)への参加状況と今後の参加意向についてご回答ください。(それぞれ1つ)

問2-2 今後の参加意向

地域活動への今後の参加意向については、「きっかけや条件が整えば参加してみたい」が39.2%で最も高く、次いで「関心がない」が24.8%、「参加してみたいが都合により参加できない」が9.5%となっている。

「ぜひ参加したい」、「きっかけや条件が整えば参加してみたい」の合計値《参加したい》が44.3%、「参加してみたいが都合により参加できない」、「関心がない」の合計値《参加しない》が34.3%と《参加したい》が10.0ポイント上回っている。

全体 n=1024

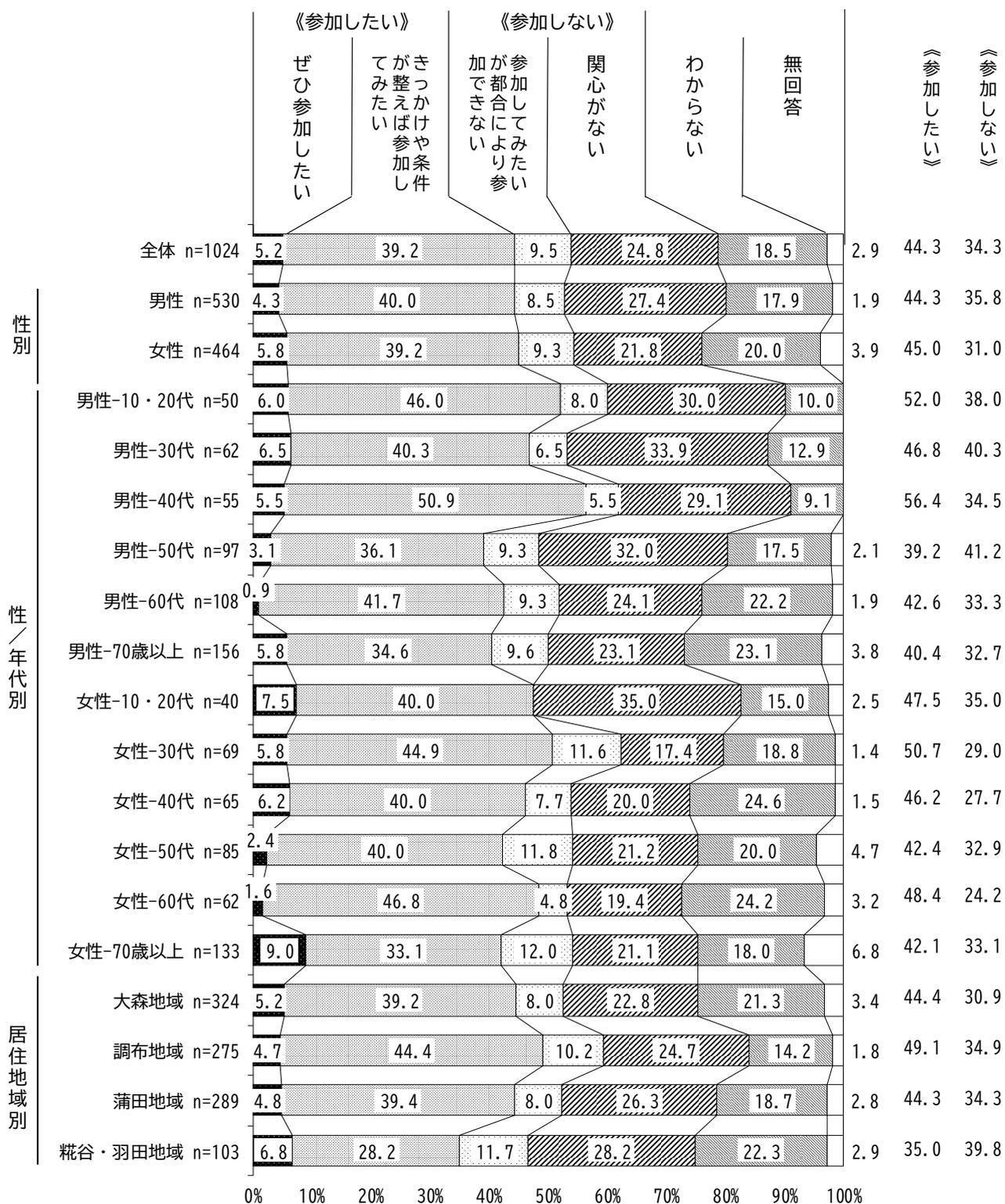


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《参加しない》は男性が35.8%と女性と比較して、4.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《参加したい》は男性10・20代、40代、女性30代で5割台と高くなっている。

居住地域別でみると、《参加しない》は糞谷・羽田地域で約4割と高くなっている。



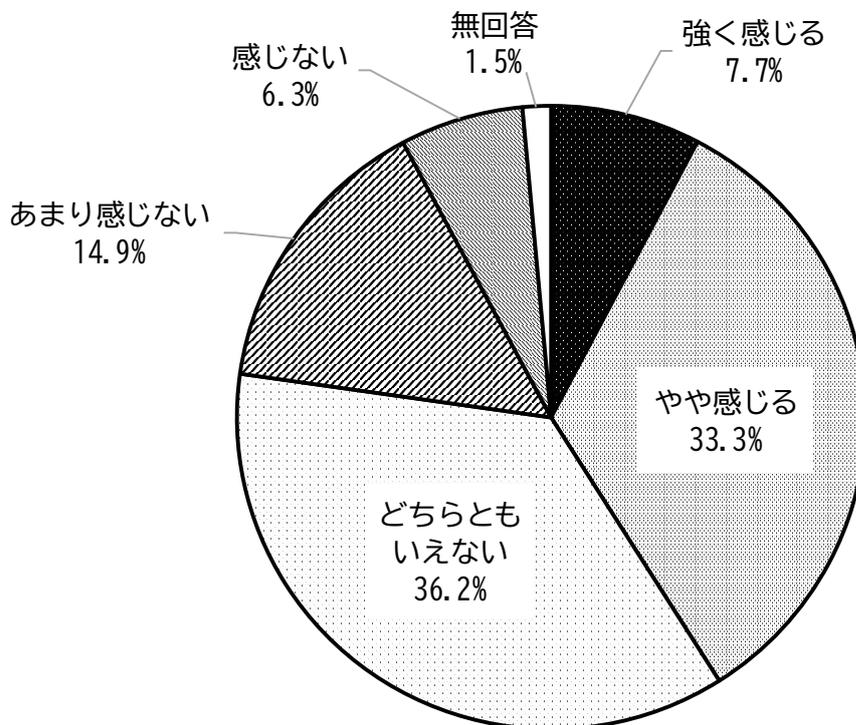
(3) お住まいの地域での子ども・子育て家庭の見守り

◇《感じる》(「強く感じる」「やや感じる」の合計値)は4割前半となっている

問3 お住まいの地域は子ども・子育て家庭をあたたく見守っていると感じますか。
(1つのみ)

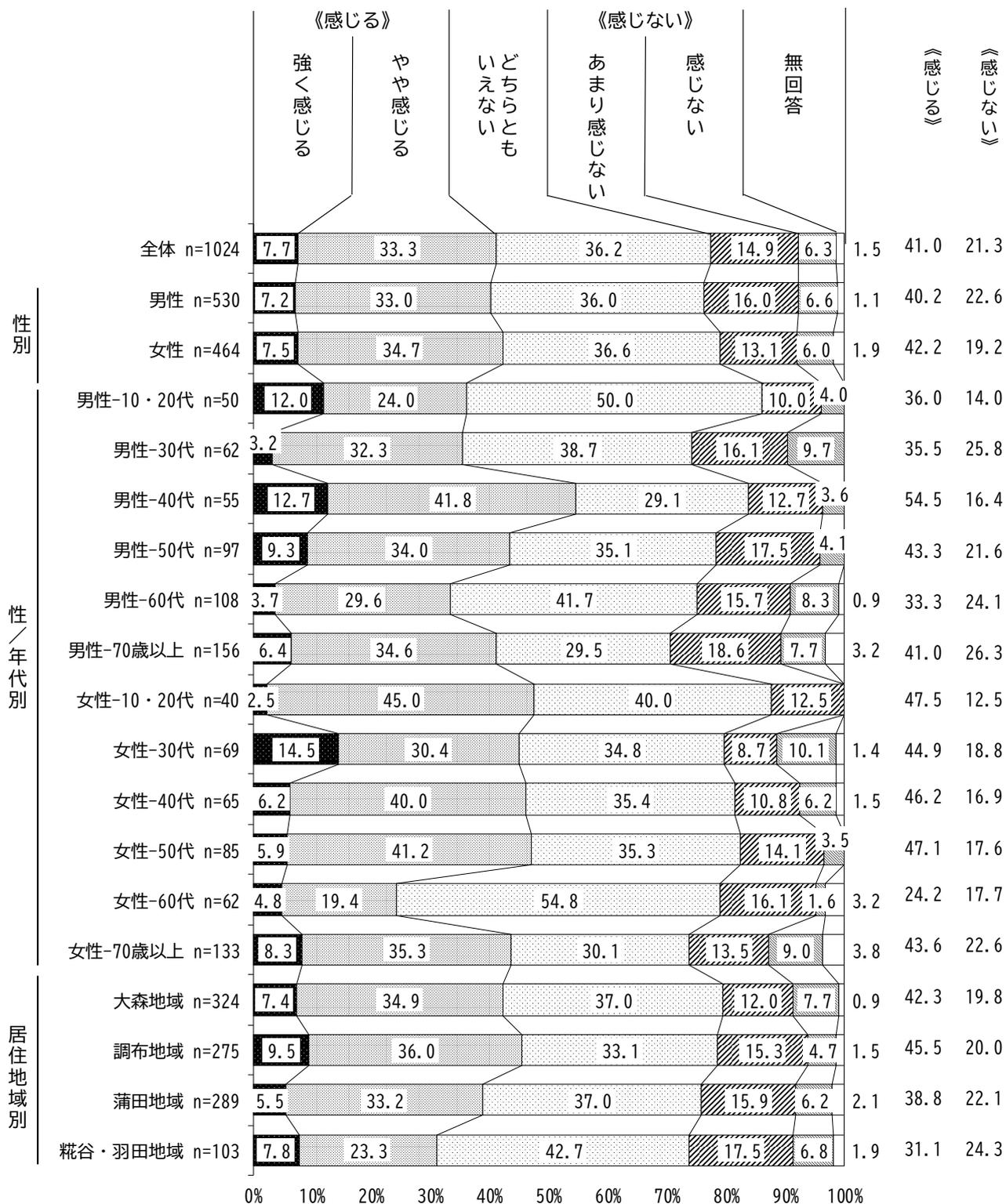
お住まいの地域での子ども・子育て家庭への見守りについては、「強く感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》は41.0%となっている。一方、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》は21.3%と、《感じる》が19.7ポイント上回っている。

全体 n=1024



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は男性が40.2%、女性が42.2%と、女性が2.0ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、《感じる》は男性40代で5割半ばと高くなっている。
 居住地域別でみると、《感じる》は調布地域で4割半ばと高くなっている。



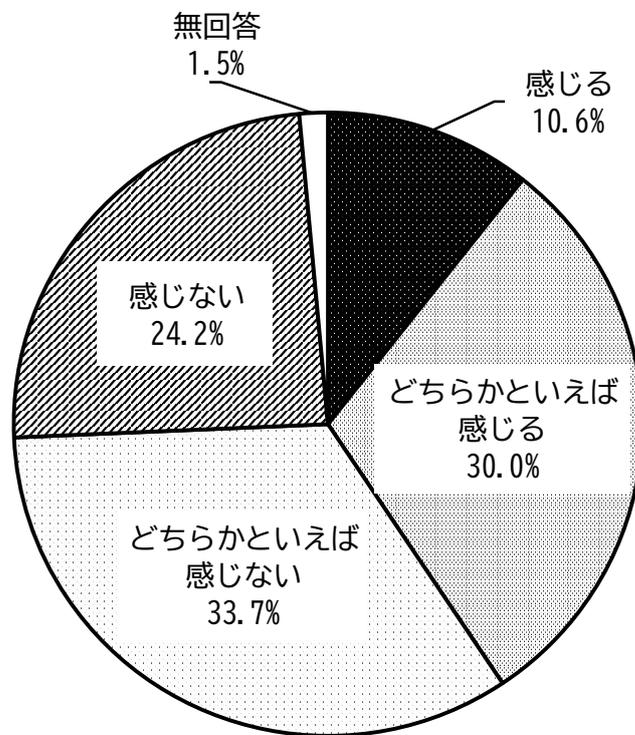
(4) 地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）

◇《感じる》（「感じる」「どちらかといえば感じる」の合計値）が約4割となっている

問4 日々の暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）を実際に感じるがありますか。（1つのみ）

地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）については、「感じる」、「どちらかといえば感じる」の合計値《感じる》が40.6%となっている。一方、「どちらかといえば感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が57.9%と、《感じる》が17.3ポイント上回っている。

全体 n=1024

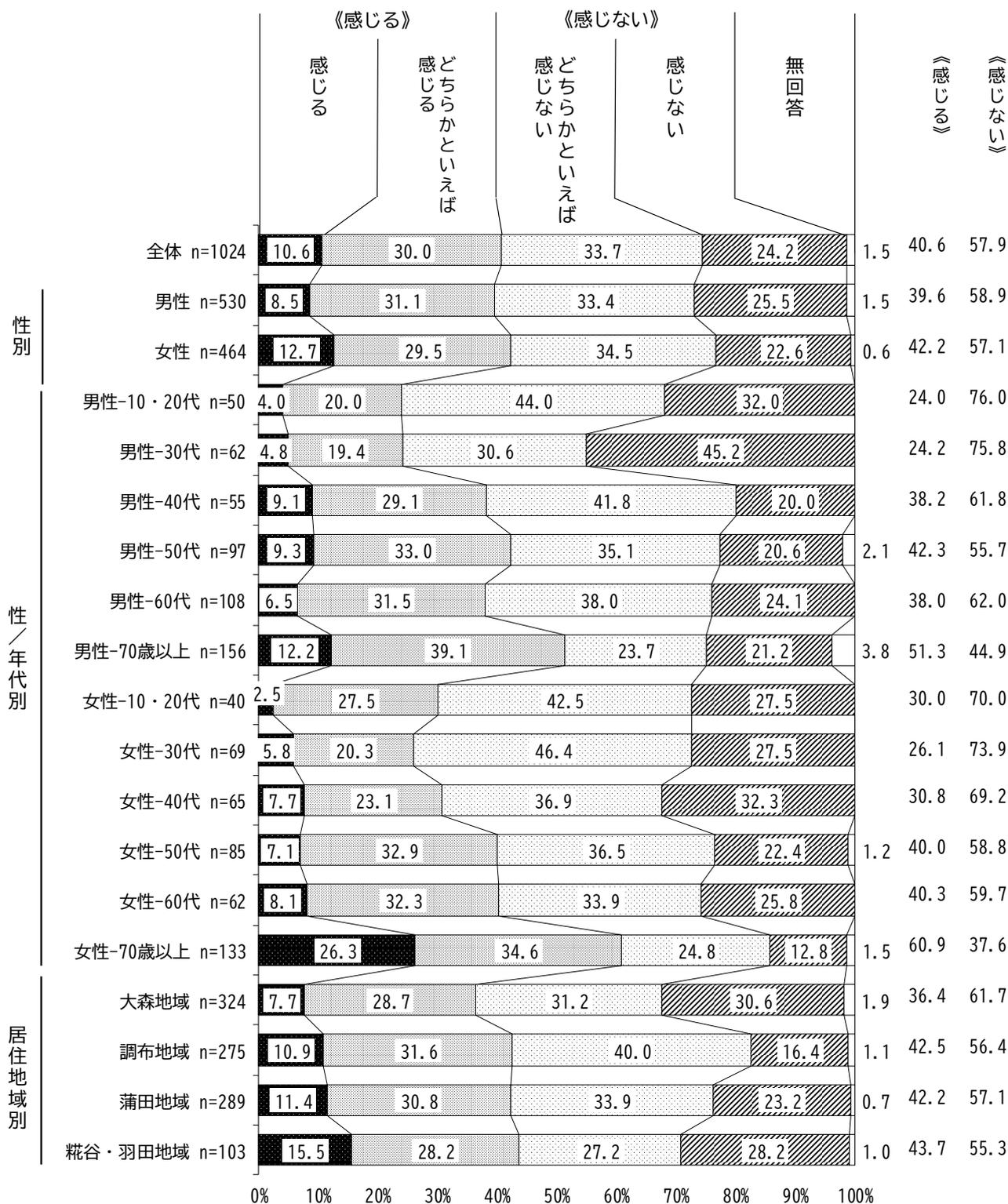


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「感じる」は男性が 8.5%、女性が 12.7%と、女性が 4.2 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「感じる」は女性 70 歳以上で約 6 割と高くなっている。一方、「感じない」は男性 10・20 代、30 代、女性 30 代で 7 割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「感じる」は糀谷・羽田地域で 4 割半ばと高くなっている。一方、「感じない」は大森地域で 6 割前半と高くなっている。



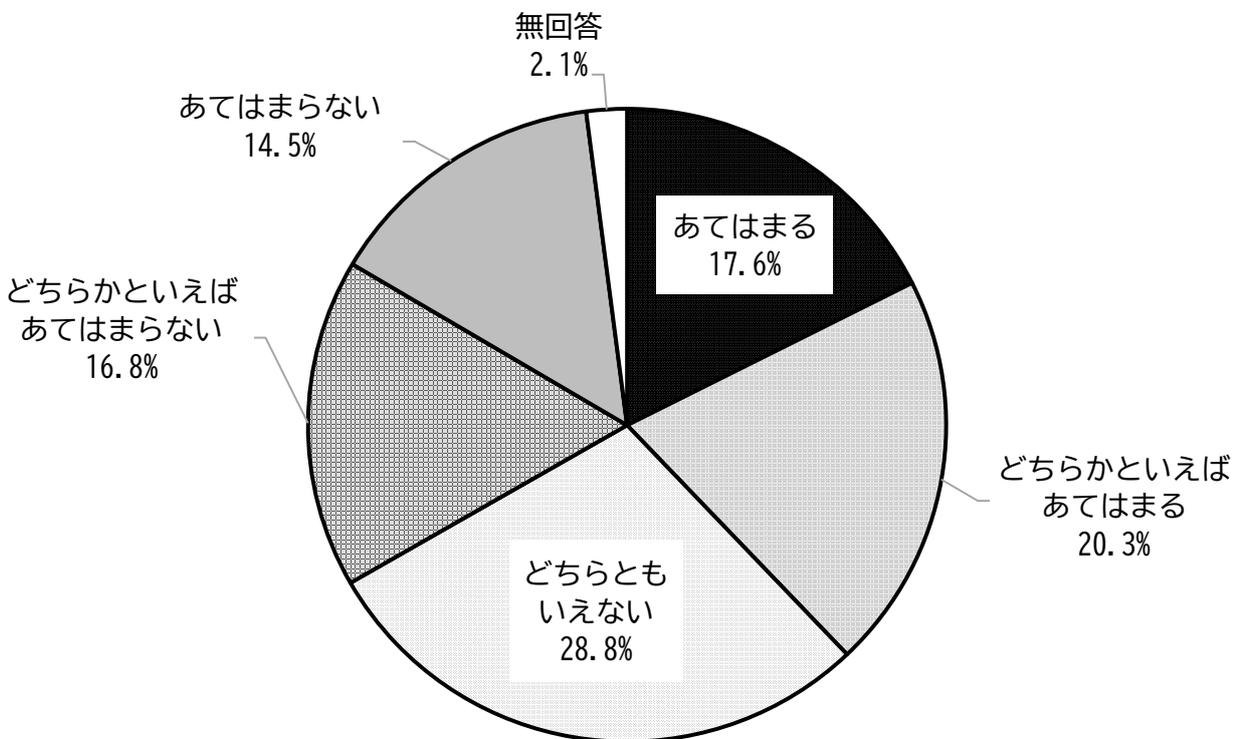
(5) 「孤立感や孤独感」への有無

◇《あてはまる》(「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計値)は3割後半となっている

問5 普段の生活は、「孤立感や孤独感がない」にどの程度あてはまりますか。(1つのみ)

「孤立感や孤独感のなさ」の認識度については、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計値《あてはまる》が37.9%となっている。一方、「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計値《あてはまらない》が31.3%と、《あてはまる》が6.6ポイント上回っている。

全体 n=1024

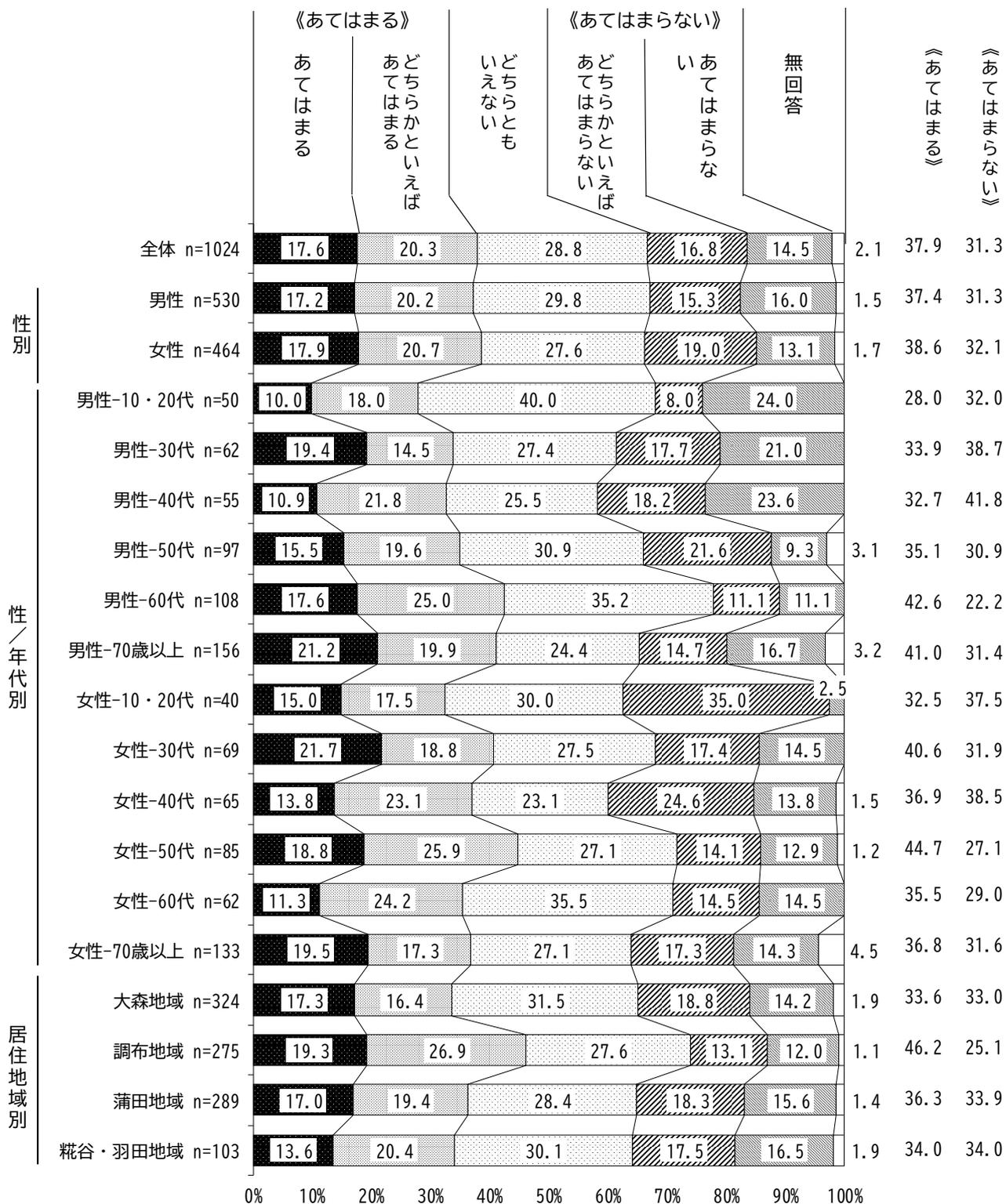


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《あてはまる》は男性 37.4%、女性 38.6%と女性が 1.2 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《あてはまる》は女性 50 代で 4 割半ばと高くなっている。一方、《あてはまらない》は男性 40 代で 4 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》は調布地域で 4 割半ばと高くなっている。



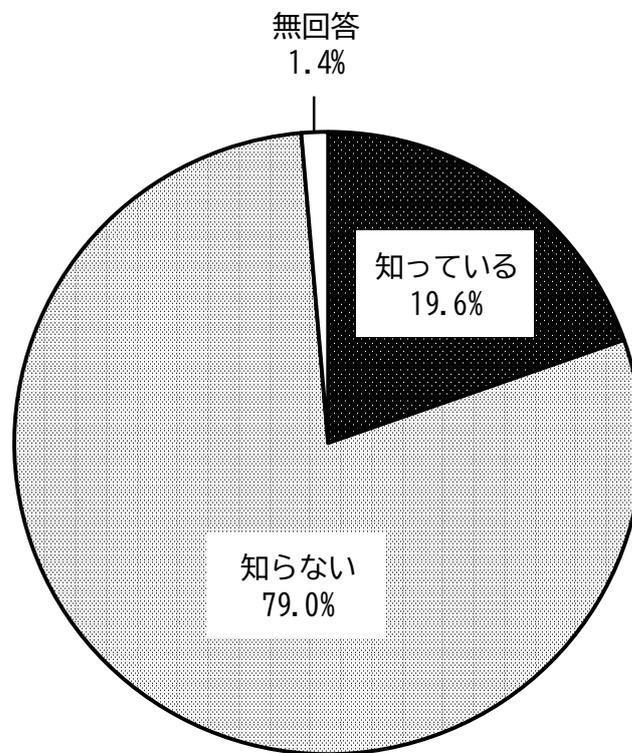
(6) 「大田区DV相談ダイヤル」の認知度

◇「知っている」は約2割となっている

問6 区では、「大田区DV相談ダイヤル」を設置し、配偶者やパートナーからの暴力(ドメスティック・バイオレンス=DV¹¹)に関する相談を受け付けていることを知っていますか。(1つのみ)

「大田区DV相談ダイヤル」の認知度については、「知っている」が19.6%、「知らない」が79.0%と、「知らない」が59.4ポイント上回っている。

全体 n=1024



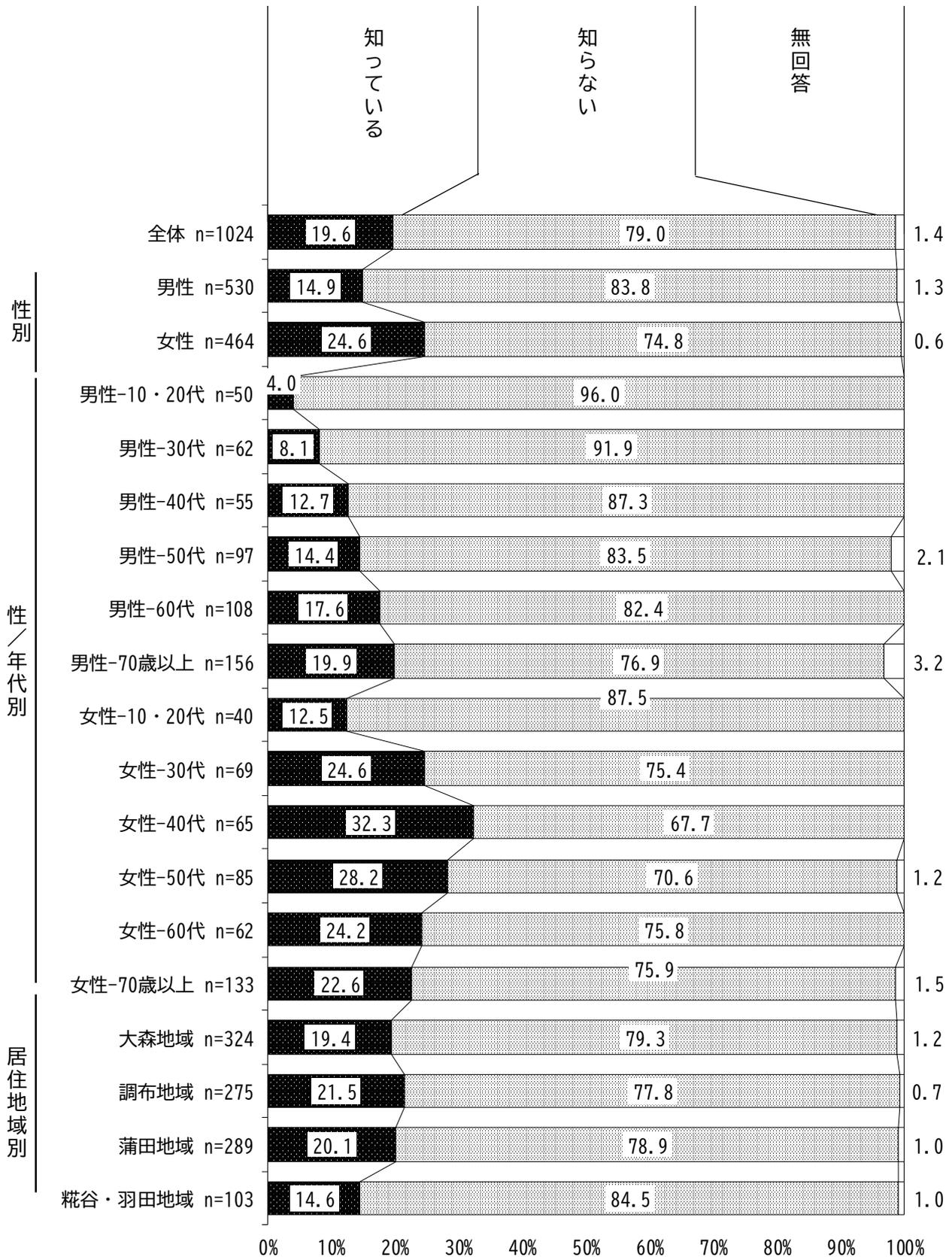
¹¹ 配偶者（同居の交際相手も含む）など親密な関係にある者、または以前親密な関係にあった者から振られる暴力

■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「知っている」は男性が14.9%、女性が24.6%と、女性が9.7ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知っている」は女性40代で3割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「知らない」が、糞谷・羽田地域で8割半ばと高くなっている。



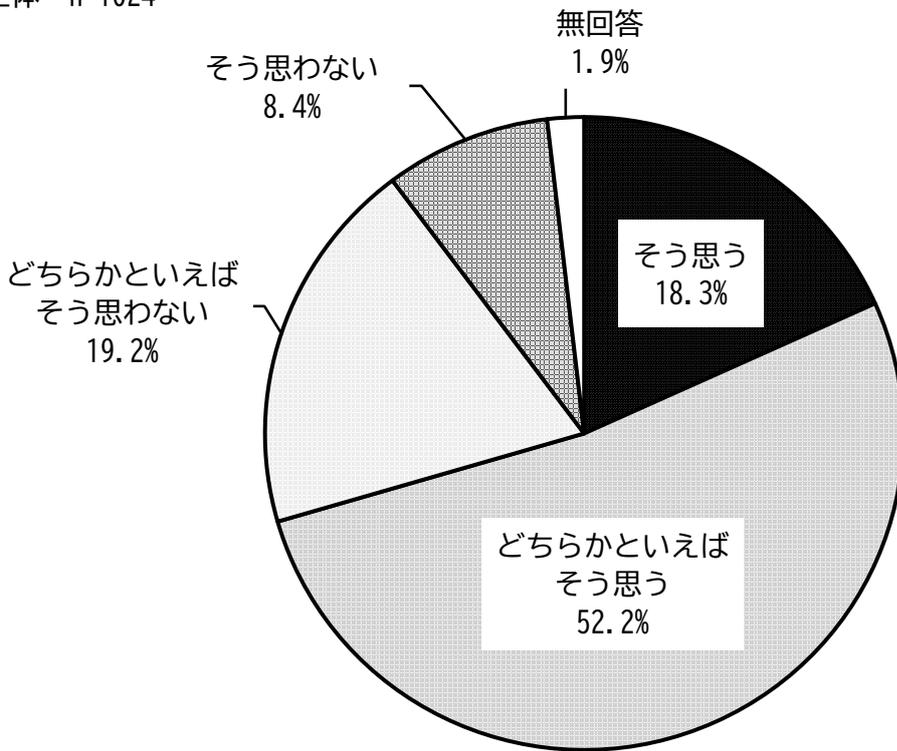
(7) 人権が尊重されている社会

◇ 《そう思う》(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値)は約7割となっている

問7 今の日本は、人権が尊重されている社会だと思いますか。(1つのみ)

人権が尊重されている社会については、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計値《そう思う》が70.5%となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」の合計値《そう思わない》が27.6%と、《そう思う》が42.9ポイント上回っている。

全体 n=1024

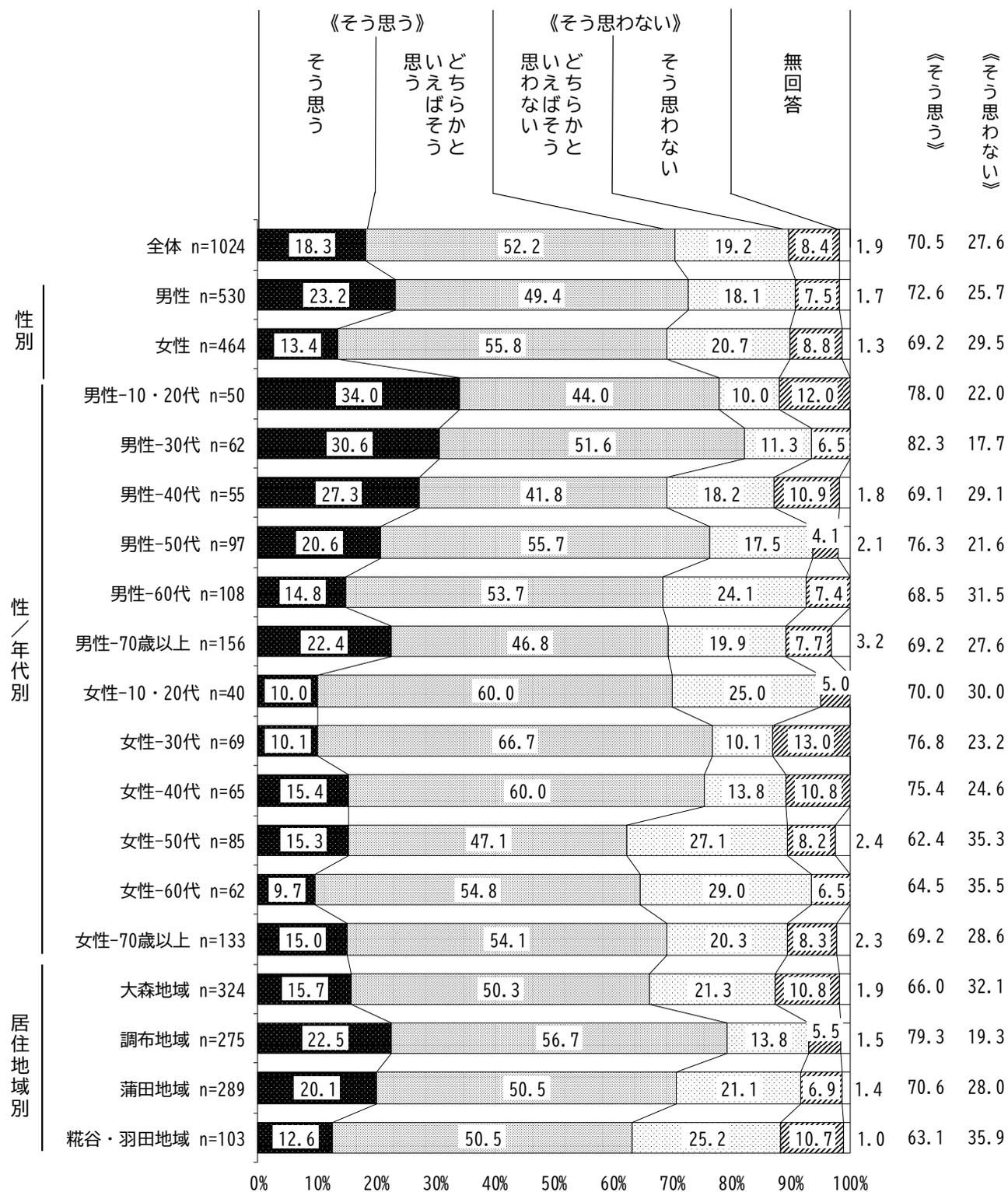


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《そう思う》は男性が72.6%、女性が69.2%と、男性が3.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《そう思う》は男性30代で8割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《そう思う》は調布地域で約8割と高くなっている。



4 健康・医療について

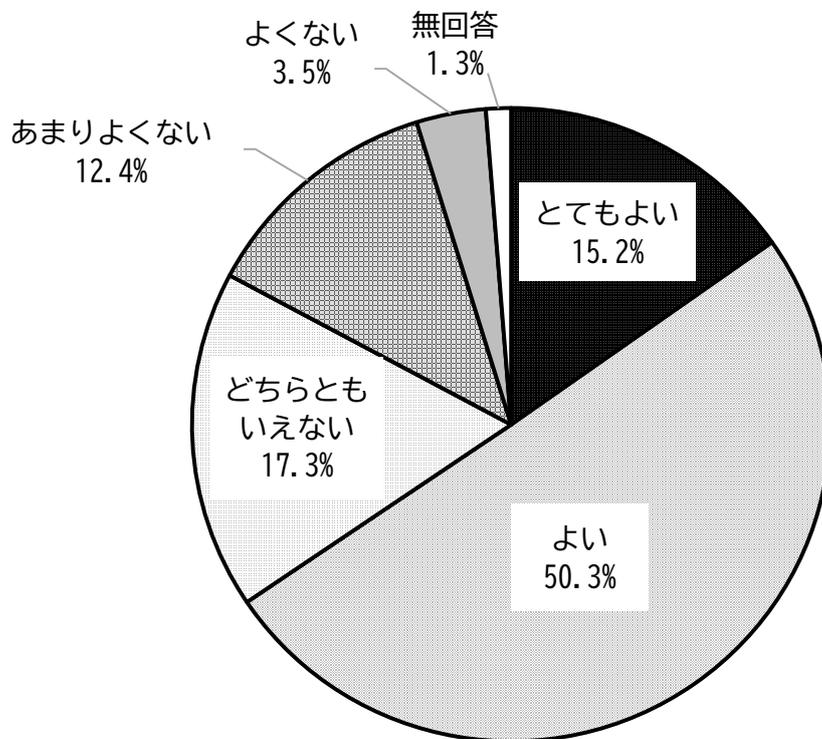
(1) 現在の健康状態

◇ 《よい》（「とてもよい」「よい」の合計値）は6割半ばとなっている

問8 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（1つのみ）

現在の健康状態については、「とてもよい」、「よい」の合計値《よい》が65.5%となっている。一方、「あまりよくない」、「よくない」の合計値《よくない》が15.9%と、《よい》が49.6ポイント上回っている。

全体
n=1024

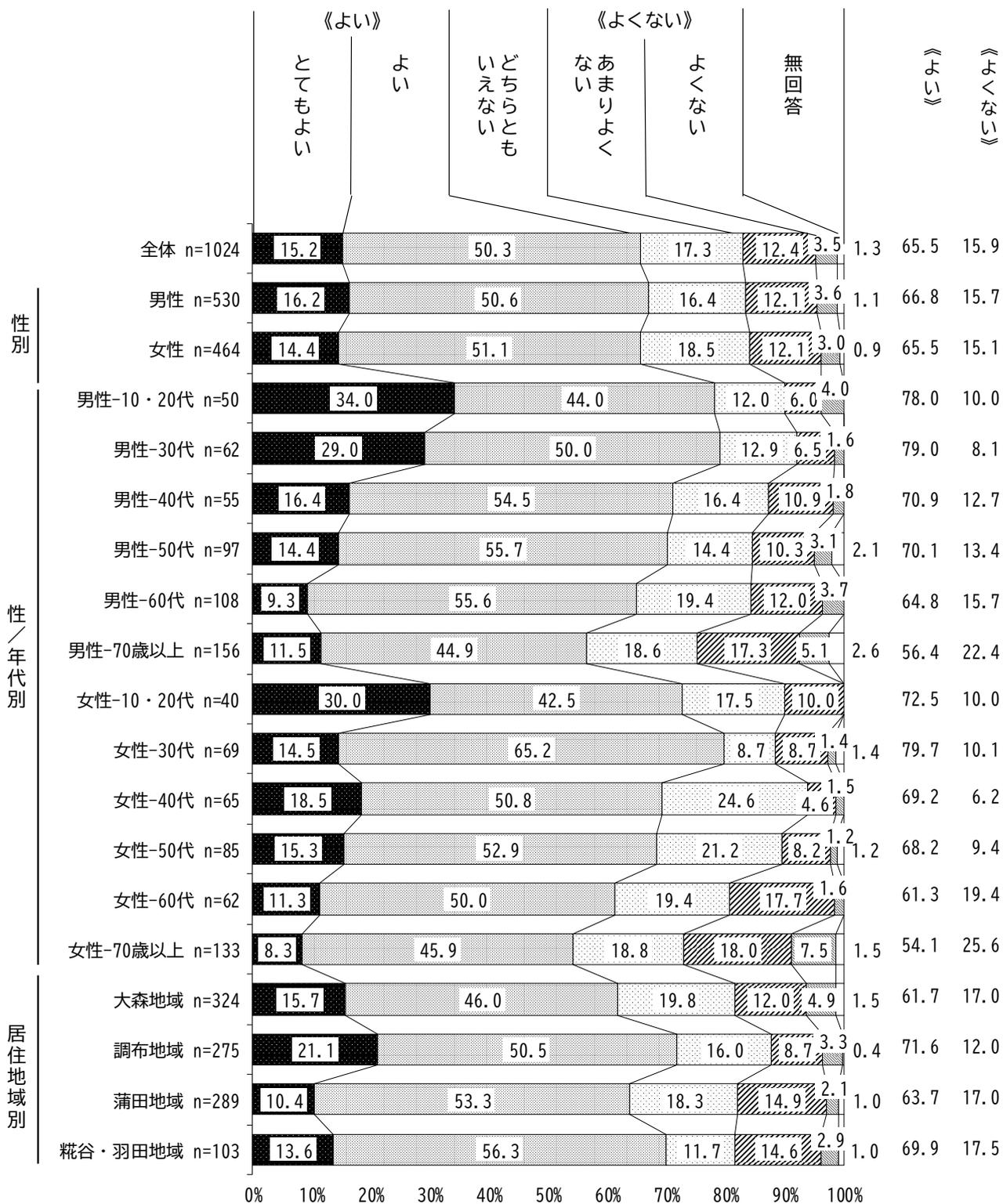


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《よい》は男性 66.8%、女性 65.5%となっており、男性が 1.3 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《よい》は男性 30 代、女性 30 代で約 8 割、男性 10・20 代で 7 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《よい》は調布地域で 7 割前半となっている。



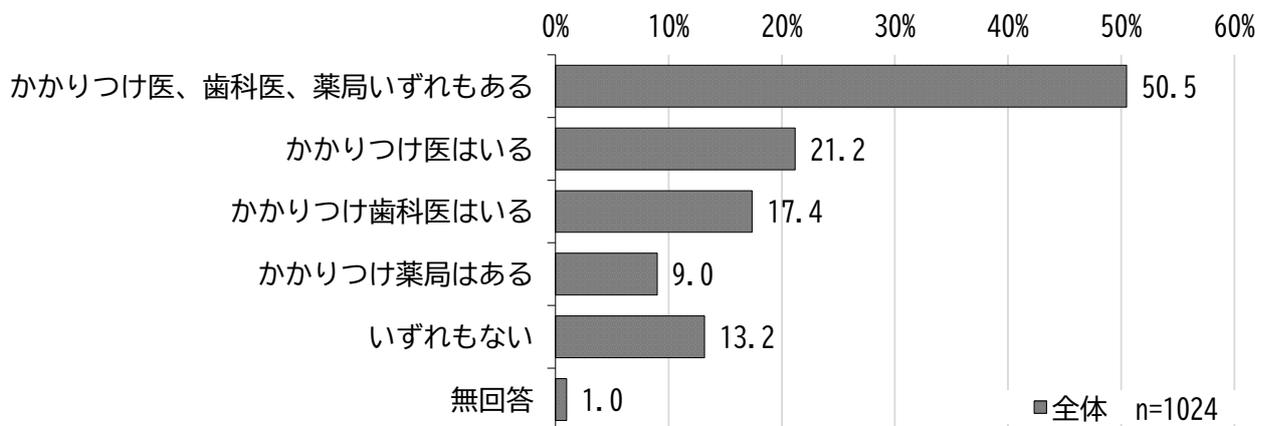
(2) かかりつけの医療機関

◇「かかりつけ医、歯科医、薬局いずれもある」が約5割と最も高くなっている

問9 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。(複数選択可)

かかりつけの医療機関については、「かかりつけ医、歯科医、薬局いずれもある」が50.5%で最も高く、次いで「かかりつけ医はいる」が21.2%、「かかりつけ歯科医はいる」が17.4%となっている。

「いずれもない」は13.2%となっている。

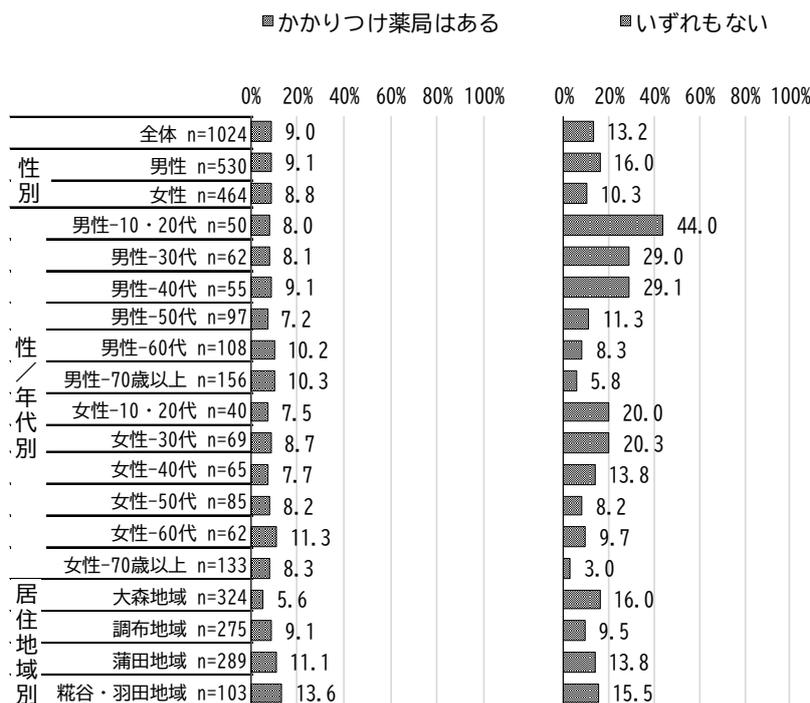
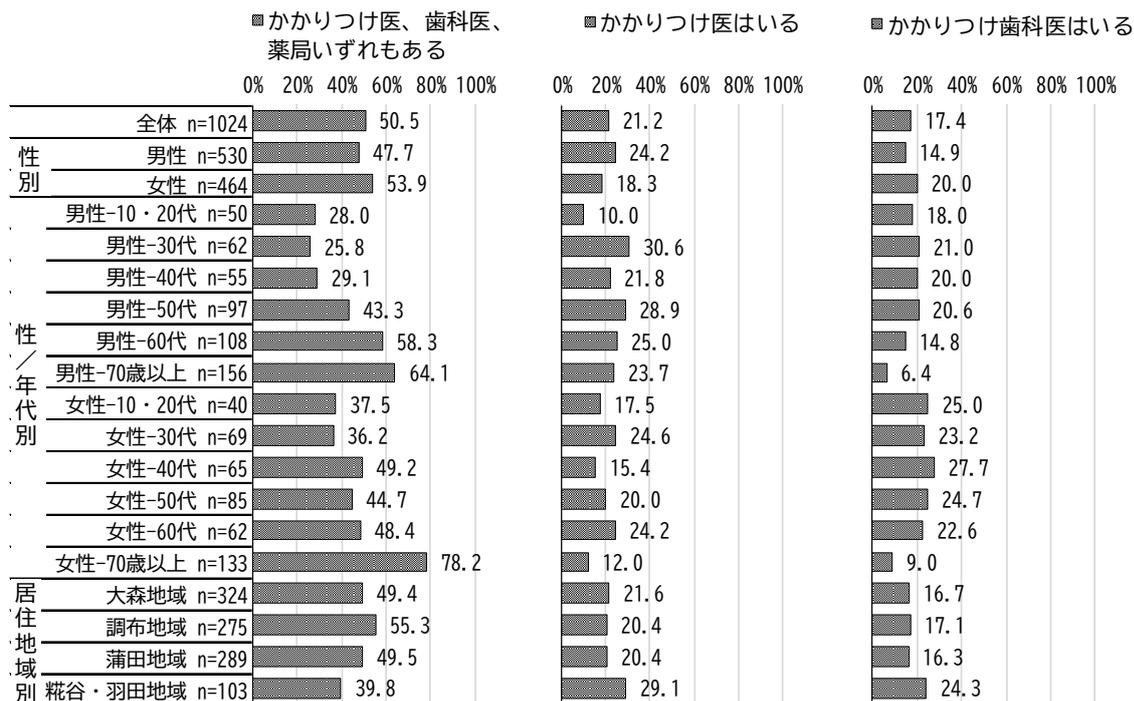


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「かかりつけ医、歯科医、薬局いずれもある」は男性が47.7%、女性が53.9%と、女性が6.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「かかりつけ医、歯科医、薬局いずれもある」は男性、女性ともに70歳以上で高くなっている。

居住地域別でみると、「かかりつけ医、歯科医、薬局いずれもある」は調布地域で5割半ばと高くなっている。



5 スポーツについて

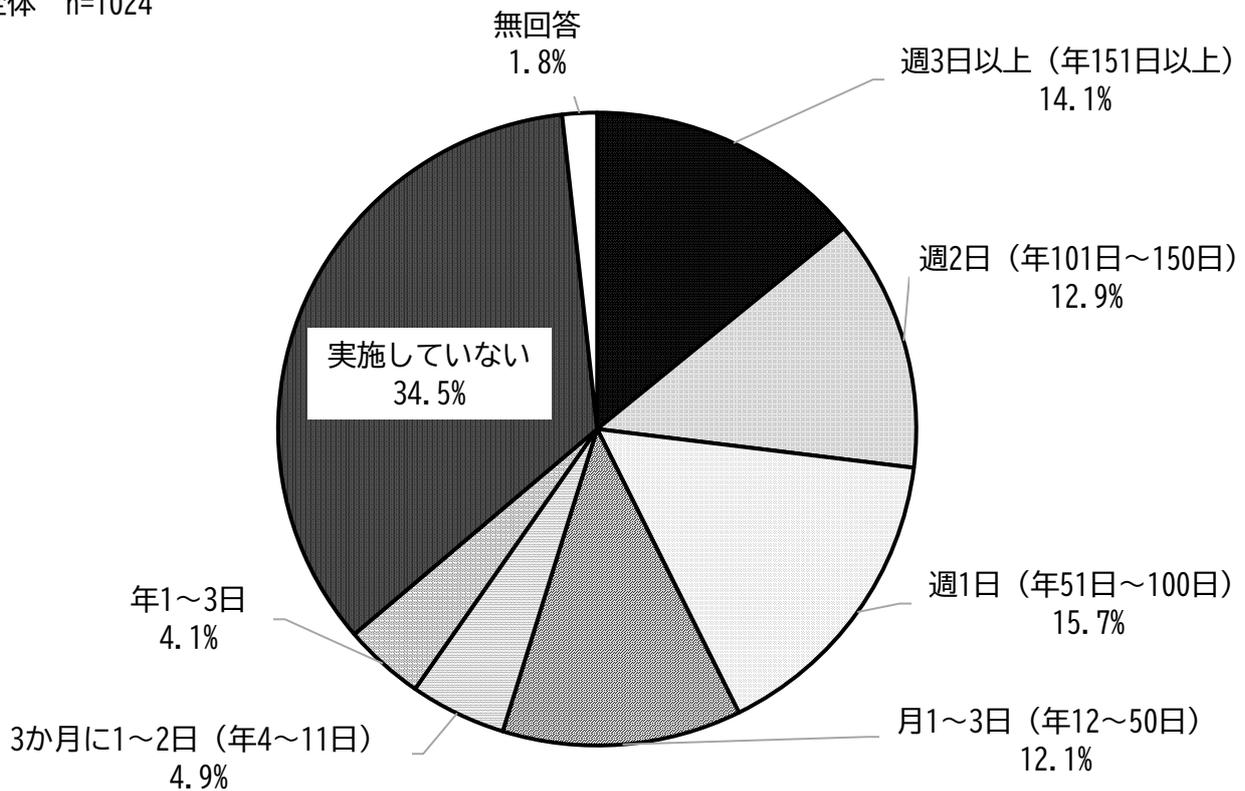
(1) スポーツや運動を実施した頻度

◇「実施していない」が3割半ばで最も高くなっている

問 10 スポーツや運動を実施した頻度は週どのくらいですか（年間合計日数でも可）。
（1つのみ）

スポーツや運動を実施した頻度については、「週1日（年51～100日）」が15.7%、「週3日以上（年151日以上）」が14.1%、「週2日（年101～150日）」が12.9%となっている。
なお、「実施していない」は34.5%となっている。

全体 n=1024

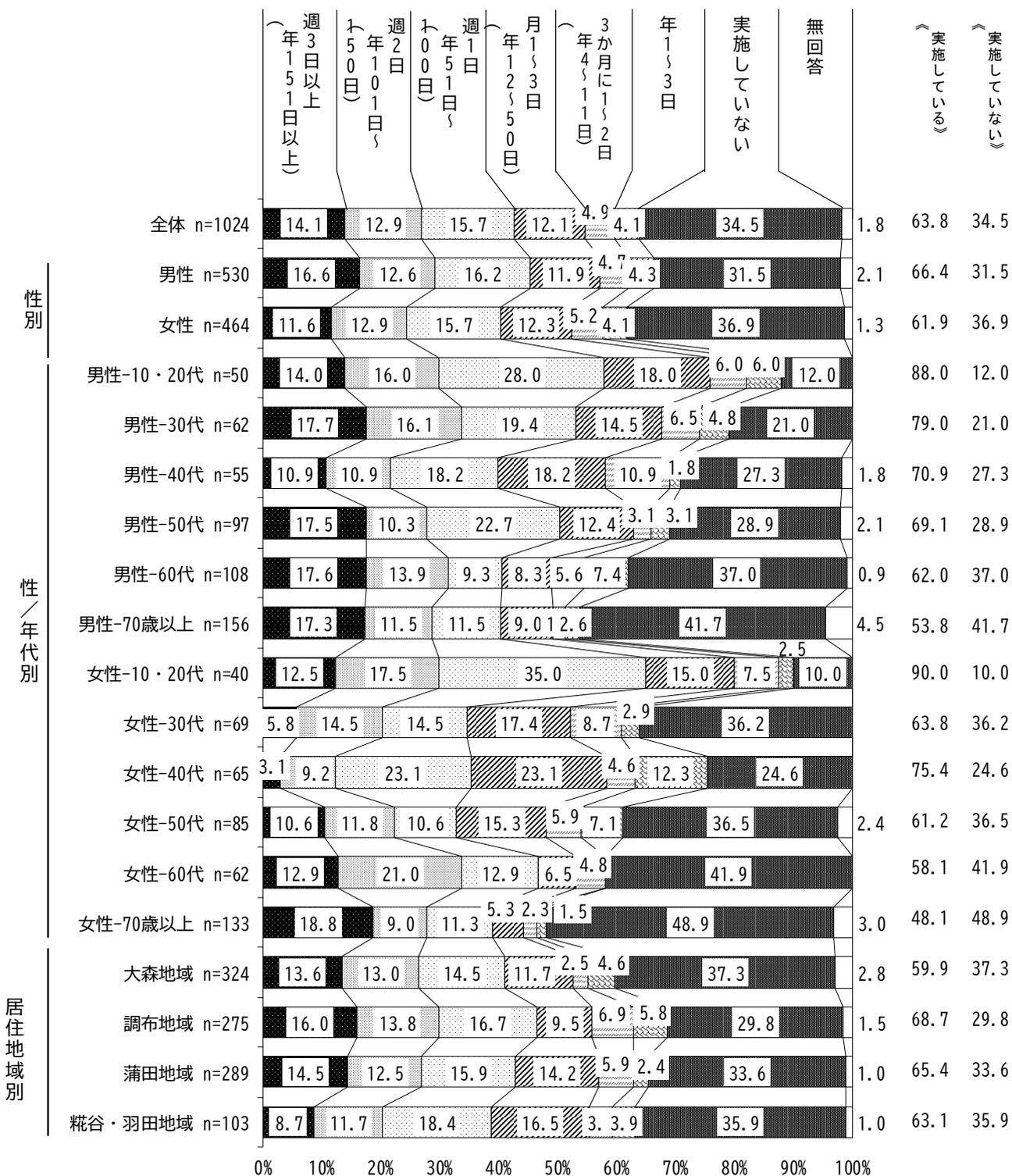


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「週3日以上（年151日以上）」は男性が16.6%、女性が11.6%と、男性が5.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「週3日以上（年151日以上）」は男性30代、50代、60代、70歳以上、女性70歳以上で1割後半と高くなっている。

居住地域別でみると「実施していない」は大森地域で37.3%と高くなっている。



(2) 区のスポーツ環境の満足度

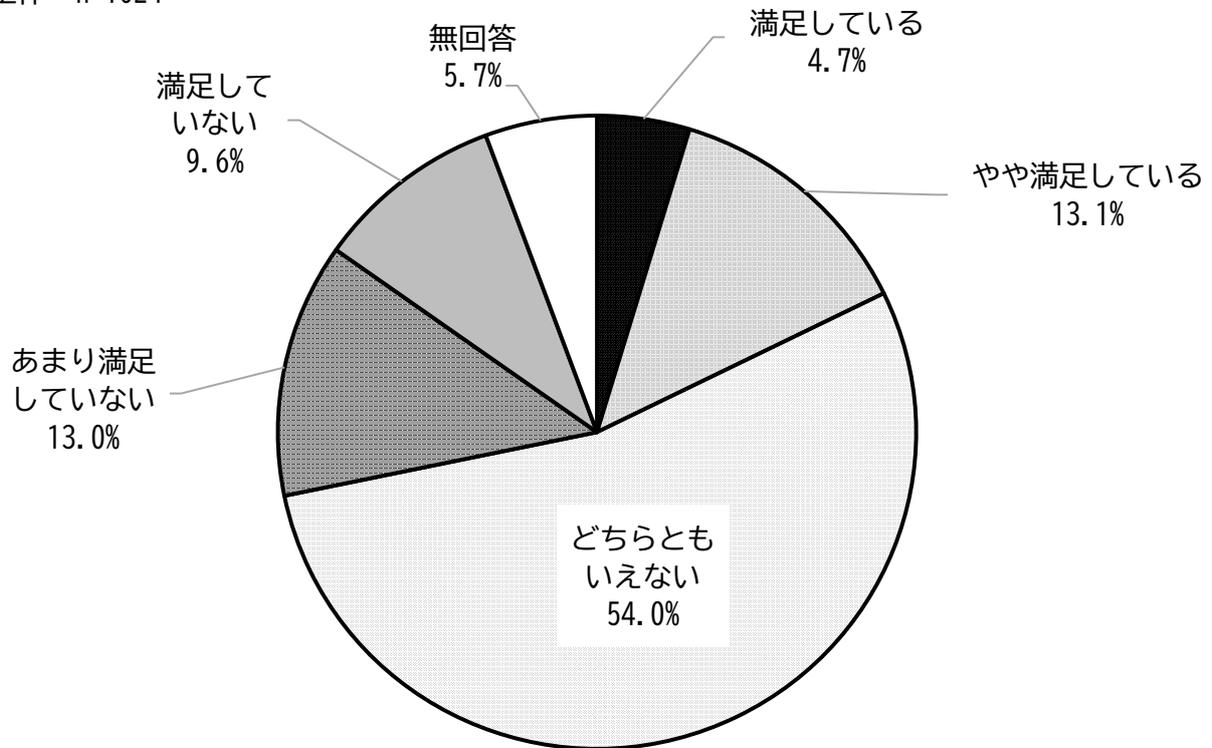
◇《満足している》(「満足している」「やや満足している」の合計値)は1割後半となっている

問11 区のスポーツ環境に満足していますか。(1つのみ)

区のスポーツ環境の満足度については、「満足している」、「やや満足している」の合計値《満足している》は17.8%となっている。一方、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》は22.6%と、《満足していない》が4.8ポイント上回っている。

「どちらともいえない」は54.0%となっている。

全体 n=1024

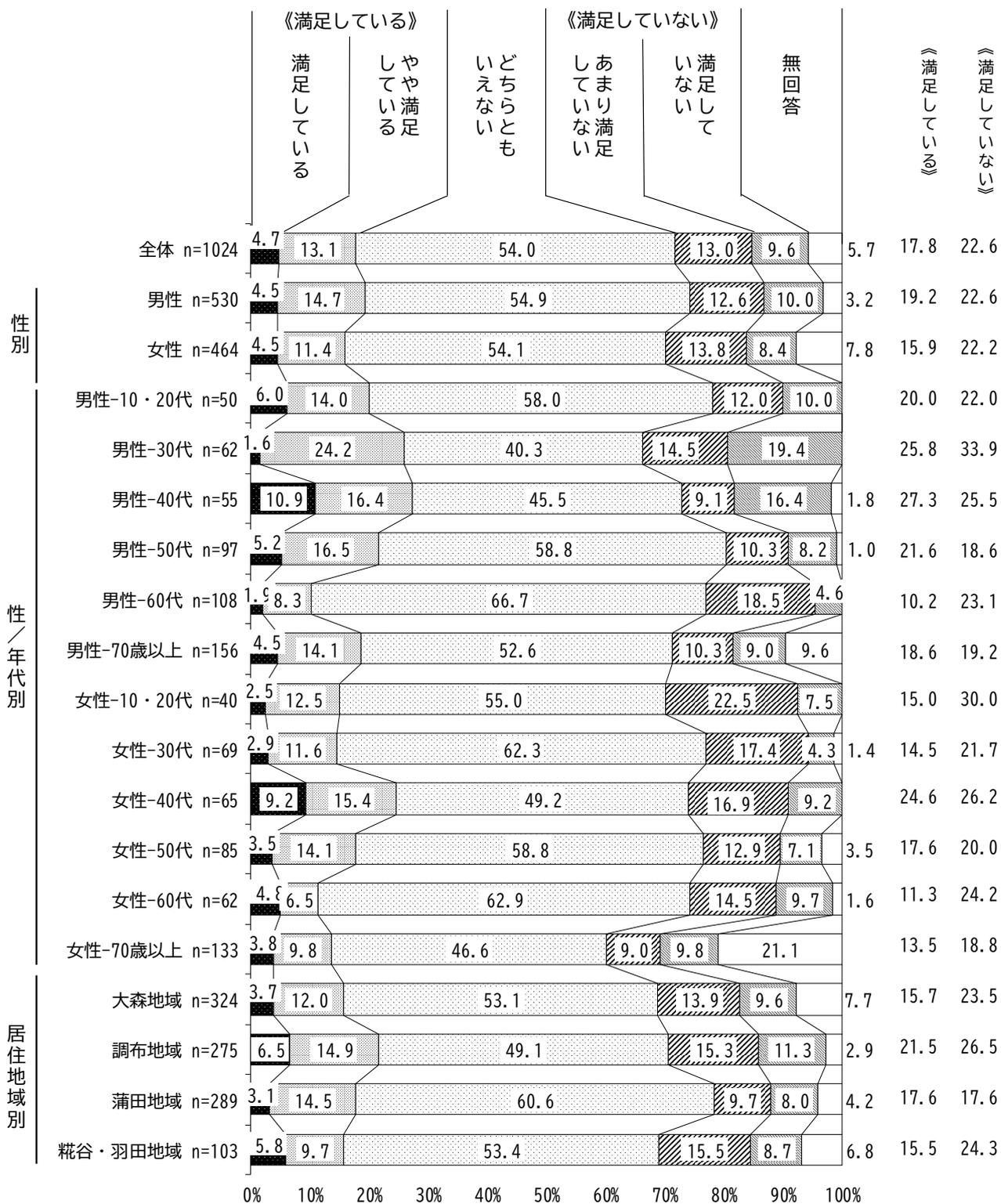


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《満足している》は男性が19.2%、女性が15.9%と、男性が3.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《満足している》は男性40代で2割後半と高くなっている。一方、《満足していない》は男性30代で3割半ば、女性10・20代で3割と高くなっている。

居住地域別でみると、《満足している》は調布地域で2割前半と高くなっている。



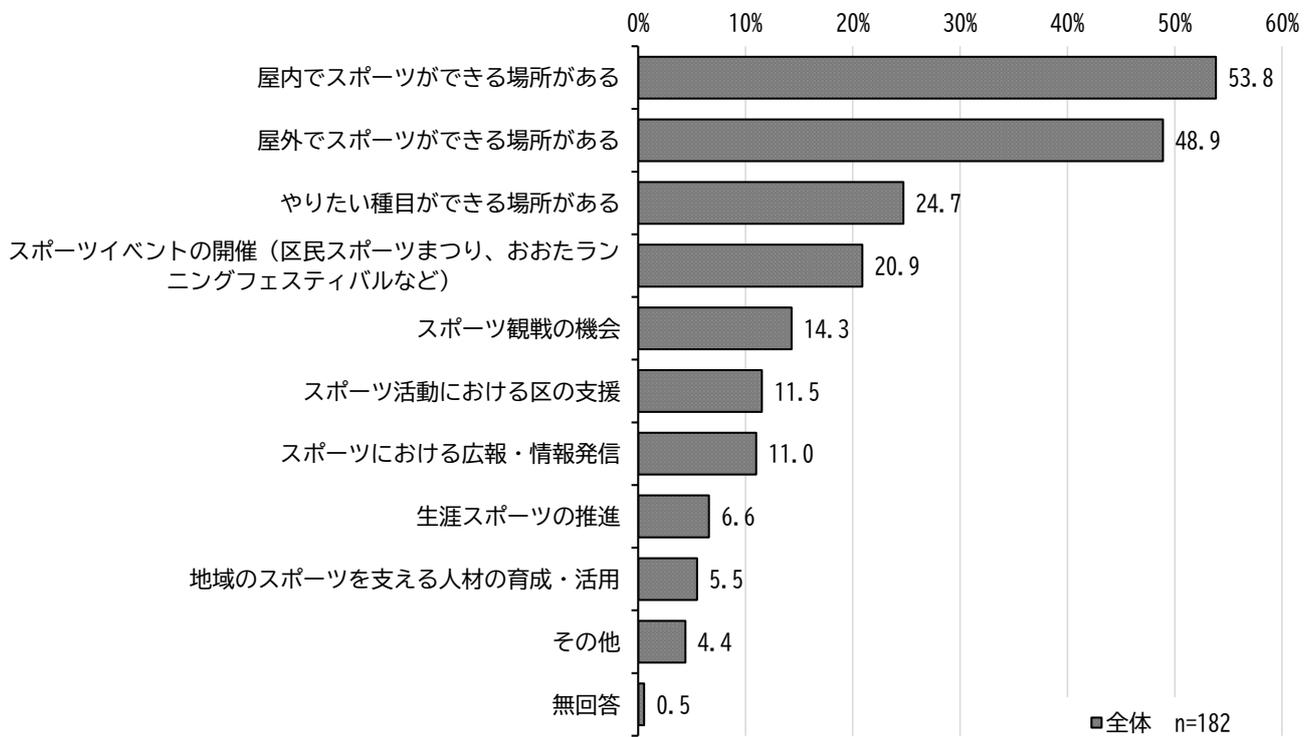
(3) 満足しているスポーツ施策

◇「屋内でスポーツができる場所がある」が5割半ばで最も高くなっている

【問11で「1満足している」「2やや満足している」と回答した方に伺います。】

問11-1 区のどのスポーツ施策に満足していますか。(複数選択可)

満足しているスポーツ施策については、「屋内でスポーツができる場所がある」が53.8%で最も高く、次いで「屋外でスポーツができる場所がある」が48.9%、「やりたい種目ができる場所がある」が24.7%となっている。

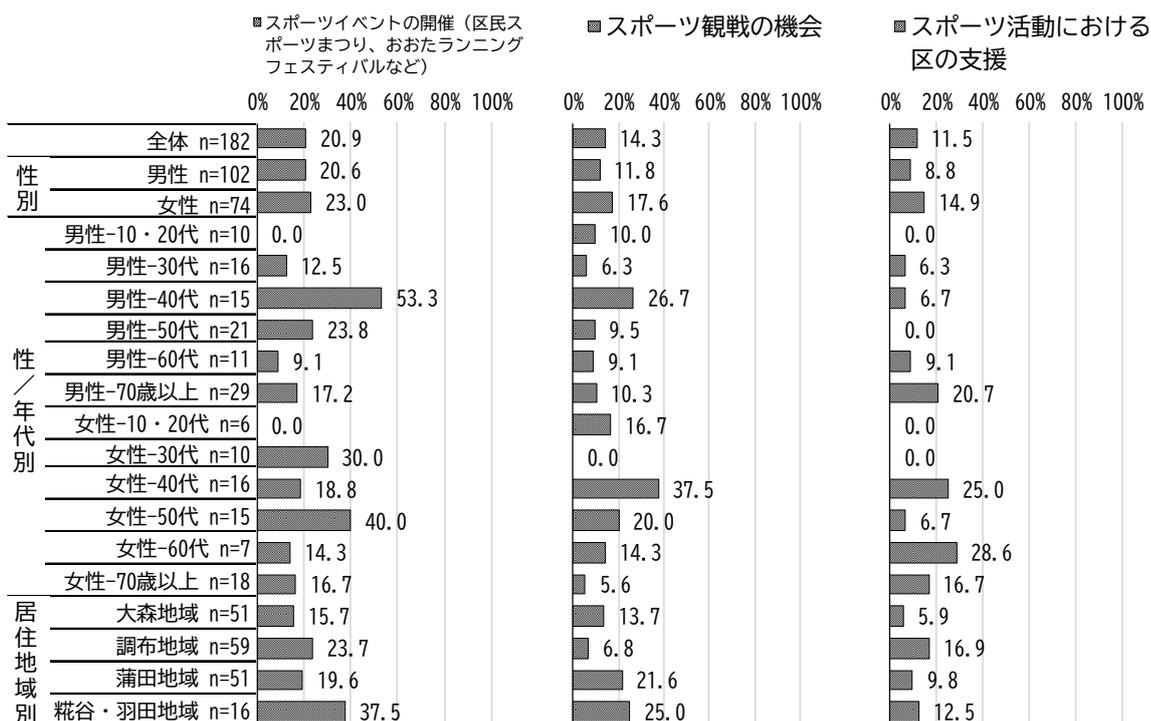
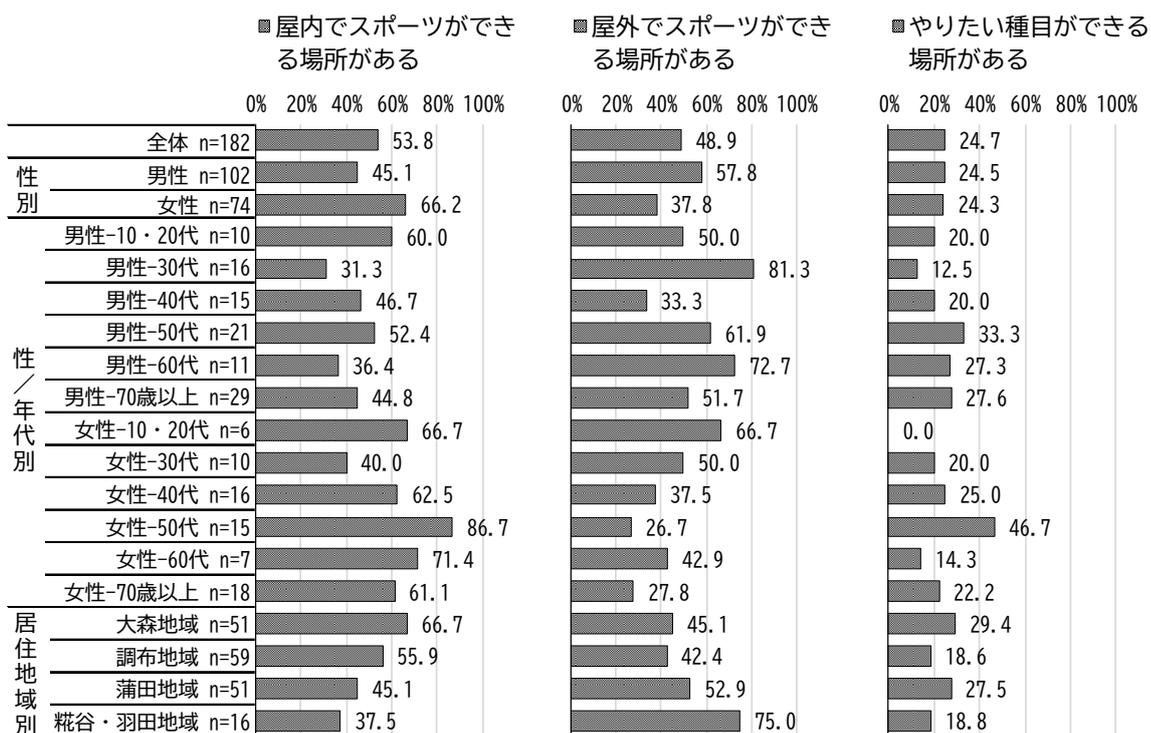


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性では「屋外でスポーツができる場所がある」が57.8%、女性では「屋内でスポーツができる場所がある」が66.2%と、それぞれ最も高くなっている。

性／年代別でみると、「屋内でスポーツができる場所がある」は女性50代で8割後半、「屋外でスポーツができる場所がある」は男性30代で8割前半と、それぞれ高くなっている。

居住地域別でみると、「屋内でスポーツができる場所がある」は大森地域で6割後半、「屋外でスポーツができる場所がある」が糀谷・羽田地域で7割半ばと、それぞれ高くなっている。



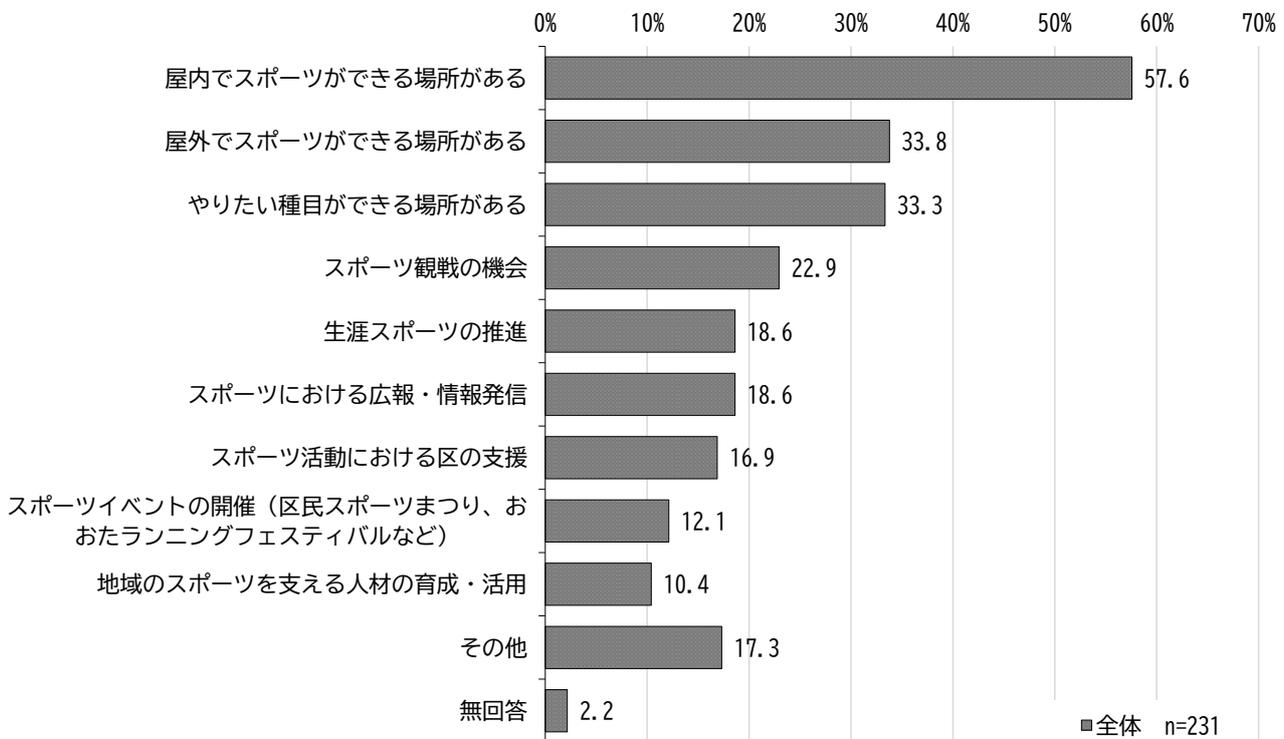
(4) 期待するスポーツ施策

◇「屋内でスポーツができる場所がある」が5割後半で最も高くなっている

【問11で「4あまり満足していない」「5満足していない」と回答した方に伺います。】

問11-2 区にどのようなスポーツ施策を望みますか。(複数選択可)

期待するスポーツ施策については、「屋内でスポーツができる場所がある」が57.6%で最も高く、次いで「屋外でスポーツができる場所がある」が33.8%、「やりたい種目ができる場所がある」が33.3%となっている。

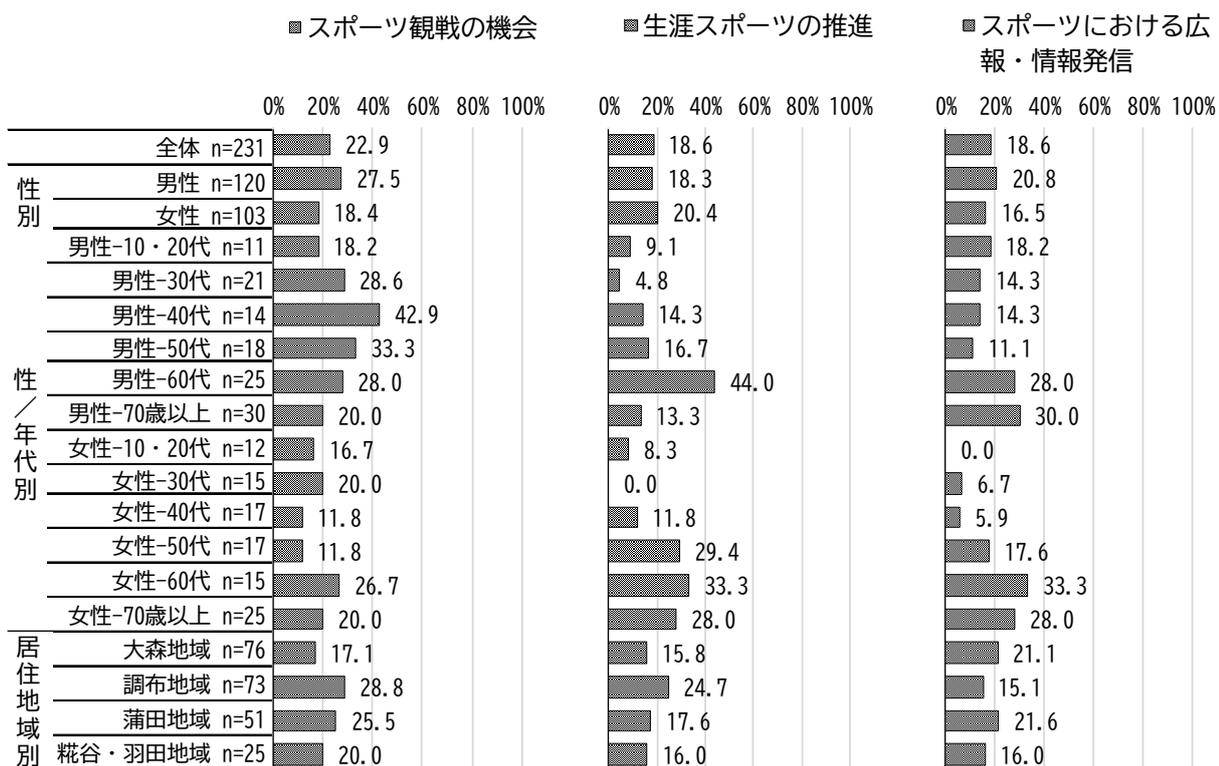
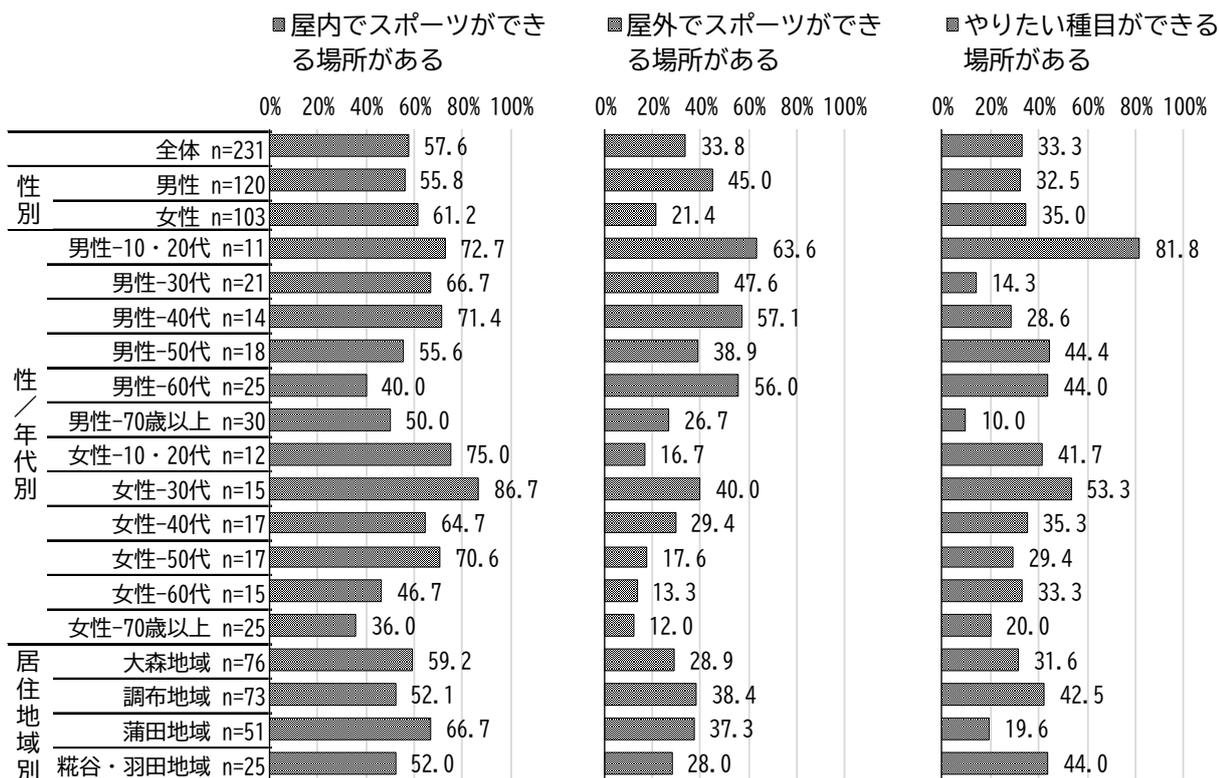


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性では「屋外でスポーツができる場所がある」が45.0%、女性では「屋外でスポーツができる場所がある」が61.2%で、それぞれ最も高くなっている。

性／年代別でみると、「屋内でスポーツができる場所がある」は女性30代、「やりたい種目ができる場所がある」は男性10・20代で、それぞれ8割台と高くなっている。

居住地域別でみると、「屋内でスポーツができる場所がある」は蒲田地域で6割後半と高くなっている。



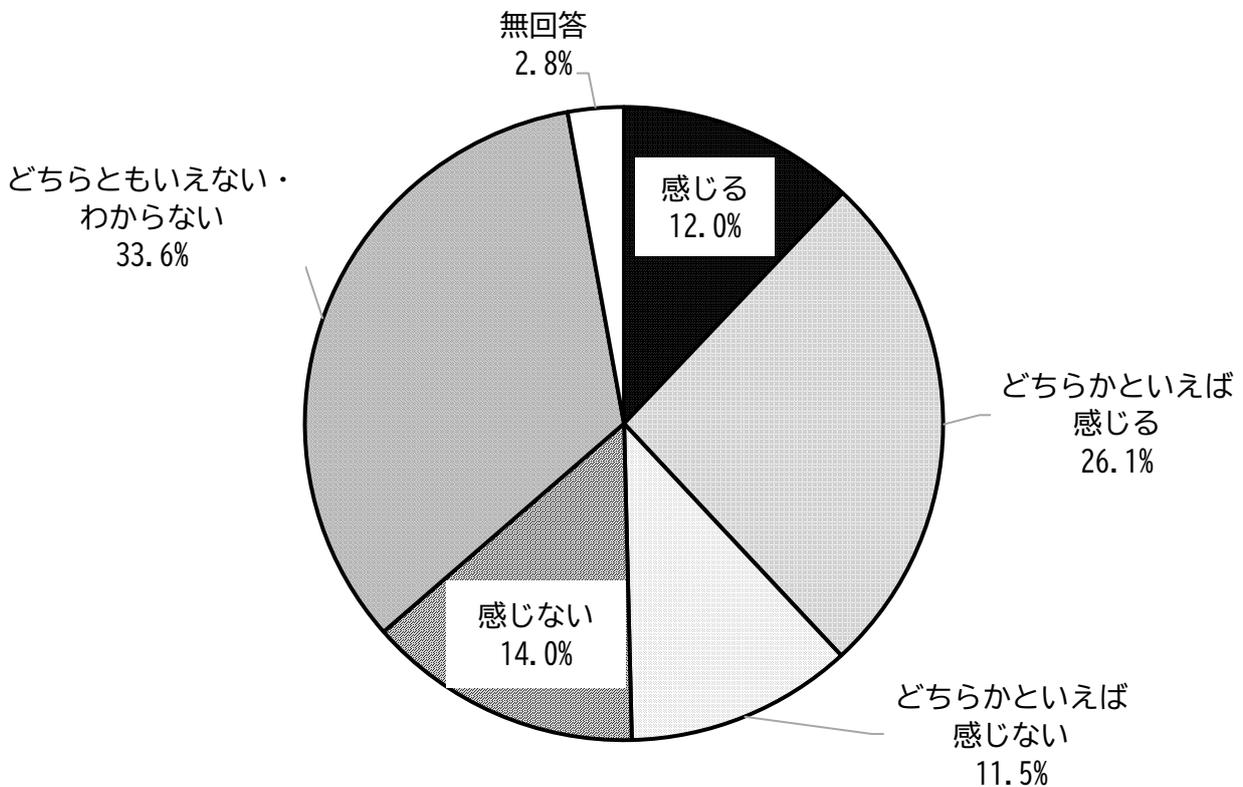
(5) スポーツにおける地域活性化への貢献度

◇《感じる》(「感じる」「どちらかといえば感じる」の合計値)は3割後半となっている

問12 スポーツが地域の活性化に役立っていると感じますか。(1つのみ)

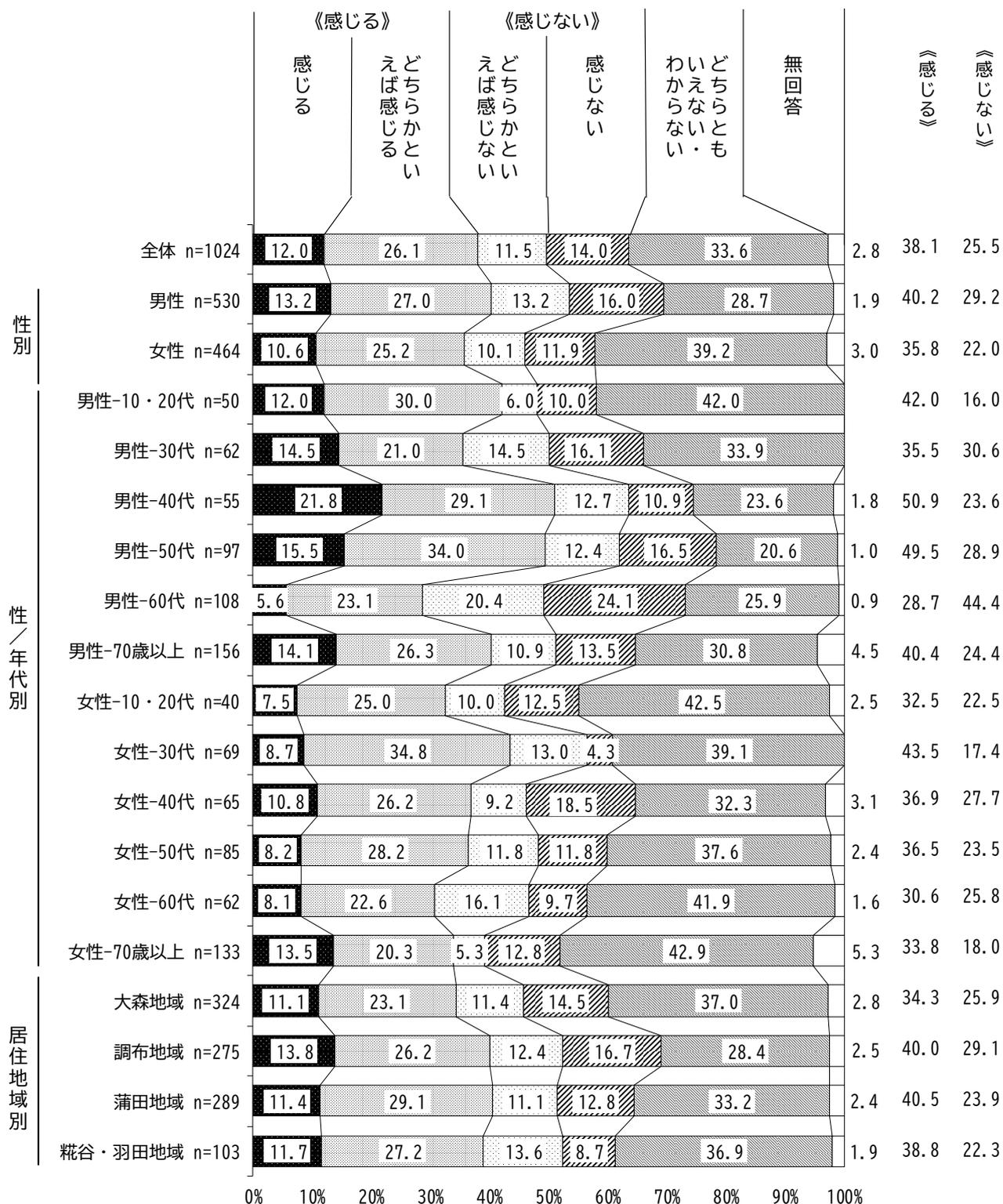
スポーツにおける地域活性化への貢献度については、「感じる」、「どちらかといえば感じる」の合計値《感じる》は38.1%となっている。一方、「どちらかといえば感じない」、「感じない」の合計値《感じない》は25.5%と、《感じる》が12.6ポイント上回っている。

全体 n=1024



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は男性が40.2%、女性が35.8%と、男性が4.4ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、《感じる》は男性40代で約5割と高くなっている。
 居住地域別でみると、《感じる》は調布地域、蒲田地域で約4割と高くなっている。



6 文化芸術について

(1) 区の文化芸術に親しむ環境への満足度

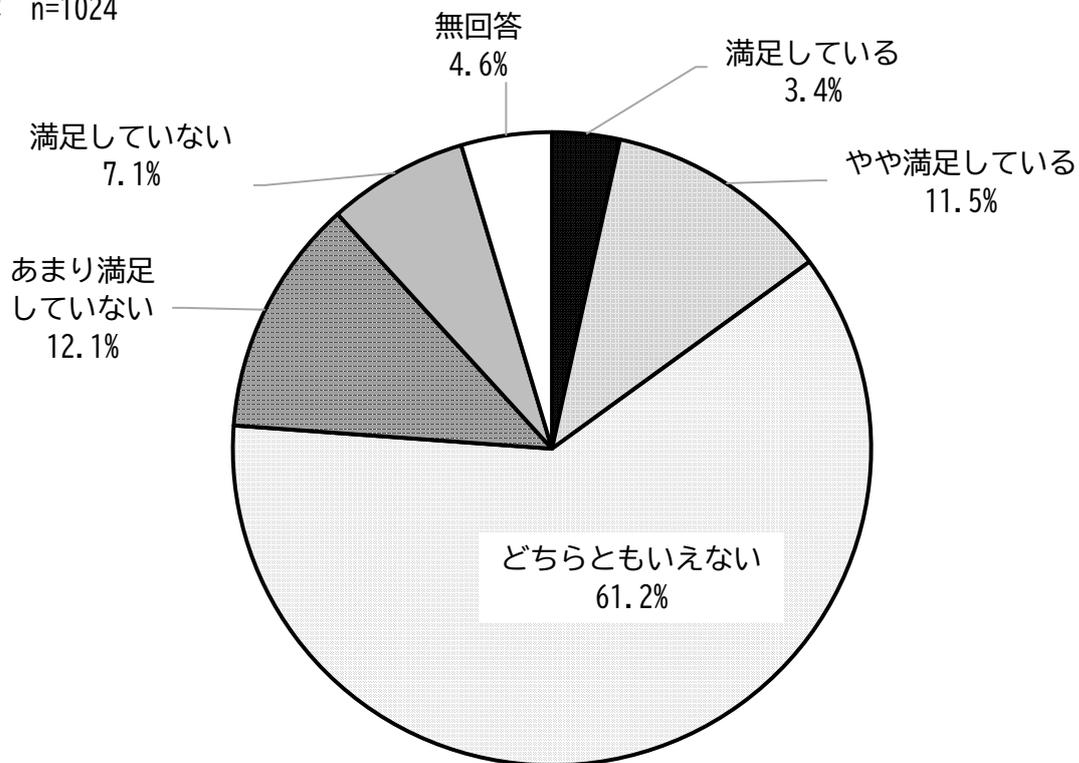
◇《満足している》(「満足している」「やや満足している」の合計値)は1割半ばとなっている

問 13 区の文化芸術に親しむ環境に満足していますか。(1つのみ)

区の文化芸術に親しむ環境への満足度については、「満足している」、「やや満足している」の合計値《満足している》は14.9%となっている。一方、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》は19.2%と、《満足していない》が4.3ポイント上回っている。

「どちらともいえない」は61.2%となっている。

全体 n=1024

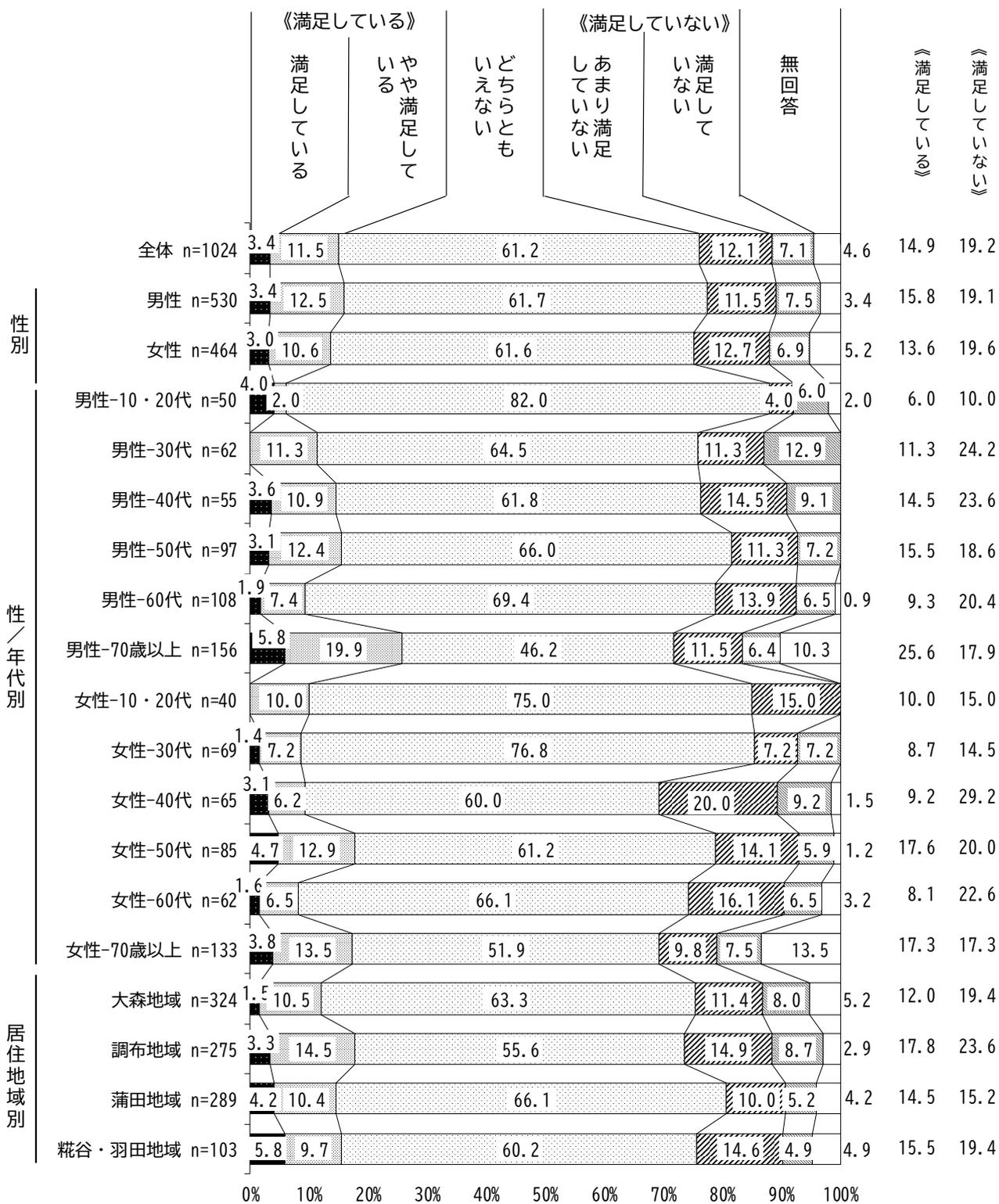


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《満足している》は男性が15.8%、女性が13.6%と、男性が2.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《満足している》は男性70歳以上で2割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《満足していない》は調布地域で2割半ばと高くなっている。



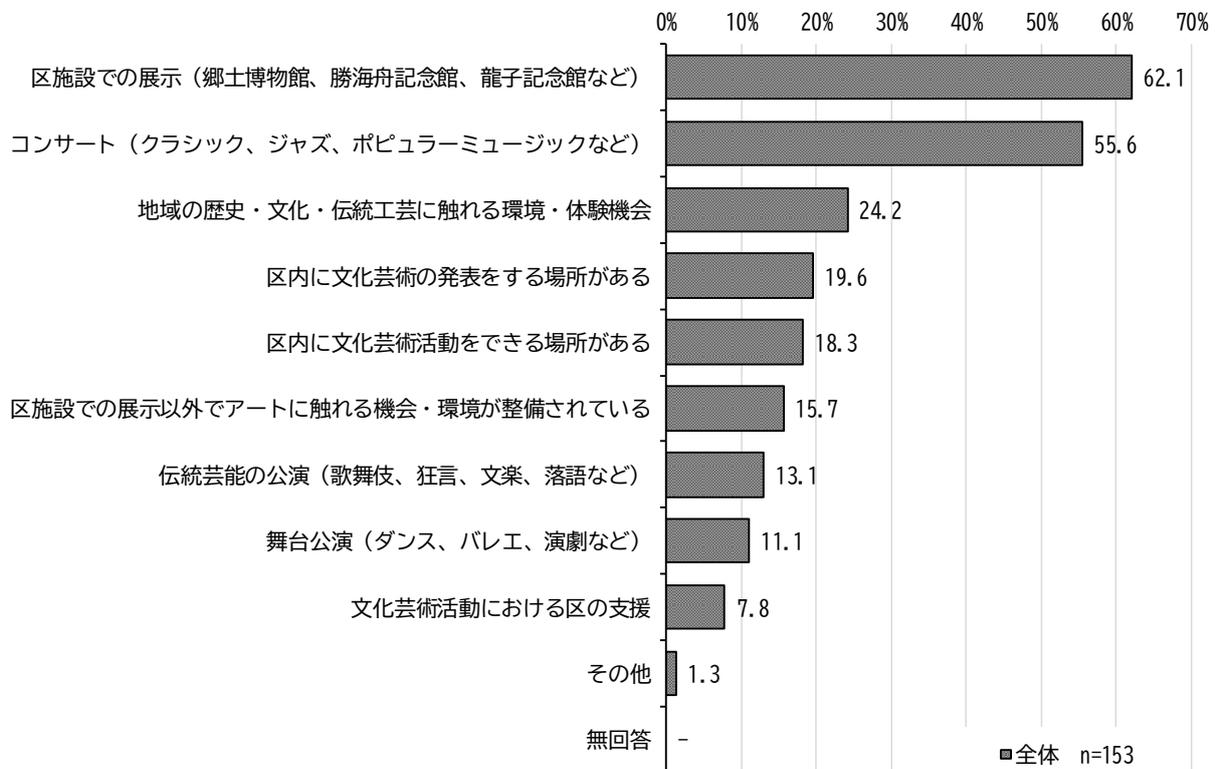
(2) 満足している文化芸術施策

◇「区施設での展示（郷土博物館、勝海舟記念館、龍子記念館など）」が6割前半で最も高くなっている

【問13 で「1 満足している」「2 やや満足している」と回答した方に伺います。】

問13-1 区のどの文化芸術施策に満足していますか。（複数選択可）

満足している文化芸術施策については、「区施設での展示（郷土博物館、勝海舟記念館、龍子記念館など）」が62.1%で最も高く、次いで「コンサート（クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど）」が55.6%、「地域の歴史・文化に触れる環境・体験機会」が24.2%となっている。

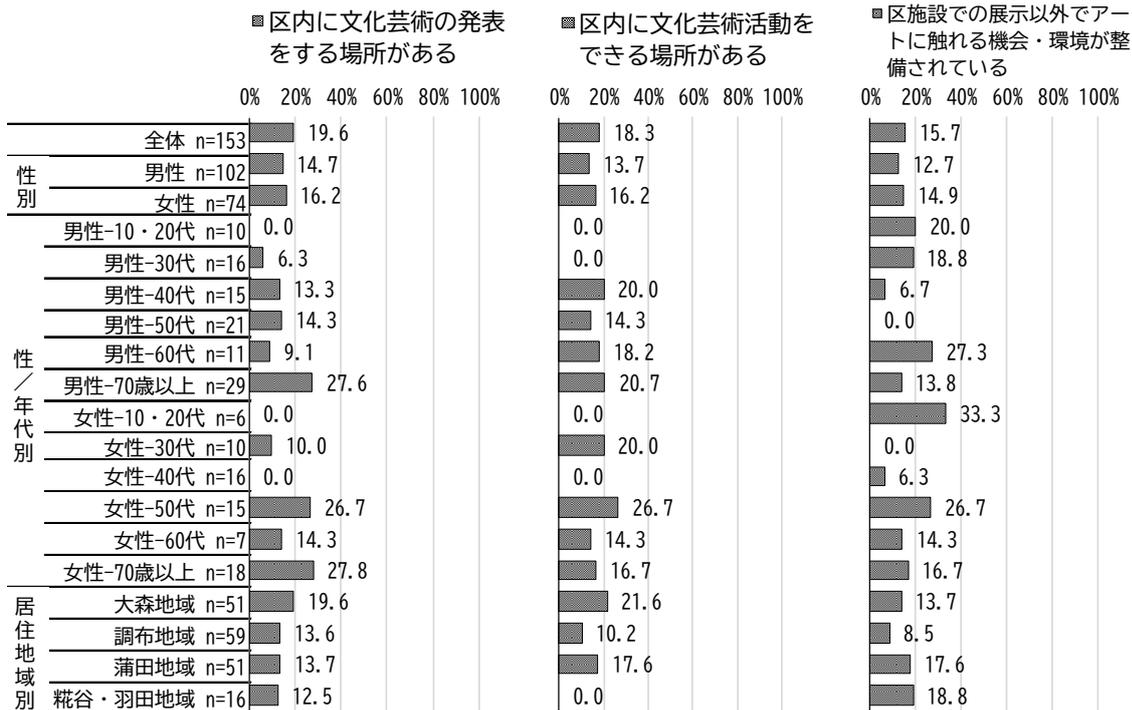
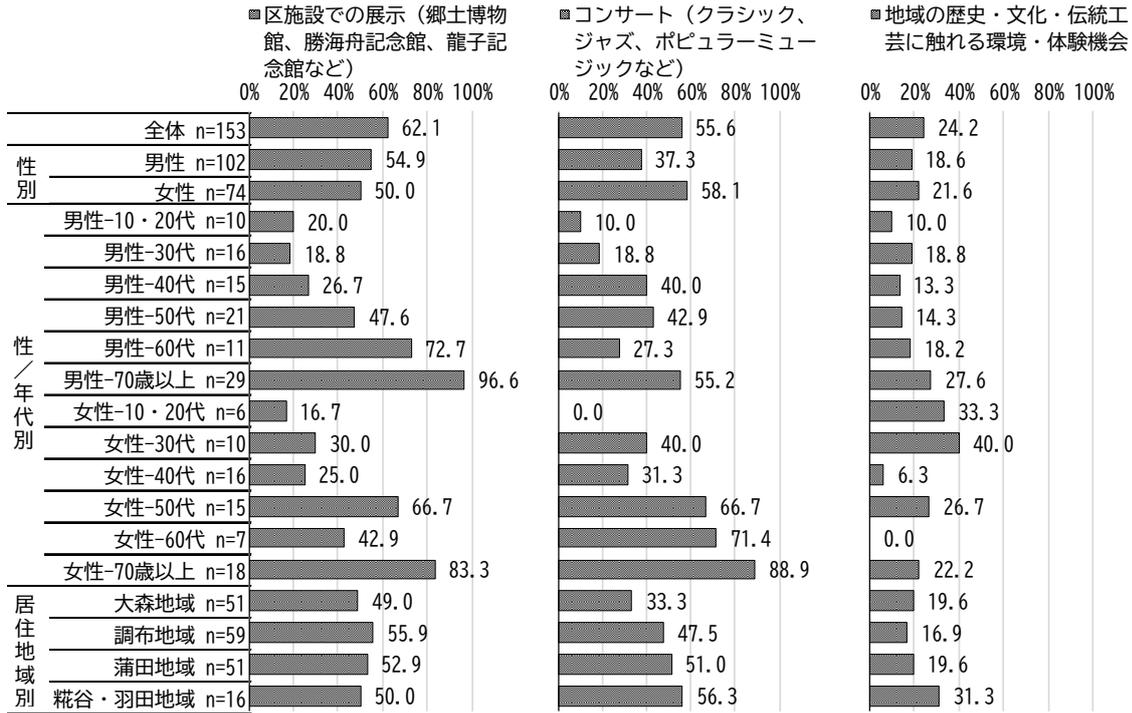


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「区施設での展示（郷土博物館、勝海舟記念館、龍子記念館など）」は男性が54.9%、女性が50.0%と、男性が4.9ポイント上回っている。一方で、「コンサート（クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど）」は男性が37.3%、女性が58.1%と、女性が20.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「区施設での展示（郷土博物館、勝海舟記念館、龍子記念館など）」は男性70歳以上で9割半ば、女性70歳以上で8割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、糞谷・羽田地域では「コンサート（クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど）」が5割半ばで高くなっている。



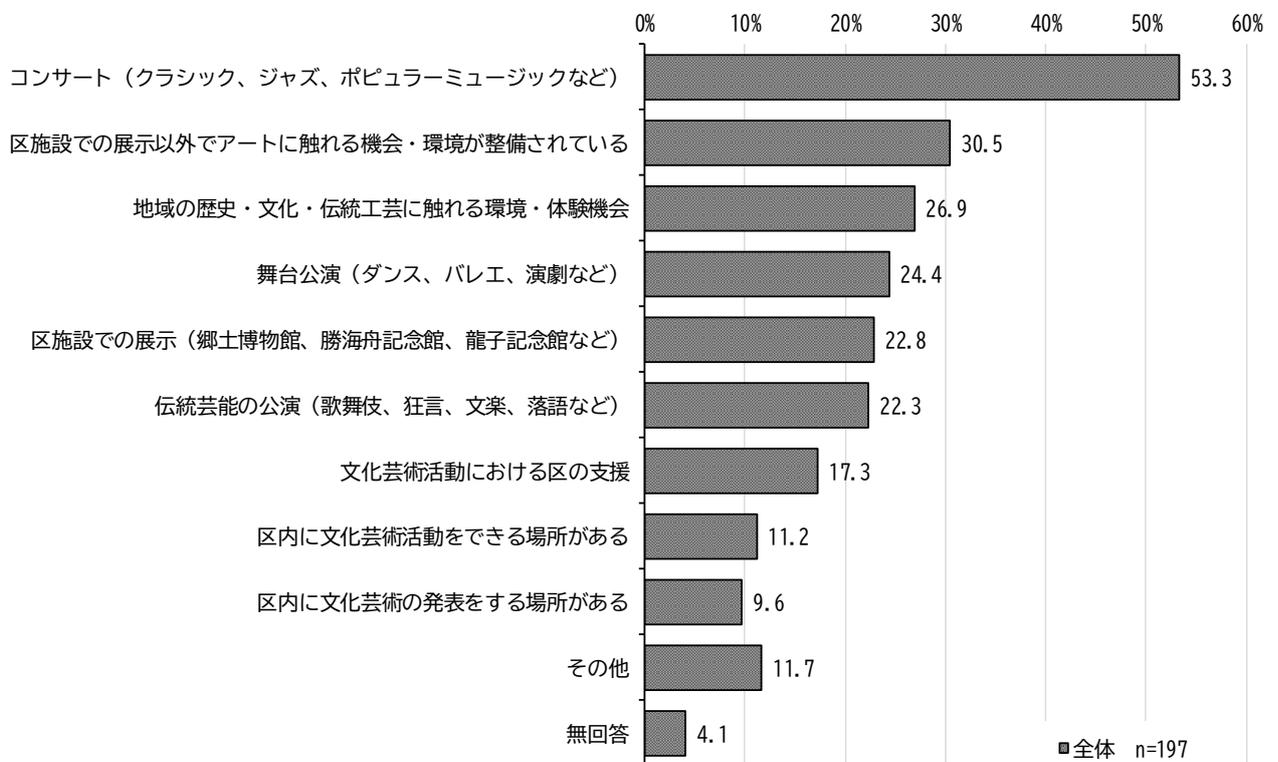
(3) 期待する区の文化芸術施策

◇「コンサート（クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど）」が5割前半で最も高くなっている

【問 13 で「4 あまり満足していない」「5 満足していない」と回答した方に伺います。】

問 13-2 区にどのような文化芸術施策を望みますか。（複数選択可）

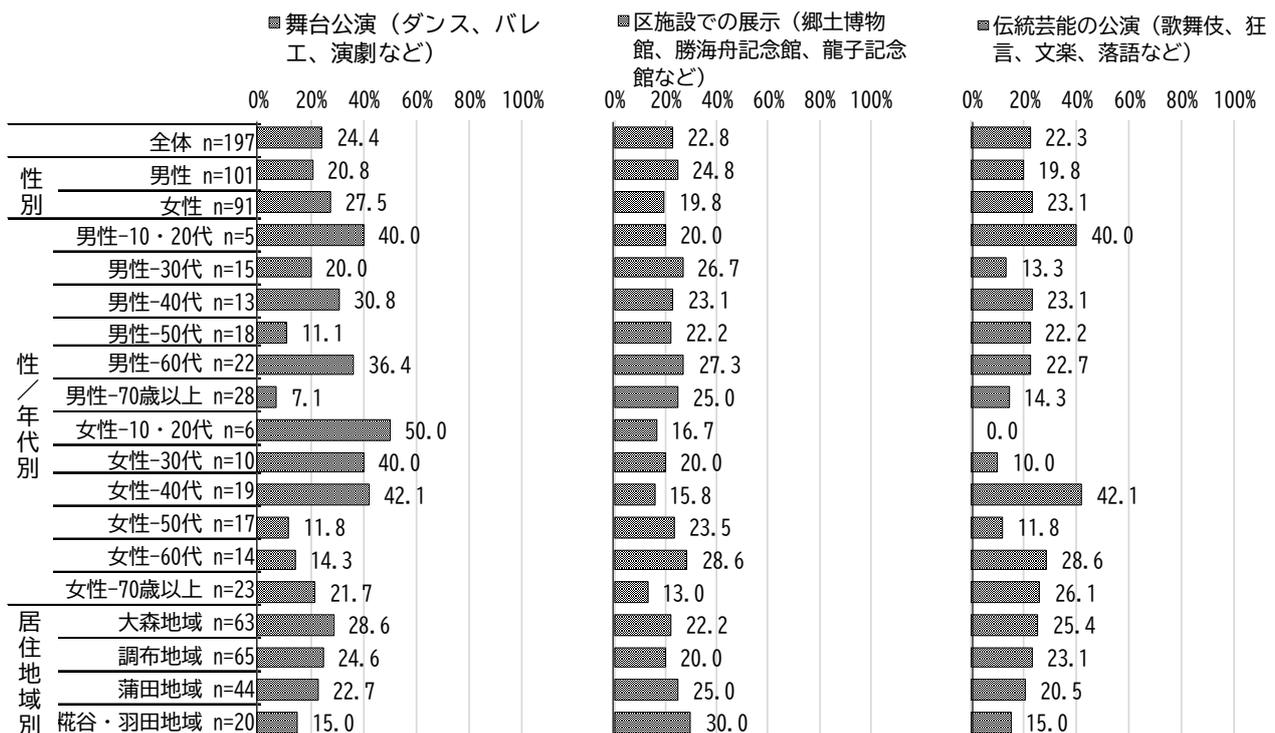
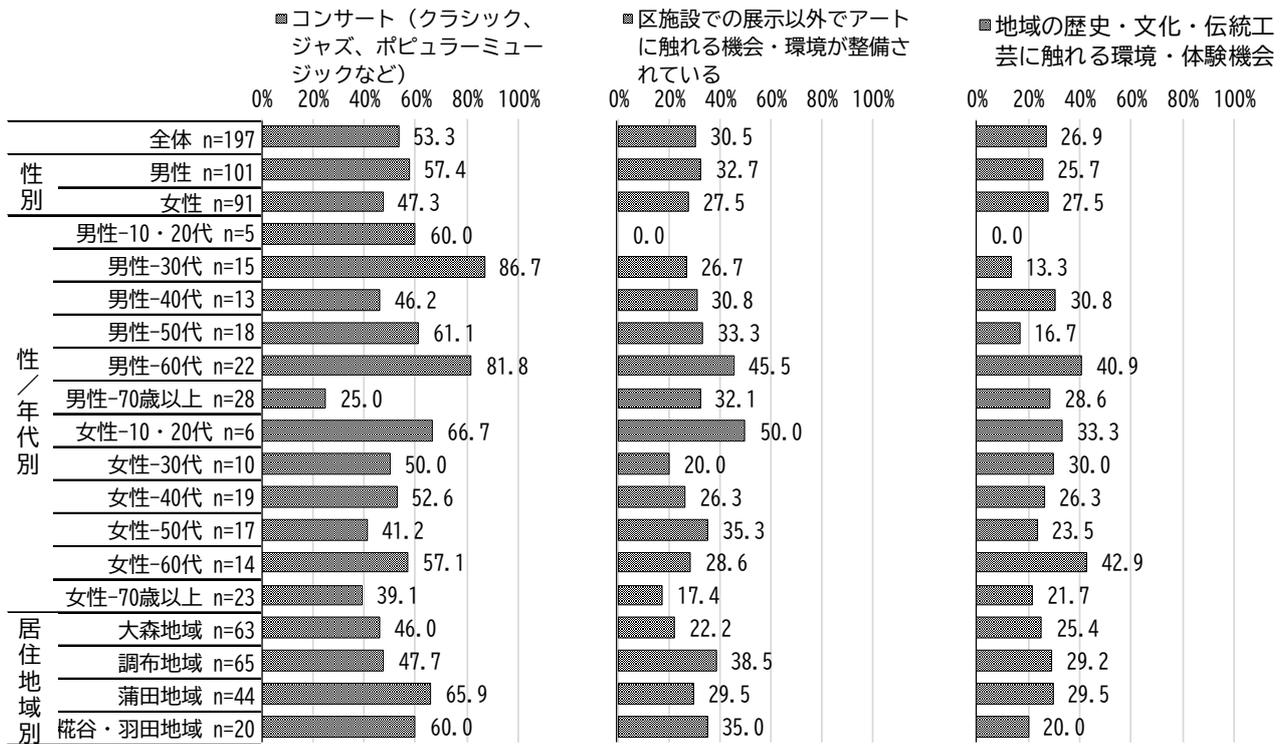
期待する区の文化芸術施策については、「コンサート（クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど）」が53.3%で最も高く、次いで「区施設での展示以外でアートに触れる機会・環境が整備されている」が30.5%、「地域の歴史・文化に触れる環境・体験機会」が26.9%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「コンサート(クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど)」は男性が57.4%、女性が47.3%と、男性が10.1ポイント上回っている。一方、「舞台公演(ダンス、バレエ、演劇など)」は男性が20.8%、女性が27.5%と、女性が6.7ポイント上回っている。

居住地域別でみると、「コンサート(クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど)」はすべての地域で最も高く、蒲田地域で6割半ばとなっている。



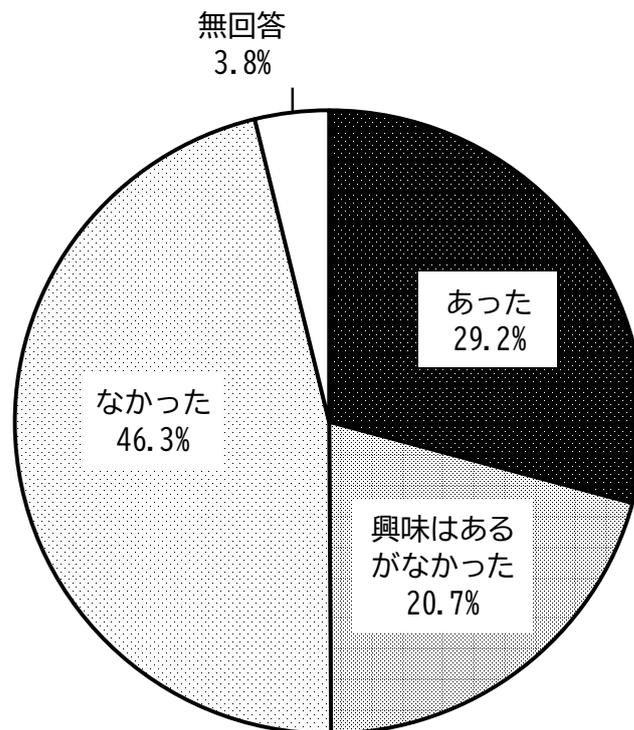
(4) 区の文化や歴史に触れる機会の有無

◇「なかった」が4割半ばで最も高くなっている

問14 これまでに区の文化や歴史に触れる機会がありましたか。(1つのみ)

区の文化や歴史に触れる機会の有無について、「なかった」が46.3%で最も高く、次いで「あった」が29.2%、「興味はあるがなかった」は20.7%となっている。

全体 n=1024

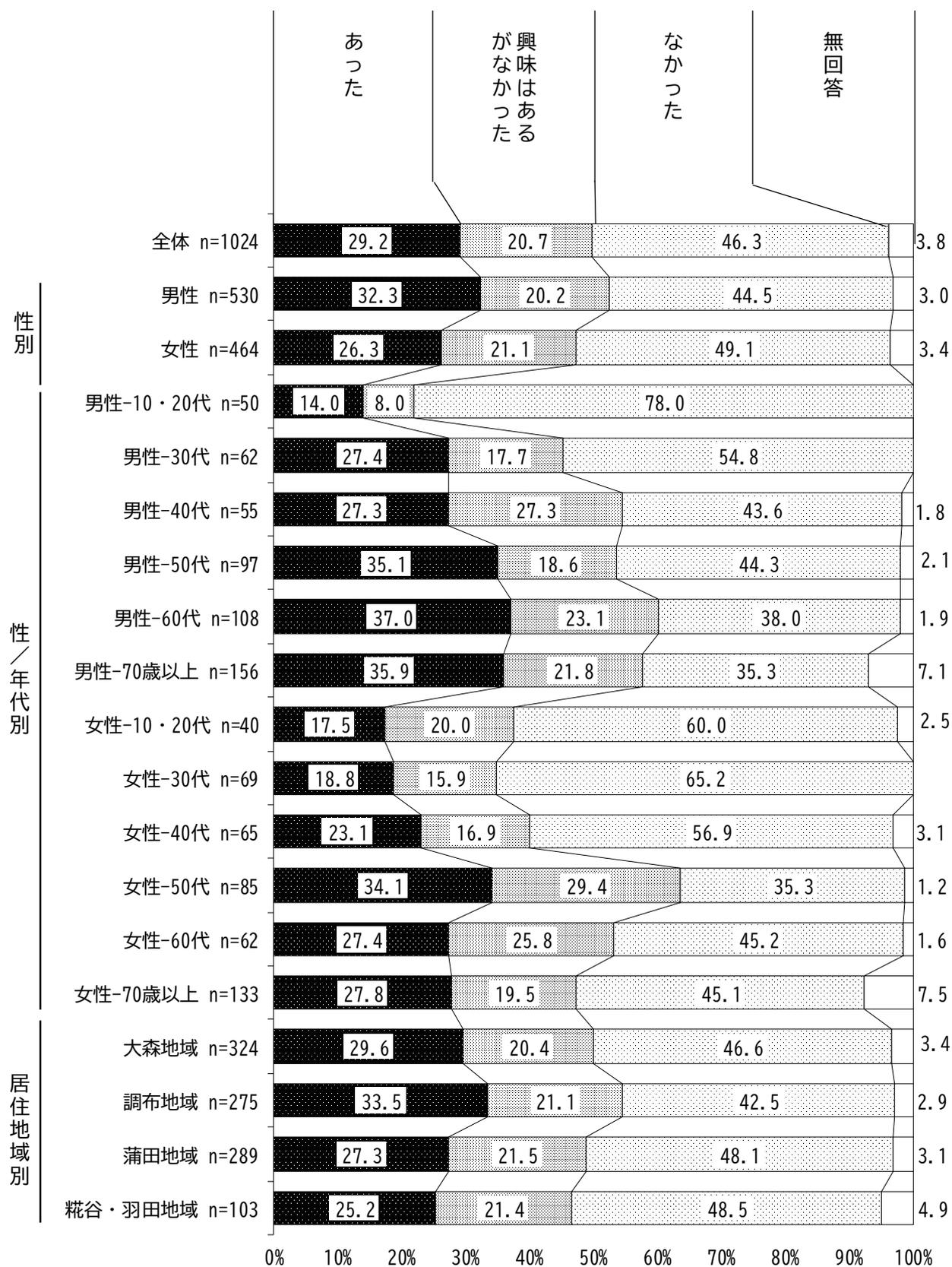


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「あった」は男性が32.3%、女性が26.3%と、男性が6.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「あった」は男性60代で3割後半、男性50代、70代、女性50代で3割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「あった」は調布地域で3割半ばと高くなっている。



7 生涯学習について

(1) 最近1年間の生涯学習の有無

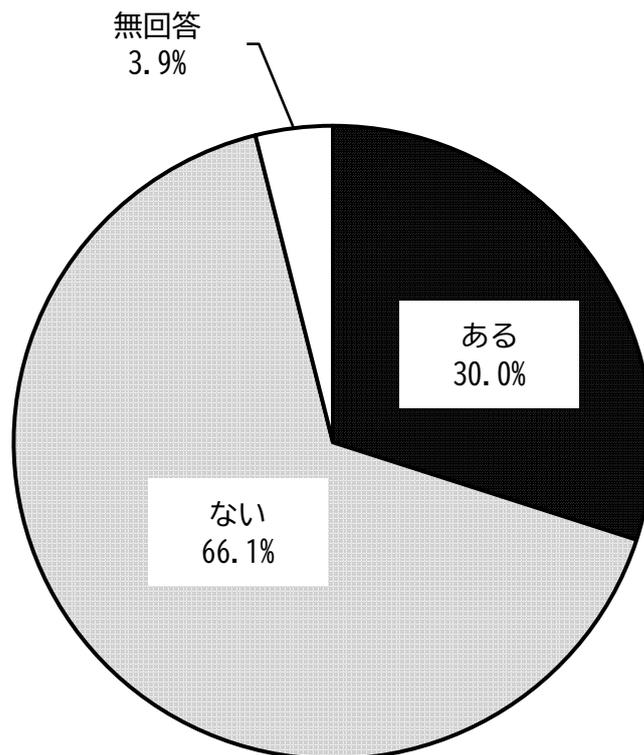
◇「ある」は3割となっている

問 15 最近1年間に生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

生涯学習とは、区民一人一人が、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において取り組む学びのことをいいます。具体的には、読書、語学や資格の習得、趣味・教養、スポーツ、芸術・文化活動、生活・健康や仕事などに関する学習、サークル活動を指し、自治会・町会、NPO、PTA、こども会、ボランティアなどの地域活動を通して得られる学びも含まれます。

最近1年間の生涯学習の有無については、「ある」が30.0%、「ない」が66.1%と、「ない」が36.1ポイント上回っている。

全体 n=1024

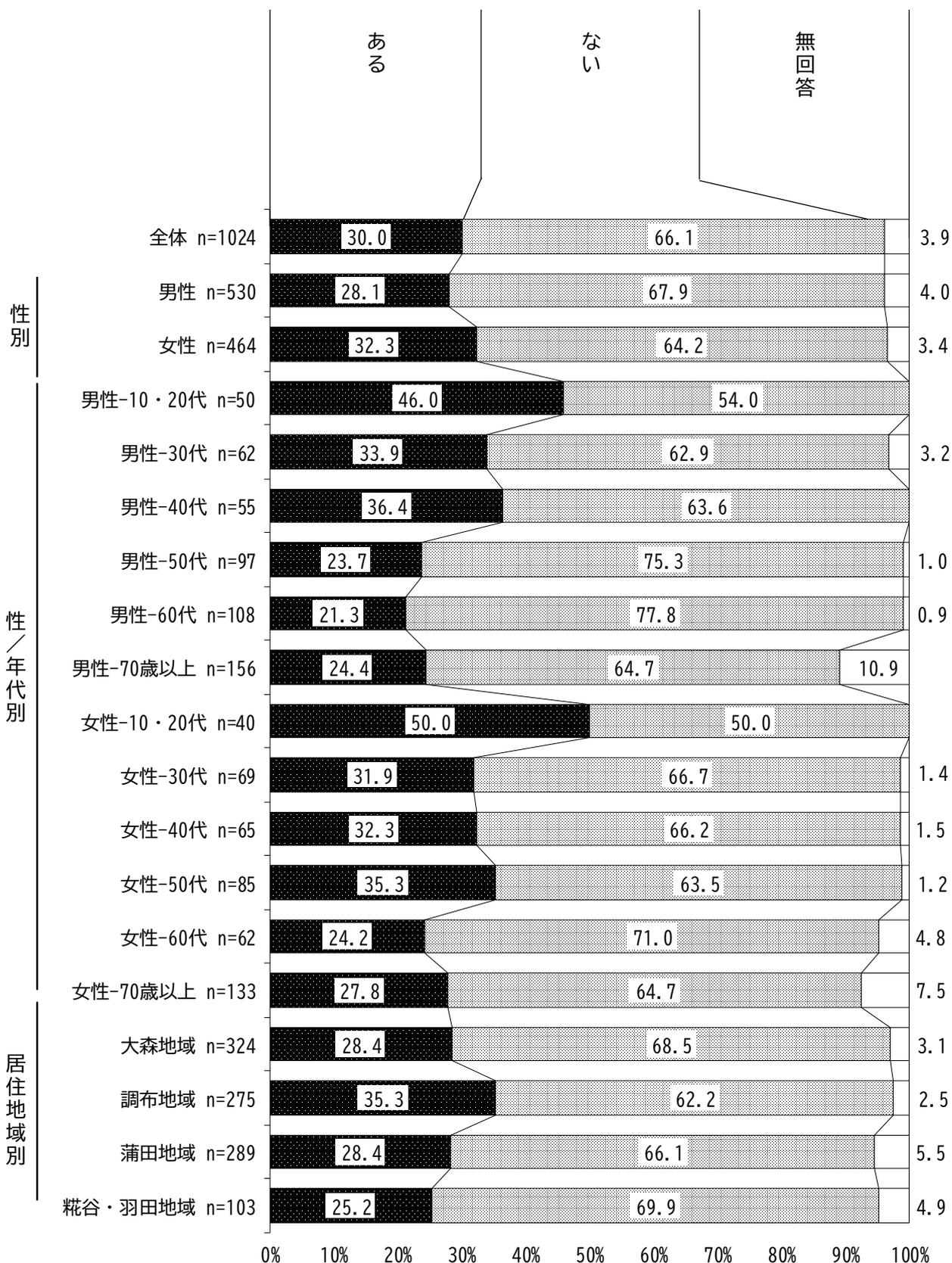


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「ある」は男性が28.1%、女性が32.3%と、女性が4.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「ある」は男性10・20代で4割半ば、女性10・20代で5割と高くなっている。「ない」は男性50代で7割半ば、60代で7割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「ない」は糞谷・羽田地域で約7割と高くなっている。



(2) オンラインによる生涯学習の有無

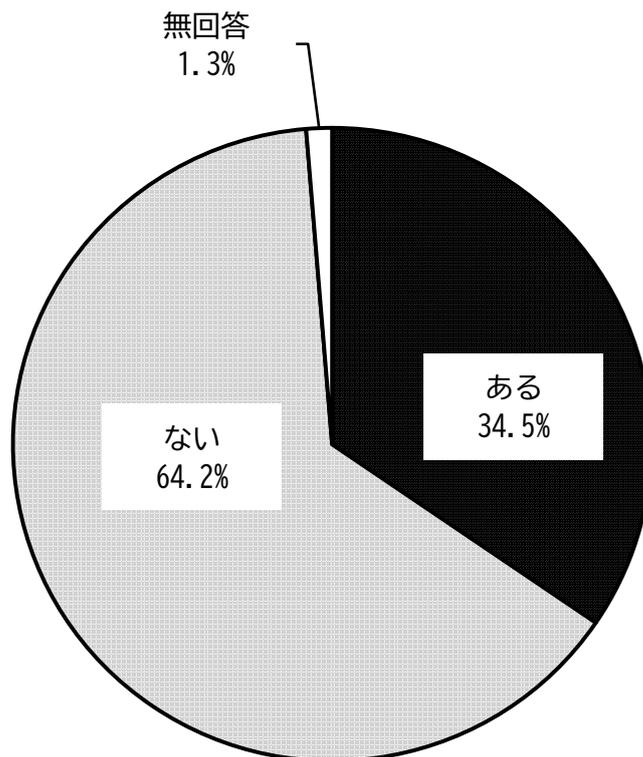
◇「ある」は3割半ばとなっている

【問 15 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問 15-1 オンラインで生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

オンラインによる生涯学習の有無については、「ある」が34.5%、「ない」が64.2%と、「ない」が29.7ポイント上回っている。

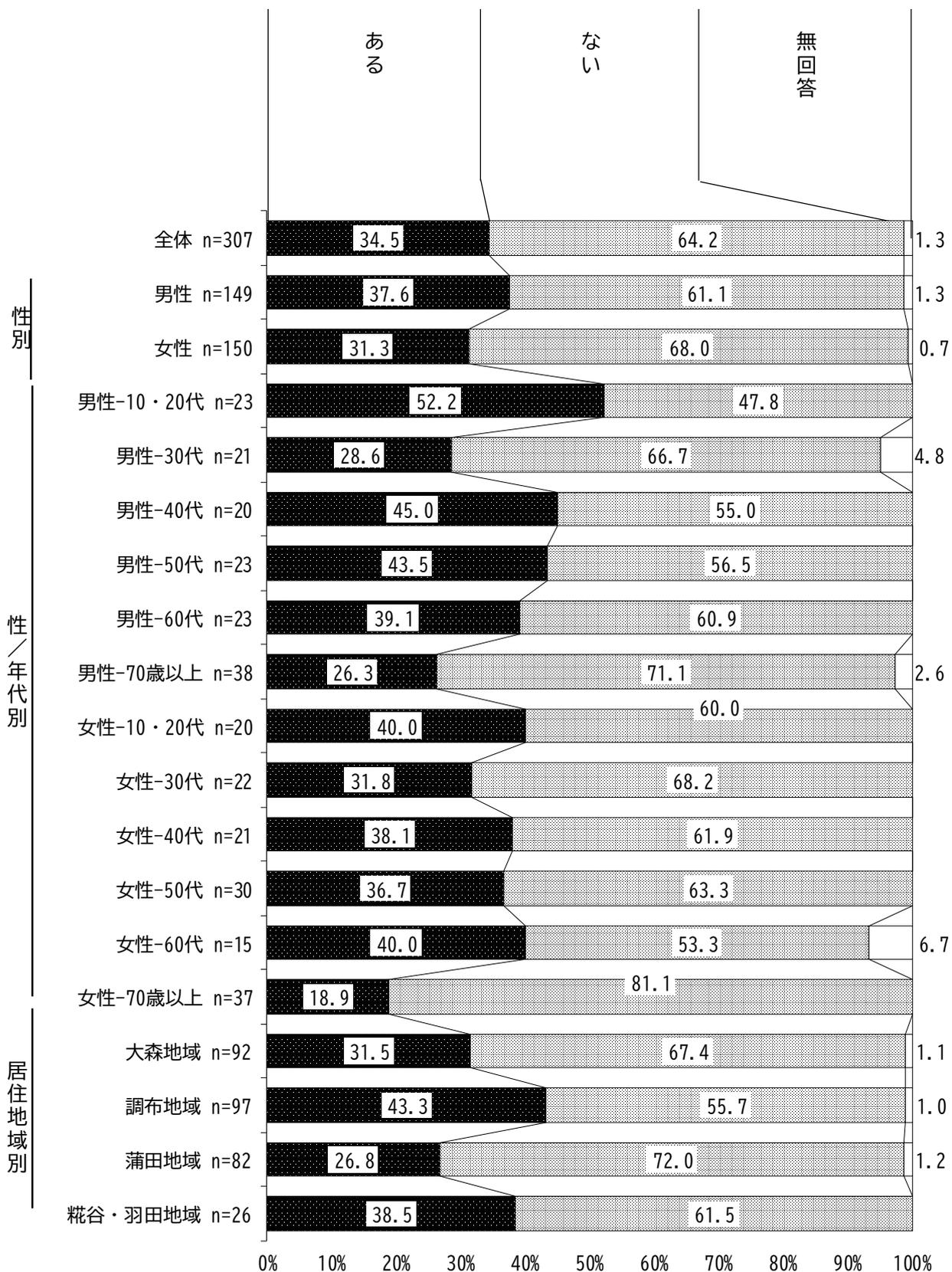
全体 n=307



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「ある」は男性が37.6%、女性が31.3%と、男性が6.3ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、「ある」は男性10・20代で5割前半、男性40代が4割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「ある」は調布地域で4割前半と高くなっている。



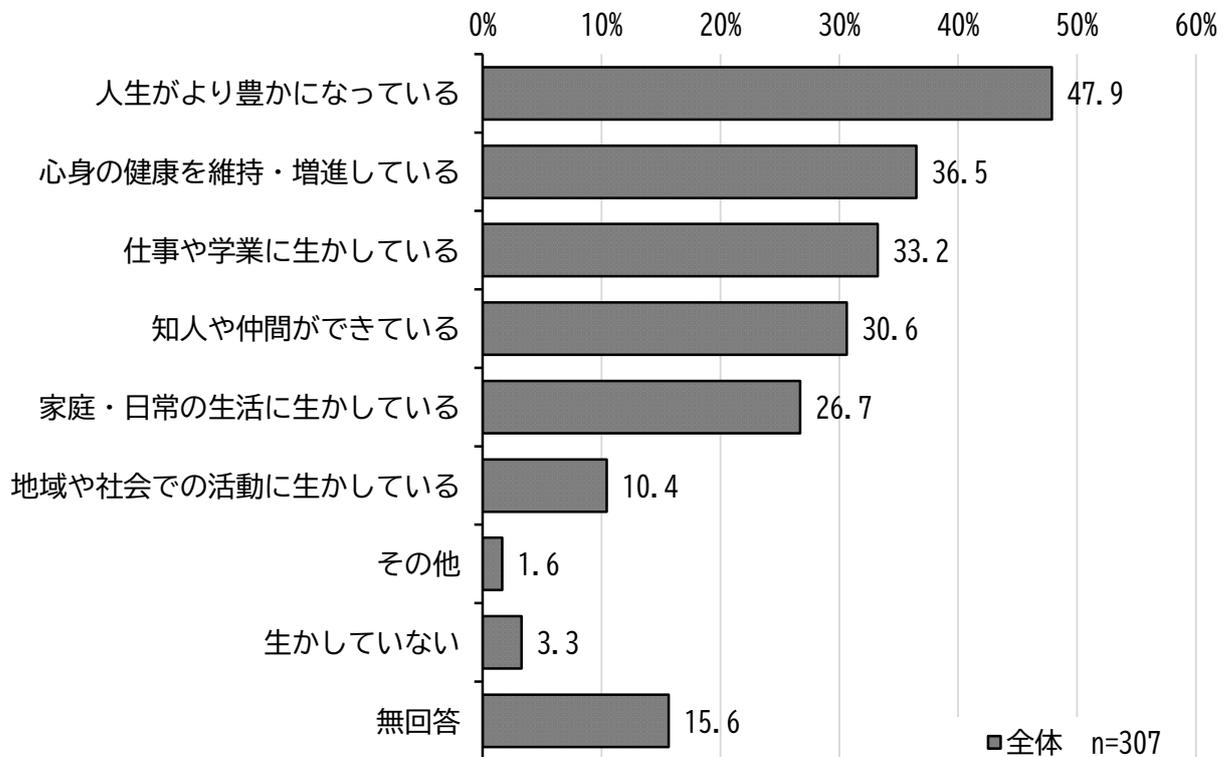
(3) 生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を生かしていること

◇「人生がより豊かになっている」が4割後半で最も高くなっている

【問 15 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問 15-2 あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように生かしていますか。(複数選択可)

生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を生かしていることについては、「人生がより豊かになっている」が47.9%で最も高く、次いで「心身の健康を維持・増進している」が36.5%、「仕事や学業に生かしている」が33.2%、「知人や仲間ができています」が30.6%となっている。

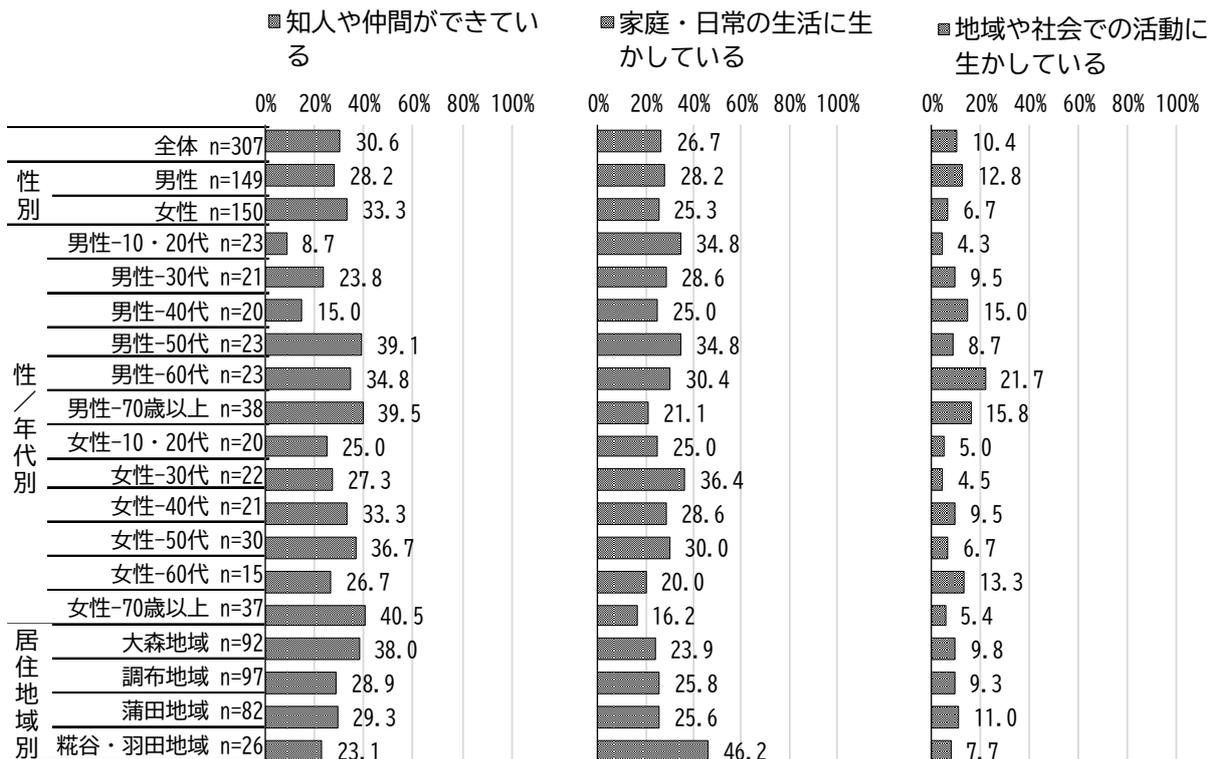
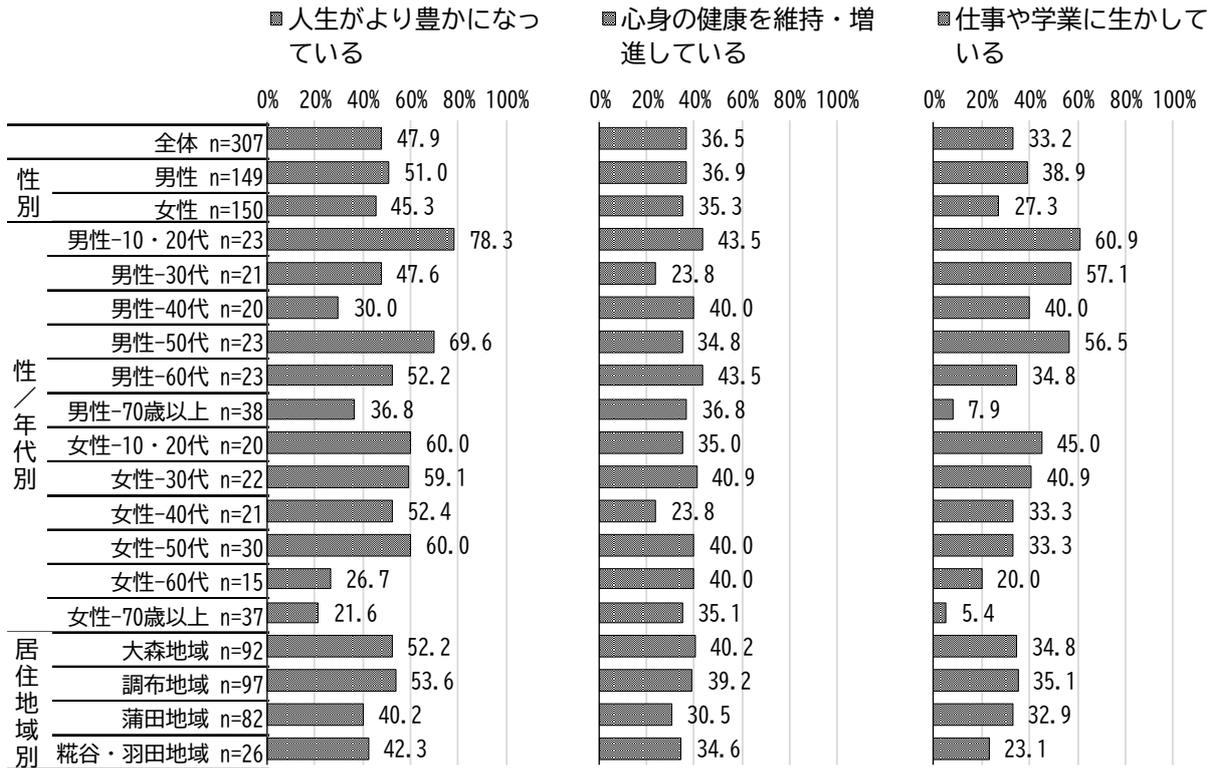


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「人生がより豊かになっている」は男性 51.0%、女性 45.3%と男性が 5.7 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「人生がより豊かになっている」は男性 10・20 代で 78.3%と最も高くなっている。

居住地域別でみると、「人生がより豊かになっている」は調布地域で 53.6%と高くなっている。



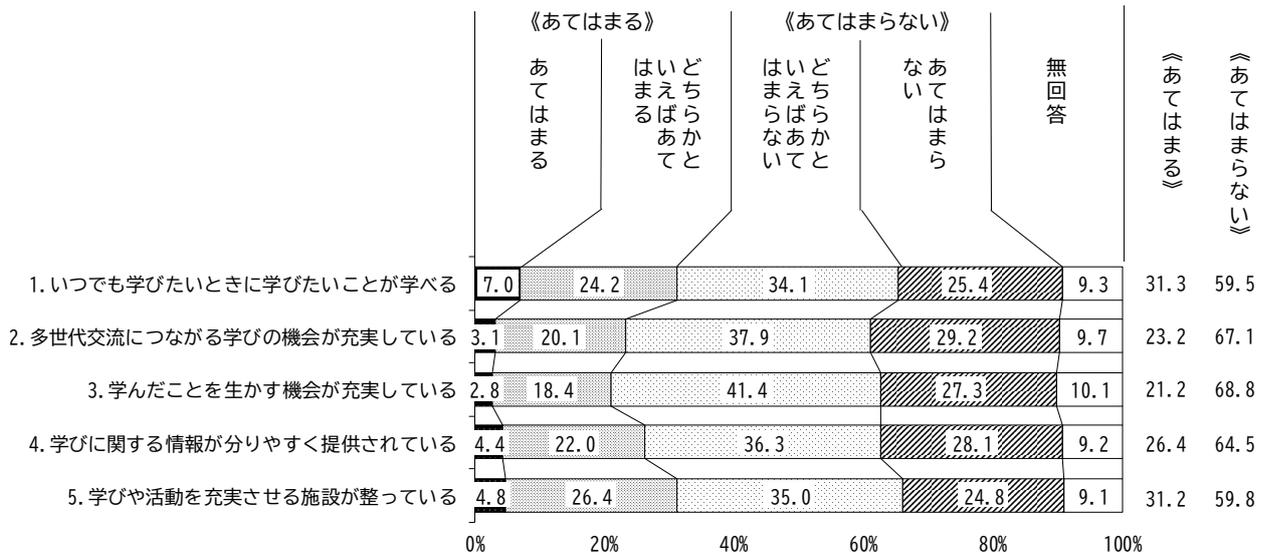
(4) 生涯学習の充実度

◇《あてはまる》(「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計値)は1.いつでも学びたいときに学びたいことが学べるが3割前半で最も高くなっている

問 16 現在の大田区の生涯学習について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。(それぞれ1つ)

1. いつでも学びたいときに学びたいことが学べる
2. 多世代交流につながる学びの機会が充実している
3. 学んだことを生かす機会が充実している
4. 学びに関する情報がわかりやすく提供されている
5. 学びや活動を充実させる施設が整っている

生涯学習の充実度について、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計値《あてはまる》は1.いつでも学びたいときに学びたいことが学べる 31.3%で最も高く、次いで5.学びや活動を充実させる施設が整っている 31.2%、4.学びに関する情報がわかりやすく提供されているが 26.4%となっている。

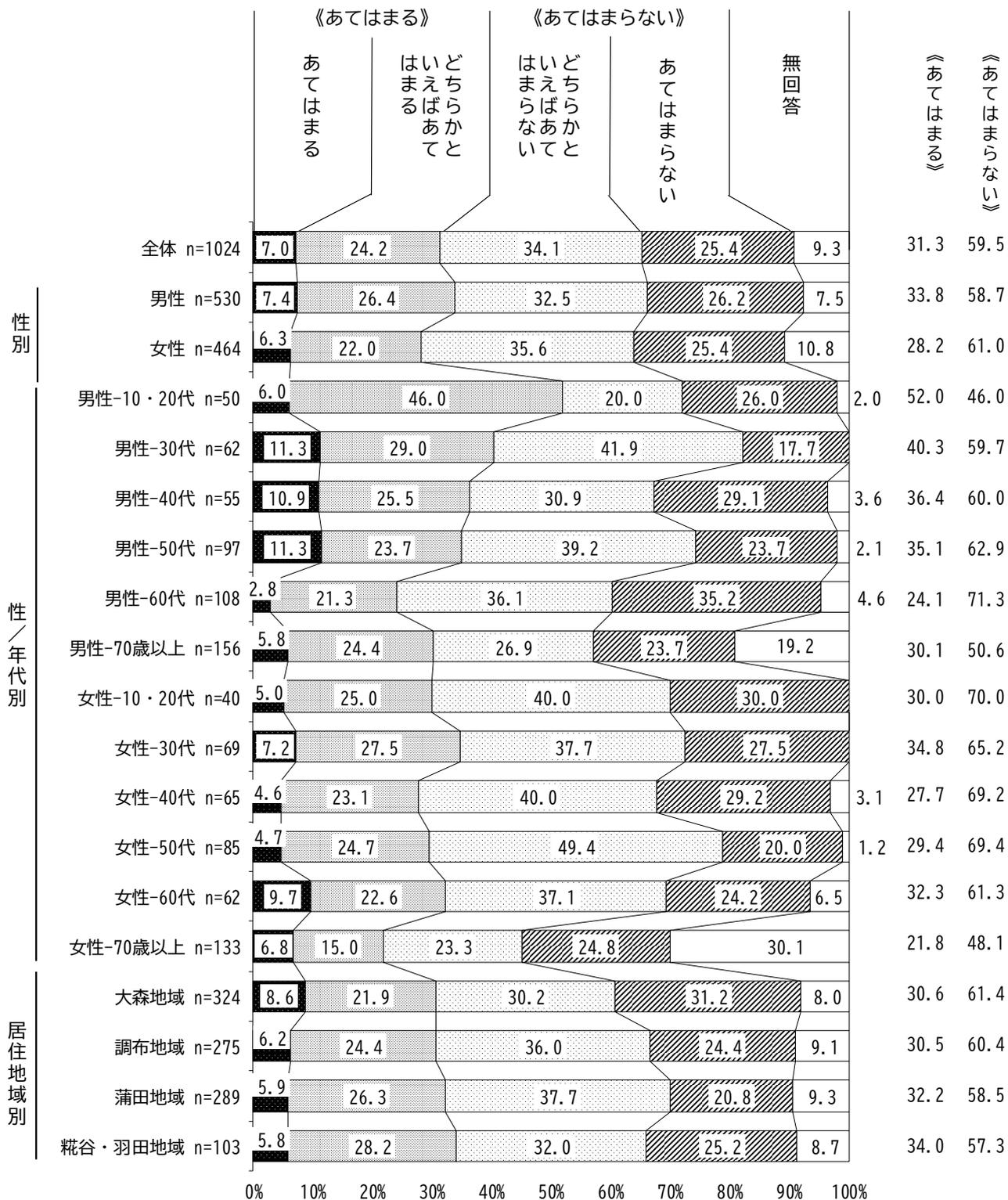


■性別・性／年代別・居住地域別 1. いつでも学びたいときに学びたいことが学べる

性別でみると、《あてはまる》は男性が 33.8%、女性が 28.2%で、男性が 5.6 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《あてはまる》は男性 10・20 代で 5 割前半、男性 30 代で約 4 割と高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》は糞谷・羽田地域で 34.0%と高くなっている。

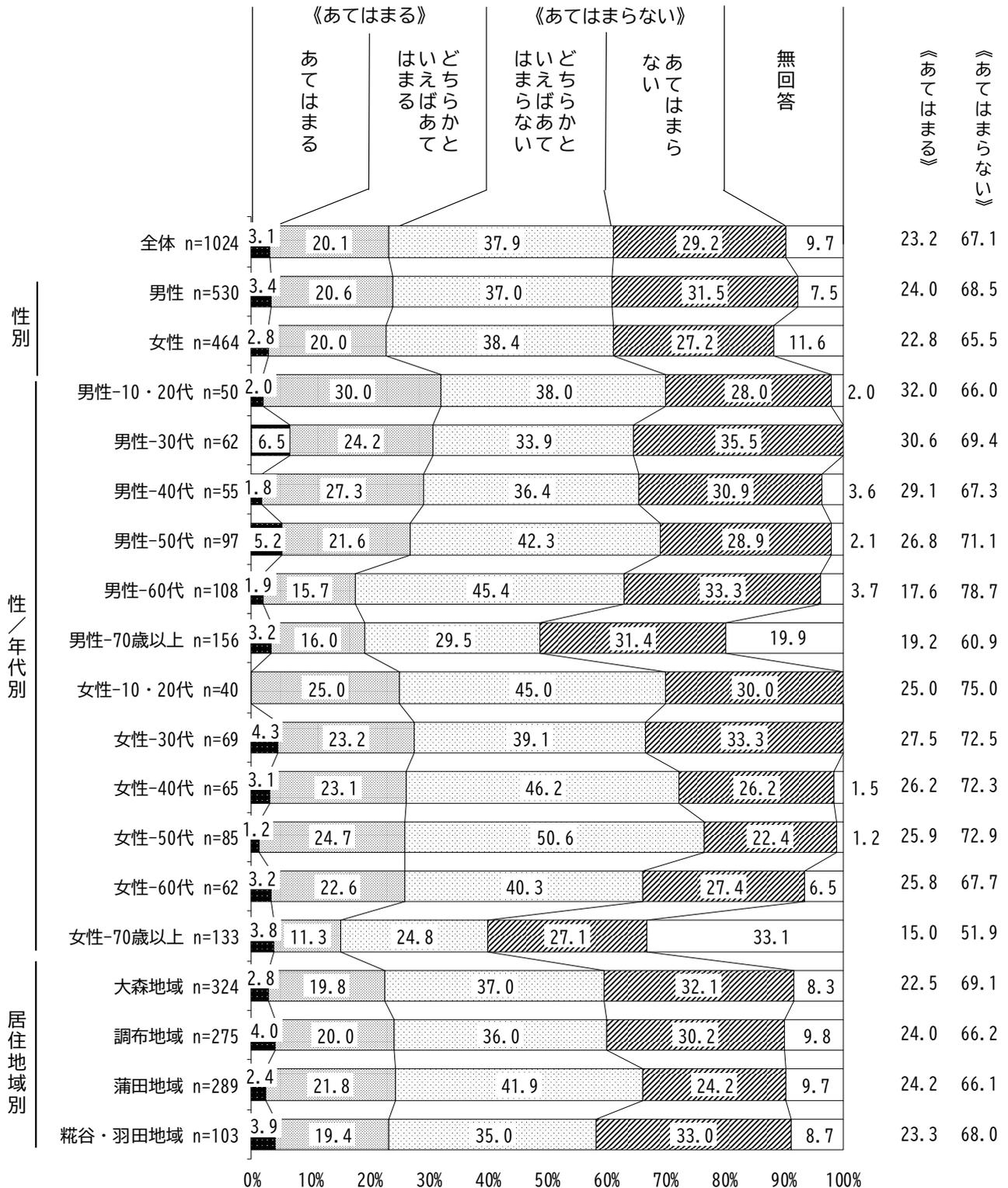


■性別・性／年代別・居住地域別 2. 多世代交流につながる学びの機会が充実している

性別でみると、《あてはまる》は男性が24.0%、女性が22.8%で、男性が1.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《あてはまる》は男性10・20代で3割前半、30代で約3割と高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》は大森地域で22.5%と低くなっている。

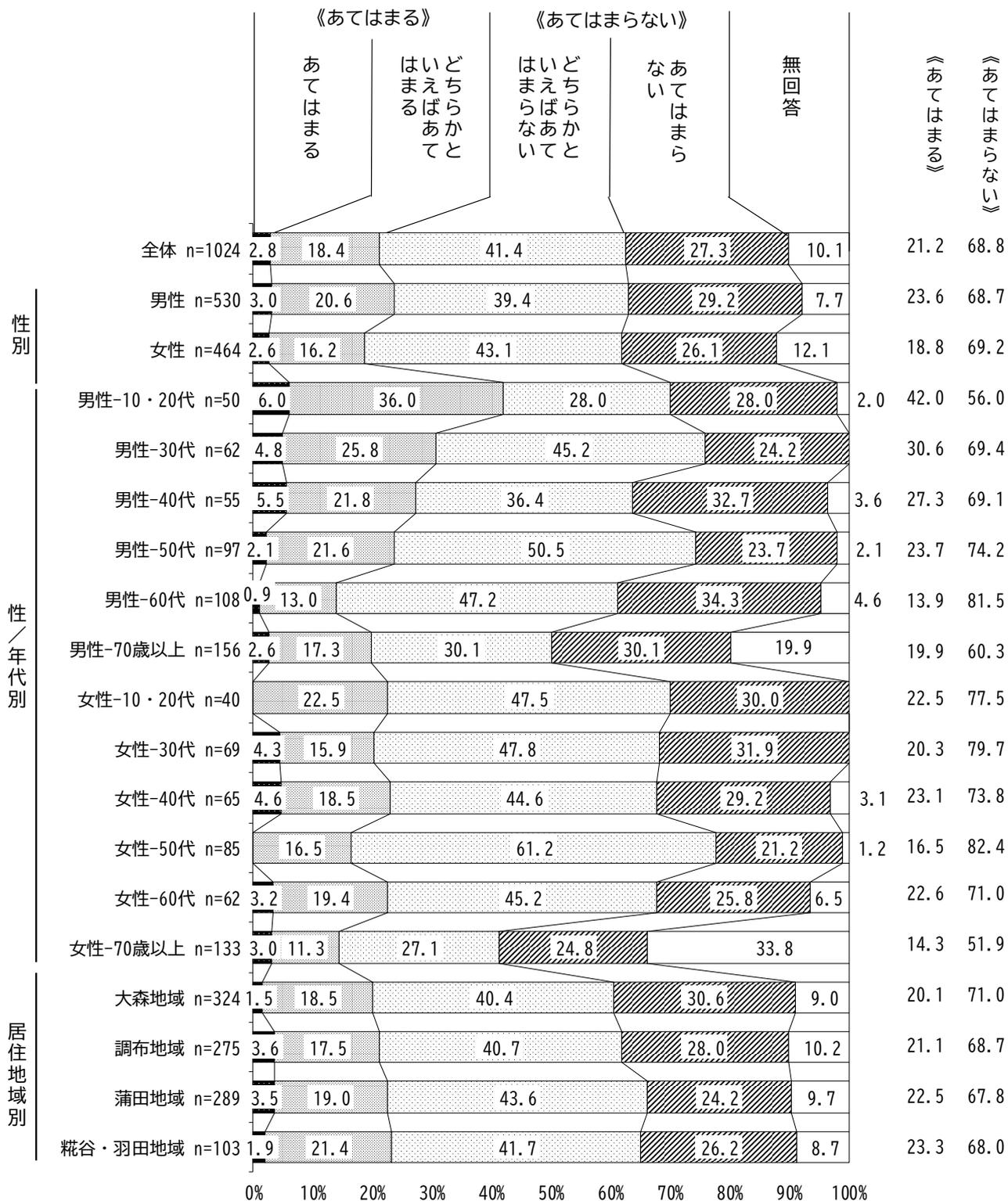


■性別・性／年代別・居住地域別 3. 学んだことを生かす機会が充実している

性別でみると、《あてはまる》は男性が23.6%、女性が18.8%で、男性が4.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《あてはまる》は男性10・20代で4割前半、男性30代で約3割と高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》は大森地域で20.1%と低くなっている。

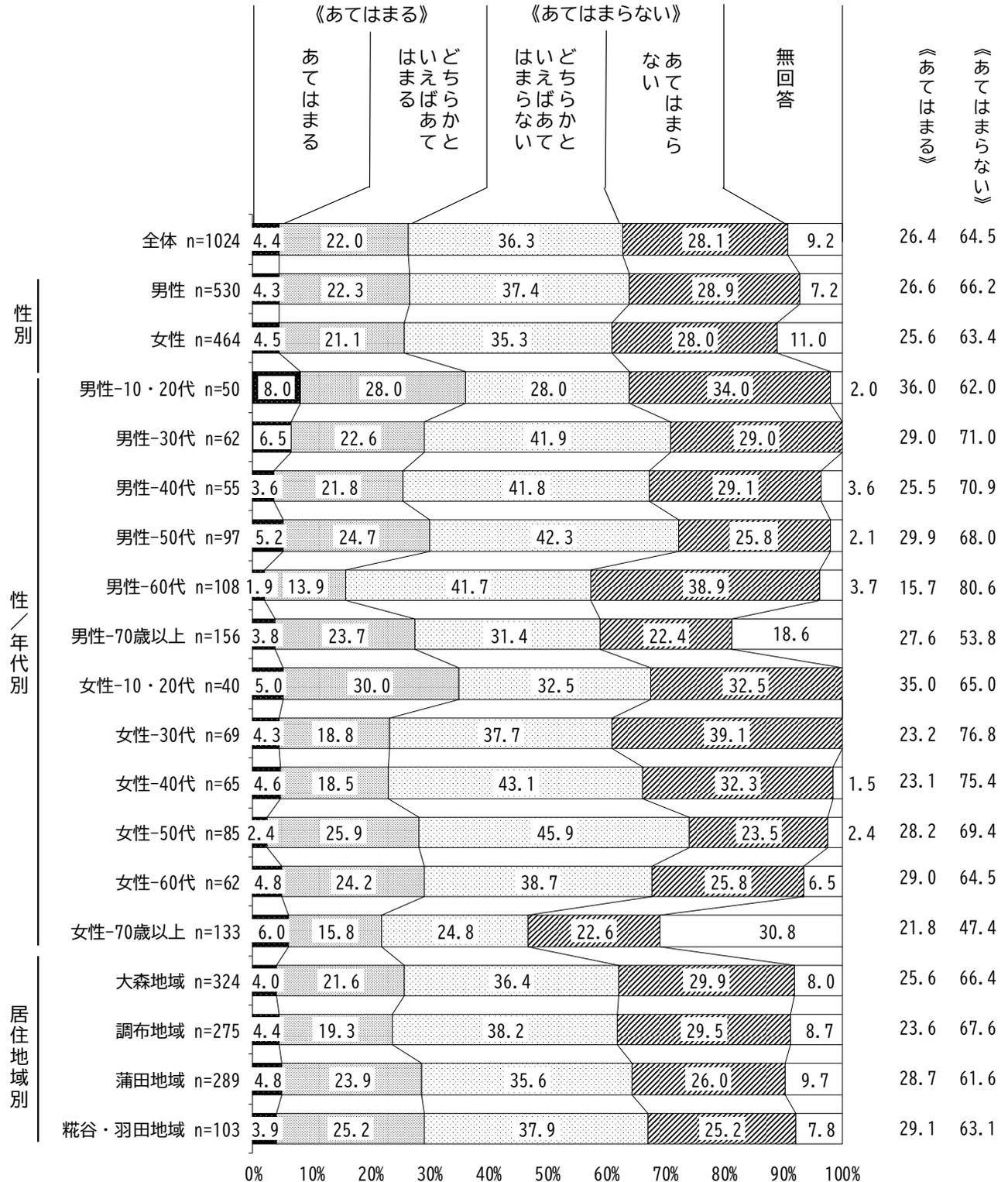


■性別・性／年代別・居住地域別 4. 学びに関する情報がわかりやすく提供されている

性別でみると、《あてはまらない》は男性 66.2%、女性 63.4%となっており、男性が 2.8 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《あてはまる》は男性 10・20 代、女性 10・20 代で 3 割半ばと高くなっている。

居住地域別にみると、《あてはまる》は糞谷・羽田地域で 29.1%と高くなっている。

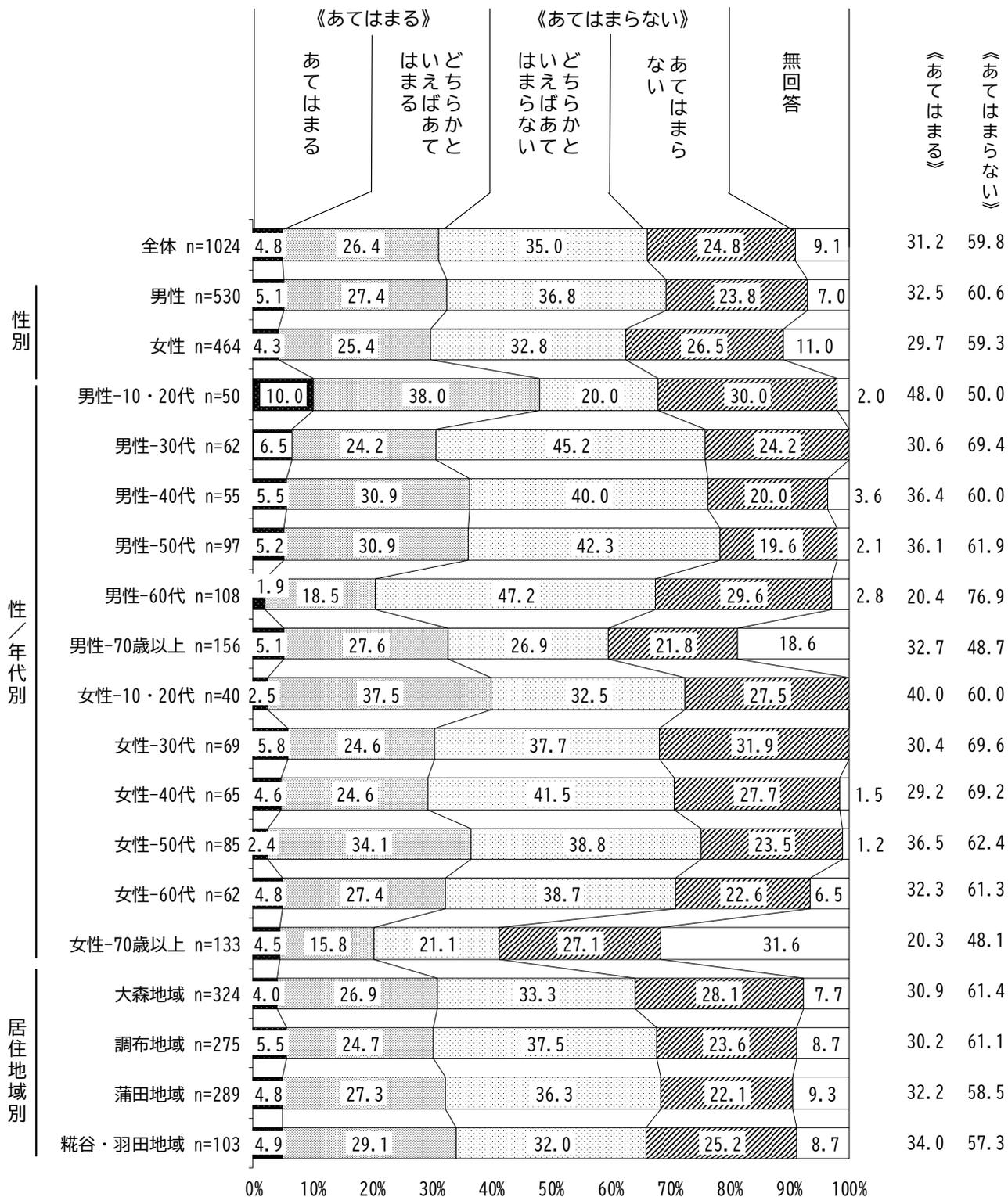


■性別・性／年代別・居住地域別 5. 学びや活動を充実させる施設が整っている

性別でみると、《あてはまる》は男性が32.5%、女性が29.7%で、男性が2.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《あてはまる》は男性10・20代で4割後半、女性10・20代で4割と、それぞれ高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》は糞谷・羽田地域で3割半ばと高くなっている。



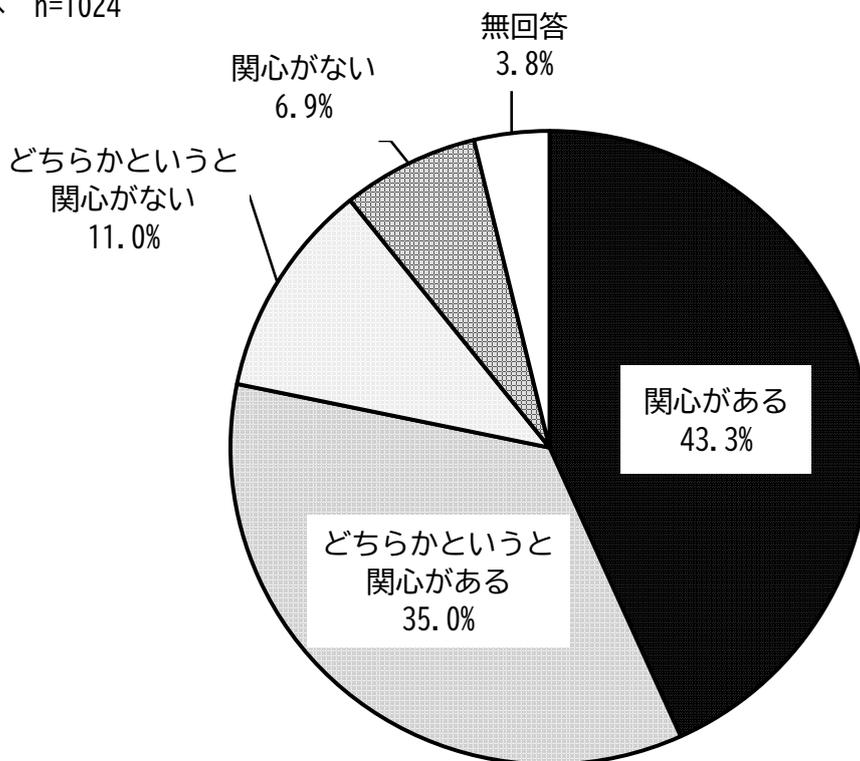
(5) 学ぶことへの関心の有無

◇《関心がある》(「関心がある」「どちらかというに関心がある」の合計値)が7割後半となっている

問17 あなたは、何かを学ぶことに関心がありますか。(1つのみ)

学ぶことへの関心の有無について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」の合計値《関心がある》が78.2%となっている。一方、「どちらかというに関心がない」、「関心がない」の合計値《関心がない》は18.0%と、《関心がある》が60.2ポイント上回っている。

全体 n=1024

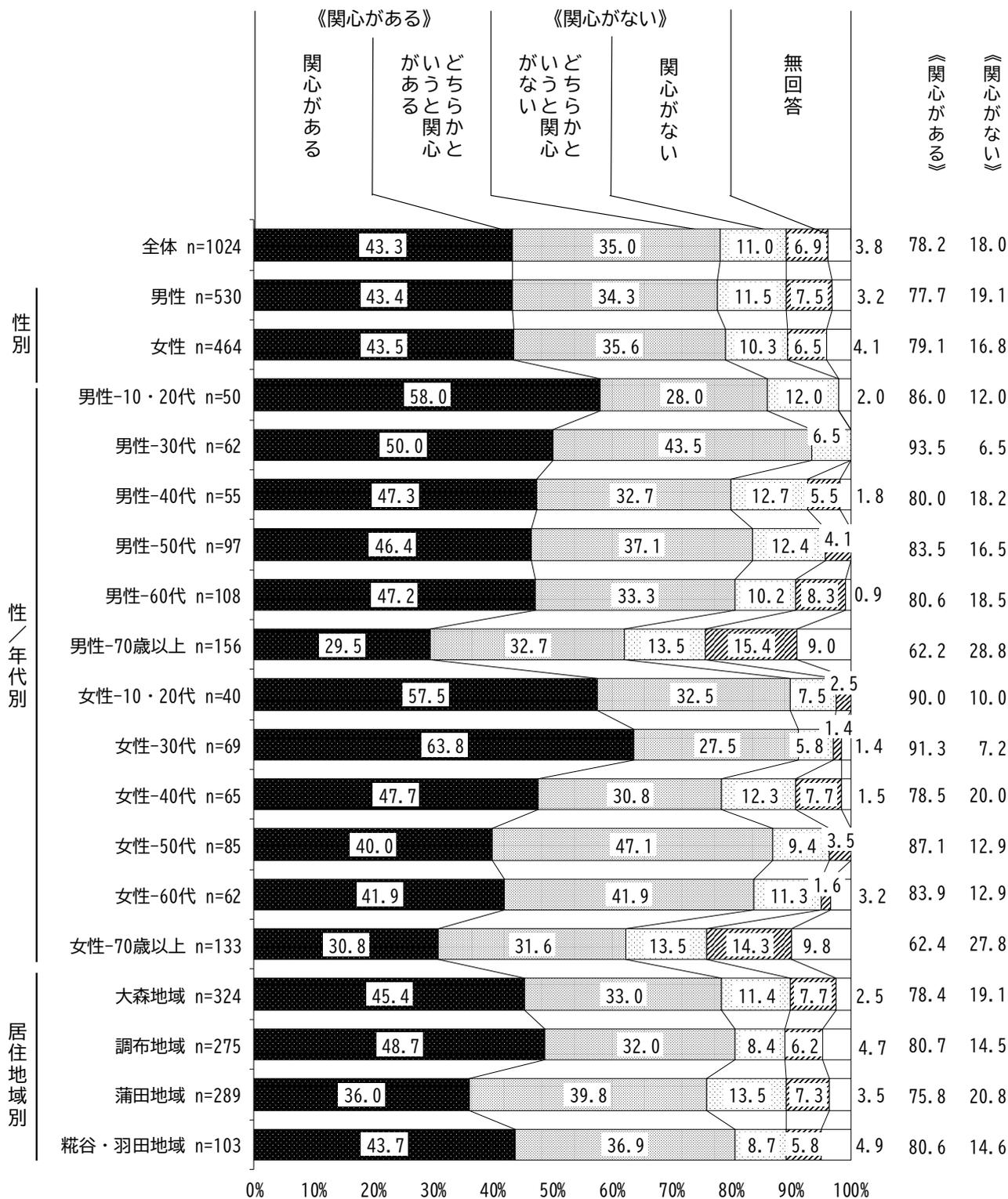


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《関心がある》は男性 77.7%、女性 79.1%となっており、女性が 1.4 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《関心がある》は男性 30 代、女性 10・20 代、30 代で 9 割台と高くなっている。

居住地域別でみると、《関心がある》は調布地域、糎谷・羽田地域で約 8 割と高くなっている。



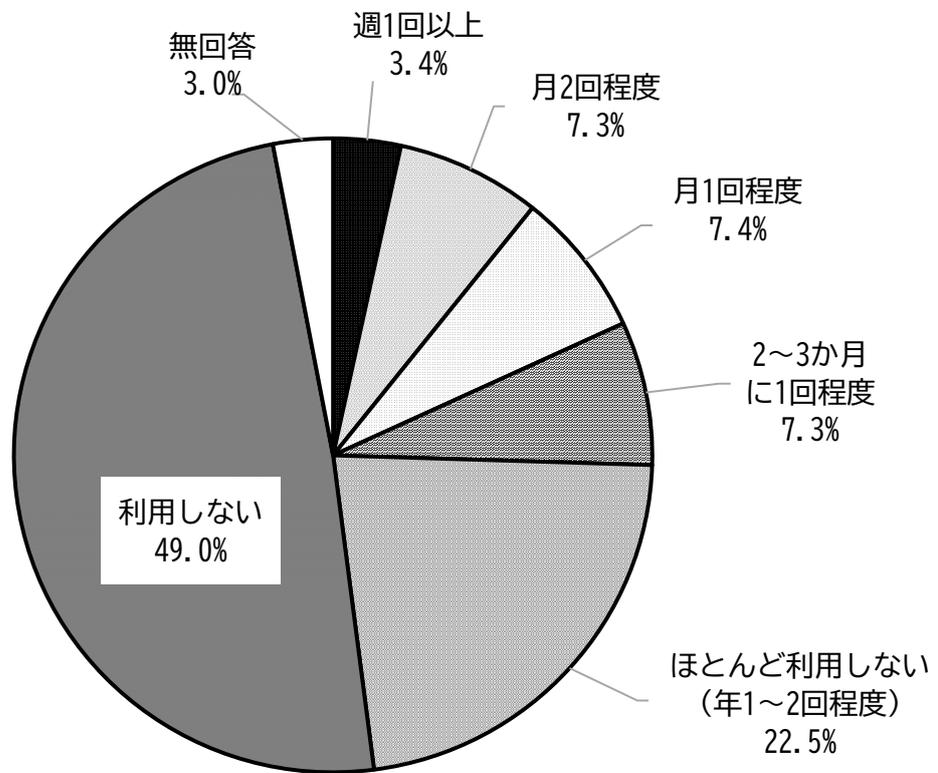
(6) 図書館等の利用頻度

◇《利用する》(「週1回以上」「月2回程度」「月1回程度」「2～3か月に1回程度」、「ほとんど利用しない(年1～2回程度)」の合計値)は4割後半となっている

問 18 1年間で大田区立図書館又は文化の森情報館(電子書籍貸出サービスを含む)をどのくらい利用しますか。(1つのみ)

図書館等の利用頻度については、「週1回以上」、「月2回程度」、「月1回程度」、「2～3か月に1回程度」、「ほとんど利用しない(年1～2回程度)」の合計値《利用する》が47.9%となっている。一方、《利用しない》が49.0%となっており1.1ポイント上回っている。

全体 n=1024

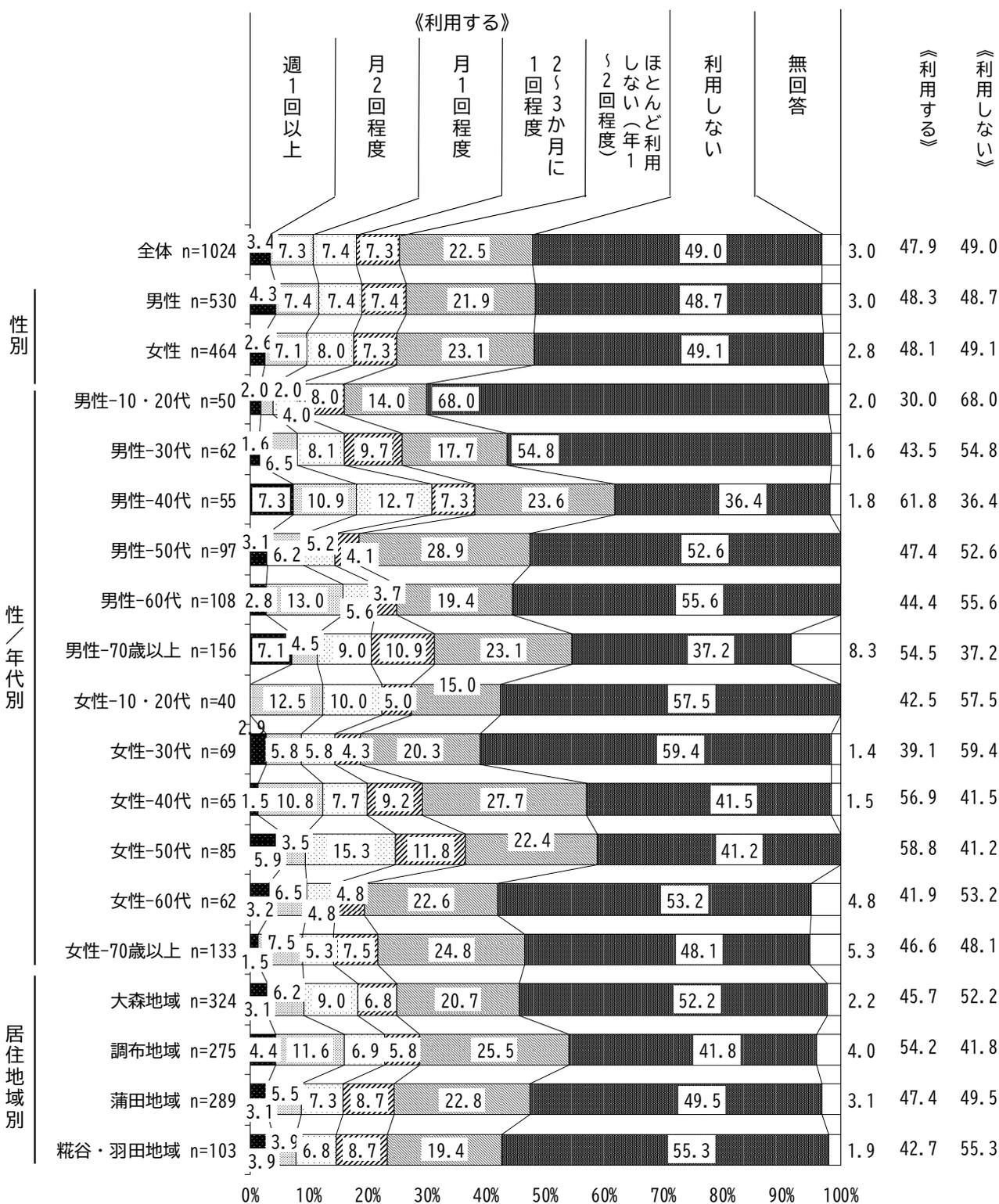


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《利用する》に大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《利用する》は、男性40代で6割前半、女性50代で5割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《利用する》は調布地域で54.2%と高くなっている。



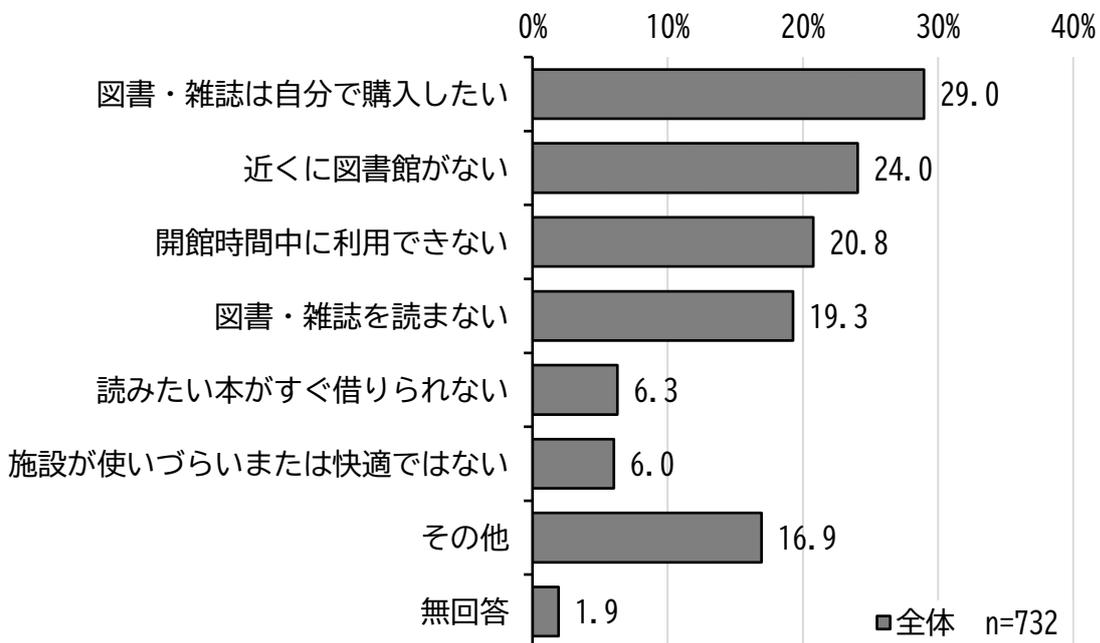
(7) 図書館を利用しない理由

◇「図書・雑誌は自分で購入したい」が約3割で最も高くなっている

【問 18 で「5 ほとんど利用しない（年 1～2 回程度）」「6 利用しない」と回答した方に伺います。】

問 18-1 図書館を利用しない理由についてご回答ください。（複数選択可）

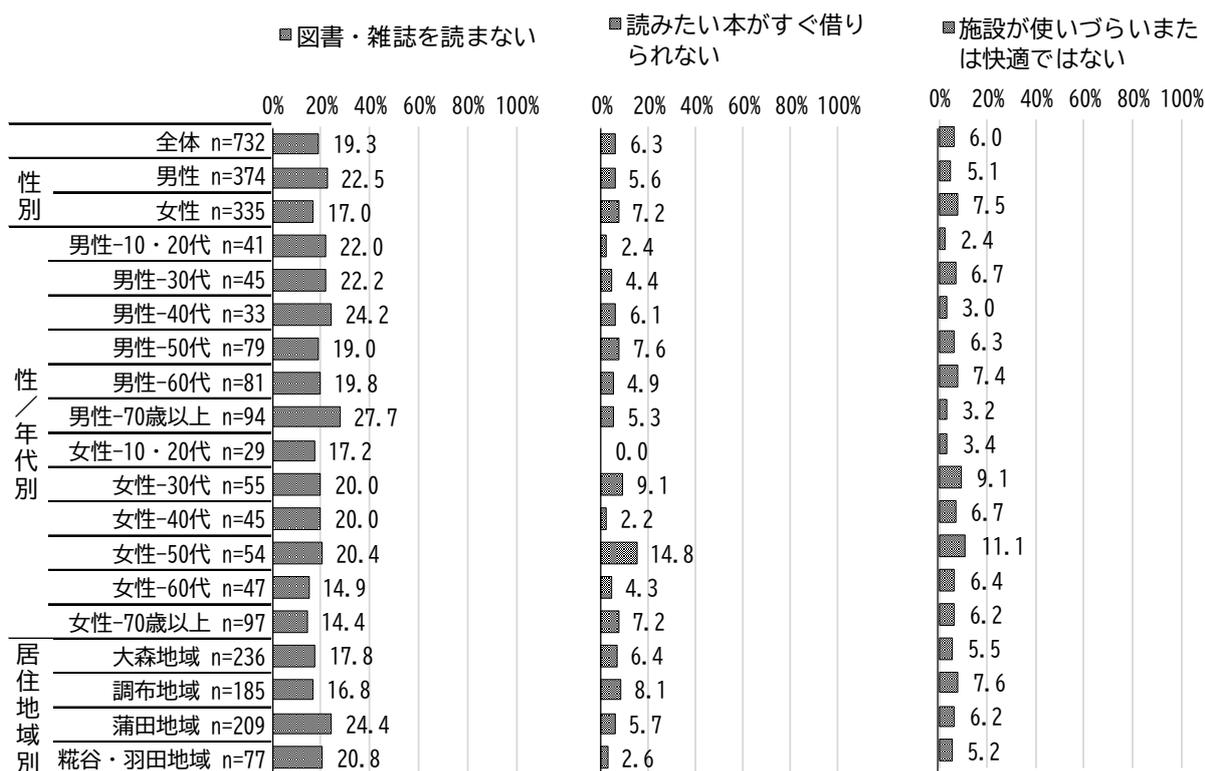
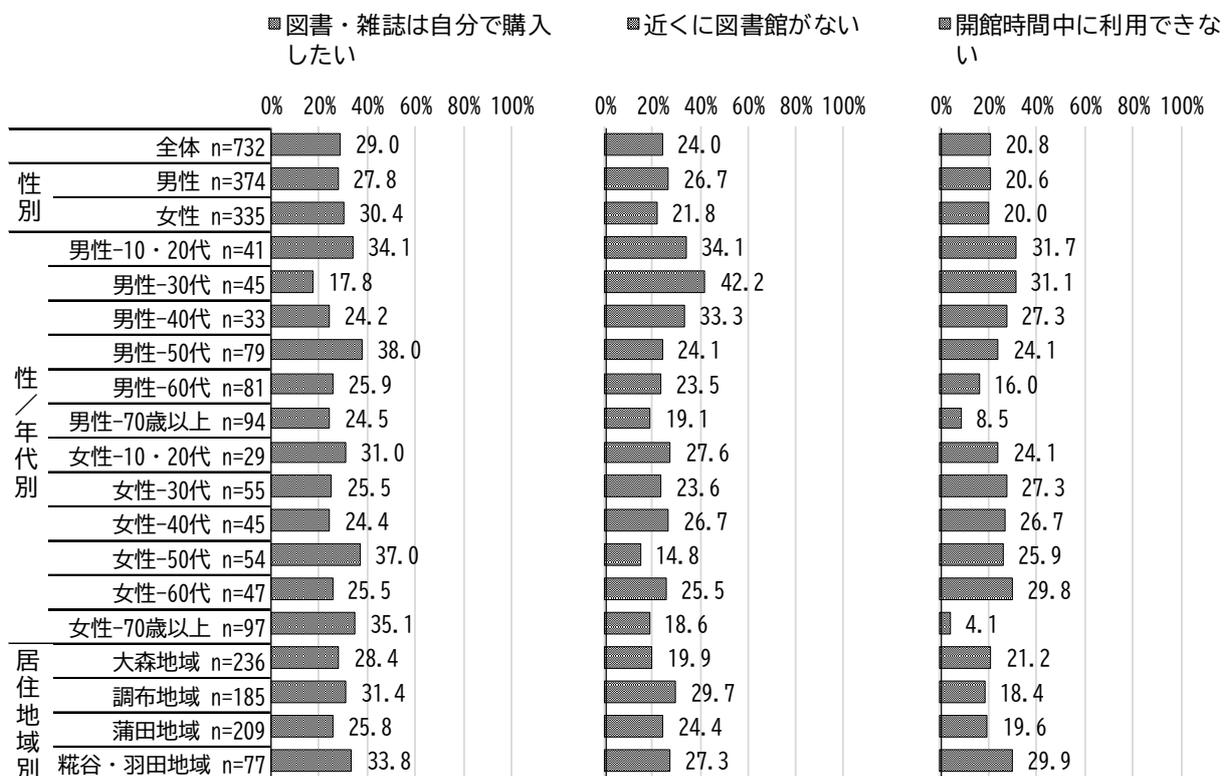
図書館を利用しない理由については、「図書・雑誌は自分で購入したい」が 29.0%で最も高く、次いで「近くに図書館がない」が 24.0%、「開館時間中に利用できない」が 20.8%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「図書・雑誌は自分で購入したい」は男性が27.8%、女性が30.4%と、女性が2.6ポイント上回っている。一方、「近くに図書館がない」は男性が26.7%、女性が21.8%と、男性が4.9ポイント上回っている。

居住地域別でみると、「近くに図書館がない」は調布地域で29.7%と高くなっている。

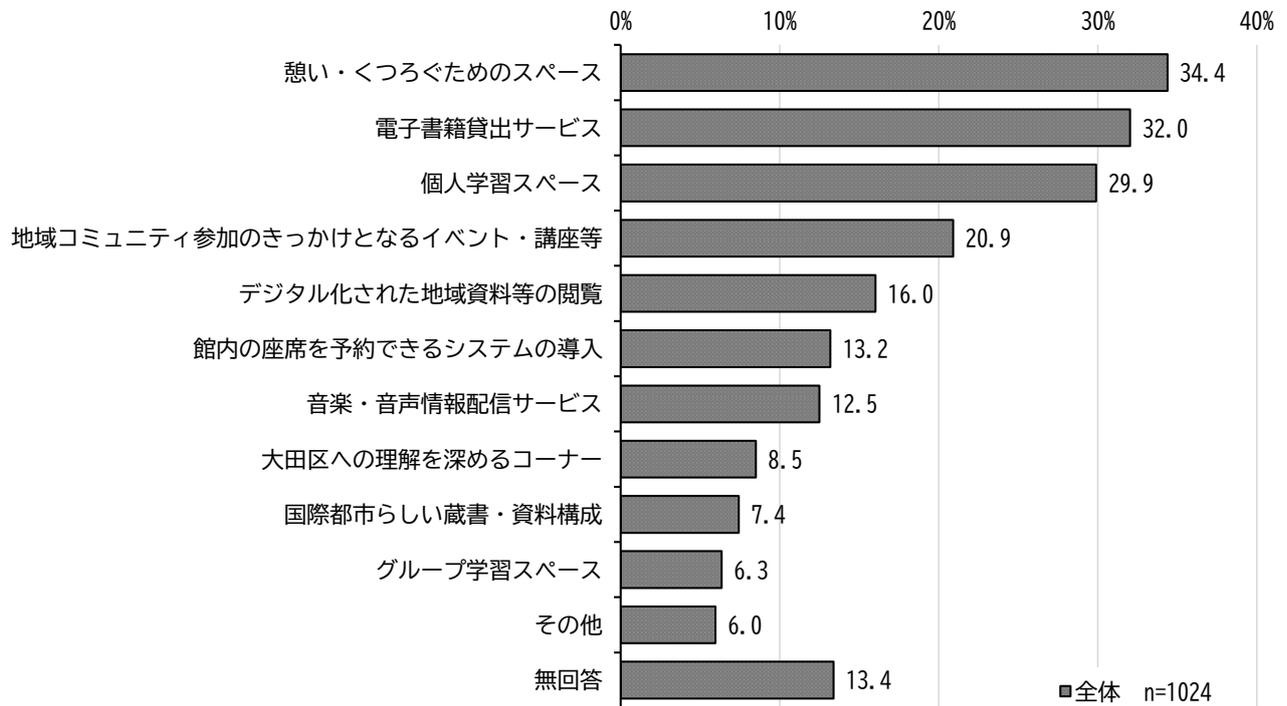


(8) 図書館に期待する機能・サービス

◇「憩い・くつろぐためのスペース」が3割半ばで最も高くなっている

問 19 これからの図書館に期待する機能・サービスについて該当するものを選択してください。(複数選択可)

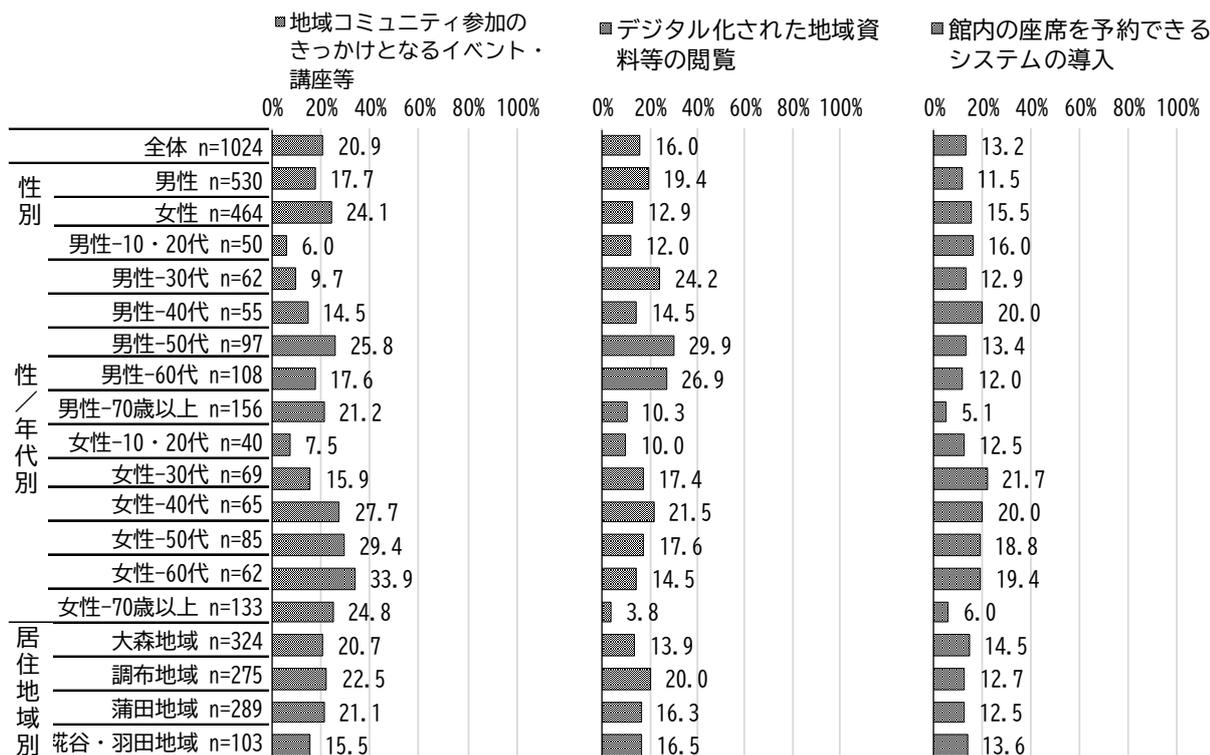
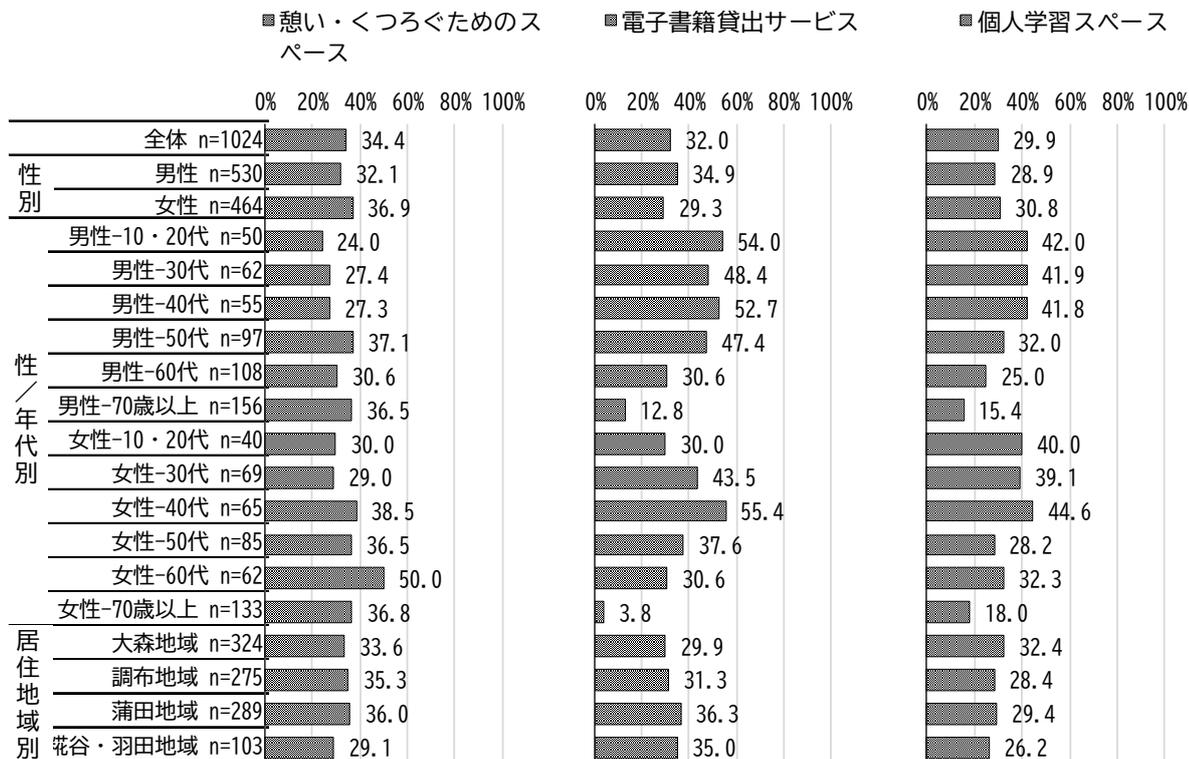
図書館に期待する機能・サービスについては、「憩い・くつろぐためのスペース」が34.4%で最も高く、次いで「電子書籍貸出サービス」が32.0%、「個人学習スペース」が29.9%、「地域コミュニティ参加のきっかけとなるイベント・講座等」が20.9%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「憩い・くつろぐためのスペース」は男性が32.1%、女性が36.9%と、女性が4.8ポイント、「電子書籍貸出サービス」は男性が34.9%、女性が29.3%と、男性が5.6ポイント、それぞれ上回っている。

性／年代別でみると、「憩い・くつろぐためのスペース」は女性60代で5割と高くなっている。「電子書籍貸出サービス」は男性10・20代、女性40代で5割半ばと高くなっている。



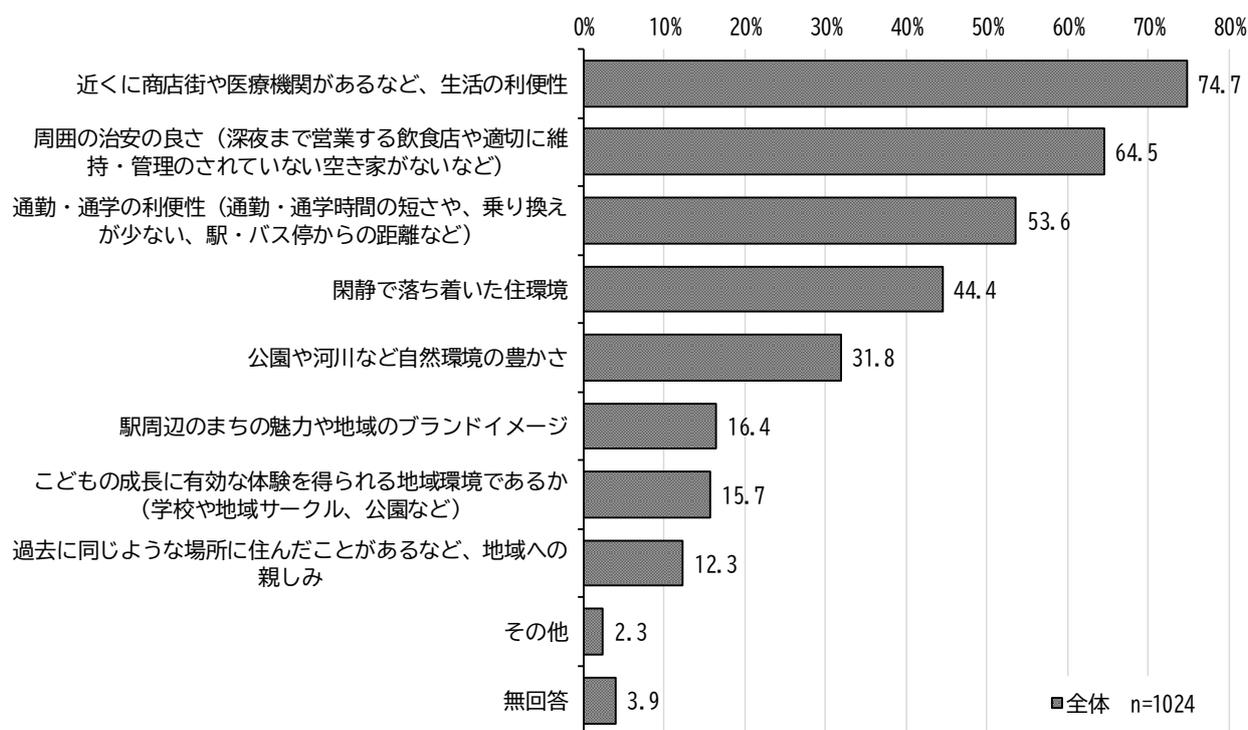
8 居住環境について

(1) 新しい住まいを探すことになった場合に最も重視するもの

◇「近くに商店街や医療機関があるなど、生活の利便性」が7割半ばで最も高くなっている

問 20 新しい住まいを探すことになった場合、最も重視するものは何ですか。
(家賃・不動産価格は除く) (複数選択可)

居住地選定に重視するものについては、「近くに商店街や医療機関があるなど、生活の利便性」が74.7%で最も高く、次いで「周囲の治安の良さ(深夜まで営業する飲食店や適切に維持・管理のされていない空き家がないなど)」が64.5%、「通勤・通学の利便性(通勤・通学時間の短さや、乗り換えが少ない、駅・バス停からの距離など)」が53.6%、「閑静で落ち着いた住環境」が44.4%となっている。

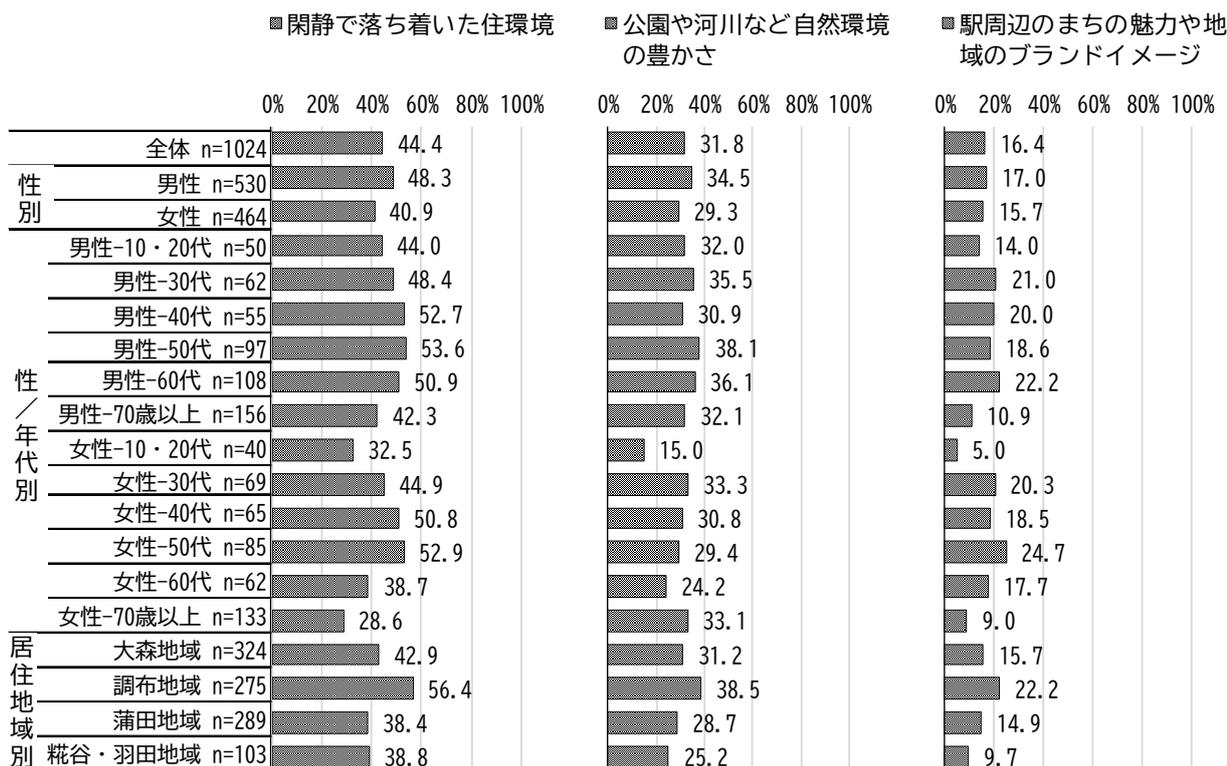
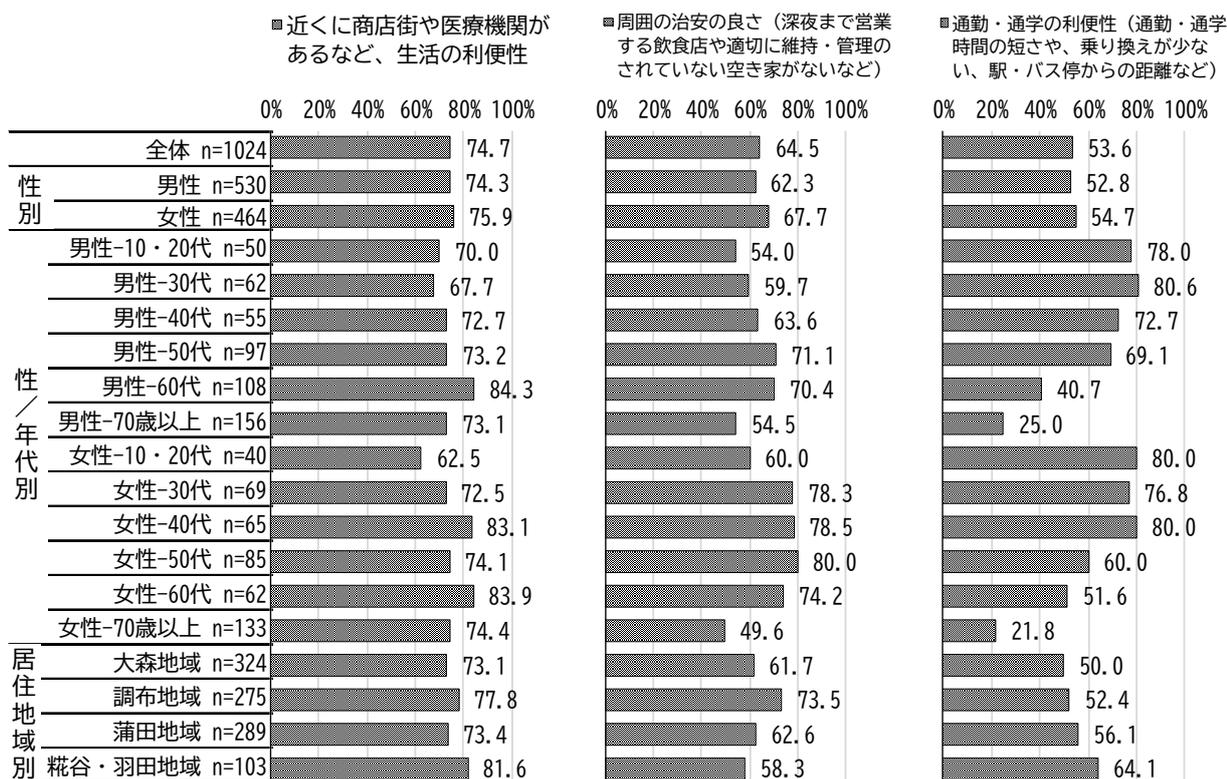


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「周囲の治安の良さ（深夜まで営業する飲食店や適切に維持・管理のされていない空き家がないなど）」は男性が62.3%、女性が67.7%で、女性が5.4ポイント上回っている。一方、「閑静で落ち着いた住環境」は男性が48.3%、女性が40.9%で、男性が7.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「近くに商店街や医療機関があるなど、生活の利便性」は男性60代、女性40代、60代で8割台と高くなっている。

居住地域別でみると、「閑静で落ち着いた住環境」は調布地域で5割半ばと高くなっている。



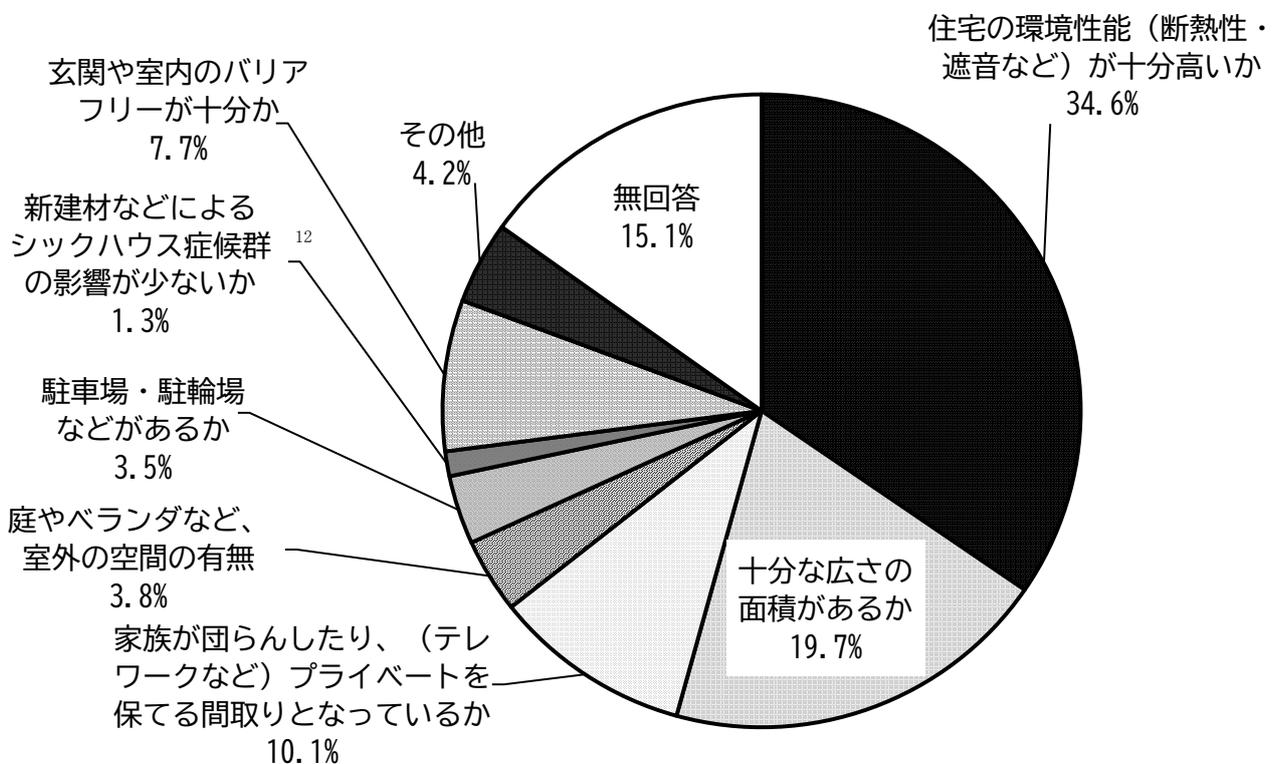
(2) 住宅を選ぶ際に一番重視するもの

◇「住宅の環境性能（断熱性・遮音など）が十分高いか」が3割半ばと最も高くなっている

問 21 お住まいになる住宅を選ぶ際に、一番重視するものは何ですか。(1つのみ)

住宅選定に重視するものについては、「住宅の環境性能(断熱性・遮音など)が十分高いか」が34.6%と最も高く、次いで「十分な広さの面積があるか」が19.7%、「家族が団らんしたり、(テレワークなど)プライベートを保てる間取りとなっているか」が10.1%となっている。

全体 n=1024



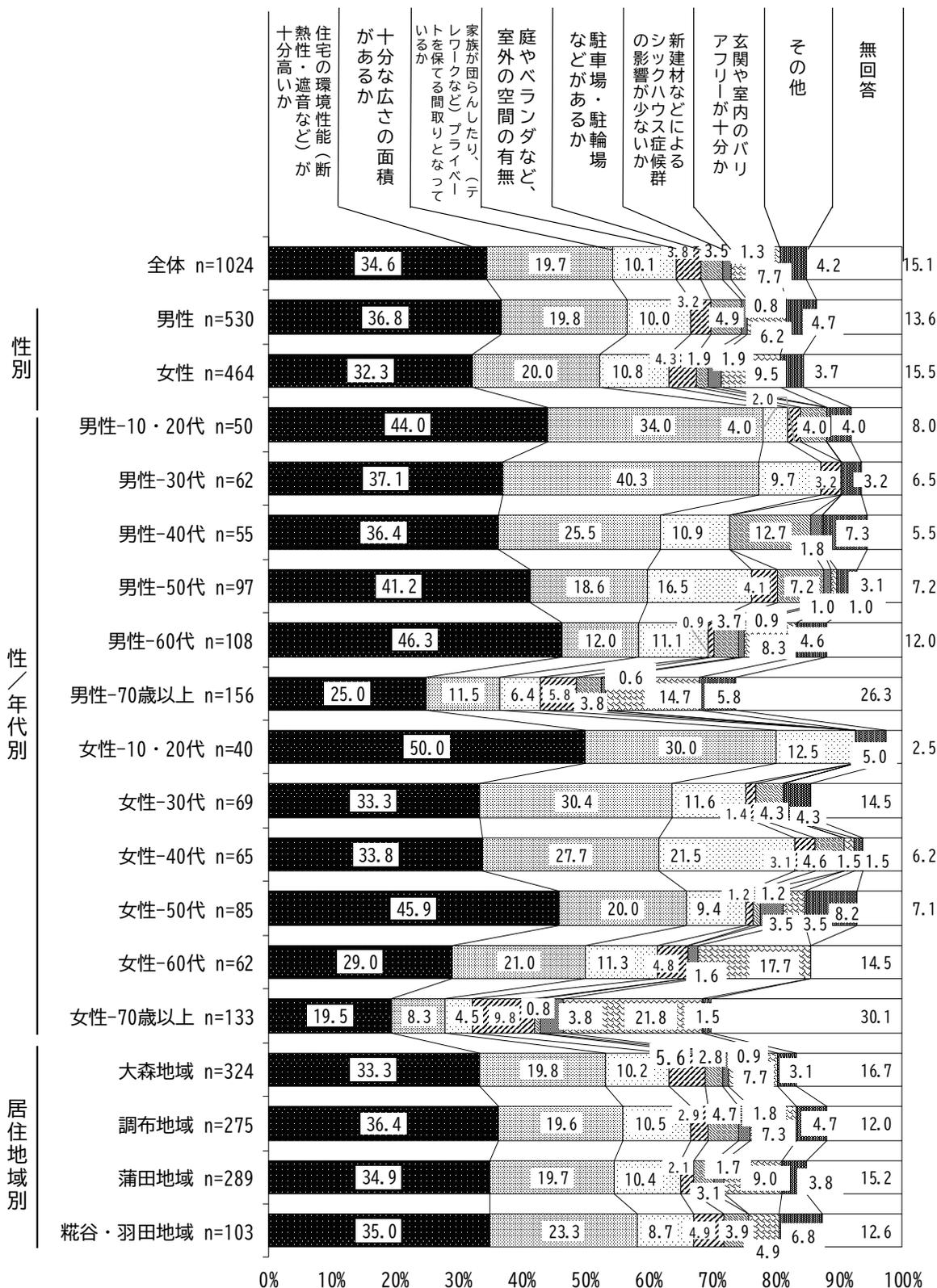
¹² 化学物質を放出する建材や内装材を使用することにより、居住者が様々な体調不良を訴える事例

■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「住宅の環境性能（断熱性・遮音など）が十分高いか」は男性が 36.8%、女性が 32.3%と、男性が 4.5 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「住宅の環境性能（断熱性・遮音など）が十分高いか」は女性 10・20 代で 5 割と最も高くなっている。一方、「十分な広さの面積があるか」は男性 30 代で約 4 割、男性 10・20 代で 3 割半ば、女性 10・20 代、30 代で約 3 割と高くなっている。

居住地域別でみると、調布地域で 36.4%と高くなっている。

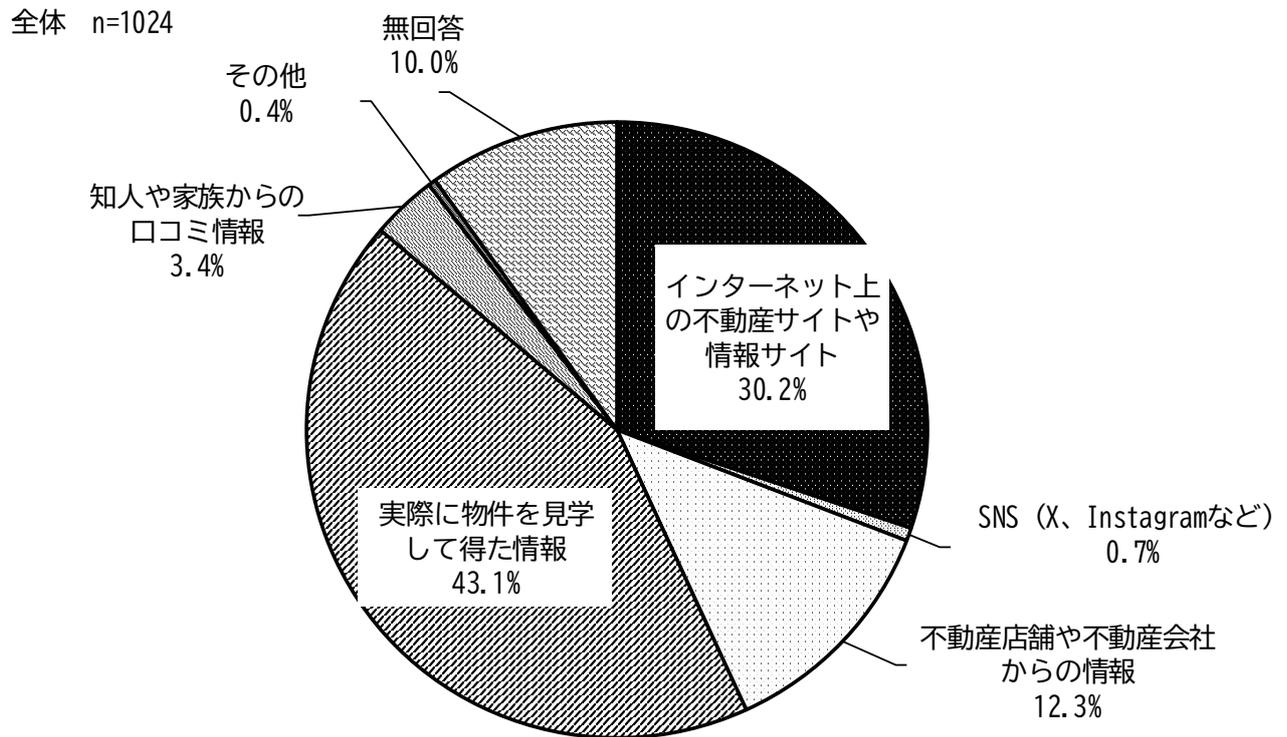


(3) 新しい住まいを探す際に重視する情報源

◇「実際に物件を見学して得た情報」が4割前半で最も高くなっている

問 22 新しい住まいを探す際、どこから得た情報を最も重視しますか。(1つのみ)

居住地選択に重視する情報については、「実際に物件を見学して得た情報」が43.1%で最も高く、次いで「インターネット上の不動産サイトや情報サイト」が30.2%、「不動産店舗や不動産会社からの情報」が12.3%となっている。

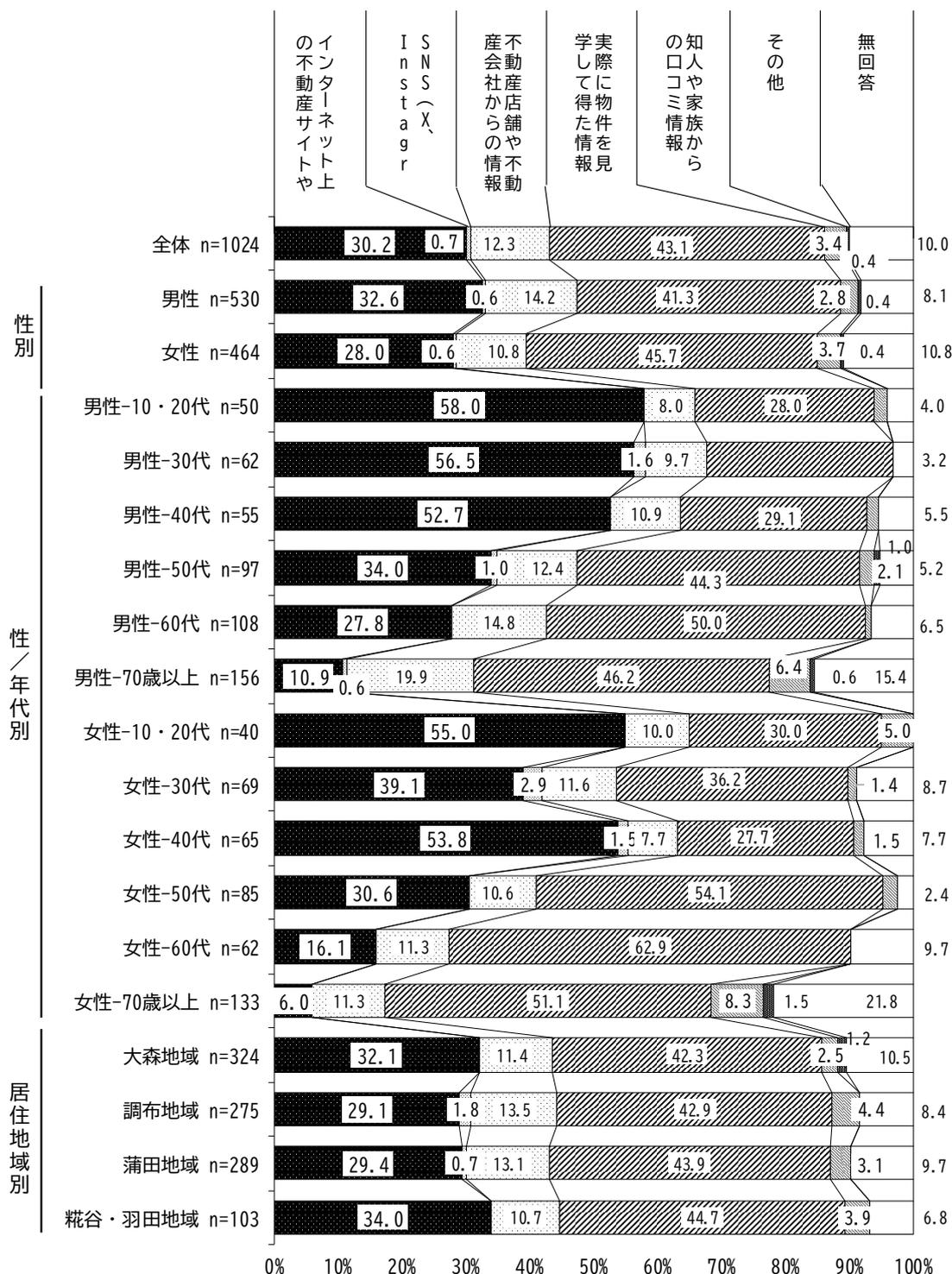


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「実際に物件を見学して得た情報」は男性が41.3%、女性が45.7%と、女性が4.4ポイント上回っている。一方、「インターネット上の不動産サイトや情報サイト」は男性が32.6%、女性が28.0%と、男性が4.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「実際に物件を見学して得た情報」は女性60代で6割前半と最も高く、次いで男性60代、女性50代、70代で5割台と高くなっている。一方、「インターネット上の不動産サイトや情報サイト」は男性10・20代で5割後半、男性30代、女性10・20代で5割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「実際に物件を見学して得た情報」は糞谷・羽田地域で44.7%と高くなっている。



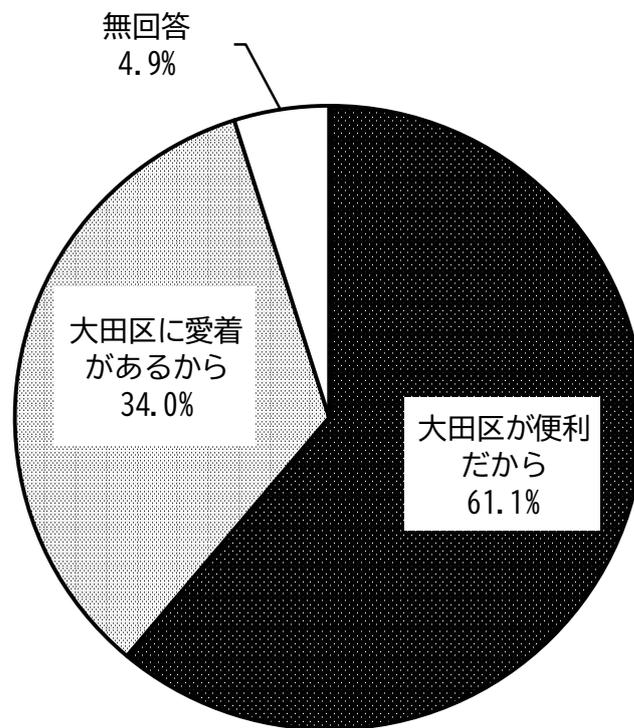
(4) 大田区に住む理由

◇「大田区が便利だから」が6割前半となっている

問 23 大田区に住む理由を以下の選択肢から選ぶとしたら、どちらに当てはまりますか。
(1つのみ)

大田区に住む理由については、「大田区が便利だから」は61.1%、「大田区に愛着があるから」が34.0%と、「大田区が便利だから」が27.1ポイント上回っている。

全体 n=1024

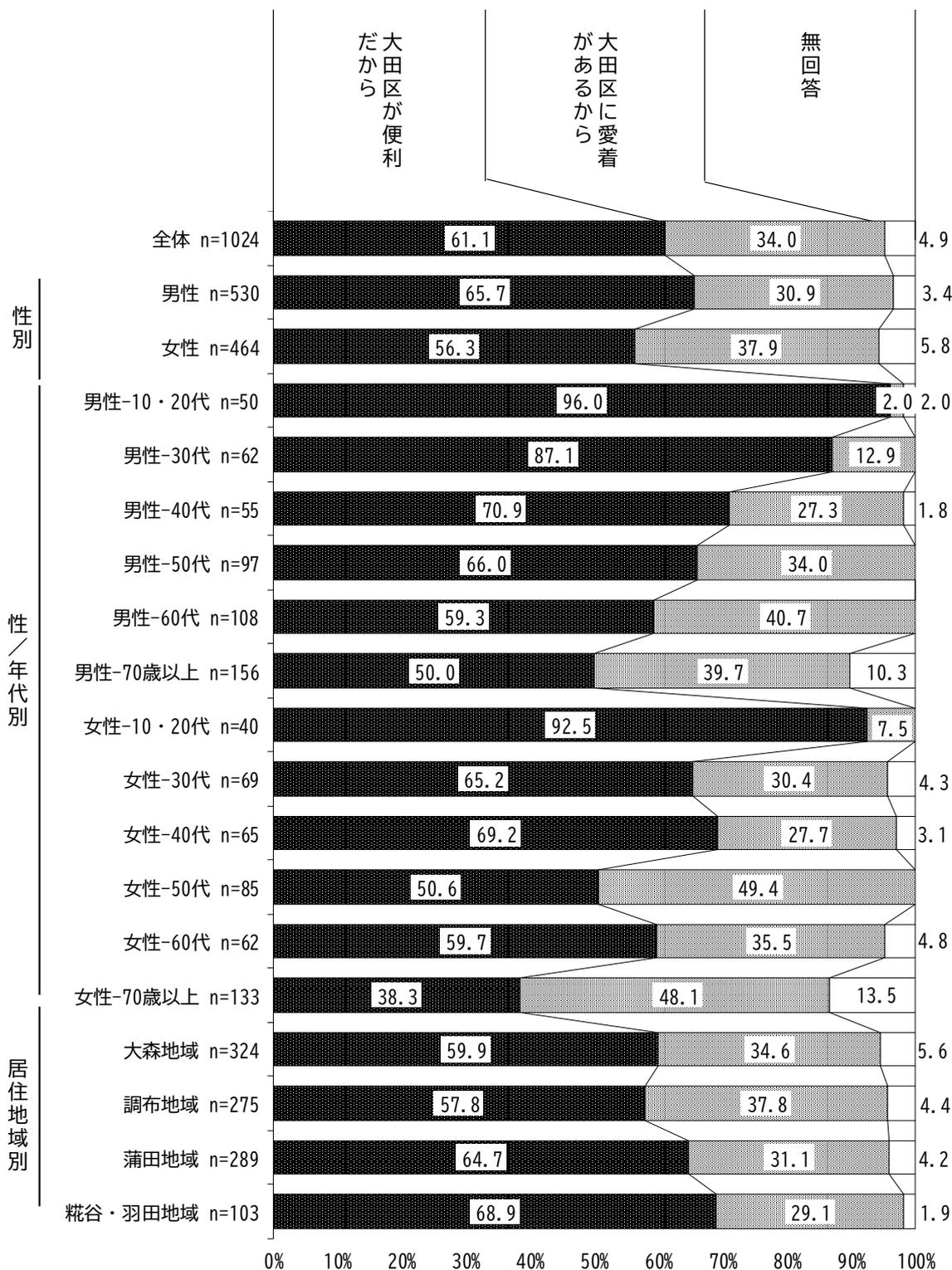


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「大田区が便利だから」は男性が 65.7%、女性が 56.3%と、男性が 9.4 ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「大田区が便利だから」は男性 10・20 代で 9 割半ば、女性 10・20 代で 9 割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「大田区が便利だから」は糀谷・羽田地域で 6 割後半と高くなっている。



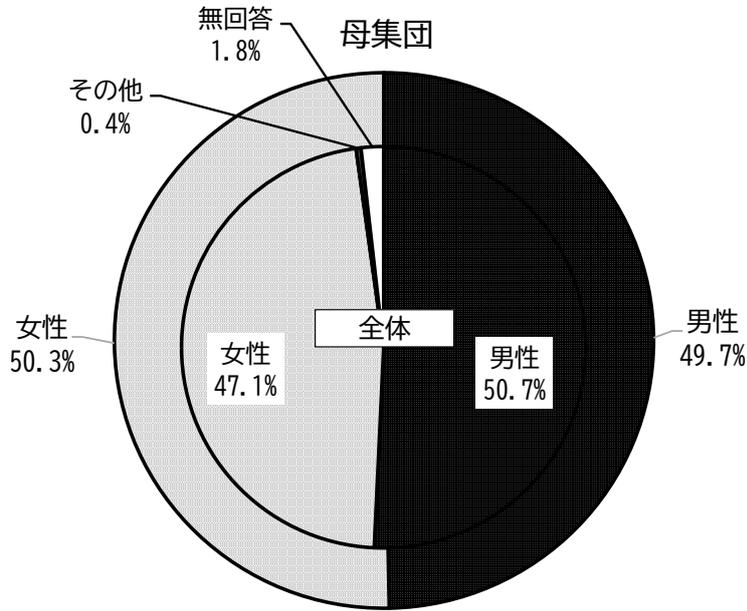
IV 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査③

1 回答者の属性について

(1) 性別

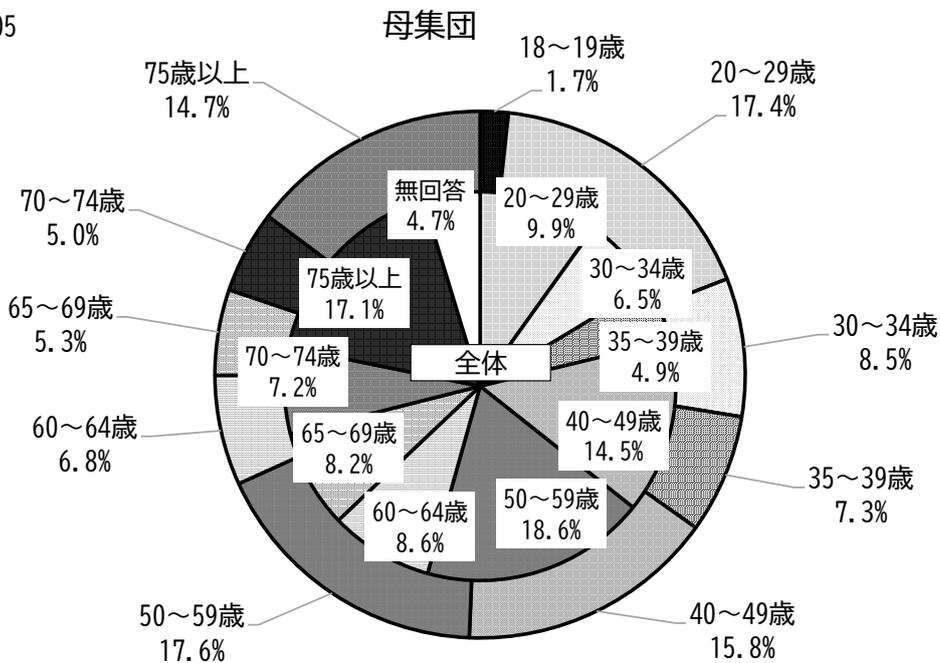
全体：大田区の18歳以上の人口（n=655,759）※令和8年1月1日

回答者：有効回収数（n=1,005）



(2) 年齢

全体 n=1005

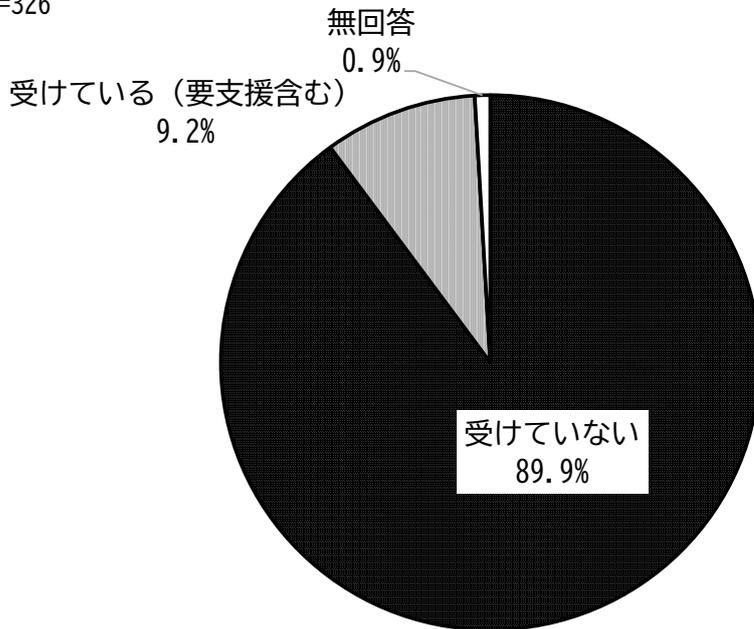


【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和8年1月1日現在版

(3) 要介護認定の状況

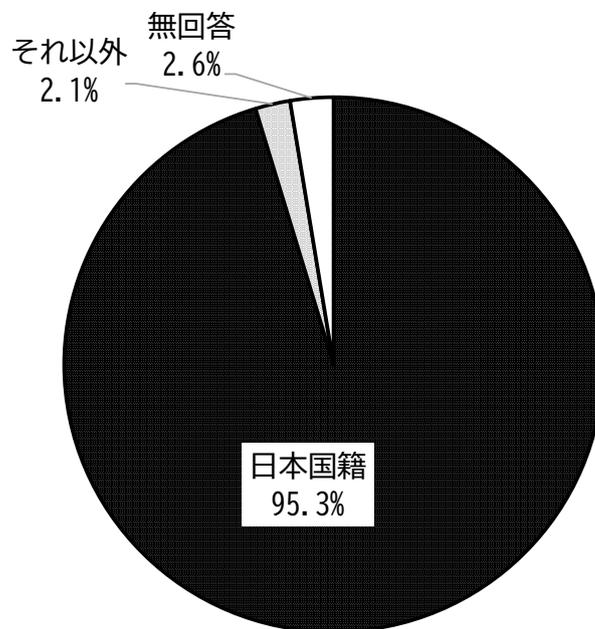
【65歳以上の方】

全体 n=326



(4) 国籍

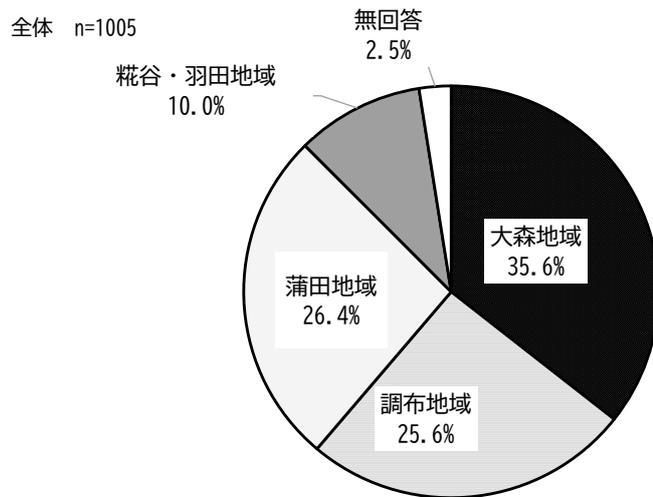
全体 n=1005



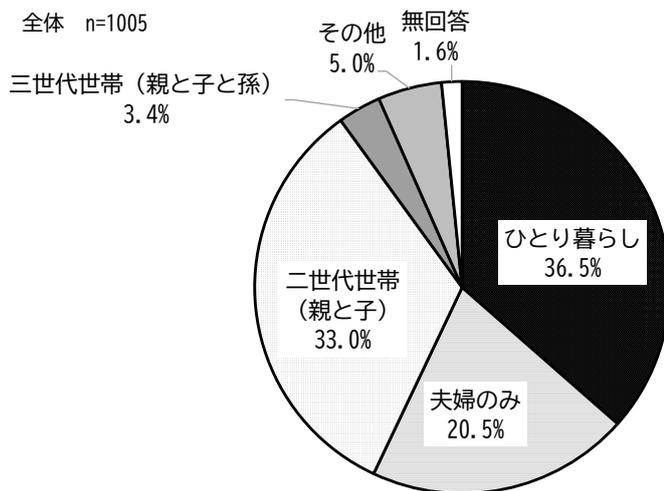
■日本国籍以外

国名	中国	韓国	台湾	フィリピン	ベトナム	ネパール	インド	無回答
人数	4	2	3	1	5	1	2	3

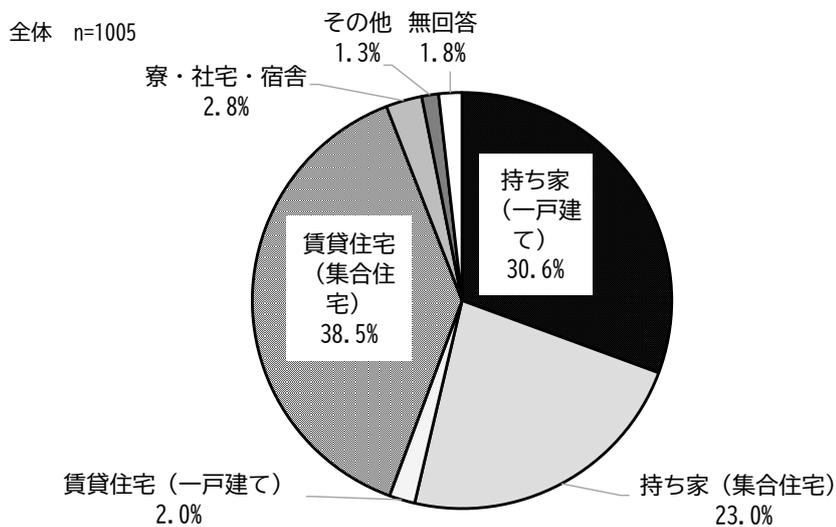
(5) 居住地域



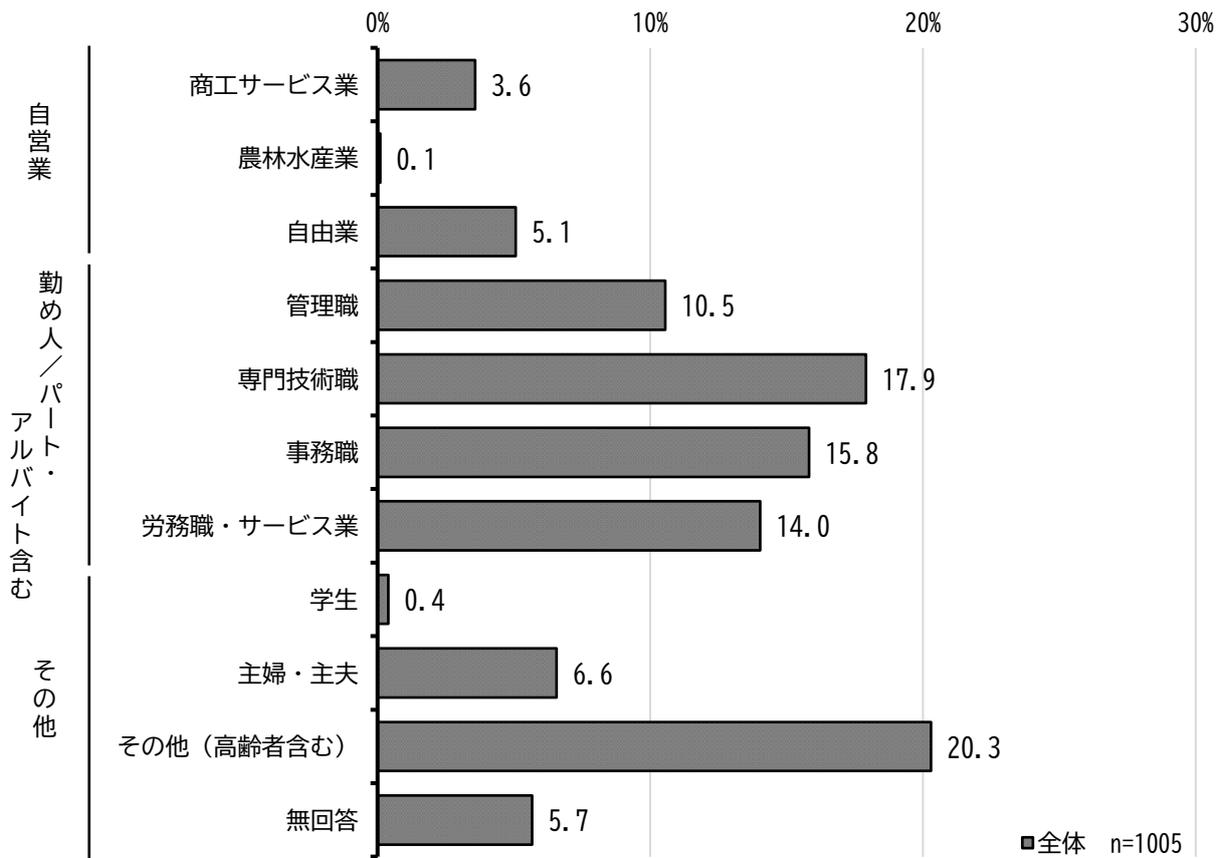
(6) 家族構成



(7) 住まいの種類

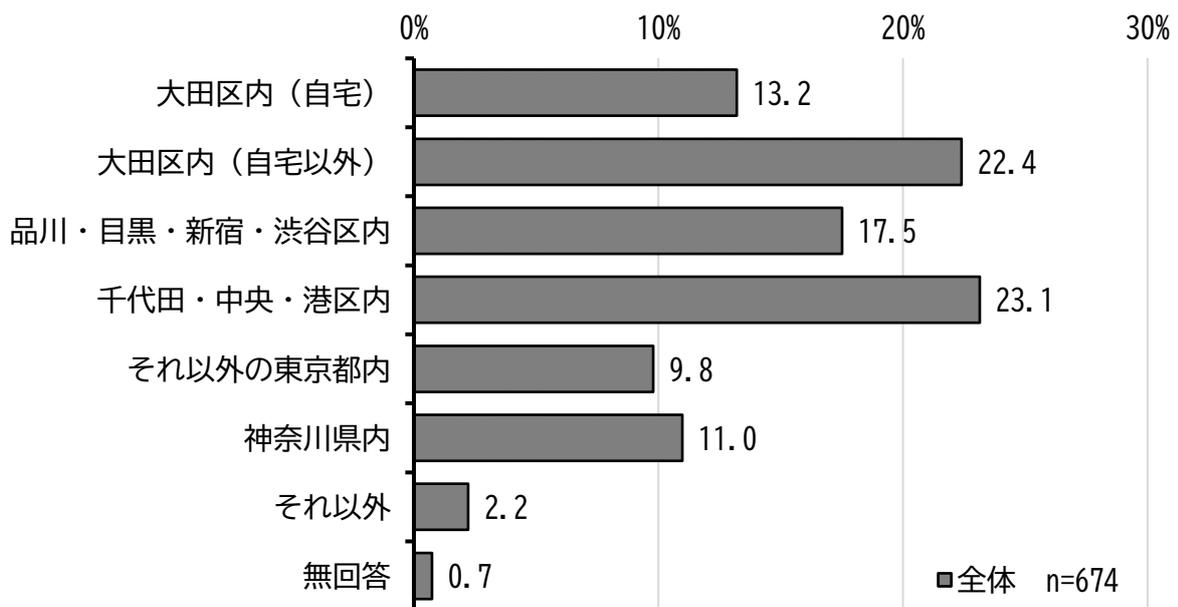


(8) 職業

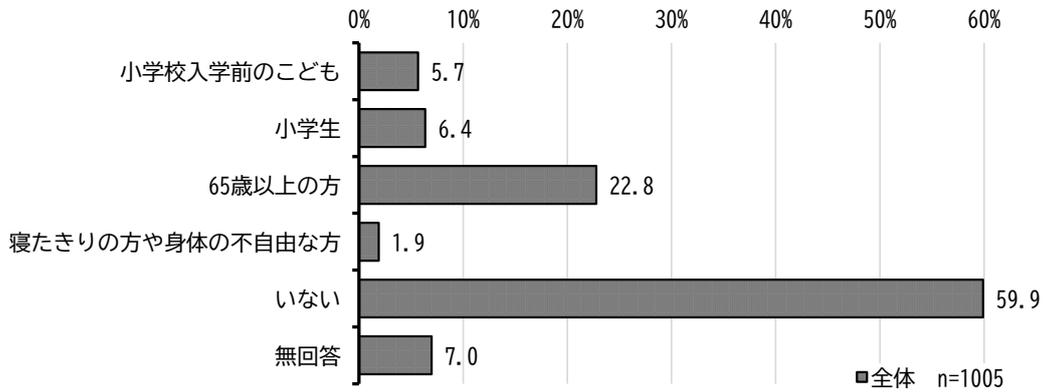


(9) 主な通勤・通学先

【(8) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】



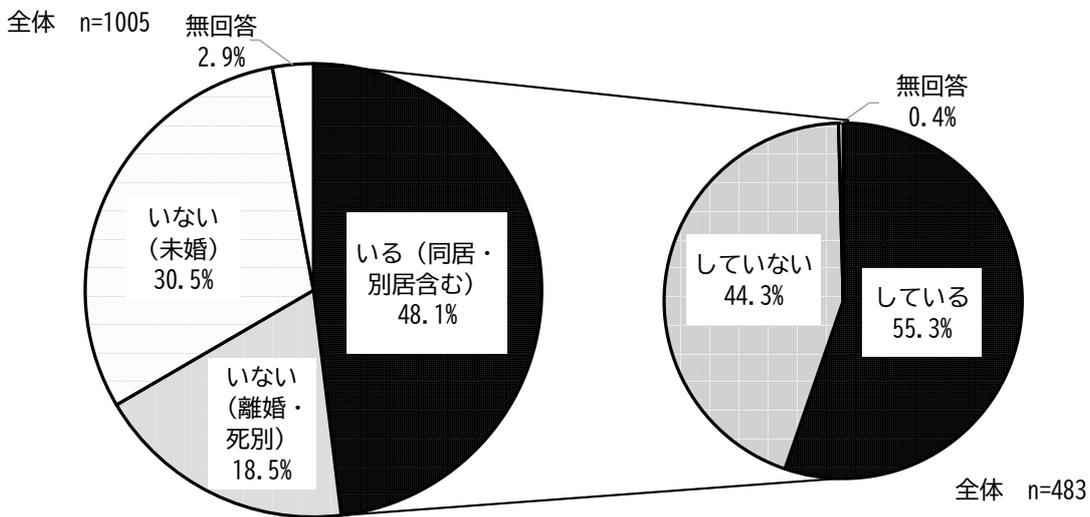
(10) 同居家族



(11) 配偶者の有無

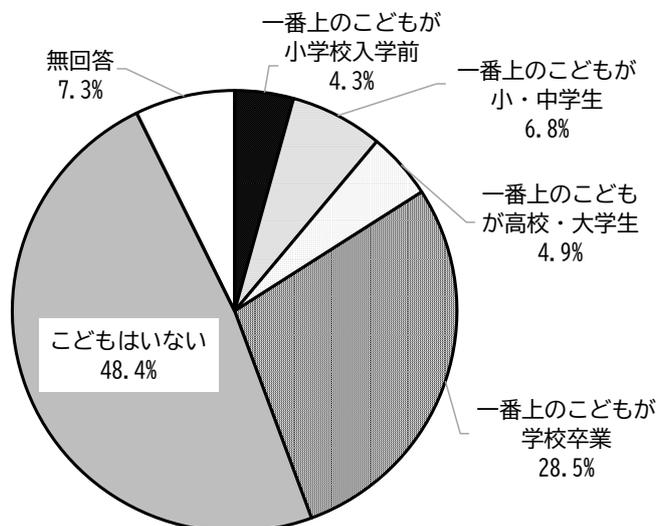
(12) 共働きの状況

【(11) 配偶者の有無で「いる（同居・別居含む）」と回答した方】

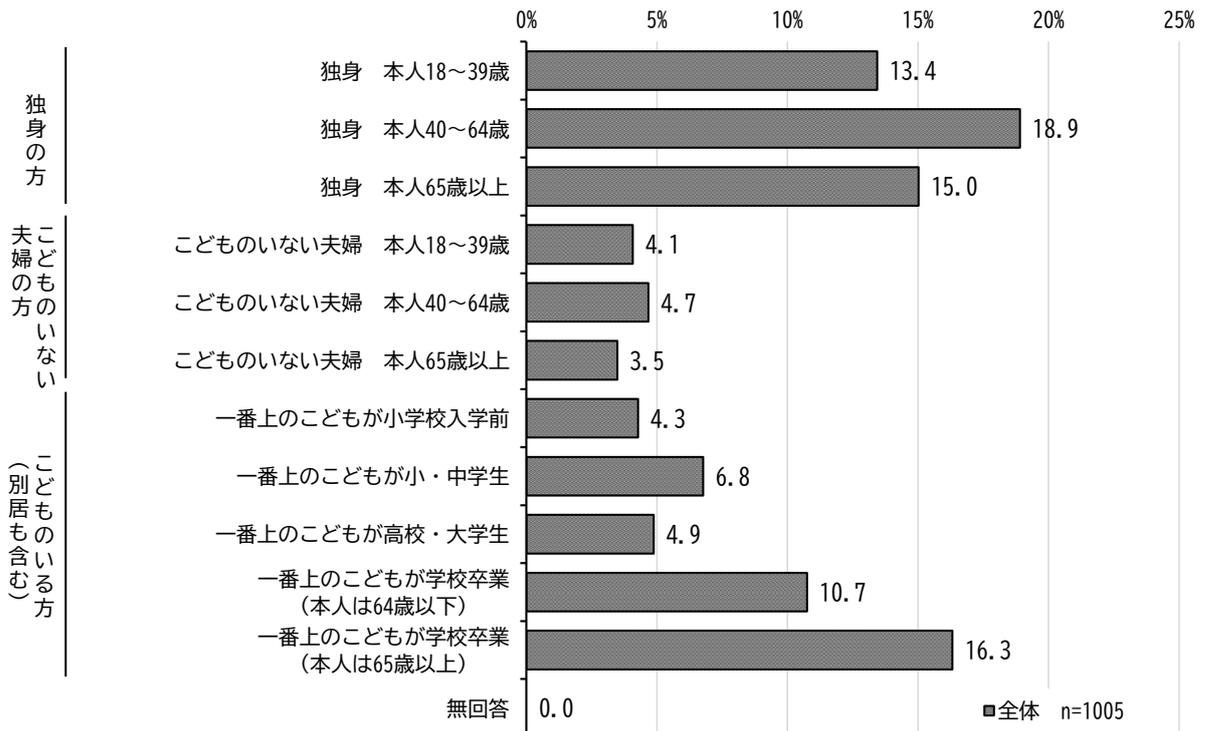


(13) こどもの有無

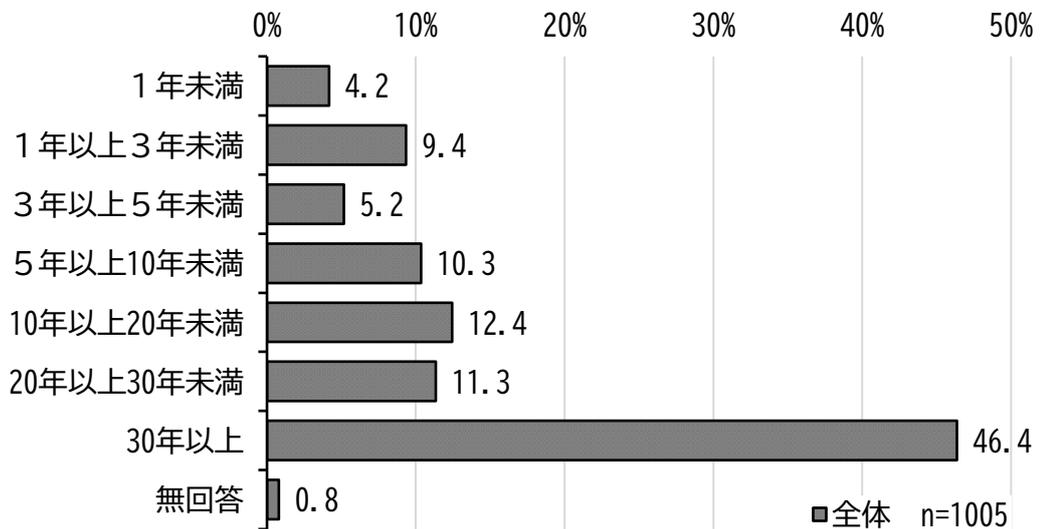
全体 n=1005



(14) ご自身のステージ



(15) 大田区にお住まいの期間



2 SDGsについて

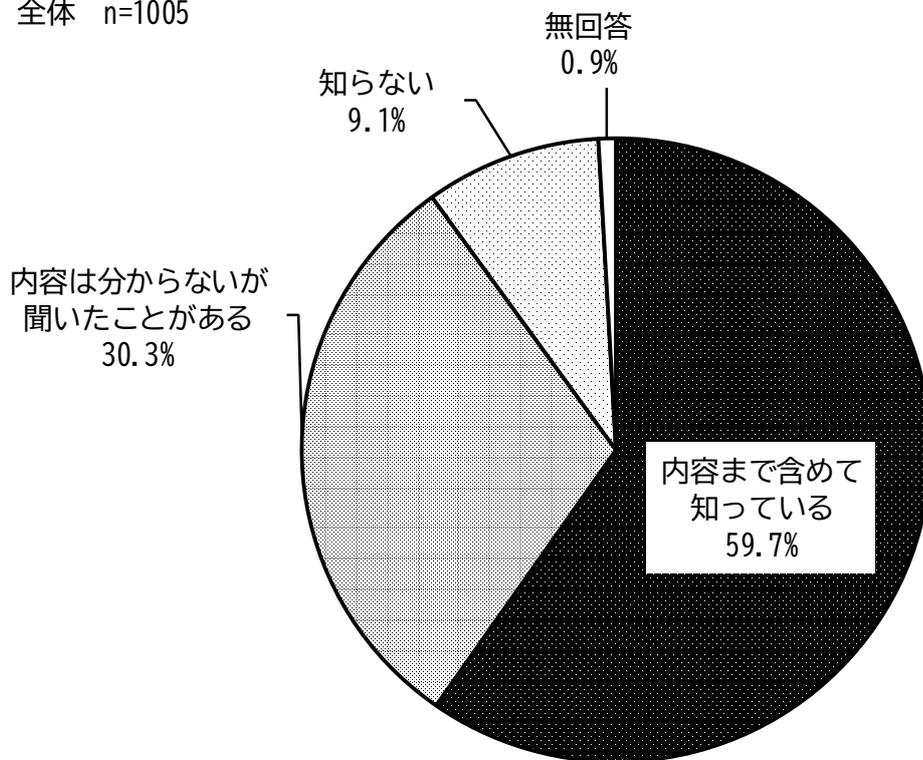
(1) SDGsの認知度

◇「内容まで含めて知っている」が約6割と最も高くなっている

問1 SDGs¹³について知っているかご回答ください。(1つのみ)

SDGsの認知度については、「内容まで含めて知っている」が59.7%で最も高く、次いで「内容は分からないが聞いたことがある」が30.3%、「知らない」が9.1%となっている。

全体 n=1005



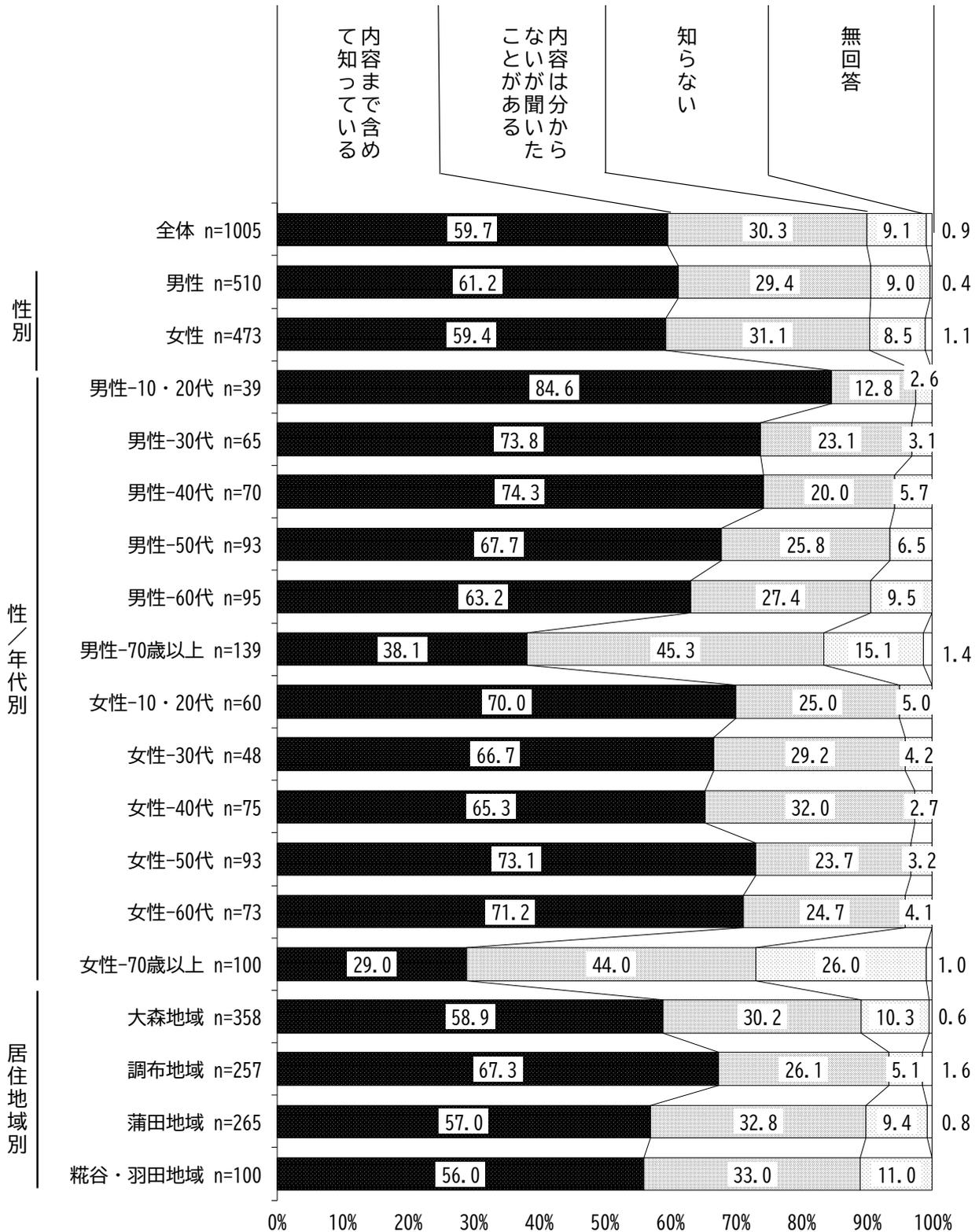
¹³ 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」。先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標として、貧困、飢餓、環境問題、経済成長やジェンダーに至る広範な課題を網羅しており、目標達成のための17のゴールとその課題ごとに設定された169のターゲット (達成基準) から構成

■性別・性／年代別・居住地別

性別で見ると、「内容まで含めて知っている」は男性が61.2%、女性が59.4%と男性が1.8ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「内容まで含めて知っている」は男性10・20代で8割半ば、男性30代、40代、女性10・20代、50代、60代で7割台と高くなっている。

居住地別で見ると、「内容まで含めて知っている」は調布地域で6割後半となっている。



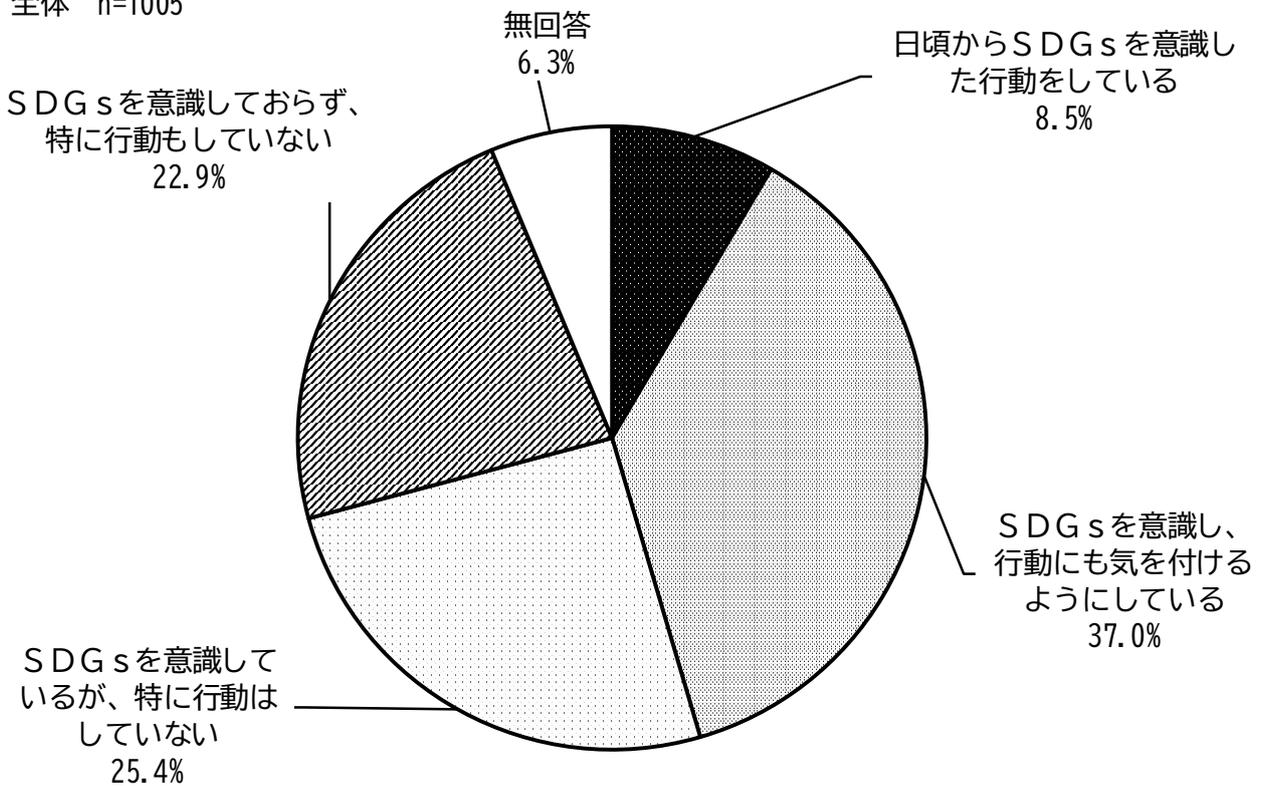
(2) SDGsに関する意識と行動

◇「日頃からSDGsを意識した行動をしている」は1割未満となっている

問2 SDGsに関する意識と行動についてご回答ください。(1つのみ)

SDGsに関する意識と行動については、「SDGsを意識し、行動にも気を付けるようにしている」が37.0%と最も高く、次いで「SDGsを意識しているが、特に行動はしていない」が25.4%、「SDGsを意識しておらず、特に行動もしていない」が22.9%となっている。
なお、「日頃からSDGsを意識した行動をしている」は8.5%となっている。

全体 n=1005

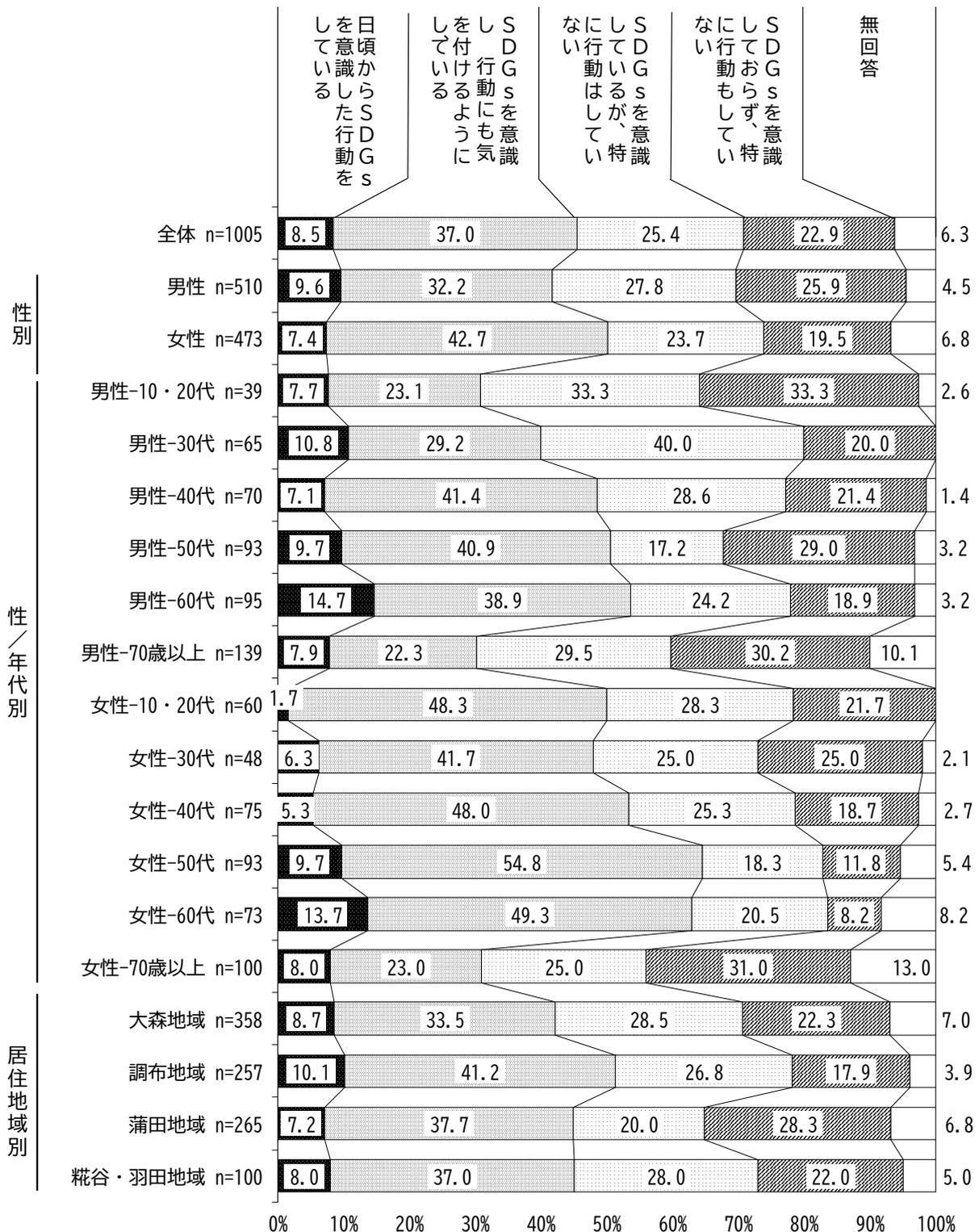


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「日頃からSDGsを意識した行動をしている」は男性 9.6%、女性 7.4%と男性が 2.2 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「SDGsを意識しておらず、特に行動もしていない」は男性 10・20代、70歳以上、女性 70歳以上で3割台と高くなっている。

居住地域別でみると、「日頃からSDGsを意識した行動をしている」は調布地域で約1割となっている。



(3) SDGsに関する行動をしていない理由

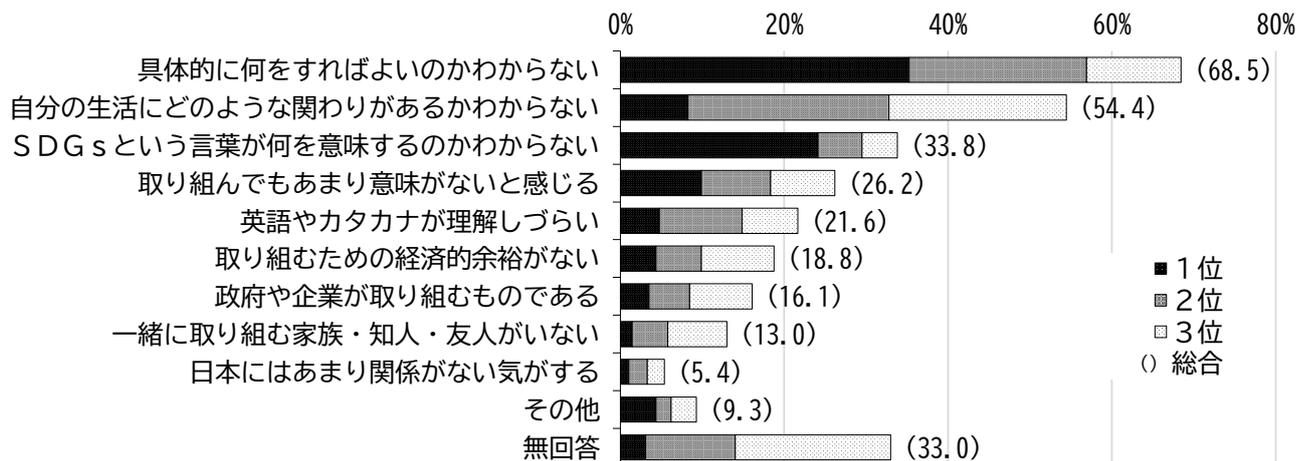
◇1位～3位の総合では、「具体的に何をすればよいかわからない」が6割後半で最も高くなっている

【問2 で「3 SDGsを意識しているが、特に行動はしていない」「4 SDGsを意識しておらず、特に行動もしていない」と回答した方に伺います。】

問2-1 SDGsに関する行動をしていない理由についてご回答ください。
(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

SDGsに関する行動をしていない理由についての1位の理由は「具体的に何をすればよいかわからない」が35.3%で最も高くなっている。

1位～3位の総合でみると、「具体的に何をすればよいかわからない」が68.5%で最も高く、次いで、「自分の生活にどのような関わりがあるかわからない」が54.4%、「SDGsという言葉が何を意味するのかかわからない」が33.8%となっている。



■SDGsに関する行動をしていない理由 表 (総合、1位～3位)

	い 具 自 何 S 味 取 し 英 余 取 も 政 知 一 不 日 其	の 体 分 な 何 を D が り づ 語 裕 り 府 人 緒 気 本 他	の 的 自 な 意 G 組 が り 語 や 組 む が 取 一 取 不 本 其	か わ 自 な 味 s と 味 組 む 組 む 取 む 取 む 取 む 取 む 取 む 取 む 取 む 取 む 取 む	わ に 分 の 意 s と 組 む 組 む 組 む 組 む 組 む 組 む 組 む 組 む 組 む 組 む	か 何 の 生 味 s と 組 む 組 む 組 む 組 む 組 む 組 む 組 む 組 む 組 む 組 む	を す る 活 に する いる	す ば どの かの	ば かの	よ かの	(%)	無 回 答
n=485	総合	68.5	54.4	33.8	26.2	21.6	18.8	16.1	13.0	5.4	9.3	33.0
	1位	35.3	8.2	24.1	9.9	4.7	4.3	3.5	1.4	1.0	4.3	3.1
	2位	21.6	24.5	5.4	8.5	10.1	5.6	4.9	4.3	2.3	1.9	10.9
	3位	11.5	21.6	4.3	7.8	6.8	8.9	7.6	7.2	2.1	3.1	19.0

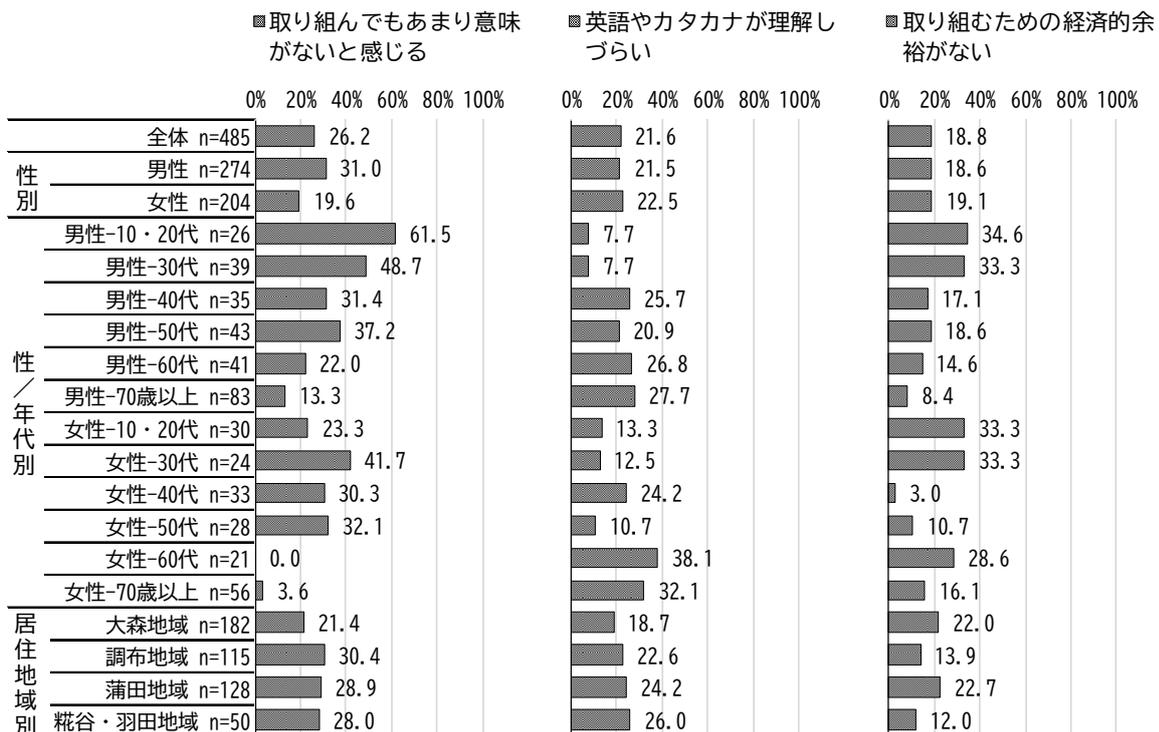
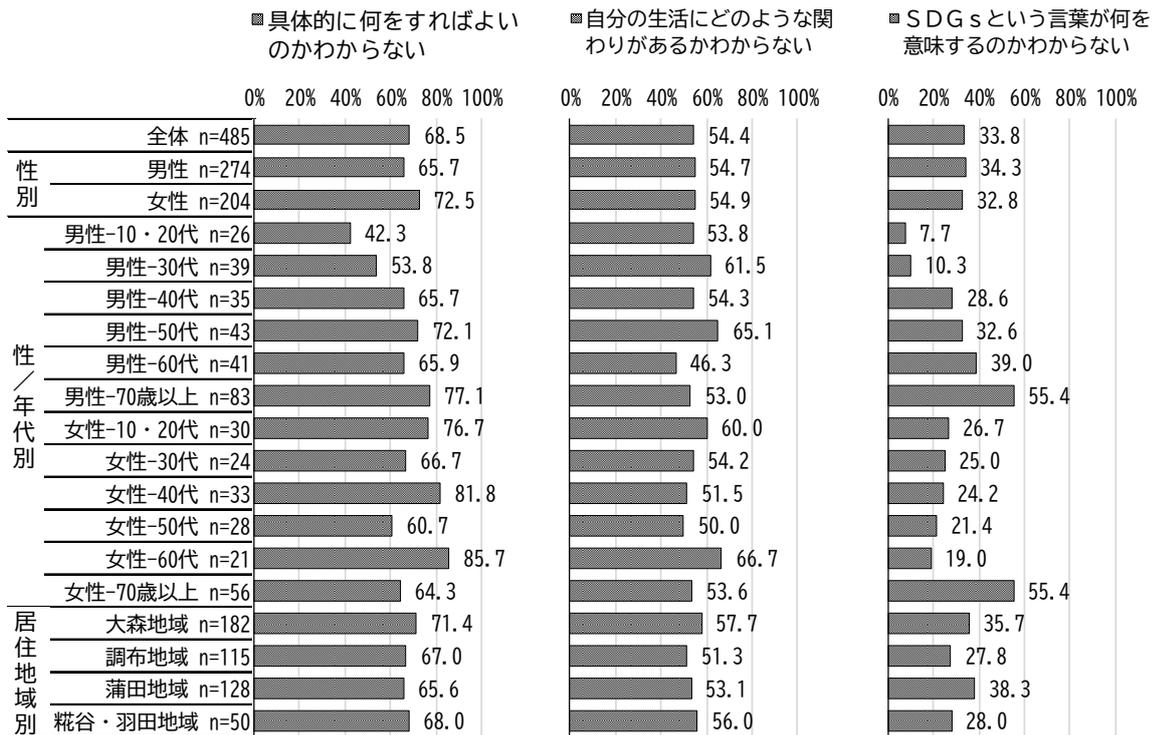
1位 2位 3位 各順位における上位3項目に色付け

■性別・性／年代別・居住地域別 1位～3位総合（上位6項目）

性別でみると、「具体的に何をすればよいかわからない」は男性が65.7%、女性が72.5%と、女性が6.8ポイント、「取り組んでもあまり意味がないと感じる」は男性が31.0%、女性が19.6%と、男性が11.4ポイント、それぞれ上回っている。

性／年代別でみると、「SDGsという言葉が何を意味するかわからない」は男性、女性ともに70歳以上で5割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「具体的に何をすればよいかわからない」は大森地域で7割前半と高くなっている。

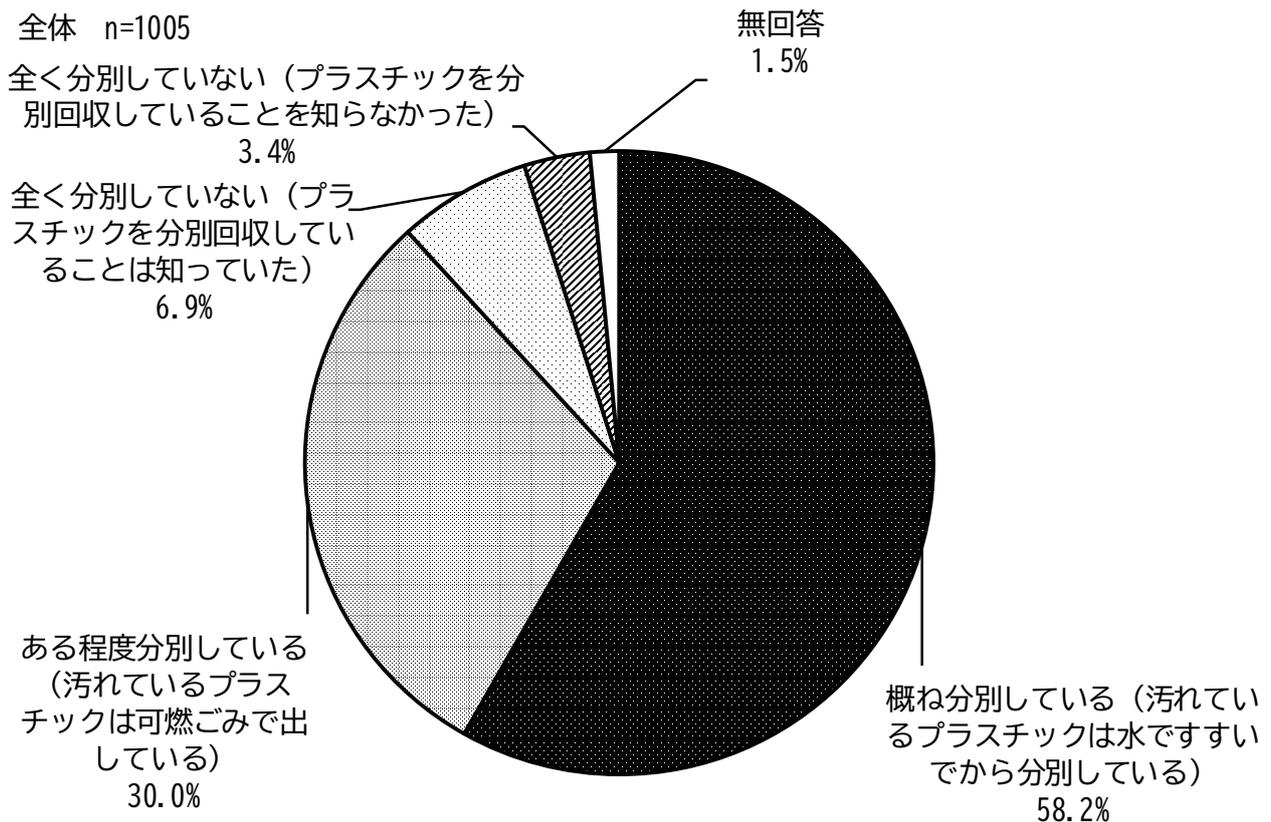


(4) プラスチックの分別

◇《分別している》(「概ね分別している(汚れているプラスチックは水ですすいでから分別している)」「ある程度分別している(汚れているプラスチックは可燃ごみで出している)」の合計値)は8割後半となっている

問3 令和7年4月から区内全域でプラスチックの分別回収がはじまりました。日常生活の中で、プラスチックを分別していますか。(1つのみ)

プラスチックの分別については、「概ね分別している(汚れているプラスチックは水ですすいでから分別している)」、「ある程度分別している(汚れているプラスチックは可燃ごみで出している)」の合計値《分別している》が88.3%となっている。一方、「全く分別していない(プラスチックを分別回収していることは知っていた)」、「全く分別していない(プラスチックを分別回収していることを知らなかった)」の合計値《分別していない》が10.2%と、《分別している》が78.1ポイント上回っている。

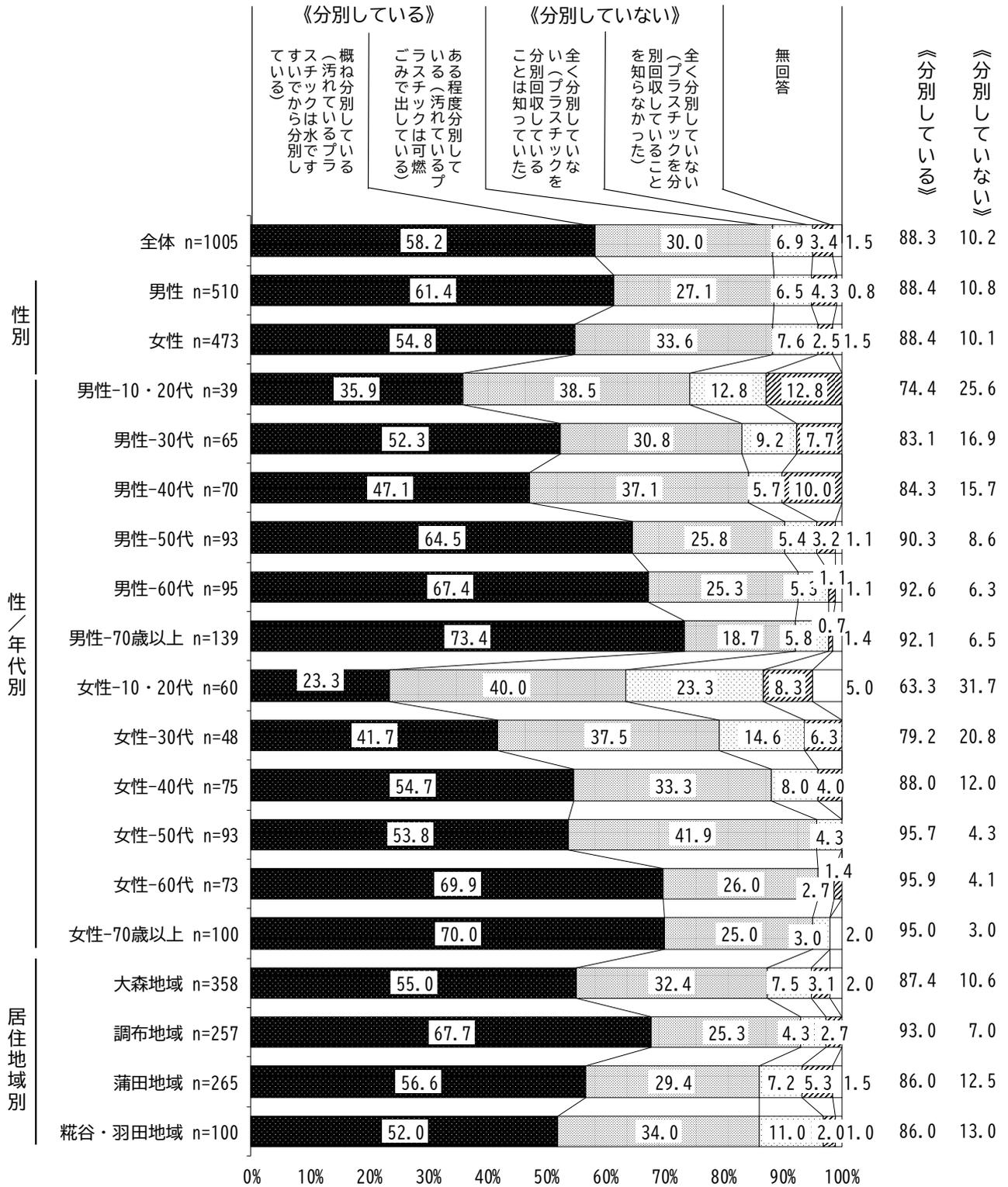


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《分別している》に差はみられない。

性／年代別でみると、《分別している》は年代が上がるにつれて男性、女性ともに高くなる傾向となっており、女性50代、60代、70歳以上で9割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《分別している》は調布地域で9割前半と高くなっている。

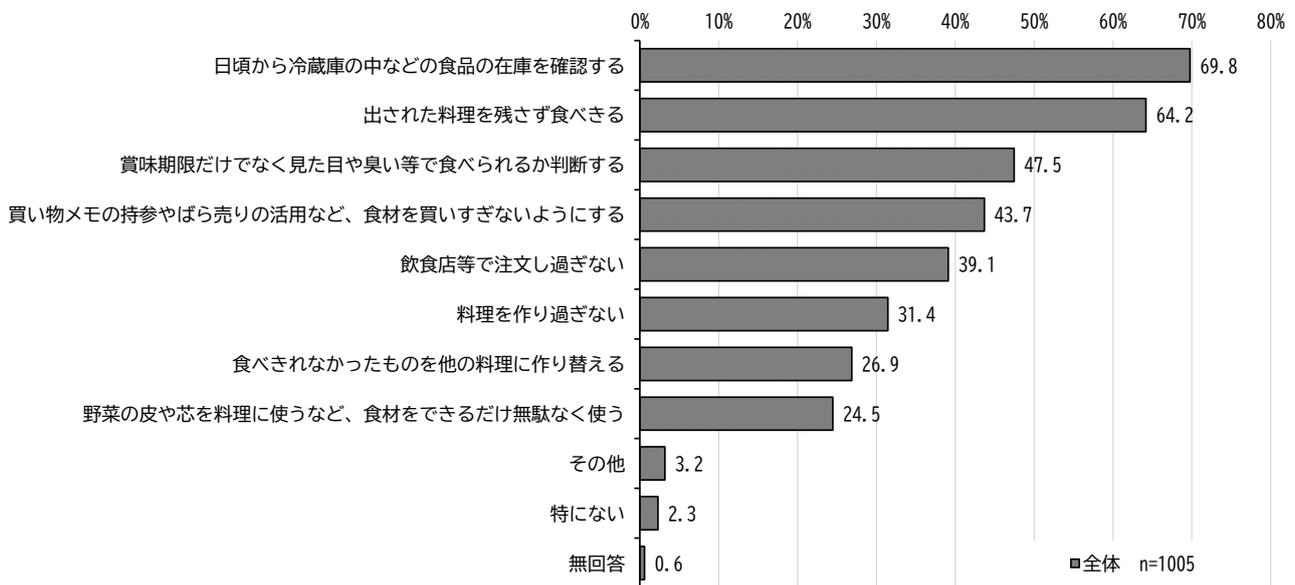


(5) 「食品ロス」を減らすための取り組み

◇「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が約7割で最も高くなっている

問4 生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。
(複数選択可)

「食品ロス」を減らすための取り組みについては、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が69.8%で最も高く、次いで「出された料理を残さず食べきる」が64.2%、「賞味期限だけでなく見た目や臭い等で食べられるか判断する」が47.5%となっている。

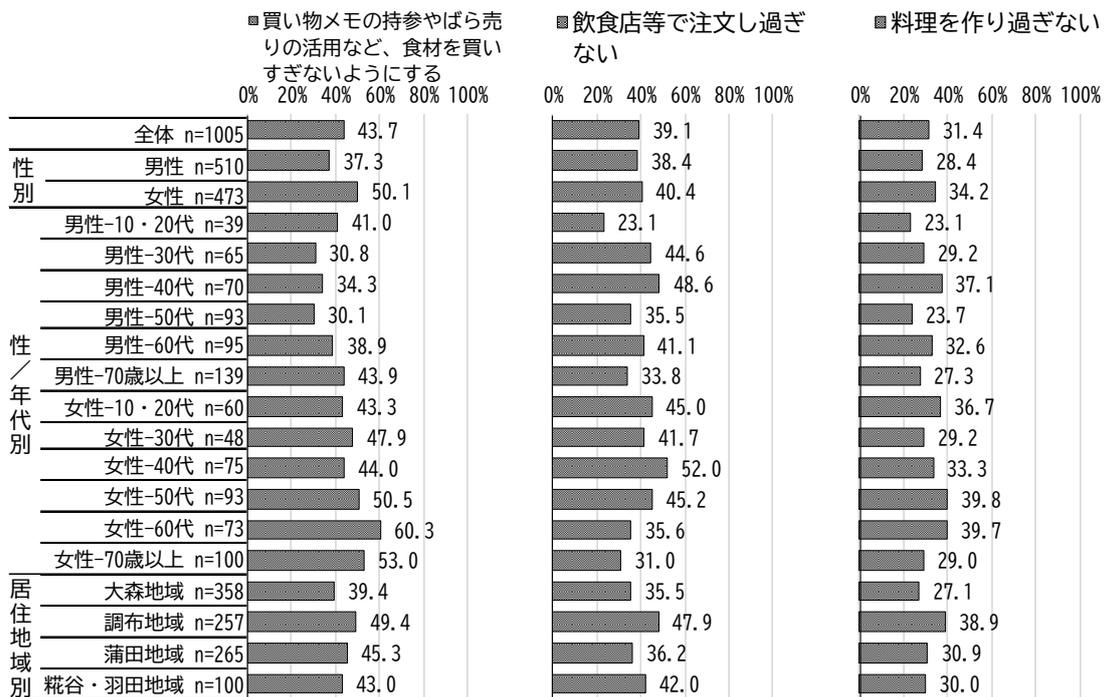
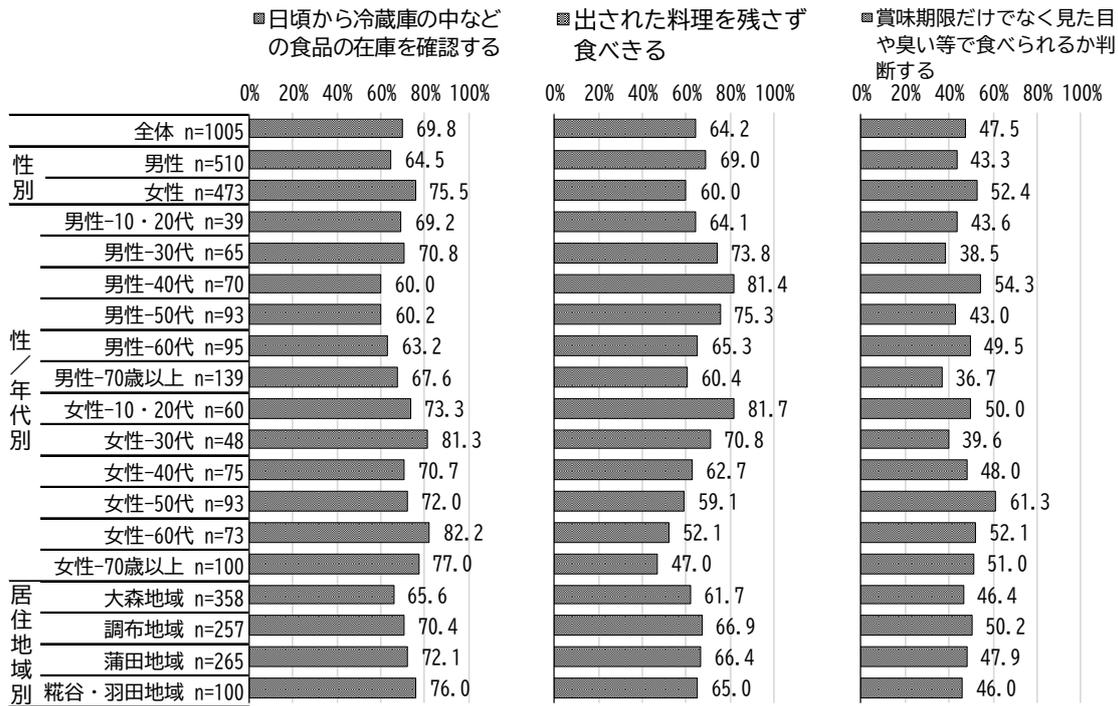


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」は男性が64.5%、女性が75.5%と、女性が11.0ポイント、「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」は男性が37.3%、女性が50.1%と、女性が12.8ポイント、それぞれ上回っている。「出された料理を残さず食べきる」は男性が69.0%、女性が60.0%と、男性が9.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」は女性30代、60代で8割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」は糀谷・羽田地域で76.0%と高くなっている。

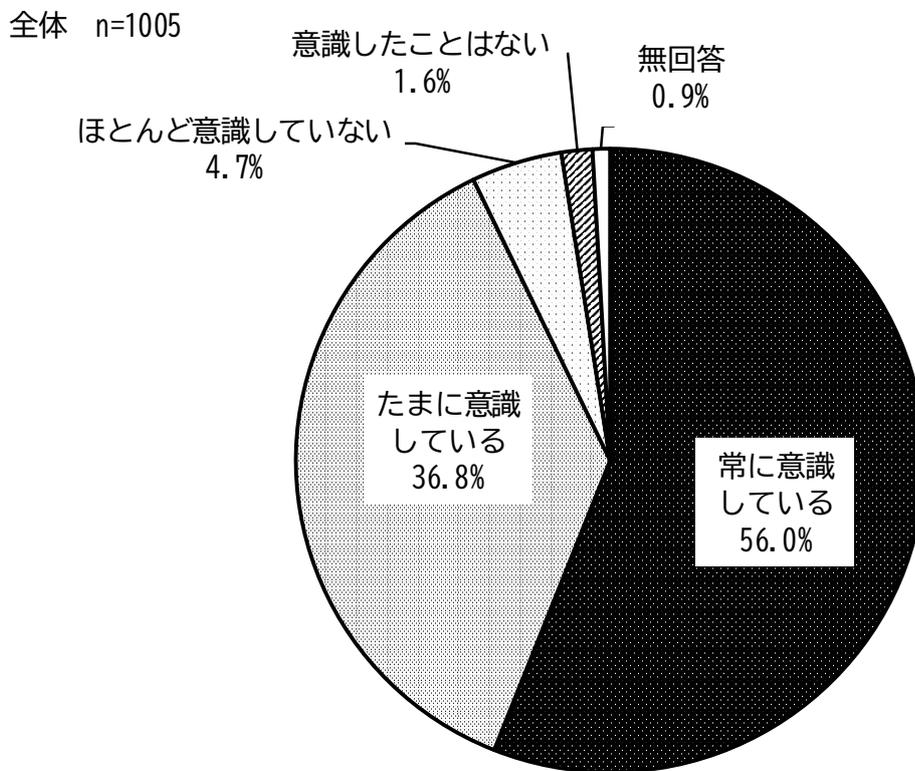


(6) 「食品ロス」発生への意識

◇《意識している》(「常に意識している」「たまに意識している」の合計値)は9割前半となっている

問5 普段の生活の中で、「食品ロス」の発生を意識していますか。(1つのみ)

「食品ロス」への意識については、「常に意識している」、「たまに意識している」の合計値《意識している》が92.8%となっている。一方、「ほとんど意識していない」、「意識したことはない」の合計値《意識していない》が6.3%と、《意識している》が86.5ポイント上回っている。

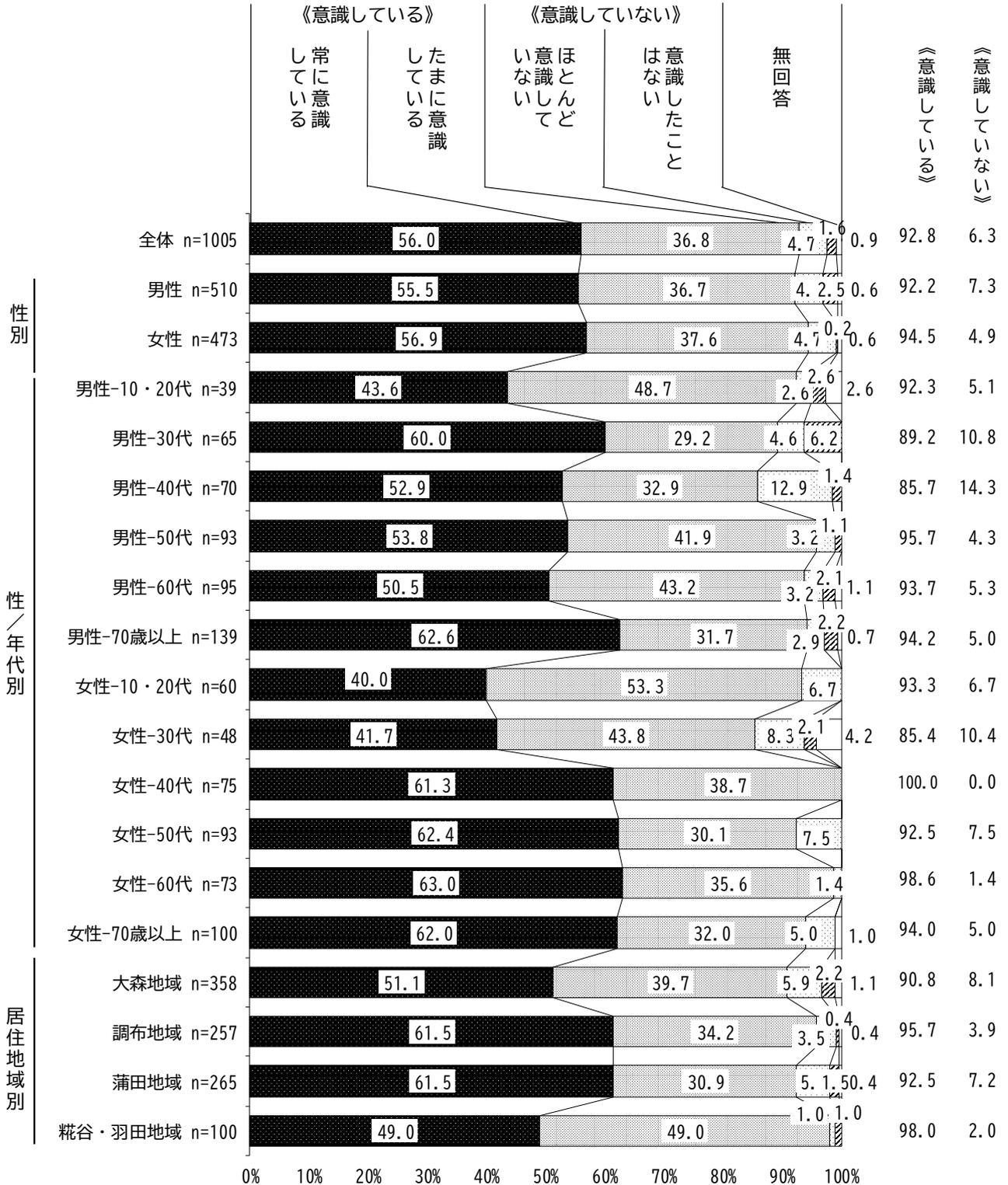


■性別・性／年代別・居住地別

性別で見ると、《意識している》は男性 92.2%、女性 94.5%と女性が 2.3 ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《意識している》は女性 40 代で 10 割と高くなっている。

居住地別で見ると、「常に意識している」は調布地域、蒲田地域で 61.5%と高くなっている。



3 ふるさと納税について

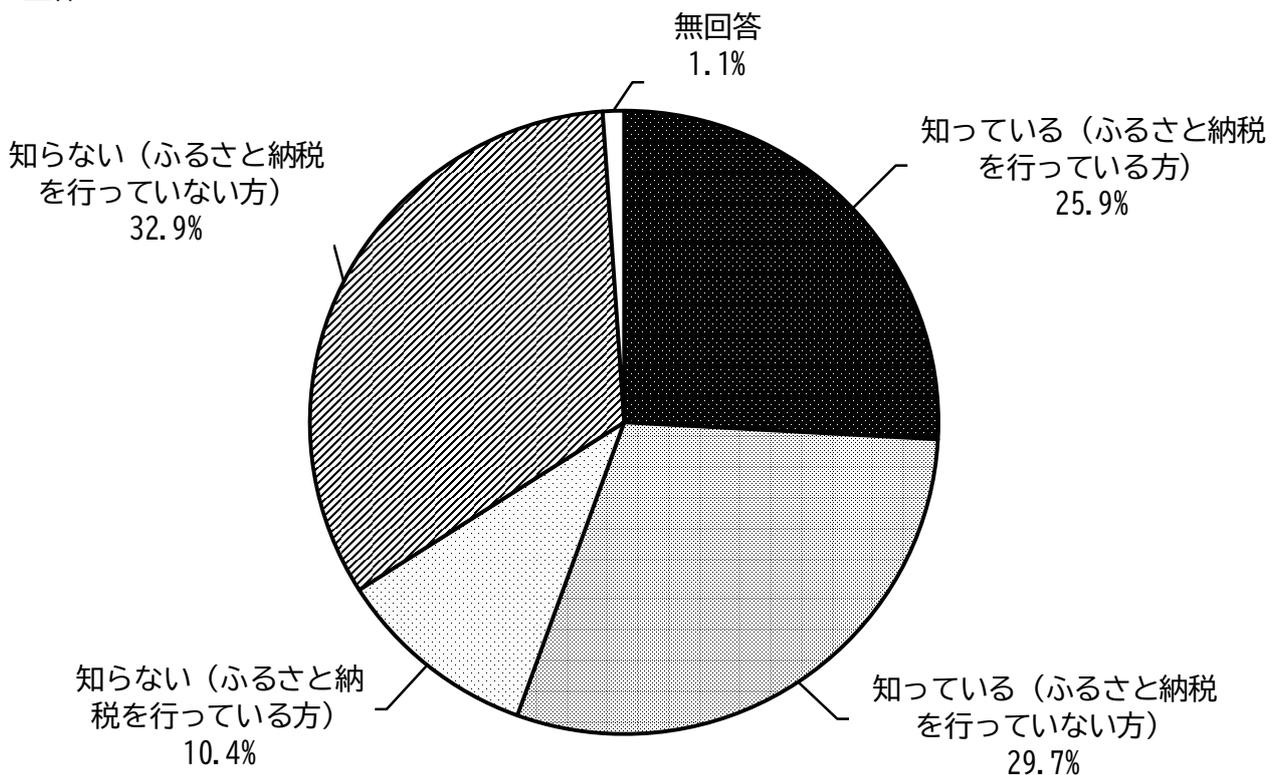
(1) 他の自治体へふるさと納税を行うことによる大田区への影響の認知度

◇《知っている》(「知っている(ふるさと納税を行っている方)」「知っている(ふるさと納税を行っていない方)」の合計値)は5割半ばとなっている

問6 他の自治体へふるさと納税を行うことによる大田区への影響を知っていますか。
(1つのみ)

他の自治体へふるさと納税を行うことによる大田区への影響の認知度については、「知っている(ふるさと納税を行っている方)」、「知っている(ふるさと納税を行っていない方)」の合計値《知っている》が55.5%となっている。一方、「知らない(ふるさと納税を行っている方)」、「知らない(ふるさと納税を行っていない方)」の合計値《知らない》が43.4%と、《知っている》が12.1ポイント上回っている。

全体 n=1005

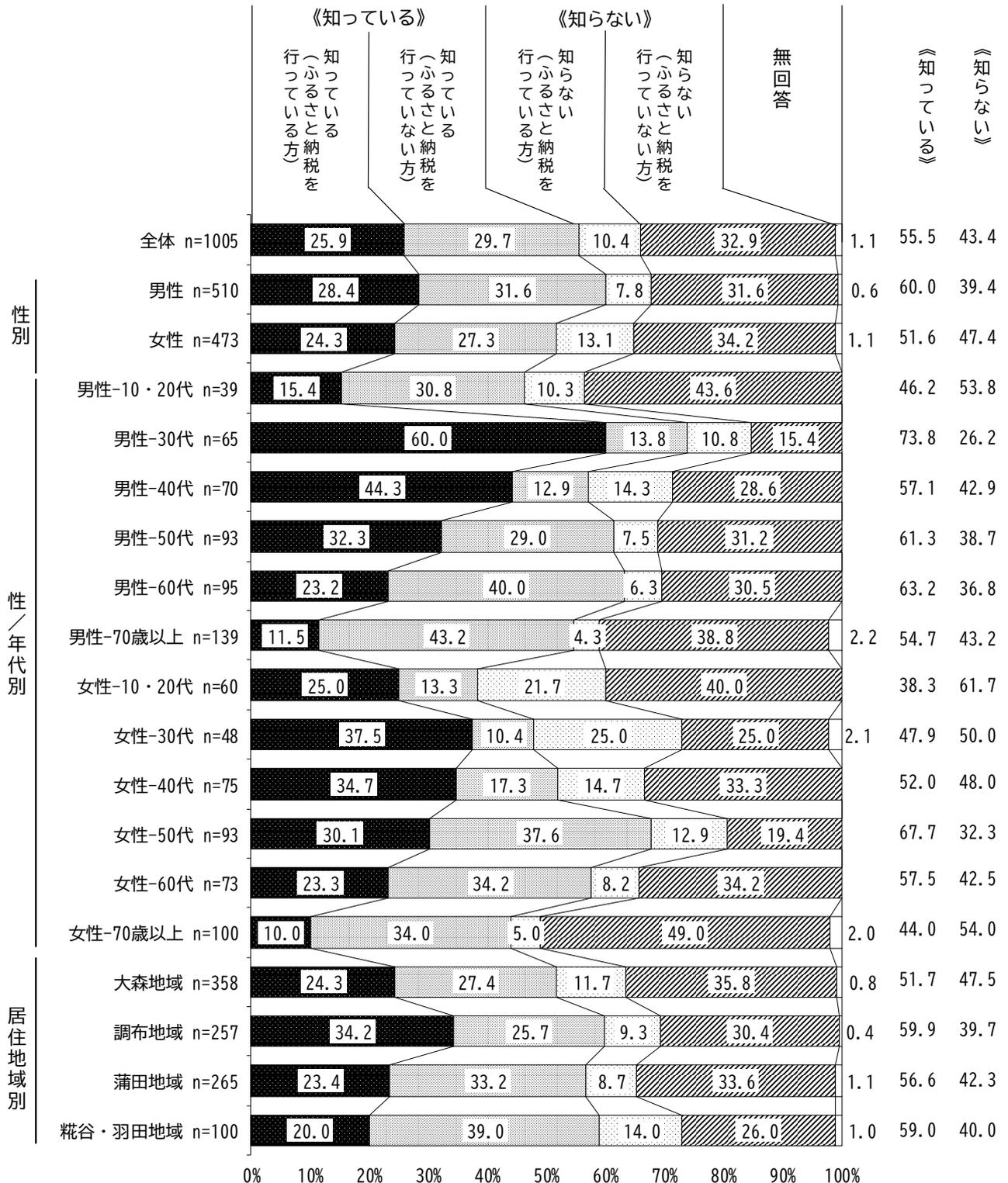


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が60.0%、女性が51.6%と、男性が8.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は男性30代で7割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「知っている（ふるさと納税を行っている方）」は調布地域で34.2%と高くなっている。



4 情報取得・デジタル化について

(1) おおた区報で区政に関する情報を取得する際に、最も利用する媒体

◇「紙媒体（全戸配布、駅スタンド、新聞折込など）」が7割前半となっている

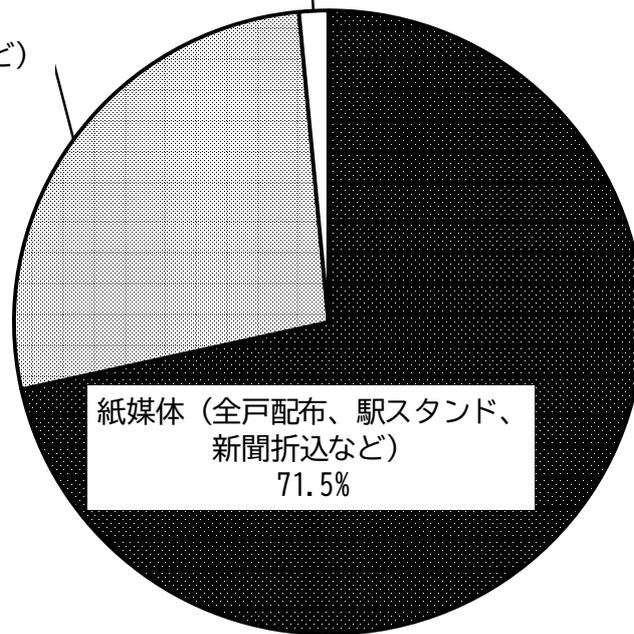
問7 おおた区報で区政に関する情報を取得する際に、最も利用する媒体について、該当するものを選択してください。(1つのみ)

おおた区報で区政に関する情報を取得する際に、最も利用する媒体については、「紙媒体（全戸配布、駅スタンド、新聞折込など）」が71.5%と最も高く、次いで「デジタル媒体（ホームページ、SNS、アプリなど）」が27.0%となっている。

全体 n=1005

デジタル媒体
(ホームページ、SNS、アプリなど)
27.0%

無回答
1.5%



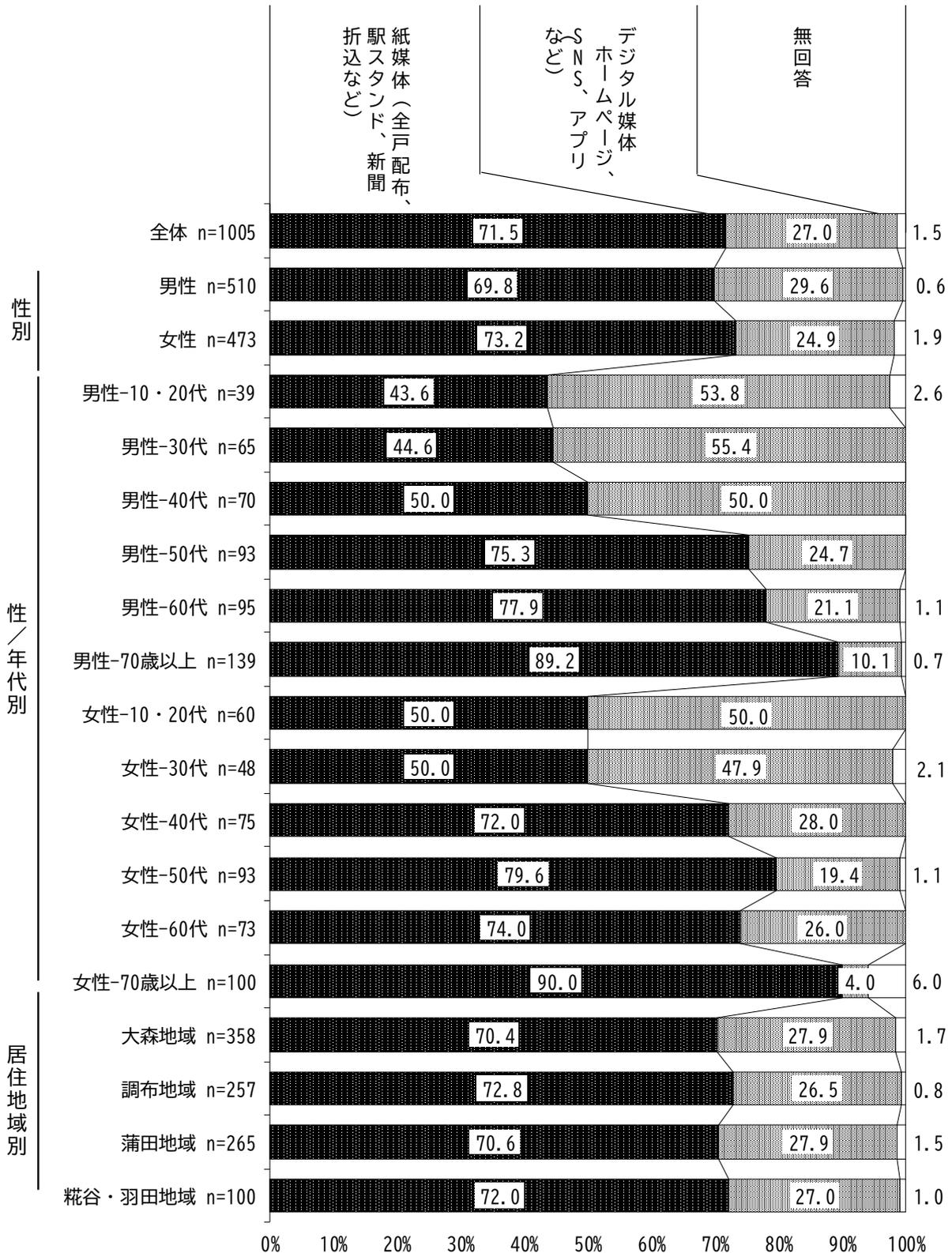
紙媒体 (全戸配布、駅スタンド、
新聞折込など)
71.5%

■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「紙媒体（全戸配布、駅スタンド、新聞折込など）」は男性が69.8%、女性が73.2%となっており、女性が3.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「紙媒体（全戸配布、駅スタンド、新聞折込など）」は年代が上がるにつれて高くなる傾向となっており、女性70歳以上で9割と高くなっている。

居住地域別でみると、「紙媒体（全戸配布、駅スタンド、新聞折込など）」は調布地域で72.8%と高くなっている。

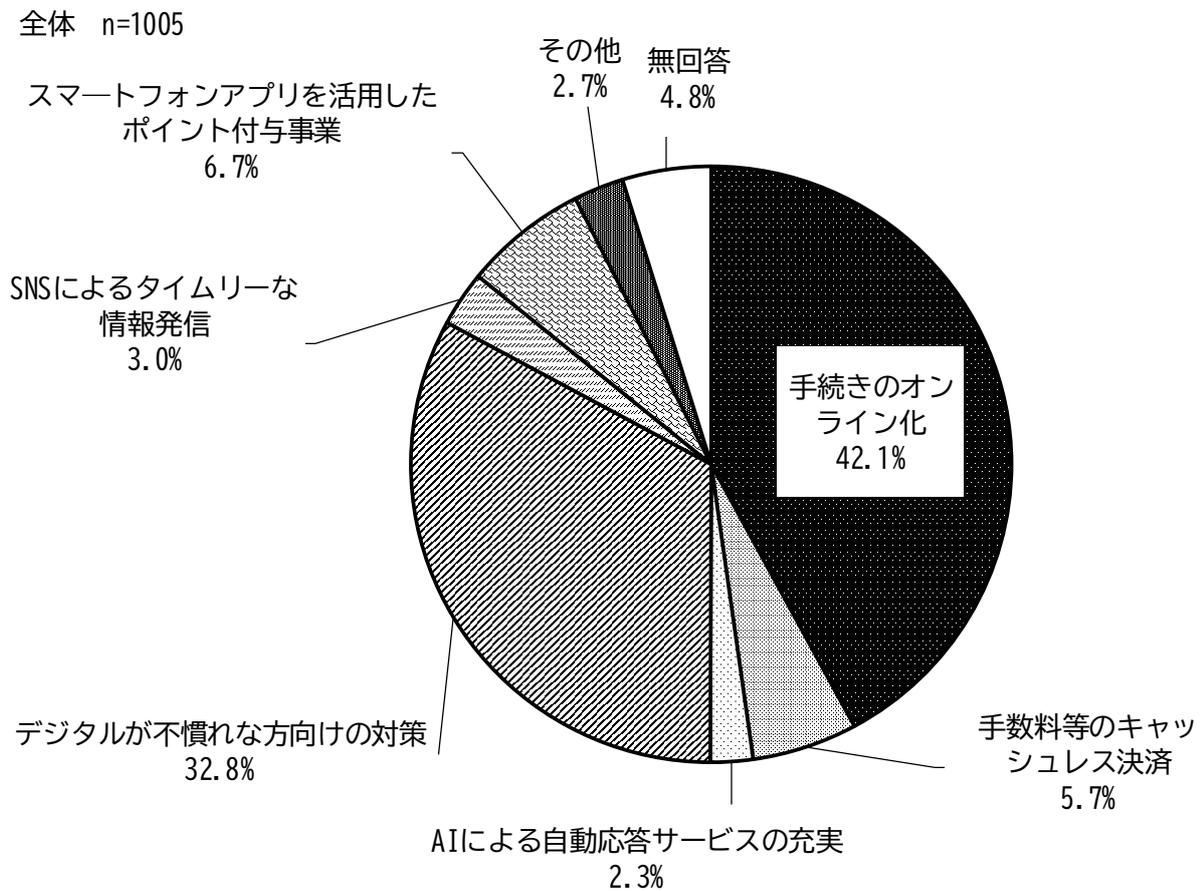


(2) 区民サービスのデジタル化に関して、最も希望するもの

◇「手続きのオンライン化」が4割前半と最も高くなっている

問8 区民サービスのデジタル化に関して、最も希望するものは何ですか。(1つのみ)

区民サービスのデジタル化に関して、最も希望するものについては、「手続きのオンライン化」が42.1%と最も高く、次いで「デジタルが不慣れな方向への対策」が32.8%、「スマートフォンアプリを活用したポイント付与事業」が6.7%となっている。

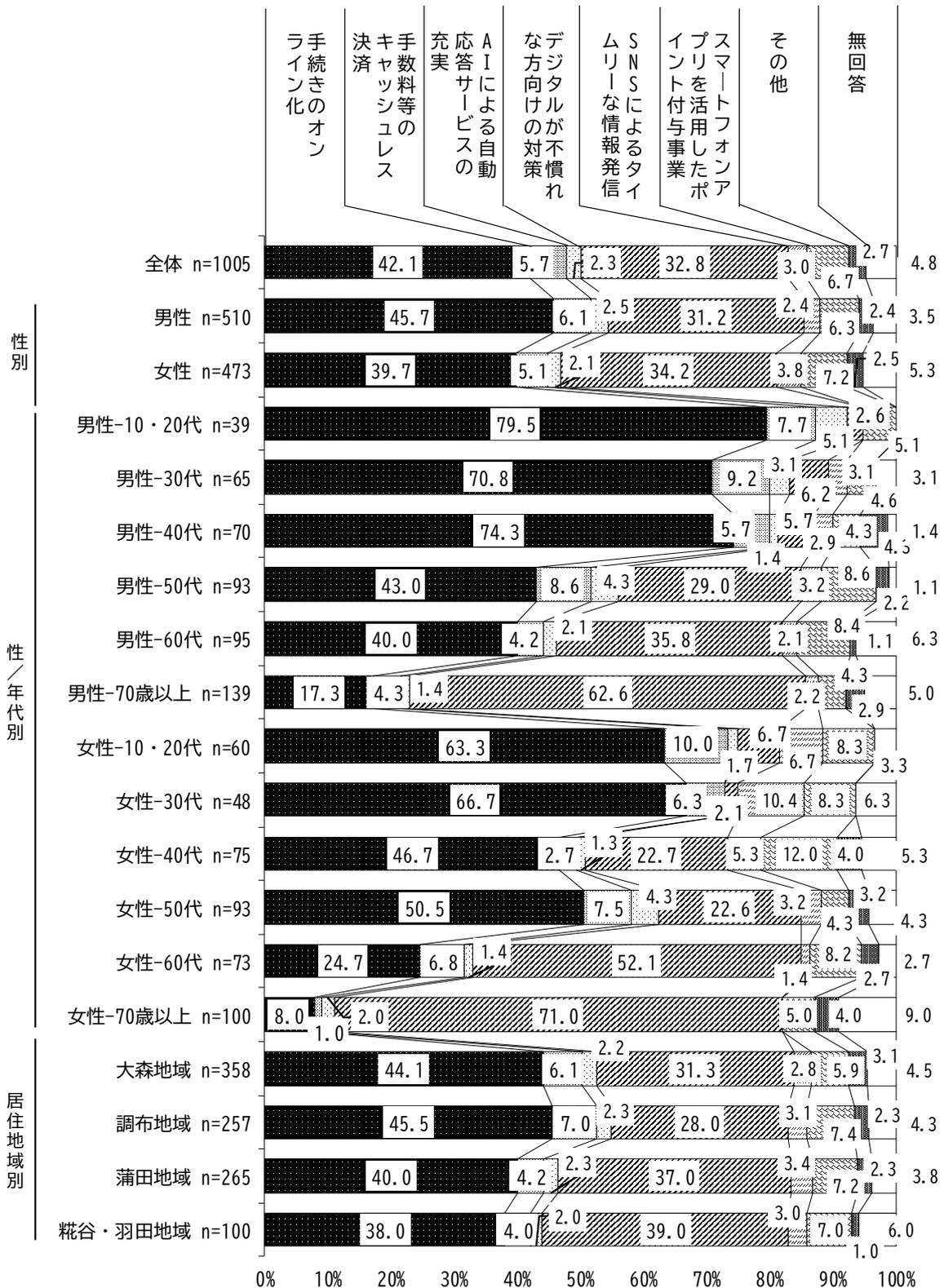


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「手続きのオンライン化」は男性が45.7%、女性が39.7%と、男性が6.0ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「手続きのオンライン化」は、男性10・20代で約8割と高くなっている。一方で、「デジタルが不慣れな方向への対策」は女性70歳以上で7割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「手続きのオンライン化」は調布地域で45.5%と高くなっている。



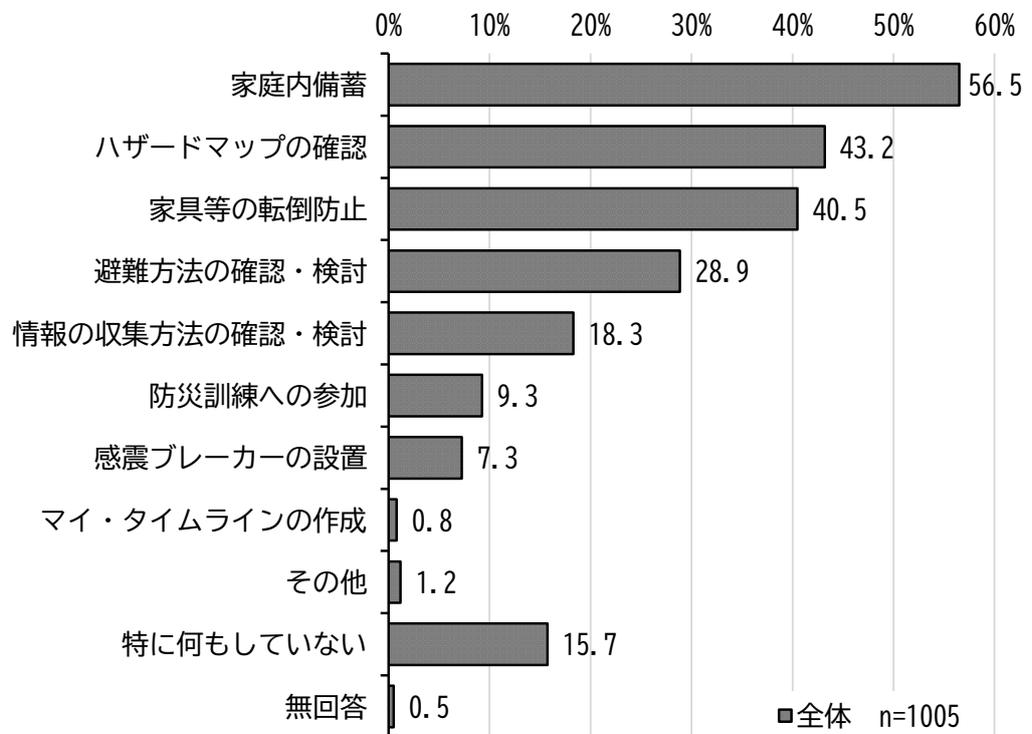
5 防災・防犯について

(1) 災害から身を守るための取組

◇「家庭内備蓄」が5割半ばで最も高くなっている

問9 災害から身を守るためにどのような取組をしていますか。(複数選択可)

災害から身を守るための取組については、「家庭内備蓄」が56.5%で最も高く、次いで「ハザードマップの確認」が43.2%、「家具等の転倒防止」が40.5%となっている。

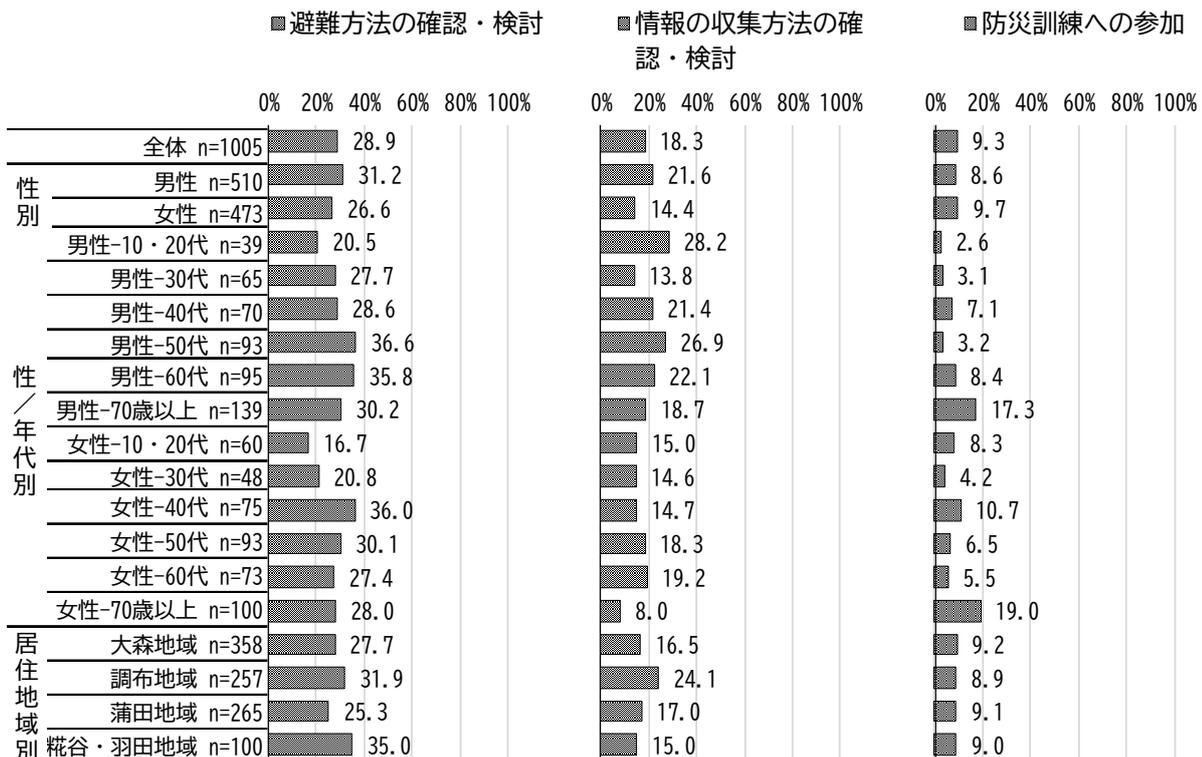
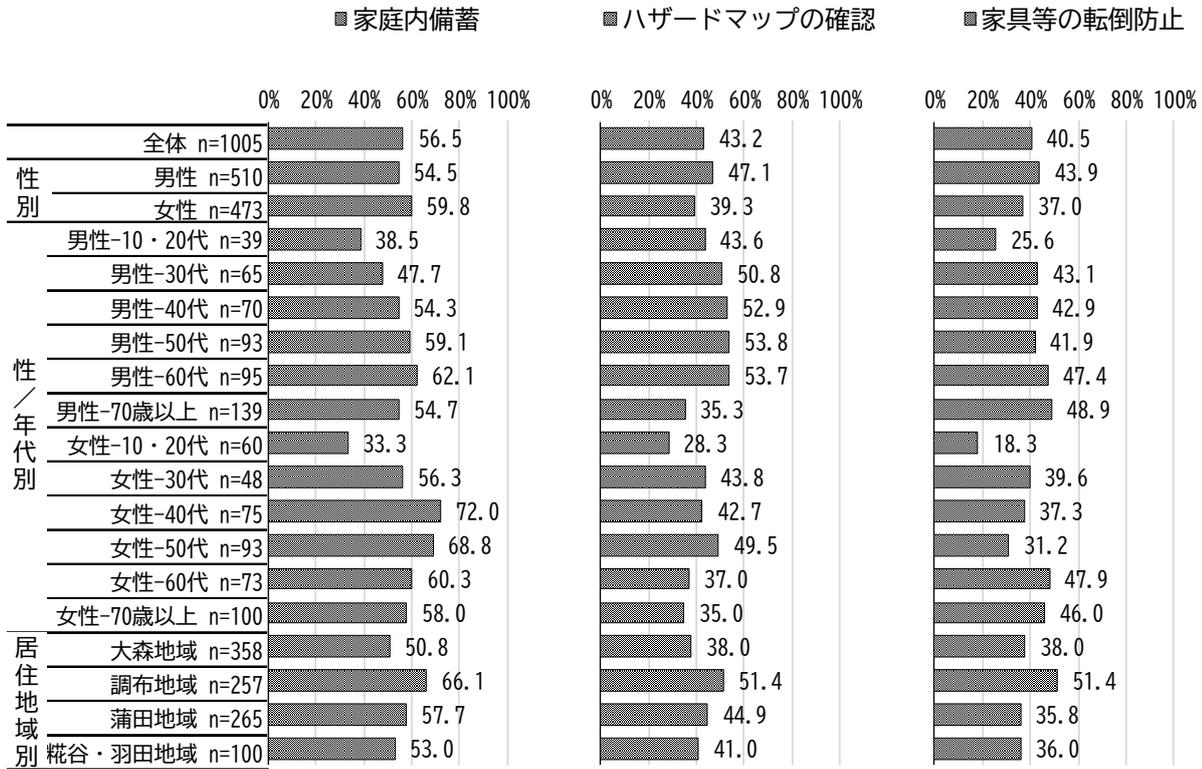


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「家庭内備蓄」は男性が54.5%、女性が59.8%と、女性が5.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「家庭内備蓄」は女性40代で7割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「家庭内備蓄」は調布地域で66.1%と高くなっている。



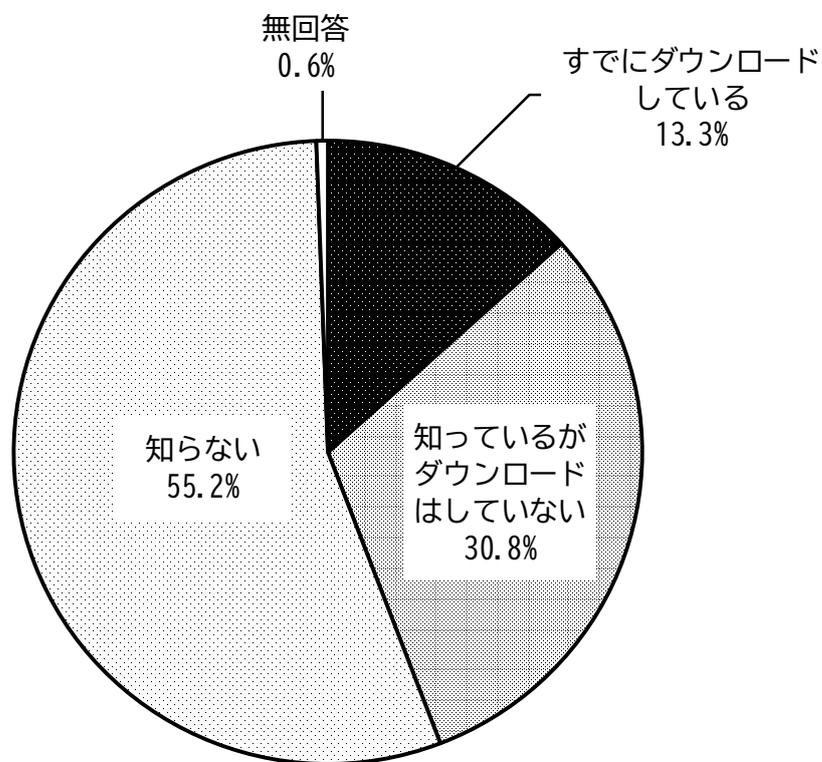
(2) 「大田区防災アプリ」の認知度

◇《知っている》(「すでにダウンロードしている」「知っているが、ダウンロードはしていない」の合計値)は4割半ばとなっている

問10 「大田区防災アプリ」を知っていますか。(1つのみ)

「大田区防災アプリ」の認知度については、「すでにダウンロードしている」、「知っているがダウンロードはしていない」の合計値《知っている》が44.2%となっている。一方、「知らない」が55.2%と、「知らない」が11.0ポイント上回っている。

全体 n=1005

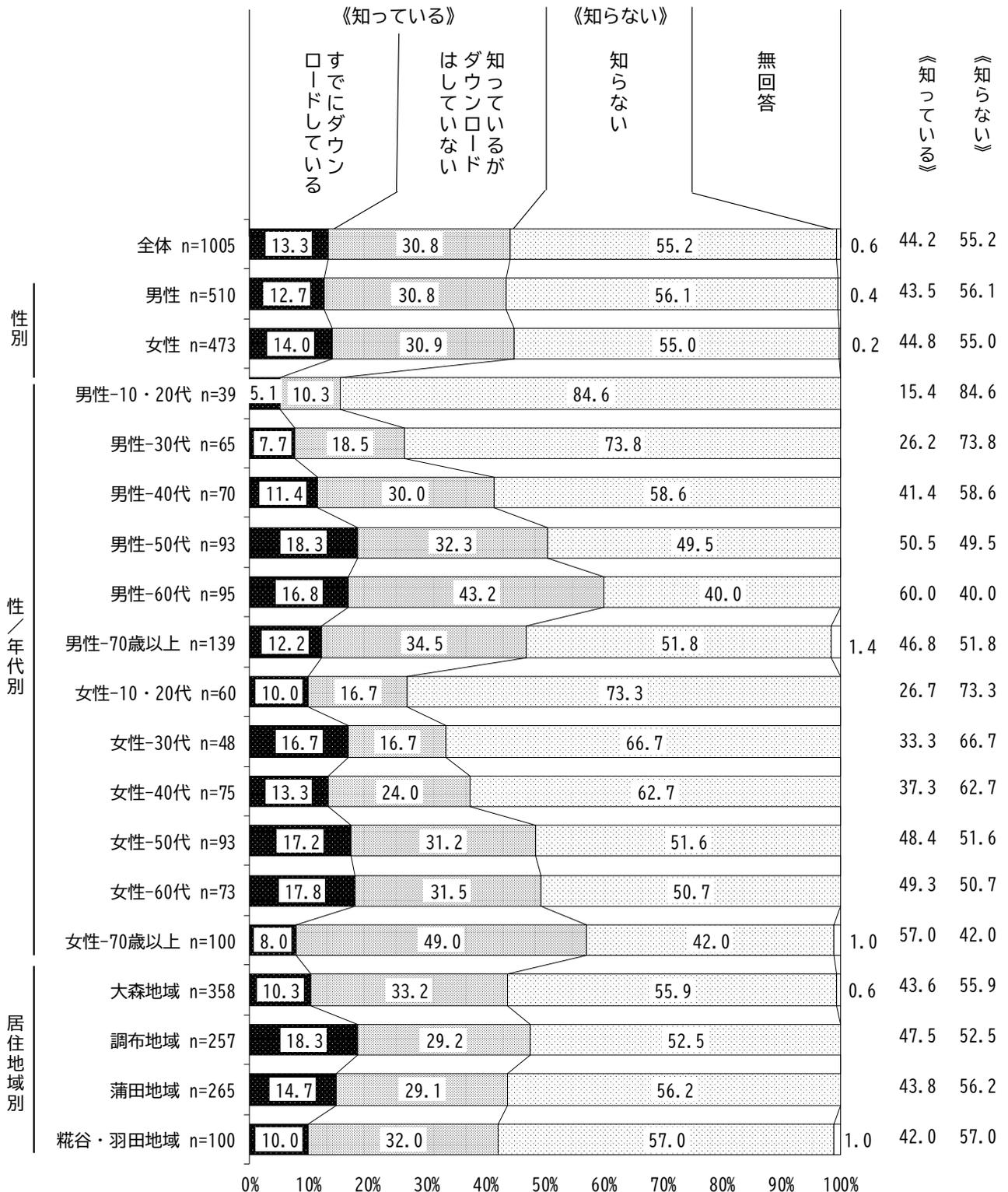


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、《知っている》は男性が43.5%、女性が44.8%と、女性が1.3ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《知っている》は男性60代で6割、女性70歳以上で5割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「すでにダウンロードしている」は調布地域で18.3%と高くなっている。



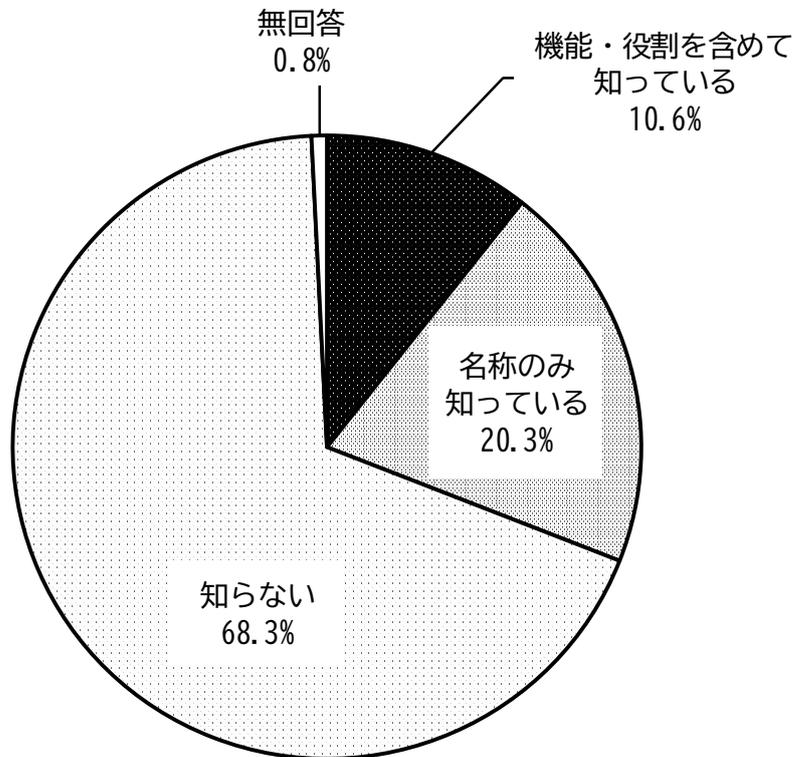
(3) 「緊急医療救護所」の認知度

◇《知っている》(「機能・役割を含めて知っている」「名称のみ知っている」の合計値)は約3割となっている

問11 「緊急医療救護所」は、大規模地震発生時に、病院の門前などで傷病者の治療の優先度をつけたり、軽症者の治療を行うために設置されます。あなたは緊急医療救護所を知っていますか。(1つのみ)

「緊急医療救護所」の認知度については、「機能・役割を含めて知っている」、「名称のみ知っている」の合計値《知っている》が30.9%となっている。一方、「知らない」が68.3%と、「知らない」が37.4ポイント上回っている。

全体 n=1005

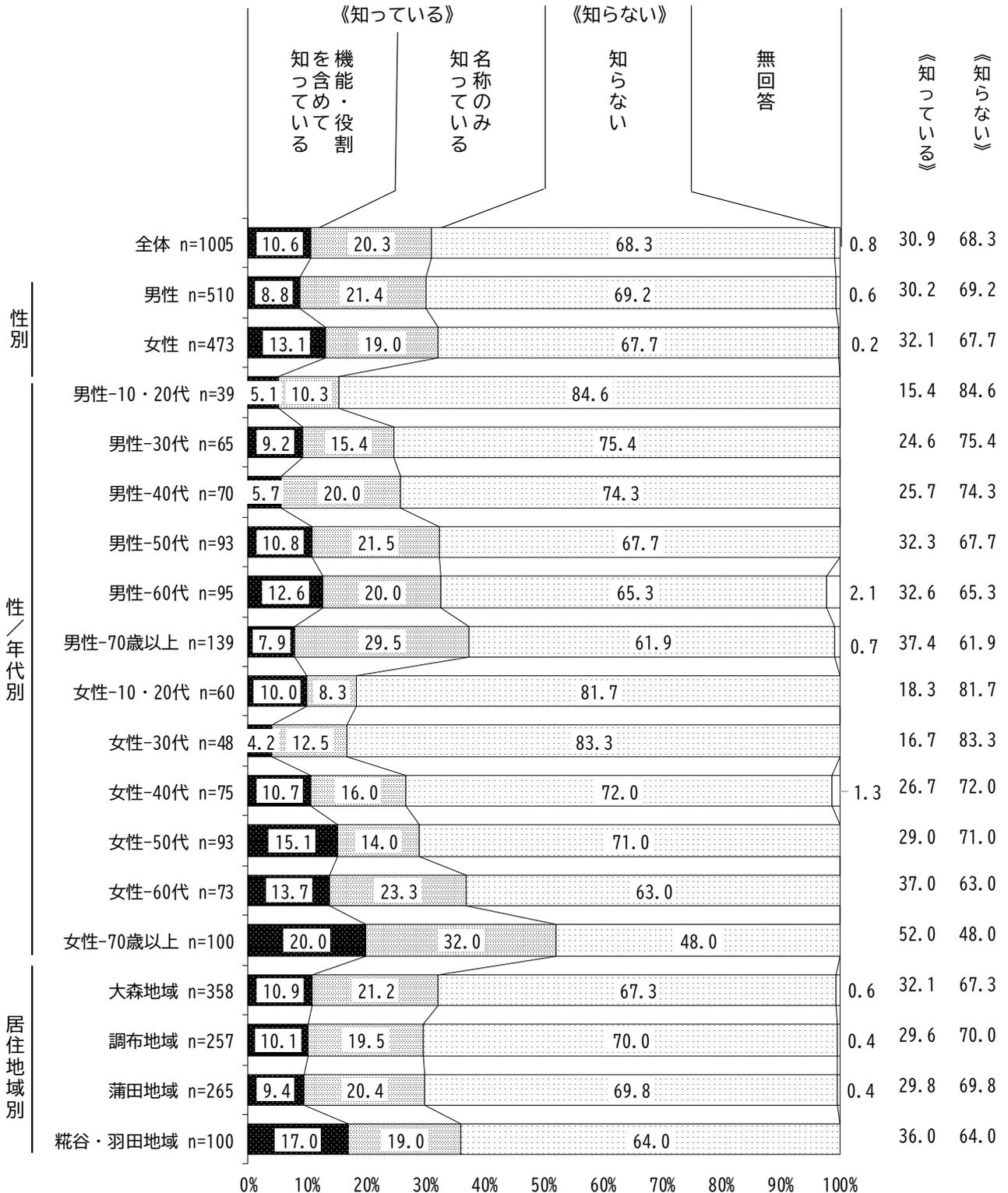


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が 30.2%、女性が 32.1%と、女性が 1.9 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は女性 70 歳以上で 5 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「機能・役割を含めて知っている」は糞谷・羽田地域で 17.0%と高くなっている。



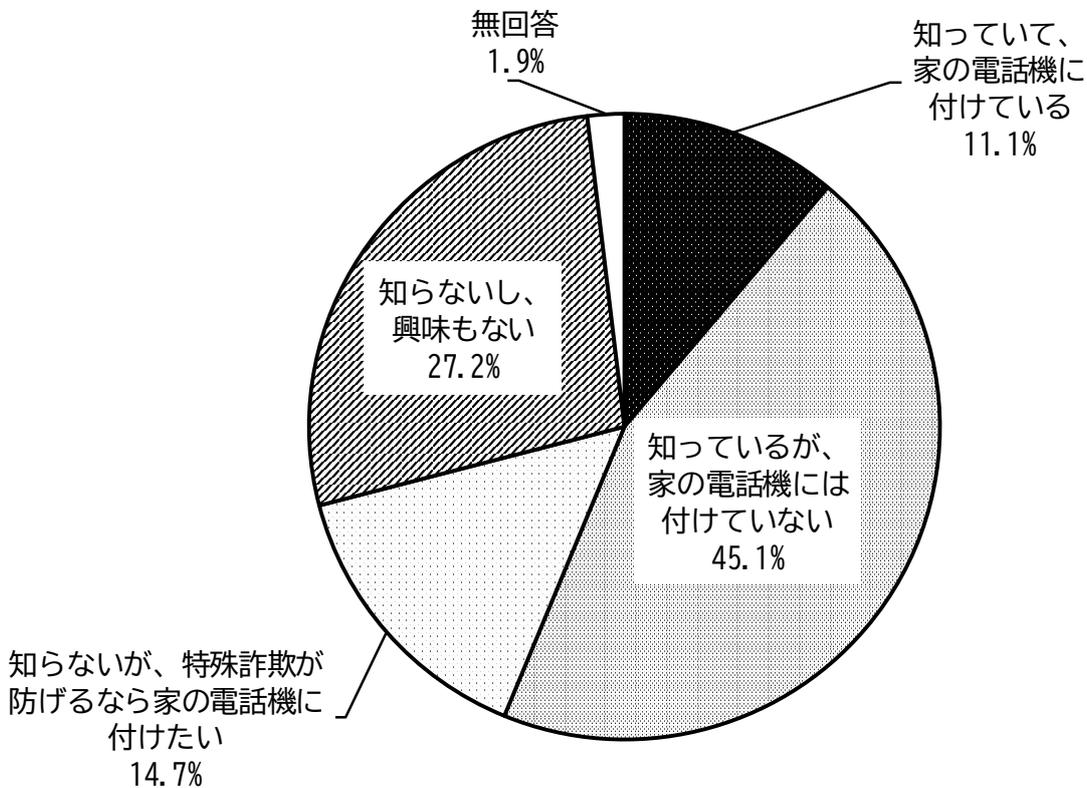
(4)「自動通話録音機」の認知度

◇「知っているが、家の電話機には付けていない」が4割半ばで最も高くなっている

問12 特殊詐欺の防止に効果がある「自動通話録音機」について、該当するものを選択してください。(1つのみ)

「自動通話録音機」の認知度については、「知っているが、家の電話機には付けていない」が45.1%で最も高く、次いで「知らないし、興味もない」が27.2%、「知らないが、特殊詐欺が防げるなら家の電話機に付けたい」が14.7%、「知っている、家の電話機に付けている」が11.1%となっている。

全体 n=1005

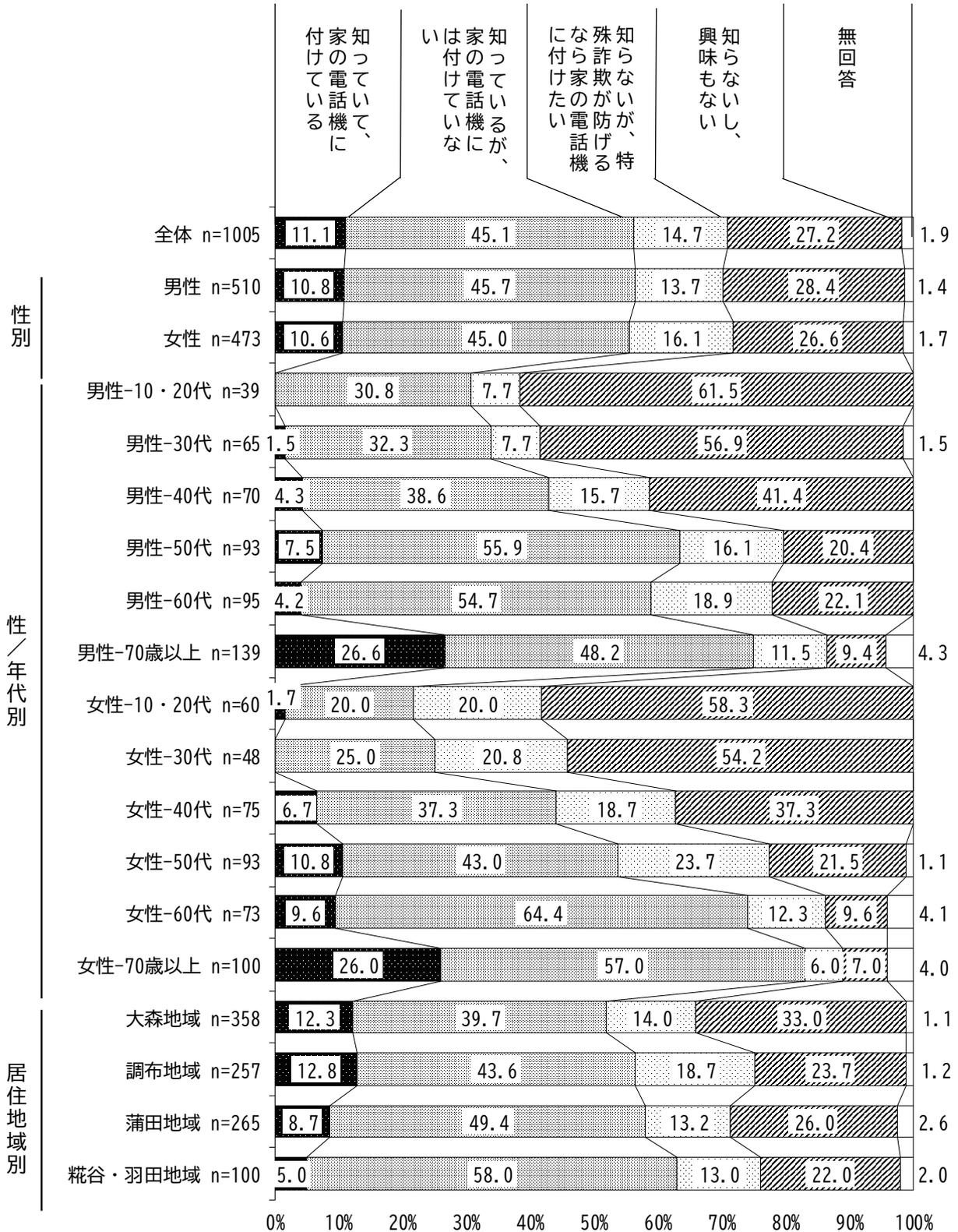


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「知らないし、興味もない」は男性が 28.4%、女性が 26.6%と、男性が 1.8 ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「知らないし、興味もない」は男性 10・20 代で 6 割前半、男性 30 代、女性 10・20 代で 5 割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「知らないし、興味もない」は大森地域で 3 割前半と高くなっている。



6 商店街について

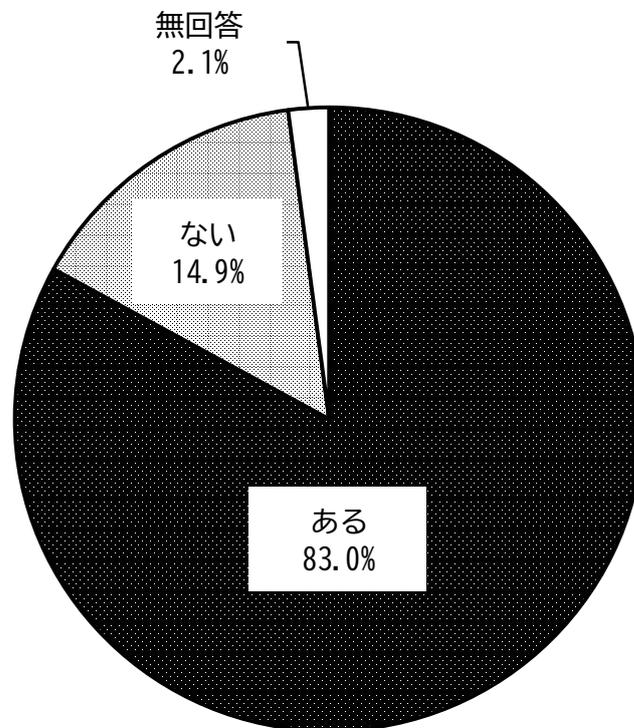
(1) 商店街を訪れる機会

◇「ある」が8割前半となっている

問13 買い物や食事、イベント等で商店街を訪れることがありますか。(1つのみ)

商店街を訪れる機会については、「ある」が83.0%となっている。一方、「ない」は14.9%と、「ある」が68.1ポイント上回っている。

全体 n=1005

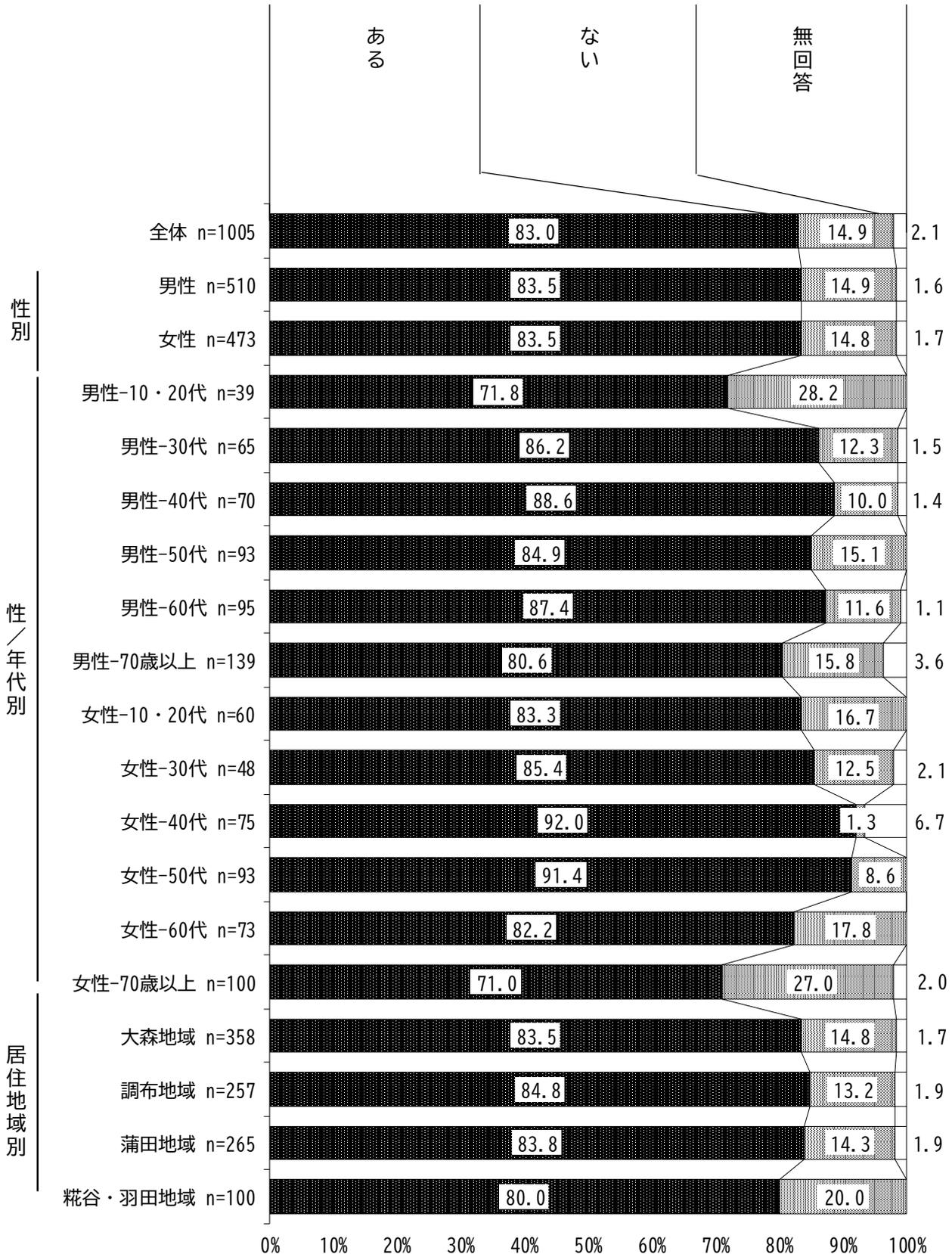


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、「ある」は女性40代、50代で9割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「ない」は糞谷・羽田地域で2割と高くなっている。



7 公園・緑・景観について

(1) 公園の満足度

◇ 《満足している》(「満足している」「やや満足している」の合計値) はいずれも4割台となっている

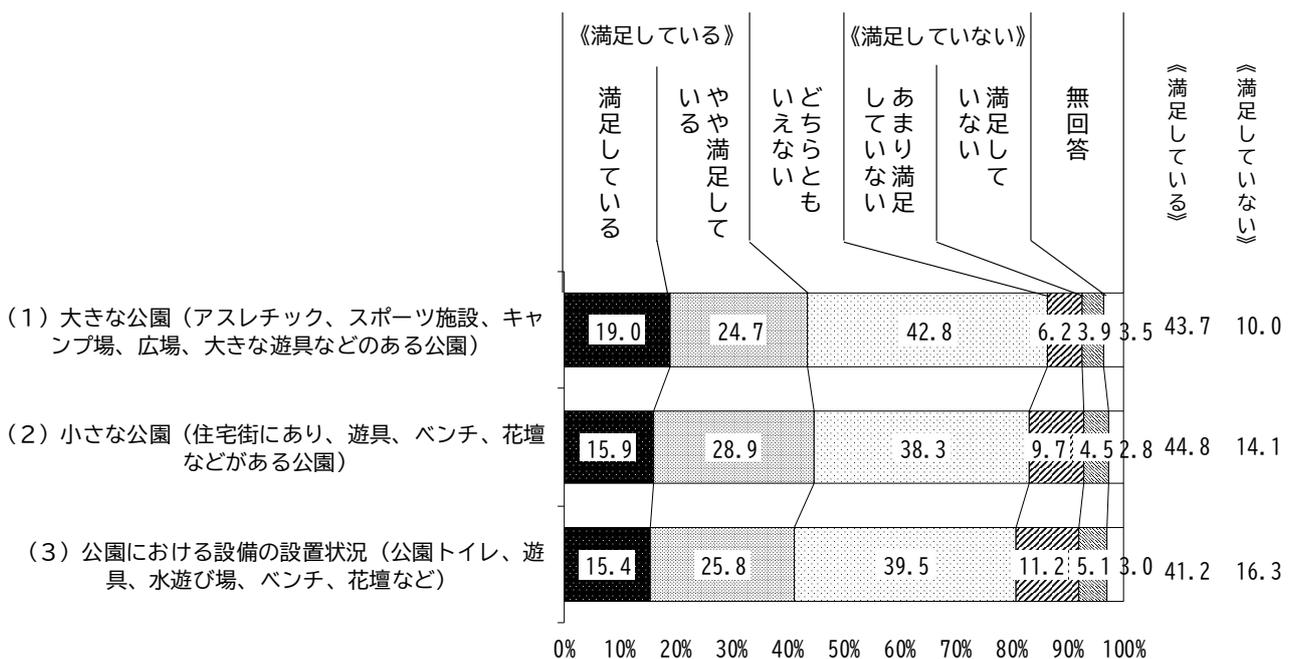
問14 公園について、どの程度満足していますか。(それぞれ1つのみ)

- (1) 大きな公園(アスレチック、スポーツ施設、キャンプ場、広場、大きな遊具などのある公園)
- (2) 小さな公園(住宅街にあり、遊具、ベンチ、花壇などがある公園)
- (3) 公園における設備の設置状況(公園トイレ、遊具、水遊び場、ベンチ、花壇など)

公園の満足度については、(1) 大きな公園(アスレチック、スポーツ施設、キャンプ場、広場、大きな遊具などのある公園)は「満足している」、「やや満足している」の合計値《満足している》が43.7%となっている。一方、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》が10.0%と、《満足している》が33.7ポイント上回っている。

(2) 小さな公園(住宅街にあり、遊具、ベンチ、花壇などがある公園)は《満足している》が44.8%となっている。一方《満足していない》が14.1%と、《満足している》が30.7ポイント上回っている。

(3) 公園における設備の設置状況(公園トイレ、遊具、水遊び場、ベンチ、花壇など)は《満足している》が41.2%となっている。一方《満足していない》が16.3%と、《満足している》が24.9ポイント上回っている。



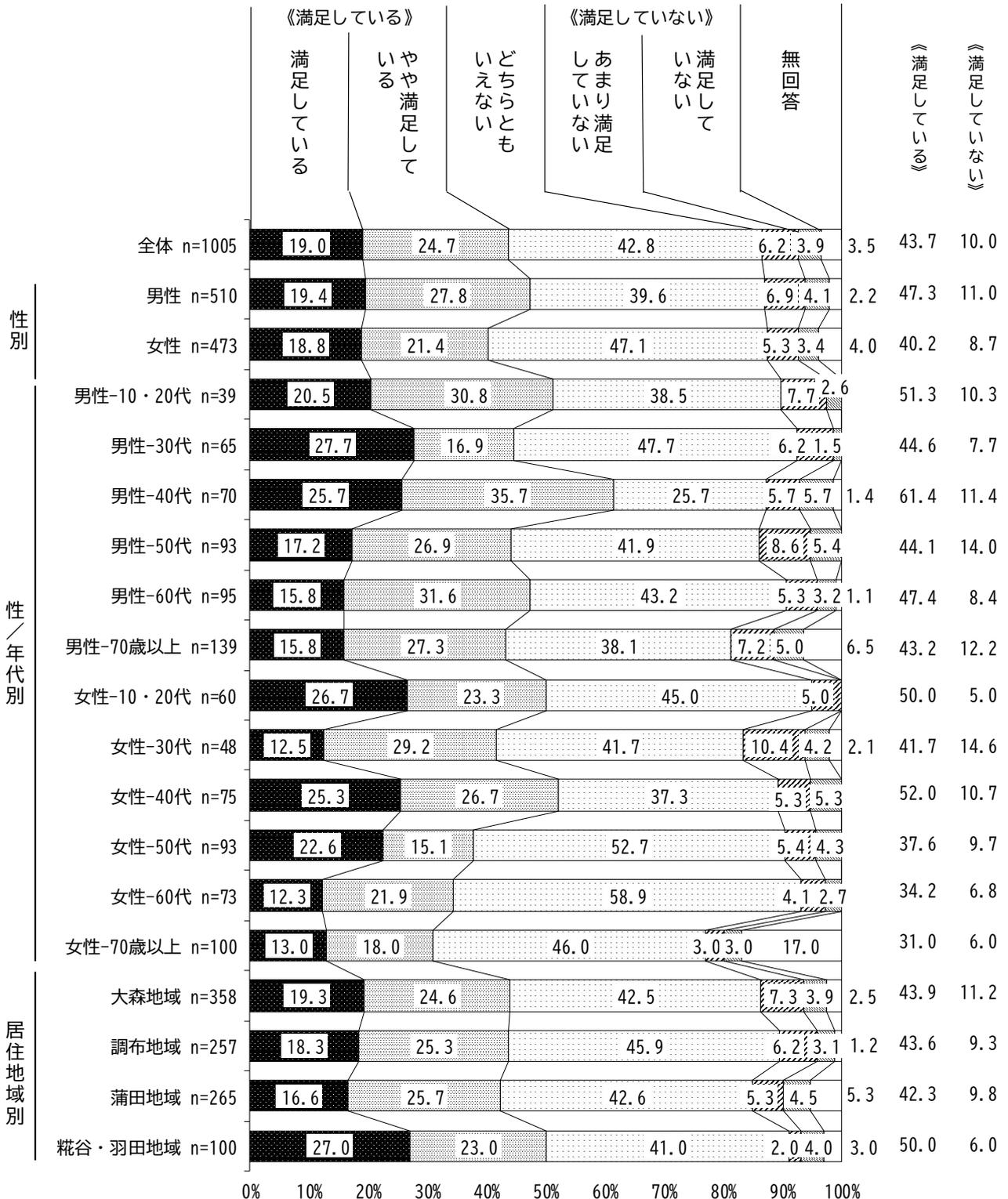
■性別・性／年代別・居住地域別

(1) 大きな公園（アスレチック、スポーツ施設、キャンプ場、広場、大きな遊具などのある公園）

性別でみると、《満足している》は男性が47.3%、女性が40.2%と、男性が7.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《満足している》は男性40代で6割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《満足している》は糀谷・羽田地域で5割と高くなっている。



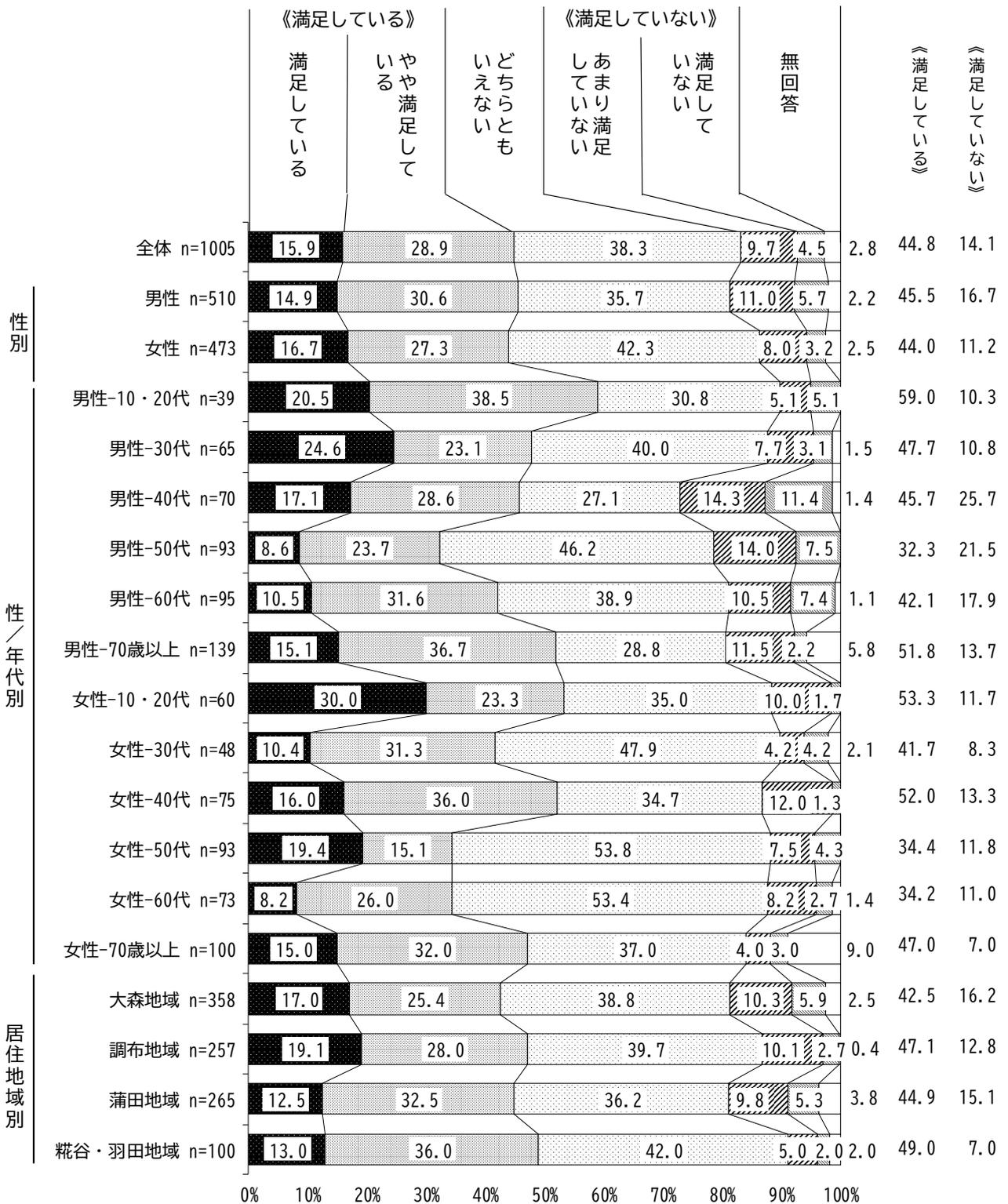
■性別・性／年代別・居住地域別

(2) 小さな公園（住宅街にあり、遊具、ベンチ、花壇などがある公園）

性別でみると、《満足している》は男性が45.5%、女性が44.0%と、男性が1.5ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《満足している》は男性10・20代で約6割と高くなっている。一方で《満足していない》は男性40代で2割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《満足している》は糞谷・羽田地域で49.0%と高くなっている。



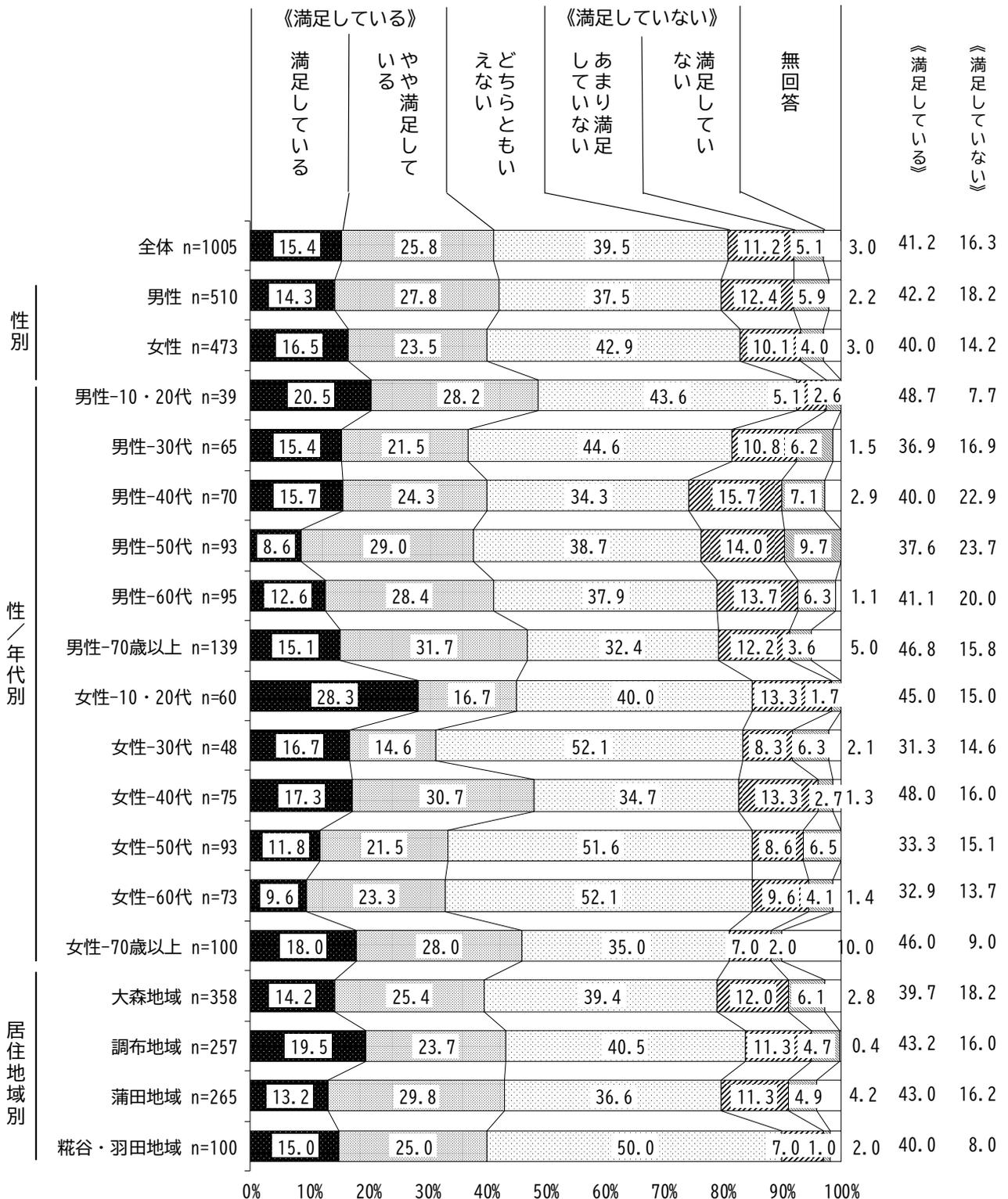
■性別・性／年代別・居住地域別

(3) 公園における設備の設置状況 (公園トイレ、遊具、水遊び場、ベンチ、花壇など)

性別でみると、《満足している》は男性が42.2%、女性が40.0%と、男性が2.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《満足している》は男性10・20代、70歳以上、女性40代で4割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「満足している」は調布地域で19.5%と高くなっている。



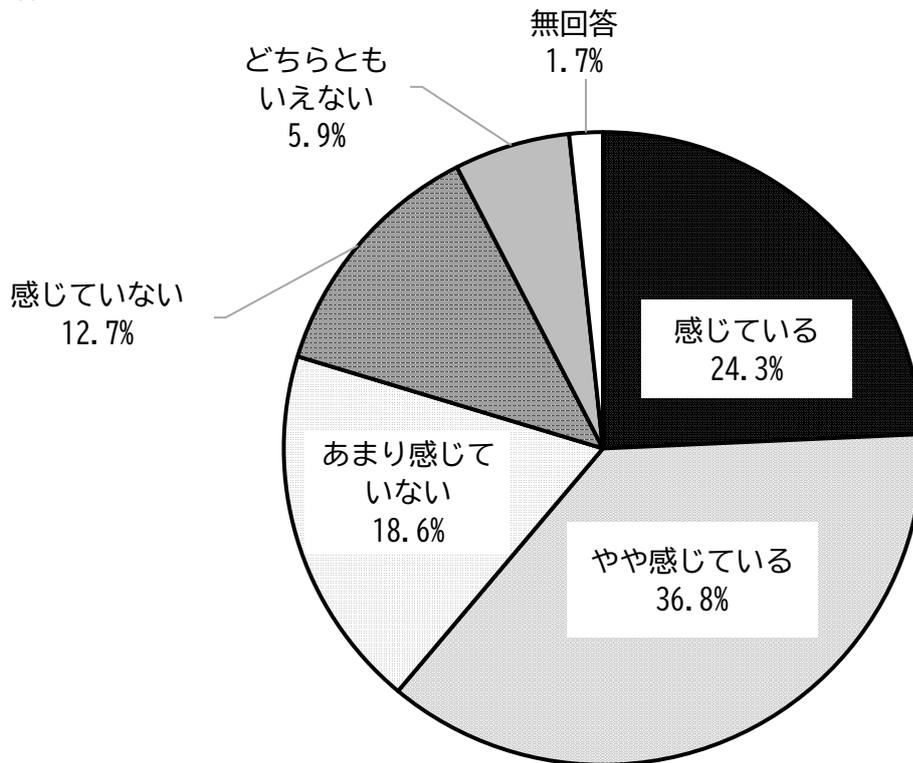
(2) 身近な場所での水や緑への親しみ

◇親しみを《感じている》(「感じている」「やや感じている」の合計値)は6割前半となっている

問15 身近な場所で水や緑に親しめると感じていますか。(1つのみ)

身近な場所で水や緑については、親しめると「感じている」、「やや感じている」の合計値《感じている》が61.1%となっている。一方、「あまり感じていない」、「感じていない」の合計値《感じていない》が31.3%と、《感じている》が29.8ポイント上回っている。

全体 n=1005

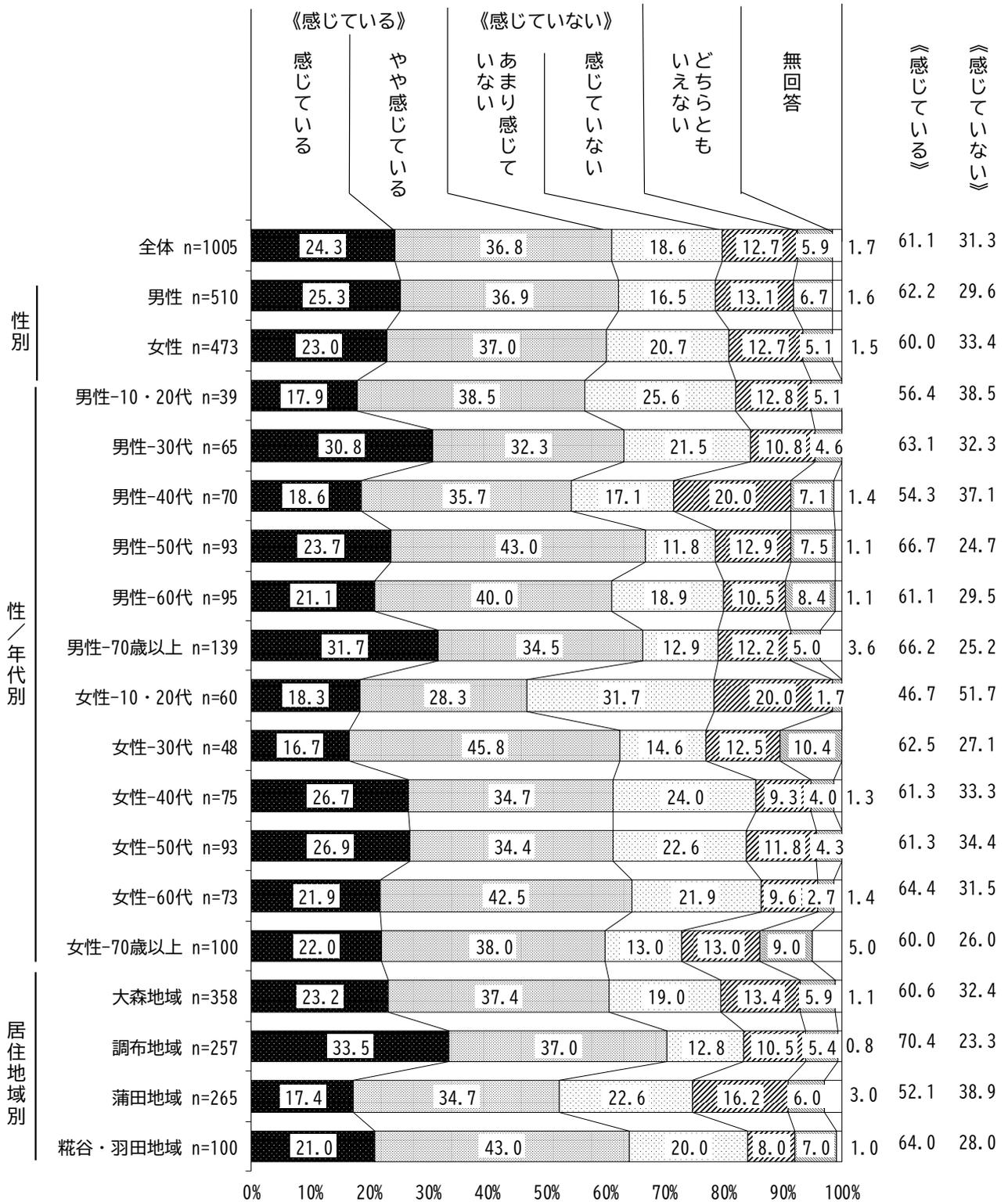


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じていない》は男性が29.6%、女性が33.4%と、女性が3.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《感じている》は男性50代で6割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《感じていない》は蒲田地域で3割後半と高くなっている。



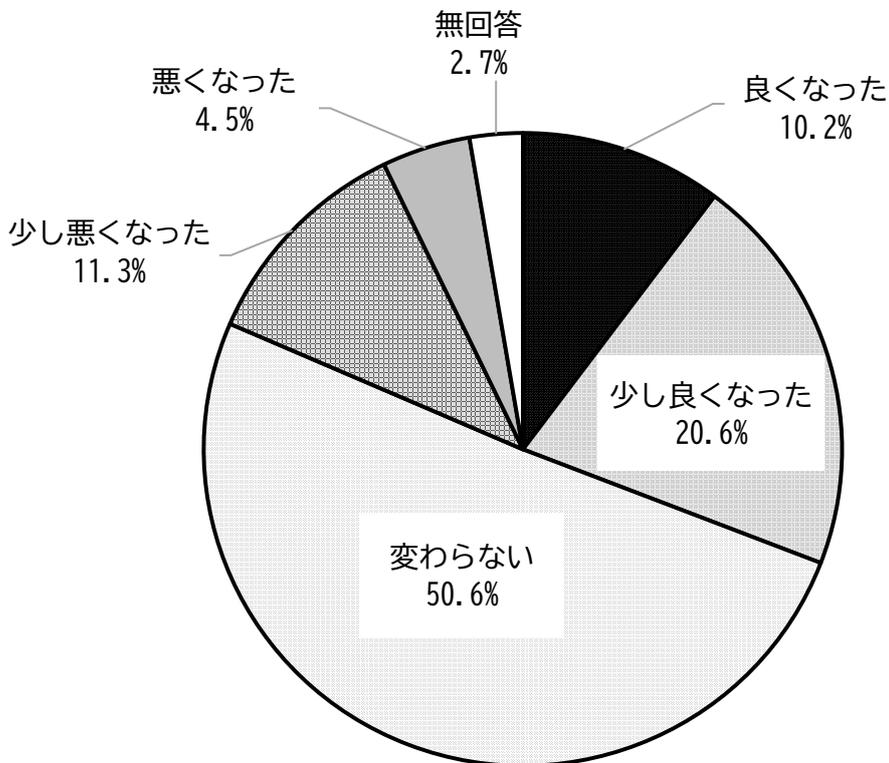
(3) 地域の景観

◇《良くなった》(「良くなった」「少し良くなった」の合計値)が約3割となっている

問16 概ね10年前(大田区に住んで10年未満の方は、住み始めた頃)と比べて、お住いの地域の景観をどう感じますか。(1つのみ)

地域の景観の状況については、「良くなった」「少し良くなった」の合計値《良くなった》が30.8%、「少し悪くなった」「悪くなった」の合計値《悪くなった》が15.8%となっており、《良くなった》が15.0ポイント上回っている。

全体 n=1005

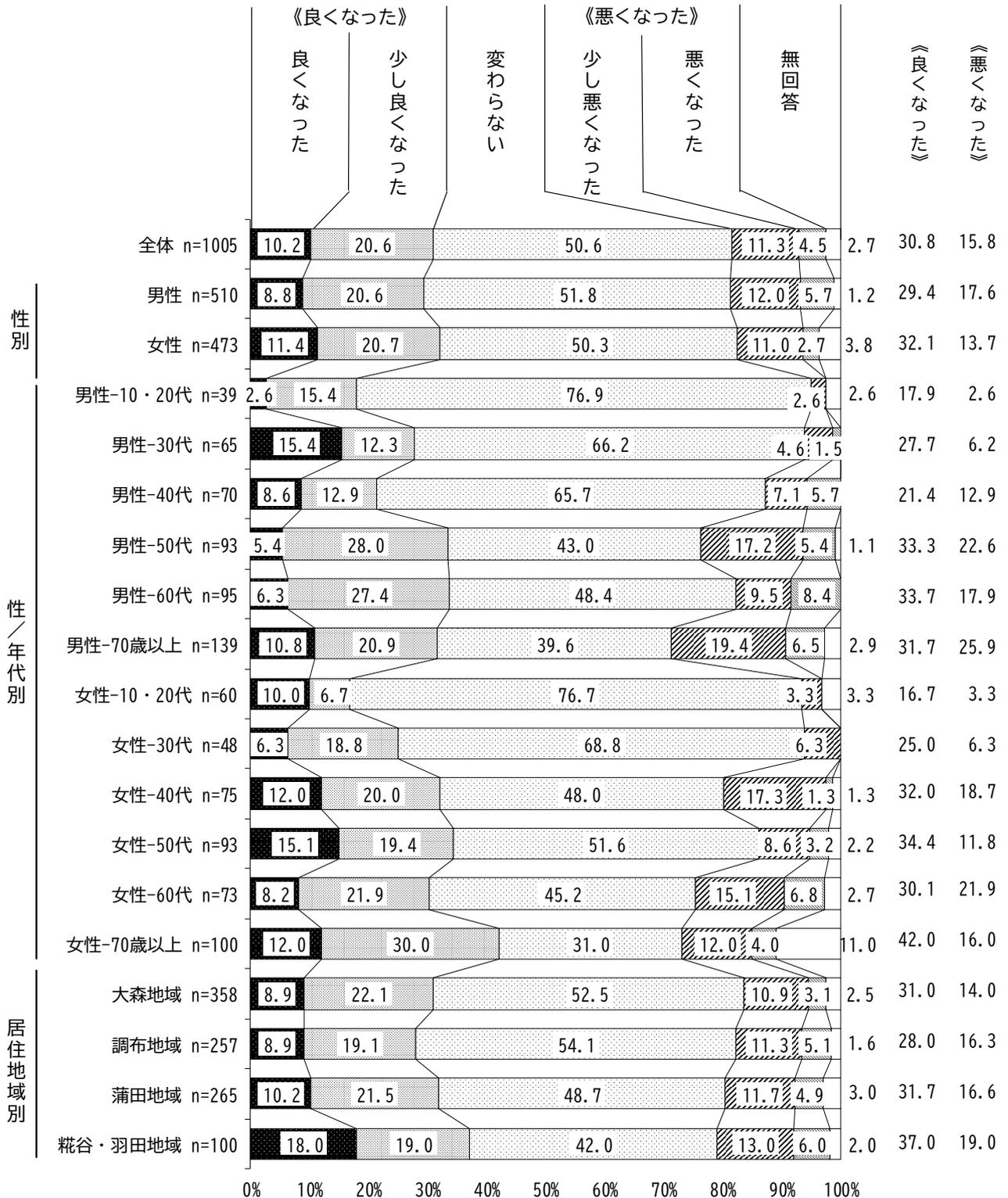


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《良くなった》は男性が 29.4%、女性が 32.1%と、女性が 2.7 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《良くなった》は男性、女性ともに 10・20 歳代で 1 割後半と低くなっている。

居住地域別でみると、《良くなった》は糞谷・羽田地域で 3 割後半と高くなっている。

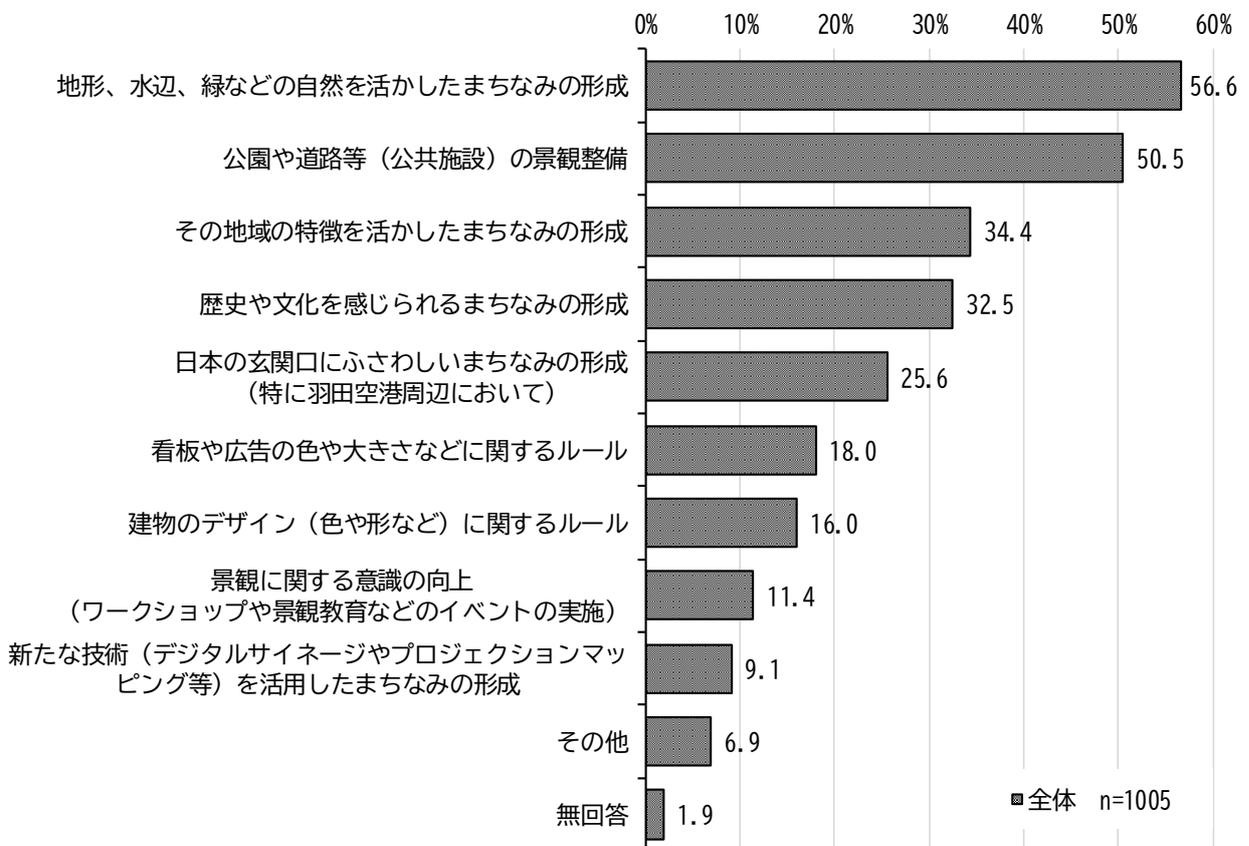


(4) 多彩で魅力的な景観のあるまちにするため、重視すべきこと

◇「地形、水辺、緑などの自然を活かしたまちなみの形成」が5割半ばで最も高くなっている

問17 大田区をより多彩で魅力的な景観のあるまちにするため、重視すべきことは何だと思いますか。(複数選択可)

多彩で魅力的な景観のあるまちにするため、重視すべきことについては、「地形、水辺、緑などの自然を活かしたまちなみの形成」が56.6%で最も高く、次いで「公園や道路等（公共施設）の景観整備」が50.5%、「その地域の特徴を活かしたまちなみの形成」が34.4%となっている。

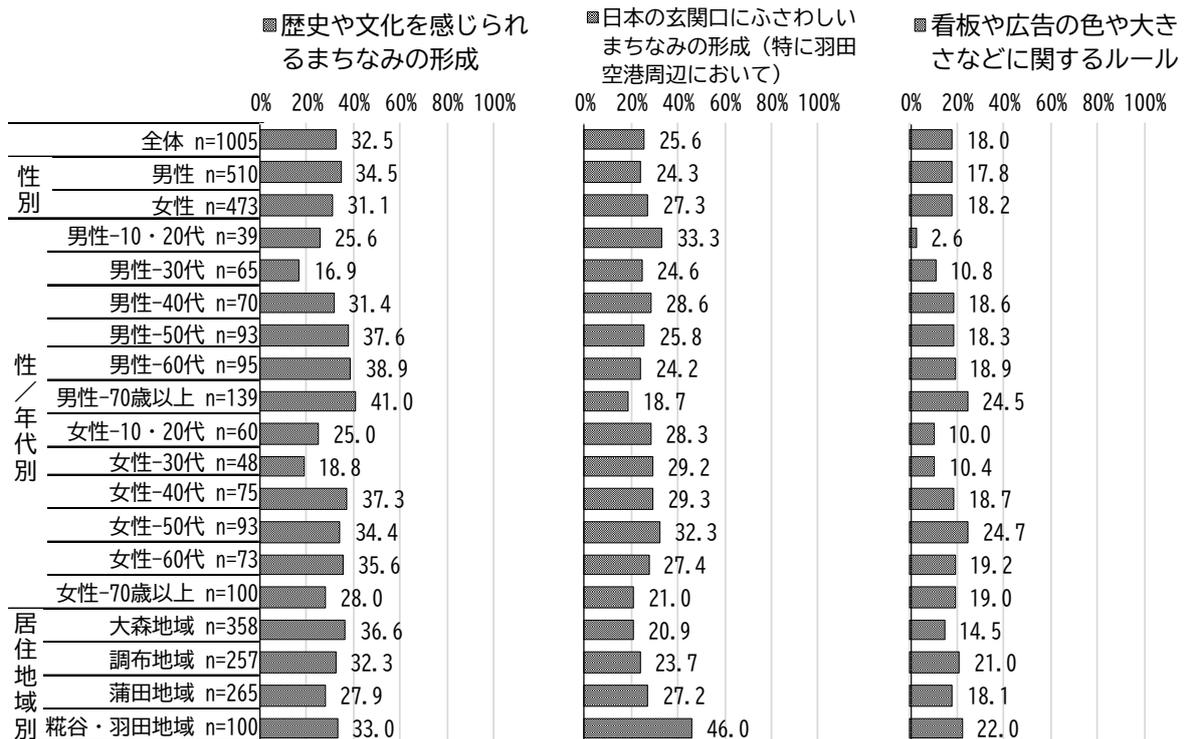
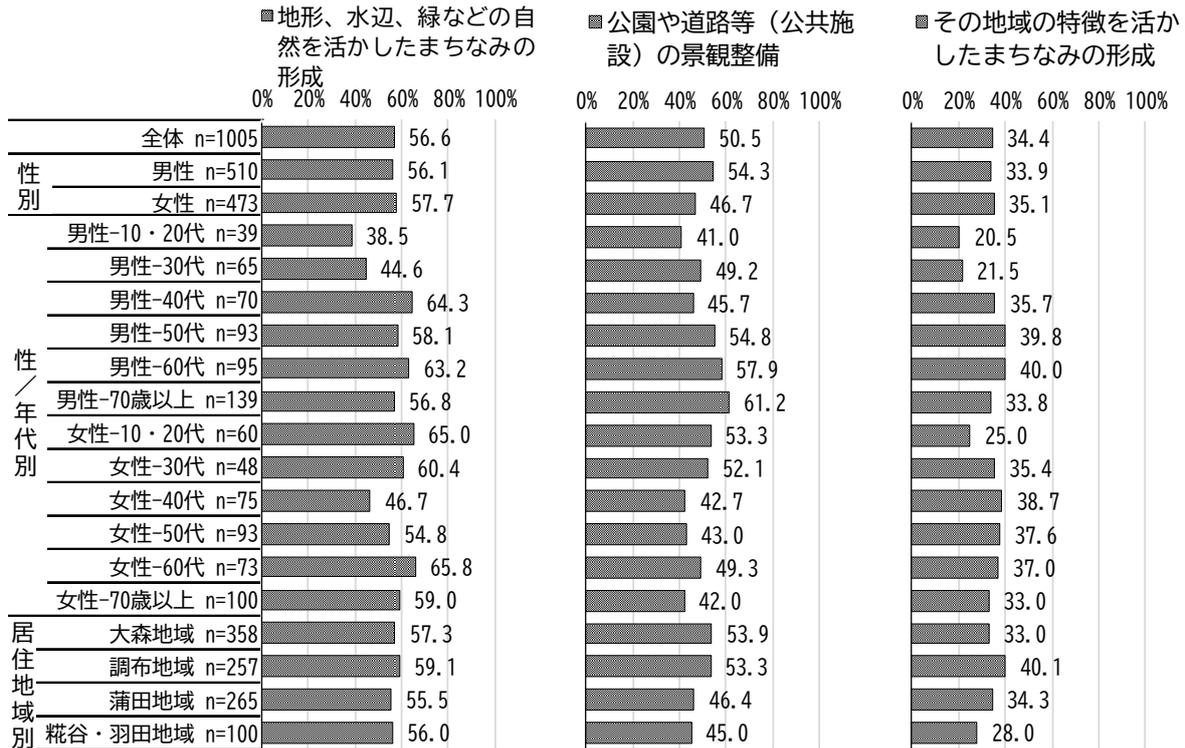


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「公園や道路等（公共施設）の景観整備」は男性が54.3%、女性が46.7%と男性が7.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「地形、水辺、緑などの自然を活かしたまちなみの形成」は男性40代、女性10・20代、60代で6割半ば、男性60代で6割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「日本の玄関口にふさわしいまちなみの形成（特に羽田空港周辺において）」は糀谷・羽田地域で4割半ばと高くなっている。



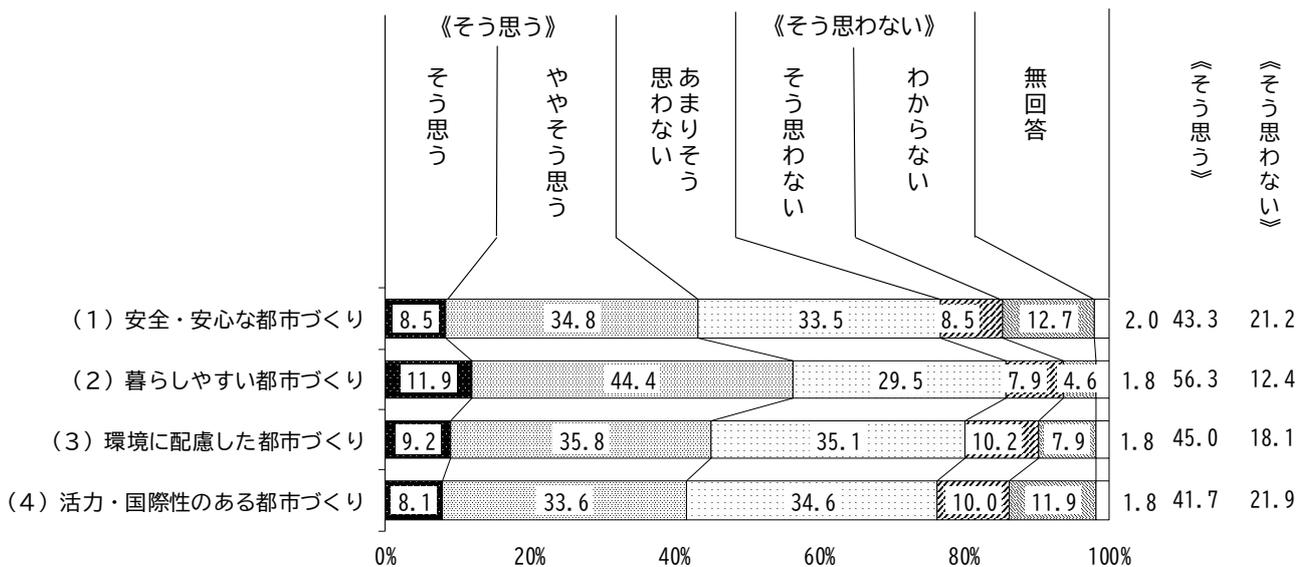
(5) まちづくりの進捗に関する実感

◇ (2) 暮らしやすい都市づくりで《そう思う》(「そう思う」「ややそう思う」の合計値)は5割半ばと最も高くなっている

問18 あなたは、以下の区のまちづくりが進んでいると思いますか。(それぞれ1つのみ)

- (1) 安全・安心な都市づくり
- (2) 暮らしやすい都市づくり
- (3) 環境に配慮した都市づくり
- (4) 活力・国際性のある都市づくり

まちづくりが進んでいるかについては、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《そう思う》は(2)暮らしやすい都市づくりが56.3%で最も高く、次いで(3)環境に配慮した都市づくりが45.0%、(1)安全・安心な都市づくりが43.3%、(4)活力・国際性のある都市づくりが41.7%となっている。

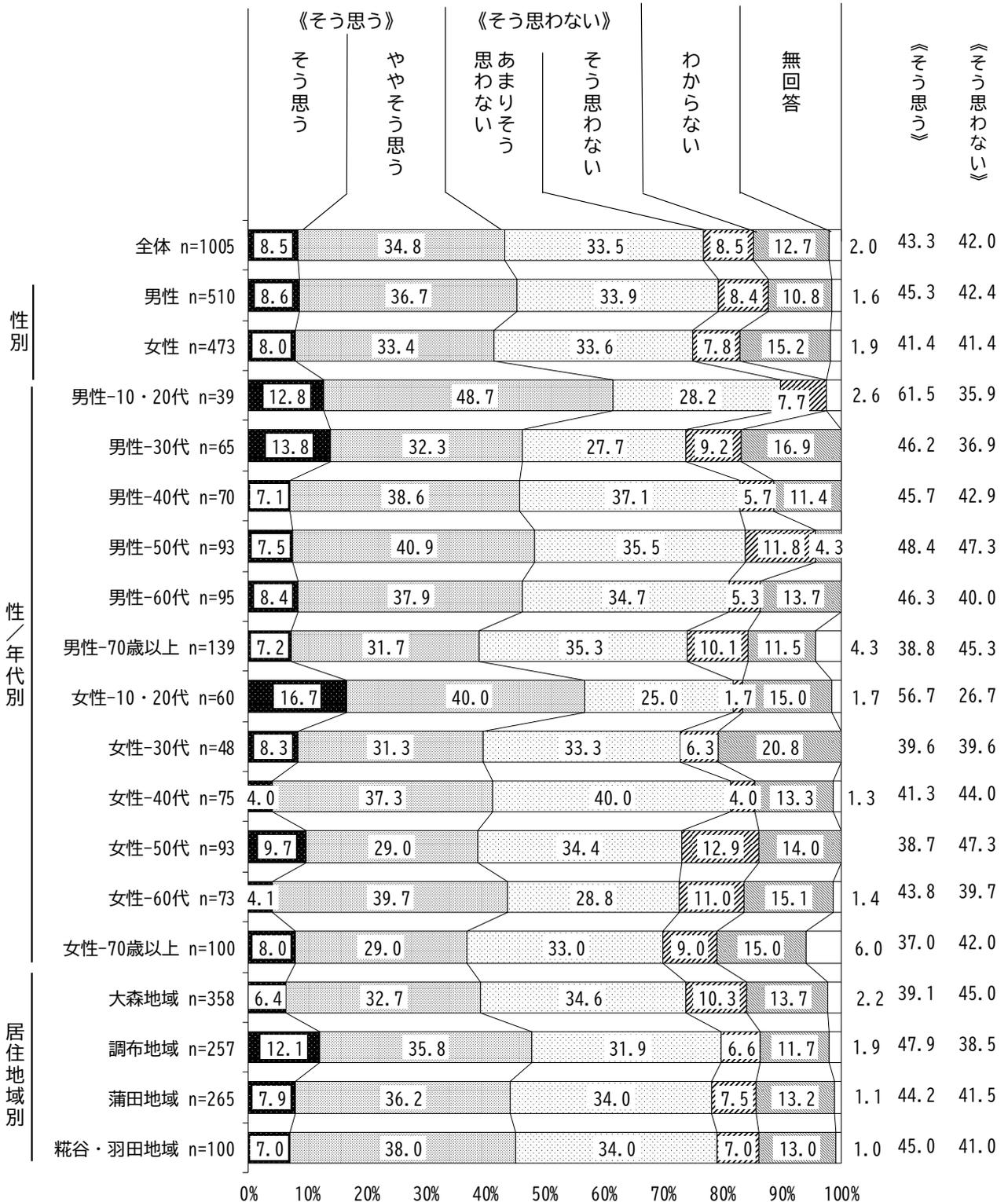


■性別・性／年代別・居住地域別 (1) 安全・安心な都市づくり

性別でみると、《そう思う》は男性が45.3%、女性が41.4%と、男性が3.9ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《そう思う》は男性10・20代で6割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《そう思う》は調布地域で4割後半と高くなっている。

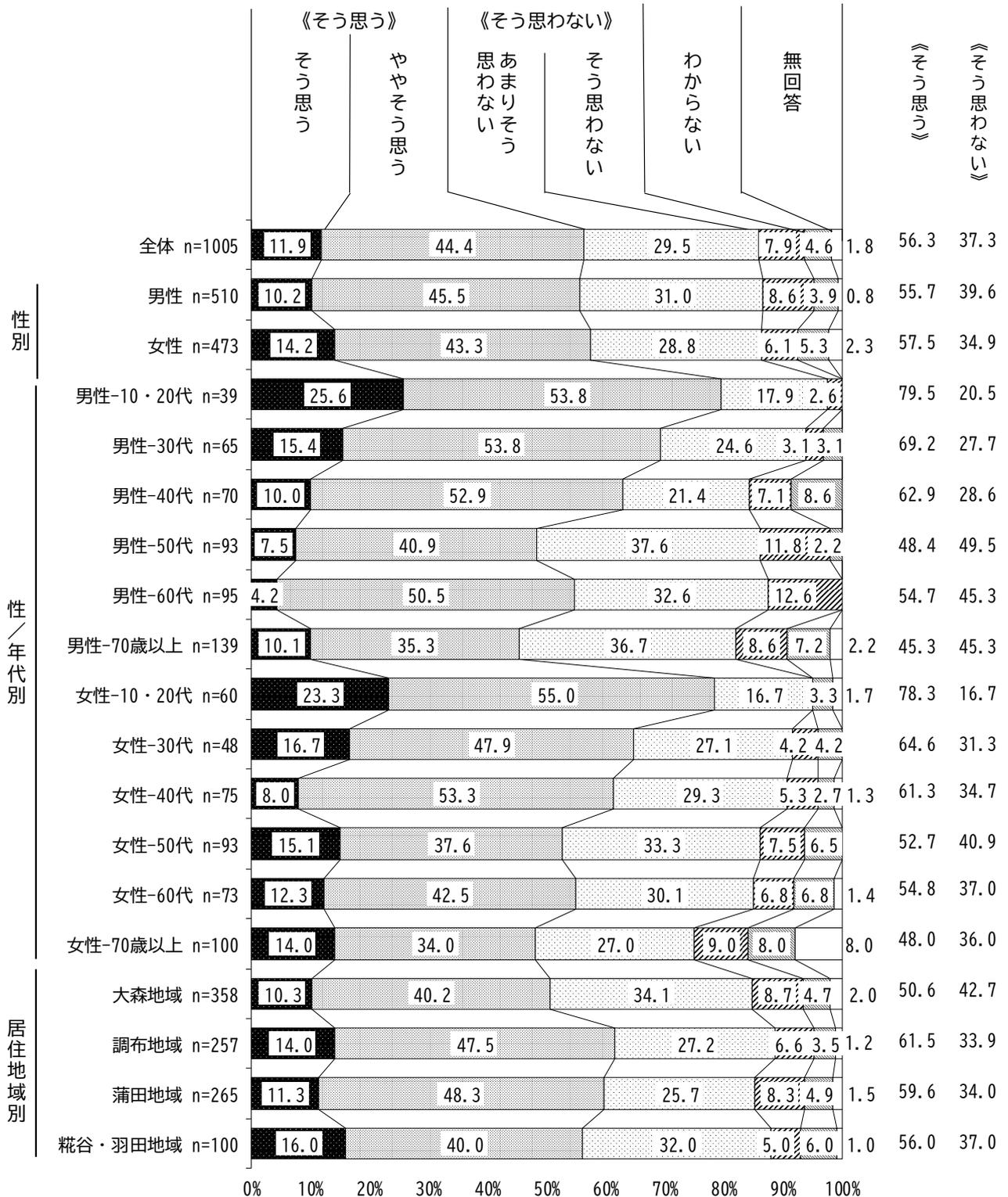


■性別・性／年代別・居住地域別 (2) 暮らしやすい都市づくり

性別で見ると、《そう思う》は男性が55.7%、女性が57.5%と、女性が1.8ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《そう思う》は男性10・20代で約8割、女性10・20代で7割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、《そう思う》は調布地域で6割前半となっている。

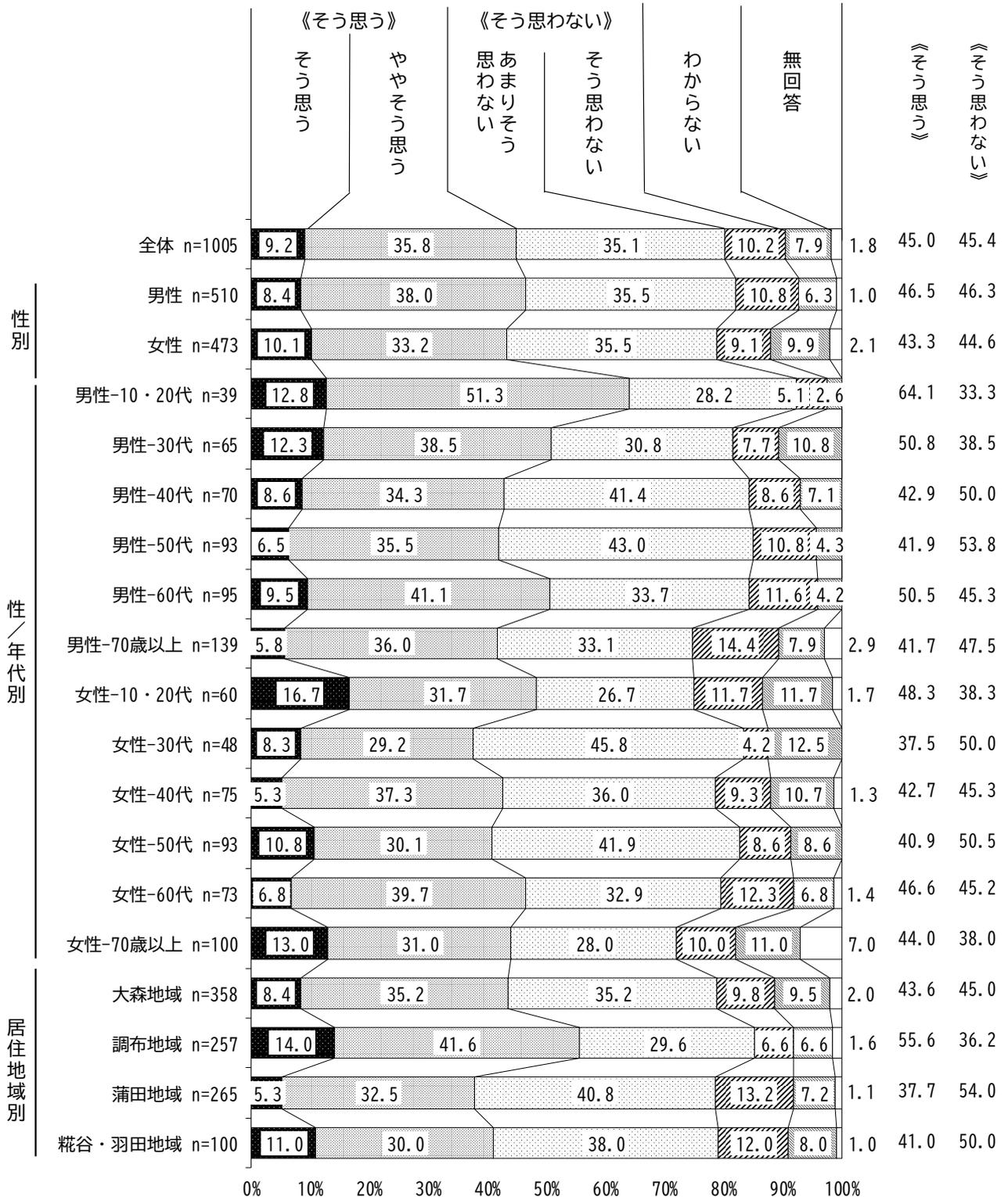


■性別・性／年代別・居住地別 (3) 環境に配慮した都市づくり

性別でみると、《そう思う》は男性が46.5%、女性が43.3%と、男性が3.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《そう思う》は男性10・20代で6割半ばと高くなっている。

居住地別でみると、《そう思う》は調布地域で5割半ばと高くなっている。

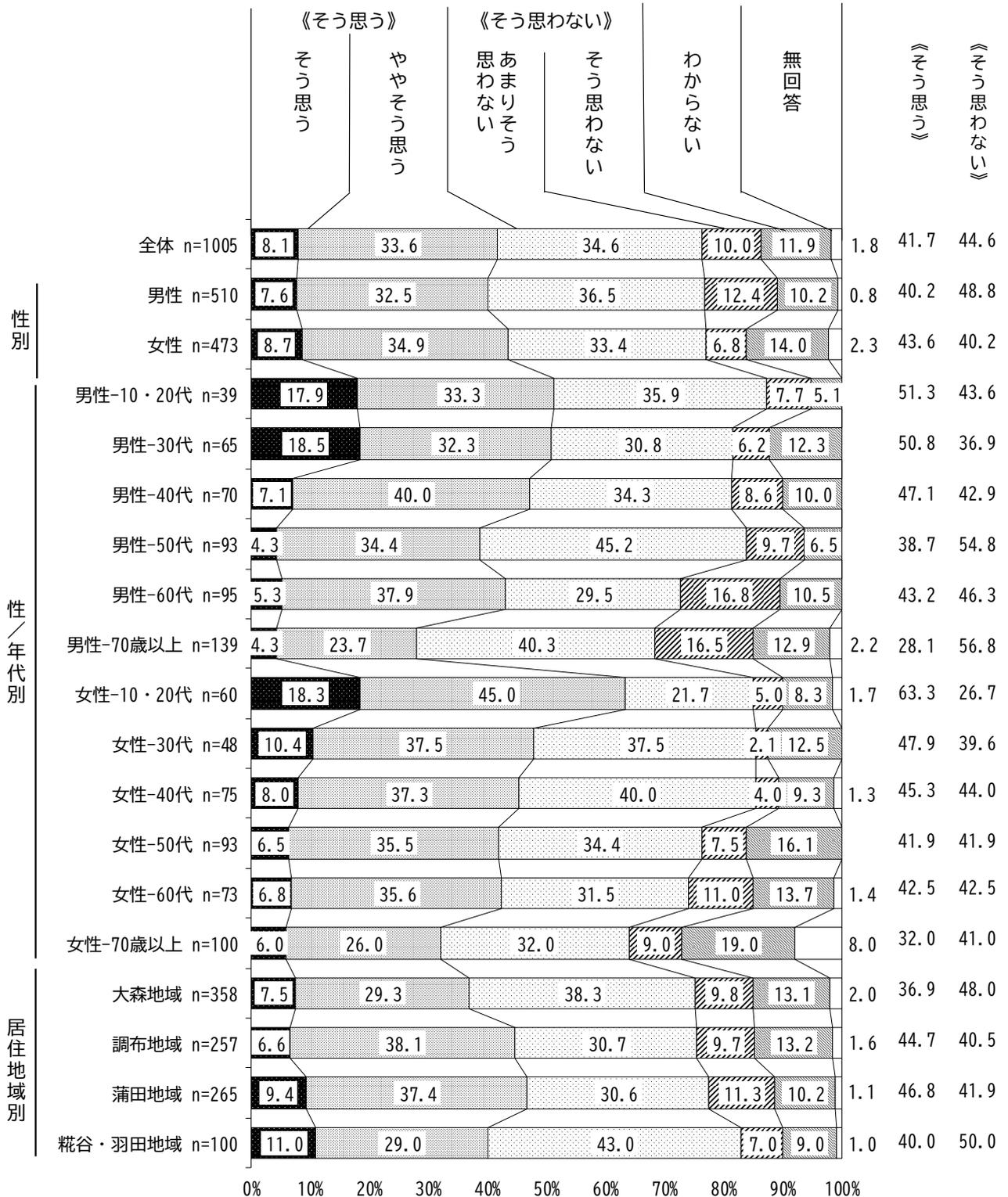


■性別・性／年代別・居住地域別 (4) 活力・国際性のある都市づくり

性別でみると、《そう思う》は男性が40.2%、女性が43.6%と、女性が3.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《そう思う》は女性10・20代で6割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《そう思う》は蒲田地域で4割後半と高くなっている。



8 鉄道駅周辺のまちづくりについて

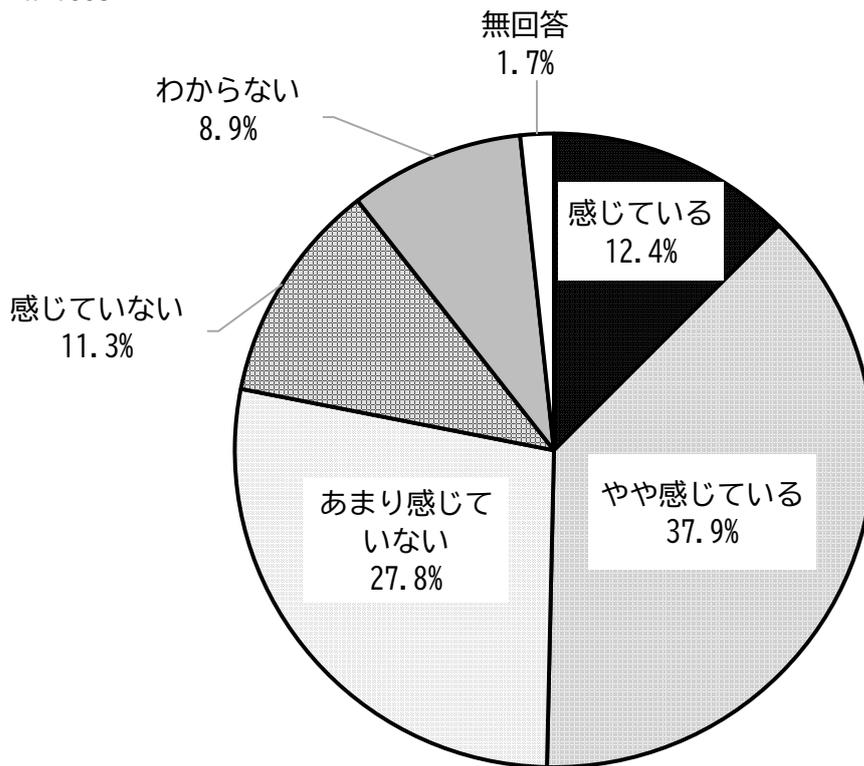
(1) 駅周辺の整備の進捗度

◇ 《感じている》（「感じている」「やや感じている」の合計値）は約5割となっている

問 19 区は、「大田区鉄道沿線まちづくり構想」において示した、沿線のまちの将来像やその実現に向けた道筋に基づき、官民が協働し、地域特性や限られた空間を最大限有効に活用しながら、安全かつ快適で利便性の高い個性的な都市空間を創出するよう取り組んでいます。現在、大田区内の駅周辺の整備が進んでいると感じますか。（1つのみ）

駅周辺の整備の進捗度については、「感じている」、「やや感じている」の合計値《感じている》が50.3%、「あまり感じていない」、「感じていない」の合計値《感じていない》が39.1%と、《感じている》が11.2ポイント上回っている。

全体 n=1005

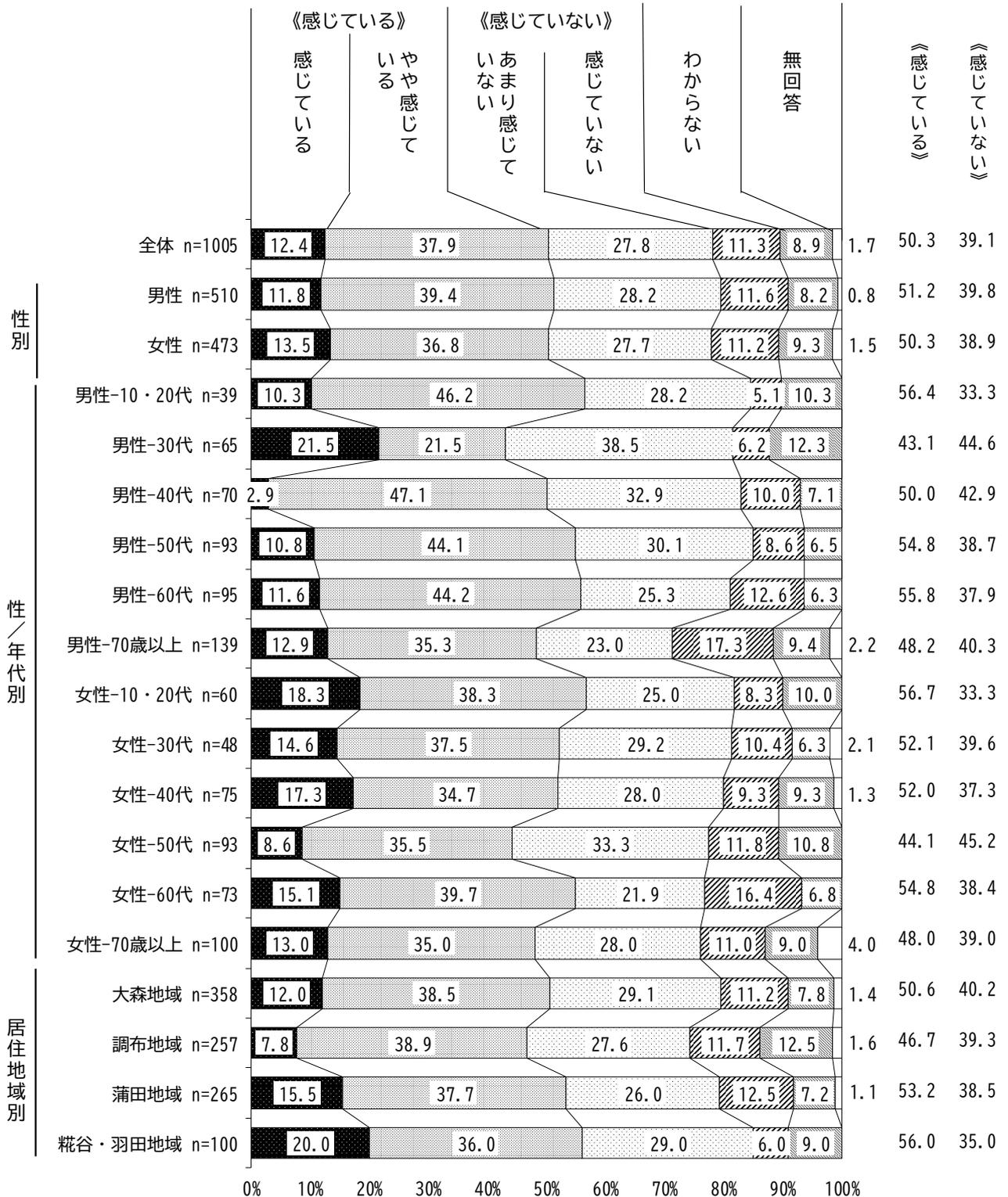


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《感じている》は女性10・20代で5割後半と最も高くなっている。次いで、男性10・20代、50代、60代、女性60代で5割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《感じている》は糞谷・羽田地域で5割半ばと高くなっている。



9 国際交流・多文化共生について

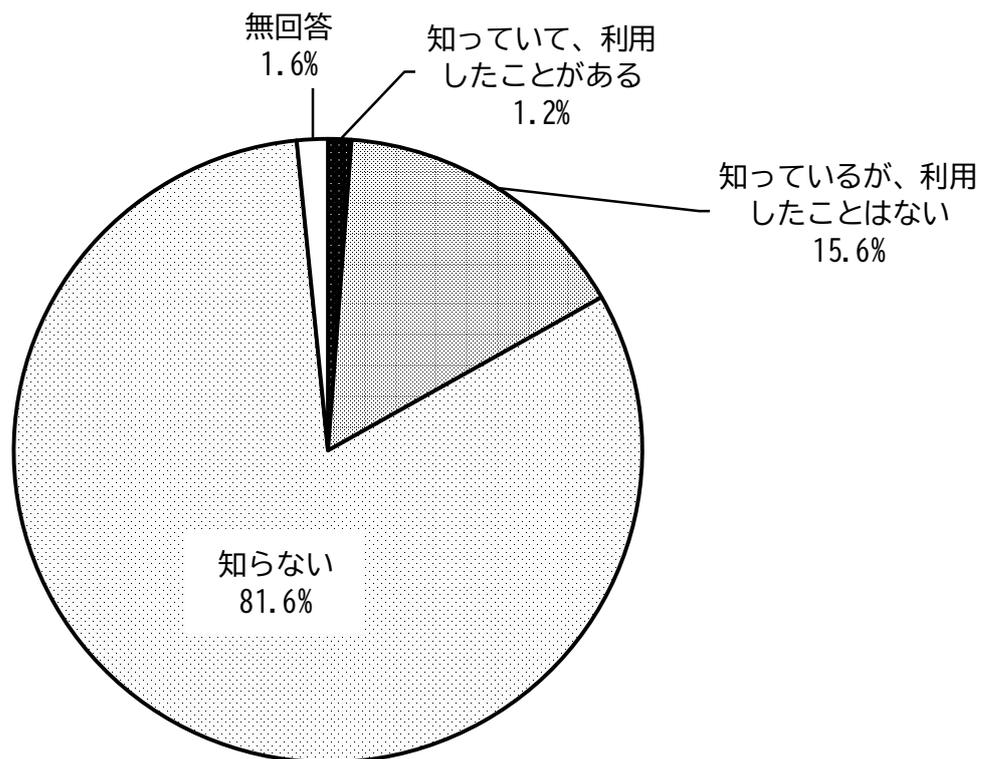
(1) おおた国際交流センター (Minto Ota)の認知度

◇ 《知っている》(「知っている、利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」の合計値)は1割後半となっている

問 20 大田区における国際交流と多文化共生を一体的に進めていく施設として、おおた国際交流センター (Minto Ota)があることを知っていますか。(1つのみ)

おおた国際交流センター (Minto Ota)の認知度については、「知っている、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》が16.8%となっている。一方、「知らない」が81.6%と、「知らない」が64.8ポイント上回っている。

全体 n=1005

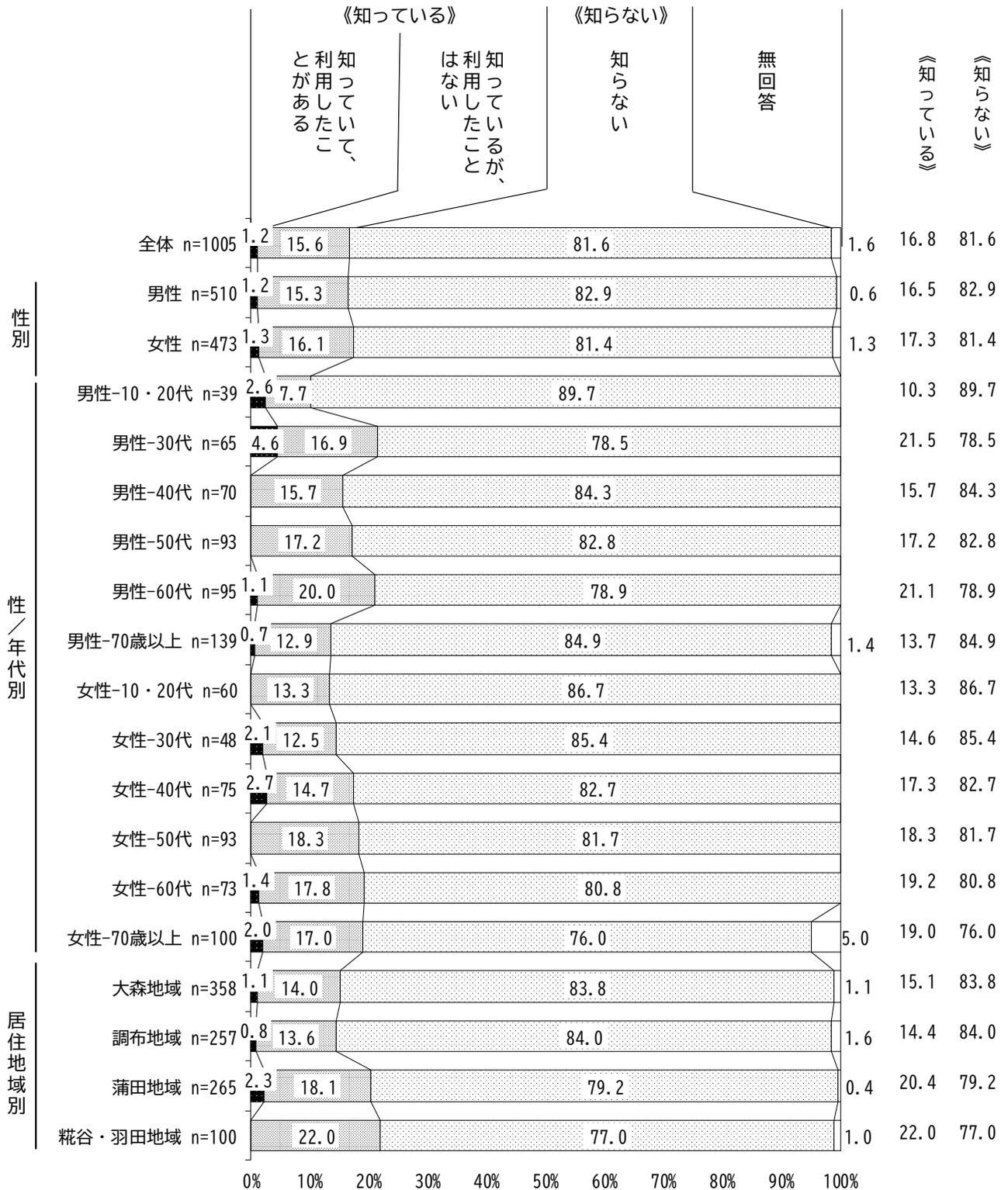


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》に大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《知っている》は男性60代で2割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《知っている》は糞谷・羽田地域で2割前半と高くなっている。



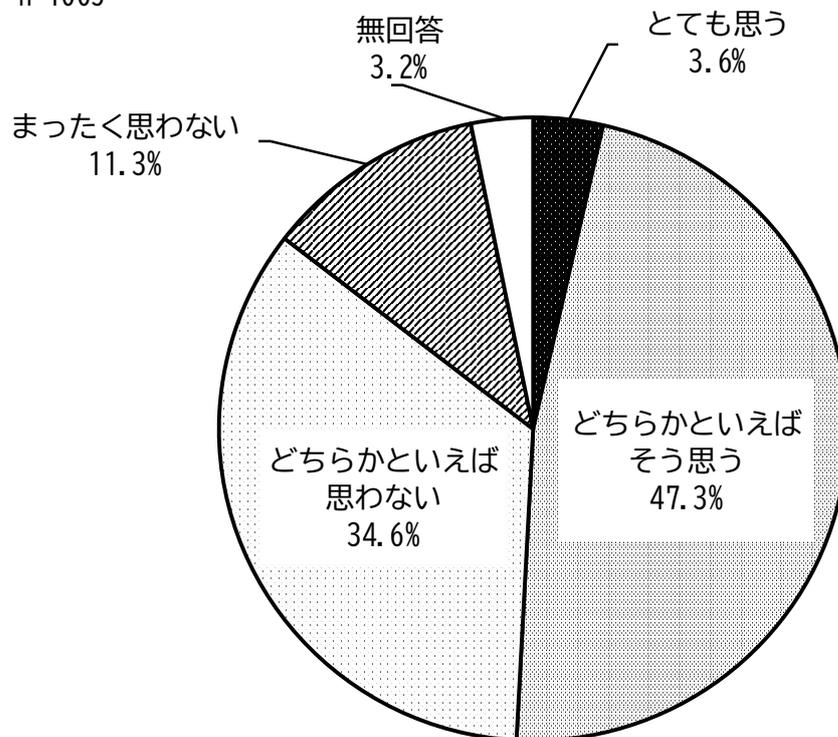
(2) 日本人と外国人の共生

◇《思う》(「とても思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値)は約5割となっている

問 21 大田区では日本人と外国人が互いに認め合い、ともに地域社会の構成員として暮らしていると思いますか。(1つのみ)

日本人と外国人の共生については、「とても思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計値《思う》が50.8%、「どちらかといえば思わない」、「まったく思わない」の合計値《思わない》が46.0%と、《思う》が4.8ポイント上回っている。

全体 n=1005

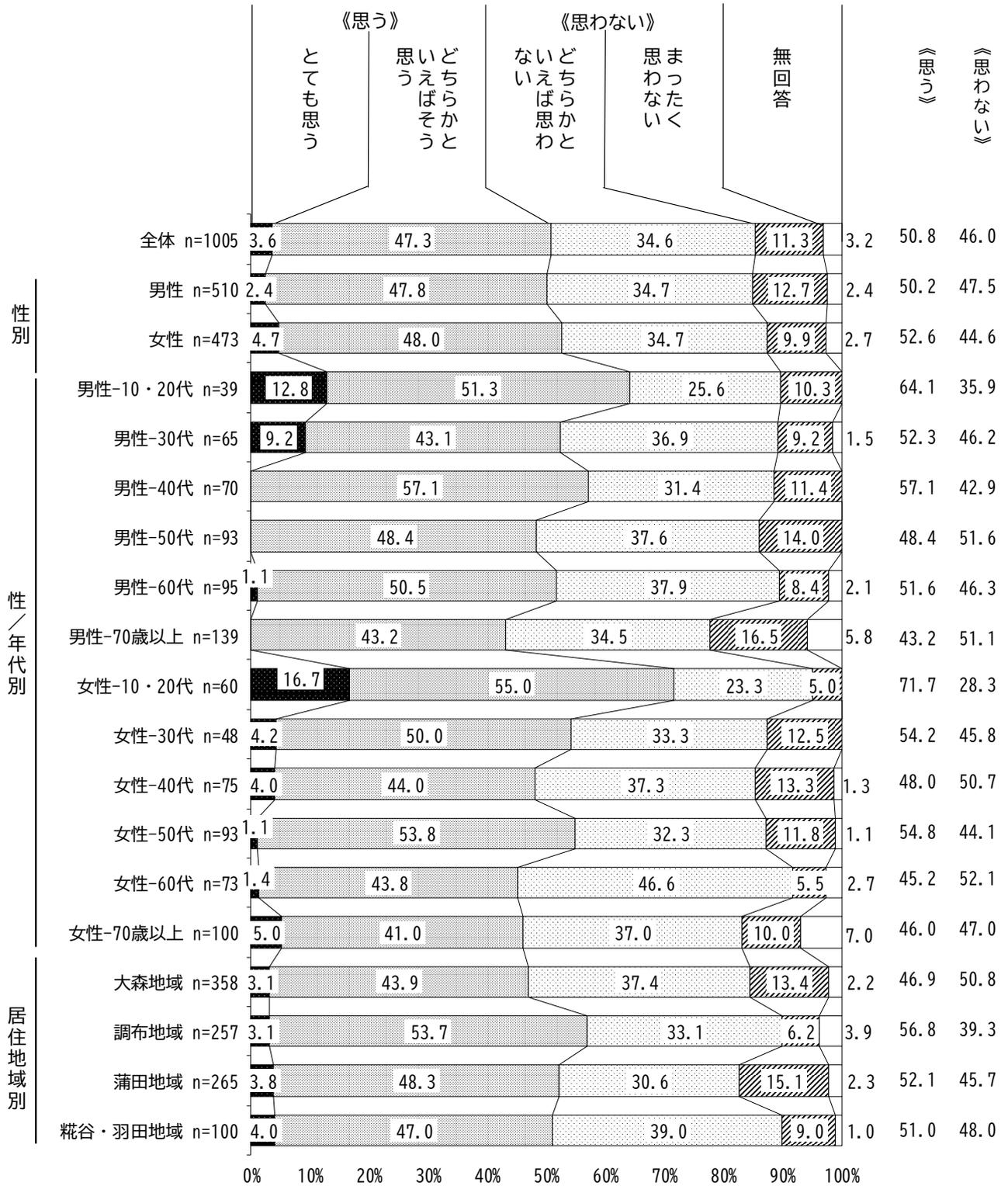


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《思う》は男性が50.2%、女性が52.6%と、女性が2.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《思う》は女性10・20代で7割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は調布地域で5割後半と高くなっている。



10 羽田空港跡地・羽田イノベーションシティについて

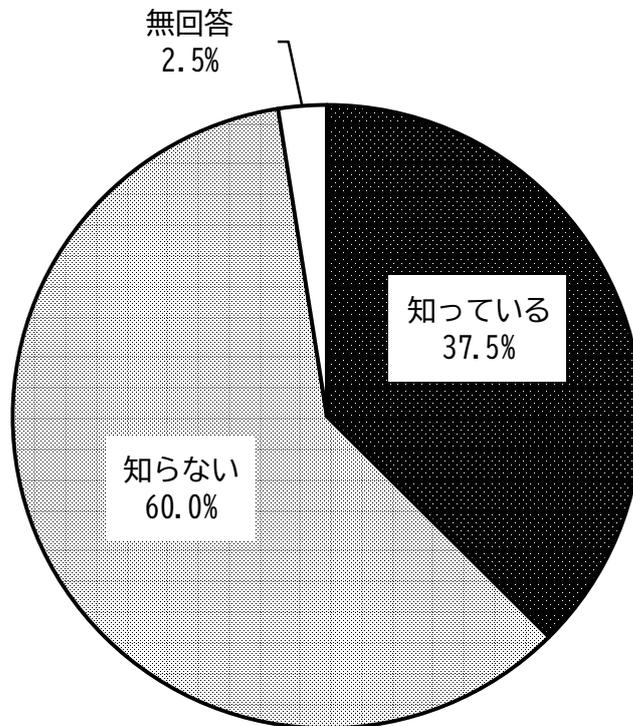
(1) 羽田イノベーションシティの認知度

◇「知っている」は3割後半となっている

問 22 羽田空港跡地第1ゾーンに開業した「羽田イノベーションシティ¹⁴」について知っていますか。(1つのみ)

羽田イノベーションシティの認知度については、「知っている」が37.5%となっている。一方、「知らない」が60.0%と、「知らない」が22.5ポイント上回っている。

全体 n=1005



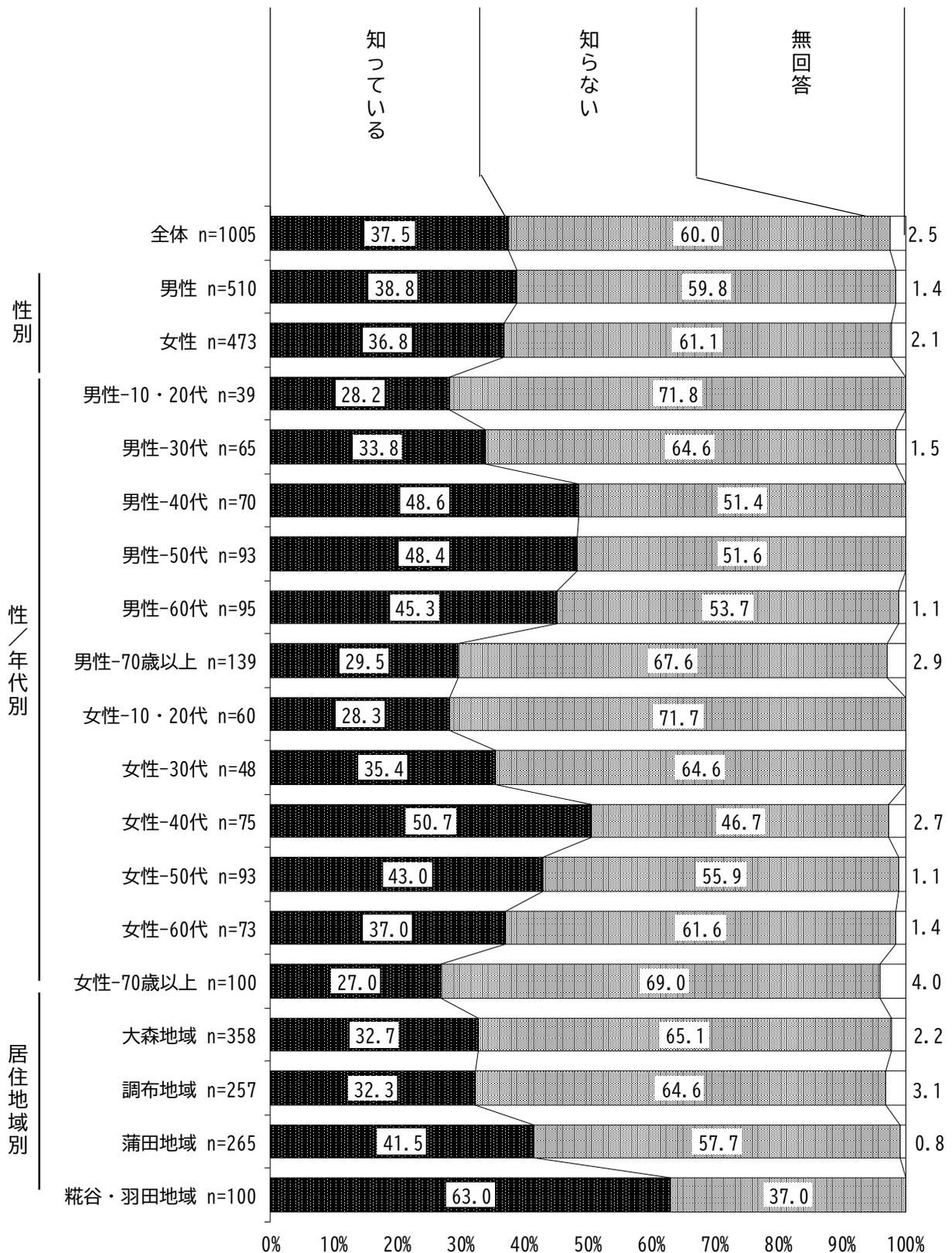
¹⁴ 「新産業創造・発信拠点」の形成に向けて、世界と地域をつなぐゲートウェイとして、国内外のヒト・モノ・情報を集積し、ここに集う国内外のプレイヤーが互いに交流することによる新たなビジネスやイノベーションの創造や、国内外に日本のものづくり技術や日本各地域の魅力を発信する目的で整備したまち

■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「知っている」は男性が38.8%、女性が36.8%となっており、男性が2.0ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「知っている」は女性40代で約5割と最も高くなっている。次いで、男性40代、50代、60代、女性50代で4割台と高くなっている。

居住地域別で見ると、「知っている」は糞谷・羽田地域で6割前半と高くなっている。



(2) 羽田イノベーションシティへの期待感や満足感

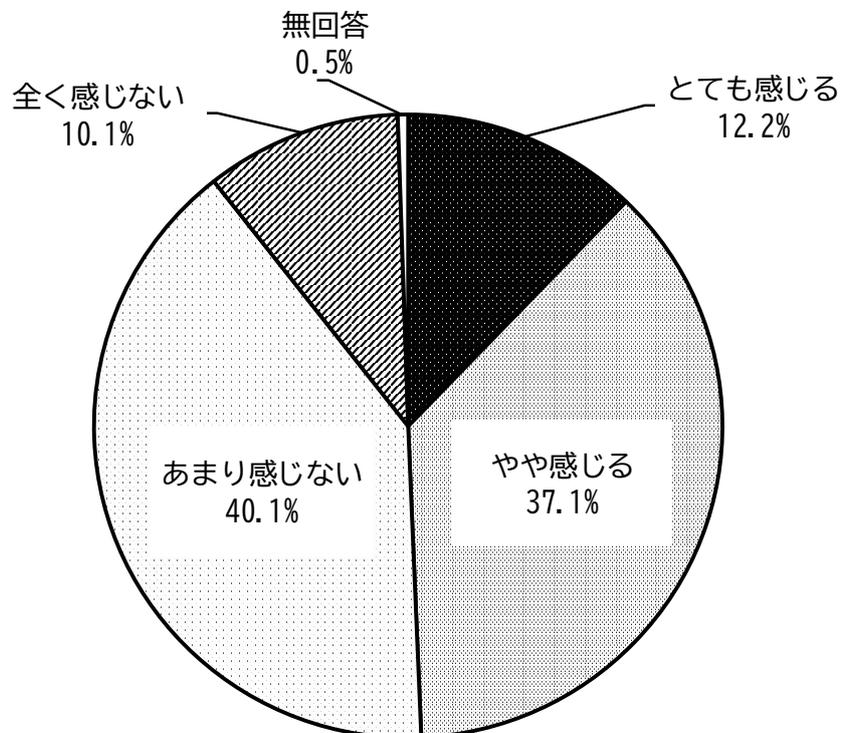
◇《感じる》(「とても感じる」「やや感じる」の合計値)は約5割となっている

【問 22 で「1 知っている」と回答した方に伺います。】

問 22-1 羽田イノベーションシティのようなまちができたことについて、区民として期待感や満足感、誇らしさを感じますか。(1つのみ)

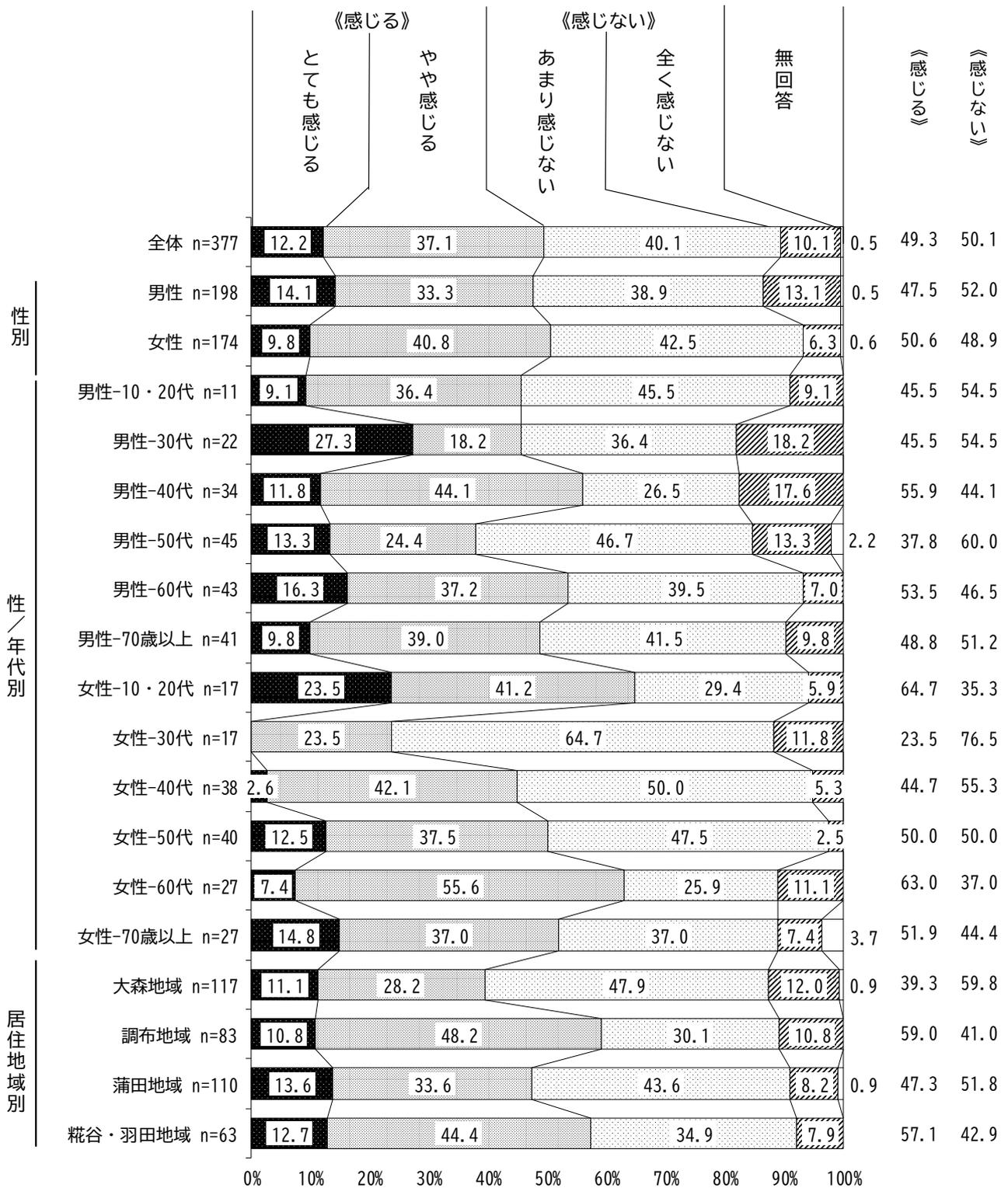
羽田イノベーションシティへの期待感や満足感については、「とても感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》は49.3%となっている。一方、「あまり感じない」、「まったく感じない」の合計値《感じない》は50.1%と、《感じる》が0.8ポイント上回っている。

全体 n=377



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は男性が47.5%、女性が50.6%と女性が3.1ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、《感じる》は女性10・20代で6割半ばと高くなっている。
 居住地域別でみると、《感じる》は調布地域で約6割と高くなっている。

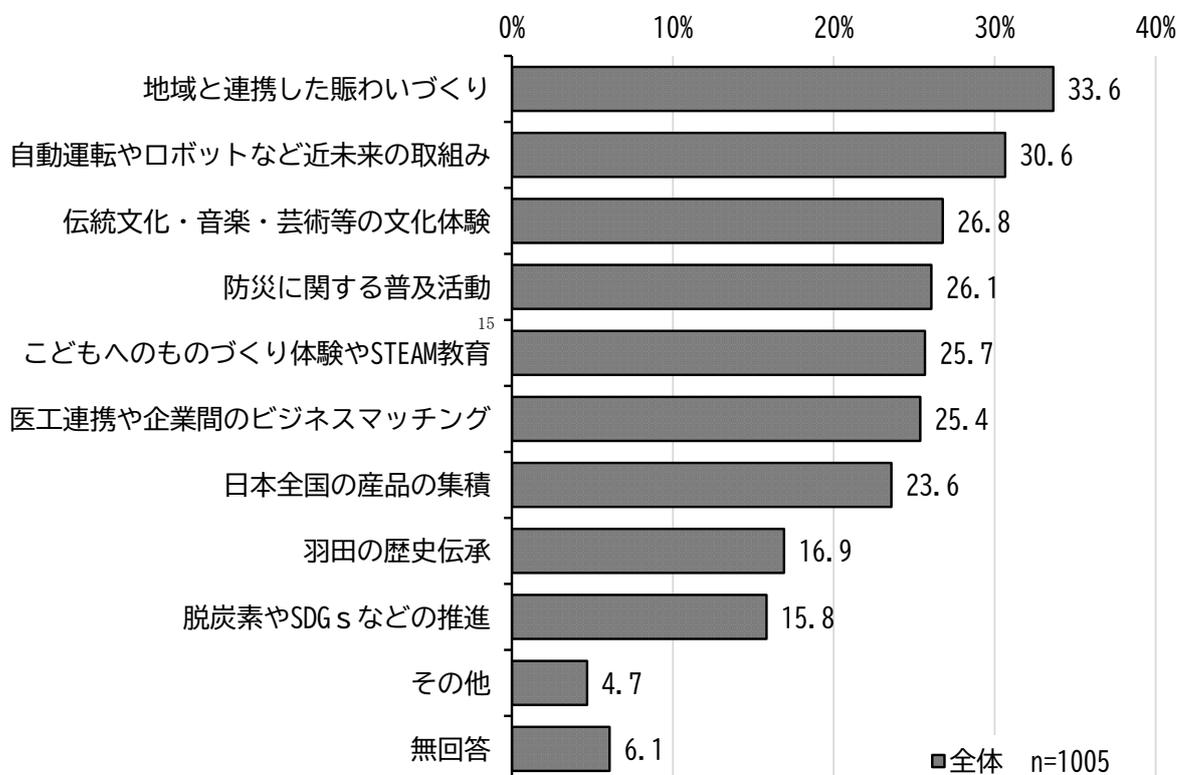


(3) 羽田イノベーションシティの取組みのうち、期待するもの

◇「地域と連携した賑わいづくり」が3割半ばで最も高くなっている。

問 23 羽田イノベーションシティの取組みのうち、期待するものはありますか。(複数選択可)

羽田イノベーションシティの取組みのうち、期待するものについては、「地域と連携した賑わいづくり」が33.6%と最も高く、次いで「自動運転やロボットなど近未来の取組み」が30.6%、「伝統文化・音楽・芸術等の文化体験」が26.8%となっている。



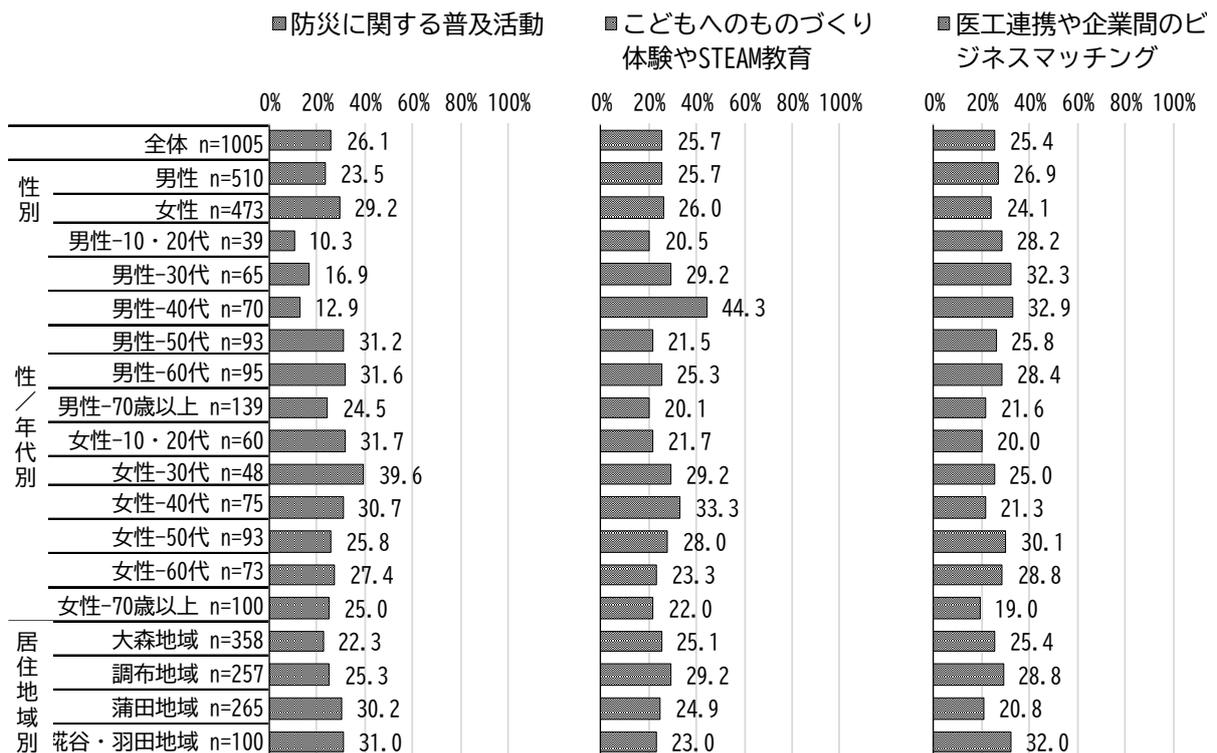
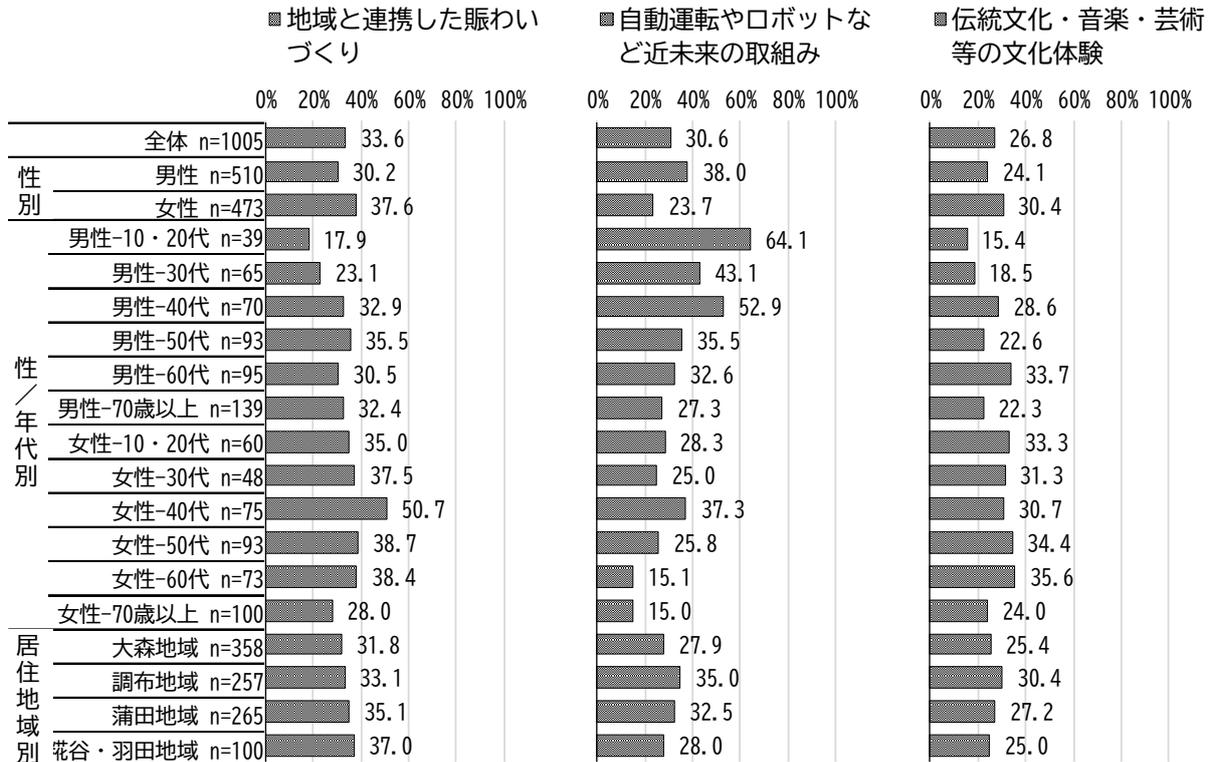
¹⁵ Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Mathematics (数学) を統合的に学習する「STEM (ステム) 教育」に、さらに Arts (美術、音楽、文学、歴史に関わる学習等) を統合する教育手法

■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、「地域と連携した賑わいづくり」は男性が30.2%、女性が37.6%と、女性が7.4ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「地域と連携した賑わいづくり」は女性40代で約5割と高くなっている。

居住地域別で見ると、「地域と連携した賑わいづくり」は糀谷・羽田地域で37.0%と高くなっている。



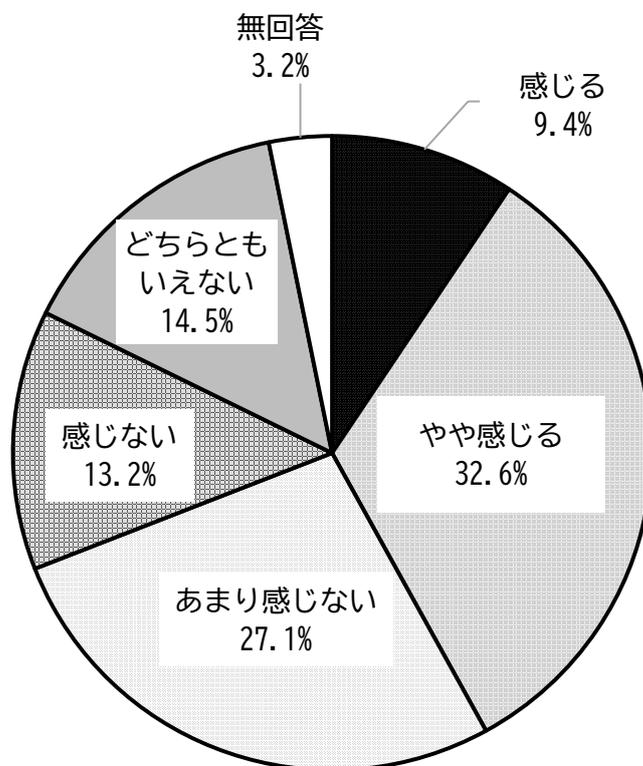
(4) 遊ぶ場所、働く場所としての空港臨海部の魅力

◇《感じる》(「とても感じる」「やや感じる」の合計値)は4割前半となっている

問 24 遊ぶ場所、働く場所として空港臨海部に魅力を感じますか。(1つのみ)

遊ぶ場所、働く場所としての空港臨海部の魅力については、「感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》は42.0%となっている。一方、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》は40.3%と、《感じる》が1.7ポイント上回っている。

全体 n=1005

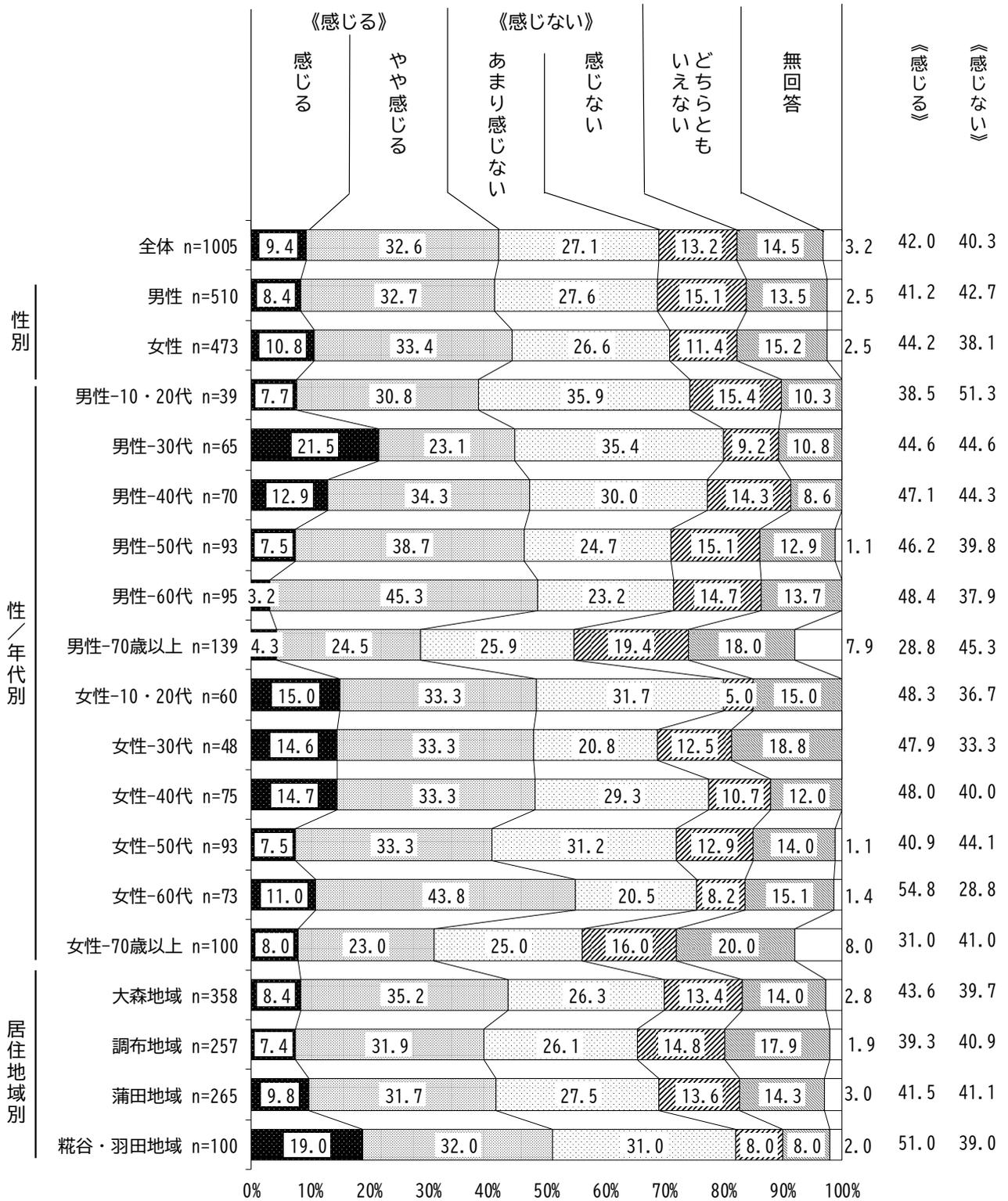


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は男性が41.2%、女性が44.2%と、女性が3.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《感じる》は女性60代で5割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《感じる》は糀谷・羽田地域で5割前半と高くなっている。



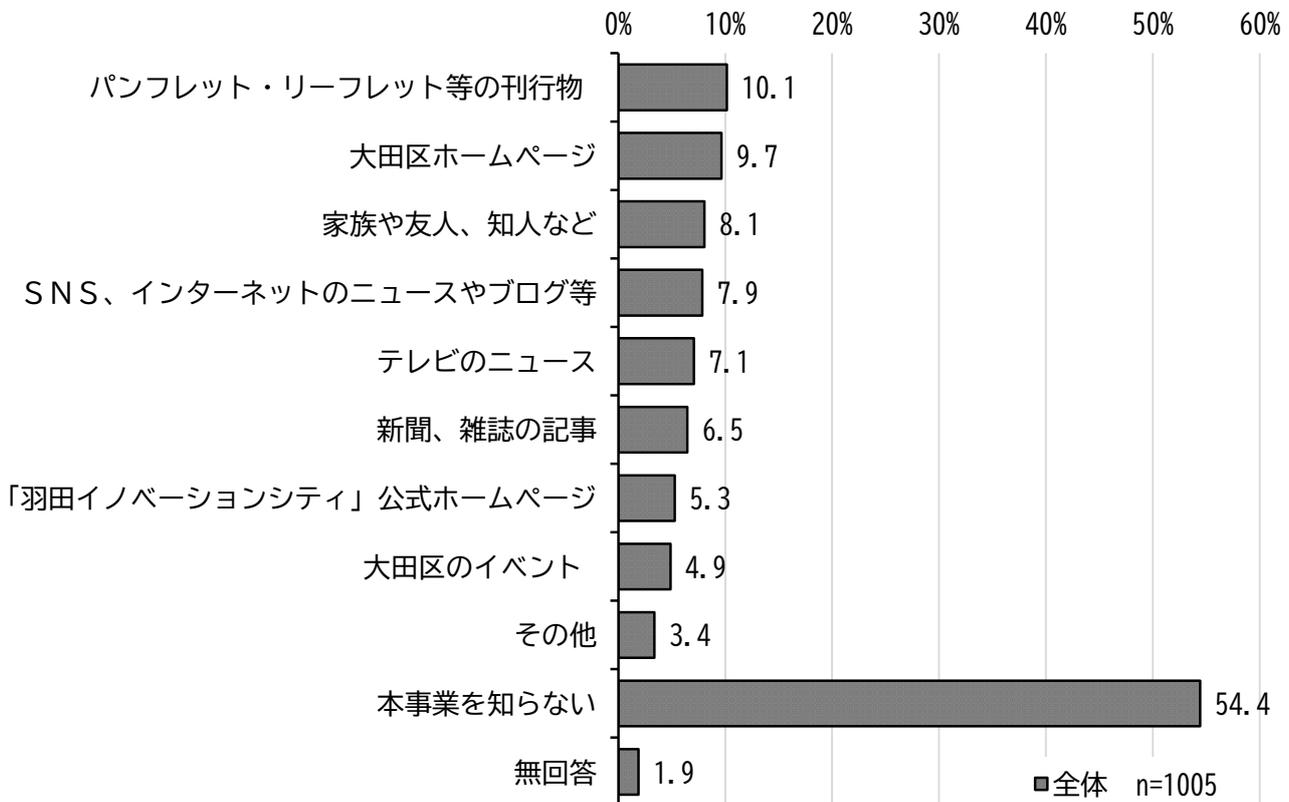
(5) 羽田空港跡地まちづくりを知る手段

◇「本事業を知らない」が5割半ばと最も高くなっている

問 25 空港の沖合移転に伴い発生した天空橋駅周辺の羽田空港跡地のまちづくり「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業（ZeppHaneda 等のある HICity を含む）」が進められていることについて、どのように知りましたか。（複数選択可）

羽田空港跡地まちづくりを知る手段は、「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が10.1%で最も高く、次いで「大田区ホームページ」が9.7%、「家族や友人、知人など」が8.1%、「SNS、インターネットのニュースやブログ等」が7.9%となっている。

なお、「本事業を知らない」は54.4%となっている。

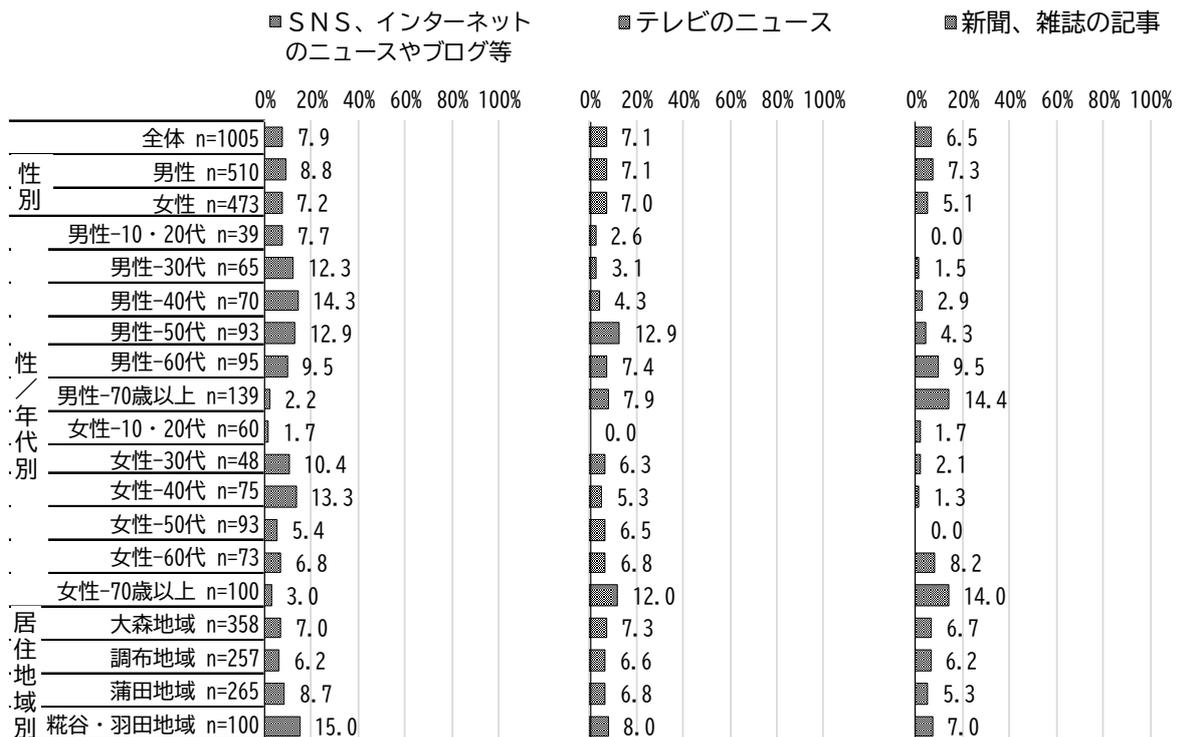
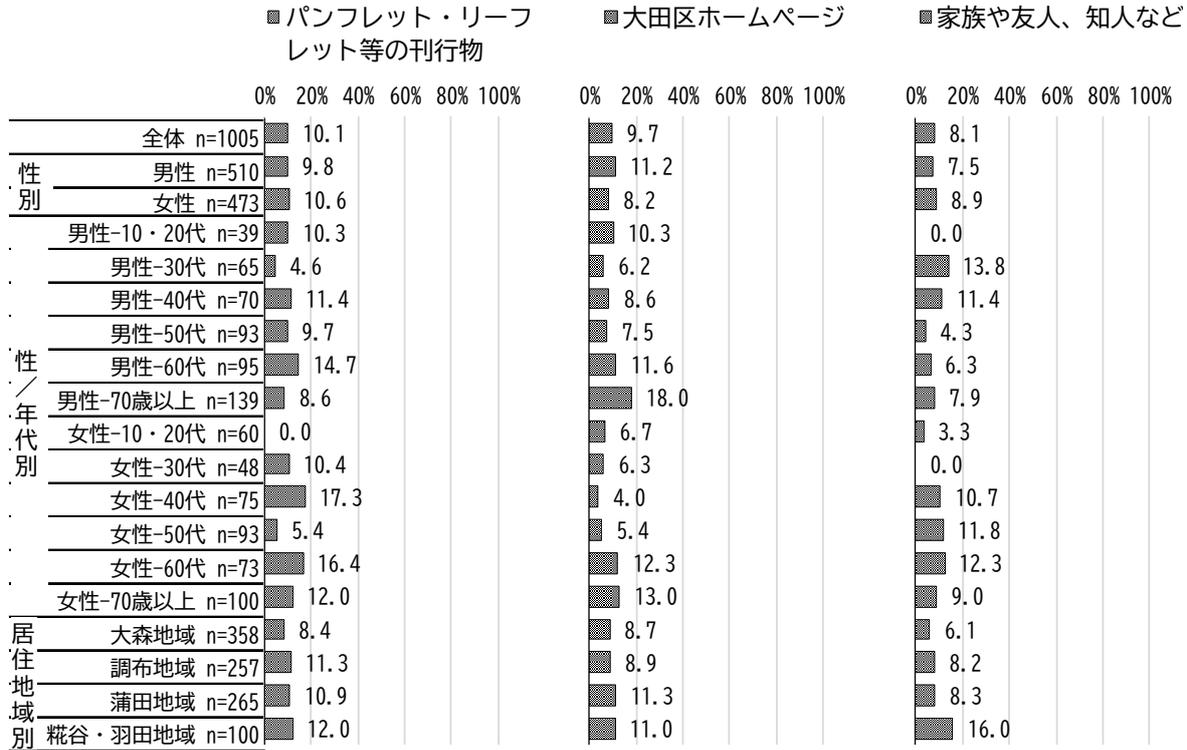


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「大田区ホームページ」は男性が11.2%、女性が8.2%と男性が3.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「大田区ホームページ」は男性70歳以上で1割後半、男性60代、女性60代、70歳以上で1割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「家族や友人、知人など」は糞谷・羽田地域で16.0%と高くなっている。

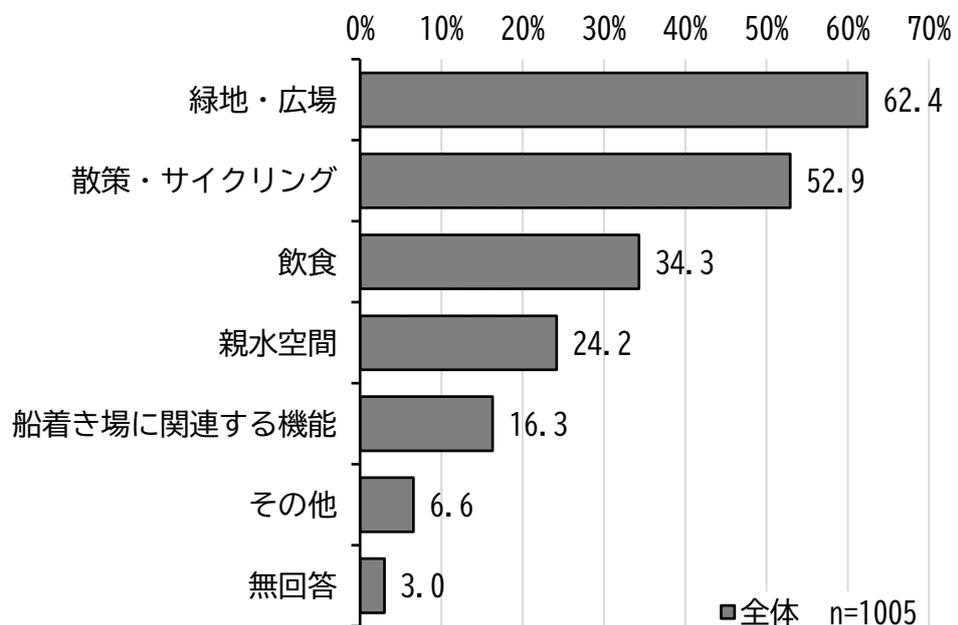


(6) 羽田空港跡地第1ゾーンに望む機能

◇「緑地・広場」が6割前半と最も高くなっている

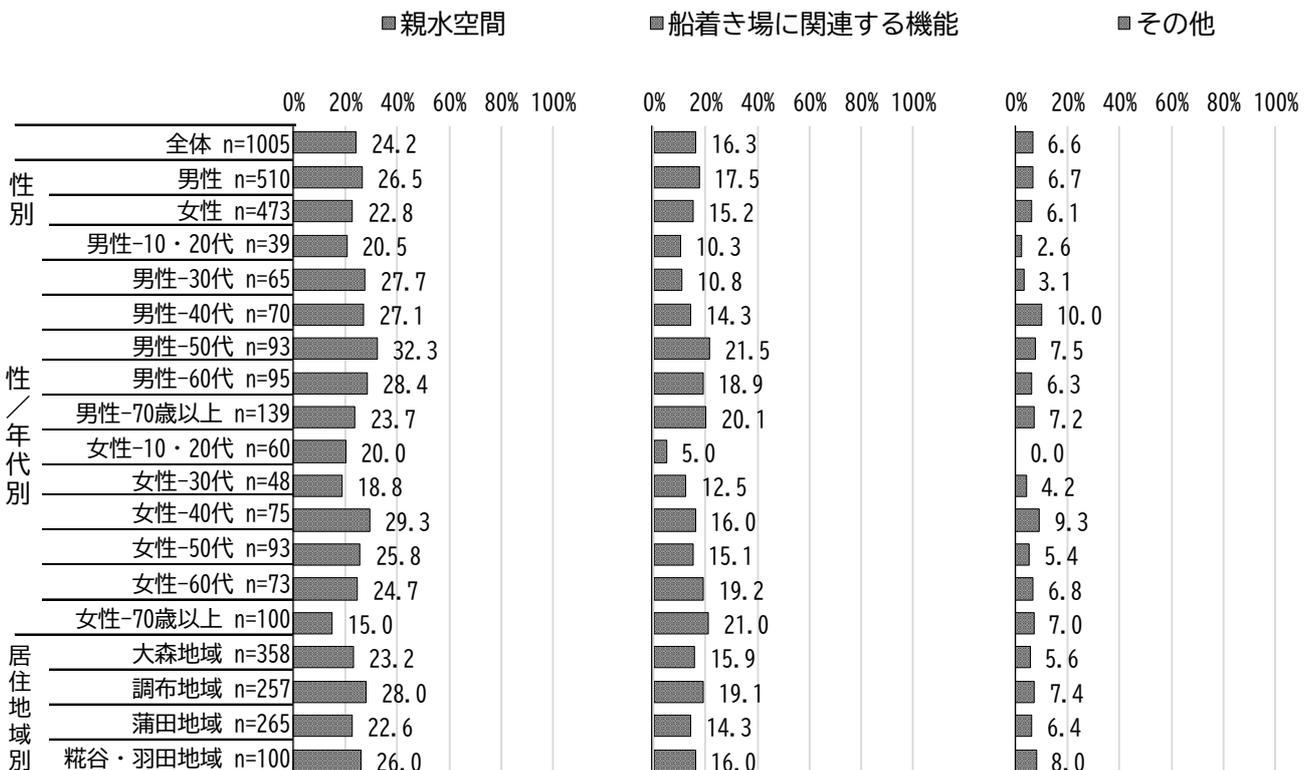
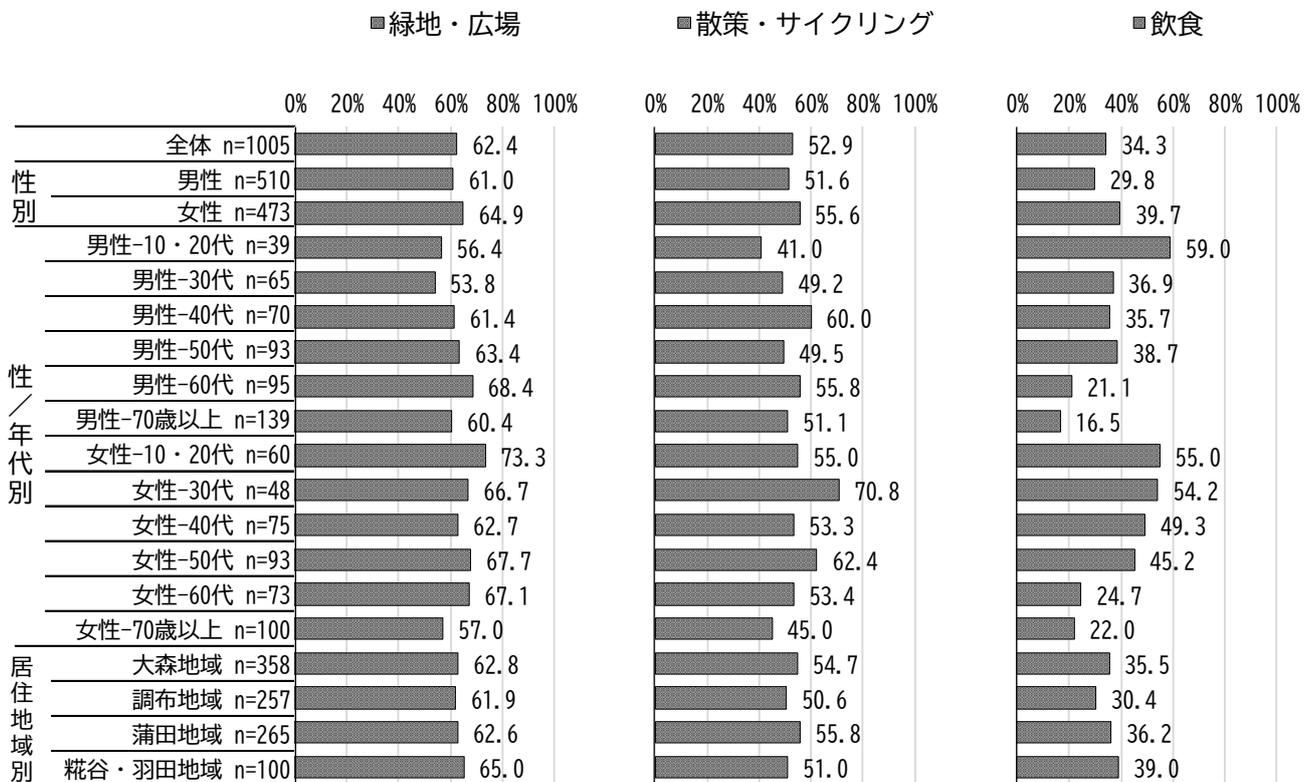
問 26 羽田空港跡地第1ゾーンで国が所管している天空橋駅西側、海老取川沿い、区画街路第4号線南側については、具体的な整備・運営方針は未定ですが、これらの場所にどのような機能があったらいいと考えますか。(複数選択可)

羽田空港跡地第1ゾーン整備に望む機能は、「緑地・広場」が62.4%で最も高く、次いで「散策・サイクリング」が52.9%、「飲食」が34.3%、「親水空間」が24.2%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「飲食」は男性が29.8%、女性が39.7%と、女性が9.9ポイント上回っている。
 性／年代別で見ると、「散策・サイクリング」は女性30代で約7割と高くなっている。
 居住地域別で見ると、「緑地・広場」は糞谷・羽田地域で65.0%と高くなっている。



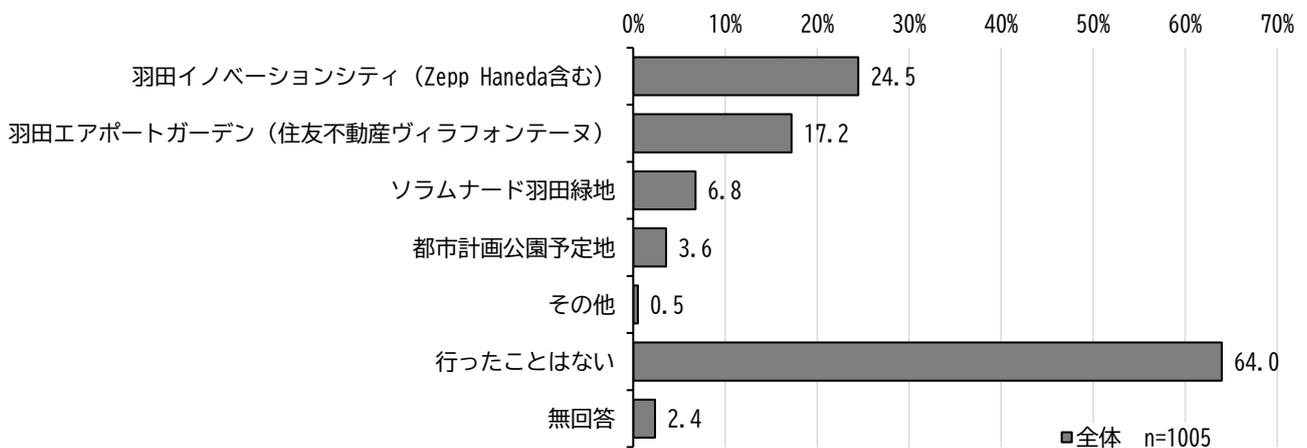
(7) HANEDA GLOBAL WINGS エリアの利用したことがある施設

◇「羽田イノベーションシティ (Zepp Haneda 含む)」が2割半ばで最も高くなっている

問 27 HANEDA GLOBAL WINGS エリア内の以下の施設や場所に行ったことがありますか。
行ったことのある場所すべてに○をつけてください。

HANEDA GLOBAL WINGS エリアの利用したことがある施設については、「羽田イノベーションシティ (Zepp Haneda 含む)」が 24.5%で最も高く、次いで「羽田エアポートガーデン (住友不動産ヴィラフォンテーヌ)」が 17.2%、「ソラムナード羽田緑地」が 6.8%となっている。

なお、「行ったことはない」は 64.0%となっている。

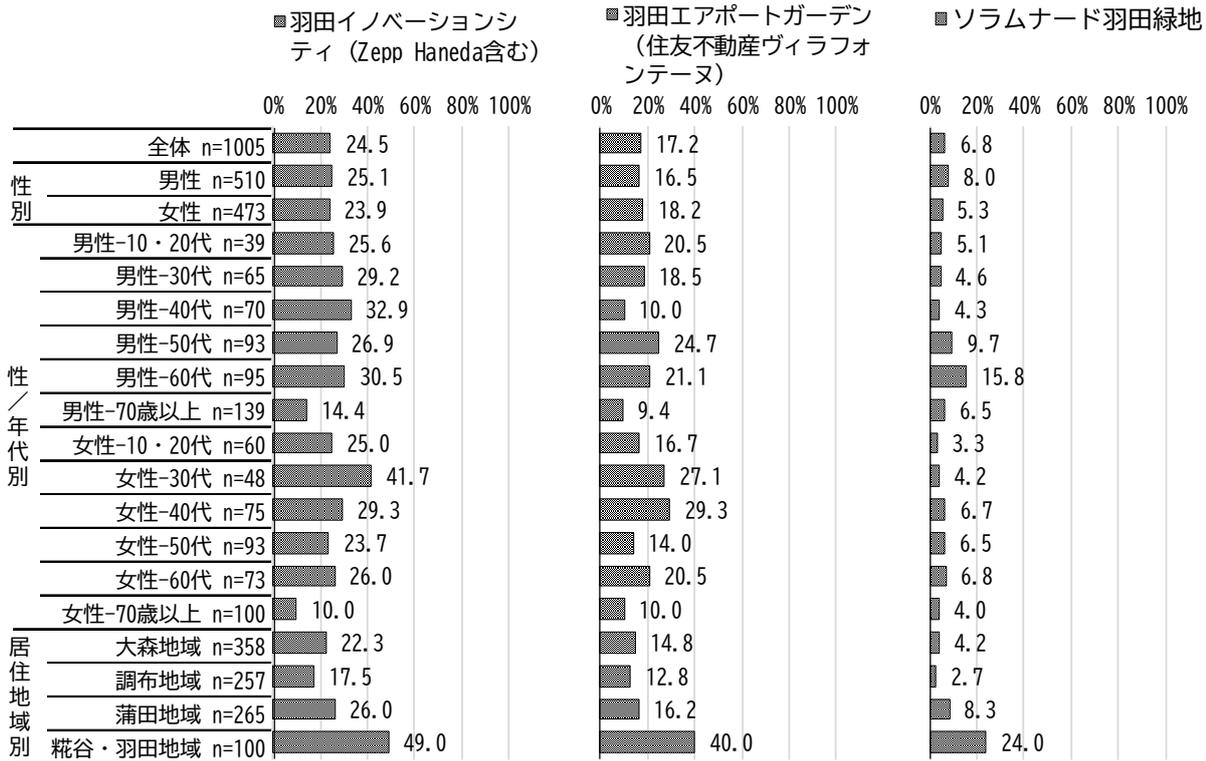


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「羽田イノベーションシティ (Zepp Haneda 含む)」は男性が 25.1%、女性が 23.9% となっており、男性が 1.2 ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「羽田イノベーションシティ (Zepp Haneda 含む)」は女性 30 代で 4 割前半と最も高くなっている。次いで、男性 40 代で 3 割前半、男性 60 代で約 3 割と高くなっている。「ソラムナード羽田緑地」は男性 60 代で 1 割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、「羽田イノベーションシティ (Zepp Haneda 含む)」は糞谷・羽田地域で約 5 割と高くなっている。



■都市計画公園予定地

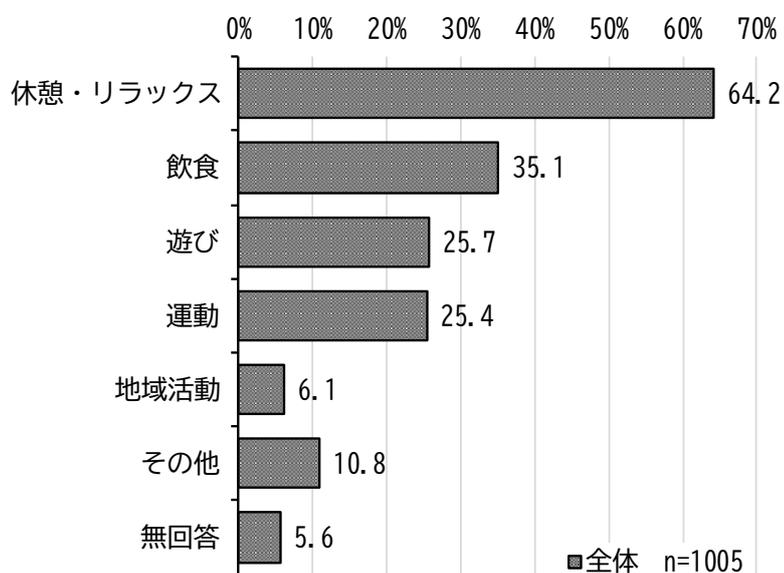


(8) 「ソラムナード羽田緑地」でしたいこと

◇「休憩・リラックス」が6割半ばと最も高くなっている

問 28 「ソラムナード羽田緑地」でしたいことはありますか。(複数選択可)

「ソラムナード羽田緑地」でしたいことについては、「休憩・リラックス」が 64.2%で最も高く、次いで「飲食」が 35.1%、「遊び」が 25.7%、「運動」が 25.4%となっている。

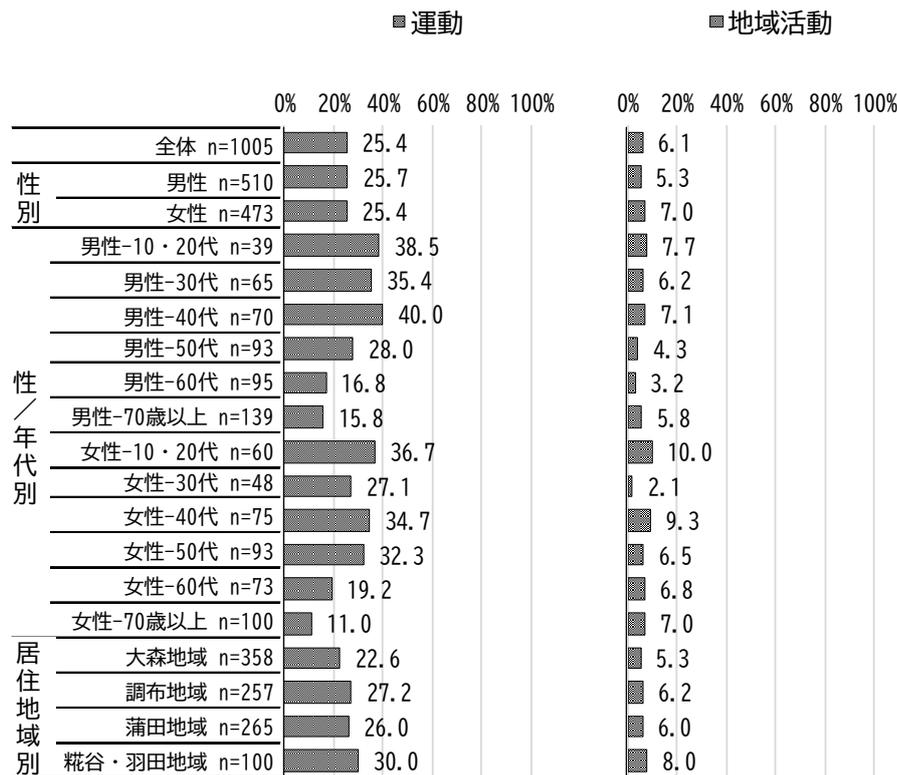
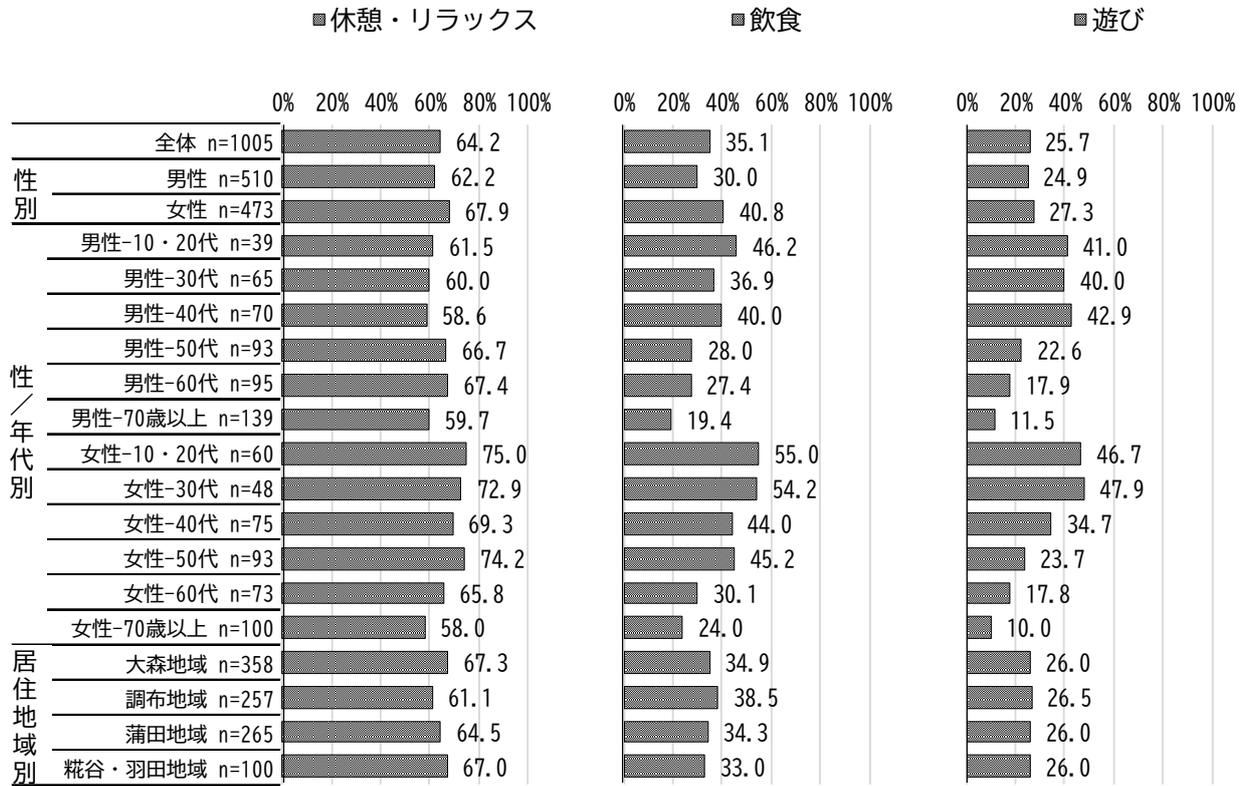


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「飲食」は男性 30.0%、女性 40.8%と、女性が 10.8 ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「遊び」は女性 10・20 代、30 代で 4 割後半と高くなっている。次いで、男性 10・20 代、40 代で 4 割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「休憩・リラックス」は大森地域で 67.3%と高くなっている。

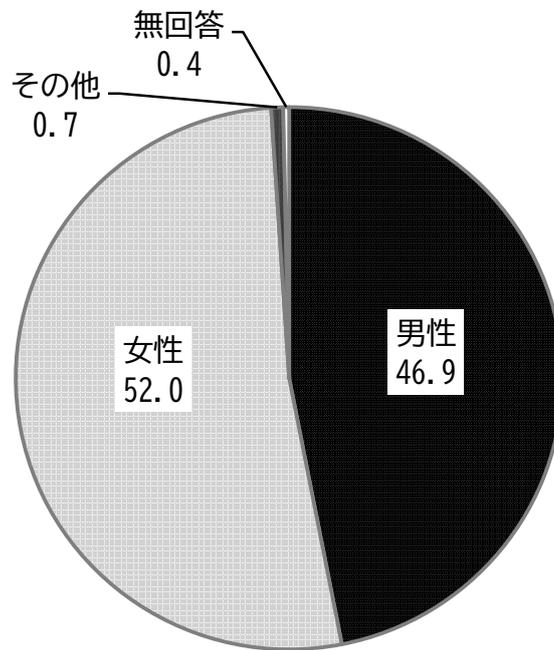


V 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査④

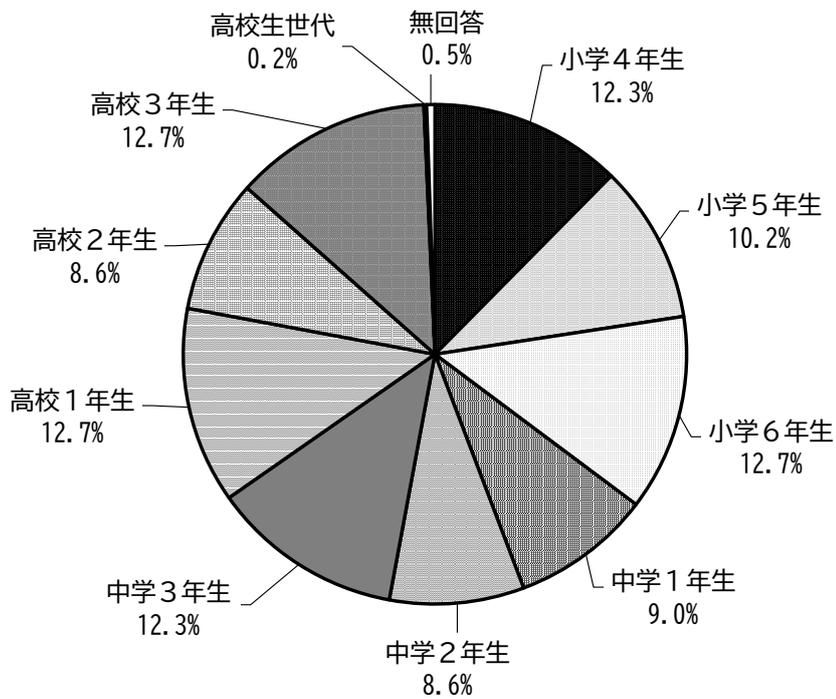
1 回答者の属性について

(1) 性別

回答者：有効回収数（n=567）

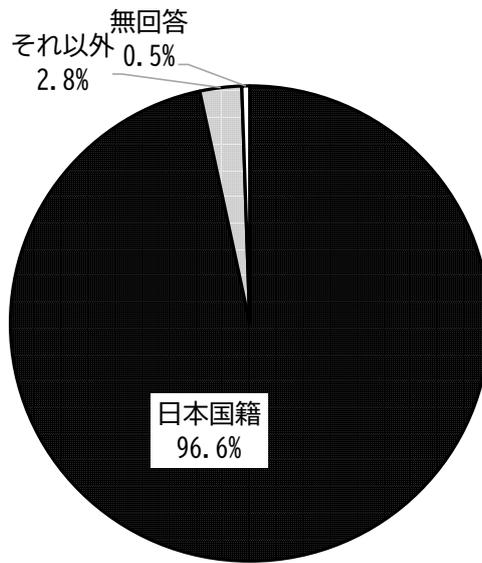


(2) 学年



(3) 国籍

全体 n=567

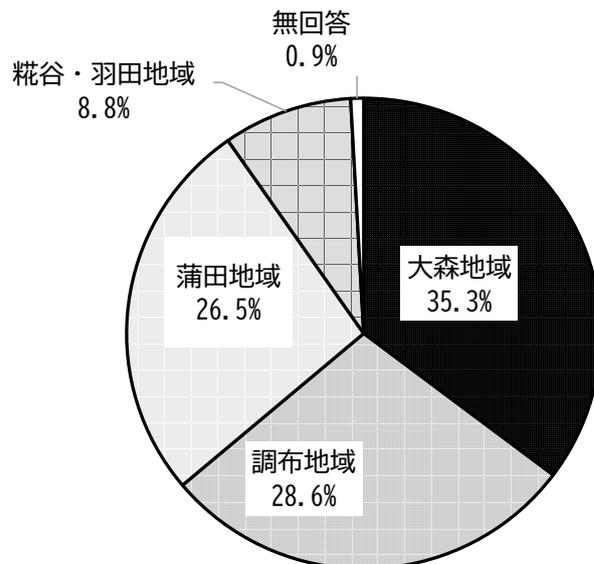


■ 日本国籍以外

国名	中国	インドネシア	バングラデシュ	ネパール	オーストリア	無回答
人数	7	1	2	4	1	1

(4) 居住地域

全体 n=567



2 心の相談・居場所について

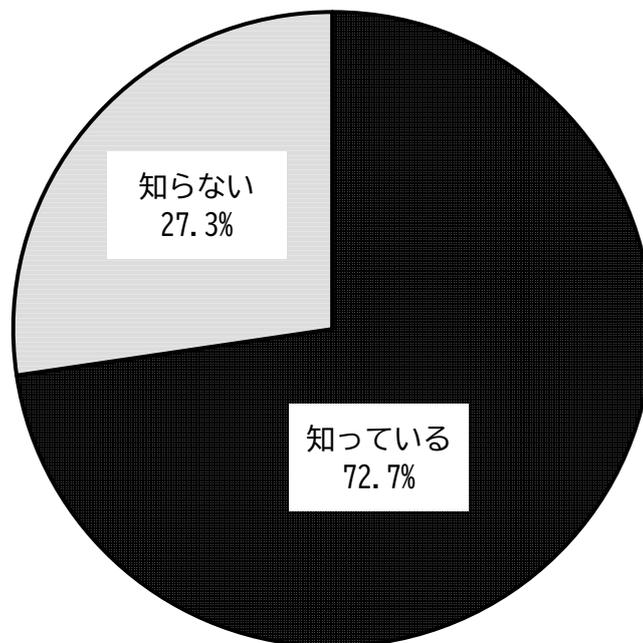
(1) 悩みや心配事を相談できるところの有無

◇「知っている」は7割前半となっている

問1 あなたは、悩みや心配事があるときに、相談できるところを知っていますか。
(1つのみ)

悩みや心配事を相談できるところの有無については、「知っている」が72.7%となっている。一方、「知らない」が27.3%と、「知っている」が45.4ポイント上回っている。

全体 n=567

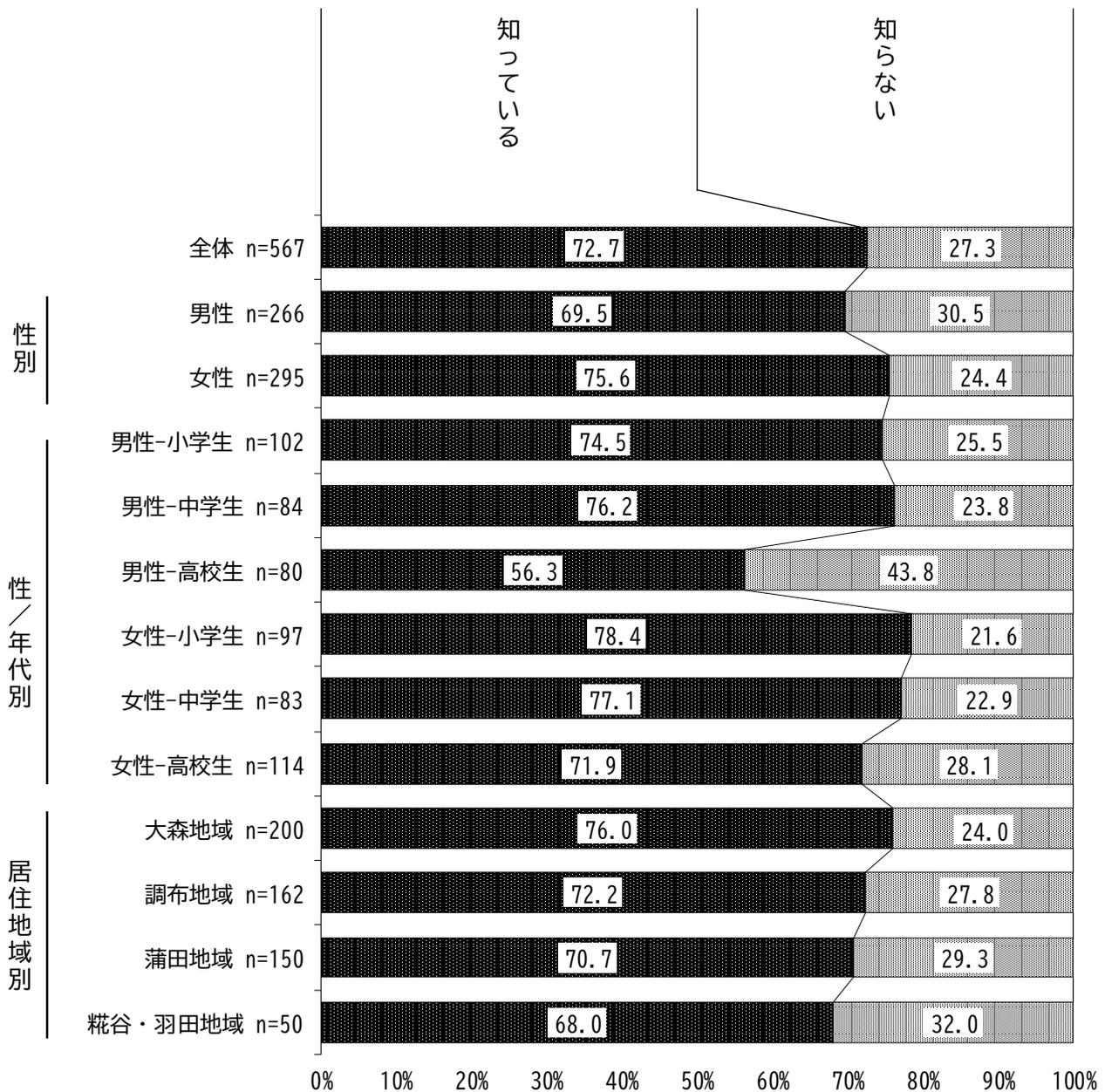


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「知っている」は男性が69.5%、女性が75.6%と、女性が6.1ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「知らない」は男性-高校生で4割半ばと高くなっている

居住地域別で見ると、「知らない」は糞谷・羽田地域で3割前半と高くなっている。



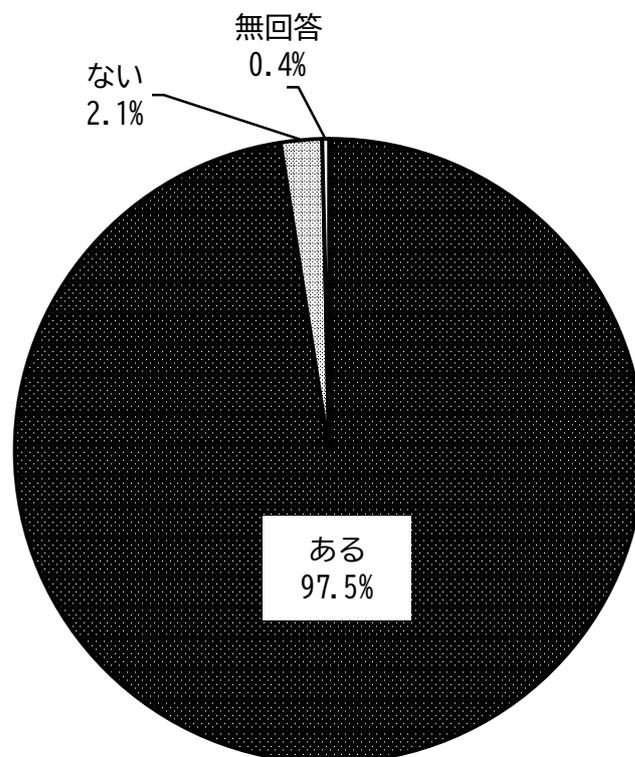
(2) 自分らしく過ごせたり、居心地がよいと感じる居場所の有無

◇「ある」は9割後半となっている

問2 (自宅を含めて) あなたには、自分らしく過ごせたり、居心地がよいと感じる居場所がありますか。(1つのみ)

自分らしく過ごせたり、居心地がよいと感じる居場所の有無については、「ある」が97.5%となっている。一方、「ない」が2.1%と、「ある」が95.4ポイント上回っている。

全体 n=567

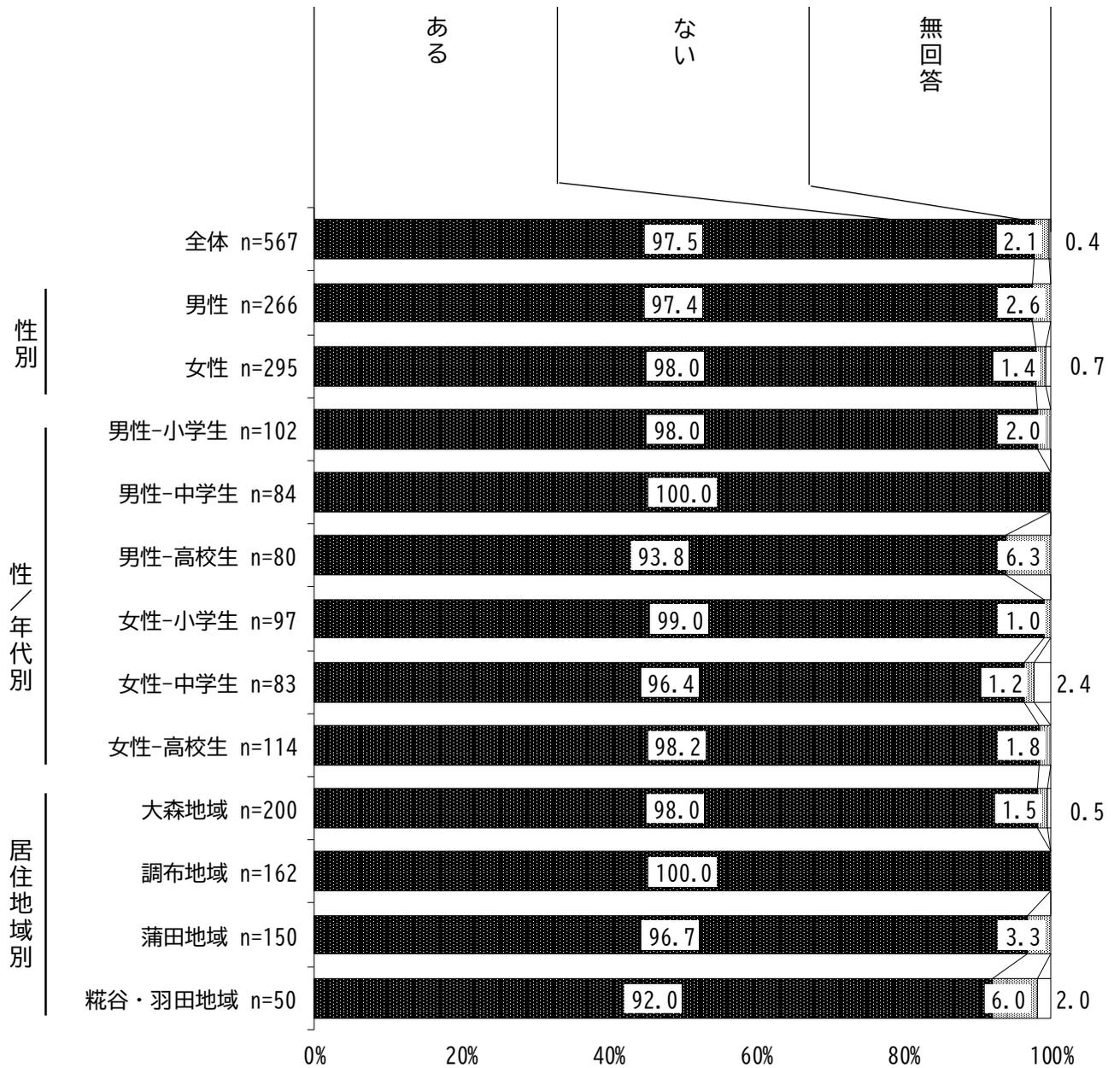


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「ある」に大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、「ない」は男性 - 高校生で6.3%と高くなっている。

居住地域別で見ると、「ない」は糞谷・羽田地域で6.0%と高くなっている。



(3) 自分らしく過ごせたり、居心地がよいと感じる居場所

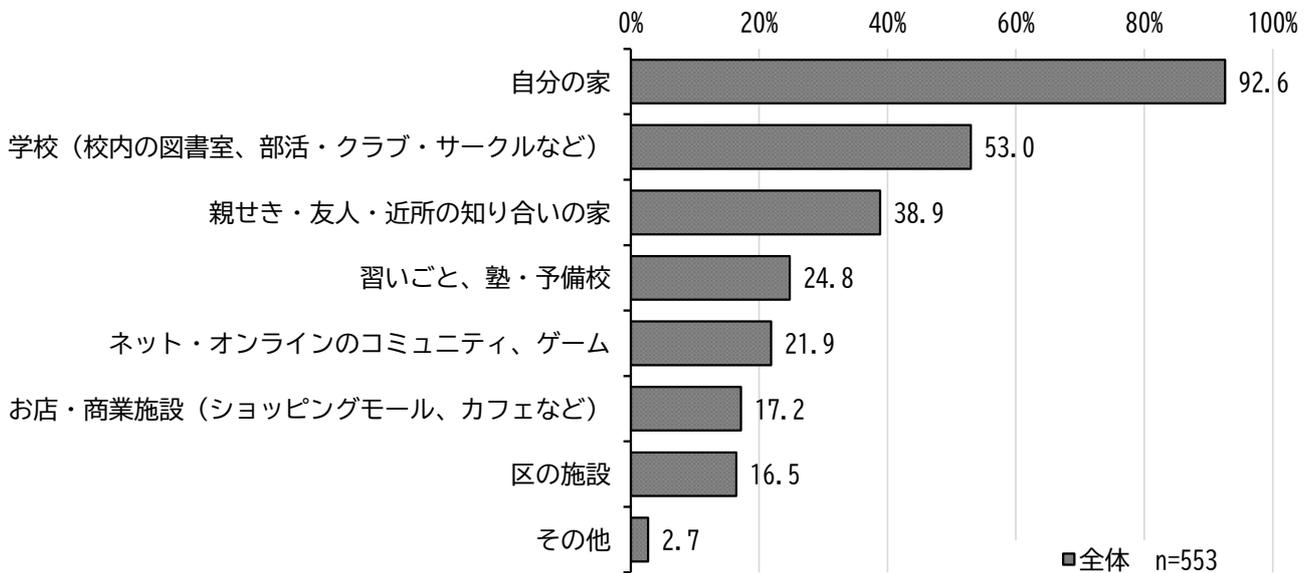
◇「自分の家」は9割前半で最も高くなっている。

【問2で「1ある」と回答した方に伺います。】

問2-1 あなたが、自分らしく過ごせたり、居心地がよいと感じる居場所は次のうちどこですか。(いくつでも)

自分らしく過ごせたり、居心地がよいと感じる居場所については、「自分の家」が92.6%で最も高く、次いで「学校（校内の図書室、部活・クラブ・サークルなど）」が53.0%、「親せき・友人・近所の知り合いの家」が38.9%となっている。

居場所が複数箇所ある（2つ以上回答した）人は75.4%、1箇所のみは24.6%となっている。

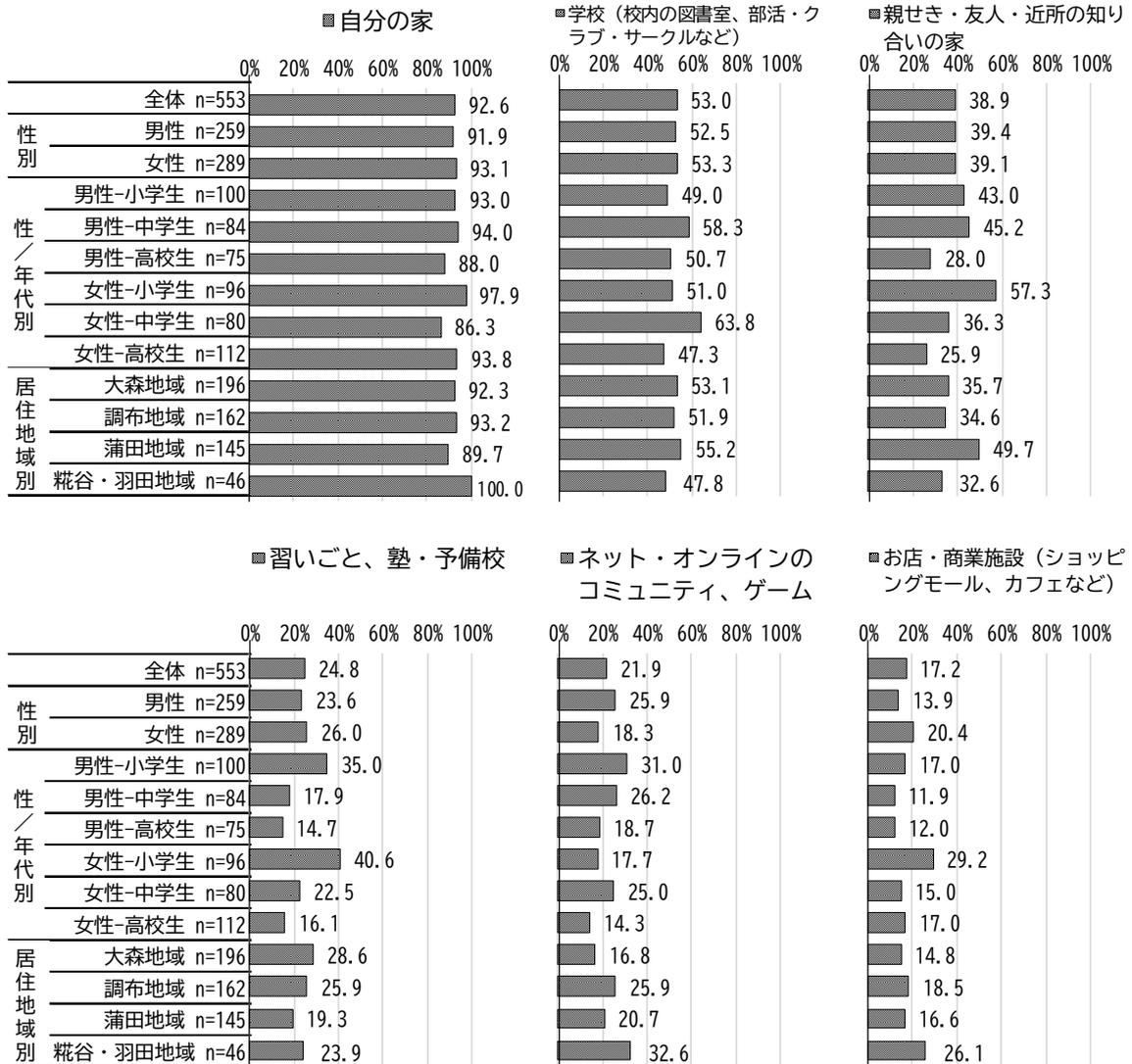


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、「自分の家」は男性・女性ともに9割前半と最も高くなっている。「ネット・オンラインのコミュニティ、ゲーム」は男性が25.9%、女性が18.3%と、男性が7.6ポイント上回っている。一方、「お店・商業施設（ショッピングモール、カフェなど）」は男性が13.9%、女性が20.4%と、女性が6.5ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、男女ともに高校生の割合が低い傾向となっている。

居住地域別で見ると、「自分の家」は蒲田地域で89.7%と低くなっている。



3 教育環境について

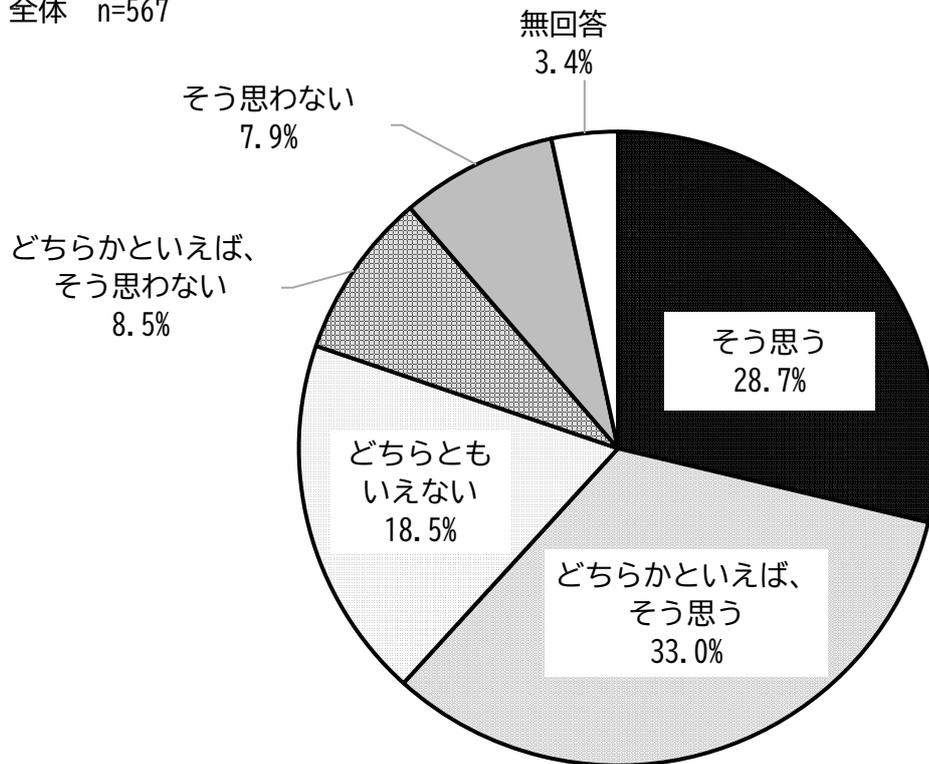
(1) 英語でのコミュニケーション

◇《そう思う》(「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計値)は6割前半となっている

問3 自分とはちがう文化や考えをもつ外国の人などと積極的に英語でコミュニケーションをとって話しあいたいと思いますか。(1つのみ)

英語でコミュニケーションをとって話しあいたいかについては、「そう思う」、「どちらかといえば、そう思う」の合計値《そう思う》が61.7%となっている。一方「どちらかといえば、そう思わない」、「そう思わない」の合計値《そう思わない》が16.4%と、《そう思う》が45.3ポイント上回っている。

全体 n=567

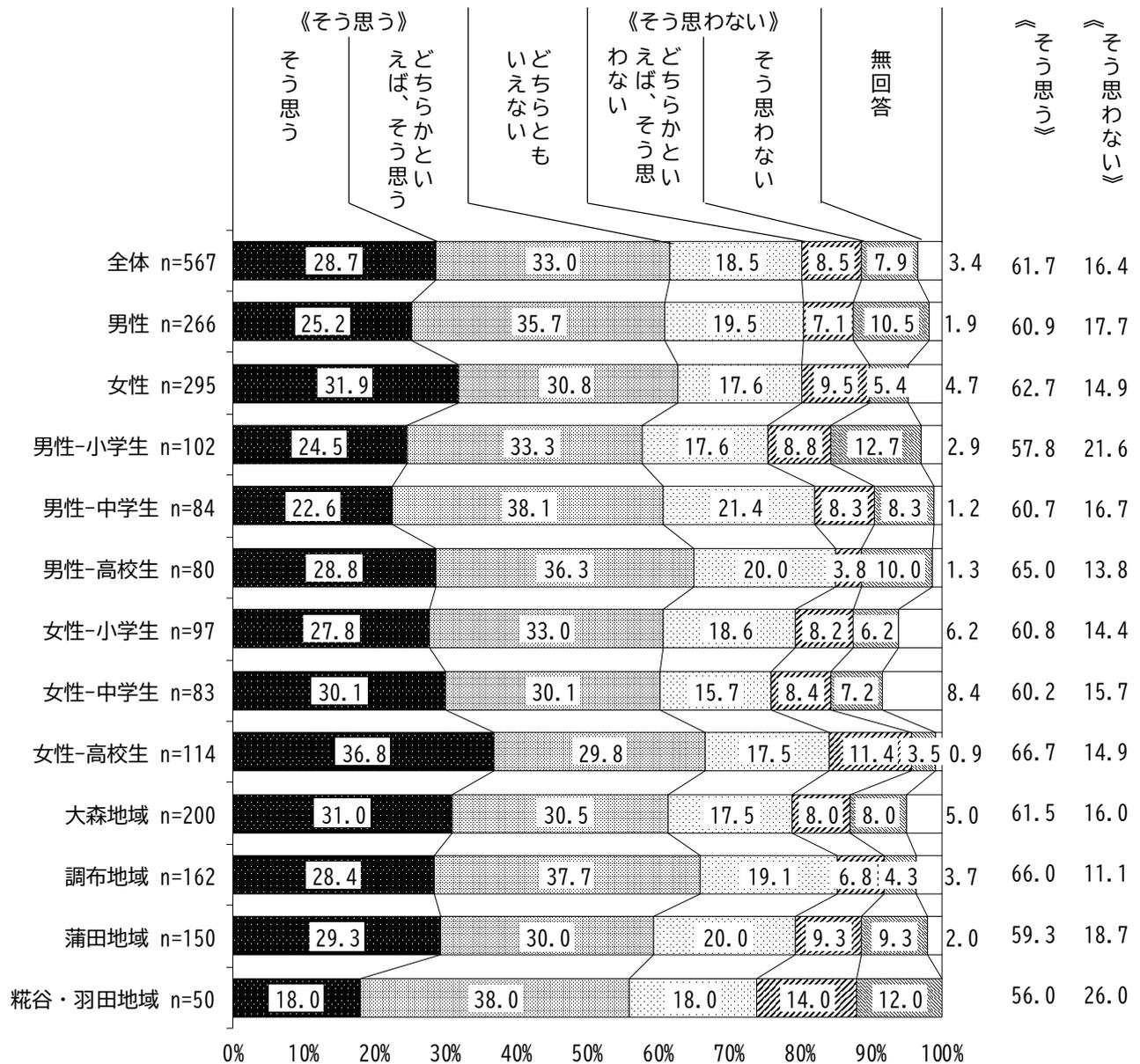


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、《そう思う》は男性が60.9%、女性が62.7%と、女性が1.8ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《そう思う》は女性 - 高校生で6割後半、男性 - 高校生、女性 - 高校生で6割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、《そう思う》は調布地域で6割半ばと高くなっている。



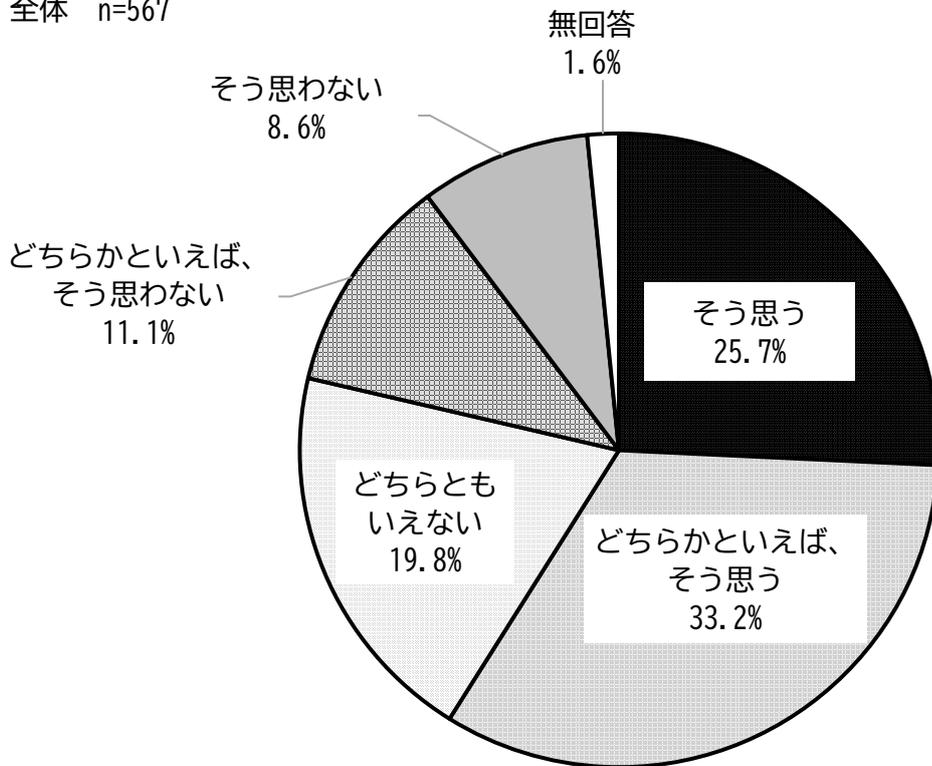
(2) 平等な学びに対する実感

◇《そう思う》(「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計値)は5割後半となっている

問4 障がいのある人もない人も誰もが平等に学べるようになってきていると思いますか。
(1つのみ)

誰もが平等に学べるようになってきていると思うかについては、「そう思う」、「どちらかといえば、そう思う」の合計値《そう思う》が58.9%となっている。一方「どちらかといえば、そう思わない」、「そう思わない」の合計値《そう思わない》が19.8%と、《そう思う》が39.1ポイント上回っている。

全体 n=567

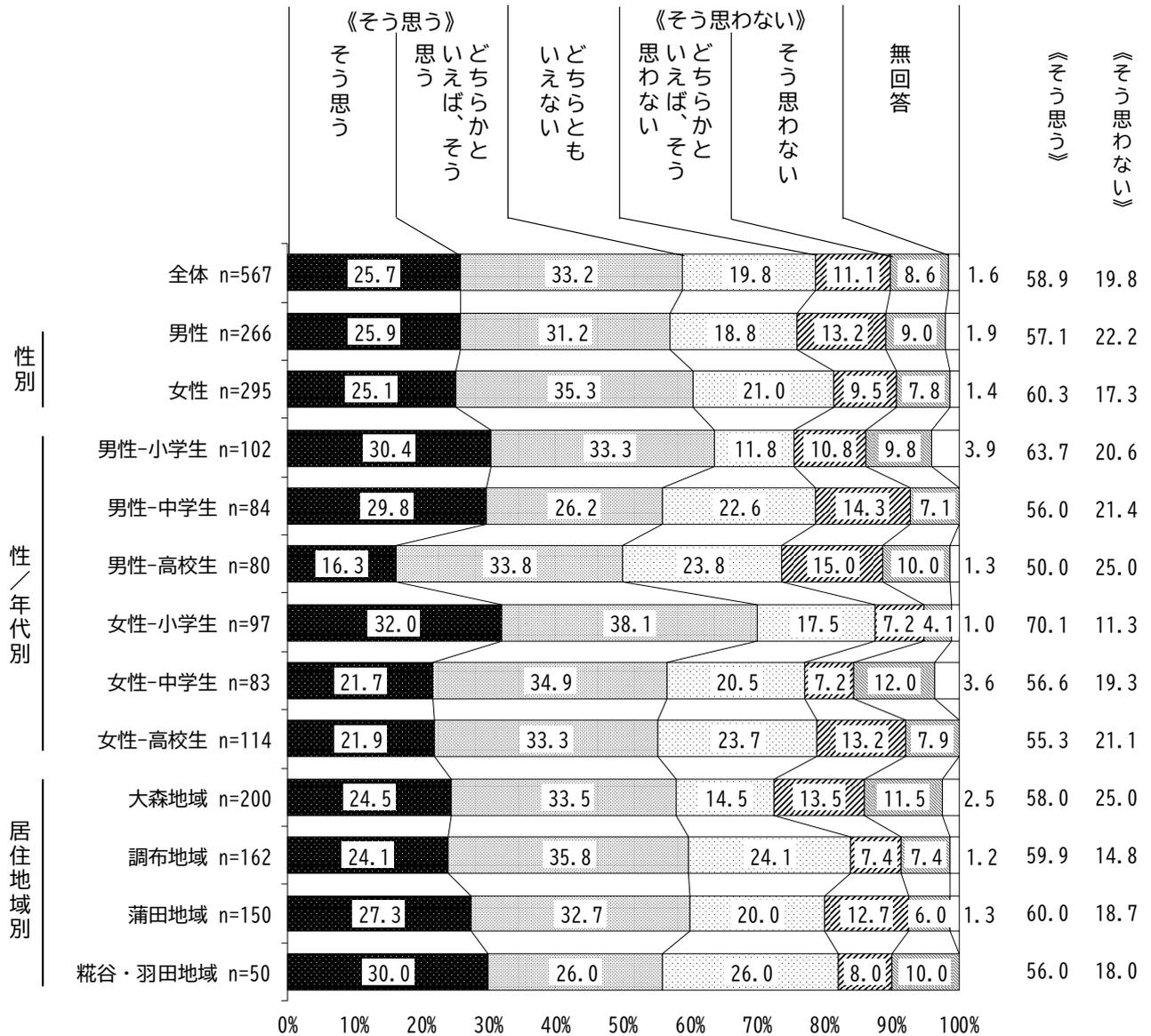


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《そう思う》は男性が57.1%、女性が60.3%と、女性が3.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《そう思わない》は男性 - 高校生で2割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《そう思わない》は大森地域で2割半ばと高くなっている。



4 公園について

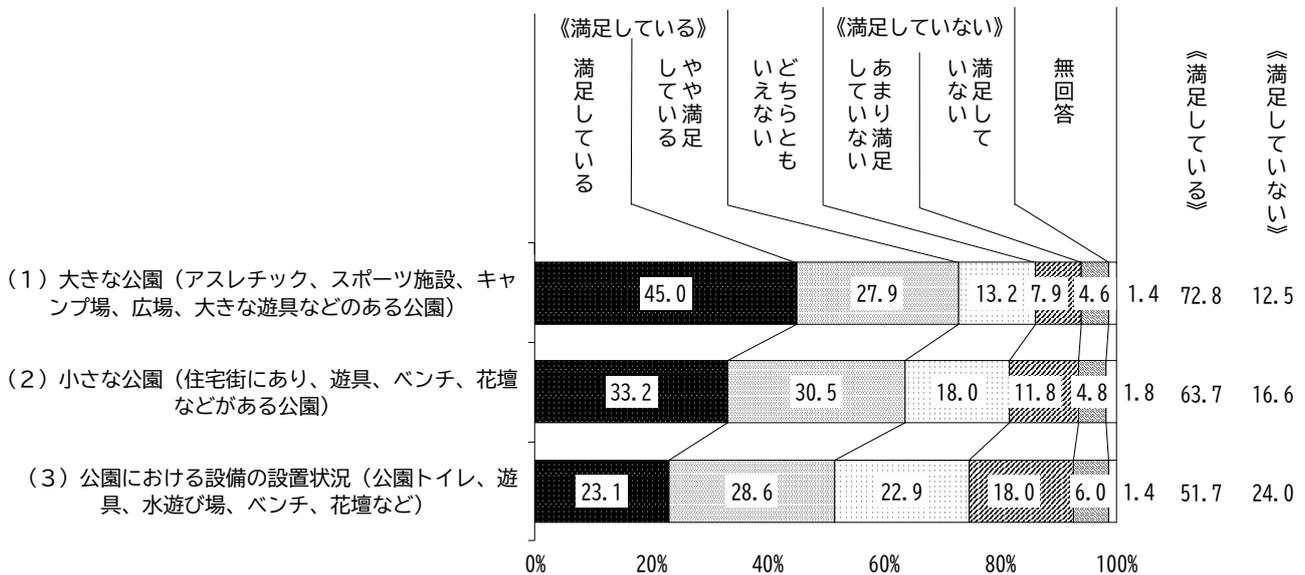
(1) 公園の満足度

◇ 《満足している》（「満足している」「やや満足している」の合計値）は（1）大きな公園（アスレチック、スポーツ施設、キャンプ場、広場、大きな遊具などのある公園）で7割前半と最も高くなっている

問5 公園について、どの程度満足していますか。（それぞれ1つのみ）

- (1) 大きな公園（アスレチック、スポーツ施設、キャンプ場、広場、大きな遊具などのある公園）
- (2) 小さな公園（住宅街にあり、遊具、ベンチ、花壇などがある公園）
- (3) 公園における設備の設置状況（公園トイレ、遊具、水遊び場、ベンチ、花壇など）

公園の満足度については、「満足している」、「やや満足している」の合計値《満足している》は（1）大きな公園（アスレチック、スポーツ施設、キャンプ場、広場、大きな遊具などのある公園）が72.8%で最も高く、次いで（2）小さな公園（住宅街にあり、遊具、ベンチ、花壇などがある公園）が63.7%、（3）公園における設備の設置状況（公園トイレ、遊具、水遊び場、ベンチ、花壇など）が51.7%となっている。



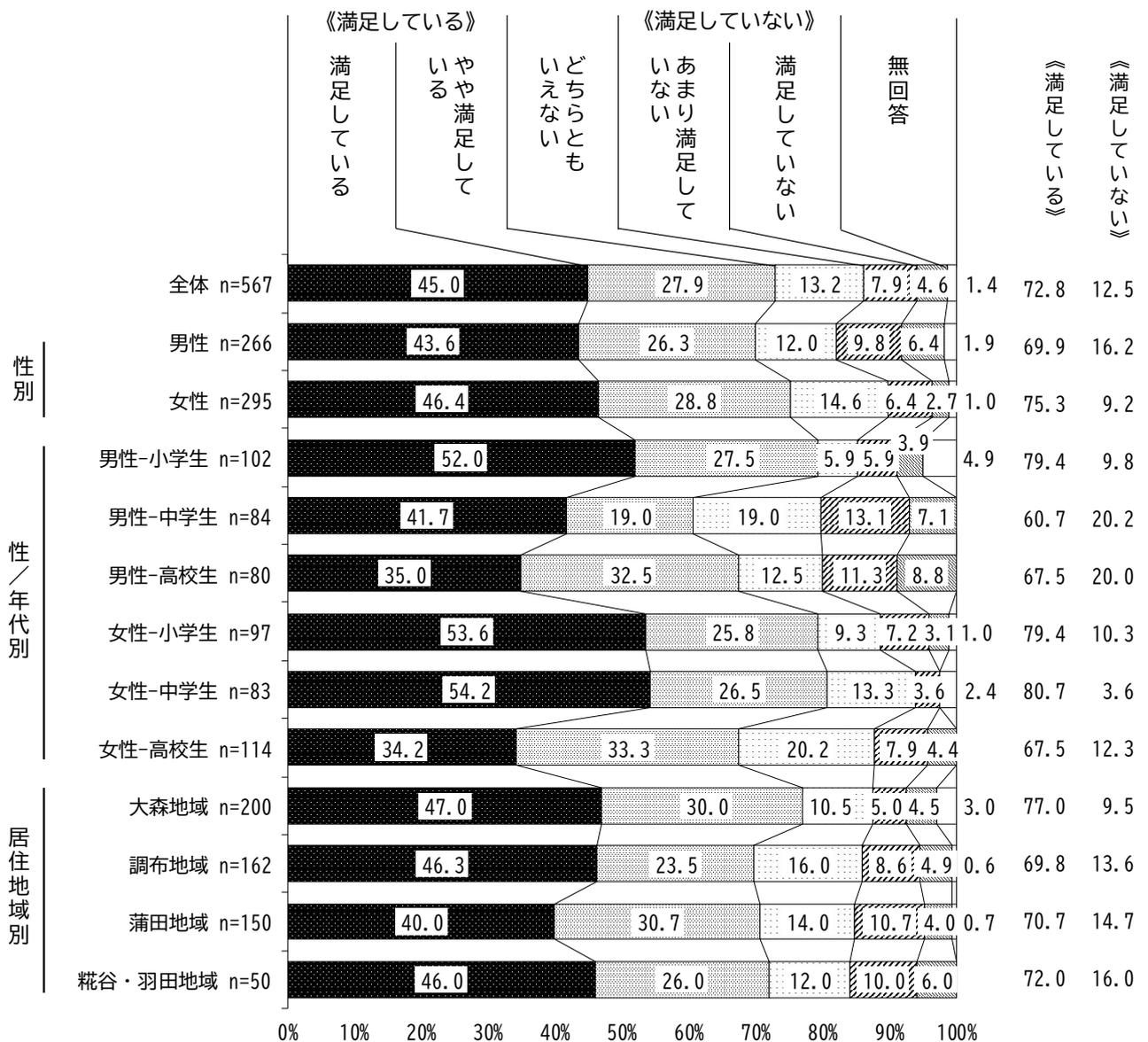
■性別・性／年代別・居住地域別

(1) 大きな公園（アスレチック、スポーツ施設、キャンプ場、広場、大きな遊具などのある公園）

性別でみると、《満足している》は男性が69.9%、女性が75.3%と、女性が5.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《満足している》は男性-小学生、女性-小学生、中学生で約8割と高くなっている。

居住地域別でみると、《満足している》は大森地域で7割後半と高くなっている。



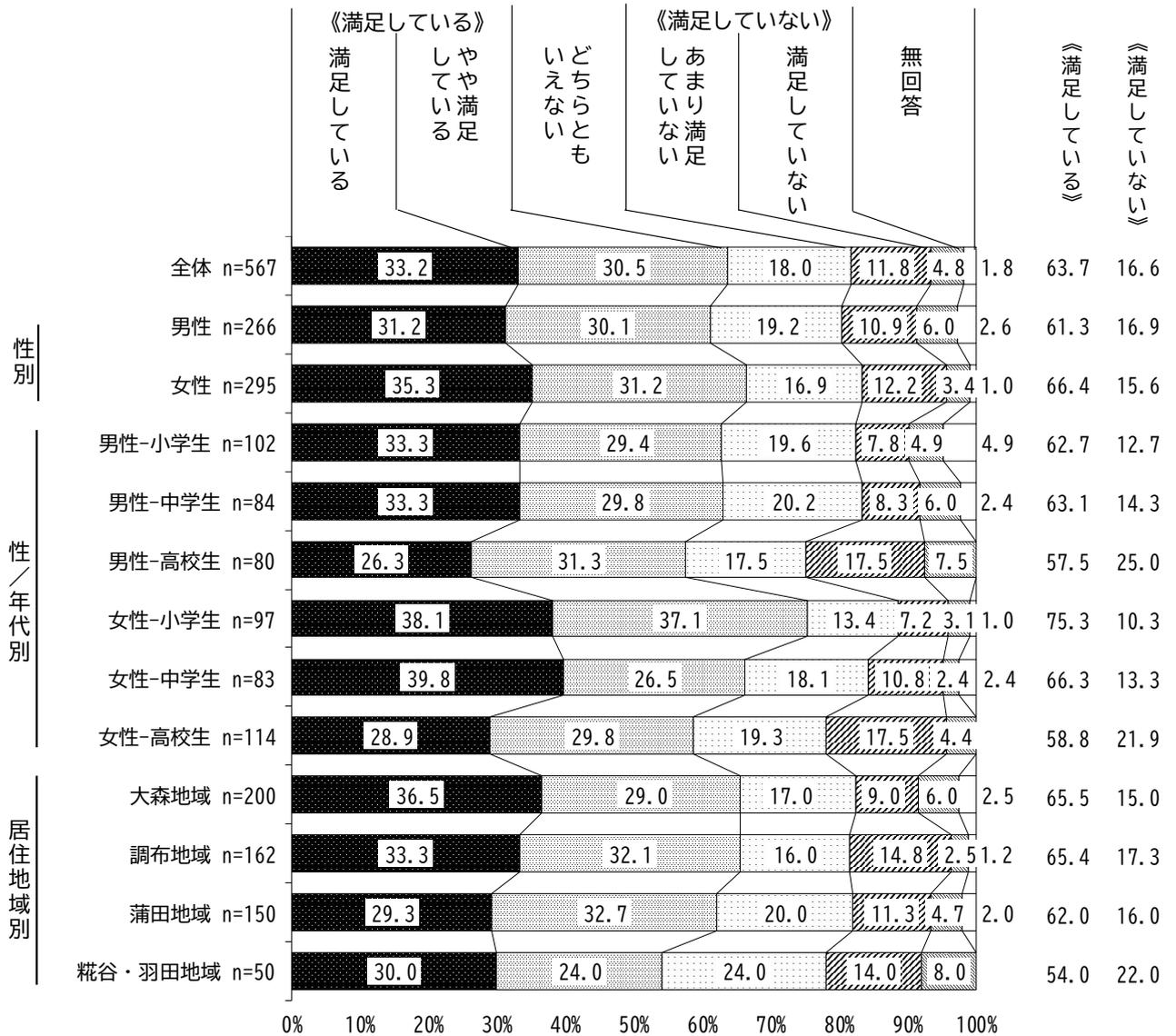
■性別・性／年代別・居住地域別

(2) 小さな公園（住宅街にあり、遊具、ベンチ、花壇などがある公園）

性別でみると、「満足している」は男性が61.3%、女性が66.4%と、女性が5.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「満足している」は女性-小学生で7割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「満足していない」は糞谷・羽田地域で2割前半と高くなっている。



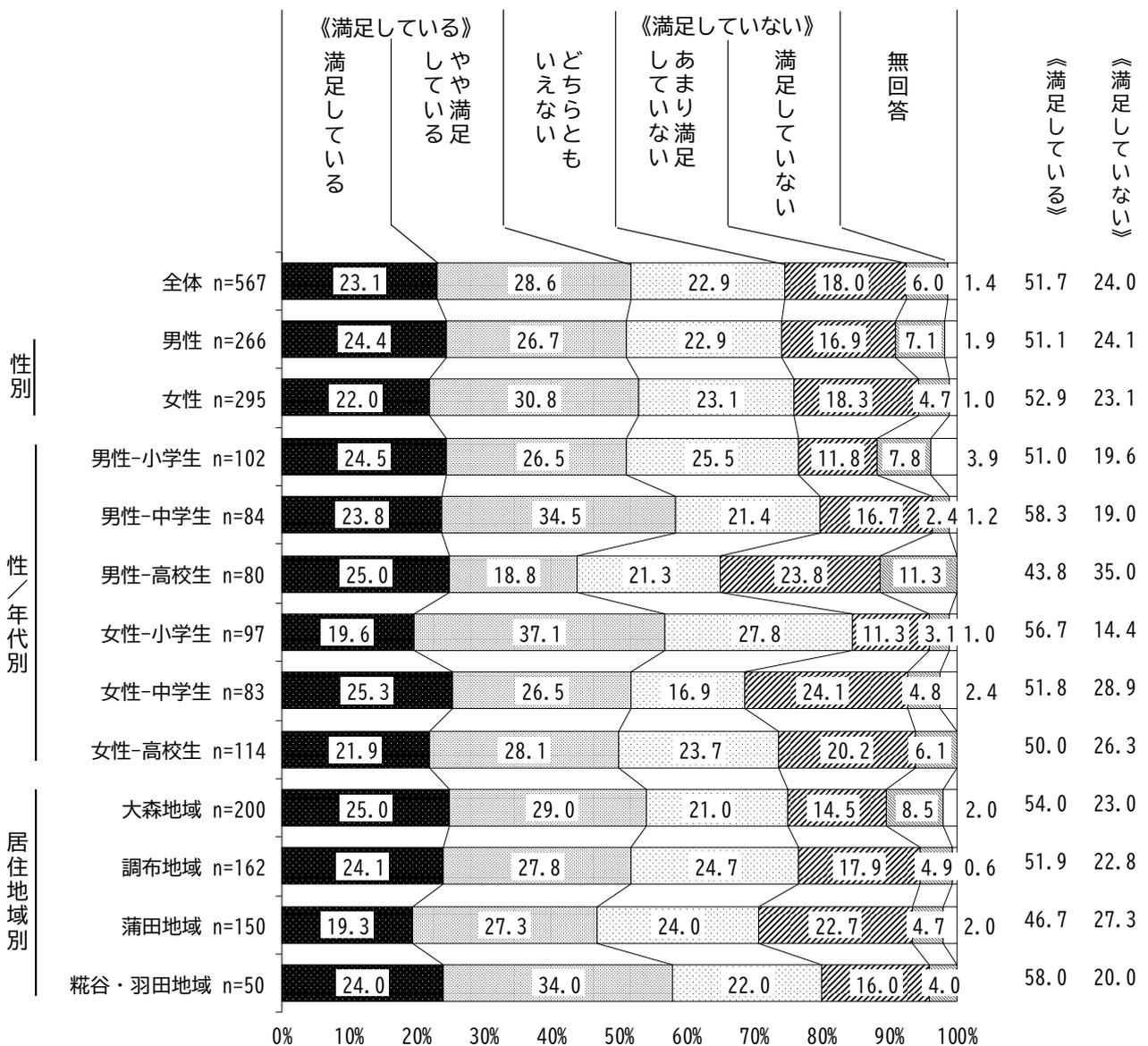
■性別・性／年代別・居住地域別

(3) 公園における設備の設置状況（公園トイレ、遊具、水遊び場、ベンチ、花壇など）

性別でみると、《満足している》は男性が51.1%、女性が52.9%と、女性が1.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《満足している》は男性-中学生、女性-小学生で5後半と高くなっている。一方、《満足していない》は男性-高校生で3割半ば、女性-中学生で2割後半、女性-高校生で2割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《満足している》は糞谷・羽田地域で5割後半と高くなっている。一方、《満足していない》は蒲田地域で2割後半と高くなっている。



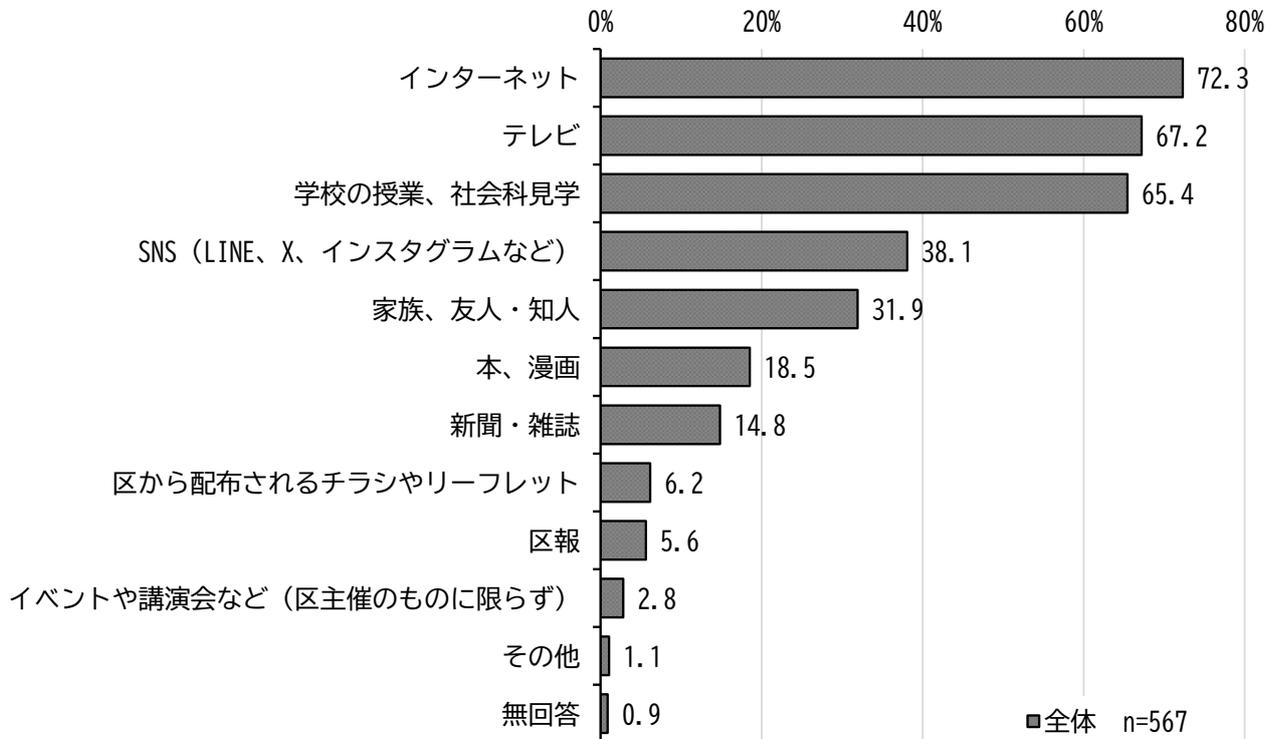
5 環境問題について

(1) 環境問題に関する情報の収集方法

◇「インターネット」が7割前半で最も高くなっている

問6 環境問題に関する情報をどのように収集していますか。(いくつでも)

環境問題に関する情報の収集方法については、「インターネット」が72.3%で最も高く、次いで「テレビ」が67.2%、「学校の授業、社会科見学」が65.4%となっている。

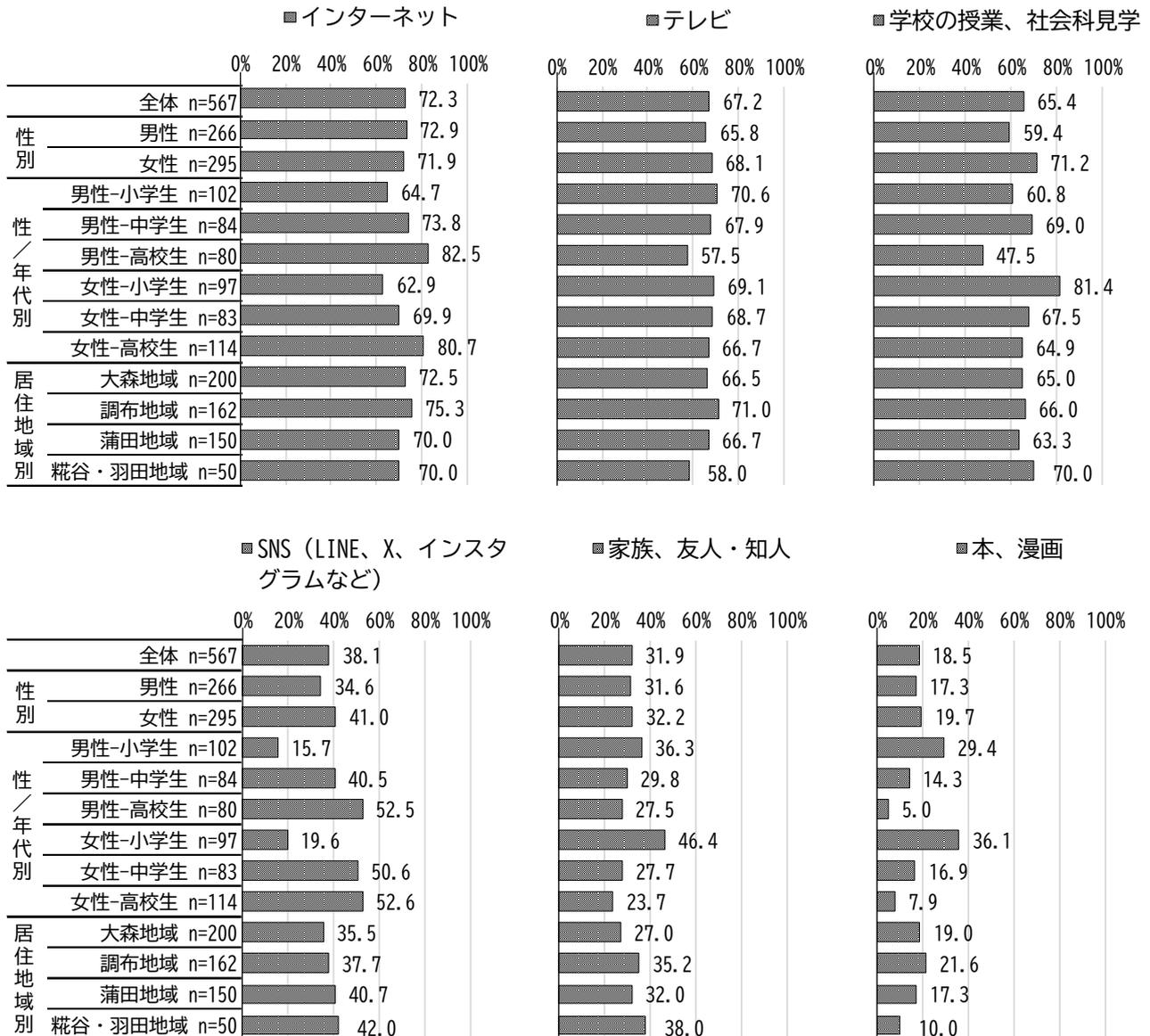


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、「学校の授業、社会科見学」は男性が59.4%、女性が71.2%と、女性が11.8ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「インターネット」は男性-高校生で8割前半、女性-高校生で約8割と高くなっている。

居住地域別で見ると、「インターネット」、「テレビ」、「本、漫画」は調布地域が高くなっている。

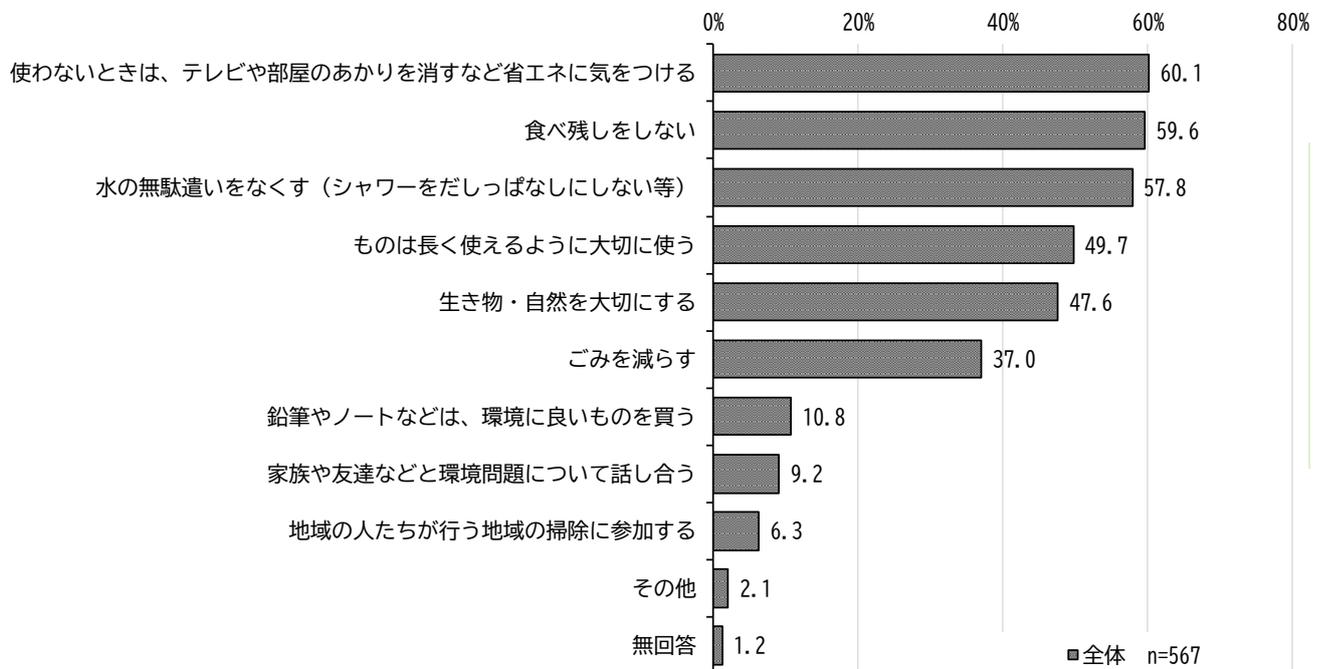


(2) 環境問題に関する普段の生活での実践

◇「使わないときは、テレビや部屋のあかりを消すなど省エネに気をつける」が約6割で最も高くなっている

問7 学校などで環境問題に関して学んだこと、体験したことをきっかけに普段の生活で実践するようになったことはありますか。(いくつでも)

環境学習について普段の生活で実践したことについては、「使わないときは、テレビや部屋のあかりを消すなど省エネに気をつける」が60.1%で最も高く、次いで「食べ残しをしない」が59.6%、「水の無駄遣いをなくす(シャワーをだしっぱなしにしない等)」が57.8%となっている。

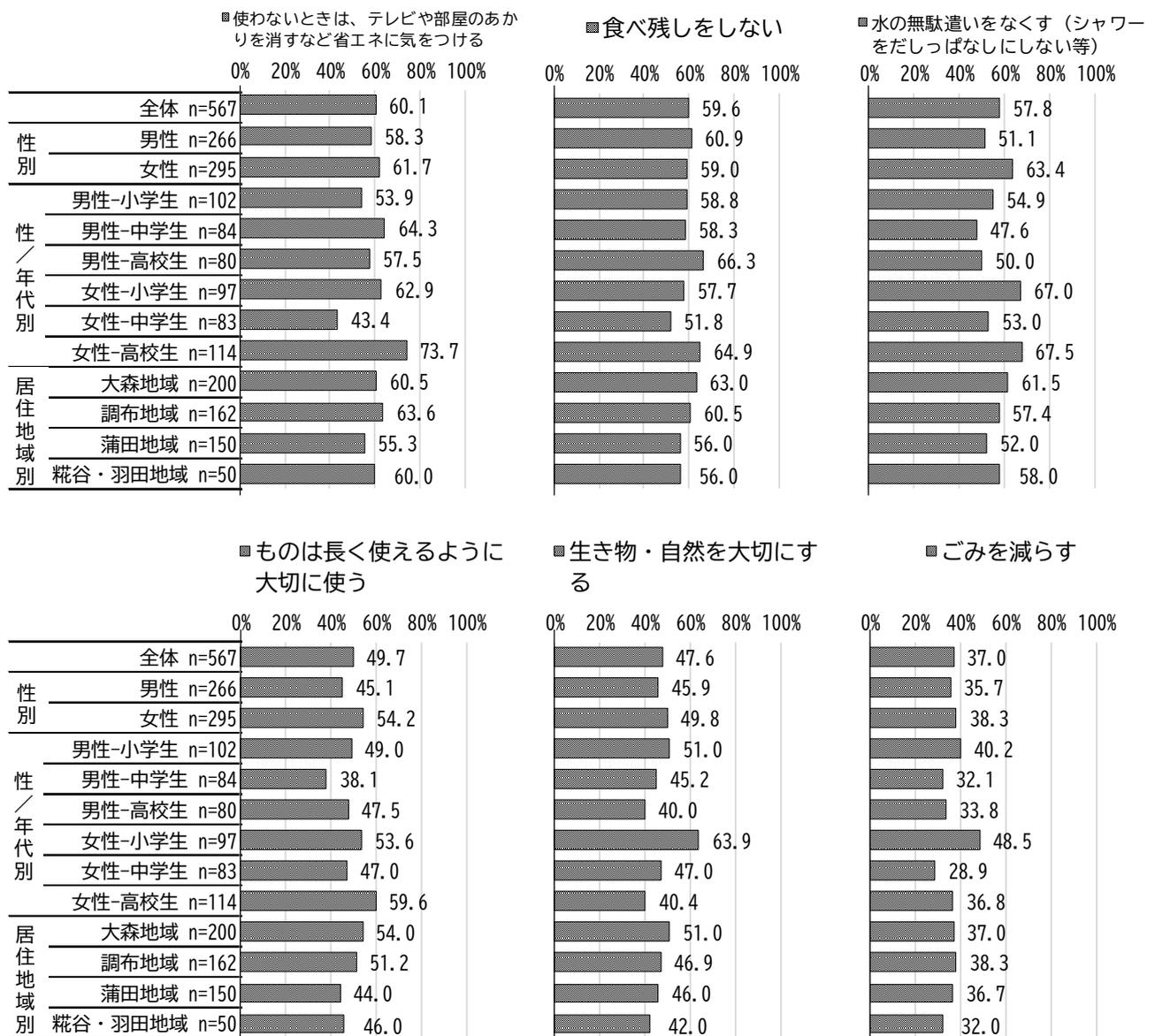


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「食べ残しをしない」は男性が女性を1.9ポイント上回っている以外、上位5項目で女性が男性を上回っている。特に「水の無駄遣いをなくす(シャワーをだしっぱなしにしない等)」が12.3ポイント、「ものは長く使えるように大切に使う」が9.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「使わないときは、テレビや部屋のあかりを消すなど省エネに気をつける」は女性・高校生が7割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「使わないときは、テレビや部屋のあかりを消すなど省エネに気をつける」は調布地域で6割と高くなっている。

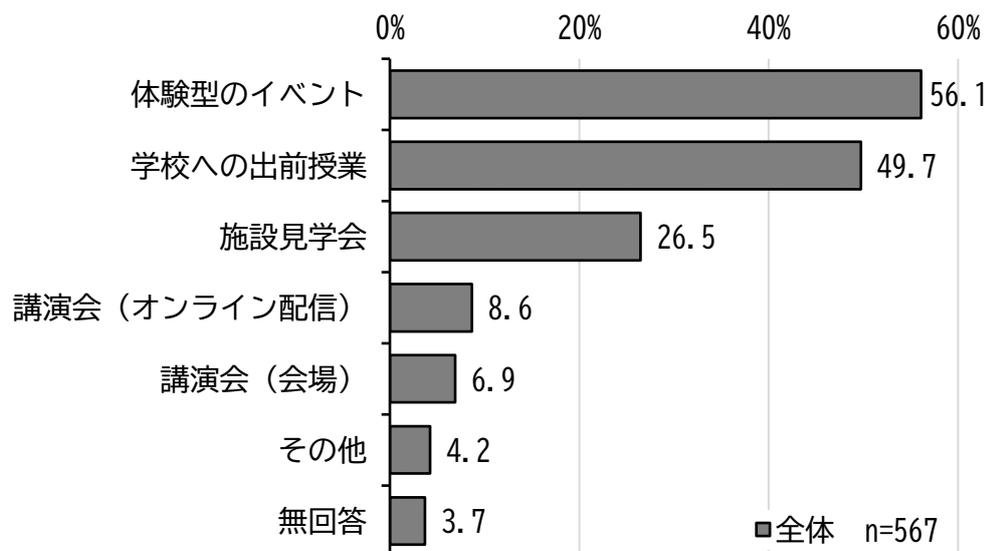


(3) 参加したい環境に関するイベント

◇「体験型のイベント」が5割半ばで最も高くなっている

問8 環境に関するどのようなイベントに参加したいですか。(いくつでも)

参加したい環境に関するイベントについては、「体験型のイベント」が56.1%で最も高く、次いで「学校への出前授業」が49.7%、「施設見学会」が26.5%となっている。

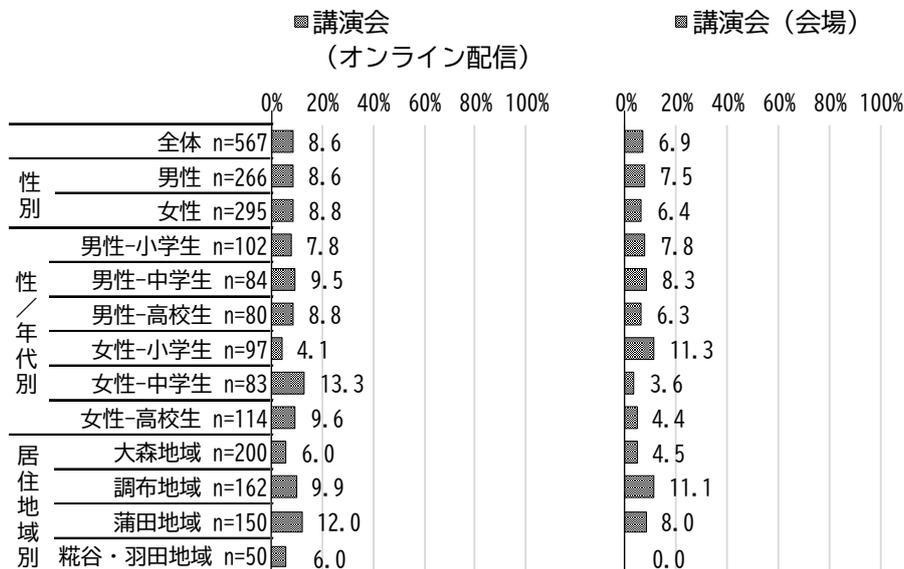
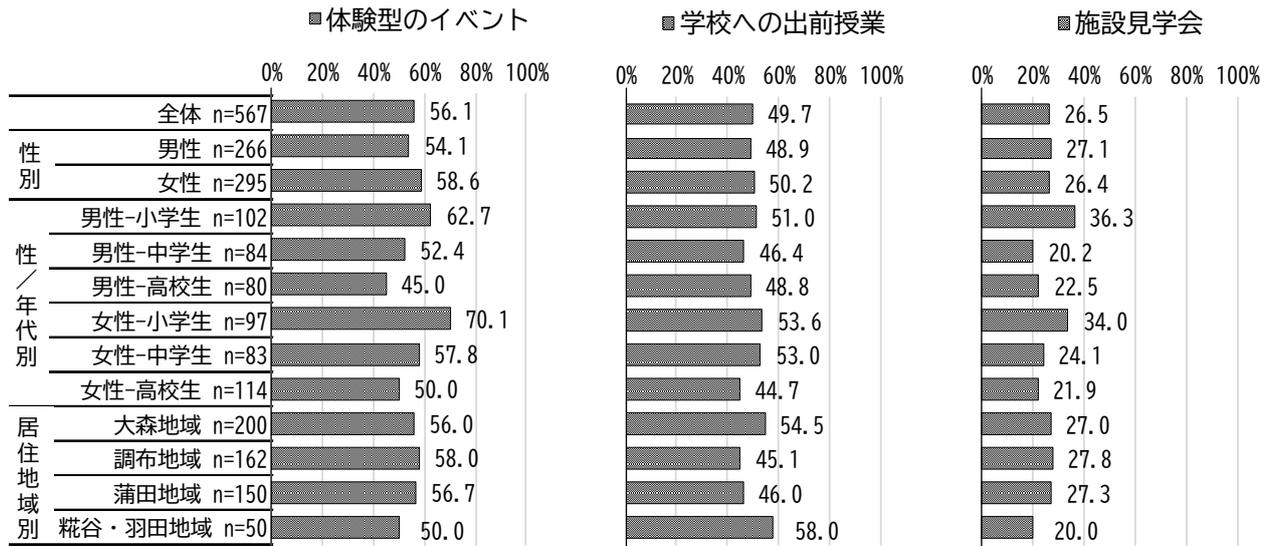


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「体験型のイベント」は男性が54.1%、女性が58.6%と、女性が4.5ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「体験型のイベント」は男性-小学生で6割前半、女性-小学生で約7割、「学校への出前授業」は男性-小学生で5割前半、女性-小学生で5割半ば、「施設見学会」は男性-小学生、女性-小学生で3割半ばと、他の年代より高くなっている。

居住地域別でみると、「学校への出前授業」は糞谷・羽田地域で5割後半と高くなっている。



6 景色（景観）について

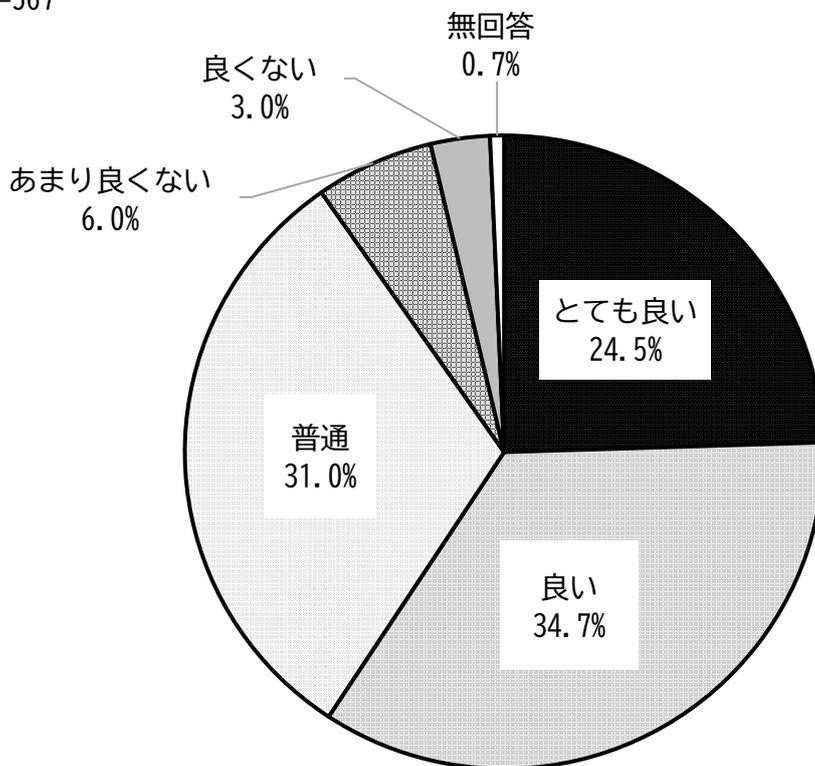
(1) 住んでいるまちの景色（風景）

◇ 《良い》（「とても良い」「良い」の合計値）は約6割となっている

問9 あなたの住んでいるまちの景色（風景）を、どのように感じますか。（1つのみ）

お住いの地域の景観をどう感じるかについては、「とても良い」、「良い」の合計値《良い》が59.3%となっている。一方、「あまり良くない」「良くない」の合計値《良くない》が9.0%と、《良い》が50.3ポイント上回っている。

全体 n=567

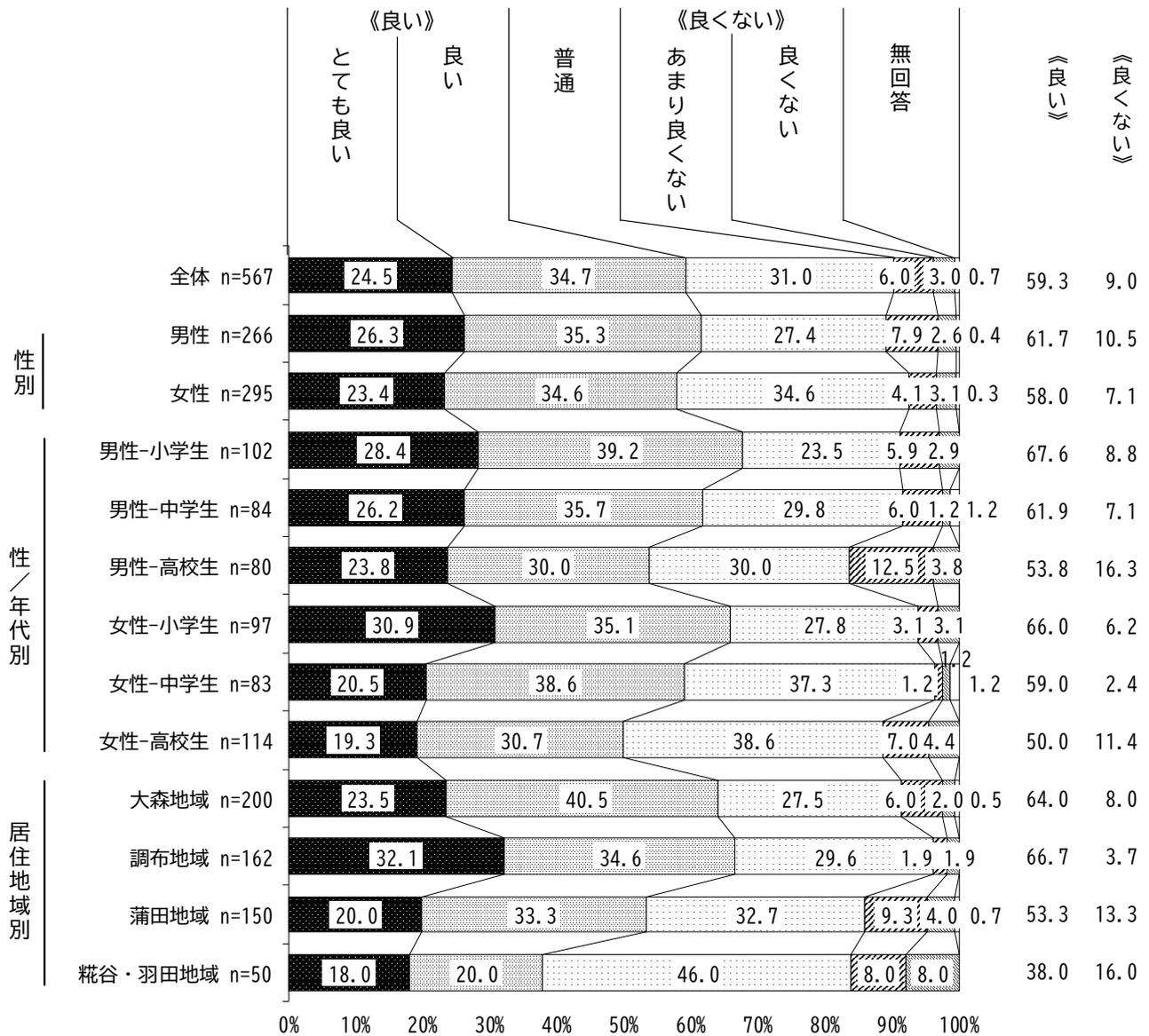


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、《良い》は男性が61.7%、女性が58.0%と、男性が3.7ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《良い》は男性-小学生で6割後半、女性-小学生で6割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、《良い》は調布地域が66.7%と高くなっている一方で、糀谷・羽田地域が38.0%となっており28.7ポイントの差となっている。

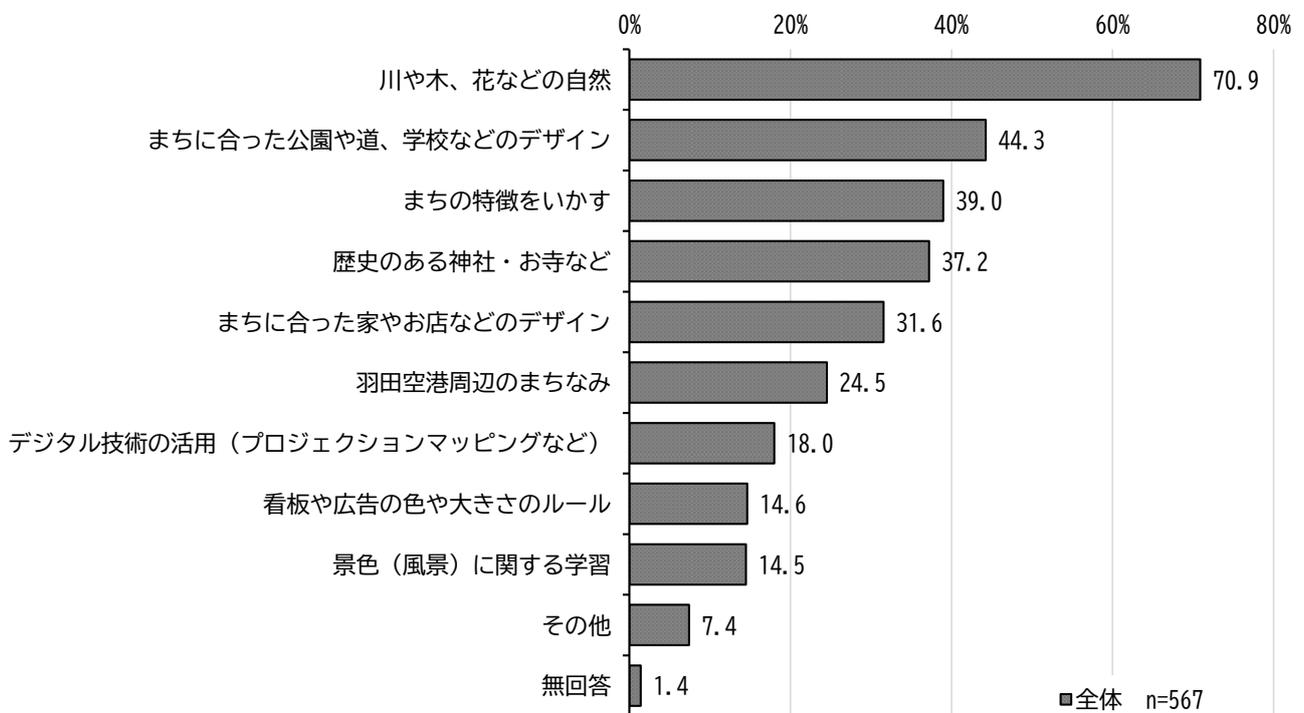


(2) 景色（風景）を良くするために大切なもの

◇「川や木、花などの自然」が約7割で最も高くなっている

問10 大田区の景色（風景）を良くするために、大切だと思うものは何ですか。
（いくつでも）

大田区の景色（風景）を良くするために、重視すべきことについては、「川や木、花などの自然」が70.9%と最も高くなっている。次いで「まちに合った家やお店などのデザイン」が44.3%、「まちの特徴をいかす」が39.0%となっている。

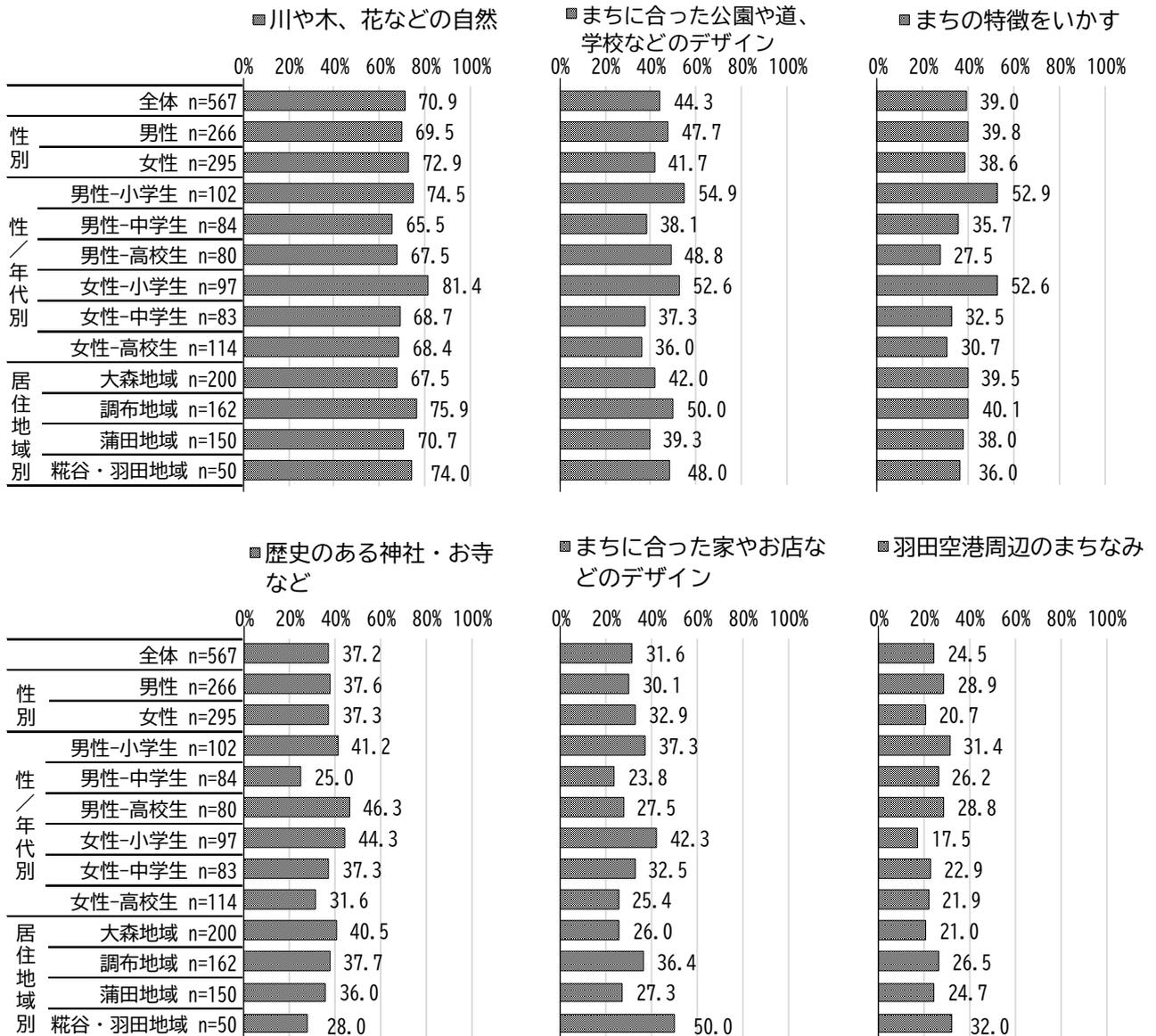


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「羽田空港周辺のまちなみ」は男性が 28.9%、女性が 20.7%と、男性が 8.2 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「川や木、花などの自然」は女性 - 小学生で 8 割前半、男性 - 小学生で 7 割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「川や木、花などの自然」は調布地域、糀谷・羽田地域で 7 割半ばと高くなっている。



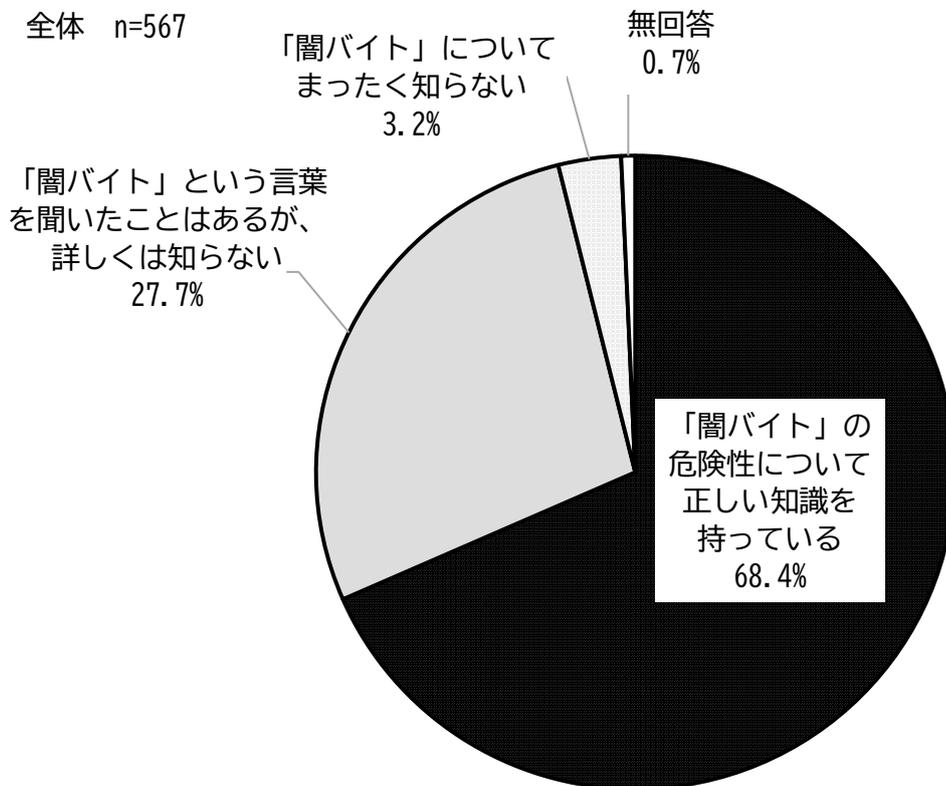
7 「闇バイト」について

(1) 「闇バイト」の危険性の理解度

◇ 『「闇バイト」の危険性について正しい知識を持っている』は6割後半となっている

問11 「闇バイト¹⁶」の危険性について、あなたの知識や理解度をご回答ください。
(1つのみ)

「闇バイト」の危険性の理解度については、「『闇バイト』の危険性について正しい知識を持っている」が68.4%で最も高く、次いで「『闇バイト』という言葉聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が27.7%、「『闇バイト』についてまったく知らない」が3.2%となっている。



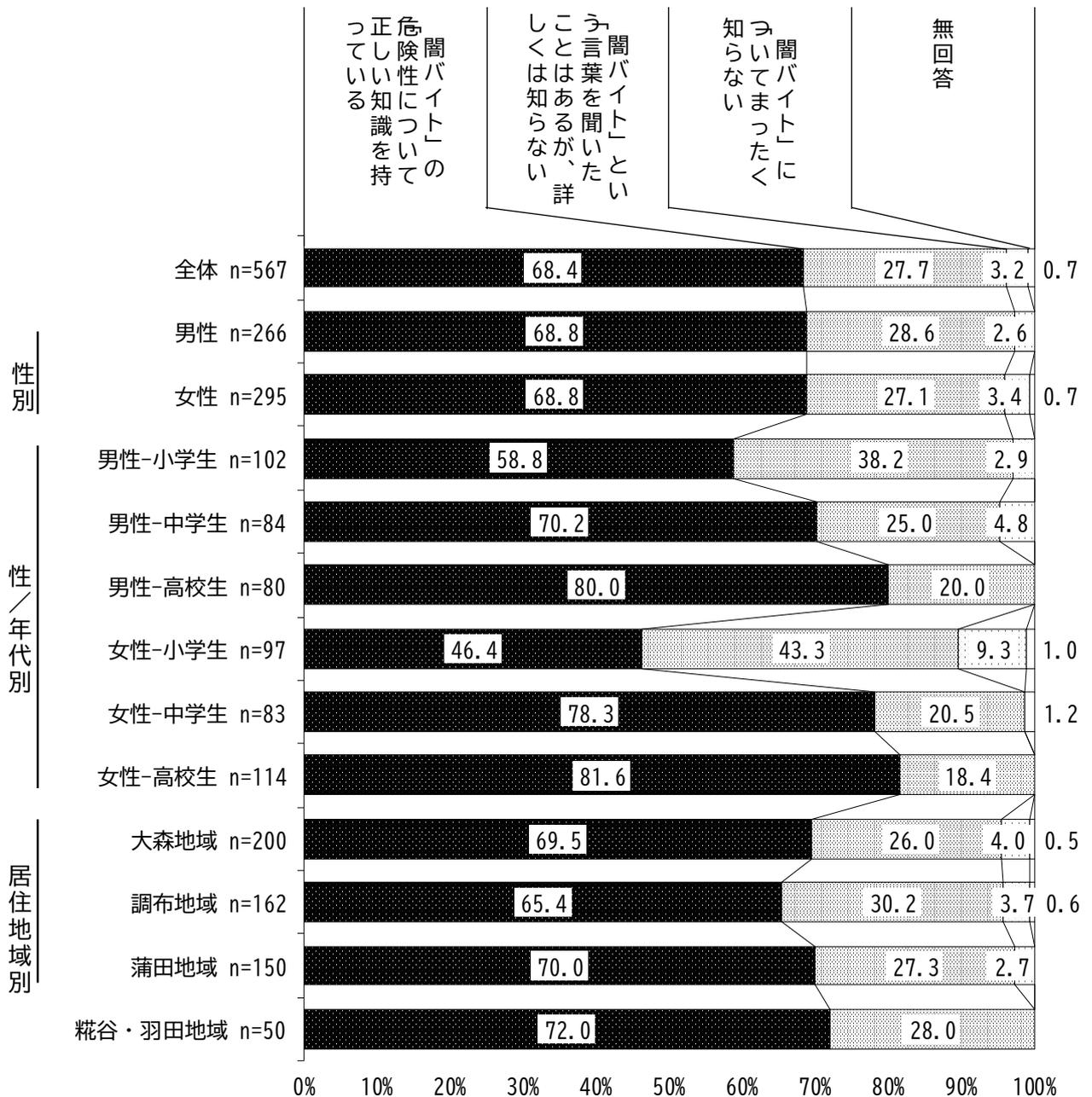
¹⁶ SNS やインターネット掲示板等で、簡単に高収入をもらえるなどの甘い言葉でアルバイトと称して求人を行い、特殊詐欺や強盗の実行犯など、犯罪組織に加担させる手口

■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、『闇バイト』という言葉を知ったことはあるが、詳しくは知らない」は男性が28.6%、女性が27.1%と男性が1.5ポイント上回っている。

性／年代別でみると、『闇バイト』の危険性について正しい知識を持っている」は男性－高校生で8割、女性－高校生で8割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、『闇バイト』の危険性について正しい知識を持っている」は調布地域で6割半ばと低くなっている。

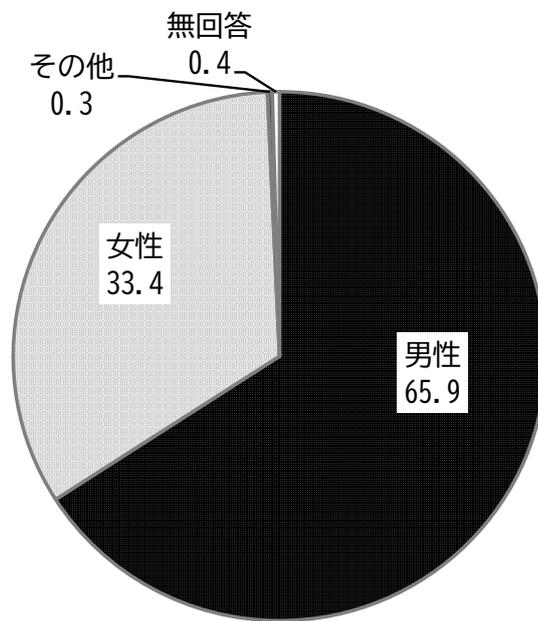


VI 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査⑤

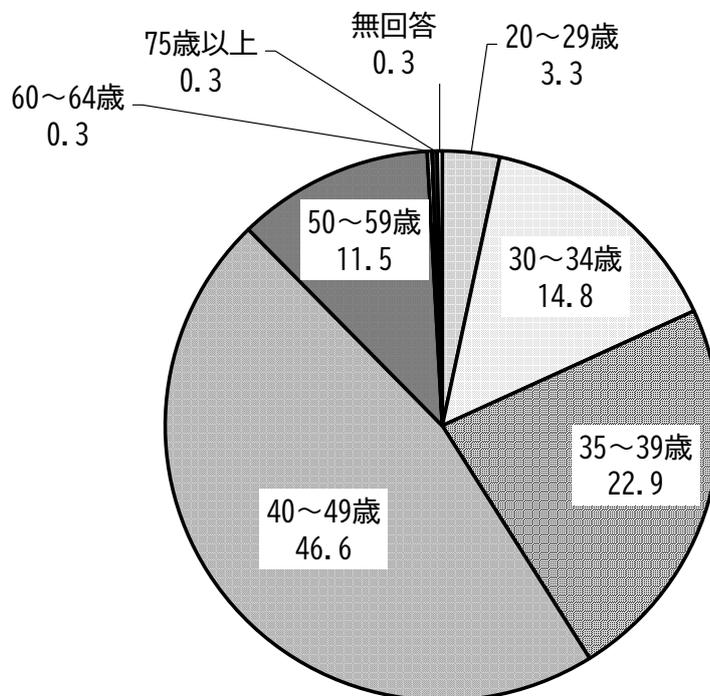
1 回答者の属性について

(1) 性別

回答者：有効回収数（n=689）

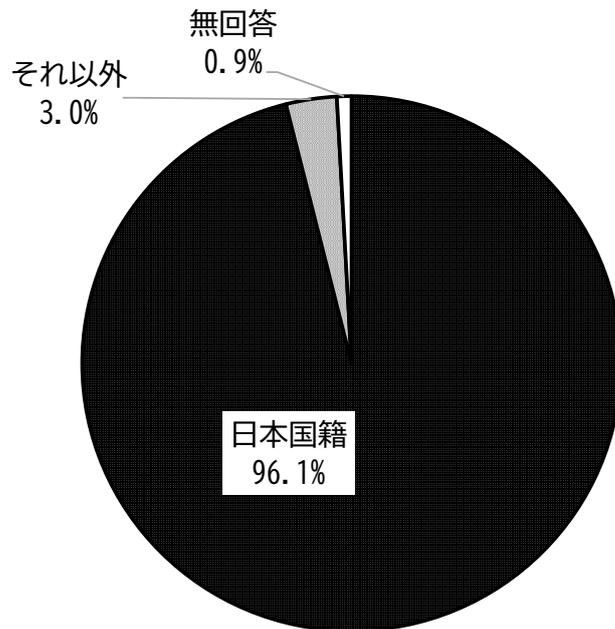


(2) 年齢



(3) 国籍

全体 n=689

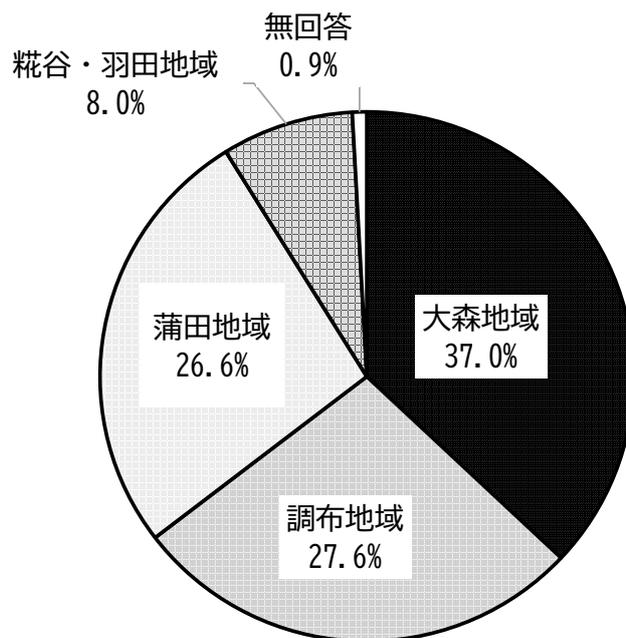


■ 日本国籍以外

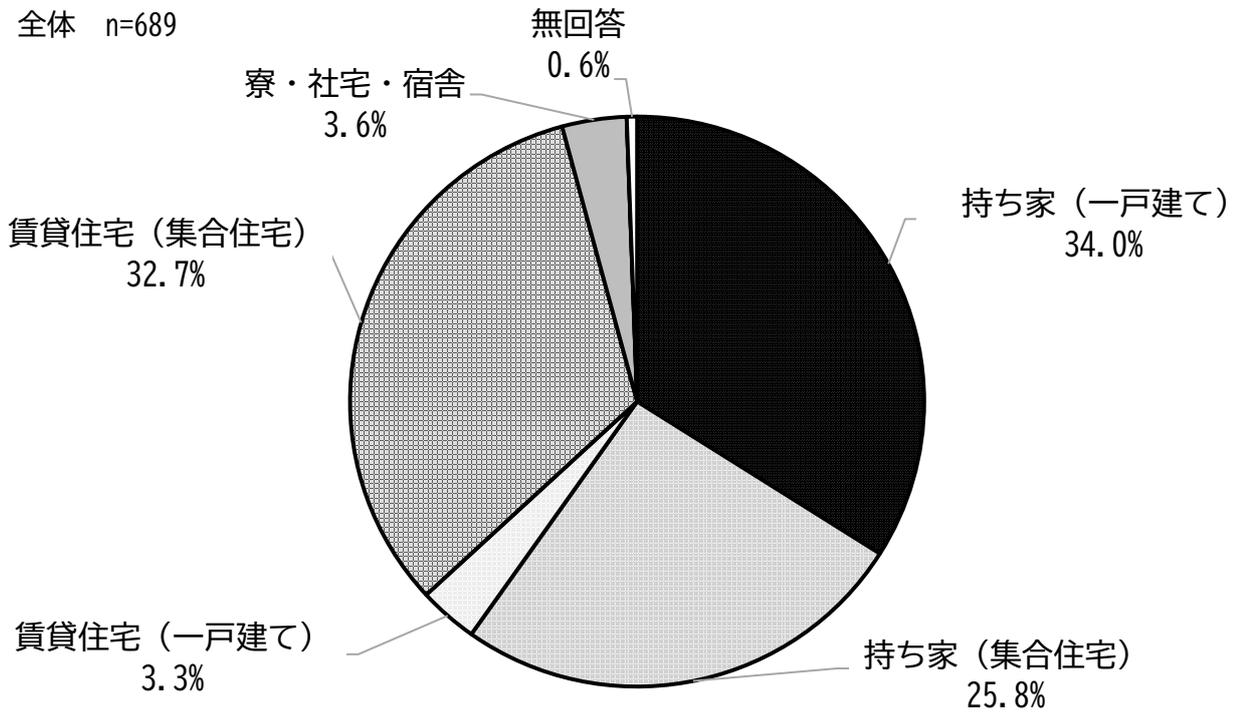
国名	中国	韓国	フィリピン	ベトナム	ネパール	インド	イギリス	カナダ
人数	7	2	3	3	3	1	1	1

(4) 居住地域

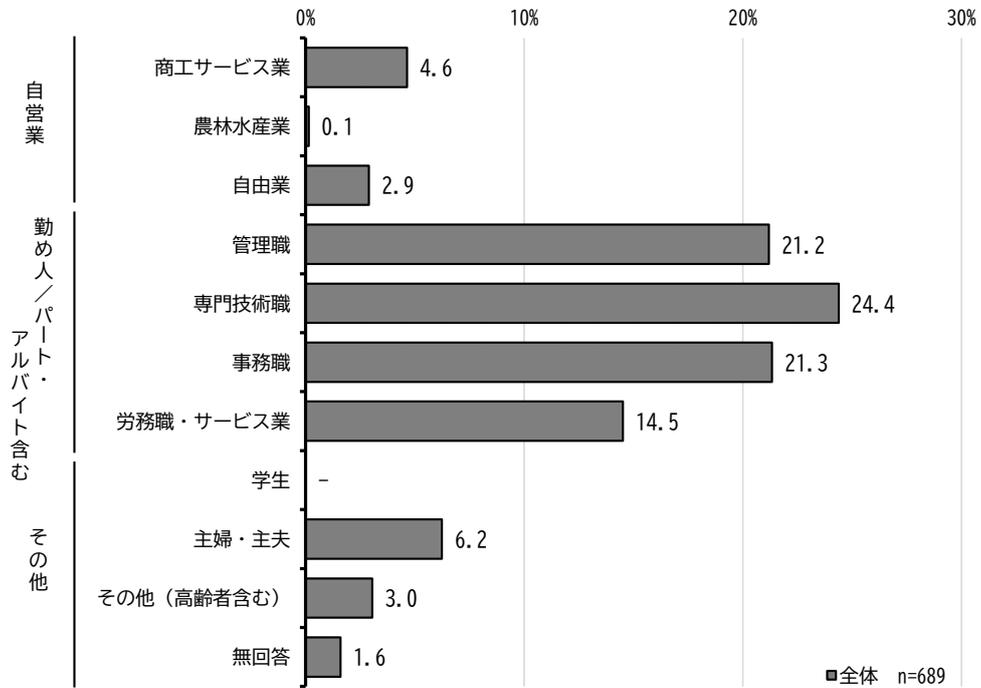
全体 n=689



(5) 住まいの種類

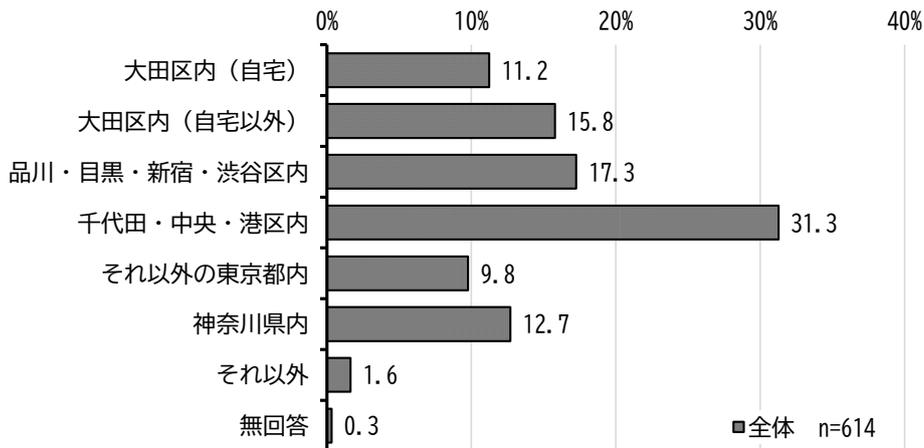


(6) 職業



(7) 主な通勤・通学先

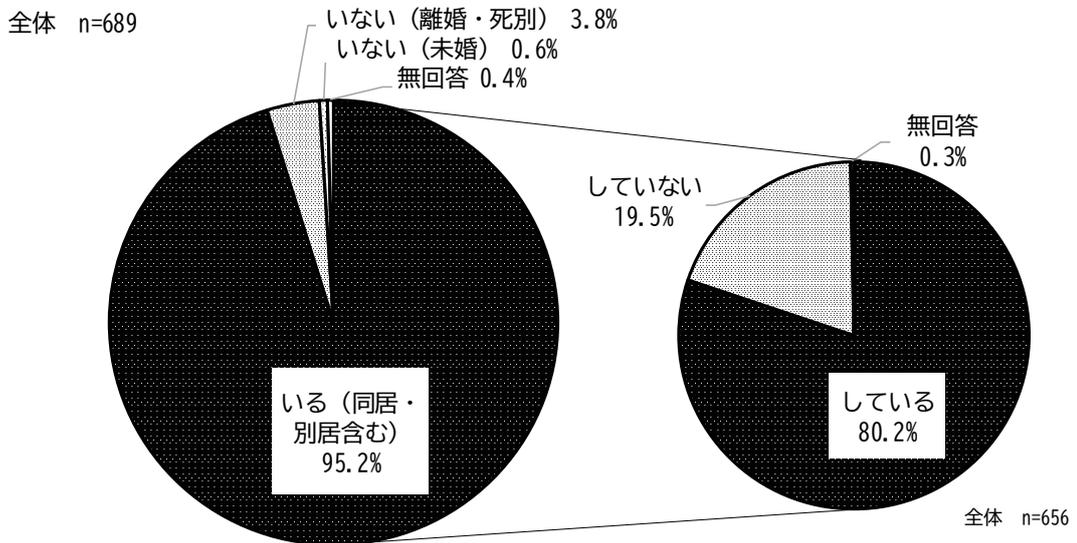
【(6) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】



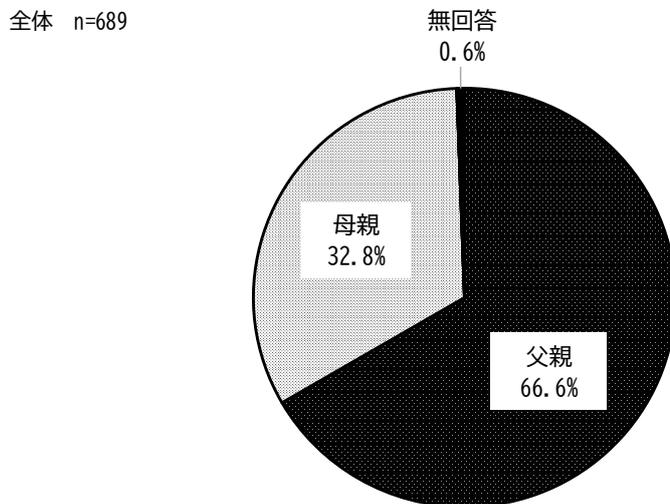
(8) 配偶者の有無

(9) 共働きの状況

【(8) 配偶者の有無で「いる(同居・別居含む)」と回答した方】

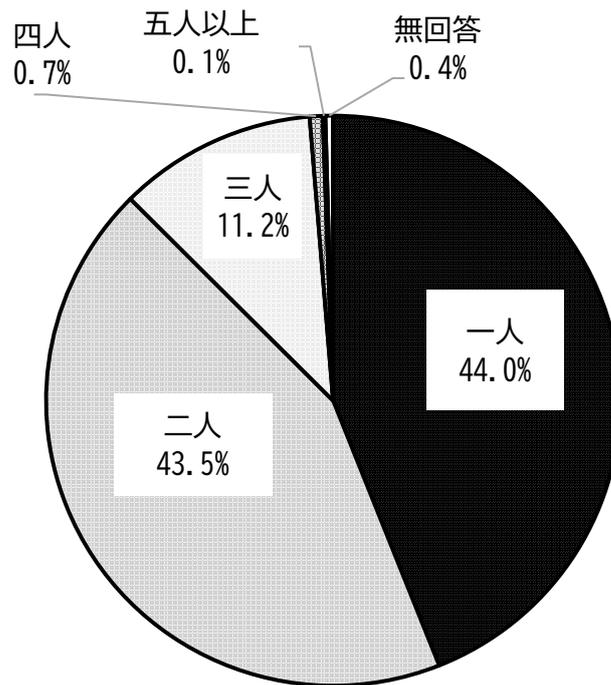


(10) こどもとの続柄

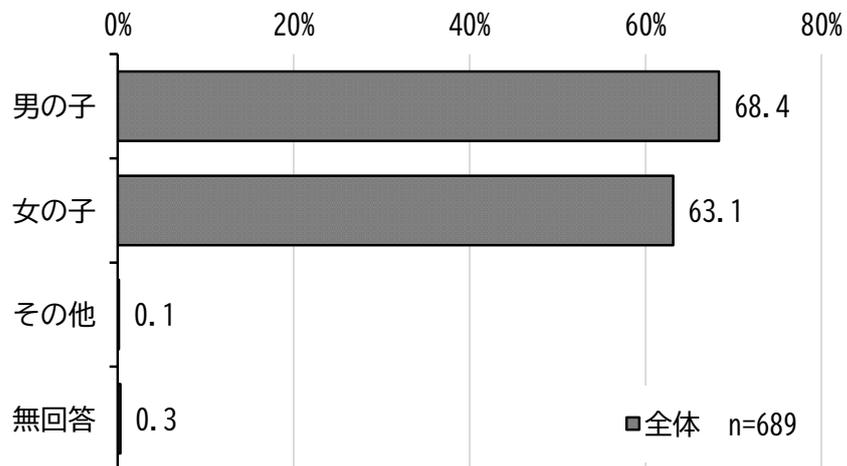


(11) こどもの数

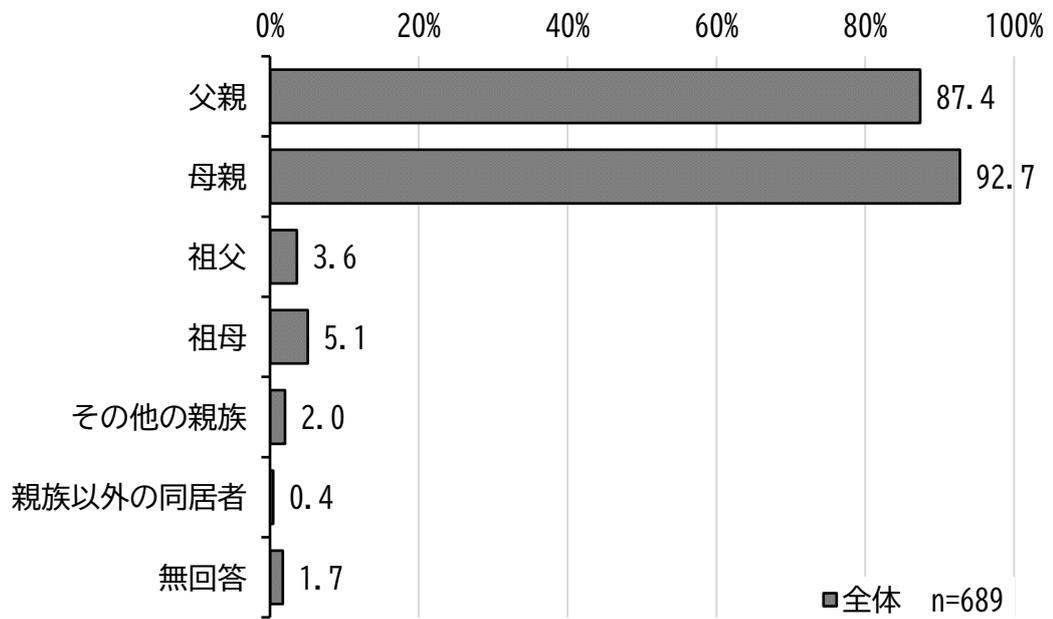
全体 n=689



(12) こどもの性別



(13) 同居家族



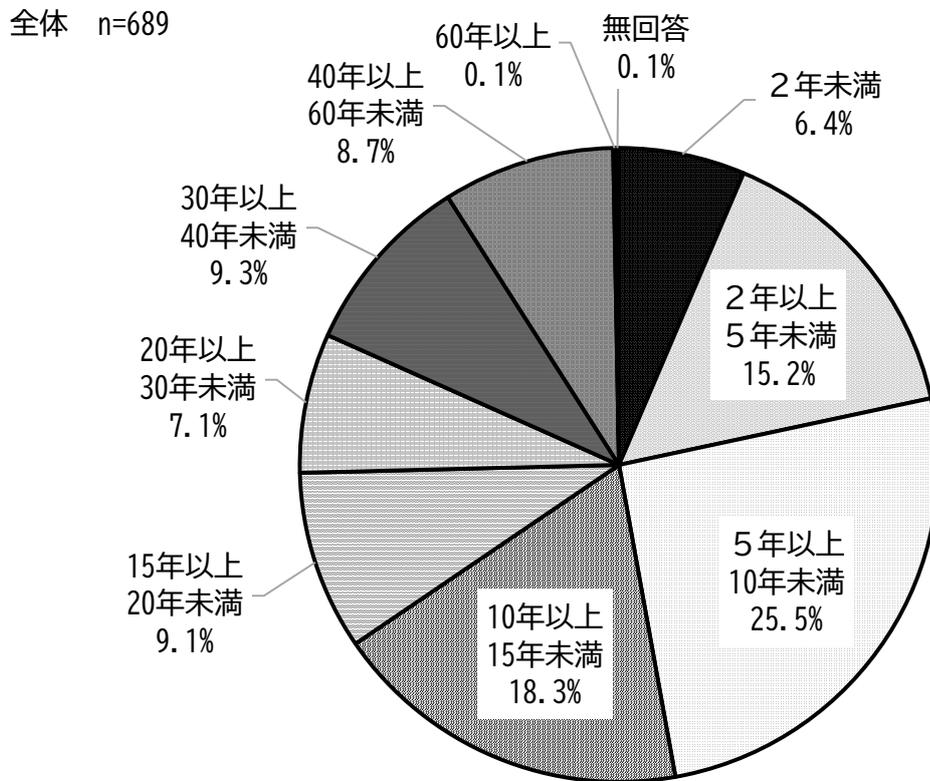
2 居住年数・定住意向について

(1) 居住年数

◇「5年以上10年未満」が2割半ばで最も高くなっている

問1 あなたは大田区に、通算、何年間居住していますか。(1つのみ)

居住年数については、「5年以上10年未満」が25.5%と最も高く、次いで「10年以上15年未満」が18.3%、「2年以上5年未満」が15.2%となっている。



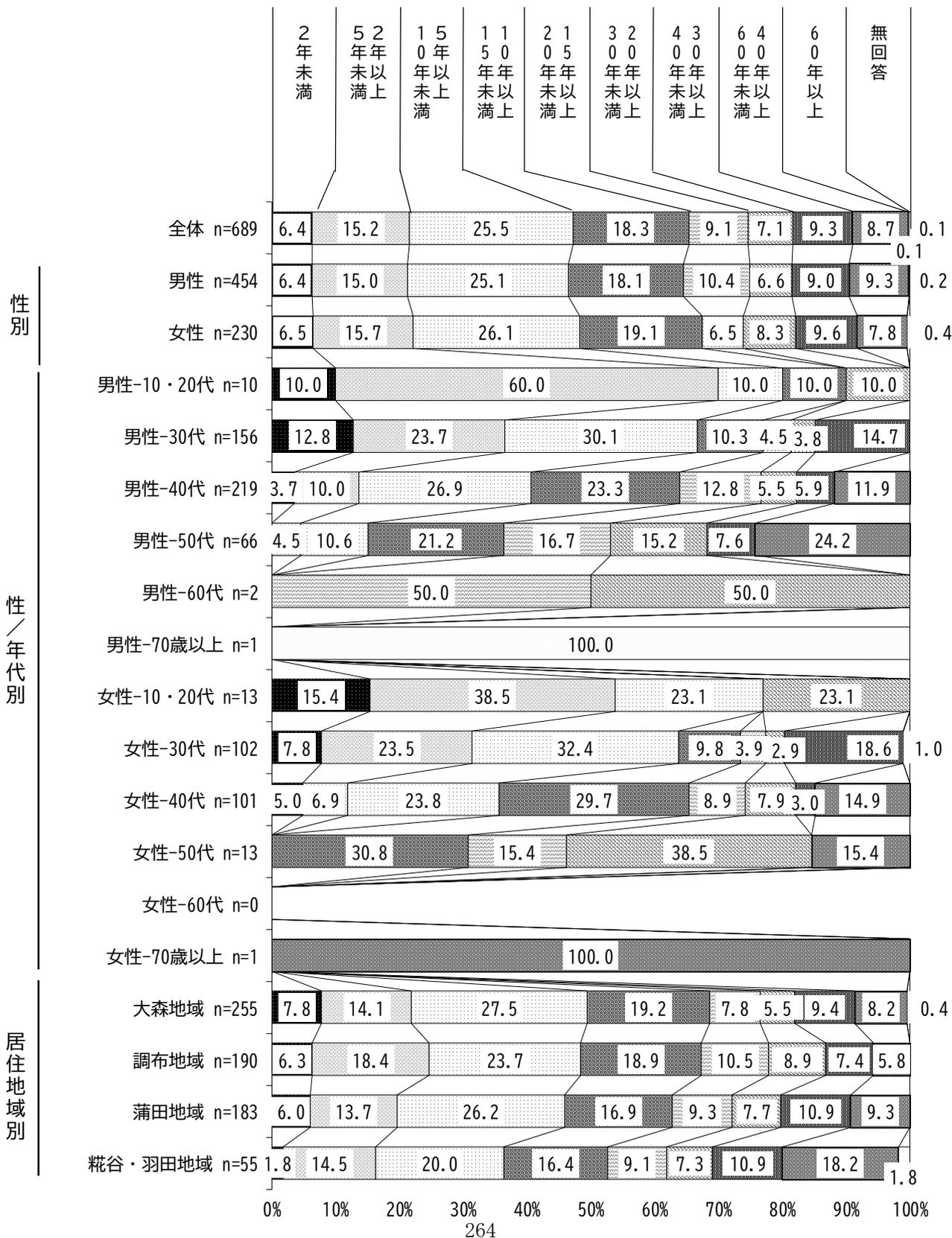
■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「15年以上20年未満」は男性が10.4%、女性が6.5%となっており、男性が3.9ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「5年以上10年未満」は男性30代で約3割、女性30代で3割前半と高くなっている。

「2年以上5年未満」は男性10・20代で6割と高くなっている。

居住地域別でみると、「40年以上60年未満」は糎谷・羽田地域で1割後半と高くなっている。

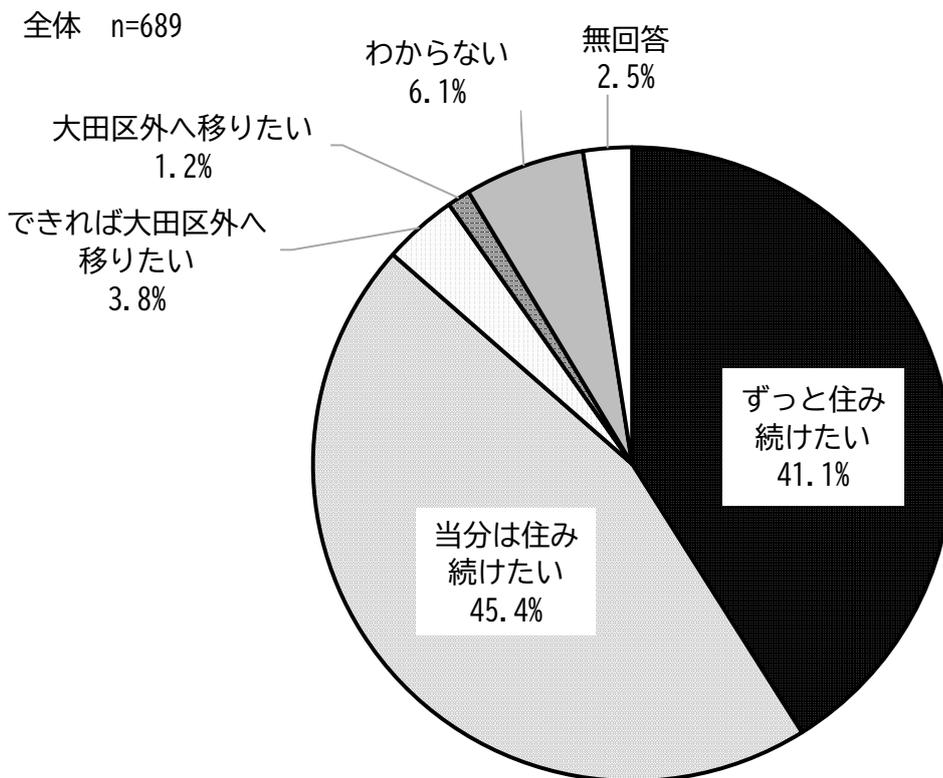


(2) 定住意向

◇《住み続けたい》(「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の合計値)が8割半ばとなっている

問2 これからも大田区に住みたいと思いますか。(1つのみ)

今後の居住意向については、「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」の合計値《住み続けたい》が86.5%となっている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」、「大田区外へ移りたい」の合計値《大田区外へ移りたい》が4.9%と、《住み続けたい》が81.6ポイント上回っている。

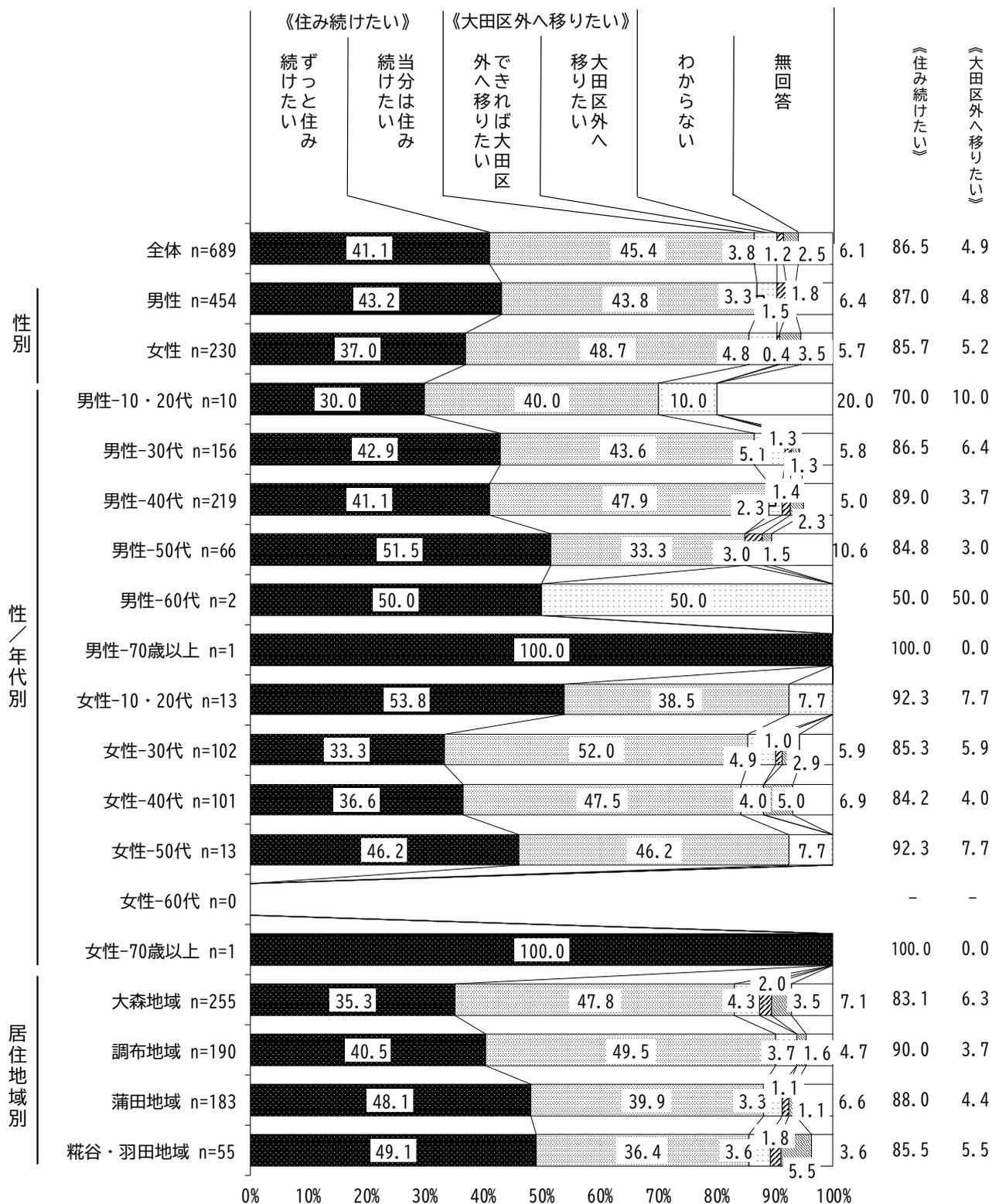


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「ずっと住みたい」は男性が 43.2%、女性が 37.0%と、男性が 6.2 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「住みたい」は男性 40 代で約 9 割、男性 30 代、女性 30 代、40 代で 8 割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「住みたい」は調布地域で 9 割と高くなっている。



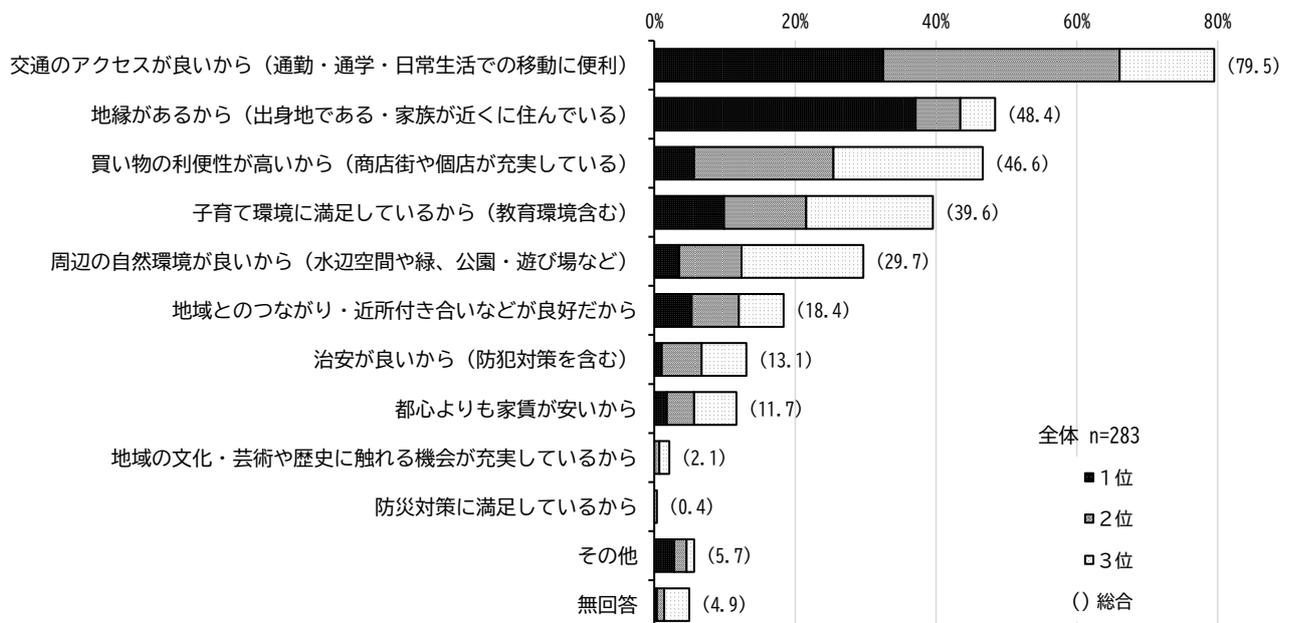
(3) 大田区に住み続けたい理由

◇「交通のアクセスが良いから（通勤・通学・日常生活での移動に便利）」が約8割で最も高くなっている

【問2で「1ずっと住み続けたい」と回答した方に伺います。】

問2-1 「ずっと住み続けたい」理由は何ですか。（上位3つを選択）

大田区に住み続けたい理由については、「交通のアクセスが良いから（通勤・通学・日常生活での移動に便利）」が79.5%で最も高く、次いで「地縁があるから（出身地である・家族が近くに住んでいる）」が48.4%、「買い物の利便性が高いから（商店街や個店が充実している）」が46.6%となっている。

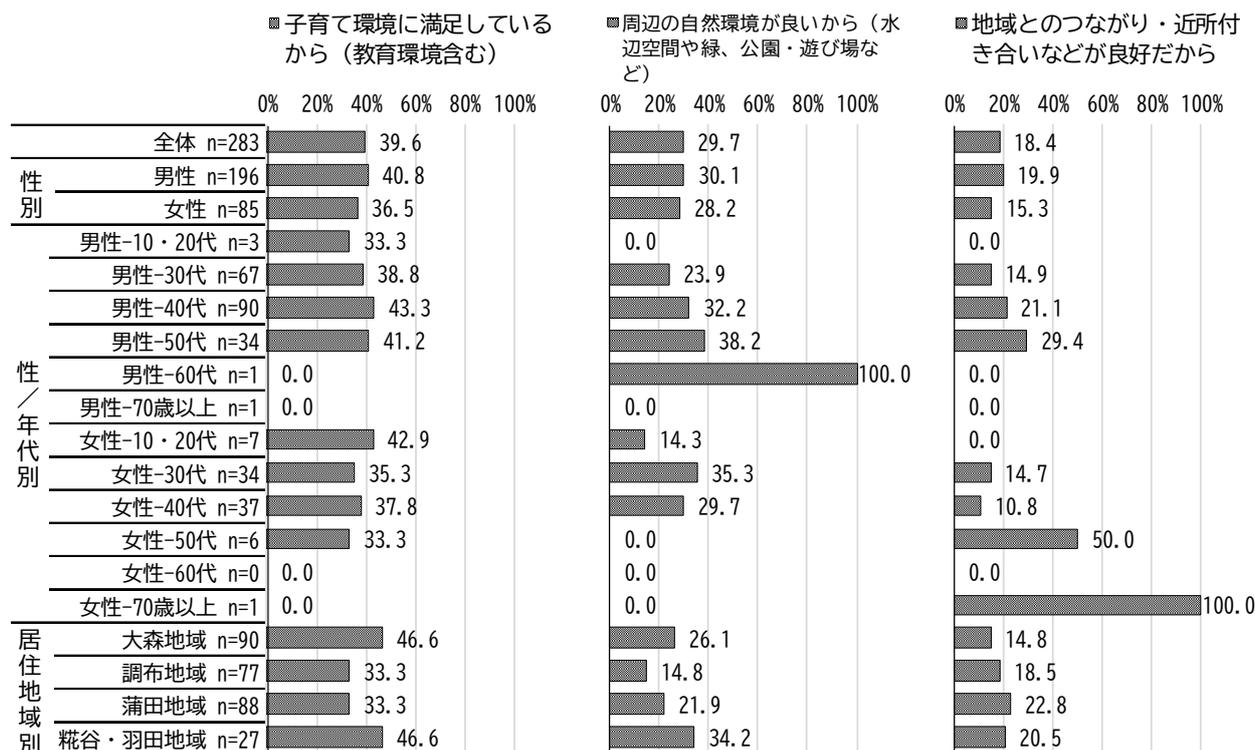
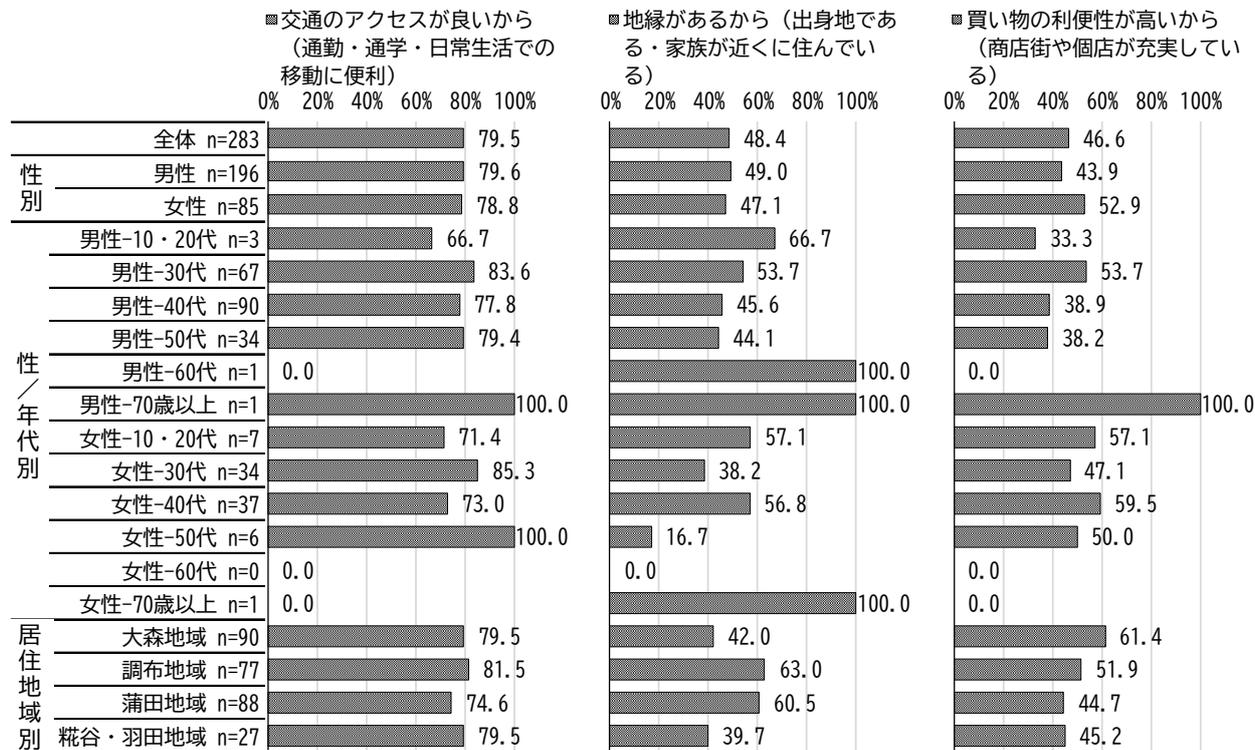


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「交通のアクセスが良いから（通勤・通学・日常生活での移動に便利）」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「交通のアクセスが良いから（通勤・通学・日常生活での移動に便利）」は男性30代、女性40代で8割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「買い物の利便性が高いから」は大森地域で6割前半と高くなっている。



(4) 大田区に住み続けたい期間

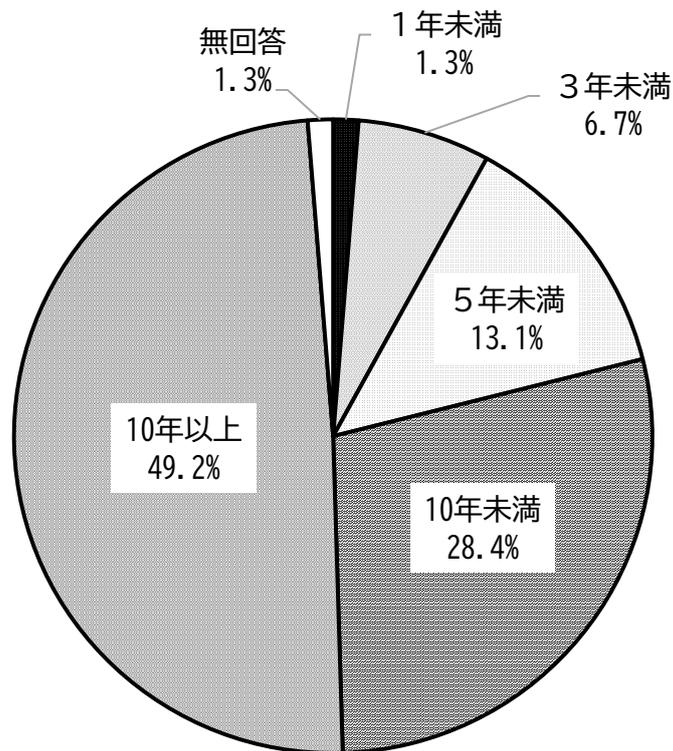
◇「10年以上」が約5割で最も高くなっている

【問2で「2当分は住み続けたい」と回答した方に伺います。】

問2-2 「当分は住み続けたい」とはどのくらいの期間で理由は何ですか。(1つのみ)

大田区に住み続けたい期間については、「10年以上」が49.2%で最も高く、次いで「10年未満」が28.4%、「5年未満」が13.1%、「3年未満」が6.7%となっている。

全体 n=313

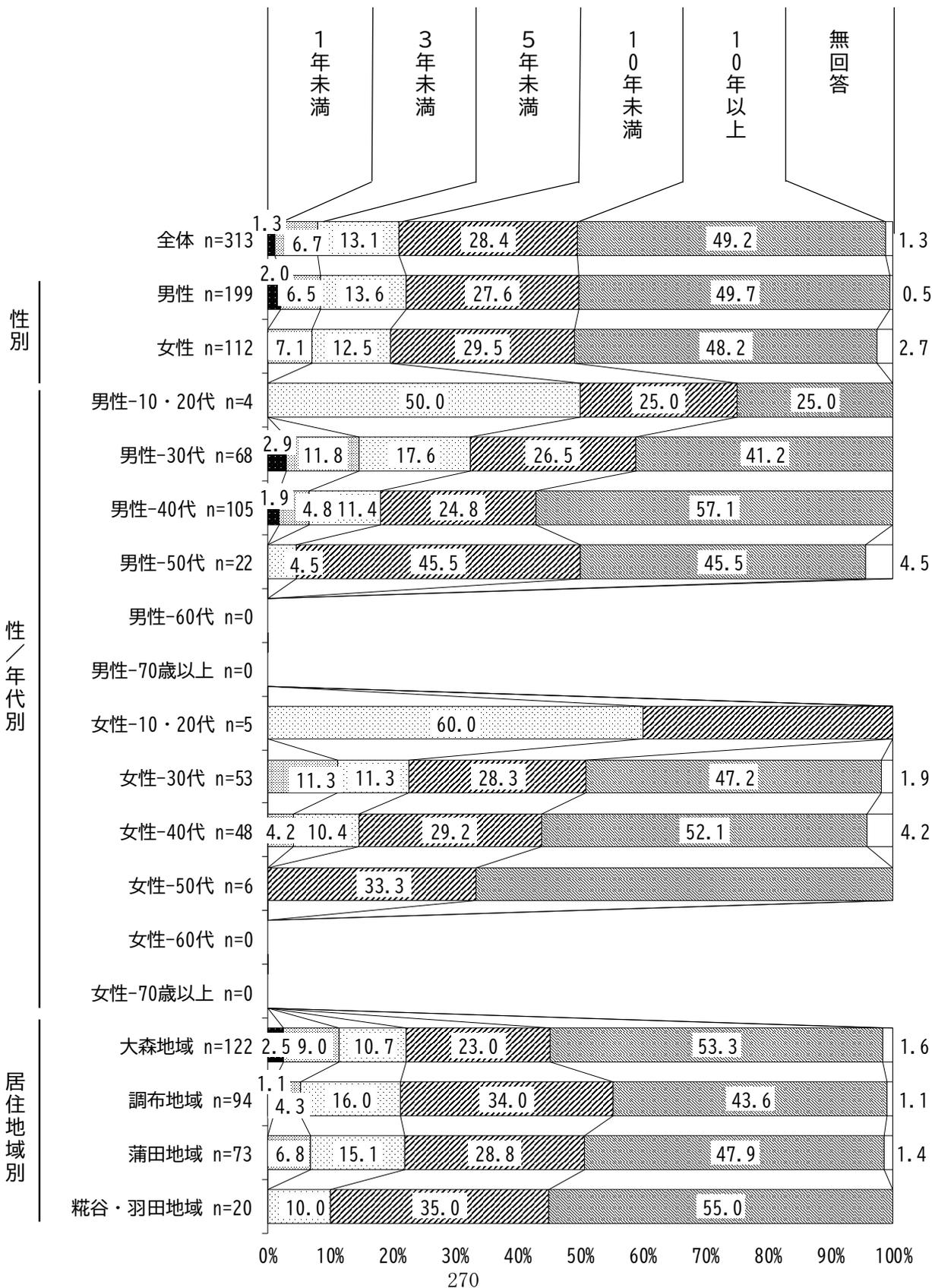


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「10年未満」は男性が27.6%、女性が29.5%と女性が1.9ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「10年以上」は男性40代で5割後半、女性40代で5割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「10年以上」は糞谷・羽田地域で5割半ばと高くなっている。



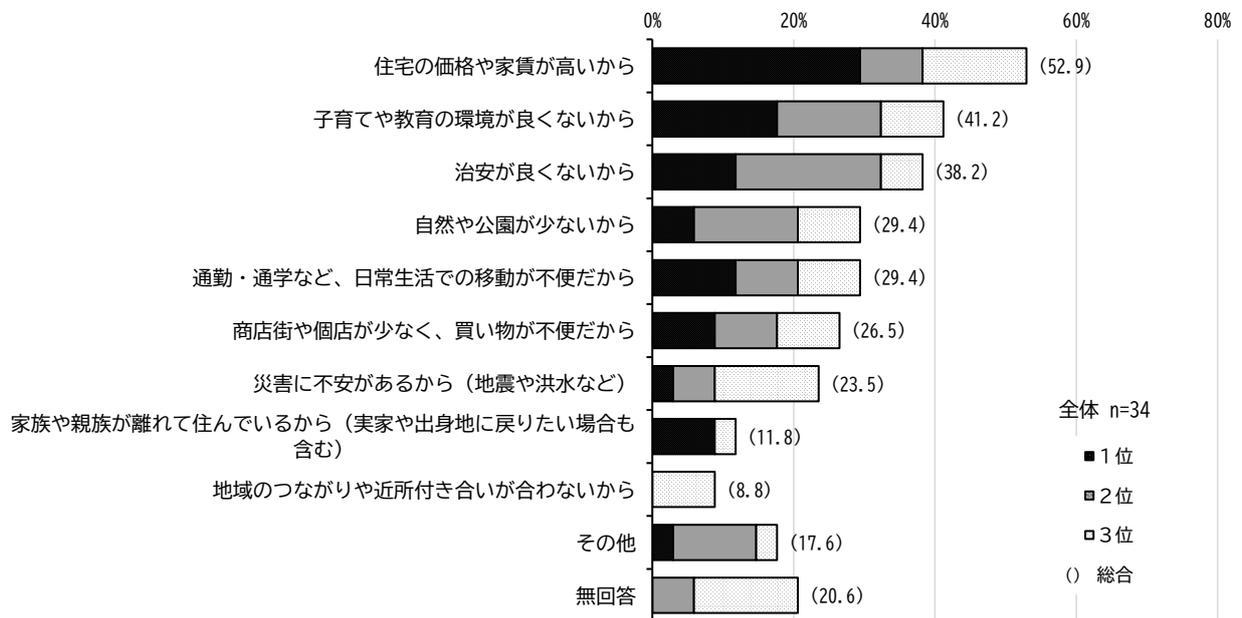
(5) 大田区外へ移りたい理由

◇「住宅の価格や家賃が高いから」が5割前半で最も高くなっている

【問2で「3できれば大田区外へ移りたい」、「4大田区外へ移りたい」と回答した方に伺います。】

問2-3 「大田区外へ移りたい」理由は何ですか。(上位3つを選択)

大田区外へ移りたい理由については、「住宅の価格や家賃が高いから」が52.9%で最も高く、次いで「子育てや教育の環境が良くないから」が41.2%、「治安が良くないから」が38.2%となっている。

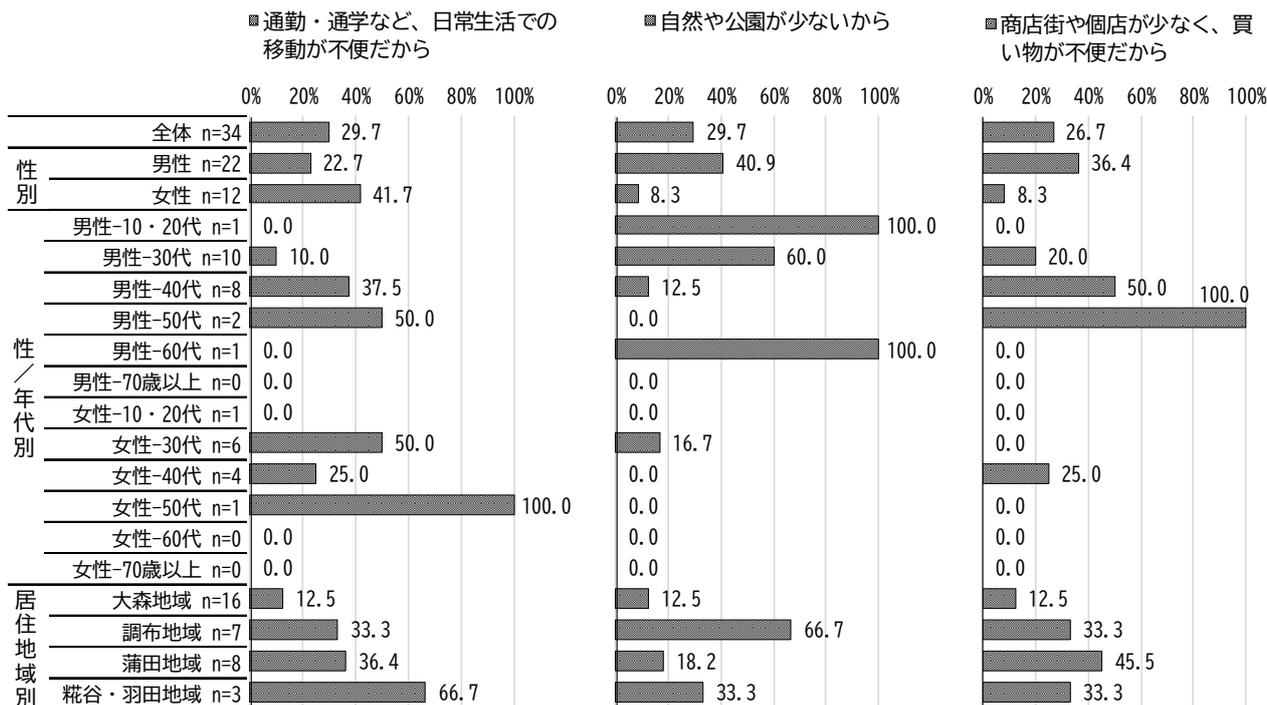
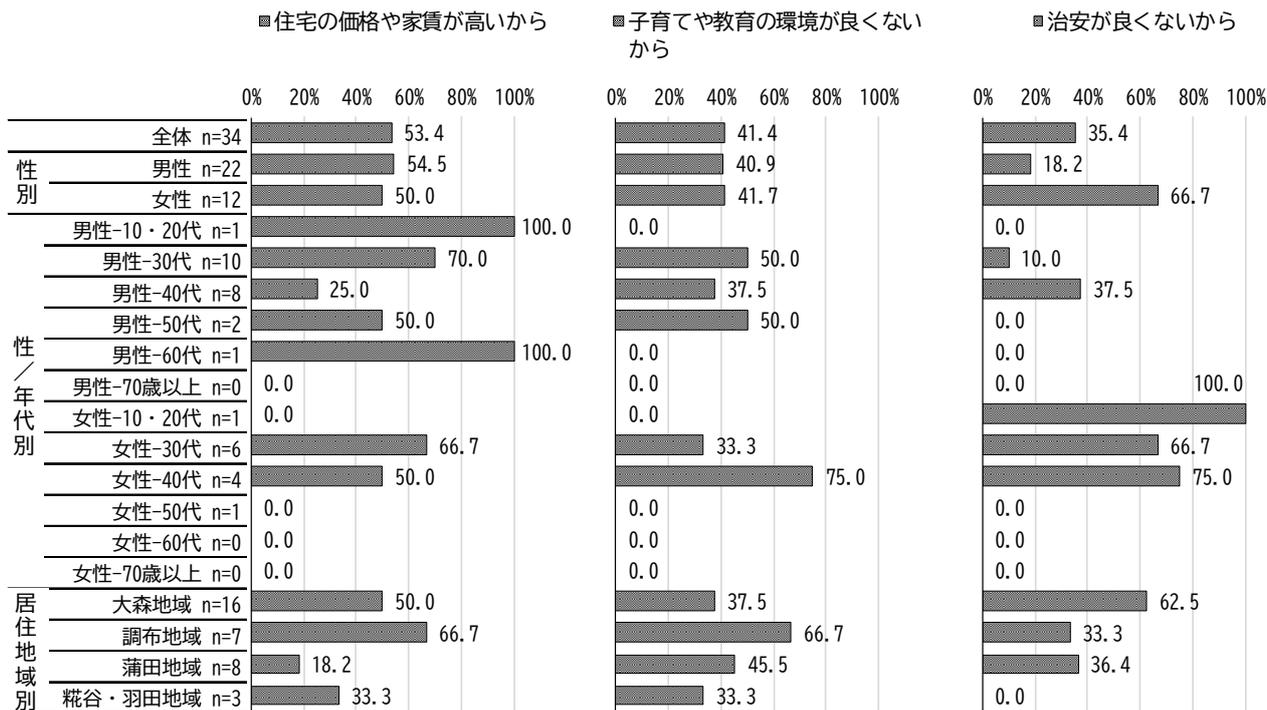


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性は「住宅の価格や家賃が高いから」が54.5%、女性は「治安が良くないから」が66.7%とそれぞれ最も高くなっている。

性／年代別でみると、「住宅の価格や家賃が高いから」は男性30代で7割、女性30代で6割後半となっている。

居住地域別でみると、調布地域で「住宅の価格や家賃が高いから」、「子育てや教育の環境が良くないから」、「自然や公園が少ないから」がそれぞれ6割後半、糞谷・羽田地域で「通勤・通学など、日常生活での移動が不便だから」が6割後半となっている。



3 子育て環境について

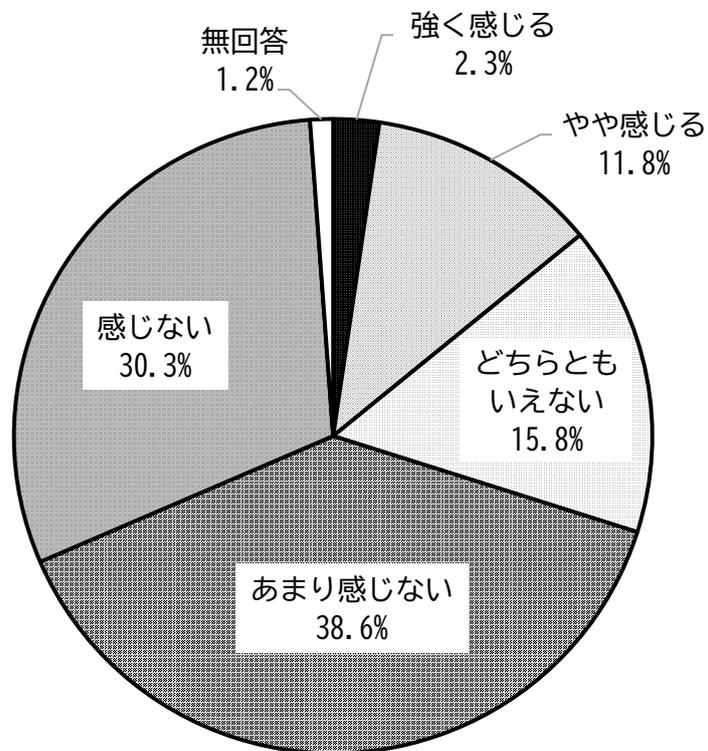
(1) 子育ての孤独感・孤立感

◇ 《感じない》（「あまり感じない」「感じない」の合計値）が6割後半となっている

問3 子育てに関して孤独や孤立を感じていますか。
(1つのみ)

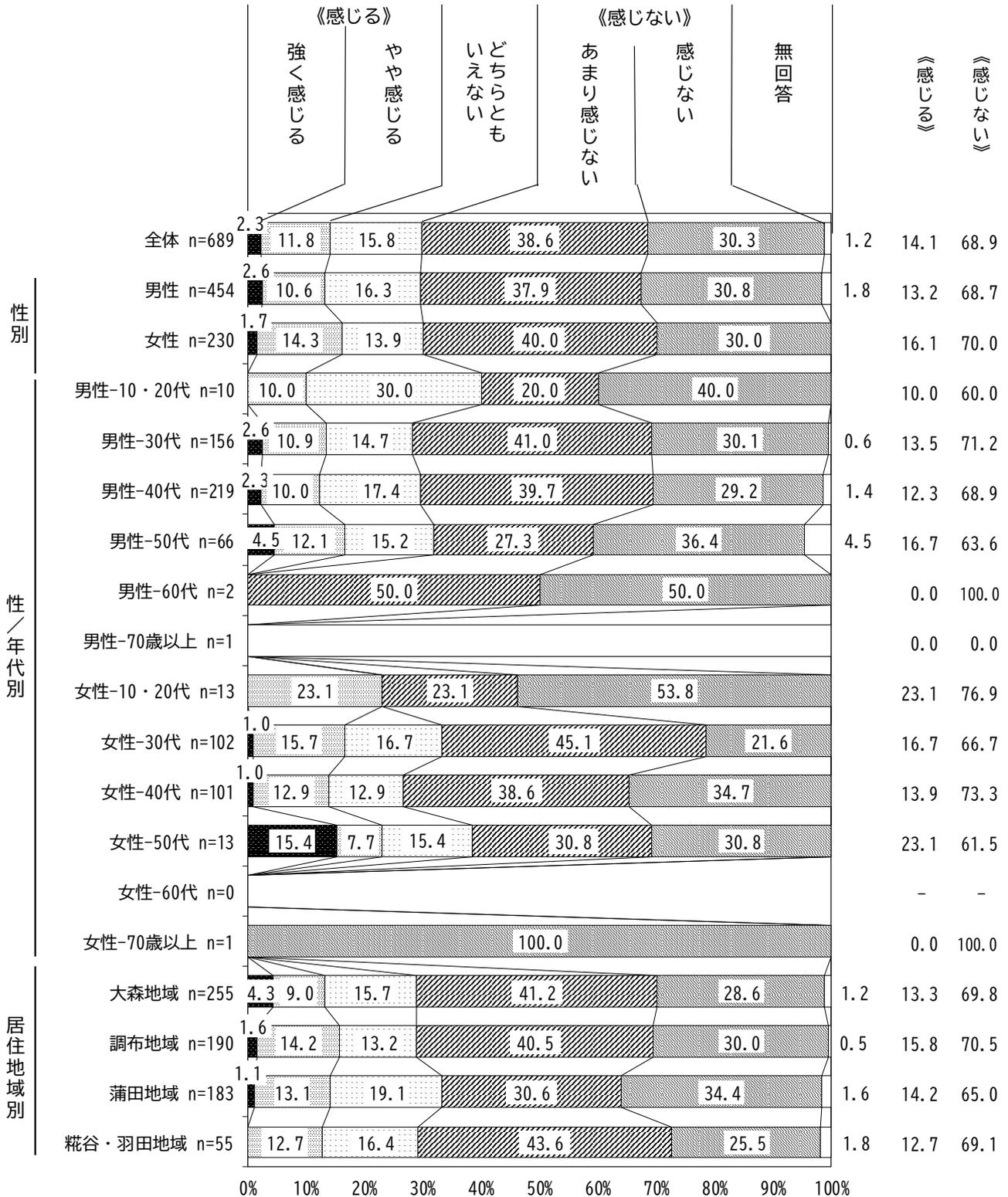
子育ての孤独感・孤立感については、「強く感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》が14.1%となっている。一方、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が68.9%と、《感じる》が54.8ポイント上回っている。

全体 n=689



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は男性が13.2%、女性が16.1%と、女性が2.9ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、《感じない》は男性30代、女性30代で7割前半と高くなっている。
 居住地域別でみると、《感じる》は調布地域で15.8%と高くなっている。



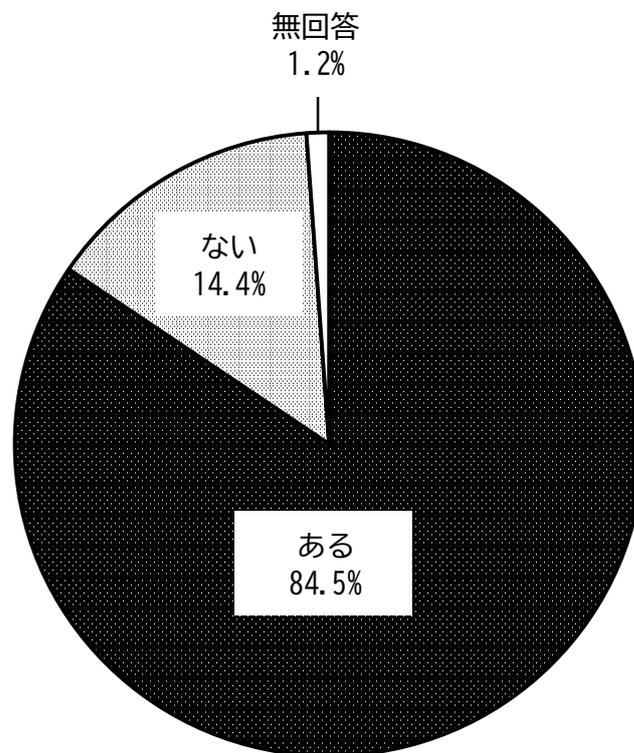
(2) 子育てで相談できる人や場所の有無

◇「ある」が8割半ばとなっている

問4 子育てに悩んだり困ったりした時に相談できる人、又は、相談できる場所がありますか。(1つのみ)

子育てで相談できる人や場所の有無については、「ある」が84.5%、「ない」が14.4%となっており、「ある」が70.1ポイント上回っている。

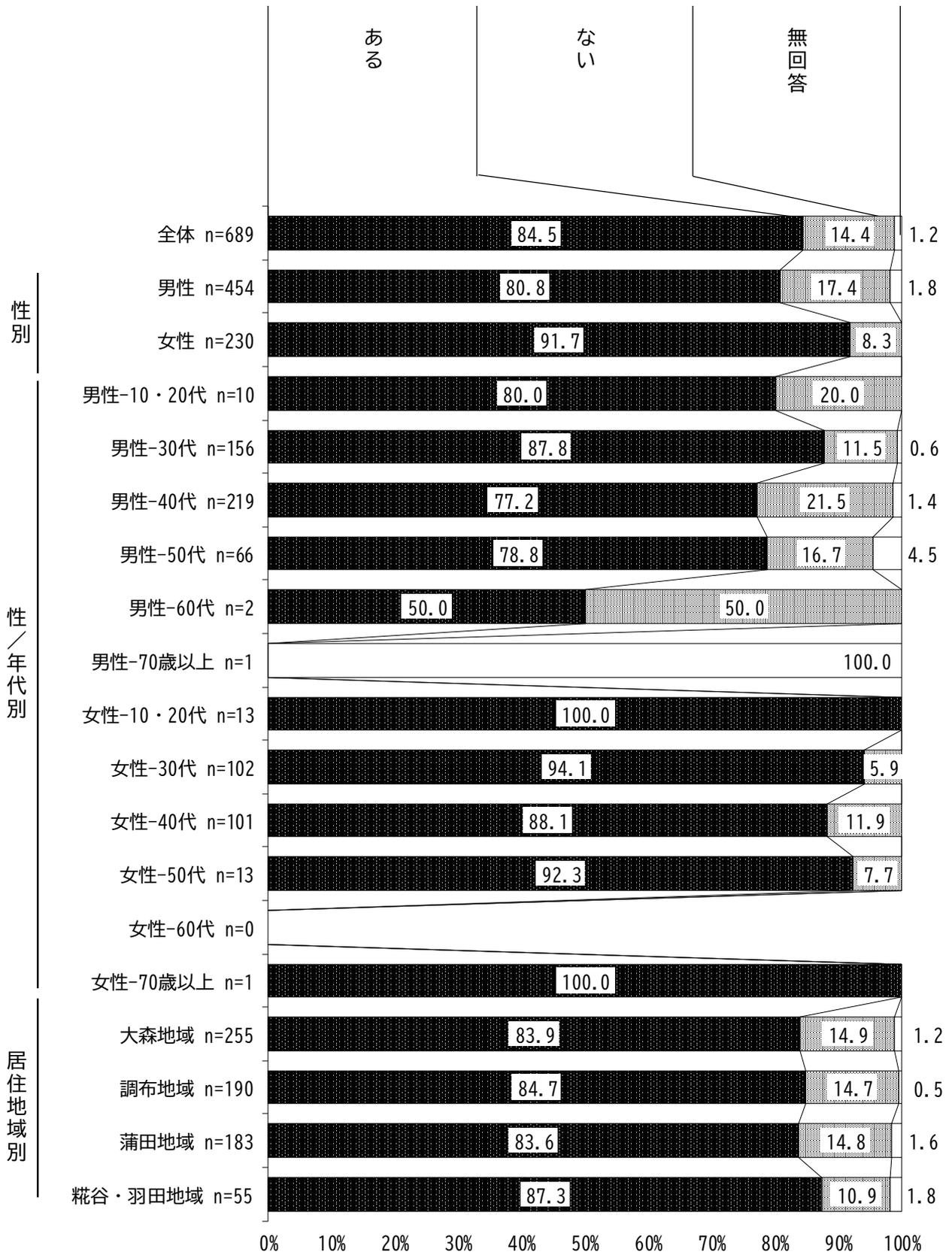
全体 n=689



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「ある」は男性が80.8%、女性が91.7%と、女性が10.9ポイント上回っている。性／年代別でみると、「ある」は女性のすべての年代で8割後半以上と高くなっている。一方、男性40代、50代は7割後半となっている。

居住地域別でみると、「ある」は糀谷・羽田地域で8割後半と高くなっている。



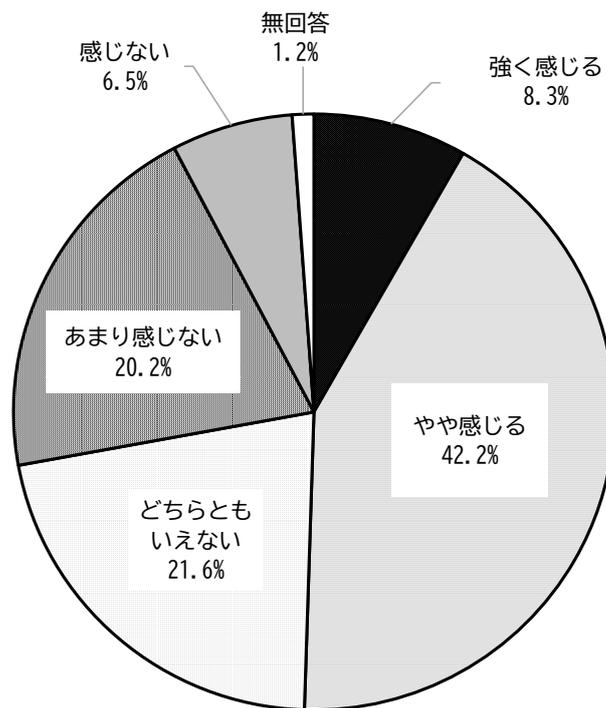
(3) 地域に見守られて子どもが成長していると感じるか

◇《感じる》(「強く感じる」「やや感じる」の合計値)が約5割となっている

問5 地域に見守られて子どもが成長していると感じますか。(1つのみ)

地域に見守られて子どもが成長していると感じるかについては、「強く感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》が50.5%となっている。一方、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が26.7%と、《感じる》が23.8ポイント上回っている。

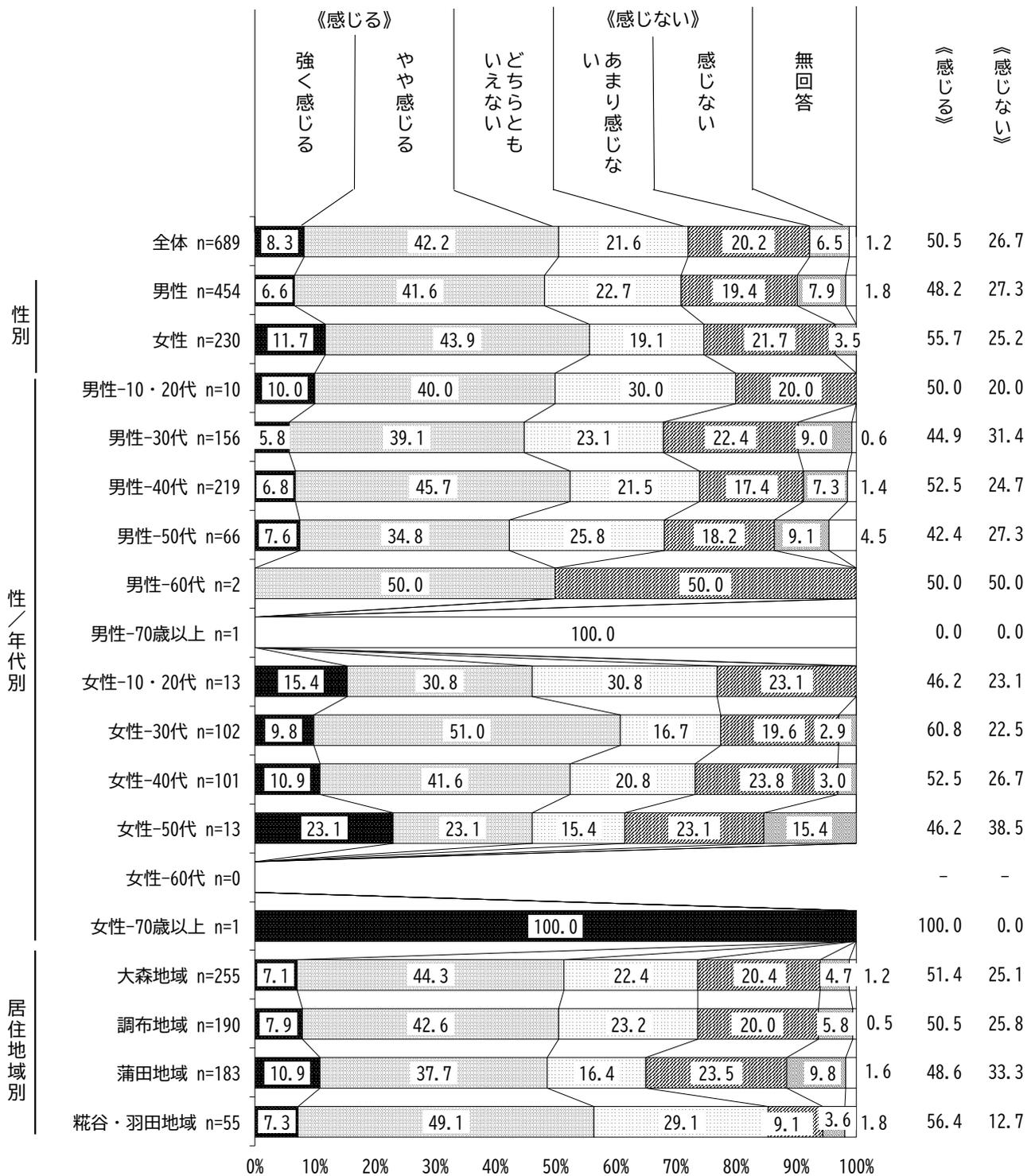
全体 n=689



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は男性が48.2%、女性が55.7%と、女性が7.5ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、《感じる》は女性30代で約6割と高くなっている。

居住地域別でみると、《感じる》は糎谷・羽田地域で5割半ばと高くなっている。一方、《感じない》は蒲田地域で3割前半と高くなっている。



(4) こどもが将来への希望をもって、学び、成長することができるか。

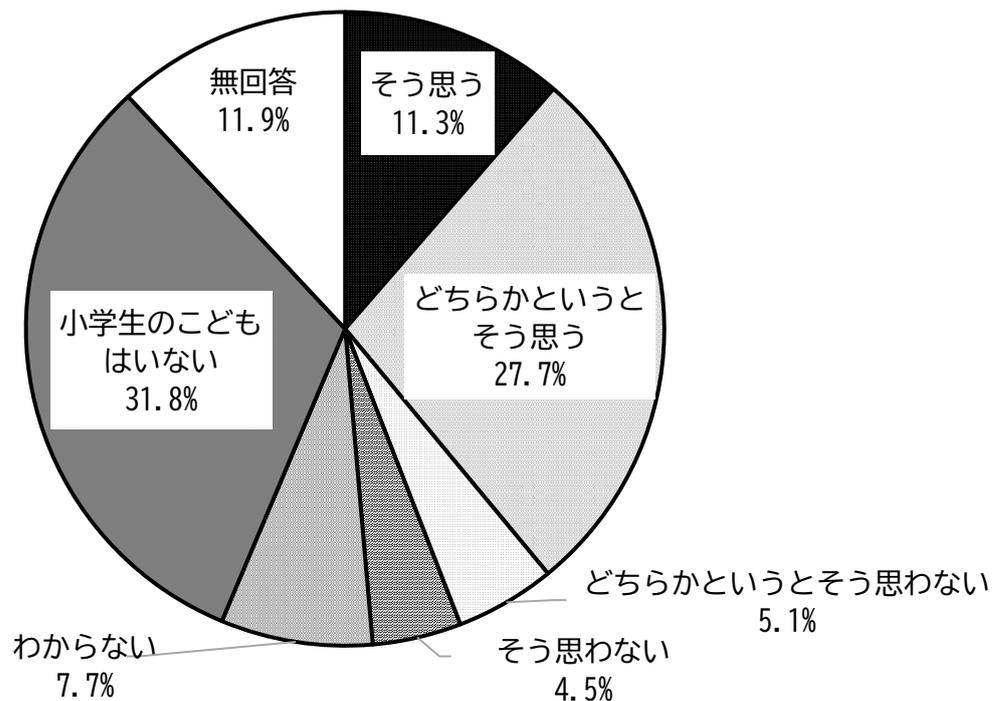
◇《そう思う》(「そう思う」「どちらかというと思う」の合計値)が約4割となっている

問6 小学生のお子さんをお持ちの方に伺います。ご自身のお子さんが、将来への希望をもって、学び、成長することができると思いますか。(1つのみ)

こどもが将来への希望をもって、学び、成長することができるかについては、「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計値《そう思う》が39.0%となっている。一方、「どちらかというと思わない」、「そう思わない」の合計値《そう思わない》が9.6%と、《そう思う》が29.4ポイント上回っている。

なお、「小学生のこどもはいない」は31.8%となっている。

全体 n=689

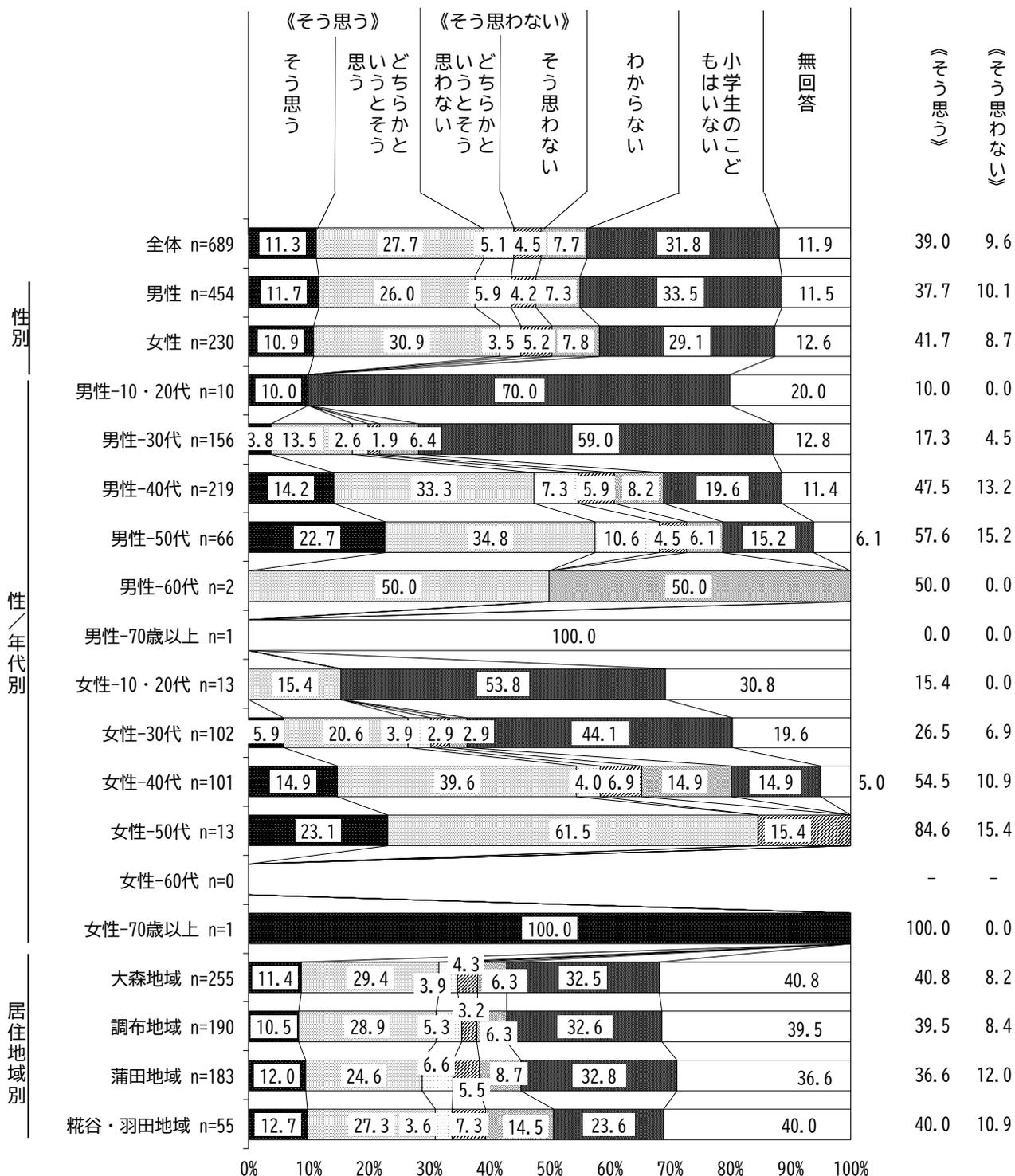


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《そう思う》は男性が 37.7%、女性が 41.7%と、女性が 4.0 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《そう思う》は女性 50 代で 8 割半ば、男性 50 代で 5 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《そう思わない》は蒲田地域で 1 割前半と高くなっている。



VII 資料編～使用した調査票～

V 資料編～使用した調査票～

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査① 調査票

以下の項目について、あてはまる回答の番号に○をつけてください。

問1 大田区内の公共交通網に満足していますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 とても満足している | 3 あまり満足していない |
| 2 まあまあ満足している | 4 満足していない |

問2 [] 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 とても利用しやすい | 3 あまり利用しにくい |
| 2 まあまあ利用しやすい | 4 不便である |

問3 [] 大田区内の公共交通対策の中で、早期に実現してほしいものはありますか。(複数選択可)

- | | |
|--|---|
| 1 鉄道路線の充実（JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の 신설を含む） | |
| 2 交通不便地域の改善 | |
| 3 踏切対策 | |
| 4 公共交通機関のバリアフリー化 | |
| 5 その他（具体的に | ） |
| 6 特になし | |

問4 バス、車、自転車等で空港臨海部の埋立島部（平和島、昭和島、京浜島、東海、城南島、令和島）へ訪れやすくなったと感じますか。該当するものを選択してください。(1つのみ)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 感じる | 4 感じない |
| 2 やや感じる | 5 どちらともいえない |
| 3 あまり感じない | |

問5 普段から自転車を使いますか。(1つのみ)

- | | | |
|---------|--------------|----------------------|
| 1 よく使う | } 問5-1～問5-6へ | 3 まったく使わない ⇒問6(P.3)へ |
| 2 たまに使う | | 7 |

【問5で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-1 自転車の通行場所や進行方向を示す「自転車ナビマーク・ナビライン[※]」を知っていますか。(1つのみ)

- | |
|------------------------|
| 1 知っていて、意識して通行している |
| 2 知っているが、意識して通行したことはない |
| 3 知らなかった |

【問5で「1よく使う」「2たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-2 今後自転車レーンや自転車ナビマーク・ナビライン[※]などの自転車走行環境をさらに充実してほしい道路はどのような道路ですか。

(複数選択可)

- | |
|-------------------|
| 1 国道や都道などの幹線道路 |
| 2 駅前や商店街など人が集まる道路 |
| 3 住宅街の主要な生活道路 |
| 4 これ以上整備する必要はない |
| その理由 () |

【問5で「1よく使う」「2たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-3 ご自身や周囲の方が自転車の交通ルールやマナーを学ぶにあたって、どのような機会があると良いと思いますか。(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1 小学校・中学校での交通安全教室 | 7 区報、区ホームページ等での情報発信 |
| 2 高校、大学、専門学校等を通じた研修、情報発信 | 8 駅での情報発信 |
| 3 会社を通じた研修や情報発信 | 9 高齢者の集まりでの交通安全教育 |
| 4 商業施設等での情報発信 | 10 こども会などの集まりでの情報発信 |
| 5 子育ての集まりの場での交通安全教育 | 11 イベントでの交通安全教育 |
| 6 町内会等の地域イベント等での情報発信 | 12 特に思いつかない、分からない |

【問5で「1よく使う」「2たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-4 自転車に乗るときにご自身が守れていないと思う交通ルールはありますか。

(複数選択可)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 歩道では車道寄りを徐行すること |
| 2 車道では左側を通行すること |
| 3 交差点右折時に二段階右折をすること |
| 4 一時停止、一方通行等の標識を守ること |
| 5 スマートフォンを使用したり、傘をさしたりしながら運転しないこと |
| 6 ルールは守っている |
| 7 その他 () |

【問5で「1よく使う」「2たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-5 休日などの余暇時間があるときに、サイクリングやサイクルスポーツを行っていますか。

(1つのみ)

- | | |
|----------|-------------------|
| 1 行っている | 3 行いたい、実際には行えていない |
| 2 行っていない | 8 |



【問5で「1よく使う」「2たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-6 大田区内の駅周辺に設置されている自転車駐輪場の数は足りていると感じますか。
(1つのみ)

- | | |
|----------|---------|
| 1 足りている | ⇒ 問6へ |
| 2 足りていない | ⇒ 問5-7へ |

【問5-6で「2足りていない」と回答した方に伺います。】

問5-7 どの駅周辺で不足していると感じますか。(最大3つまで記入してください)

- | | |
|------|------|
| 9 (| 11 (|
| 駅) | 駅) |
| 10 (| |
| 駅) | |

問6 自転車の駐輪や放置自転車に関して、あなたが経験した困りごとや不満に思うことはありますか。
(複数選択可)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1 駐輪場の場所が分かりづらい | 9 こども乗せ自転車用のスペースが少ない |
| 2 駐輪場が目的地から遠い | 10 駐輪場の清掃や管理が行き届いていない |
| 3 駐輪料金が高い | 11 放置自転車がなくて困った |
| 4 駐輪スペースが狭い | 12 撤去の頻度が低く、放置自転車が長時間放置さ |
| 5 二段式ラックの使用が難しい | れている |
| 6 防犯面が不安(盗難や破損の心配) | 13 その他 |
| 7 雨や雪から自転車を守る屋根がない | (具体的に:) |
| 8 駐輪場の開閉時間が利用しづらい | 14 特に困ったことや不満はない |

問7 他の人が乗る自転車に対して「怖い」と思ったことや、「ヒヤリ」とした経験はありますか。自分が車に乗車中または歩きの場合も含めてご回答ください。(1つのみ)

- | | |
|----------|------|
| 1 よくある | 3 ない |
| 2 ときどきある | |

問8 大田区では、令和10年度に羽田にサイクリング拠点[※]の設置を目指しています。この拠点で開催されるとしたら、どのようなイベントに参加したいと思いますか。(複数選択可)

- | | |
|--|----------------------|
| 1 名所やグルメを楽しむガイド付きサイクリングツアー(散走 [※]) | 5 電動アシスト自転車の試乗会 |
| 2 親子で参加できる自転車の乗り方教室 | 6 自転車関連の物販イベント |
| 3 自転車のメンテナンス・修理教室 | (ウェア、パーツ等) |
| 4 自転車安全講習 | 7 どのイベントにも参加したいと思わない |

問9 大田区ではシェアサイクルを「大田区コミュニティサイクル^{*}」として展開していることを知っていますか。また利用したことはありますか。(1つのみ)

1 知っていて、利用したことがある	3 知らないが、利用したことはある
2 知っているが、利用したことはない	4 知らないし、利用したこともない

問10 障がいのある人もない人も、お互いにその人らしさを認めあいながら、ともに生きる社会づくりをめざして、平成28年4月に、いわゆる「障害者差別解消法」が施行され、令和6年4月には、改正法が施行されました。この法律を知っていますか。(1つのみ)

1 内容まで知っていて、合理的配慮を行った経験がある
2 内容まで知っているが、合理的配慮を行った経験はない
3 聞いたことはあるが、内容まで知らない
4 知らない

1 2

問11 「バリアフリー^{*}」「ユニバーサルデザイン^{*}」という言葉を知っていますか。(それぞれ1つのみ)

	よく理解している ([*] 定義)まで	([*] 定義)はなんとなく理解している	([*] 定義)がよくなるが聞いたことはあるが	初めて聞いた言葉である
(1) 「バリアフリー」 ([*] 定義)高齢者や障がいのある方が生活を営む上での障壁(バリア)を取り除く考え方	1	2	3	4
(2) 「ユニバーサルデザイン」 ([*] 定義)バリアフリーの考え方を一歩進め、年齢、性別、国籍(言語)、個人の能力に関わらず、あらかじめできるだけ多くの人が利用しやすいように生活環境を構築する考え方	1	2	3	4

問12 「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例^{*}」を知っていますか。(1つのみ)

1 内容まで知っている	3 知らない
2 聞いたことはある	1 3

問13 「ヘルプカード(たすけてねカード)^{*}」を知っていますか。(1つのみ)

1 よく知っている	3 知らない
2 聞いたことはある	1 4

問 14 「新しい認知症観[※]」という言葉聞いたことはありますか。また、その内容について知っていますか。(1つのみ)

- | |
|--------------------------|
| 1 言葉も内容も知っている |
| 2 言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない |
| 3 言葉も内容も知らない |

問 15 認知症になった人について、あなたが最も近いと感じるイメージをご回答ください。(1つのみ)

- | |
|---|
| 1 認知症になっても、ほぼ従来通りの自立した生活ができている |
| 2 認知症になっても、地域のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けられる |
| 3 認知症になると、医療や介護等のサービスが必要となり、住み慣れた地域での生活継続が困難になる |
| 4 認知症になると、症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる |
| 5 わからない |

問 16 区で実施している「認知症サポーター養成講座」を受講したことはありますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------------------|------------|
| 1 受講したことがある | } 問 16-1 へ |
| 2 大田区ではない他の自治体で受講したことがある | |
| 3 受講したことはない | ⇒ 問 17 へ |

【問 16 で「1 受講したことがある」「2 大田区ではない他の自治体で受講したことがある」と回答した方に伺います。】

問 16-1 認知症サポーター養成講座を受講後、区の認知症施策に関する取組として、以下のどれに参加したことがありますか。(複数選択可)

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1 認知症サポーターステップアップ講座 | 4 その他 () |
| 2 認知症カフェ | 5 参加したことはない |
| 3 チームオレンジ | 15 |

問 17 XXXXXXXXXX「成年後見制度[※]」を知っていますか。(1つのみ)

- | | | |
|-------------|------------|--------|
| 1 内容まで知っている | 2 聞いたことはある | 3 知らない |
|-------------|------------|--------|

問 18 介護を必要とする高齢者の増加に対して、介護人材が不足していることを知っていますか。(1つのみ)

- | | | |
|-----------|------------|--------|
| 1 よく知っている | 2 聞いたことはある | 3 知らない |
|-----------|------------|--------|



あとちょっと!
ぜひ最後まで
お願いぴょん

問 19 急速な少子高齢化による現役世代の減少で労働力不足が進んでいます。

これにより、今後、ホームヘルパー等介護人材の確保が一層困難になると想定されていますが、あなたやご家族が要支援・要介護認定を受け、介護サービスを利用する場合、介護の専門職でないボランティアに依頼しても良いと思うことは何ですか。(複数選択可)

1 日々の見守りのための声かけ	6 趣味活動への同行
2 ごみ出しなどのちょっとした作業	7 買い物
3 掃除の手伝い	8 相談相手
4 料理の手伝い	9 依頼できることはない
5 洗濯の手伝い	16

問 20 高齢者の生活支援を目的としたボランティア活動について、対価がある場合とない場合のどちらが望ましいと思いますか。(1つのみ)

1 無償で行うべきだと思う
2 有償で行うべきだと思う(交通費補助や謝礼など)

問 21 高齢者の生活を支援するためのボランティア活動に関して、あなたの考えに最も近いものをお選びください。(1つのみ)

1 無償でも参加したい
2 有償ならば参加したい(興味がある)
3 ボランティア自体に興味がない(対価に関わらず参加しない)

問 22 大田区立消費者生活センターを知っていますか。(1つのみ)

1 相談したことがある
2 各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている
3 業務内容は分からないが、名前は知っている
4 知らない

あなたご自身について

F 1 あなたの性別を教えてください。(1つのみ)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

F 2 あなたの年齢を教えてください。(1つのみ)

- | | | |
|----------|----------|--------|
| 1 18～19歳 | 8 65～69歳 | } F 3へ |
| 2 20～29歳 | 9 70～74歳 | |
| 3 30～34歳 | 10 75歳以上 | |
| 4 35～39歳 | | |
| 5 40～49歳 | | } F 4へ |
| 6 50～59歳 | | |
| 7 60～64歳 | | |

【65歳以上の方に伺います。】

F 3 あなたは、介護保険制度の要介護認定を受けていますか。(1つのみ)

- | | |
|----------|----------------|
| 1 受けていない | 2 受けている(要支援含む) |
|----------|----------------|

F 4 あなたの国籍を教えてください。(1つのみ)

- | | |
|--------|---------------|
| 1 日本国籍 | 2 それ以外(国籍名:) |
|--------|---------------|

F 5 あなたのお住まい(管轄特別出張所)を教えてください。(1つのみ)

- | | | | | | |
|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 1 大森東 | 4 馬込 | 7 嶺町 | 10 久が原 | 13 六郷 | 16 蒲田東 |
| 2 大森西 | 5 池上 | 8 田園調布 | 11 雪谷 | 14 矢口 | 17 糀谷 |
| 3 入新井 | 6 新井宿 | 9 鶴の木 | 12 千束 | 15 蒲田西 | 18 羽田 |

F 6 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 ひとり暮らし | 4 三世帯世帯(親と子と孫) |
| 2 夫婦のみ | 5 その他() |
| 3 二世帯世帯(親と子) | 17 |

F 7 あなたのお住まいの種類は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 持ち家(一戸建て) | 4 賃貸住宅(集合住宅) |
| 2 持ち家(集合住宅) | 5 寮・社宅・宿舍 |
| 3 賃貸住宅(一戸建て) | 6 その他() |

F 8 あなたのご職業を教えてください。(1つのみ)

項目	選択肢
自営業	1 商工サービス業 2 農林水産業 3 自由業
勤め人/パート・アルバイト含む	4 管理職 5 専門技術職 6 事務職 7 労務職・サービス業
その他	8 学生 9 主婦・主夫 10 その他(高齢者含む)

F 8-1へ

F 9へ

【F 8で「1 商工サービス業」「2 農林水産業」「3 自由業」「4 管理職」「5 専門技術職」「6 事務職」「7 労務職・サービス業」「8 学生」と回答した方に伺います。】

F 8-1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(1つのみ)

1 大田区内(自宅)	5 それ以外の東京都内
2 大田区内(自宅以外)	6 神奈川県内
3 品川・目黒・新宿・渋谷区内	7 それ以外()
4 千代田・中央・港区内	

F 9 同居家族/現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。あなた自身も含めて、あてはまる方を教えてください。(いくつでも)

1 小学校入学前のこども	4 寝たきりの方や身体の不自由な方
2 小学生	5 いない
3 65歳以上の方	

F 10 配偶者はいらっしゃいますか。(1つのみ)

1 いる(同居・別居含む)	⇒ F 10-1へ
2 いない(離婚・死別)	} F 11(P.9)へ
3 いない(未婚)	

【F 10で「1 いる(同居・別居含む)」と回答した方に伺います。】

F 10-1 共働きをしていますか。(1つのみ)

1 している	2 していない
--------	---------

F11 こどもはいらっしゃいますか（別居も含む）。（1つのみ）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 一番上のこどもが小学校入学前 | 4 一番上のこどもが学校卒業 |
| 2 一番上のこどもが小・中学生 | 5 こどもはいない |
| 3 一番上のこどもが高校・大学生 | |

F12 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。（1つのみ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 1年未満 | 5 10年以上20年未満 |
| 2 1年以上3年未満 | 6 20年以上30年未満 |
| 3 3年以上5年未満 | 7 30年以上 |
| 4 5年以上10年未満 | |



調査は以上で終了です。ご協力誠にありがとうございました。

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査② 調査票

以下の項目について、あてはまる回答の番号に○をつけてください。

問1 自治会・町会に加入していますか。(1つのみ)

- | | | | |
|-----------|--------|---------|------|
| 1 加入している | ⇒問2へ | 3 分からない | ⇒問2へ |
| 2 加入していない | ⇒問1-1へ | | |

【問1で「2 加入していない」を選択した方に伺います。】

問1-1 自治会・町会に加入していない理由は何ですか。(複数選択可)

- | |
|---------------------------|
| 1 加入の意義やメリットを感じられないから |
| 2 自治会・町会が何を行っているか分からないから |
| 3 加入の方法が分からないから |
| 4 加入しなくても困っていないから |
| 5 仕事や子育て等に忙しく、活動に参加できないから |
| 6 会費を払いたくないから |
| 7 付き合いが面倒であるから |
| 8 その他(具体的に記載) |

問2 この1年間の地域活動(地域のイベントやお祭り、自治会・町会の活動等)への参加状況と今後の参加意向についてご回答ください。(それぞれ1つ)

問2-1 この1年間の参加状況

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 頻繁に参加した | 3 参加していない |
| 2 たまに参加した | |

問2-2 今後の参加意向

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1 ぜひ参加したい | 4 関心がない |
| 2 きっかけや条件が整えば参加してみたい | 5 わからない |
| 3 参加してみたいが都合により参加できない | |

問3 お住まいの地域は子ども・子育て家庭をあたたく見守っていると感じますか。(1つのみ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 強く感じる | 4 あまり感じない |
| 2 やや感じる | 5 感じない |
| 3 どちらともいえない | |

問4 ■■■■■ 日々の暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）を実際に感じるがありますか。（1つのみ）

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 感じる | 3 どちらかといえば感じない |
| 2 どちらかといえば感じる | 4 感じない |

問5 ■■■■■ 普段の生活は、「孤立感や孤独感がない」にどの程度あてはまりますか。（1つのみ）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 あてはまる | 4 どちらかといえばあてはまらない |
| 2 どちらかといえばあてはまる | 5 あてはまらない |
| 3 どちらともいえない | |

問6 ■■■■■ 区では、「大田区DV相談ダイヤル」を設置し、配偶者やパートナーからの暴力(ドメスティック・バイオレンス＝DV^{*})に関する相談を受け付けていることを知っていますか。（1つのみ）

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問7 ■■■■■ 今の日本は、人権が尊重されている社会だと思いますか。（1つのみ）

- | | |
|----------------|------------------|
| 5 そう思う | 7 どちらかといえばそう思わない |
| 6 どちらかといえばそう思う | 8 そう思わない |

問8 ■■■■■ 現在の健康状態はいかがですか。（1つのみ）

- | | |
|--------------|------------|
| 8 とてもよい | 11 あまりよくない |
| 9 よい | 12 よくない |
| 10 どちらともいえない | |

問9 ■■■■■ かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。（複数選択可）

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 5 かかりつけ医、歯科医、薬局いずれもある | 8 かかりつけ薬局はある |
| 6 かかりつけ医はいる | 9 いずれもない |
| 7 かかりつけ歯科医はいる | |



次のページ
に進んでね

©大田区

大田区公式PRキャラクター

はねびん

問 10 スポーツや運動を実施した頻度は週どのくらいですか（年間合計日数でも可）。
（1つのみ）

1 週3日以上（年151日以上）	5 3か月に1～2日（年4～11日）
2 週2日（年101日～150日）	6 年1～3日
3 週1日（年51日～100日）	7 実施していない
4 月1～3日（年12～50日）	

問 11 区のスポーツ環境に満足していますか。（1つのみ）

1 満足している	} 問 11-1 へ	4 あまり満足していない	} 問 11-2 へ
2 やや満足している		5 満足していない	
3 どちらともいえない	⇒問 12(P.4)へ		

【問 11で「1満足している」「2やや満足している」と回答した方に伺います。】

問 11-1 区でのどのスポーツ施策に満足していますか。（複数選択可）

- | |
|--|
| 6 屋内でスポーツができる場所がある
7 屋外でスポーツができる場所がある
8 やりたい種目ができる場所がある
9 スポーツイベントの開催（区民スポーツまつり、おたランニングフェスティバルなど）
10 スポーツ観戦の機会
11 生涯スポーツの推進
12 スポーツにおける広報・情報発信
13 地域のスポーツを支える人材の育成・活用
14 スポーツ活動における区の支援
15 その他() |
|--|

【問 11で「4あまり満足していない」「5満足していない」と回答した方に伺います。】

問 11-2 区にどのようなスポーツ施策を望みますか。（複数選択可）

- | |
|---|
| 1 屋内でスポーツができる場所がある
2 屋外でスポーツができる場所がある
3 やりたい種目ができる場所がある
4 スポーツイベントの開催（区民スポーツまつり、おたランニングフェスティバルなど）
5 スポーツ観戦の機会
6 生涯スポーツの推進
7 スポーツにおける広報・情報発信
8 地域のスポーツを支える人材の育成・活用
9 スポーツ活動における区の支援
10 その他() |
|---|

問 12 スポーツが地域の活性化に役立っていると感じますか。(1つのみ)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 感じる | 4 感じない |
| 2 どちらかといえば感じる | 5 どちらともいえない・わからない |
| 3 どちらかといえば感じない | |

問 13 区の文化芸術に親しむ環境に満足していますか。(1つのみ)

- | | | | |
|-------------|-----------|--------------|-----------|
| 1 満足している | } 問 13-1へ | 4 あまり満足していない | } 問 13-2へ |
| 2 やや満足している | | 5 満足していない | |
| 3 どちらともいえない | ⇒問 14へ | | |

【問 13で「1満足している」「2やや満足している」と回答した方に伺います。】

問 13-1 区のどの文化芸術施策に満足していますか。(複数選択可)

- | |
|----------------------------------|
| 1 区施設での展示（郷土博物館、勝海舟記念館、龍子記念館など） |
| 2 コンサート（クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど） |
| 3 地域の歴史・文化・伝統工芸に触れる環境・体験機会 |
| 4 区内に文化芸術の発表をする場所がある |
| 5 区内に文化芸術活動をできる場所がある |
| 6 伝統芸能の公演（歌舞伎、狂言、文楽、落語など） |
| 7 舞台公演（ダンス、バレエ、演劇など） |
| 8 区施設での展示以外でアートに触れる機会・環境が整備されている |
| 9 文化芸術活動における区の支援 |
| 10 その他() |

【問 13で「4あまり満足していない」「5満足していない」と回答した方に伺います。】

問 13-2 区にどのような文化芸術施策を望みますか。(複数選択可)

- | |
|----------------------------------|
| 1 区施設での展示（郷土博物館、勝海舟記念館、龍子記念館など） |
| 2 コンサート（クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど） |
| 3 地域の歴史・文化・伝統工芸に触れる環境・体験機会 |
| 4 区内に文化芸術の発表をする場所がある |
| 5 区内に文化芸術活動をできる場所がある |
| 6 伝統芸能の公演（歌舞伎、狂言、文楽、落語など） |
| 7 舞台公演（ダンス、バレエ、演劇など） |
| 8 区施設での展示以外でアートに触れる機会・環境が整備されている |
| 9 文化芸術活動における区の支援 |
| 10 その他() |

問 14 これまでに区の文化や歴史に触れる機会がありましたか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|--------|
| 1 あった | 3 なかった |
| 2 興味はあるがなかった | |

問 15 最近1年間に生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

生涯学習とは、区民一人一人が、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において取り組む学びのことをいいます。具体的には、読書、語学や資格の習得、趣味・教養、スポーツ、芸術・文化活動、生活・健康や仕事などに関する学習、サークル活動を指し、自治会・町会、NPO、PTA、子ども会、ボランティアなどの地域活動を通して得られる学びも含まれます。

1 ある ⇒問 15-1、問 15-2 へ	2 ない ⇒問 16 へ
-----------------------	--------------

【問 15 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問 15-1 オンラインで生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

1 ある	2 ない
------	------

【問 15 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問 15-2 あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように生かしていますか。
(複数選択可)

1 人生がより豊かになっている 2 家庭・日常の生活に生かしている 3 心身の健康を維持・増進している 4 仕事や学業に生かしている 5 地域や社会での活動に生かしている 6 知人や仲間ができています 7 その他 () 8 生かしていない	
---	--

問 16 現在の大田区の生涯学習について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。(それぞれ1つ)

	あてはまる	あてはまる どころかといえ ば	あてはまる とはいえない	あてはまらない
1. いつでも学びたいときに学びたいことが学べる	1	2	3	4
2. 多世代交流につながる学びの機会が充実している	1	2	3	4
3. 学んだことを生かす機会が充実している	1	2	3	4
4. 学びに関する情報が分りやすく提供されている	1	2	3	4
5. 学びや活動を充実させる施設が整っている	1	2	3	4

問 17 あなたは、何かを学ぶことに興味がありますか。(1つのみ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 興味がある | 3 どちらかというに関心がない |
| 2 どちらかというに関心がある | 4 関心がない |

問 18 1年間で大田区立図書館又は文化の森情報館（電子書籍貸出サービスを含む）をどのくらい利用しますか。(1つのみ)

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1 週1回以上 | } 問 19へ |
| 2 月2回程度 | |
| 3 月1回程度 | |
| 4 2～3か月に1回程度 | |
| 5 ほとんど利用しない（年1～2回程度） | } 問 18-1へ |
| 6 利用しない | |

【問 18 で「5 ほとんど利用しない(年1～2回程度)」「6 利用しない」と回答した方に伺います。】

問 18-1 図書館を利用しない理由についてご回答ください。(複数選択可)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 図書・雑誌を読まない | 5 開館時間中に利用できない |
| 2 図書・雑誌は自分で購入したい | 6 施設が使いづらいまたは快適ではない |
| 3 読みたい本がすぐ借りられない | 7 その他 () |
| 4 近くに図書館がない | |

問 19 これからの図書館に期待する機能・サービスについて該当するものを選択してください。(複数選択可)

- | | |
|----------------------|------------------------------|
| 1 電子書籍貸出サービス | 7 個人学習スペース |
| 2 デジタル化された地域資料等の閲覧 | 8 地域コミュニティ参加のきっかけとなるイベント・講座等 |
| 3 音楽・音声情報配信サービス | 9 大田区への理解を深めるコーナー |
| 4 館内の座席を予約できるシステムの導入 | 10 国際都市らしい蔵書・資料構成 |
| 5 憩い・くつろぐためのスペース | 11 その他(具体的に) |
| 6 グループ学習スペース | |



あとちょっと!
ぜひ最後まで
お願いぴよん

問 20 新しい住まいを探すことになった場合、最も重視するものは何ですか。

(家賃・不動産価格は除く) (複数選択可)

- | | |
|---|---|
| 1 | 子どもの成長に有効な体験を得られる地域環境であるか (学校や地域サークル、公園など) |
| 2 | 通勤・通学の利便性 (通勤・通学時間の短さや、乗り換えが少ない、駅・バス停からの距離など) |
| 3 | 近くに商店街や医療機関があるなど、生活の利便性 |
| 4 | 閑静で落ち着いた住環境 |
| 5 | 公園や河川など自然環境の豊かさ |
| 6 | 周囲の治安の良さ
(深夜まで営業する飲食店や適切に維持・管理のされていない空き家がないなど) |
| 7 | 駅周辺のまちの魅力や地域のブランドイメージ |
| 8 | 過去に同じような場所に住んだことがあるなど、地域への親しみ |
| 9 | その他 () |

問 21 お住まいになる住宅を選ぶ際に、一番重視するものは何ですか。(1つのみ)

- | | |
|----|--|
| 5 | 住宅の環境性能 (断熱性・遮音など) が十分高いか |
| 6 | 十分な広さの面積があるか |
| 7 | 家族が団らんしたり、(テレワークなど) プライベートを保てる間取りとなっているか |
| 8 | 庭やベランダなど、室外の空間の有無 |
| 9 | 駐車場・駐輪場などがあるか |
| 10 | 新建材などによるシックハウス症候群※の影響が少ないか |
| 11 | 玄関や室内のバリアフリーが十分か |
| 12 | その他 () |

問 22 新しい住まいを探す際、どこから得た情報を最も重視しますか。(1つのみ)

- | | | | |
|---|---------------------------|---|----------------|
| 1 | インターネット上の不動産サイトや
情報サイト | 4 | 実際に物件を見学して得た情報 |
| 2 | SNS (X、Instagram など) | 5 | 知人や家族からの口コミ情報 |
| 3 | 不動産店舗や不動産会社からの情報 | 6 | その他 () |

問 23 大田区に住む理由を以下の選択肢から選ぶとしたら、どちらに当てはまりますか。

(1つのみ)

- | | | | |
|---|-----------|---|-------------|
| 1 | 大田区が便利だから | 2 | 大田区に愛着があるから |
|---|-----------|---|-------------|

F 8 あなたのご職業を教えてください。(1つのみ)

項目	選択肢
自営業	1 1 商工サービス業 1 2 農林水産業 1 3 自由業
勤め人/パート・アルバイト含む	1 4 管理職 1 5 専門技術職 1 6 事務職 1 7 労務職・サービス業
その他	1 8 学生 1 9 主婦・主夫 2 0 その他(高齢者含む)

F 8 - 1 へ

F 9 へ

【F 8で「1 商工サービス業」「2 農林水産業」「3 自由業」「4 管理職」「5 専門技術職」「6 事務職」「7 労務職・サービス業」「8 学生」と回答した方に伺います。】

F 8 - 1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(1つのみ)

8 大田区内(自宅)	1 2 それ以外の東京都内
9 大田区内(自宅以外)	1 3 神奈川県内
1 0 品川・目黒・新宿・渋谷区内	1 4 それ以外()
1 1 千代田・中央・港区内	

F 9 同居家族/現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。あなた自身も含めて、あてはまる方を教えてください。(いくつでも)

6 小学校入学前のこども	9 寝たきりの方や身体の不自由な方
7 小学生	1 0 いない
8 65 歳以上の方	

F 10 配偶者はいらっしゃいますか。(1つのみ)

4 いる(同居・別居含む)	⇒ F 10 - 1 へ
5 いない(離婚・死別)	} F 11(P.10) へ
6 いない(未婚)	

【F 10で「1 いる(同居・別居含む)」と回答した方に伺います。】

F 10 - 1 共働きをしていますか。(1つのみ)

3 している	4 していない
--------	---------

F11 こどもはいらっしゃいますか（別居も含む）。（1つのみ）

6 一番上のこどもが小学校入学前	9 一番上のこどもが学校卒業
7 一番上のこどもが小・中学生	10 こどもはいない
8 一番上のこどもが高校・大学生	

F12 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。（1つのみ）

8 1年未満	12 10年以上 20年未満
9 1年以上 3年未満	13 20年以上 30年未満
10 3年以上 5年未満	14 30年以上
11 5年以上 10年未満	



調査は以上で終了です。ご協力誠にありがとうございました。

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査③ 調査票

以下の項目について、あてはまる回答の番号に○をつけてください。

問1 SDGs*[※]について知っているかご回答ください。(1つのみ)

- | | |
|---------------------|--------|
| 1 内容まで含めて知っている | 3 知らない |
| 2 内容は分からないが聞いたことがある | |

問2 SDGs*[※]に関する意識と行動についてご回答ください。(1つのみ)

- | | |
|-----------------------------|---------|
| 1 日頃からSDGsを意識した行動をしている | } 問3へ |
| 2 SDGsを意識し、行動にも気を付けるようにしている | |
| 3 SDGsを意識しているが、特に行動はしていない | } 問2-1へ |
| 4 SDGsを意識しておらず、特に行動もしていない | |

【問2で「3 SDGsを意識しているが、特に行動はしていない」「4 SDGsを意識しておらず、特に行動もしていない」と回答した方に伺います。】

問2-1 SDGs*[※]に関する行動をしていない理由についてご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

【回答欄】 1位 2位 3位

- | |
|---------------------------|
| 1 SDGsという言葉が何を意味するのかわからない |
| 2 英語やカタカナが理解しづらい |
| 3 具体的に何をすればよいのかわからない |
| 4 自分の生活にどのような関わりがあるかわからない |
| 5 政府や企業が取り組むものである |
| 6 日本にはあまり関係がない気がする |
| 7 取り組んでもあまり意味がないと感じる |
| 8 一緒に取り組む家族・知人・友人がいない |
| 9 取り組むための経済的余裕がない |
| 10 その他() |

問3 令和7年4月から区内全域でプラスチックの分別回収がはじまりました。日常生活の中で、プラスチックを分別していますか。(1つのみ)

- | |
|--|
| 1 3 概ね分別している(汚れているプラスチックは水ですすいでから分別している) |
| 1 4 ある程度分別している(汚れているプラスチックは可燃ごみで出している) |
| 1 5 全く分別していない(プラスチックを分別回収していることは知っていた) |
| 1 6 全く分別していない(プラスチックを分別回収していることを知らなかった) |



次のページ
に進んでね

問4 生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。(複数選択可)

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 1 日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する | |
| 2 出された料理を残さず食べきる | |
| 3 買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする | |
| 4 賞味期限だけでなく見た目や臭い等で食べられるか判断する | |
| 5 飲食店等で注文し過ぎない | |
| 6 料理を作り過ぎない | |
| 7 食べきれなかったものを他の料理に作り替える | |
| 8 野菜の皮や芯を料理に使うなど、食材をできるだけ無駄なく使う | |
| 9 その他() | |
| 10 特にない | |

問5 普段の生活の中で、「食品ロス」の発生を意識していますか。(1つのみ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 常に意識している | 3 ほとんど意識していない |
| 2 たまに意識している | 4 意識したことはない |

問6 他の自治体へふるさと納税を行うことによる大田区への影響を知っていますか。(1つのみ)

- | |
|-------------------------|
| 1 知っている(ふるさと納税を行っている方) |
| 2 知っている(ふるさと納税を行っていない方) |
| 3 知らない(ふるさと納税を行っている方) |
| 4 知らない(ふるさと納税を行っていない方) |

問7 おおた区報で区政に関する情報を取得する際に、最も利用する媒体について、該当するものを選択してください。(1つのみ)

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1 紙媒体
(全戸配布、駅スタンド、新聞折込など) | 2 デジタル媒体
(ホームページ、SNS、アプリなど) |
|------------------------------|--------------------------------|

問8 区民サービスのデジタル化に関して、最も希望するものは何ですか。(1つのみ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 手続きのオンライン化 | 5 SNSによるタイムリーな情報発信 |
| 2 手数料等のキャッシュレス決済 | 6 スマートフォンアプリを活用した |
| 3 AIによる自動応答サービスの充実 | ポイント付与事業 |
| 4 デジタルが不慣れな方向けの対策 | 7 その他() |

問9 災害から身を守るためにどのような取組をしていますか。(複数選択可)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 家具等の転倒防止 | 6 防災訓練への参加 |
| 2 感震ブレーカーの設置 | 7 家庭内備蓄 |
| 3 ハザードマップの確認 | 8 情報の収集方法の確認・検討 |
| 4 マイ・タイムラインの作成 | 9 その他(具体的に) |
| 5 避難方法の確認・検討 | 10 特に何もしていない |

問 10 「大田区防災アプリ」を知っていますか。(1つのみ)

1	すでにダウンロードしている	3	知らない
2	知っているがダウンロードはしていない		

問 11 「緊急医療救護所」は、大規模地震発生時に、病院の門前などで傷病者の治療の優先度をつけたり、軽症者の治療を行うために設置されます。あなたは緊急医療救護所を知っていますか。(1つのみ)

1	機能・役割を含めて知っている	3	知らない
2	名称のみ知っている		

問 12 特殊詐欺の防止に効果がある「自動通話録音機」について、該当するものを選択してください。(1つのみ)

1	知っていて、家の電話機に付けている
2	知っているが、家の電話機には付けていない
3	知らないが、特殊詐欺が防げるなら家の電話機に付けたい
4	知らないし、興味もない

問 13 買い物や食事、イベント等で商店街を訪れることがありますか。(1つのみ)

1	ある	2	ない
---	----	---	----

問 14 公園について、どの程度満足していますか。(それぞれ1つのみ)

	満足している	満足している やや	満足している いえない どちらとも	満足していない あまり	満足していない
(1) 大きな公園 (アスレチック、スポーツ施設、キャンプ場、広場、大きな遊具などのある公園)	1	2	3	4	5
(2) 小さな公園 (住宅街にあり、遊具、ベンチ、花壇などがある公園)	1	2	3	4	5
(3) 公園における設備の設置状況 (公園トイレ、遊具、水遊び場、ベンチ、花壇など)	1	2	3	4	5

問 18 あなたは、以下の区のまちづくりが進んでいると思いますか。(それぞれ1つのみ)

※ (1)～(4)のそれぞれに回答してください。

	そう思う	そう思う やや	そう思わない あまり	思わない そう	わからない
<p>(1) 安全・安心な都市づくり <安全・安心な都市づくりの例> ・災害時に危険性が高い建物の耐震性や密集度が改善されている ・災害時に救助や避難できる道路や施設が整備されている ・風水害や土砂災害の対策がしっかりしている ・地域の防災・防犯活動が充実している ・災害時に公園や緑地、河川を活用できるようになっている など</p>	1	2	3	4	5
<p>(2) 暮らしやすい都市づくり <暮らしやすい都市づくりの例> ・生活に必要な施設があり、幅広い年代の人が暮らしやすい ・良好なまちなみ・景色が整っている ・商店街に人が集まりにぎわっている ・住む場所と働く場所がバランス良くある ・区内を移動するための公共交通が充実している ・快適で歩きたくなる空間がある ・住民主体の都市づくりが進んでいる など</p>	1	2	3	4	5
<p>(3) 環境に配慮した都市づくり <環境に配慮した都市づくりの例> ・豊かな水と緑が守られている ・公園や緑地など緑のオープンスペースが充実している ・身近な場所で水や緑にふれあい楽しめる ・自転車などによる有害廃棄ガスを出さない移動環境が整っている ・省エネ建築物や緑化などによる低炭素化がなされている など</p>	1	2	3	4	5
<p>(4) 活力・国際性のある都市づくり <活力・国際性のある都市づくりの例> ・来街者が大田区内を巡って魅力を楽しめている ・日本を始め多くの国の多彩な文化を体験できている ・国籍、性別、年齢などに関わらず様々な人材が活躍している ・人が集まる交流・滞在空間が充実している ・区内の事業者が地域の産業を活発にして、魅力を発信している ・大田区内外への移動が便利である など</p>	1	2	3	4	5

問 19 ■■■■区は、「大田区鉄道沿線まちづくり構想」において示した、沿線のまちの将来像やその実現に向けた道筋に基づき、官民が協働し、地域特性や限られた空間を最大限有効に活用しながら、安全かつ快適で利便性の高い個性的な都市空間を創出するよう取り組んでいます。現在、大田区内の駅周辺の整備が進んでいると感じますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 8 感じている | 11 感じていない |
| 9 やや感じている | 12 わからない |
| 10 あまり感じていない | |

問 20 大田区における国際交流と多文化共生を一体的に進めていく施設として、おおた国際交流センター (Minto Ota)があることを知っていますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------------|--------|
| 1 知っていて、利用したことがある | 3 知らない |
| 2 知っているが、利用したことはない | |

問 21 ■■■■大田区では日本人と外国人が互いに認め合い、ともに地域社会の構成員として暮らしていると思いますか。(1つのみ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 とても思う | 3 どちらかといえば思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 まったく思わない |

問 22 羽田空港跡地第1ゾーンに開業した「羽田イノベーションシティ^{*}」について知っていますか。(1つのみ)

- | | | | |
|---------|----------|--------|--------|
| 1 知っている | ⇒問 22-1へ | 2 知らない | ⇒問 23へ |
|---------|----------|--------|--------|

【問 22で「1知っている」と回答した方に伺います。】

問 22-1 羽田イノベーションシティ^{*}のようなまちができたことについて、区民として期待感や満足感、誇らしさを感じますか。(1つのみ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 とても感じる | 3 あまり感じない |
| 2 やや感じる | 4 全く感じない |

問 23 羽田イノベーションシティ^{*}の取組みのうち、期待するものはありますか。(複数選択可)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------|
| 1 自動運転やロボットなど近未来の取組み | 6 羽田の歴史伝承 |
| 2 医工連携や企業間のビジネスマッチング | 7 地域と連携した賑わいづくり |
| 3 子どもへのものづくり体験やSTEAM教育 [*] | 8 防災に関する普及活動 |
| 4 日本全国の製品の集積 | 9 脱炭素やSDGsなどの推進 |
| 5 伝統文化・音楽・芸術等の文化体験 | 10 その他 () |

問 24 XXXXXXXXXX 遊ぶ場所、働く場所として空港臨海部に魅力を感じますか。(1つのみ)

1 感じる	4 感じない
2 やや感じる	5 どちらともいえない
3 あまり感じない	

問 25 空港の沖合移転に伴い発生した天空橋駅周辺の羽田空港跡地のまちづくり「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業 (ZeppHaneda 等のある HICity を含む)」が進められていることについて、どのように知りましたか。(複数選択可)

1 大田区ホームページ
2 「羽田イノベーションシティ」公式ホームページ
3 大田区のイベント
4 SNS、インターネットのニュースやブログ等
5 パンフレット・リーフレット等の刊行物
6 テレビのニュース
7 新聞、雑誌の記事
8 家族や友人、知人など
9 その他 ()
10 本事業を知らない

問 26 羽田空港跡地第1ゾーンで国が所管している天空橋駅西側、海老取川沿い、区画街路第4号線南側については、具体的な整備・運営方針は未定ですが、これらの場所にどのような機能があったらいいと考えますか。(複数選択可)

1 散策・サイクリング	4 船着き場に関連する機能
2 緑地・広場	5 飲食
3 親水空間	6 その他 ()

問 27 HANEDA GLOBAL WINGS エリア内の以下の施設や場所に行ったことがありますか。行ったことのある場所すべてに○をつけてください。

1 羽田イノベーションシティ (Zepp Haneda 含む)
2 都市計画公園予定地
3 ソラムナード羽田緑地
4 羽田エアポートガーデン (住友不動産ヴィラフォンテーヌ)
5 その他 ()
6 行ったことはない

問 28 「ソラムナード羽田緑地」でしたいことはありますか。(複数選択可)

1 運動	4 休憩・リラックス
2 遊び	5 地域活動
3 飲食	6 その他 ()

F 8 あなたのご職業を教えてください。(1つのみ)

項目	選択肢
自営業	21 商工サービス業 22 農林水産業 23 自由業
勤め人/パート・アルバイト含む	24 管理職 25 専門技術職 26 事務職 27 労務職・サービス業
その他	28 学生 29 主婦・主夫 30 その他(高齢者含む)

F 8-1へ

F 9へ

【F 8で「1 商工サービス業」「2 農林水産業」「3 自由業」「4 管理職」「5 専門技術職」「6 事務職」「7 労務職・サービス業」「8 学生」と回答した方に伺います。】

F 8-1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(1つのみ)

15 大田区内(自宅)	19 それ以外の東京都内
16 大田区内(自宅以外)	20 神奈川県内
17 品川・目黒・新宿・渋谷区内	21 それ以外()
18 千代田・中央・港区内	

F 9 同居家族/現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。あなた自身も含めて、あてはまる方を教えてください。(いくつでも)

11 小学校入学前のこども	14 寝たきりの方や身体の不自由な方
12 小学生	15 いない
13 65歳以上の方	

F 10 配偶者はいらっしゃいますか。(1つのみ)

7 いる(同居・別居含む)	⇒ F 10-1へ
8 いない(離婚・死別)	} F 11(P.10)へ
9 いない(未婚)	

【F 10で「1いる(同居・別居含む)」と回答した方に伺います。】

F 10-1 共働きをしていますか。(1つのみ)

5 している	6 していない
--------	---------

F11 こどもはいらっしゃいますか（別居も含む）。（1つのみ）

1 1 一番上のこどもが小学校入学前	1 4 一番上のこどもが学校卒業
1 2 一番上のこどもが小・中学生	1 5 こどもはいない
1 3 一番上のこどもが高校・大学生	

F12 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。（1つのみ）

1 5 1年未満	1 9 10年以上 20年未満
1 6 1年以上 3年未満	2 0 20年以上 30年未満
1 7 3年以上 5年未満	2 1 30年以上
1 8 5年以上 10年未満	



調査は以上で終了です。ご協力誠にありがとうございました。

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査④ 調査票

小学生の皆さんは、読めない漢字や分からない言葉があったら、お父さんやお母さんなど、まわりのおとなの人に聞いてみてね。



以下の項目について、あてはまる回答の番号に○をつけてください。

問1 ■■■■■ あなたは、悩みや心配事があるときに、相談できる場所を知っていますか。

(1つのみ)

1 3 知っている

1 4 知らない

問2 ■■■■■ (自宅を含めて) あなたには、自分らしく過ごせたり、居心地がよいと感じる居場所がありますか。(1つのみ)

1 ある ⇒問 2-1へ

2 ない ⇒問 3へ

【問2で「1ある」と回答した方に伺います。】

問 2-1 ■■■■■ あなたが、自分らしく過ごせたり、居心地がよいと感じる居場所は次のうちどこですか。(いくつでも)

1 8 自分の家

1 9 親せき・友人・近所の知り合いの家

2 0 学校(校内の図書室、部活・クラブ・サークルなど)

2 1 区の施設

●以下の()内に当てはまる施設があれば○をつけてください

(公園、放課後ひろば、放課後子ども教室、児童館、中高生ひろば、万叶おおた、図書館)

●上記の他に具体的な施設や場所があれば記入してください()

2 2 習いごと、塾・予備校

2 3 お店・商業施設(ショッピングモール、カフェなど)

2 4 ネット・オンラインのコミュニティ、ゲーム

2 5 その他()

問3 ■■■■■ 自分とはちがう文化や考えをもつ外国の人などと積極的に英語でコミュニケーションをとって話しあいたいと思いますか。(1つのみ)

1 そう思う

4 どちらかといえば、そう思わない

2 どちらかといえば、そう思う

5 そう思わない

3 どちらともいえない

次のページに
進んでびん



問4 **障がいのある人もない人も誰もが平等に学べるようになってきていると思いますか。**

(1つのみ)

1 そう思う	4 どちらかといえば、そう思わない
2 どちらかといえば、そう思う	5 そう思わない
3 どちらともいえない	

問5 **公園について、どの程度満足していますか。(それぞれ1つのみ)**

	満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない
(1) 大きな公園 (アスレチック、スポーツ施設、キャンプ場、広場、大きな遊具などのある公園)	1	2	3	4	5
(2) 小さな公園 (住宅街にあり、遊具、ベンチ、花壇などがある公園)	1	2	3	4	5
(3) 公園における設備の設置状況 (公園トイレ、遊具、水遊び場、ベンチ、花壇など)	1	2	3	4	5

問6 **環境問題に関する情報をどのように収集していますか。(いくつでも)**

9 インターネット	15 SNS (LINE、X、インスタグラムなど)
10 テレビ	16 区報
11 新聞・雑誌	17 区から配布されるチラシやリーフレット
12 学校の授業、社会科見学	18 イベントや講演会など
13 家族、友人・知人	(区主催のものに限らず)
14 本、漫画	19 その他()

問7 **学校などで環境問題に関して学んだこと、体験したことをきっかけに普段の生活で実践するようになったことはありますか。(いくつでも)**

18 使わないときは、テレビや部屋のあかりを消すなど省エネに気をつける	22 地域の人たちが行う地域の掃除に参加する
19 水の無駄遣いをなくす (シャワーをだしっぱなしにしない等)	23 ものは長く使えるように大切に使う
20 生き物・自然を大切にす	24 鉛筆やノートなどは、環境に良いものを買う
21 ごみを減らす	25 食べ残しをしない
	26 家族や友達などと環境問題について話し合う
	27 その他()

問8 **環境に関するどのようなイベントに参加したいですか。(いくつでも)**

10 体験型のイベント	13 学校への出前授業
11 講演会 (オンライン配信)	14 施設見学会
12 講演会 (会場)	15 その他()

問9 あなたの住んでいるまちの景色（風景）を、どのように感じますか。（1つのみ）

1 とても良い	4 あまり良くない
2 良い	5 良くない
3 普通	

問10 大田区の景色（風景）を良くするために、大切だと思うものは何ですか。（いくつでも）

6 川や木、花などの自然	11 まちに合った公園や道、学校などのデザイン
7 歴史のある神社・お寺など	12 まちに合った家やお店などのデザイン
8 まちの特徴をいかす	13 看板や広告の色や大きさのルール
9 羽田空港周辺のまちなみ	14 景色（風景）に関する学習
10 デジタル技術の活用 （プロジェクションマッピングなど）	15 その他（ ）

問11 「闇バイト※」の危険性について、あなたの知識や理解度をご回答ください。（1つのみ）

1 「闇バイト」の危険性について正しい知識を持っている
2 「闇バイト」という言葉を聞いたことはあるが、詳しくは知らない
3 「闇バイト」についてまったく知らない

あなたご自身について

F1 あなたの性別を教えてください。（1つのみ）

10 男性	11 女性	12 その他
-------	-------	--------

F2 あなたの学年を教えてください。（1つのみ）

1 小学4年生	4 中学1年生	7 高校1年生
2 小学5年生	5 中学2年生	8 高校2年生
3 小学6年生	6 中学3年生	9 高校3年生
		10 高校生世代

F3 あなたの国籍を教えてください。（1つのみ）

7 日本国籍	8 それ以外（国籍名： ）
--------	---------------

F4 あなたのお住まい（管轄特別出張所）を教えてください。（1つのみ）

55 大森東	58 馬込	61 嶺町	64 久が原	67 六郷	70 蒲田東
56 大森西	59 池上	62 田園調布	65 雪谷	68 矢口	71 糀谷
57 入新井	60 新井宿	63 鵜の木	66 千束	69 蒲田西	72 羽田



調査は以上で終了です。ご協力誠にありがとうございました。

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査⑤ 調査票

以下の項目について、あてはまる回答の番号に○をつけてください。

問1 あなたは大田区に、通算、何年間居住していますか。(1つのみ)

1 2年未満	6 20年以上 30年未満
2 2年以上5年未満	7 30年以上 40年未満
3 5年以上 10年未満	8 40年以上 60年未満
4 10年以上 15年未満	9 60年以上
5 15年以上 20年未満	

問2 これからも大田区に住みたいと思いますか。(1つのみ)

1 ずっと住みたい ⇒問2-1へ	4 大田区外へ移りたい⇒問2-3(P.2)へ
2 当分は住みたい ⇒問2-2へ	5 わからない
3 できれば大田区外へ移りたい ⇒問2-3(P.2)へ	

【問2で「1ずっと住みたい」と回答した方に伺います。】

問2-1 「ずっと住みたい」理由は何ですか。(上位3つを選択)

【回答欄】 1位 2位 3位

26 地縁があるから(出身地である・家族が近くに住んでいる)	
27 買い物の利便性が高いから(商店街や個店が充実している)	
28 交通のアクセスが良いから(通勤・通学・日常生活での移動に便利)	
29 都心よりも家賃が安いから	
30 治安が良いから(防犯対策を含む)	
31 防災対策に満足しているから	
32 周辺の自然環境が良いから(水辺空間や緑、公園・遊び場など)	
33 子育て環境に満足しているから(教育環境含む)	
34 地域とのつながり・近所付き合いなどが良好だから	
35 地域の文化・芸術や歴史に触れる機会が充実しているから	
36 その他()	

【問2で「2当分は住みたい」と回答した方に伺います。】

問2-2 「当分は住みたい」とはどのくらいの期間で理由は何ですか。(1つのみ)

1 1年未満(理由))
2 3年未満(理由))
3 5年未満(理由))
4 10年未満(理由))
5 10年以上(理由))

【問2で「3できれば大田区外へ移りたい」、「4大田区外へ移りたい」と回答した方に伺います。】

問2-3 「大田区外へ移りたい」理由は何ですか。(上位3つを選択)

【回答欄】

1位

2位

3位

- 1 家族や親族が離れて住んでいるから（実家や出身地に戻りたい場合も含む）
- 2 商店街や個店が少なく、買い物が不便だから
- 3 通勤・通学など、日常生活での移動が不便だから
- 4 住宅の価格や家賃が高いから
- 5 治安が良くないから
- 6 災害に不安があるから（地震や洪水など）
- 7 自然や公園が少ないから
- 8 子育てや教育の環境が良くないから
- 9 地域のつながりや近所付き合いが合わないから
- 10 その他（）

問3 子育てに関して孤独や孤立を感じていますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|------------|
| 9 強く感じる | 12 あまり感じない |
| 10 やや感じる | 13 感じない |
| 11 どちらともいえない | |

問4 子育てに悩んだり困ったりした時に相談できる人、又は、相談できる場所がありますか。(1つのみ)

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問5 地域に見守られて子どもが成長していると感じますか。(1つのみ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 強く感じる | 4 あまり感じない |
| 2 やや感じる | 5 感じない |
| 3 どちらともいえない | |

問6 小学生のお子さんをお持ちの方に伺います。ご自身のお子さんが、将来への希望をもって、学び、成長することができていると思いますか。(1つのみ)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 そう思う | 4 そう思わない |
| 2 どちらかというそう思う | 5 わからない |
| 3 どちらかというそう思わない | 6 小学生の子どもはいない |



次のページに進んでびよん

【7 労務職・サービス業」「8 学生」と回答した方に伺います。】

F 6 - 1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(1つのみ)

22 大田区内(自宅)	26 それ以外の東京都内
23 大田区内(自宅以外)	27 神奈川県内
24 品川・目黒・新宿・渋谷区内	28 それ以外()
25 千代田・中央・港区内	

F 7 配偶者はいらっしゃいますか。(1つのみ)

10 いる(同居・別居含む)	⇒ F 7 - 1^
11 いない(離婚・死別)	} F 8^
12 いない(未婚)	

【F 7で「1 いる(同居・別居含む)」と回答した方に伺います。】

F 7 - 1 共働きをしていますか。(1つのみ)

7 している	8 していない
--------	---------

F 8 お子さんとあなたとの続柄を教えてください。※お子さんから見た関係性

1 父親	4 祖母
2 母親	5 その他()
3 祖父	

F 9 お子さんは何人いらっしゃいますか。

1 一人	4 四人
2 二人	5 五人以上
3 三人	

F 10 お子さんの性別を教えてください。

1 男子()人	2 女子()人	3 その他()人
----------	----------	-----------

F 11 現在、お子さんと一緒に住んでいる方すべてに○をつけてください。

1 父親	4 祖母
2 母親	5 その他の親族
3 祖父	6 親族以外の同居者



調査は以上で終了です。ご協力誠にありがとうございました。

令和7年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
報告書

令和8年2月発行
発行 大田区企画経営部企画課
〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号
電話 (03) 5744-1444 (直通)
FAX (03) 5744-1502
